



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. その他
- 3. マスタ設定
 - 3.1. 概要
 - 3.1.1. Kaiden!マスタ
 - 3.1.2. IM-共通マスタ
 - 3.2. 項目マスタ
 - 3.2.1. 概要
 - 3.2.2. メンテナンス
 - 3.3. 金融機関マスタ
 - 3.3.1. 概要
 - 3.3.2. メンテナンス
 - 3.3.3. インポート
 - 3.3.4. エクスポート
 - 3.4. 会社口座マスタ
 - 3.4.1. 概要
 - 3.4.2. メンテナンス
 - 3.5. 従業員口座マスタ
 - 3.5.1. 概要
 - 3.5.2. メンテナンス
 - 3.6. 通勤経路マスタ
 - 3.6.1. 概要
 - 3.6.2. メンテナンス
 - 3.6.3. 経路検索機能
 - 3.7. フィルタリング設定
 - 3.7.1. 概要
 - 3.7.2. マスタメンテナンス
 - 3.7.3. 絞り込み条件
 - 3.7.4. フィルタ対応表
 - 3.8. プロジェクトマスタ
 - 3.8.1. 概要
 - 3.8.2. メンテナンス
 - 3.8.3. インポート
 - 3.8.4. エクスポート
 - 3.9. 税区分マスタ
 - 3.9.1. 概要
 - 3.9.2. メンテナンス
 - 3.9.3. インポート
 - 3.9.4. エクスポート
 - 3.10. 勘定科目マスタ
 - 3.10.1. 概要
 - 3.10.2. メンテナンス
 - 3.10.3. インポート
 - 3.10.4. エクスポート
 - 3.11. 経費区分マスタ
 - 3.11.1. 概要
 - 3.11.2. メンテナンス
 - 3.11.3. インポート
 - 3.11.4. エクスポート
 - 3.12. 支払方法マスタ
 - 3.12.1. 概要
 - 3.12.2. メンテナンス
 - 3.12.3. インポート

- 3.12.4. エクスポート
- 3.13. 支払分類マスタ
 - 3.13.1. 概要
 - 3.13.2. メンテナンス
 - 3.13.3. インポート
 - 3.13.4. エクスポート
- 3.14. 日当マスタ
 - 3.14.1. 概要
 - 3.14.2. メンテナンス
 - 3.14.3. インポート
- 3.15. 仕訳パラメータマスタ
 - 3.15.1. 概要
 - 3.15.2. メンテナンス
 - 3.15.3. インポート
 - 3.15.4. エクスポート
- 3.16. 会計期間マスタ
 - 3.16.1. 概要
 - 3.16.2. メンテナンス
- 3.17. 仕入先マスタ
 - 3.17.1. 概要
 - 3.17.2. メンテナンス
 - 3.17.3. インポート
 - 3.17.4. エクスポート
- 3.18. 申請書マスタ
 - 3.18.1. 概要
 - 3.18.2. メンテナンス
 - 3.18.3. インポート
 - 3.18.4. エクスポート
- 3.19. transit managerユーザマッピングマスタ
 - 3.19.1. 概要
 - 3.19.2. メンテナンス
 - 3.19.3. インポート
 - 3.19.4. エクスポート
- 3.20. 法人カードマスタ
 - 3.20.1. 概要
 - 3.20.2. メンテナンス
 - 3.20.3. インポート
 - 3.20.4. エクスポート
- 3.21. 法人カード会社マスタ
 - 3.21.1. 概要
 - 3.21.2. メンテナンス
 - 3.21.3. エクスポート
- 3.22. 法人カード会社契約マスタ
 - 3.22.1. 概要
 - 3.22.2. メンテナンス
 - 3.22.3. インポート
 - 3.22.4. エクスポート
- 3.23. 法人カードブランドマスタ
 - 3.23.1. 概要
 - 3.23.2. メンテナンス
 - 3.23.3. インポート
 - 3.23.4. エクスポート
- 3.24. 法人カード契約体系マスタ
 - 3.24.1. 概要
 - 3.24.2. メンテナンス
 - 3.24.3. インポート
 - 3.24.4. エクスポート
- 3.25. Cloud-Base契約マスタ
 - 3.25.1. 概要

- 3.25.2. メンテナンス
- 3.25.3. インポート
- 3.25.4. エクスポート
- 3.26. Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ
 - 3.26.1. 概要
 - 3.26.2. メンテナンス
 - 3.26.3. インポート
 - 3.26.4. エクスポート
- 3.27. 案件番号採番ルールマスタ
 - 3.27.1. 概要
 - 3.27.2. メンテナンス
 - 3.27.3. インポート
 - 3.27.4. エクスポート
 - 3.27.5. 置換文字列
- 3.28. 案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ
 - 3.28.1. 概要
 - 3.28.2. メンテナンス
 - 3.28.3. インポート
 - 3.28.4. エクスポート
- 3.29. J'sNAVI Jr.契約マスタ
 - 3.29.1. 概要
 - 3.29.2. メンテナンス
 - 3.29.3. インポート
 - 3.29.4. エクスポート
- 3.30. J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ
 - 3.30.1. 概要
 - 3.30.2. メンテナンス
 - 3.30.3. インポート
 - 3.30.4. エクスポート
- 3.31. J'sNAVI Jr.法人カードマスタ
 - 3.31.1. 概要
 - 3.31.2. メンテナンス
 - 3.31.3. インポート
 - 3.31.4. エクスポート
- 3.32. 出張手配ユーザマッピングマスタ
 - 3.32.1. 概要
 - 3.32.2. メンテナンス
 - 3.32.3. インポート
 - 3.32.4. エクスポート
- 3.33. 出張手配代理マスタ
 - 3.33.1. 概要
 - 3.33.2. メンテナンス
 - 3.33.3. インポート
 - 3.33.4. エクスポート
- 3.34. RODEMユーザマッピングマスタ
 - 3.34.1. 概要
 - 3.34.2. メンテナンス
 - 3.34.3. インポート
 - 3.34.4. エクスポート
- 3.35. 予算単位マスタ
 - 3.35.1. 概要
 - 3.35.2. メンテナンス
 - 3.35.3. インポート
 - 3.35.4. エクスポート
- 3.36. 予算バージョンマスタ
 - 3.36.1. 概要
 - 3.36.2. メンテナンス
 - 3.36.3. インポート
 - 3.36.4. エクスポート

- 3.37. 予算マスタ
 - 3.37.1. 概要
 - 3.37.2. メンテナンス
 - 3.37.3. インポート
 - 3.37.4. エクスポート
- 3.38. 変更事由マスタ
 - 3.38.1. 概要
 - 3.38.2. メンテナンス
- 3.39. 住所種別マスタ
 - 3.39.1. 概要
 - 3.39.2. インポート
 - 3.39.3. エクスポート
- 3.40. 郵便番号マスタ
 - 3.40.1. 概要
 - 3.40.2. インポート
- 3.41. 従業員住所マスタ
 - 3.41.1. 概要
 - 3.41.2. メンテナンス
 - 3.41.3. 住所検索機能
- 3.42. 安否確認ユーザマッピングマスタ
 - 3.42.1. 概要
 - 3.42.2. メンテナンス
 - 3.42.3. インポート
 - 3.42.4. エクスポート
- 3.43. 駅すばあと検索条件設定マスタ
 - 3.43.1. 概要
 - 3.43.2. メンテナンス
 - 3.43.3. インポート
 - 3.43.4. エクスポート
- 3.44. 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ
 - 3.44.1. 概要
 - 3.44.2. メンテナンス
 - 3.44.3. インポート
 - 3.44.4. エクスポート
- 3.45. 権限設定マスタ
 - 3.45.1. 概要
 - 3.45.2. メンテナンス
 - 3.45.3. インポート
- 4. ワークフロー設定
 - 4.1. 概要
 - 4.2. コンテンツ定義
 - 4.2.1. 新規登録
 - 4.2.2. 更新
 - 4.2.3. コピー
 - 4.2.4. 申請書の連携
 - 4.2.5. プレビュー表示
 - 4.2.6. コンテンツバージョン設定時の操作方法
 - 4.2.7. 初期データ
 - 4.3. ルート定義
 - 4.4. フロー定義
 - 4.5. その他の定義
 - 4.5.1. 案件プロパティ定義
 - 4.5.2. ルール定義
 - 4.5.3. メール定義
- 5. 運用時の操作
 - 5.1. 仕訳データ
 - 5.1.1. 概要
 - 5.1.2. 仕訳のパターン
 - 5.1.3. エクスポート

- 5.1.4. 実行パラメータ
- 5.2. 振込データ
 - 5.2.1. 概要
 - 5.2.2. メンテナンス
 - 5.2.3. エクスポート
- 5.3. 精算ステータス
 - 5.3.1. 概要
 - 5.3.2. 精算ステータス変更
- 5.4. アーカイブ
- 5.5. 案件削除
- 5.6. 案件操作
- 5.7. 法人カードデータを取り込み精算するための関連操作
 - 5.7.1. 利用データ取得
 - 5.7.2. 利用データ再取得
 - 5.7.3. 利用データテーブルメンテナンス
 - 5.7.4. 法人カード会社取り込み
- 5.8. J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作
 - 5.8.1. 利用データ取得
 - 5.8.2. 出張手配実績データ取得
 - 5.8.3. 法人カード利用データテーブル (J'sNAVI Jr.) メンテナンス
 - 5.8.4. 出張手配実績データテーブルメンテナンス
- 5.9. BTMサービス利用実績データメンテナンス
 - 5.9.1. 概要
 - 5.9.2. メンテナンス
- 5.10. 申請書公開設定
 - 5.10.1. 概要
 - 5.10.2. 公開状況変更
- 5.11. 決裁連携データメンテナンス
 - 5.11.1. 概要
 - 5.11.2. 決裁状況の変更
 - 5.11.3. 連携対象者の変更
 - 5.11.4. 決裁状況レポートの表示
- 6. リファレンス
 - 6.1. 各種操作
 - 6.1.1. 一覧画面の操作
 - 6.1.2. 期間の操作
 - 6.1.3. 明細行の操作
 - 6.1.4. 明細行 (カード形式) の操作
 - 6.1.5. マスタ検索
 - 6.1.6. セレクトボックス
 - 6.2. ジョブの設定に関する補足
 - 6.2.1. インポートモードと実行結果
 - 6.3. 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法
 - 6.3.1. その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法
 - 6.4. 交通系ICカードデータを使用して精算する方法
 - 6.4.1. 概要
 - 6.4.2. 連携イメージ
 - 6.4.3. 交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.4.4. 取消明細を使用する
 - 6.4.5. 「transit manager」から申請したデータを使用してKaiden!で自動的に精算申請を実施する
 - 6.5. 法人カードデータを使用して精算する方法
 - 6.5.1. Cloud-Baseと連携して精算する方法
 - 6.5.2. J'sNAVI Jr.と連携して精算する方法
 - 6.6. 予算管理を実施する方法
 - 6.6.1. 概要
 - 6.6.2. 編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請を実施する
 - 6.6.3. 案件明細を使用する
 - 6.7. カレンダーデータを使用して精算する方法
 - 6.7.1. 概要

- 6.7.2. 連携イメージ
 - 6.7.3. カレンダーから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.8. 出張手配サービスと連携する方法
 - 6.8.1. 概要
 - 6.8.2. 連携イメージ
 - 6.8.3. Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」を使用して出張手配する方法
 - 6.8.4. 出張手配実績データを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.8.5. 取消明細を使用する
 - 6.9. 事前申請書・精算申請書を取り消す方法
 - 6.9.1. 事前申請書・精算申請書を取り消す申請書の作成手順
 - 6.9.2. 検索対象となる申請書
 - 6.9.3. 申請時の注意
 - 6.10. 安否確認システムと連携する方法
 - 6.10.1. 概要
 - 6.10.2. Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法
 - 6.10.3. Kaiden!の出張事前申請を取り消す際に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法
 - 6.10.4. 出力ファイルの定義
 - 6.11. 申請書にアラートを表示する方法
 - 6.11.1. 申請書にアラートを表示する方法
 - 6.11.2. 確認コメントが必須入力のアラートの操作
 - 6.11.3. 確認コメントが任意入力のアラートの操作
 - 6.12. 駅すばあとWebサービスと連携する方法
 - 6.12.1. 概要
 - 6.12.2. 駅すばあとWebサービスを使用してKaiden!の申請を実施する
 - 6.13. 仕訳の出力項目を変更する方法
 - 6.13.1. 設定ファイル
 - 6.13.2. タグ概要
 - 6.13.3. 追加可能な項目
 - 6.14. 税率変更時のマスタ設定方法
 - 6.14.1. 税区分マスタの設定
 - 6.14.2. 経費区分マスタの設定
 - 6.15. ガジェットテンプレートを使用する方法
 - 6.15.1. ガジェットテンプレートを使用する方法
 - 6.15.2. ガジェットのテンプレート登録の操作
 - 6.15.3. ガジェットのテンプレート読込の操作
 - 6.15.4. ガジェットのテンプレート削除の操作
 - 6.16. 申請書に任意のメッセージを表示する方法
 - 6.16.1. 申請書に任意のメッセージを表示する方法
 - 6.17. BTMサービスと連携する方法
 - 6.17.1. BTMサービス利用実績データを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.17.2. 取消明細を使用する
 - 6.18. 申請書公開設定機能を使用する方法
 - 6.18.1. 申請書公開設定機能を使用する方法
 - 6.19. 申請書紐づけ機能を使用する方法
 - 6.19.1. 申請書紐づけ機能を使用してKaiden!の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する
 - 6.20. フォーム付きPDFを添付して申請する方法
 - 6.20.1. フォーム付きPDFを添付して申請する方法
 - 6.20.2. 出力ファイルの定義
- 7. オプションモジュールの操作
 - 7.1. Racco連携モジュールの操作
 - 7.1.1. 概要
 - 7.1.2. 連携イメージ
 - 7.1.3. マスタ設定
 - 7.1.4. 運用時の操作
 - 7.1.5. リファレンス
 - 7.2. 出張ナビ連携モジュールの操作
 - 7.2.1. 概要
 - 7.2.2. 連携イメージ
 - 7.2.3. マスタ設定

- 7.2.4. 運用時の操作
- 7.2.5. リファレンス
- 7.3. JCS連携モジュールの操作
 - 7.3.1. 概要
 - 7.3.2. 連携イメージ
 - 7.3.3. マスタ設定
 - 7.3.4. 運用時の操作
 - 7.3.5. リファレンス
- 7.4. ファイル連携モジュールの操作
 - 7.4.1. 概要
 - 7.4.2. 連携イメージ
 - 7.4.3. マスタ設定
 - 7.4.4. 運用時の操作
 - 7.4.5. リファレンス
- 7.5. 文書管理 (iAD) 連携モジュールの操作
 - 7.5.1. 概要
 - 7.5.2. intra-mart Accel Documents と Kaiden! の紐付け
 - 7.5.3. intra-mart Accel Documents のデータ更新のタイミング
- 7.6. DataDelivery連携モジュールの操作
 - 7.6.1. 概要
 - 7.6.2. 業務フロー
 - 7.6.3. DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施する
- 7.7. 活文連携モジュールの操作
 - 7.7.1. 概要
 - 7.7.2. 連携イメージ
 - 7.7.3. 運用時の操作
 - 7.7.4. リファレンス

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-11-21	初版
2014-06-09	第2版 以下を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ページ遷移を修正
2015-02-27	第3版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の構成や記載内容を整備 仕入先マスタの設定方法を追加 申請書マスタメンテナンスの必須／任意設定、テキスト／ラベル設定を追加 アーカイブ方法を追加 案件削除方法を追加
2015-10-23	第4版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 各項のメニューパスを修正しました。 振込データに「出力方法（一括）」を追加しました。
2016-08-01	第5版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 プロジェクトマスタの設定方法を修正しました。 コンテンツ定義を修正しました。 文書管理 (iAD) 連携モジュールの操作を追加しました。
2017-04-01	第6版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 申請書マスタを追加しました。 コンテンツ定義の設定方法を修正しました。 セレクトボックスを追加しました。 その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を追加しました。
2017-07-01	第7版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 法人カードマスタを追加しました。 法人カード会社マスタを追加しました。 法人カード会社契約マスタを追加しました。 法人カードブランドマスタを追加しました。 法人カード契約体系マスタを追加しました。 Cloud-Base契約マスタを追加しました。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタを追加しました。 transit managerユーザマッピングマスタを追加しました。 法人カードデータを取り込み精算するための関連操作を追加しました。 交通系ICカードデータを使用して精算する方法を追加しました。 法人カードデータを使用して精算する方法を追加しました。
2017-10-01	第8版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> フィルタリング設定を修正しました。 交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するを修正しました。

変更年月日	変更内容
2018-04-01	<p>第9版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 概要を修正しました。■ 案件番号採番ルールマスタを追加しました。■ 案件番号採番ルール（フロー連携）マスタを追加しました。■ J'sNAVI Jr.契約マスタを追加しました。■ J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタを追加しました。■ J'sNAVI Jr.法人カードマスタを追加しました。■ 出張手配ユーザマッピングマスタを追加しました。■ 出張手配代理マスタを追加しました。■ RODEMユーザマッピングマスタを追加しました。■ 予算単位マスタを追加しました。■ 予算バージョンマスタを追加しました。■ 予算マスタを追加しました。■ 利用データテーブルメンテナンスを修正しました。■ 案件操作を追加しました。■ J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作を追加しました。■ J'sNAVI Jr.と連携して精算する方法を追加しました。■ 予算管理を実施する方法を追加しました。■ カレンダーデータを使用して精算する方法を追加しました。■ 出張手配サービスと連携する方法を追加しました。■ 事前申請書・精算申請書を取り消す方法を追加しました。

変更年月日	変更内容
2019-04-01	<p data-bbox="403 129 762 152">第10版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 181 651 203">■ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 224 746 246">■ 金融機関マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 266 767 288">■ 従業員口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 309 746 331">■ 通勤経路マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 351 788 374">■ フィルタリング設定を修正しました。 <li data-bbox="424 394 788 416">■ プロジェクトマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 436 727 459">■ 税区分マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 479 746 501">■ 勘定科目マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 521 746 544">■ 経費区分マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 564 746 586">■ 支払方法マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 607 746 629">■ 支払分類マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 649 807 672">■ 仕訳パラメータマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 692 727 714">■ 仕入先マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 734 727 757">■ 申請書マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 777 986 799">■ transit managerユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 819 767 842">■ 法人カードマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 862 847 884">■ 法人カード会社契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 904 847 927">■ 法人カード契約体系マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 947 823 969">■ Cloud-Base契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 990 807 1012">■ J'sNAVI Jr.契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1032 863 1055">■ J'sNAVI Jr.法人カードマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1075 906 1097">■ 出張手配ユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1117 788 1140">■ 出張手配代理マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1160 903 1182">■ RODEMユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1202 708 1225">■ 予算マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1245 746 1267">■ 変更事由マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1288 746 1310">■ 郵便番号マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1330 767 1352">■ 従業員住所マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1373 906 1395">■ 安否確認ユーザマッピングマスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1415 887 1438">■ 駅すばあと検索条件設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1458 1007 1480">■ 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1500 967 1523">■ コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1543 727 1565">■ その他の定義を修正しました。 <li data-bbox="424 1585 708 1608">■ 仕訳データを修正しました。 <li data-bbox="424 1628 1023 1650">■ J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作を修正しました。 <li data-bbox="424 1671 868 1693">■ 明細行（カード形式）の操作を追加しました。 <li data-bbox="424 1713 1126 1736">■ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1756 906 1778">■ 出張手配サービスと連携する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1798 967 1821">■ 事前申請書・精算申請書を取り消す方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1841 906 1863">■ 安否確認システムと連携する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1883 906 1906">■ 申請書にアラートを表示する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1926 967 1948">■ 駅すばあとWebサービスと連携する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1968 887 1991">■ 仕訳の出力項目を変更する方法を追加しました。
2019-08-01	<p data-bbox="403 1955 762 1977">第11版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 2007 887 2029">■ ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 2049 868 2072">■ 税率変更時のマスタ設定方法を追加しました。

変更年月日	変更内容
2019-12-01	<p>第12版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。 駅すばあと検索条件設定マスタを修正しました。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタを修正しました。
2020-04-01	<p>第13版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。 概要を修正しました。 経費区分マスタを修正しました。 申請書マスタを修正しました。 予算マスタを修正しました。 権限設定マスタを追加しました。 コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。 出張手配実績データテーブルメンテナンスを修正しました。 BTMサービス利用実績データメンテナンスを追加しました。 申請書公開設定を追加しました。 決裁連携データメンテナンスを追加しました。 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法を修正しました。 文書管理 (iAD) 連携モジュールの操作を電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法からオプションモジュールの操作に移動しました。 文書管理 (iAD) 連携モジュールの操作をリファレンスからオプションモジュールの操作に移動しました。 ガジェットテンプレートを使用する方法を追加しました。 申請書に任意のメッセージを表示する方法を追加しました。 BTMサービスと連携する方法を追加しました。 申請書公開設定機能を使用する方法を追加しました。 申請書紐づけ機能を使用する方法を追加しました。 フォーム付きPDFを添付して申請する方法を追加しました。 オプションモジュールの操作を追加しました。
2020-05-29	<p>第14版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメントの記載内容を見直しました。
2020-08-01	<p>第15版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を修正しました。
2020-12-01	<p>第16版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要を修正しました。 プロジェクトマスタを修正しました。 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法を修正しました。 その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法の業務フローを修正しました。 DataDelivery連携モジュールの操作の業務フローを修正しました。 ファイル連携モジュールの操作を追加しました。

はじめに

本書の内容

本書では、次の様な構成でintra-mart Accel Kaiden! 経費旅費における管理者の操作内容・手順を記載しています。

- **マスタ設定**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費に必要な、マスタデータの登録方法を記載しています。
- **ワークフロー設定**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるIM-Workflowの設定方法を記載しています。
- **運用時の操作**
仕訳データや振込データの出力方法などの運用時に利用する機能の操作方法を記載しています。
- **リファレンス**
本書のリファレンスを記載しています。

対象読者

本書では次の読者を対象としています。

- **ワークフロー管理者**
intra-mart Accel Kaiden!に必要なマスタデータの登録・更新の操作手順を確認できます。
- **経理担当者**
仕訳データやFBデータの出力操作手順を確認できます。

その他

- 本書内で記載されている外部URLは、2020年12月現在のものです。

マスタ設定

概要

- Kaiden!マスタ
 - マスタ分類
 - 機能別マスタ設定
- IM-共通マスタ
 - 会社登録時の注意点
 - 通貨登録時の注意点

Kaiden!マスタ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、次のマスタを利用しています。

モジュール	マスタ	用途
intra-mart Accel Platform IM-共通マスタ	ユーザ	intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費を利用するユーザ
	会社	ユーザが所属する会社
	組織	ユーザが所属する組織
	通貨	intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費で利用する通貨
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	項目マスタ	ドロップダウンリストの選択肢データ
	金融機関マスタ	会社口座や従業員口座の基となる金融機関
	会社口座マスタ	振込データの振込元口座
	従業員口座マスタ	振込データの振込先口座
	通勤経路マスタ	経路検索時の控除区間
	フィルタリング設定	経費区分検索時の絞り込み条件
	プロジェクトマスタ	経費や旅費、仮払金などの計上先
	申請書マスタ	コンテンツ定義
	法人カードマスタ	連携する法人カード
	法人カード会社マスタ	連携する法人カード会社
	法人カード会社契約マスタ	連携する法人カード会社との契約情報
	法人カードブランドマスタ	連携する法人カードのブランド
	法人カード契約体系マスタ	連携する法人カードの契約体系
	Cloud-Base契約マスタ	Cloud-Base契約
	Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	Cloud-Base契約と会社の紐付け
	案件番号採番ルールマスタ	案件番号の採番ルール
	案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ	案件番号採番ルールとのフローの連携
	J'sNAVI Jr. 契約マスタ	J'sNAVI Jr. 契約
	J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	J'sNAVI Jr. 契約と会社の紐付け
	J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カード
	出張手配ユーザマッピングマスタ	ユーザと「J'sNAVI Jr.」のユーザの紐付け
	出張手配代理マスタ	「J'sNAVI Jr.」の出張手配に関する代理情報
	RODEMユーザマッピングマスタ	ユーザと「RODEM」のユーザの紐付け
	変更事由マスタ	変更事由のドロップダウンリストの選択肢データ
	郵便番号マスタ	住所検索時に使用する郵便番号データ
	安否確認ユーザマッピングマスタ	ユーザと安否確認サービスのユーザの紐付け
	駅すばあと検索条件設定マスタ	経路検索時の条件設定

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ

ユーザと駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタの紐付け

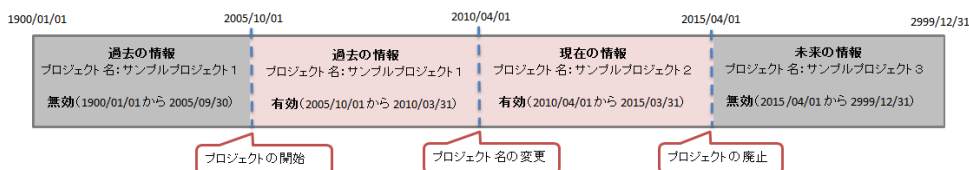
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	税区分マスタ	仕訳作成時の税区分や税率
	勘定科目マスタ	経費や旅費などの仕訳を行うための科目
	経費区分マスタ	勘定科目と税区分の組合わせた名称
	支払方法マスタ	現金／銀行振込などの支払時の方法
	支払分類マスタ	立替、その他の支出分類
	日当マスタ	日当の情報
	仕訳パラメータマスタ	仕訳データ作成機能に関する諸設定
	会計期間マスタ	申請可能な期間、承認期日など
	仕入先マスタ	仕入先の情報
	transit managerユーザマッピングマスタ	ユーザと「transit manager」の紐付け
	予算単位マスタ	予算で使用する項目の管理
	予算バージョンマスタ	予算で使用するバージョンの管理
	予算マスタ	予算の管理
	従業員住所マスタ	従業員の住所
Racco連携モジュール	Racco契約マスタ	「Racco」との契約情報
	Racco契約・会社マッピングマスタ	「Racco」との契約と会社の紐付け
	楽天会員マッピングマスタ	「Racco」との契約とユーザの紐付け
出張なび連携モジュール	出張なび契約マスタ	「出張なび」との契約情報
	出張なび契約・会社マッピングマスタ	「出張なび」との契約と会社の紐付け
	出張なびユーザマッピングマスタ	ユーザと「出張なび」のユーザの紐付け
JCS連携モジュール	JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報
	JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社の紐付け
	JCSユーザマッピングマスタ	ユーザと「JCS」のユーザの紐付け
	JCS役職マッピングマスタ	役職と「JCS」の役職の紐付け
ファイル連携モジュール	ファイル分類	ファイルの分類情報の管理

マスタ分類

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が利用する各マスタは、次の様な分類があります。

- 会社単位で管理するマスタ
intra-mart Accel Kaiden! のマスタの多くは会社単位で管理できます。
「A社の申請書ではA社のマスタデータのみが利用できる」など、業務／処理を会社の単位で行います。
- 期間化情報を持つマスタ
期間化情報とは、同一のマスタをある日付を境にして名称や属性などの情報を変更した変更情報(履歴)です。
来年度から名称が変わる場合でも、今年度と来年度の両方の情報を保持することができます。
また、ある日付を境に、マスタのステータス(有効／無効)を変化させることのできるものもあります。

例えば、プロジェクトマスタに以下のような期間化情報を持たせることができます。
システム有効期間の範囲で無効な期間化情報を補完してデータを保持します。



- 国際化情報を持つマスタ
名称などの情報を複数ロケール（言語）分登録可能なマスタです。
利用者のロケール設定で表示内容を切り替えることができます。

■ インポート可能なマスタ

「ジョブスケジューラ」を利用して、マスタデータを一括して登録することができます。

モジュール	マスタ	会社	期間化	国際化	インポート
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	項目マスタ	○		○	
	金融機関マスタ				○
	会社口座マスタ	○	○		
	従業員口座マスタ		○		
	通勤経路マスタ		○		
	フィルタリング設定	○	○	○	
	プロジェクトマスタ	○	○	○	○
	申請書マスタ			○	○
	法人カードマスタ	○	○		○
	法人カード会社マスタ			○	○
	法人カード会社契約マスタ	○		○	○
	法人カードブランドマスタ	○		○	○
	法人カード契約体系マスタ	○		○	○
	Cloud-Base契約マスタ			○	○
	Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○			○
	案件番号採番ルールマスタ	○			○
	案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ	○			○
	J'sNAVI Jr. 契約マスタ	○		○	○
	J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	○			○
	J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	○	○		○
	出張手配ユーザマッピングマスタ	○	○		○
	出張手配代理マスタ	○	○		○
	RODEMユーザマッピングマスタ	○			○
	変更事由マスタ	○	○	○	
	郵便番号マスタ				○
	安否確認ユーザマッピングマスタ	○	○		○
	駅すばあと検索条件設定マスタ	○		○	○
駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ	○	○		○	
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	税区分マスタ	○	○	○	○
	勘定科目マスタ	○	○	○	○
	経費区分マスタ	○	○	○	○
	支払方法マスタ	○	○	○	○
	支払分類マスタ	○	○	○	○
	日当マスタ	○	○	○	○
	仕訳パラメータマスタ	○	○		○
	会計期間マスタ	○	○		
	仕入先マスタ	○	○	○	○
	transit managerユーザマッピングマスタ	○			○
	予算単位マスタ	○		○	○
	予算バージョンマスタ	○		○	○
	予算マスタ	○	○	○	○

	従業員住所マスタ	○	○		
Racco連携モジュール	Racco契約マスタ	○		○	○
	Racco契約・会社マッピングマスタ	○			○
	楽天会員マッピングマスタ	○	○		○
出張なび連携モジュール	出張なび契約マスタ	○		○	○
	出張なび契約・会社マッピングマスタ	○			○
	出張なびユーザマッピングマスタ	○	○		○
JCS連携モジュール	JCS契約マスタ	○		○	○
	JCS契約・会社マッピングマスタ	○			○
	JCSユーザマッピングマスタ	○	○		○
	JCS役職マッピングマスタ	○	○	○	○
ファイル連携モジュール	ファイル分類	○	○	○	○

機能別マスタ設定

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の各機能では、次のマスタを利用します。

- 申請書機能

ガジェット名	項目	金融機 関	プロ ジェク ト	経費区 分	支払方 法	支払分 類	日当	会計期 間	仕入先	法人カー ドデー タ検 索	ICカー ドデー タ検 索	取消明 細
仮払情報			○		○							
精算情報					○							
精算情報 (精算のみ)					○							
旅程明細			○	○		○						
旅程明細 (複数通貨)			○	○		○						
旅程明細 (近距離)			○	○		○						
経費明細			○	○		○						
経費明細 (複数通貨)			○	○		○						
宿泊明細			○	○		○						
宿泊明細 (複数通貨)			○	○		○						
日当明細			○	○			○					
日当明細 (複数通貨)			○	○			○					
請求書払情報	○								○			
請求書払明細			○	○								
会計期間チェック								○				
通勤経路	○											
従業員口座	○	○										
法人カード										○		○
法人カード会社										○		○
法人カード会社契約										○		○
法人カードブランド										○		○
法人カード契約体系										○		○
Cloud-Base契約										○		○
Cloud-Base契約・会社マッ ピング										○		○

i コラム

次のガジェットはマスタ登録不要です。

- 経費旅費情報（概算費用あり）
- 経費旅費情報（概算費用なし）
- 出張(旅費)情報（概算費用あり）
- 出張(旅費)情報（概算費用なし）
- 備考
- 費用合計（合計値表示のみ）
- 交際情報
- 費用明細行数チェック
- ファイル添付明細
- 請求書番号チェック

i コラム

経費区分を利用するガジェットの場合は、税区分、勘定科目、フィルタリング設定も合わせて使用します。

▪ その他機能

機能名	項目	金融機関	会社口座	従業員口座	仕訳パラメータ
仕訳	○				○
FB出力	○	○	○	○	○
FBメンテナンス	○				○

IM-共通マスタ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費のマスタ設定を行う前に、IM-共通マスタの次のマスタ登録が必要です。

IM-共通マスタの登録方法は『IM-共通マスタ 管理者操作ガイド』を参照してください。

- ユーザ
- 会社
- 組織
- 通貨

i コラム

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費を利用するユーザは、必ず会社（組織）に所属する必要があります。
マスタ設定を行うユーザも必ず会社（組織）に所属する必要があります。

i コラム

JCS役職マッピングマスタを使用する場合、「役職」の登録が必要です。

会社登録時の注意点

会社マスタを登録する場合は、会社毎に通貨マスタの登録を行う必要があります。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の金額入力欄は、通貨マスタに登録された桁数まで入力できます。

通貨登録時の注意点

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨マスタには次の様な設定を行ってください。

▪ 通貨コード

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールのモジュール設定で設定した会社通貨コードを必ず登録してください。

モジュール設定の設定方法は、『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「モジュール設定」を参照してください。

**注意**

日本円を登録する場合の通貨コードは“JPY”を指定してください。

- **通貨精度区分**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨の通貨精度区分は、“KAIDEN”を指定してください。
- **通貨換算コード**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨レートの通貨換算コードは“KAIDEN”を指定してください。
通貨換算コードが“KAIDEN”のデータが存在しない場合、レート登録なしとして扱います。

**コラム**

請求書払（外貨支払）申請書の場合、通貨換算コードを“KAIDEN”以外から選択可能です。

項目マスタ

本項では、項目マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)

概要

項目マスタは、intra-mart Accel Kaiden!の各画面で利用するドロップダウンリストの選択肢です。

標準的なデータは、初期データとして登録していますが、次の項目区分の項目データは利用する内容に合わせた設定が必要です。

- 変更事由(口座変更申請)
- 変更事由(通勤経路申請)
- 支払先分類
- 納品/請求区分

**注意**

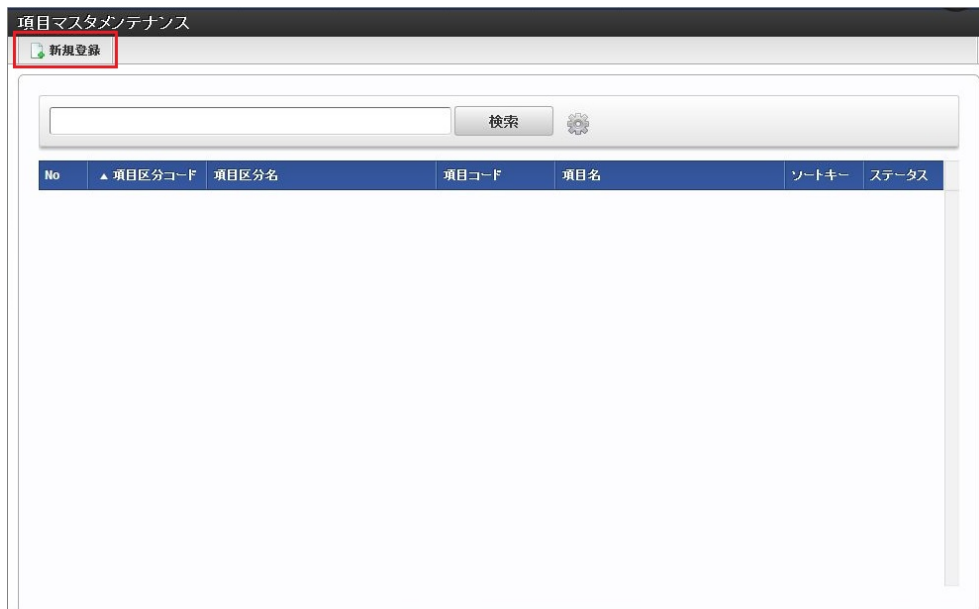
上記以外の項目区分は、項目データの追加ができません。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「項目」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

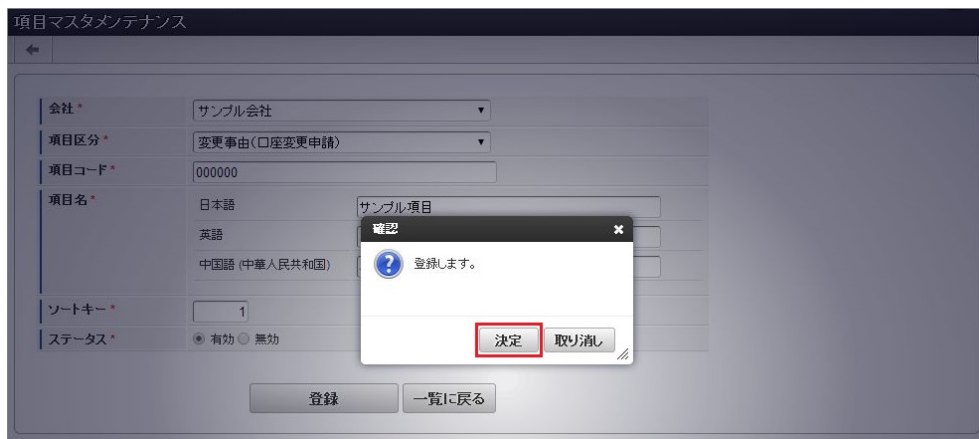


3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 項目区分
登録対象の項目区分を選択します。
項目区分は、選択肢（項目）をグルーピングした単位です。
- 項目コード
会社・項目区分ごとに一意のコードを入力します。
- 項目名
項目の名称を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

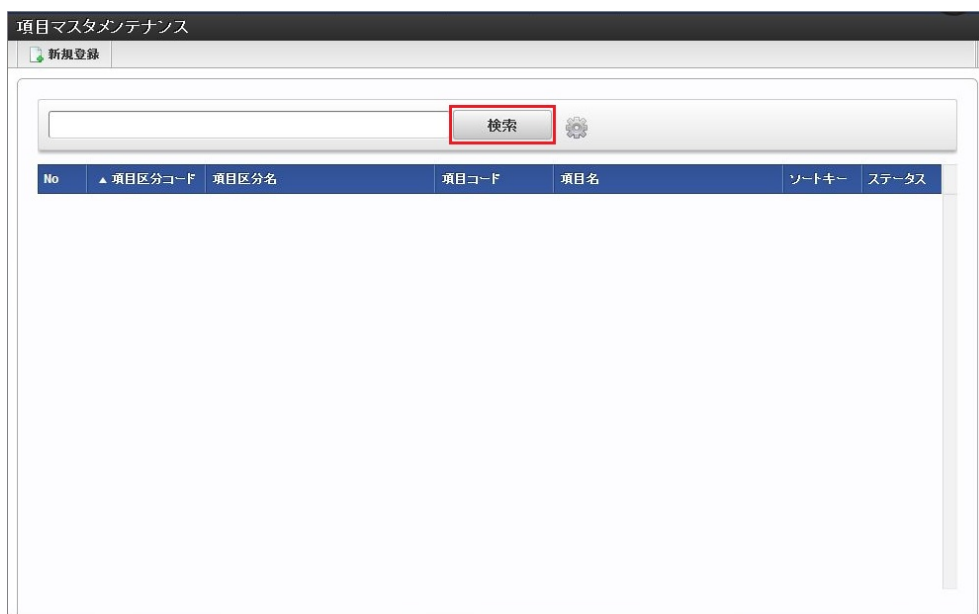


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「項目」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい項目の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 項目区分コード
- 項目区分名
- 項目コード
- 項目名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

項目メンテナンス

新規登録

検索

No	項目区分コード	項目区分名	項目コード	項目名	ソートキー	ステータス
1	300004	算定基準	POST	役職	2	●
2	300005	精算ステータス	0	未精算	1	●
3	300005	精算ステータス	1	精算中	2	●
4	300005	精算ステータス	2	精算済	3	●
5	300005	精算ステータス	9	精算不要	4	●
6	300006	変更事由(口座変更申請)	000000	サンプル項目	1	●
7	300006	変更事由(口座変更申請)	1	入社	1	●
8	300006	変更事由(口座変更申請)	2	自己都合	2	●
9	300006	変更事由(口座変更申請)	3	金融機関都合	3	●
10	300007	変更事由(通動経路申請)	0	入社	1	●
11	300007	変更事由(通動経路申請)	1	異動	2	●
12	300007	変更事由(通動経路申請)	2	経路変更(路線)	3	●
13	300007	変更事由(通動経路申請)	3	経路変更(新設)	4	●

最初へ 前へ 1 2 3 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

項目メンテナンス

←

会社* サンプル会社

項目区分* 変更事由(口座変更申請)

項目コード* 000000

項目名* 日本語 サンプル項目
英語 Sample Item
中国語(中華人民共和国) 样品项目

ソートキー* 1

ステータス* 有効 無効

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 項目区分
- 項目コード
- ステータス

i コラム

更新処理は、データの登録方法によって異なります。

- 会社ごとに設定した項目
ステータス変更可能、更新・削除可能
- 初期データで設定されている項目
更新可能・削除不可
- 初期データで設定されていて名称変更した項目
更新可能、削除不可、初期データに戻すことが可能

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



金融機関マスタ

本項では、金融機関マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

金融機関マスタは、会社口座や従業員口座を設定する際の金融機関情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「金融機関」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 金融機関コード
金融機関のコードを入力します。
- 金融機関名
金融機関の名称を入力します。
- 金融機関名(カナ)
金融機関の名称(カナ)を入力します。
- 支店番号
支店番号を入力します。
- 支店名
支店の名称を入力します。
- 支店名(カナ)
支店の名称(カナ)を入力します。

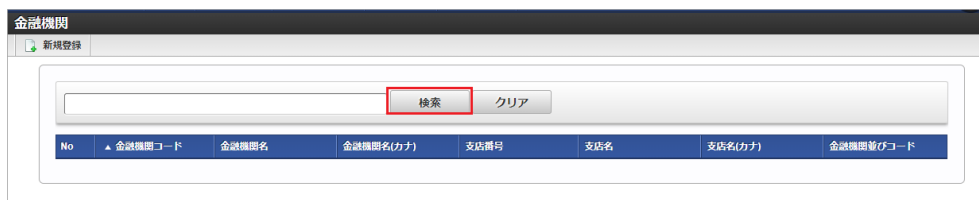
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	▲ 金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	築地支店	キキ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	有楽町支店	ユウラク	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オサ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネタクイ	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ホンテン	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	船町支店	フナト	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町会会館出張所	チカウカウ	1
11	0001	サンプル銀行	カアキ	111	サンプル支店	カアキ	1
12	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	004	船場支店	フナバ	1
13	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	003	瓦町支店	カワチ	1
14	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	005	大塚営業部	オホウツ	1
15	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「金融機関」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい金融機関の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 金融機関コード
- 金融機関名
- 金融機関名(カナ)
- 支店番号
- 支店名
- 支店名(カナ)

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 金融機関コード
- 支店番号
- 金融機関並びコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	築地支店	キキ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	青森町支店	アヲノチヨ	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデマエ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オシアマエ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネイキヨウシヨク	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ホンテン	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	麹町支店	コウジマチ	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町村会館出張所	チヨウムラカイカン	1
11	0001	サンプル銀行	サンプル	111	サンプル支店	サンプル	1
12	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	004	船場支店	フナバ	1
13	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	003	長町支店	ナガチヨ	1
14	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	005	大塚営業部	オホウラ	1
15	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	金融機関コード	○	4	
2	金融機関名	○	250	
3	金融機関名(カナ)	○	15	
4	支店番号	○	3	
5	支店名	○	250	
6	支店名(カナ)	○	15	
7	郵便番号		25	
8	支店所在地		250	
9	支店所在地(カナ)		250	
10	電話番号		25	
11	手形交換所番号		100	
12	金融機関並びコード	○	100	

データサンプル

```
"0001","サンプル銀行","サンプルバンク","005","本店","ホテン","999-999","所在地","ショウイ","100-000-111","","1"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/bank_facil_jp

ファイル名 import.csv

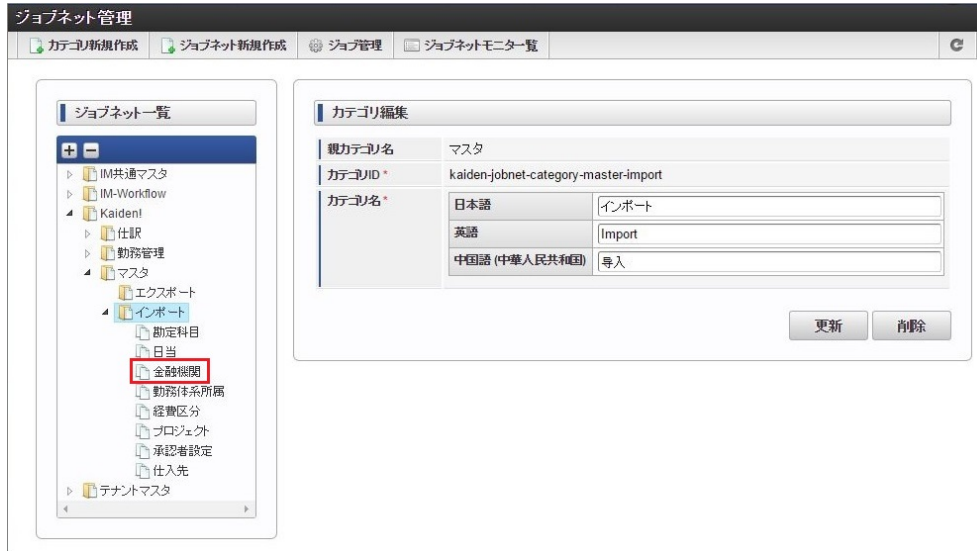
コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

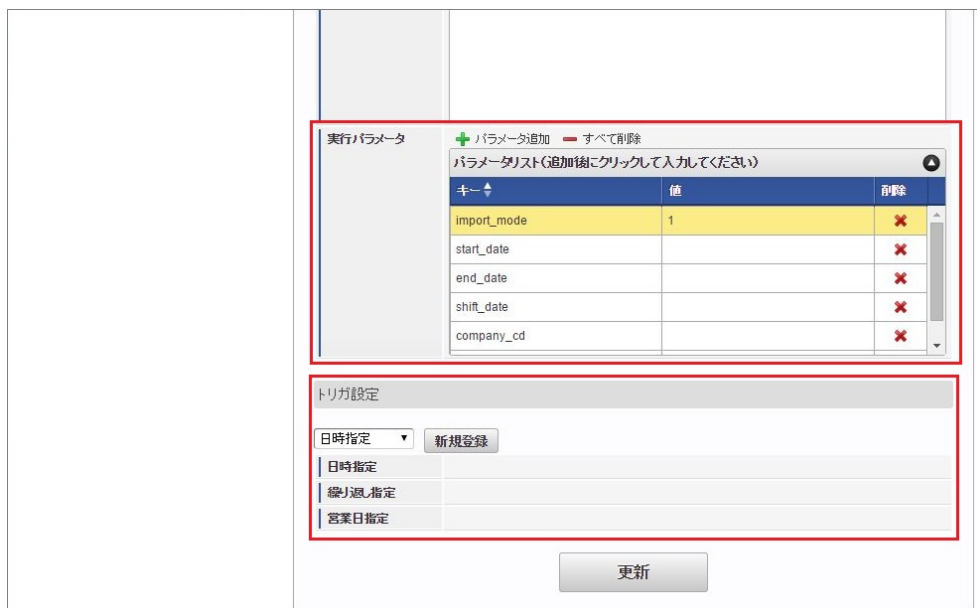
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「金融機関」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-bankfaciljp	Kaiden! / マスタ / インポート / 金融機関

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

7. ジョブネットが設定されました。




コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 金融機関マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「bank_facil_jp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

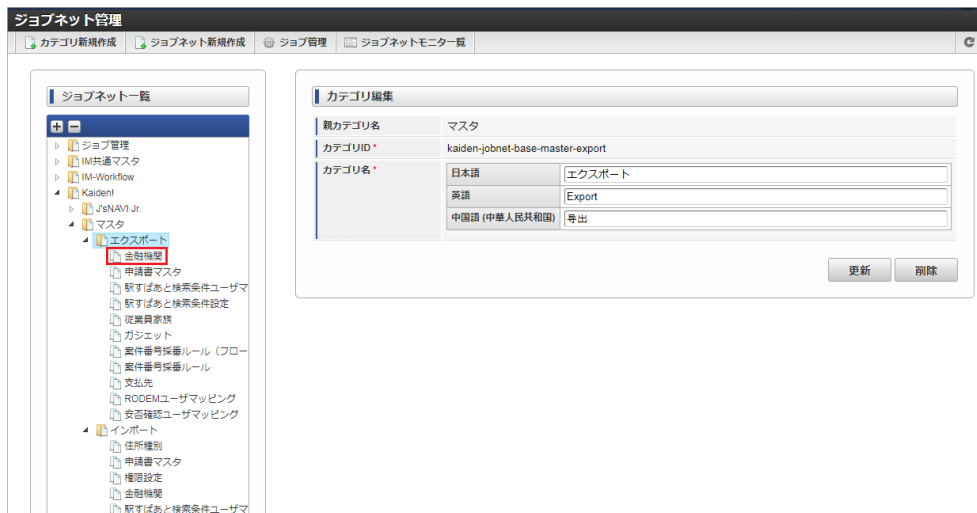
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「金融機関」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

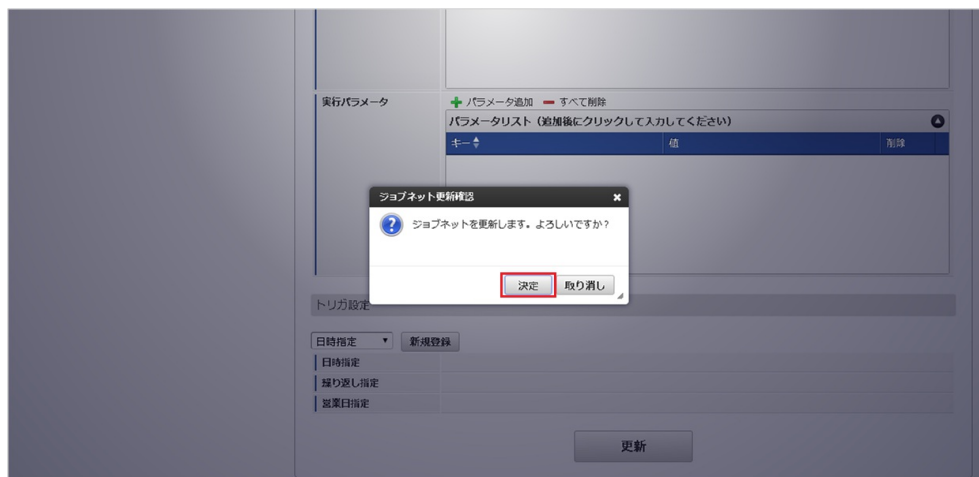
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-bankfaciljp	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 金融機関

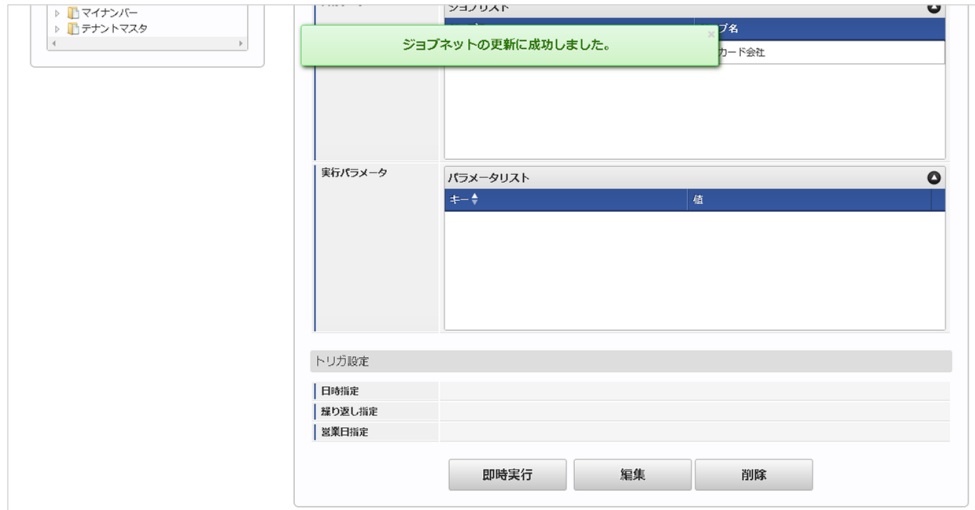
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/bank_facil_jp/
ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
bankFacilCd	金融機関コード	
bankFacilNameKj	金融機関名	
bankFacilNameKn	金融機関名(カナ)	
branchNo	支店番号	
branchNameKj	支店名	
branchNameKn	支店名(カナ)	
zipCd	郵便番号	
branchAddressKj	支店所在地	
branchAddressKn	支店所在地(カナ)	
telephoneNumber	電話番号	
clearingHouseNo	手形交換所番号	
lineCd	金融機関並びコード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 金融機関マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「bank_facil_jp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、会社口座マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

会社口座マスタは、FBデータ（振込データ）を作成する際の振込元口座情報として利用します。
設定は会社単位で行い、複数の口座情報を管理できます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(会社)」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

No	会社口座コード	会社口座名	金融機関名	支店名	口座番号	▲ソートキー	ステータス
----	---------	-------	-------	-----	------	--------	-------

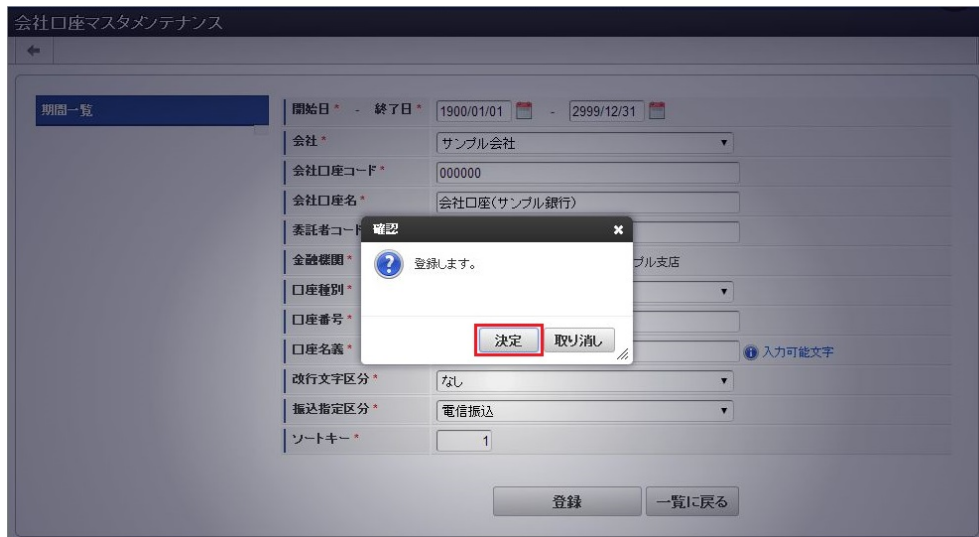
3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

開始日*	終了日*	1900/01/01	2999/12/31
会社*	サンプル会社		
会社口座コード*	000000		
会社口座名*	会社口座(サンプル銀行)		
委託者コード*	0000000000		
金融機関*	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル銀行	サンプル支店	
口座種別*	普通		
口座番号*	1000000		
口座名義*	サンプルがイヤ <small>入力可能文字</small>		
改行文字区分*	なし		
振込指定区分*	電信振込		
ソートキー*	1		

- 会社口座コード
会社ごとに一意のコードを入力します。

- 会社口座名
会社口座の名称を入力します。
- 委託者コード
ファームバンキング利用のため、金融機関から発行された委託者コードを入力します。
- 金融機関
金融機関を選択します。
- 口座種別
口座種別を選択します。
- 口座番号
口座番号を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(会社)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	会社口座コード	会社口座名	金融機関名	支店名	口座番号	▲ソートキー	ステータス
----	---------	-------	-------	-----	------	--------	-------

i コラム

検索欄に検索したい会社口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社口座コード
- 会社口座名
- 金融機関名
- 支店名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	会社口座コード	会社口座名	金融機関名	支店名	口座番号	▲ソートキー	ステータス
1	000000	会社口座(サンプル銀行)	サンプル銀行	サンプル支店	1000000	1	●
2	bank_account_01	会社口座(三菱東京UFJ)	三菱東京UFJ	本店	0000000	1	●

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

会社口座コード * 000000

会社口座名 * 会社口座(サンプル銀行)

委託者コード * 0000000000

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * サンプルがイヤ 入力可能文字

改行文字区分 * なし

振込指定区分 * 電信振込

ソートキー * 1

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 会社口座コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

会社口座コード * 000000

会社口座名 * 会社口座(サンプル銀行)

委託者コード * 0000000000

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * サンプルがイヤ 入力可能文字

改行文字区分 * なし

振込指定区分 * 電信振込

ソートキー * 1

更新 削除 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。



従業員口座マスタ

本項では、従業員口座マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

従業員口座マスタは、F Bデータ（振込データ）を作成する際の振込先口座情報として利用します。設定はユーザ単位で行い、複数の口座情報を管理できます。

メンテナンスの他に申請機能（口座変更申請）でも、従業員口座の登録が可能です。



コラム

口座変更申請では、最終承認後に従業員口座が登録（更新）されます。
 口座変更申請の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(従業員)」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	社員コード	社員名	開始日	終了日
----	-------	-----	-----	-----

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

社員* 青柳辰巳

開始日* - 終了日* 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替精算

金融機関* サンプル銀行 サンプル支店

口座種別* 普通

口座番号* 1000000

口座名義* アヤキ 勉

- 用途
対象口座の用途を選択します。
口座情報が複数存在する場合、立替精算は1つのみ選択できます。
両方に選択なしも可能です。
- 金融機関
金融機関を選択します。
- 口座種別
口座種別を選択します。
- 口座番号
口座番号を入力します。
- 口座名義
口座の口座名義を入力します。

コラム

「従業員」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(従業員)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。





コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 社員コード
- 社員名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	社員コード	社員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本順子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

社員 * 青柳辰巳

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替積算

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * アヤキ カツミ 入力可能文字

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 社員

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

社員 * 青柳辰巳

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替積算

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * アヤキ カツミ

更新 削除 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

The screenshot shows the '従業員口座マスタメンテナンス' (Employee Account Master Maintenance) screen. A green confirmation message '登録しました。' is displayed at the top. Below it is a search bar with a '検索' (Search) button. A table lists employee data with columns for No., 社員コード (Employee Code), 社員名 (Employee Name), 開始日 (Start Date), and 終了日 (End Date).

No	社員コード	社員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	森本順子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林英義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

Navigation buttons at the bottom right: 最初へ前へ | 1 | 次へ最後へ

通勤経路マスタ

本項では、通勤経路マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- 経路検索機能
 - 経路検索
 - 経路検索解除
 - 経路情報
 - その他
 - トラブルシューティング

概要

通勤経路マスタは、経路検索時の定期区間控除情報として利用します。設定はユーザ単位で行います。

メンテナンスの他に申請機能（通勤経路変更申請）でも、通勤経路の登録、変更が可能です。



コラム

通勤経路変更申請では、最終承認後に通勤経路変更申請が登録（更新）されます。通勤経路変更申請の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「通勤経路」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 区間
移動区間（定期券区間など）を入力します。
- 補足
補足を入力します。
- 所要時間
移動区間の所要時間（分単位など）を入力します。
- 定期代（1ヶ月、3ヶ月、6か月）
それぞれの定期代を入力します。
- 連携情報
経路連携している場合、連携情報が表示されます。
- その他支給項目
定期代以外の支給項目などあれば入力します。
 - 支給内容
支給名目を入力します。
 - 支給額
支給額を入力します。

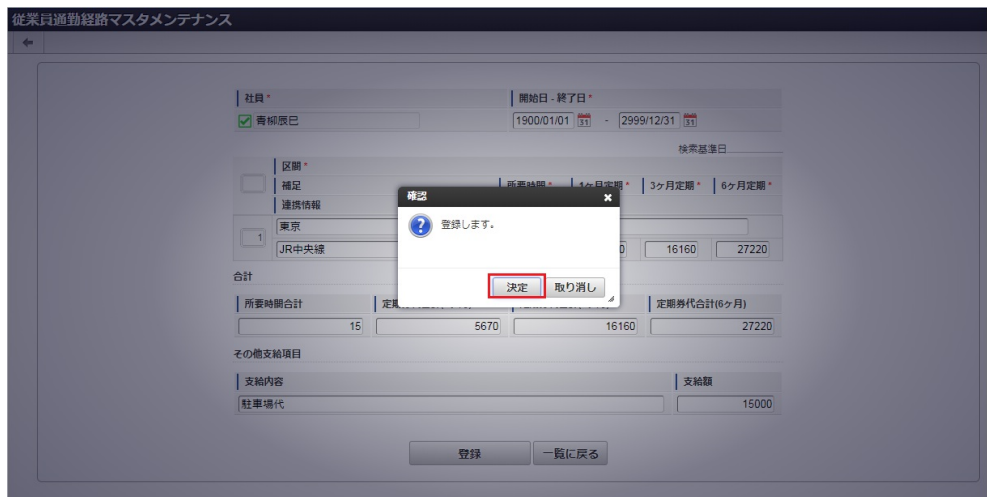
コラム

「社員」は、システム日付を検索基準日としています。

コラム

経路検索機能を利用することができます。（機能が有効になっている場合のみ）
経路検索機能の詳細は、[経路検索機能](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

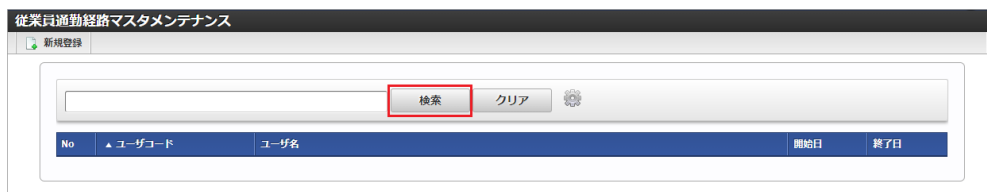


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「通勤経路」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい通勤経路の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

従業員通勤経路メンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	ユーザコード	ユーザ名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳 辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本 隆子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田 浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林 政美	1900/01/01	2999/12/31
5	akuta	生田 一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山 聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山 益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯 博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根 千香	1900/01/01	2999/12/31
10	terada	寺田 雅彦	1900/01/01	2999/12/31
11	ueda	上田 京男	1900/01/01	2999/12/31
12	yoshikawa	吉川 一哉	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

従業員通勤経路メンテナンス

社員 * 青柳辰巳 開始日 - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

検索基準日

区間 * 補足 所要時間 * 1ヶ月定期 * 3ヶ月定期 * 6ヶ月定期 *

連携情報

1 東京 - 新宿

JR中央線 15 5670 16160 27220

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
15	5670	16160	27220

その他支給項目

支給内容	支給額
駐車場代	15000

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 社員

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

従業員通勤経路メンテナンス

社員 * 青柳辰巳 開始日 - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

検索基準日

区間 * 補足 所要時間 * 1ヶ月定期 * 3ヶ月定期 * 6ヶ月定期 *

連携情報

1 東京 - 新宿

JR中央線 15 5670 16160 27220

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
15	5670	16160	27220

その他支給項目

支給内容	支給額
駐車場代	15000

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

従業員通勤経路メンテナンス 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	ユーザコード	ユーザ名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本清子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大笹博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	terada	寺田雅彦	1900/01/01	2999/12/31
11	ueda	上田原男	1900/01/01	2999/12/31
12	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

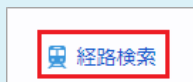
最初へ戻る 次へ最後へ

経路検索機能

経路検索機能は、駅すばあと(R)と連携して経路情報を検索・表示する機能です。
経路検索機能を利用するには、駅すばあと(R)の利用契約が必要です。

コラム

経路検索機能が利用できる場合には、以下のように「経路検索」リンクが表示されます。



経路検索

1. 経路検索をクリックします。

従業員通勤経路メンテナンス

経路検索

社員* 開始日 - 終了日*

社員 1900/01/01 計 - 2999/12/31 計

検索基準日

区間* 所要時間* 1ヶ月定期* 3ヶ月定期* 6ヶ月定期*

区間(出発地) - 区間(到着地)

所要時間合計 定期券代合計(1ヶ月) 定期券代合計(3ヶ月) 定期券代合計(6ヶ月)

0 0 0 0

その他支給項目

支給内容 支給額

支給内容 支給額

登録 一覧に戻る

2. 検索基準日、出発地/目的地を入力して「検索」をクリックします。

経路検索(powered by 駅すばあと)

検索日時: 2019/01/22 31

出発地:

目的地:

検索

閉じる

i コラム

2文字以上入力し、しばらく待つと候補が表示されますので、そこから選択することもできます。

出発地:

目的地:

駅

池袋

バス停

池袋 / 茨城コミュニティバス

池袋サンシャインB T (高速・連絡バス)

池袋サンシャインシティ / 都営バス

池袋駅 / 関東バス

池袋駅西口 / 国際興業バス

池袋駅前 (高速・連絡バス)

池袋駅東口 / 都営バス

池袋駅東口 (10番のりば) / 都営バス

池袋駅東口 / 国際興業バス

池袋四丁目 / 国際興業バス

池袋車庫 / 関東バス

池袋車庫 / 国際興業バス

池袋小学校 / 国際興業バス

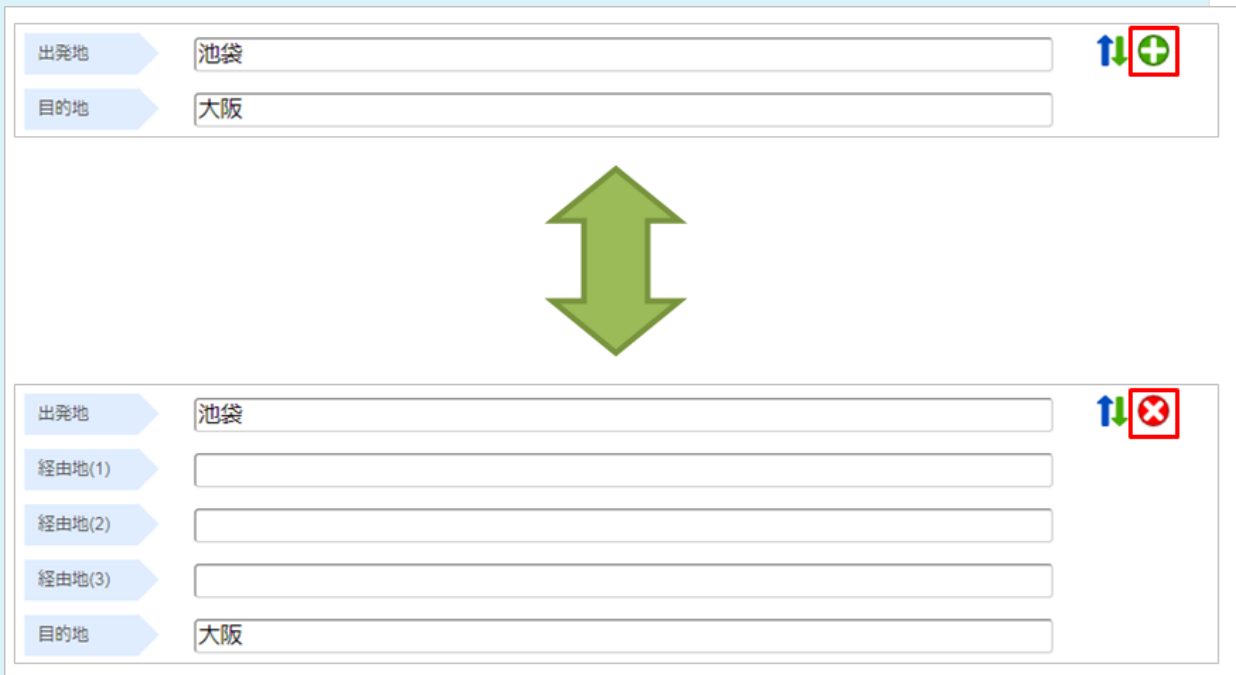
池袋二丁目 / 関東バス

池袋二丁目 / 国際興業バス

池袋二又交番 / 関東バス

i コラム

以下のアイコンをクリックすると経由地の表示・非表示を切り替えることができます。

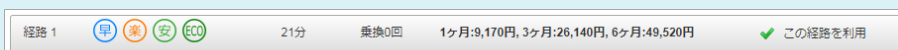


3. 検索された中から今回利用する「この経路を利用」をクリックし、検索結果を反映させます。



i コラム

以下のバーをクリックすると、経路の詳細が開閉します。



4. 経路結果が反映されました。

従業員通勤経路メンテナンス

経路検索

社員 * 開始日 - 終了日 *
 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]
検索基準日 2019/01/22

区間 *
 補足 | 所要時間 * | 1ヶ月定期 * | 3ヶ月定期 * | 6ヶ月定期 *

連携情報
 練馬 - 都庁前
 補足 21 9170 26140 49520
再検索 早 安 ECO 詳細を表示 連携解除

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
21	9170	26140	49520

その他支給項目

支給内容	支給額
<input type="text" value="支給内容"/>	<input type="text" value="支給額"/>

登録 一覧に戻る

i コラム

経路検索後は次の項目が編集不可項目に変化します。
 経路検索解除で編集可能に変化します。

- 区間
- 所要時間
- (1ヶ月、3ヶ月、6か月)

区間 *
 補足 | 所要時間 * | 1ヶ月定期 * | 3ヶ月定期 * | 6ヶ月定期 *

連携情報
 練馬 - 都庁前
 補足 21 9170 26140 49520
再検索 早 安 ECO 詳細を表示 連携解除

経路検索解除

1. 「解除」をクリックします。

従業員通勤経路メンテナンス

経路検索

社員 * 開始日 - 終了日 *
 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]
検索基準日 2019/01/22

区間 *
 補足 | 所要時間 * | 1ヶ月定期 * | 3ヶ月定期 * | 6ヶ月定期 *

連携情報
 練馬 - 都庁前
 補足 21 9170 26140 49520
再検索 早 安 ECO 詳細を表示 連携解除

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
21	9170	26140	49520

その他支給項目

支給内容	支給額
<input type="text" value="支給内容"/>	<input type="text" value="支給額"/>

登録 一覧に戻る

2. 解除されました。

コラム

経路検索結果との連携は解除されますが、区間、所要時間、定期代（1ヶ月、3ヶ月、6か月）はクリアされずに残ります。

コラム

「再検索」をクリックすると、再度経路検索画面が表示されます。

経路情報

1. 「詳細を表示」で経路情報の詳細を表示できます。

その他

経路検索アイコン

アイコン 意味



探索結果中で最も早い経路



探索結果中で6か月定期代が最も安い経路




探索結果中で最も楽な経路



探索結果中で最も二酸化炭素排出量が少ない経路

アイコン 意味

 特急を利用

 バスを利用

 飛行機を利用

 船を利用

 コラム

アイコンがグレーの場合はその意味をなさないことを表します。

住所を使用した検索

出発地、目的地に住所を入力すると、最寄りの駅が1件表示されます。
住所を入力する際は、都道府県から町・字までは必ず入力してください。



住所を使用して検索する際、範囲を指定して検索できます。
下記の通り入力した場合、入力した住所から半径1000m以内の駅が表示されます。



ダイヤ検索

駅すばあと検索条件設定マスタの設定により、「ダイヤ検索」が実施できます。

検索方法を「出発日時」、「到着日時」、「始発電車」、「最終電車」の中から選択してください。

「出発日時」または「到着日時」で検索する場合、「時計アイコン」をクリックすると、時刻テキストボックスに現在時刻を設定します。

詳細設定検索

駅すばあと検索条件設定マスタの設定により「詳細設定」が表示されます。
 「詳細設定」をクリックすると、詳細設定の表示・非表示を切り替えることができます。

複数の検索基準日

経路が2つ以上ある場合、検索基準日をそろえる必要があります。
 これは、「早」「安」「楽」を判定するのに用いた日付であり、「いつの時点で安いと判定したのか？」を承認者が参照するためのものです。

従業員通勤経路メンテナンス

経路検索

社員: [社員ID] | 開始日 - 終了日: [1900/01/01] - [2999/12/31]

検索基準日: [検索基準日] 複数

区間: [] | 所要時間: [] | 1ヶ月定期: [] | 3ヶ月定期: [] | 6ヶ月定期: []

連携情報

1 線路: [] | 所要時間: 38 | 9900 | 26220 | 53460

2 線路: [] | 所要時間: 21 | 9170 | 26140 | 49520

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
59	19070	54360	102980

その他支給項目

支給内容: [] | 支給額: []

登録 | 一覧に戻る

i コラム

検索基準日は経路検索する際に指定します。

検索日時: [2019/01/22] [31]

定期券として利用できない経路

経路に特急やバスなどが含まれる場合は、「定期券としては利用できない経路です。」と表示されます。

1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月すべての定期代が取得できなかった場合このような判定になるためです。

i コラム

バス会社によっては6ヶ月定期の取り扱いがない場合があります。

経路検索[powered by 駅すばあと]

検索日時: [2019/01/22] [31]

出発地: [湘南台駅東口 / 神奈川中央交通]

目的地: [横浜医療センター / 神奈川中央交通]

検索

経路 1: [早][茶][安][ECO] 56分 乗換1回 定期代(定期券としては利用できない経路です。) ✓ この経路を利用

検索基準日: 2019/01/22
合計時間: 56分(乗車: 13分、徒歩: 0分、ほか: 43分)
定期代(定期券としては利用できない経路です。)

① 湘南台駅東口 / 神奈川中央交通

10分 神奈川中央交通・湘2 7

横浜薬大南門 / 神奈川中央交通

3分 神奈川中央交通・戸5 5

② 横浜医療センター / 神奈川中央交通

経路 2: [茶] 1時間5分 乗換1回 定期代(定期券としては利用できない経路です。) ✓ この経路を利用

経路 3: [茶] 1時間18分 乗換2回 定期代(定期券としては利用できない経路です。) ✓ この経路を利用

経路 4: [茶][安] 1時間28分 乗換1回 定期代(定期券としては利用できない経路です。) ✓ この経路を利用

閉じる

! 注意

「定期券としては利用できない経路です。」となっても、特にエラーなく登録できますが、旅程明細にて交通費を計算する際に定期券控除をしようとしても控除できない場合があります。

トラブルシューティング

- **E102:駅名が見つかりません。**
駅名が見つからないか、同じ名前が複数あるなど特定できない場合に表示されるエラーです。

E102 : 駅名が見つかりません。(大宮)

入力して候補を表示させ、その候補の中から選択してください。

出発地	大宮
目的地	<ul style="list-style-type: none">  駅 大宮(埼玉県) 大宮(京都府)  バス停 大宮/京福バス 大宮/京都交通 大宮(熊取)/南海バス 大宮/淡路交通 大宮/和歌山バスグループ 大宮/広島交通 大宮/広島電鉄バス 大宮/静岡コミュニティバス 大宮/愛知コミュニティバス 大宮/京都コミュニティバス 大宮/兵庫コミュニティバス 大宮3丁目/山形コミュニティバス 大宮4丁目/山形コミュニティバス 大宮アルディージャクラブハウス前/東武バス 大宮インター入口/千葉中央バス

- **E20003:住所が存在しないか、解釈できない住所です。**
住所が解釈できない際に表示されるエラーです。

E20003 : 住所が存在しないか、解釈できない住所です。(aa)

住所または駅名を入力してください。

- **E20003:住所が曖昧です。住所は市区町村より具体的に指定してください。**
住所が解釈できない際に表示されるエラーです。

E20003 : 住所が曖昧です。住所は市区町村より具体的に指定してください。(東京都杉並区)

住所を入力する際は、都道府県から町・字までは必ず入力してください。

フィルタリング設定

本項では、フィルタリング設定の設定方法を説明します。

- 概要
- マスタメンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- 絞り込み条件
 - 例①：フィルタリング設定を行わない場合
 - 例②：コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合
 - 例③：ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合
 - 例④：コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合
- フィルタ対応表

概要

フィルタリング設定は、検索機能で表示するマスタデータを絞り込む条件として利用します。設定可能なフィルタ区分、マスタ区分は次の通りです。

- フィルタ区分
 - コンテンツ (コンテンツバージョンID)
 - ガジェット
- マスタ区分
 - 経費区分マスタ

i コラム

フィルタリング設定は入力補助機能です。

各検索項目に、絞り込み対象外のマスタデータが設定された場合でも、入力チェックエラーにはなりません。

i コラム

絞り込みの詳細は、[絞り込み条件](#)を参照してください。

フィルタ区分に設定可能なデータは、[フィルタ対応表](#)を参照してください。

マスタメンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「フィルタリング設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

検索 クリア

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
----	--------------	----------	------	-------	-------

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

フィルタリングコード * 000000

フィルタリング名 *
 日本語 サンプル
 英語 Sample
 中国語 (中華人民共和国) 特品

対象機能 * ガジェット
 旅程明細

対象マスタ * 経費区分マスタ

<input type="checkbox"/>	経費区分 *	勘定科目	税区分
<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(0%)
<input type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(0%)

登録 一覧に戻る

- フィルタリングコード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- フィルタリング名

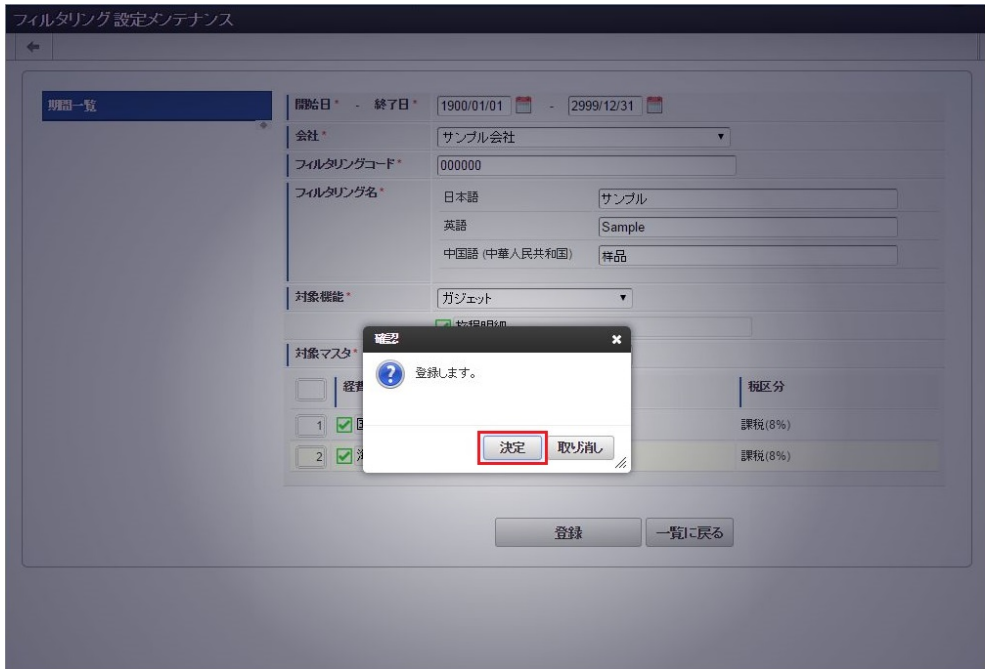
フィルタリングの名称を入力します。

- 対象機能
フィルタリング対象の機能を選択します。
- 対象マスタ
フィルタリング対象のマスタ、およびマスタデータを選択します。

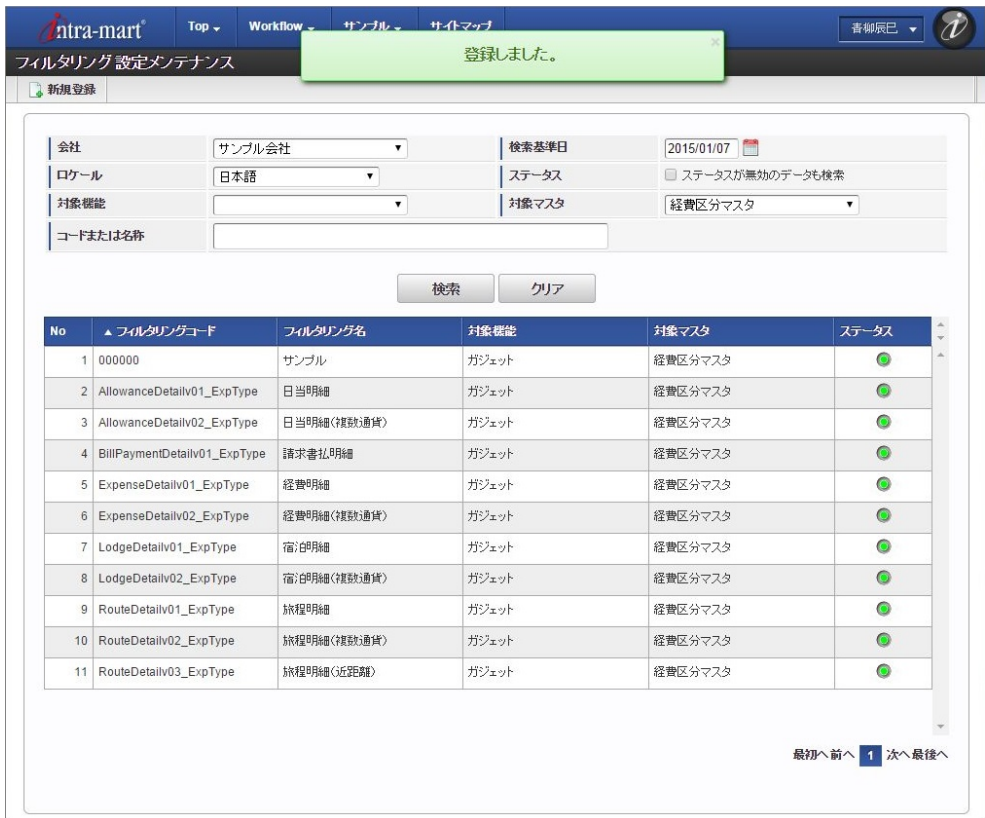
i コラム

「経費区分」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「フィルタリング設定」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

検索 クリア

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
----	--------------	----------	------	-------	-------

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

検索 クリア

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
1	000000	サンプル	ガジェット	経費区分マスタ	
2	AllowanceDetailv01_ExpType	日当明細	ガジェット	経費区分マスタ	
3	AllowanceDetailv02_ExpType	日当明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	
4	BillPaymentDetailv01_ExpType	請求書払明細	ガジェット	経費区分マスタ	
5	ExpenseDetailv01_ExpType	経費明細	ガジェット	経費区分マスタ	
6	ExpenseDetailv02_ExpType	経費明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	
7	LodgeDetailv01_ExpType	宿泊明細	ガジェット	経費区分マスタ	
8	LodgeDetailv02_ExpType	宿泊明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	
9	RouteDetailv01_ExpType	旅程明細	ガジェット	経費区分マスタ	
10	RouteDetailv02_ExpType	旅程明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	
11	RouteDetailv03_ExpType	旅程明細(近距離)	ガジェット	経費区分マスタ	

最初へ前へ 1 次へ最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#) を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

フィルタリングコード * 000000

フィルタリング名 *

日本語 サンプル

英語 Sample

中国語 (中華人民共和国) 样品

対象機能 * ガジエット

旅程明細

対象マスタ * 経費区分マスタ

経費区分 *	勘定科目	税区分
<input checked="" type="checkbox"/> 1 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
<input checked="" type="checkbox"/> 2 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(8%)

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- フィルタリング設定コード
- 対象機能
- 対象マスタ

i コラム

フィルタリング対象のマスタは編集不可項目ですが、フィルタリング対象のマスタデータは編集可能です。

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

フィルタリング 設定メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

フィルタリングコード * 000000

フィルタリング名 *

日本語 サンプル

英語 Sample

中国語 (中華人民共和国) 样品

対象機能 * ガジエット

旅程明細

対象マスタ *

経費区分 *

経費区分 *	勘定科目	税区分
<input checked="" type="checkbox"/> 1 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
<input checked="" type="checkbox"/> 2 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(8%)

更新 削除 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 書物戻已

フィルタリング 設定メンテナンス 更新しました。

新規登録

会社: サンプル会社 検索基準日: 2015/01/07
 ロケール: 日本語 ステータス: ステータスが無効のデータも検索
 対象機能: 対象マスタ: 経費区分マスタ
 コードまたは名称:

検索 クリア

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
1	000000	サンプル	ガジェット	経費区分マスタ	●
2	AllowanceDetailv01_ExpType	日当明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
3	AllowanceDetailv02_ExpType	日当明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
4	BillPaymentDetailv01_ExpType	請求書払明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
5	ExpenseDetailv01_ExpType	経費明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
6	ExpenseDetailv02_ExpType	経費明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
7	LodgeDetailv01_ExpType	宿泊明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
8	LodgeDetailv02_ExpType	宿泊明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
9	RouteDetailv01_ExpType	旅程明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
10	RouteDetailv02_ExpType	旅程明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
11	RouteDetailv03_ExpType	旅程明細(近距離)	ガジェット	経費区分マスタ	●

最初へ前へ 1 次へ最後へ

絞り込み条件

マスタデータの絞り込みは、対象の検索機能がいずれかのフィルタリング設定に合致した場合に有効になり、複数のフィルタリング設定に該当する場合は、AND条件として絞り込まれます。

本項では、旅費精算申請の経費区分マスタ検索を例に、フィルタリング設定のマスタデータの絞り込み方法を説明します。

コラム

旅費精算申請のフィルタ区分は、コンテンツです。

旅費精算申請には次のガジェットが含まれているものとします。

- 旅程明細
- 宿泊明細
- 日当明細
- 経費明細

経費区分マスタには次のマスタデータのみが登録されているものとします。

- 国内出張
- 国内宿泊日当
- 国内宿泊代・実費精算
- 海外出張 国内移動
- 海外出張 航空費
- 海外宿泊日当
- 海外出張 海外移動
- 海外宿泊代・実費精算
- 消耗品費
- 雑費

例①：フィルタリング設定を行わない場合

フィルタリング設定を行わない場合（フィルタリング設定が登録されていない場合）は、各フィルタ区分の設定は、全てのマスタデータをフィルタリング対象にした設定です。

フィルタリング設定（○：設定済み）

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張					
国内宿泊日当					
国内宿泊代・実費精算					
海外出張 国内移動					
海外出張 航空費					
海外宿泊日当					
海外出張 海外移動					
海外宿泊代・実費精算					
消耗品費					
雑費					

検索対象 (○: 検索対象)

マスターデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○	○	○
国内宿泊日当	○	○	○	○
国内宿泊代・実費精算	○	○	○	○
海外出張 国内移動	○	○	○	○
海外出張 航空費	○	○	○	○
海外宿泊日当	○	○	○	○
海外出張 海外移動	○	○	○	○
海外宿泊代・実費精算	○	○	○	○
消耗品費	○	○	○	○
雑費	○	○	○	○

コラム

フィルタリング設定を行わない場合、全てのマスターデータが検索対象です。

例②: コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合

コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合（ガジェットにフィルタリング設定を登録していない場合）は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定：設定したマスターデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定：全てのマスターデータを対象とする。

フィルタリング設定 (○: 設定済み)

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○				
国内宿泊日当	○				
国内宿泊代・実費精算	○				
海外出張 国内移動					
海外出張 航空費					
海外宿泊日当					
海外出張 海外移動					
海外宿泊代・実費精算					
消耗品費					

雑費	○
----	---

検索対象 (○: 検索対象)

マスタデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○	○	○
国内宿泊日当	○	○	○	○
国内宿泊代・実費精算	○	○	○	○
海外出張 国内移動				
海外出張 航空費				
海外宿泊日当				
海外出張 海外移動				
海外宿泊代・実費精算				
消耗品費				
雑費	○	○	○	○

例③: ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合

ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合（コンテンツにフィルタリング設定を登録していない場合）は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定：全てのマスタデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定：設定したマスタデータを対象とする。

フィルタリング設定 (○: 設定済み)

マスタデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張		○			
国内宿泊日当				○	
国内宿泊代・実費精算			○		
海外出張 国内移動		○			
海外出張 航空費		○			
海外宿泊日当				○	
海外出張 海外移動		○			
海外宿泊代・実費精算			○		
消耗品費					○
雑費					○

検索対象 (○: 検索対象)

マスタデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○			
国内宿泊日当			○	
国内宿泊代・実費精算		○		
海外出張 国内移動	○			
海外出張 航空費	○			
海外宿泊日当			○	
海外出張 海外移動	○			
海外宿泊代・実費精算		○		
消耗品費				○

雑費	○
----	---

例④：コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合

コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定：設定したマスターデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定：設定したマスターデータを対象とする。

フィルタリング設定（○：設定済み）

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○			
国内宿泊日当	○			○	
国内宿泊代・実費精算	○		○		
海外出張 国内移動		○			
海外出張 航空費		○			
海外宿泊日当				○	
海外出張 海外移動		○			
海外宿泊代・実費精算			○		
消耗品費					○
雑費	○				○

検索対象（○：検索対象）

マスターデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○			
国内宿泊日当			○	
国内宿泊代・実費精算		○		
海外出張 国内移動				
海外出張 航空費				
海外宿泊日当				
海外出張 海外移動				
海外宿泊代・実費精算				
消耗品費				
雑費				○

フィルタ対応表

各フィルタ区分で対応しているフィルタリング設定を説明します。

- コンテンツ

コンテンツ	コンテンツID	経費区分マスタ
経費事前申請	gnexpadv_v01	○
経費精算申請	gnexpstl_v01	○
出張事前申請	trexpadv_v01	○
旅費精算申請	trexpstl_v01	○
交際費事前申請	etexpadv_v01	○
交際費精算申請	etexpstl_v01	○

経費事前申請（多通貨）	gnexpadv_v02	○
経費精算申請（多通貨）	gnexpstl_v02	○
出張事前申請（多通貨）	trexpadv_v02	○
旅費精算申請（多通貨）	trexpstl_v02	○
旅費精算申請（近距離）	trexpstl_v03	○
交際費事前申請（多通貨）	etexpadv_v02	○
交際費精算申請（多通貨）	etexpstl_v02	○
経費支払申請	billpayment_v01	○
口座変更申請	bankaccount_v01	
通勤経路変更申請	commroute_v01	
汎用申請	general_v01	



コラム

上記の表は初期データで登録されるコンテンツのみを一覧化しています。

- ガジェット

ガジェット	ガジェットクラス	バリエーション	経費区分マスタ
経費旅費情報（概算費用あり）	expenseInfo	v01	
経費旅費情報（概算費用なし）	expenseInfo	v02	
出張(旅費)情報（概算費用あり）	expenseInfo	v03	
出張(旅費)情報（概算費用なし）	expenseInfo	v04	
備考	generic	v01	
費用合計（合計値表示のみ）	generic	v02	
仮払情報	advance	v01	
精算情報	settle	v01	
精算情報（精算のみ）	settle	v02	
旅程明細	routeDetail	v01	○
旅程明細（複数通貨）	routeDetail	v02	○
旅程明細（近距離）	routeDetail	v03	○
経費明細	expenseDetail	v01	○
経費明細（複数通貨）	expenseDetail	v02	○
宿泊明細	lodgeDetail	v01	○
宿泊明細（複数通貨）	lodgeDetail	v02	○
日当明細	allowanceDetail	v01	○
日当明細（複数通貨）	allowanceDetail	v02	○
交際情報	entertainmentDetail	v01	
請求書払情報	billPaymentInfo	v01	
請求書払明細	billPaymentDetail	v01	○
会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01	
費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01	
通勤経路	chgCommRoute	v01	
従業員口座	chgEmpBank	v01	

本項では、プロジェクトマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
 - プロジェクト別アサイン編集
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート

概要

プロジェクトマスタは、経費や旅費、仮払金などの計上先として利用します。
 経費や旅費を申請する際にこのプロジェクトに紐づけておくと、仕訳データ作成時に計上先としてこのプロジェクトが出力されます。
 メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

コラム

経費や旅費の計上先としては、プロジェクトの他に **部門(組織)** があります。

申請書に以下のような明細が含まれている場合、
 “13,240円” が選択されたプロジェクトの旅費交通費として計上されます。

旅程明細				
日付*	利用区間*	補足		
経費区分*	勘定科目	税区分	部門	プロジェクト
支払分類*	支払先	片道金額*		
経路検索連携	金額*			
1	2014/04/01	新宿	新大阪	
<input checked="" type="checkbox"/>	国内出張	旅費交通費	課税(5%)	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム株式会...
立替				13240
			<input type="checkbox"/> 往復	13240

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 分類
プロジェクトの分類を選択します。
分類が「ワークフロー利用」のプロジェクトのみ、ワークフロー機能で利用できます。
- プロジェクトコード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- プロジェクト名
プロジェクトの名称を入力します。
- 上位プロジェクト
プロジェクトに親子関係がある場合、親プロジェクトを選択します。
- 主管組織セット
プロジェクトの主管組織セットを選択します。
- 主管組織
プロジェクトの主管組織を選択します。



コラム

「上位プロジェクト」、「主管組織セット」、「主管組織」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいプロジェクトの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 分類
- プロジェクトコード
- プロジェクト名
- 上位プロジェクト

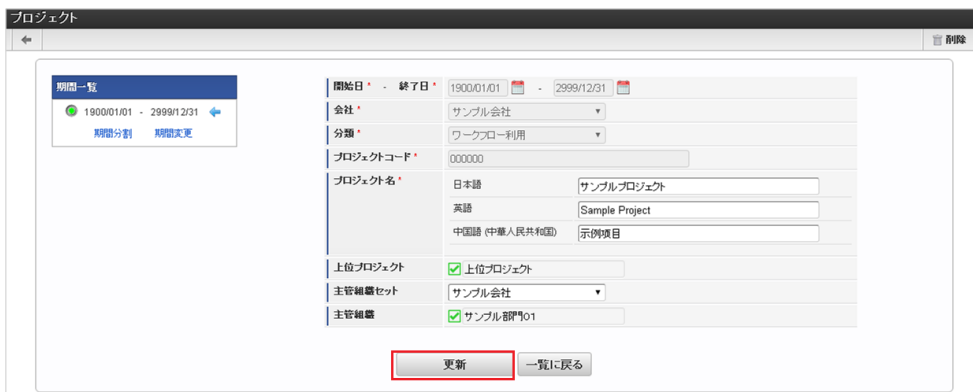
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



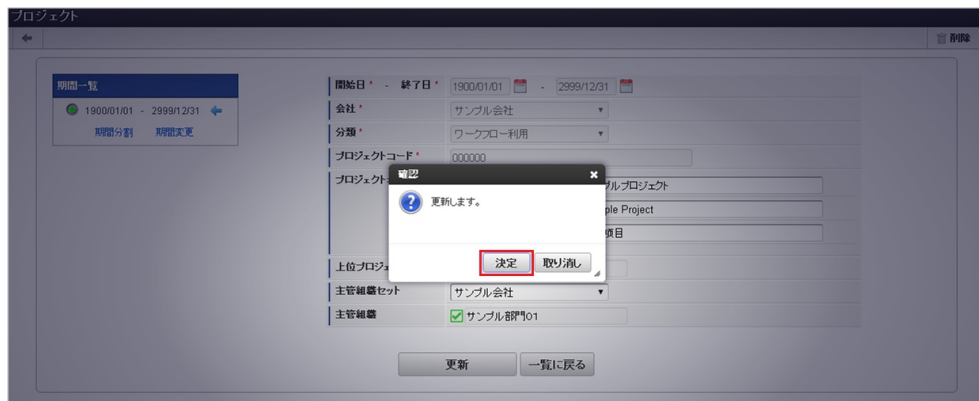
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 分類
- プロジェクトコード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



プロジェクト別アサイン編集

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。
2. 一覧画面で「プロジェクト別アサイン編集」をクリックします。



3. プロジェクト別アサイン編集画面が表示されます。



コラム

プロジェクトアサインマスタは、現状のワークフローにおいては利用されません。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	プロジェクトコード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	プロジェクト名	○	250	
7	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）
8	会社コード (上位プロジェクト)		100	
9	プロジェクトコード (上位プロジェクト)		100	



コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。



コラム

プロジェクトの分類、上位プロジェクトの分類は、自動的に「ワークフロー利用」が設定されます。
プロジェクト、上位プロジェクトの分類を指定したい場合や、主管組織を設定したい場合は、
『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』のプロジェクトのインポートを参照してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプルプロジェクト","0","",""
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Project","0","",""
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","样品项目","0","",""
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/project_workflow

ファイル名 import.csv

i コラム

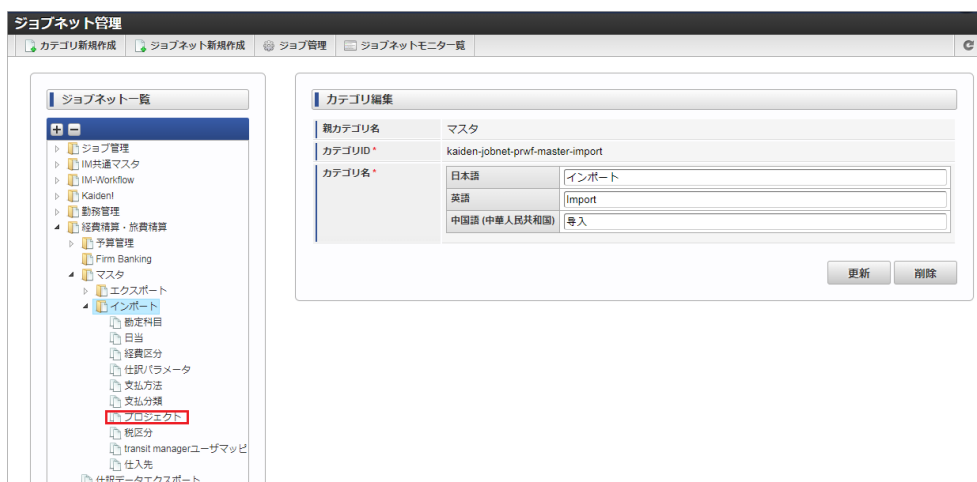
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「プロジェクト」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

キー	値	削除
import_mode	1	✖
start_date		✖
end_date		✖
shift_date		✖
company_cd		✖

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

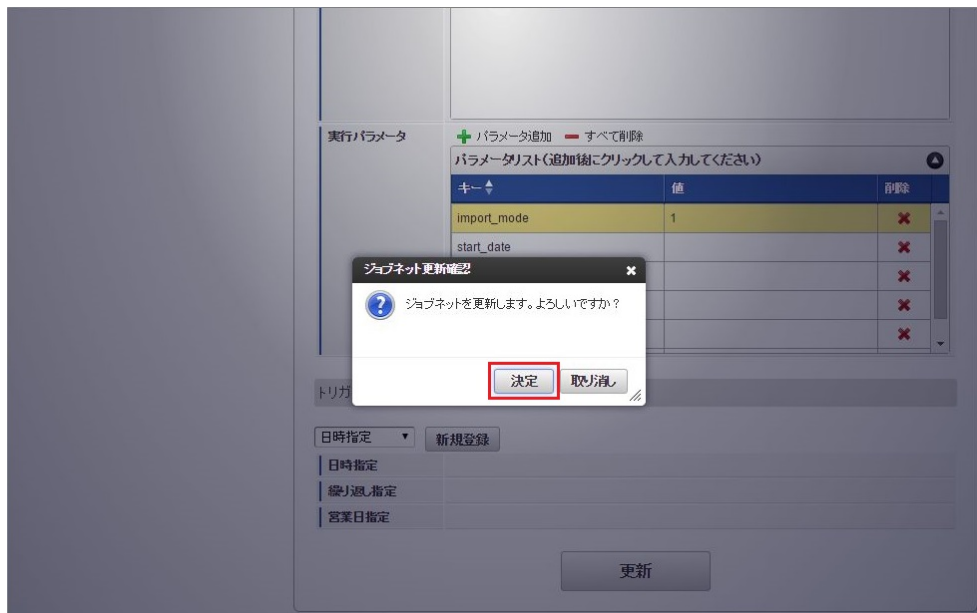
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-project	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / プロジェクト

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/project_workflow/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/project_workflow/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 プロジェクトマスタインポートの場合はジョブ設定の実行パラメータに「project_workflow」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

i コラム

エクスポート機能は『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』のプロジェクトのエクスポートを参照してください。

! 注意

『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』に従いエクスポートしたプロジェクトのデータ形式は、本項のインポートのデータ形式と異なります。

エクスポートしたファイルをインポートする場合、データ形式の編集が必要になります。

税区分マスタ

本項では、税区分マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

税区分マスタは、課税・非課税・不課税などの税区分を管理します。

経費や旅費の申請時には、この税区分を直接入力するのではなく、経費区分（勘定科目と税区分のセット）を指定します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「税区分」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 税区分コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 税区分名
税区分の名称を入力します。
- 税率(%)
税率を小数点なしの最大2桁で入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「税区分」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい税区分の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 税区分コード
- 税区分名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

税区分

新規登録

検索 クリア

No	税区分コード	税区分名	税率(%)
1	000000	サンプル税	8
2	V0	不課税	0
3	V10	課税(10%)	10
4	V5	課税(5%)	5
5	V8	課税(8%)	8
6	VA	非課税	0
7	VY	輸入仕入	0

最初へ前へ 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

税区分

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

税区分コード * 000000

税区分名 *

日本語 サンプル税

英語 Sample Tax

中国語 (中華人民共和国) 样品税

税率(%) * 8

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 税区分コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

税区分

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

税区分コード * 000000

税区分名 *

日本語 サンプル税

英語 Sample Tax

中国語 (中華人民共和国) 样品税

税率(%) * 8

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ

更新しました。

税区分

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

税区分コード * 000000

税区分名 *

日本語 サンプル税

英語 Sample Tax

中国語 (中華人民共和国) 样品税

税率(%) * 8

更新 一覧に戻る

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	税区分コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	税区分名	○	250	
5	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
7	税率	○	28	
8	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル税","1900/01/01","2999/12/31","10","0"
"comp_sample_01","000000","en","Sample Tax","1900/01/01","2999/12/31","10","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","品税","1900/01/01","2999/12/31","10","0"
```

 コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tax_type

ファイル名 import.csv

i コラム

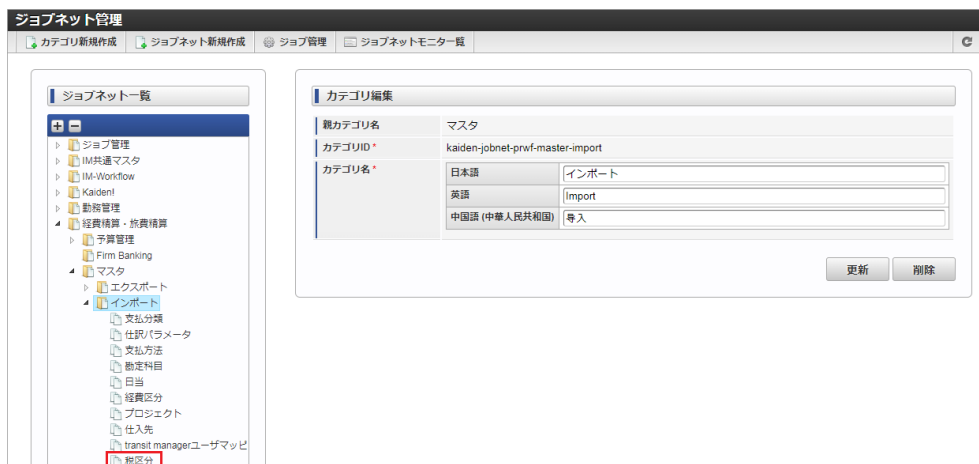
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

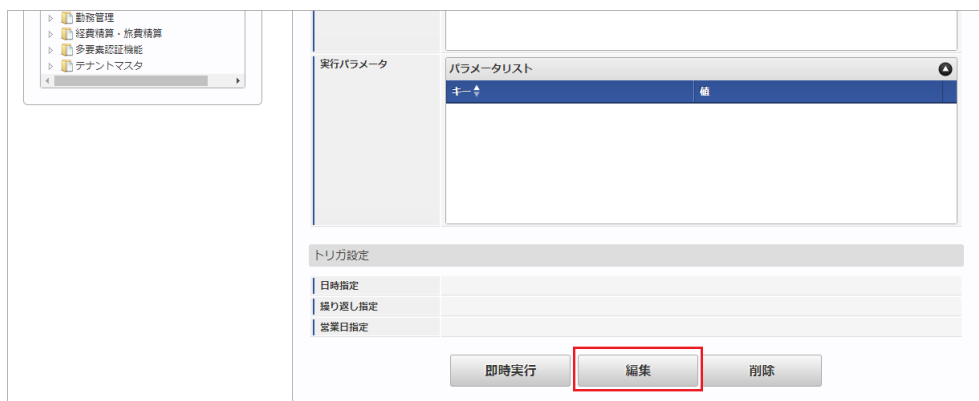
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

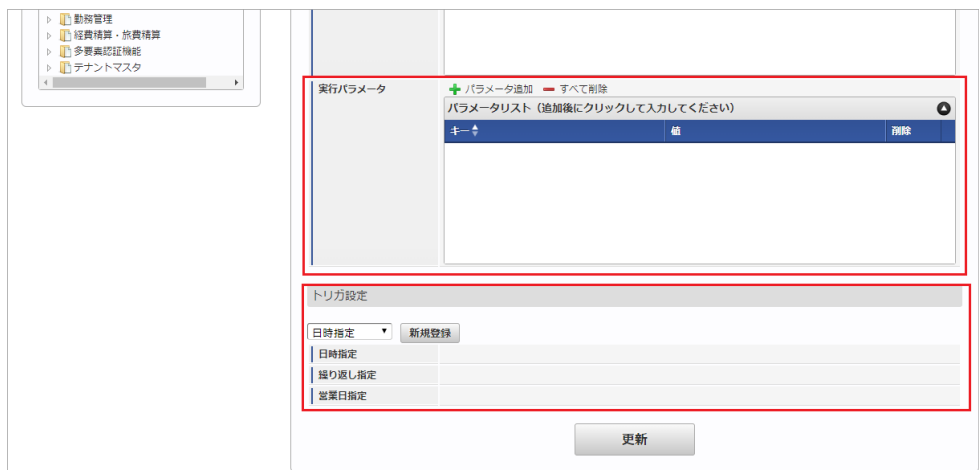
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「税区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

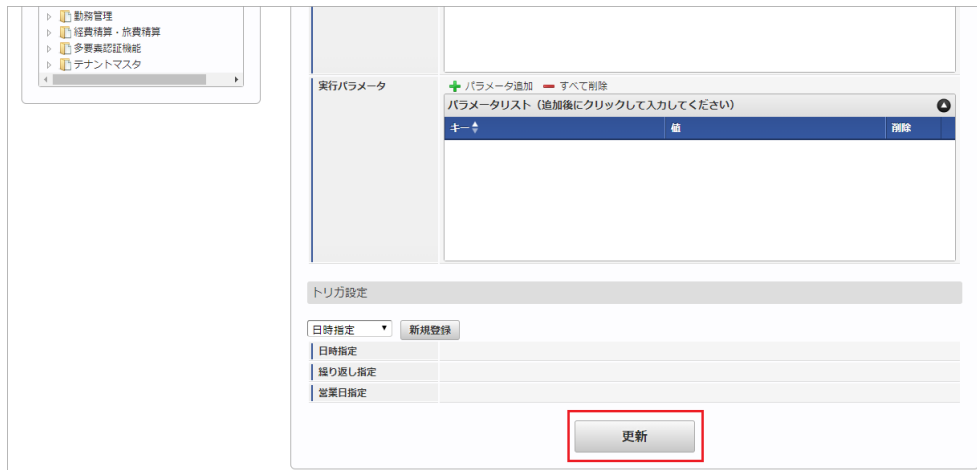
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

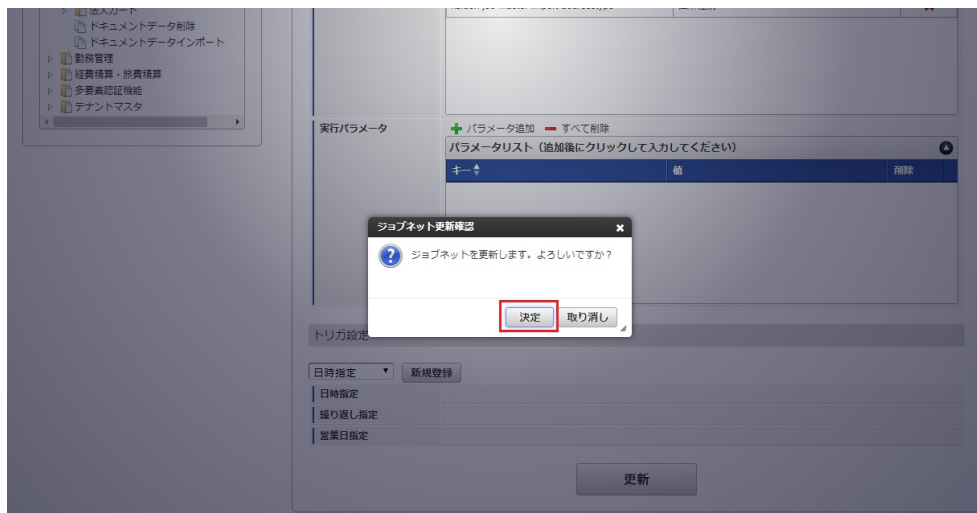
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-taxtype	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / 税区分

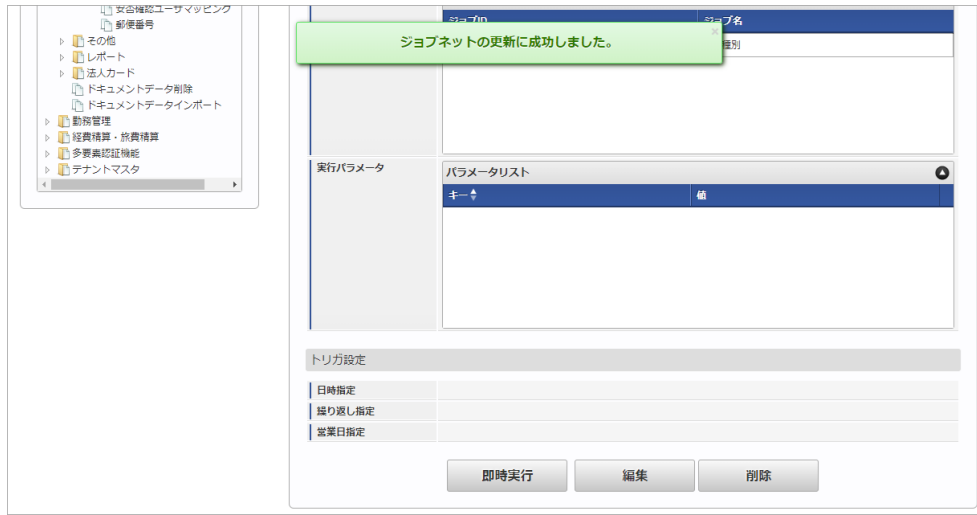
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tax_type/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tax_type/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 税区分マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tax_type」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

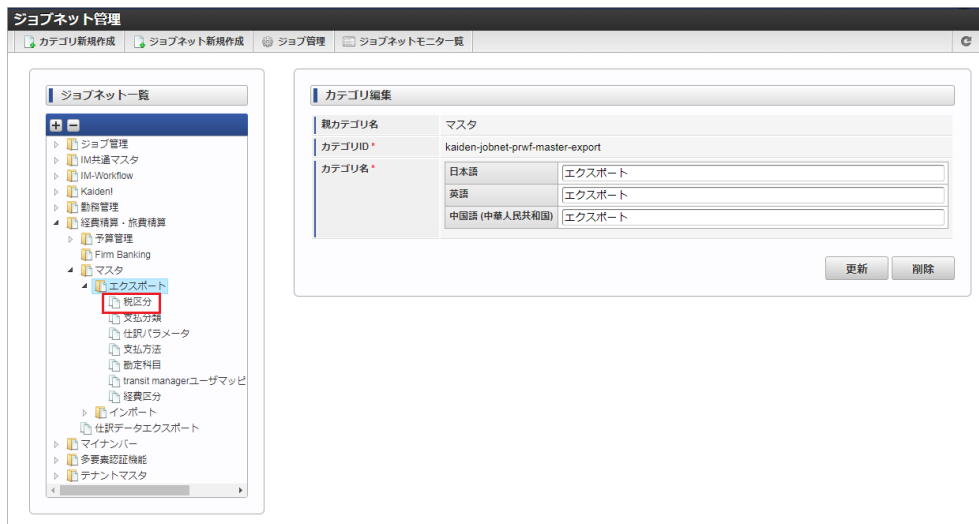
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

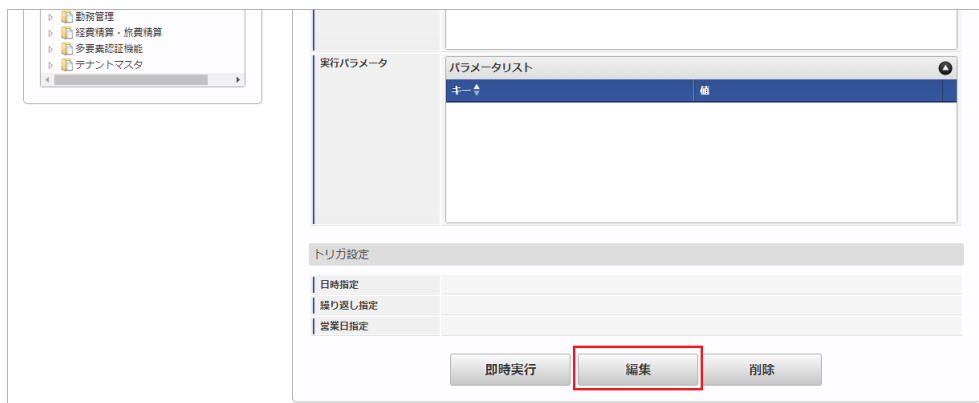
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

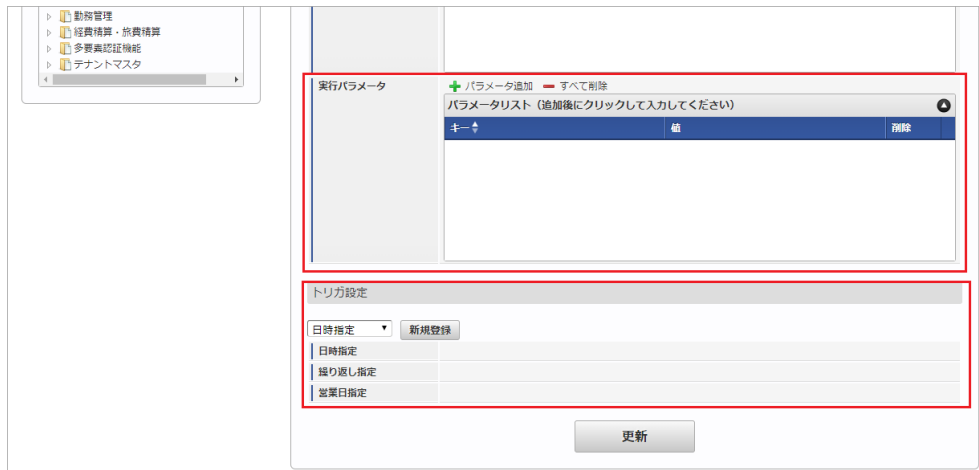
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「税区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

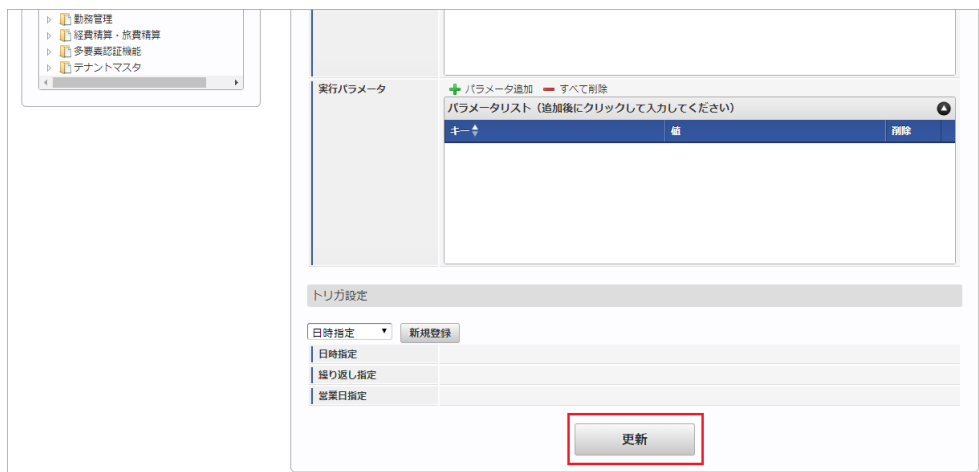
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

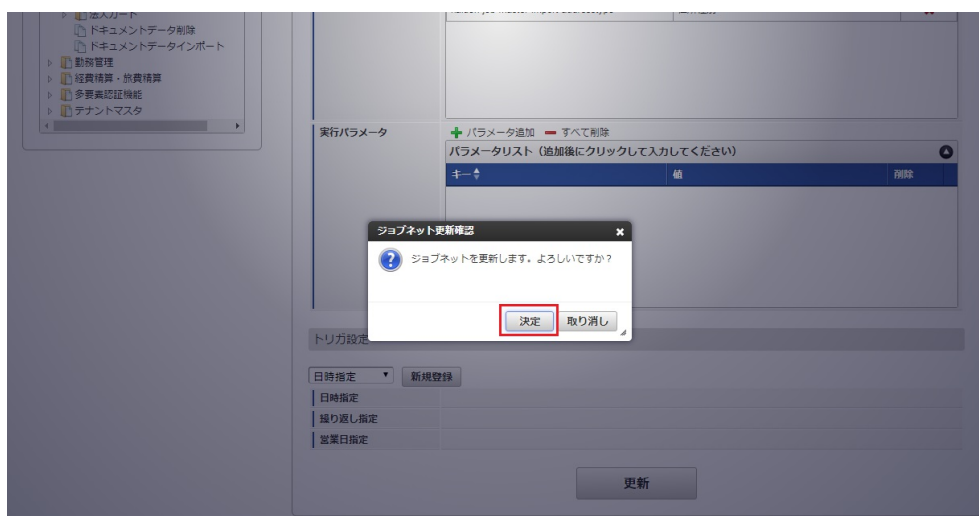
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-taxtype	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 税区分

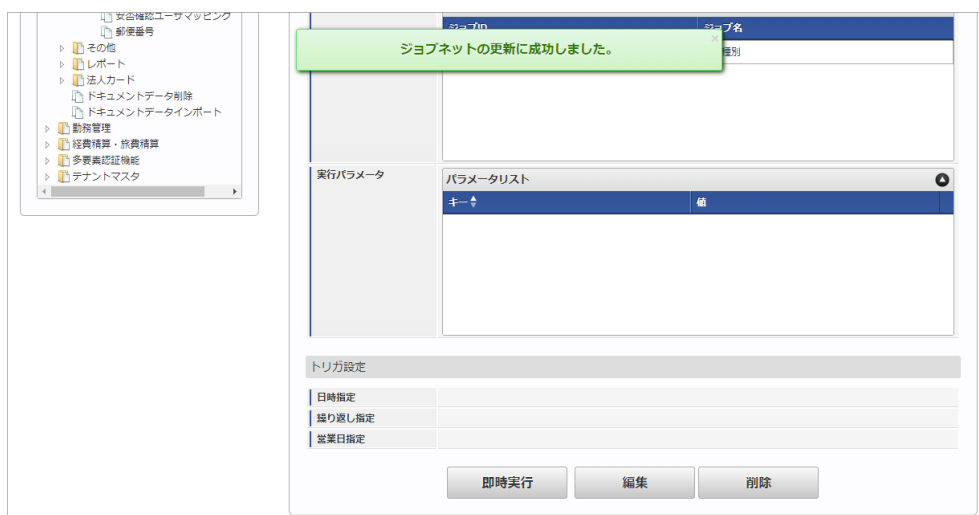
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/generic/master/tax_type/`

ファイル名 `export.csv`



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
taxTypeCd	税区分コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
taxTypeName	税区分名	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
taxRate	税率	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時 : kaiden/generic/master/tax_type/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tax_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 税区分マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tax_type」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

勘定科目マスタ

本項では、勘定科目マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

勘定科目マスタは、消耗品費、旅費交通費などの勘定科目を管理するためのものです。

経費や旅費の申請時には、この勘定科目を直接入力するのではなく、経費区分 (勘定科目と勘定科目のセット) を指定します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「勘定科目」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

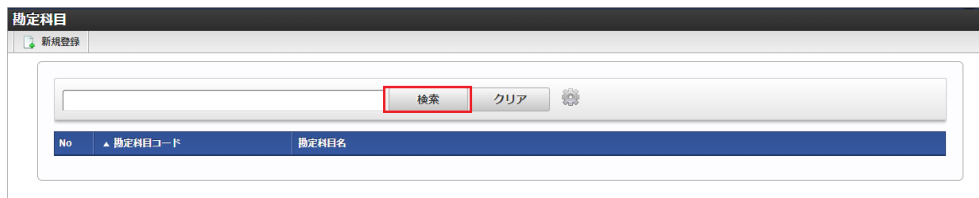
- 勘定科目コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 勘定科目名
勘定科目の名称を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「勘定科目」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

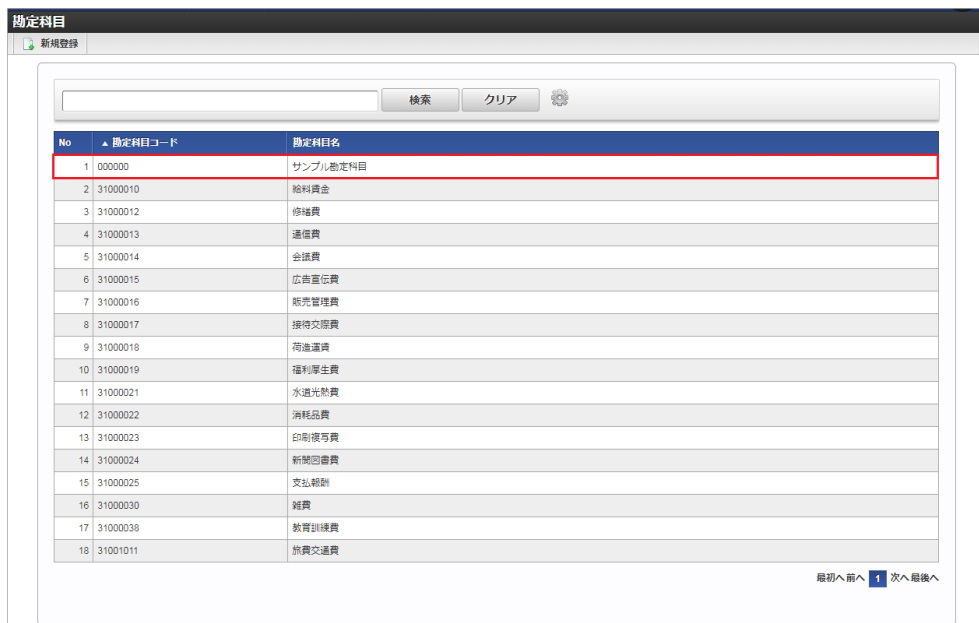


i コラム

検索欄に検索したい勘定科目の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 勘定科目コード
- 勘定科目名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



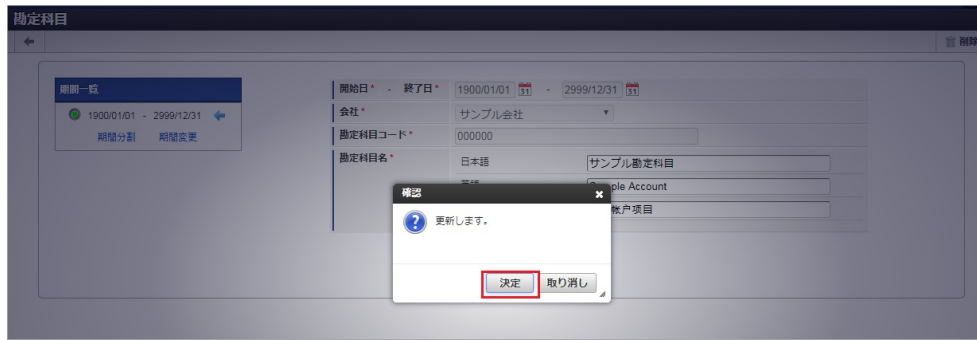
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 勘定科目コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 ""

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	勘定科目コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	勘定科目名	○	250	

7	削除フラグ	○	1	0:有効 1:無効(論理削除)
---	-------	---	---	--------------------

コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル勘定科目","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Account","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","品目科目","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/account

ファイル名 import.csv

コラム

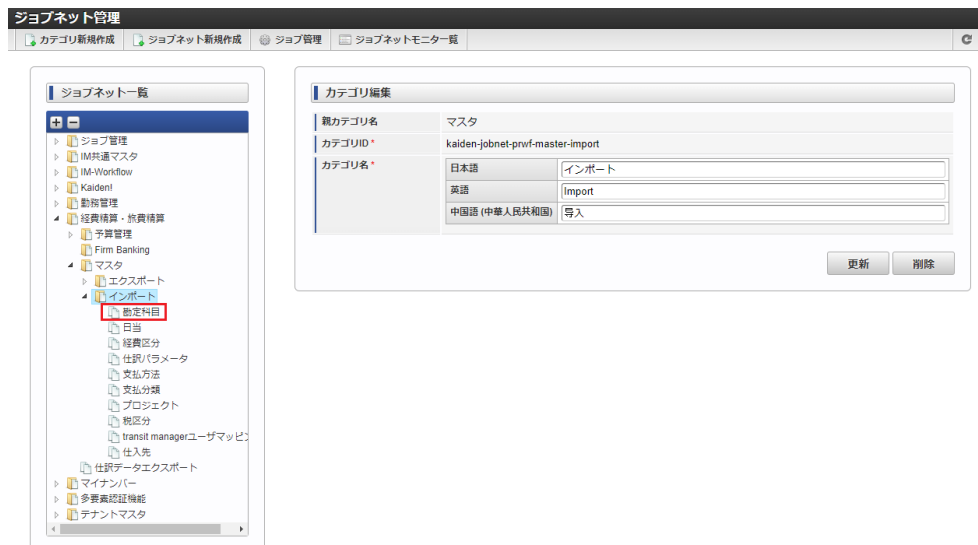
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧(画面左部)の「勘定科目」をクリックします。



ジョブネット管理

カテゴリ編集

親カテゴリ名: マスタ

カテゴリID*: kaiden-jobnet-prvf-master-import

カテゴリ名*

日本語	インポート
英語	Import
中国語(中華人民共和國)	导入

更新 削除

- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

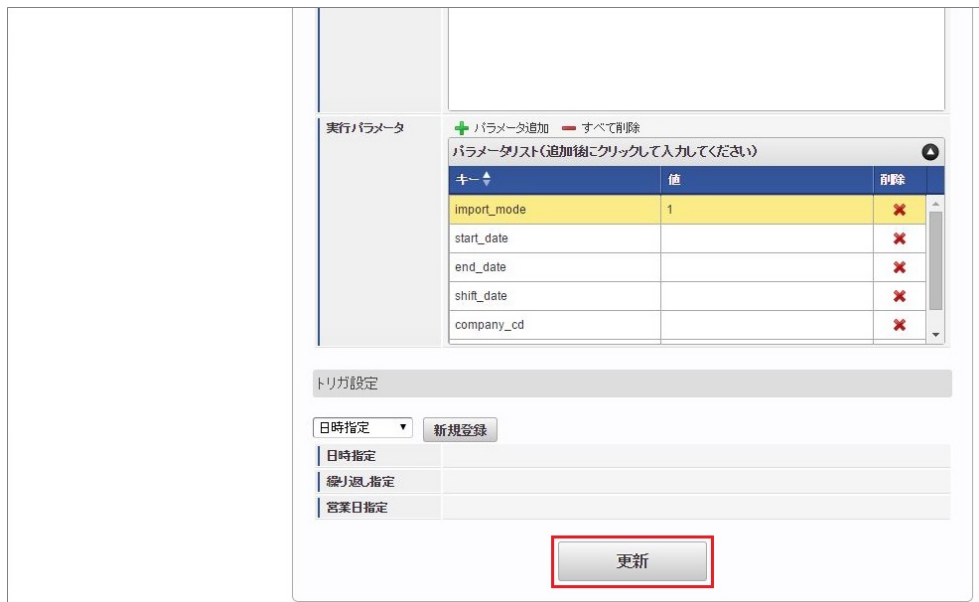
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

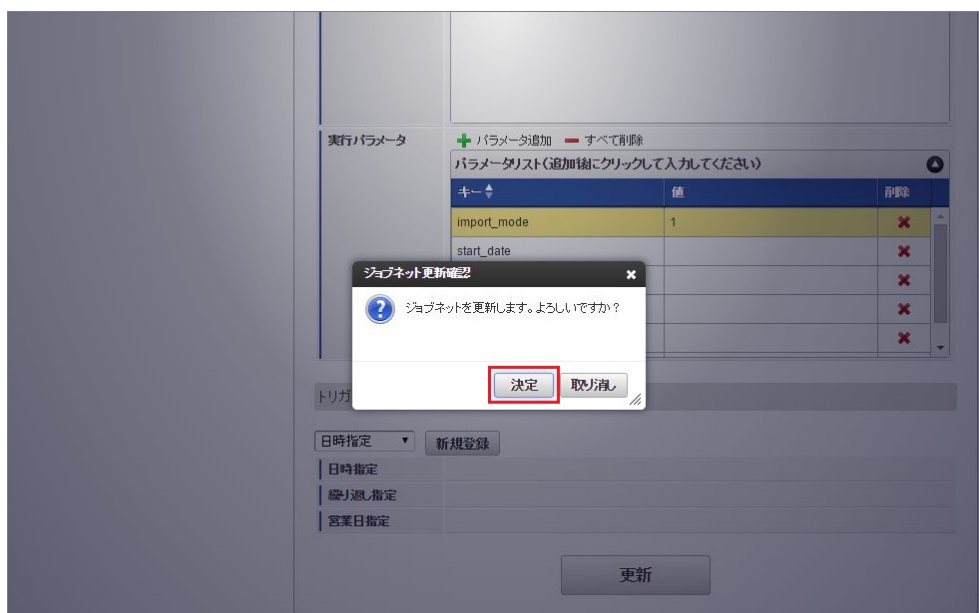
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-account	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 勘定科目

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/account/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/account/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ■ ,：カンマ ■ \t：タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 勘定科目マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「account」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

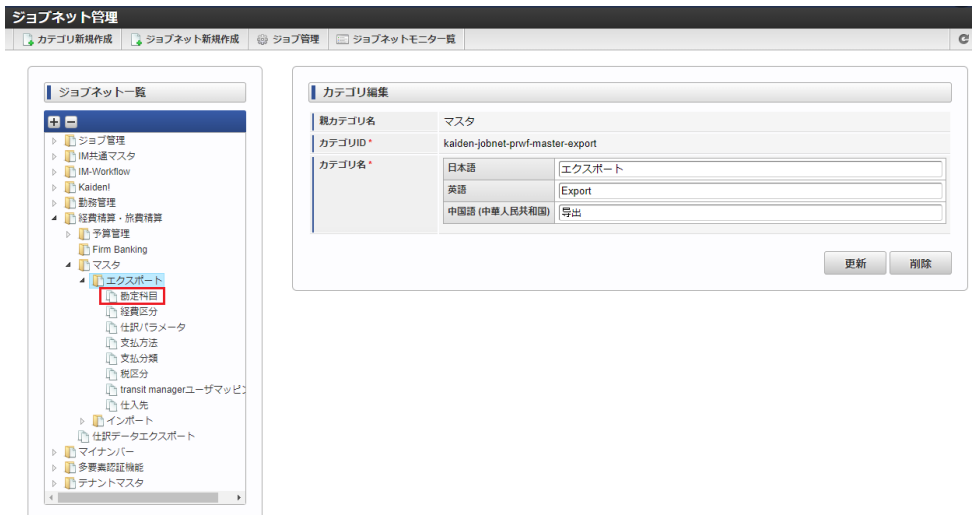
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

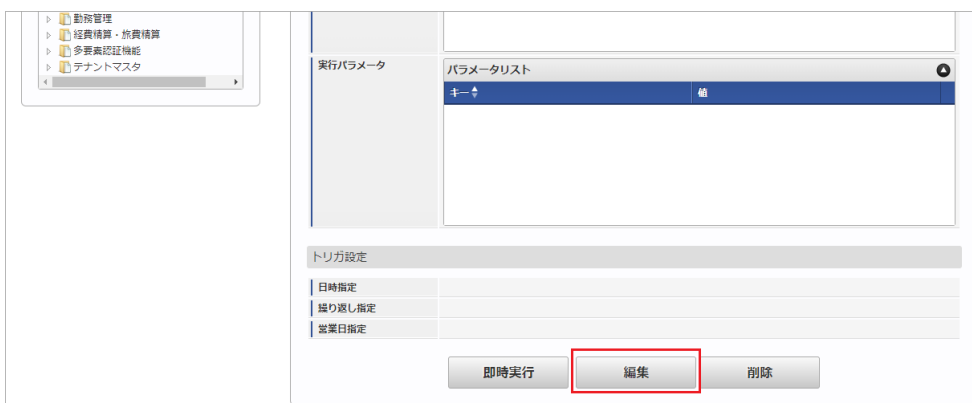
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

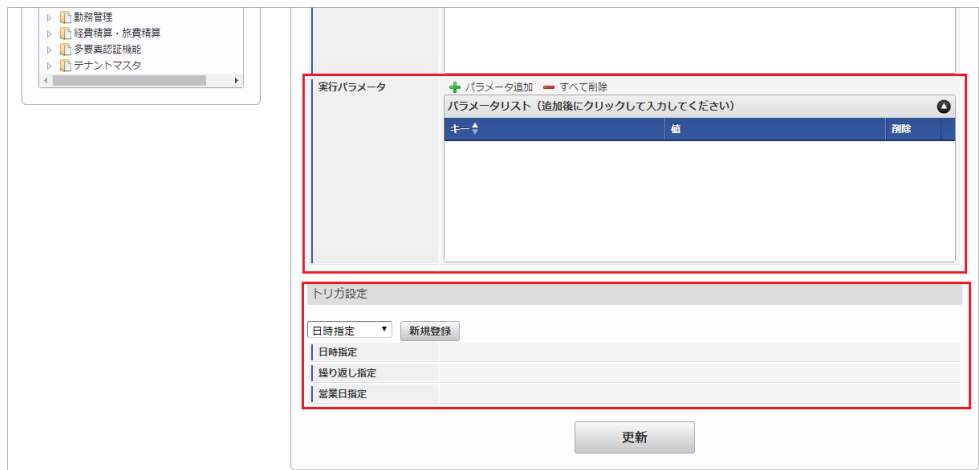
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「勘定科目」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

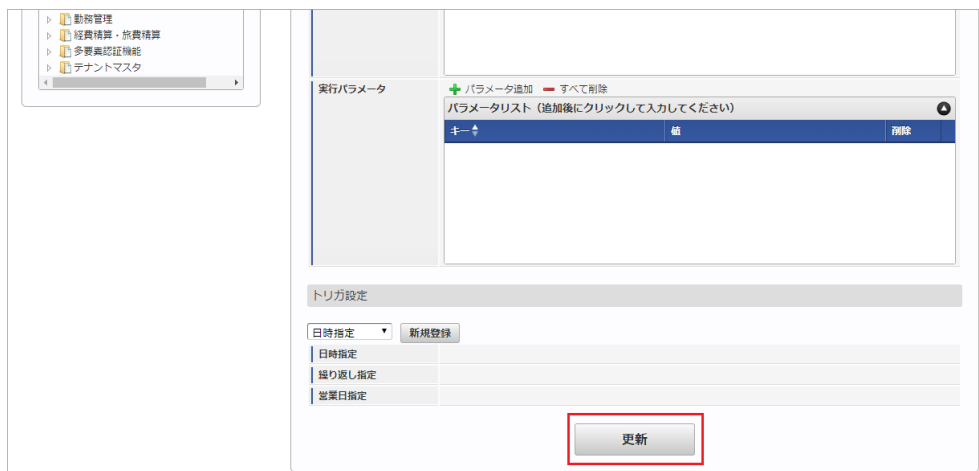
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

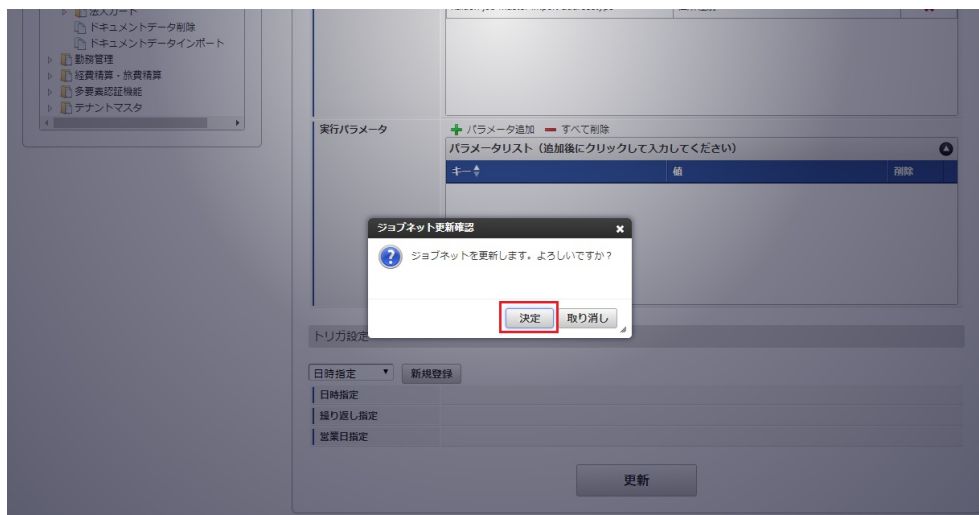
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-account	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 勘定科目

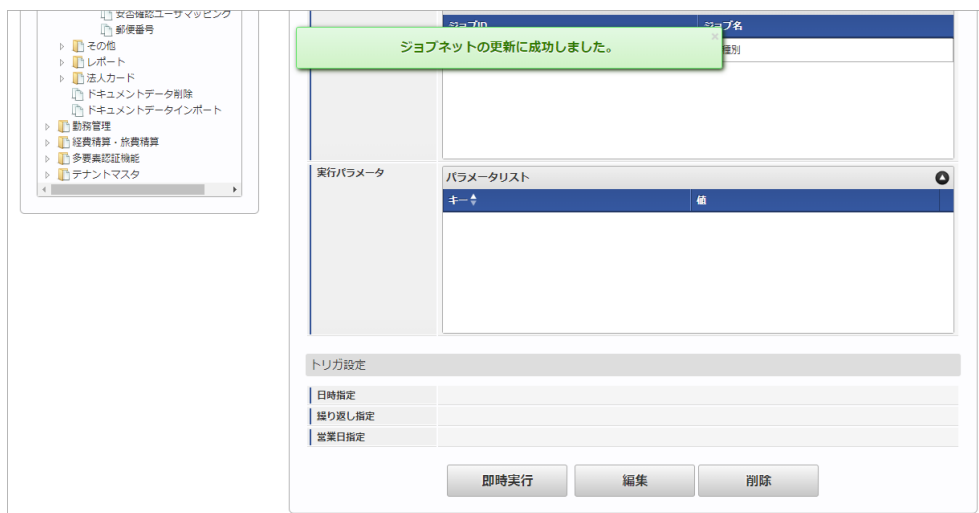
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/account/

ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
accountCd	勘定科目コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
accountName	勘定科目名	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/account/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/account/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ": ダブルクォーテーション none: 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true: ヘッダー出力有 false: ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 勘定科目マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「account」を設定しています。</p>

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

経費区分マスタ

本項では、経費区分マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

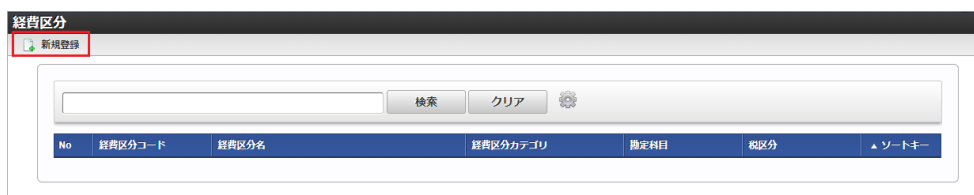
経費区分マスタは、経費区分と税区分の組み合わせを管理します。
仕訳(科目・税区分)に詳しくない方でもわかりやすい名称を付けておくことで、入力の間違いを防ぐことができます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「経費区分」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 経費区分コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 経費区分名
経費区分の名称を入力します。
- 経費区分カテゴリ
経費区分を種類によってカテゴリ化したい場合に、任意の文字列を入力します。
※現状では特に利用されません。
- 勘定科目
経費区分として紐づけたい勘定科目を選択します。
- 税区分
経費区分として紐づけたい税区分を選択します。
- 検索キーワード
検索用のキーワードを入力します。

i コラム

「勘定科目」、「税区分」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「経費区分」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

経費区分

新規登録

検索 クリア

No	経費区分コード	経費区分名	経費区分カテゴリ	勘定科目	税区分	▲ソートキー
----	---------	-------	----------	------	-----	--------

i コラム

検索欄に検索したい経費区分の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 経費区分コード
- 経費区分名
- 検索キーワード

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

経費区分

新規登録

検索 クリア

No	経費区分コード	経費区分名	経費区分カテゴリ	勘定科目	税区分	▲ソートキー
1	000000	サンプル経費区分	経費	サンプル勘定科目	サンプル税	1
2	20100002	近距離交通費	近距離交通費	旅費交通費	課税(0%)	20100002
3	20100003	国内出張	国内旅費	旅費交通費	課税(0%)	20100003
4	20100004	国内宿泊当	国内旅費	旅費交通費	課税(0%)	20100004
5	20100005	国内宿泊代・実費精算	国内旅費	旅費交通費	課税(0%)	20100005
6	30100001	海外出張 国内移動	海外旅費	旅費交通費	課税(0%)	30100001
7	30100002	海外出張 航空費	海外旅費	旅費交通費	課税(0%)	30100002
8	30100003	海外宿泊当	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100003
9	30100008	海外出張 海外移動	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100008
10	30100009	海外宿泊代・実費精算	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100009
11	30200001	社内研修時の旅費	国内旅費	教育訓練費	課税(0%)	30200001
12	31000001	コピー・写真代	印刷複写	新聞図書費	課税(0%)	31000001
13	31000002	本・雑誌・地図代	新聞図書	印刷複写費	課税(0%)	31000002
14	31000003	新聞購読料	新聞図書	印刷複写費	課税(0%)	31000003
15	31000005	資格取得・更新	教育訓練費	教育訓練費	課税(0%)	31000005
16	31000006	社内研修費用	教育訓練費	教育訓練費	課税(0%)	31000006

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

経費区分

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日* 終了日* 1900/01/01 2999/12/31

会社* サンプル会社

経費区分コード* 000000

経費区分名*

日本語 サンプル経費区分

英語 Sample Expense Type

中国語 (中華人民共和国) 样品費用类型

経費区分カテゴリ 経費

勘定科目* サンプル勘定科目

税区分* サンプル税

検索キーワード sample

ソートキー* 1

更新 一覧に戻る

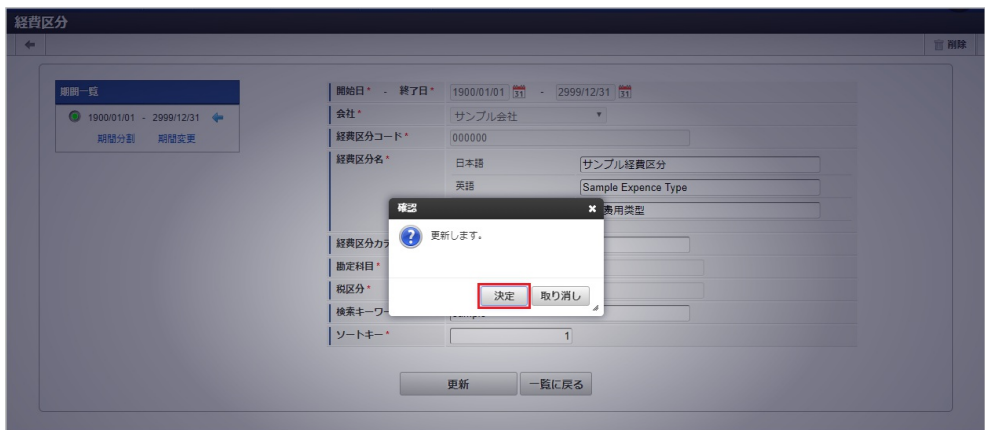
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 経費区分コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	経費区分コード	○	100	

3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	経費区分名	○	250	
7	経費区分カテゴリ		250	
8	勘定科目コード	○	100	
9	税区分コード	○	100	
10	ソートキー	○	15	
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル経費区分","","31001011","V8","0","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Expense Type","","31001011","V8","0","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","商品区分","","31001011","V8","0","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

コラム

MasterBuilderの定義ファイルを編集することでデータ形式に「検索キーワード」を追加することができます。
MasterBuilderの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」に格納しています。
追加方法の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! MasterBuilder 設定ガイド』-「基本」-「MasterBuilder定義」-「インポート設定」を参照して実施してください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/exp_type

ファイル名 import.csv

コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

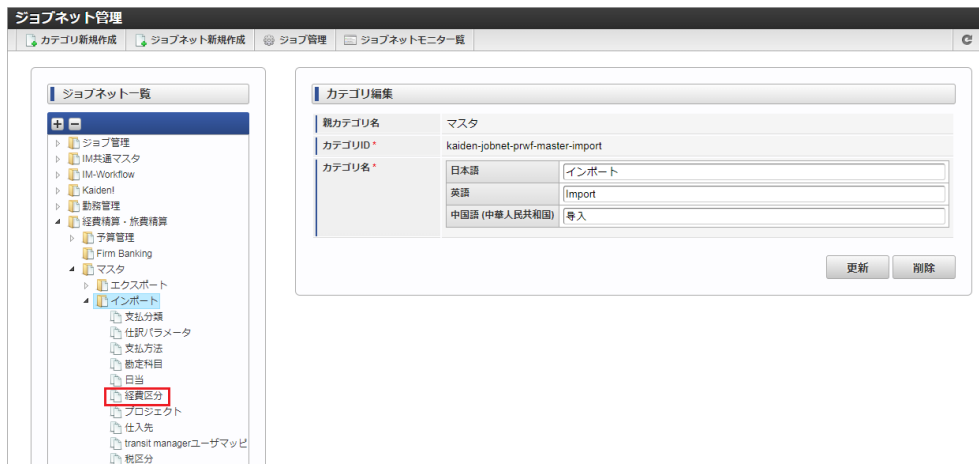
- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。

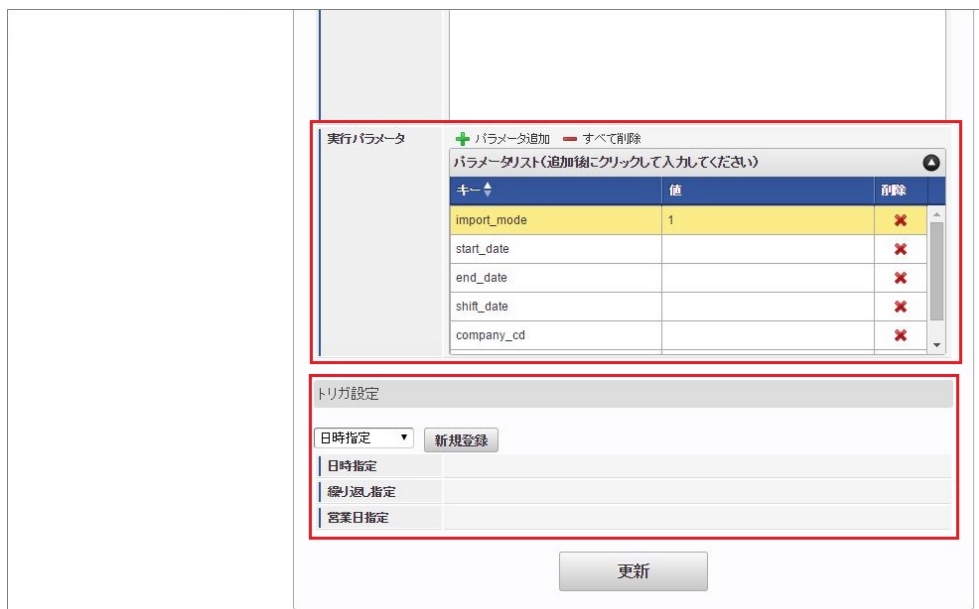
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「経費区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-exptype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 経費区分

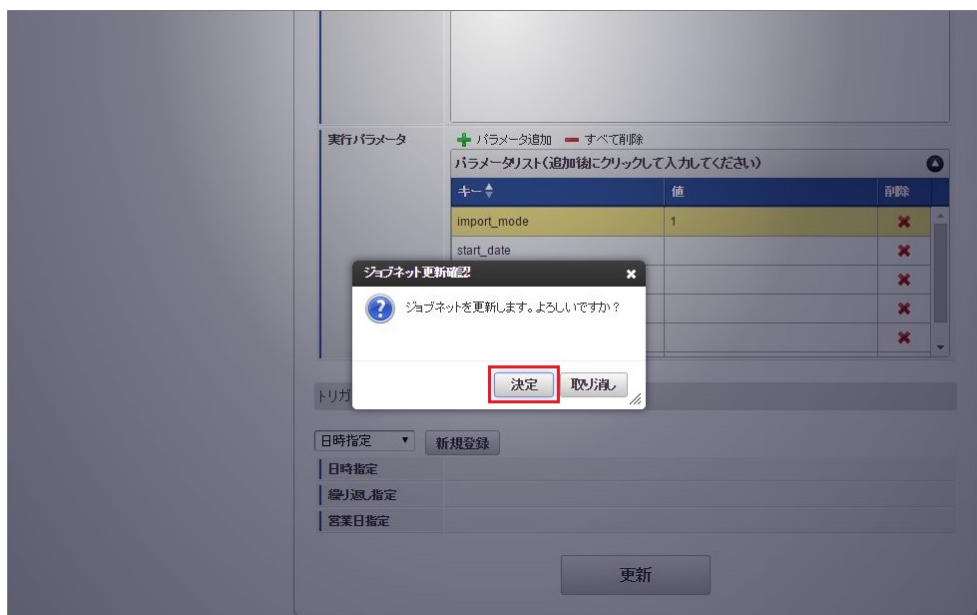
5. 編集後、「更新」をクリックします。



The screenshot shows the '実行パラメータ' (Execution Parameters) section with a table of parameters. The 'import_mode' parameter is set to '1'. Below the table, there are sections for 'トリガ設定' (Trigger Settings) with options for '日時指定' (Date/Time), '繰り返し指定' (Repeat), and '営業日指定' (Business Day). At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangular box.


キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



The screenshot shows the same job configuration screen as in step 5, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog contains the question 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?) and two buttons: '決定' (Confirm) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red rectangular box.

7. ジョブネットが設定されました。




コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , :カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 経費区分マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「exp_type」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

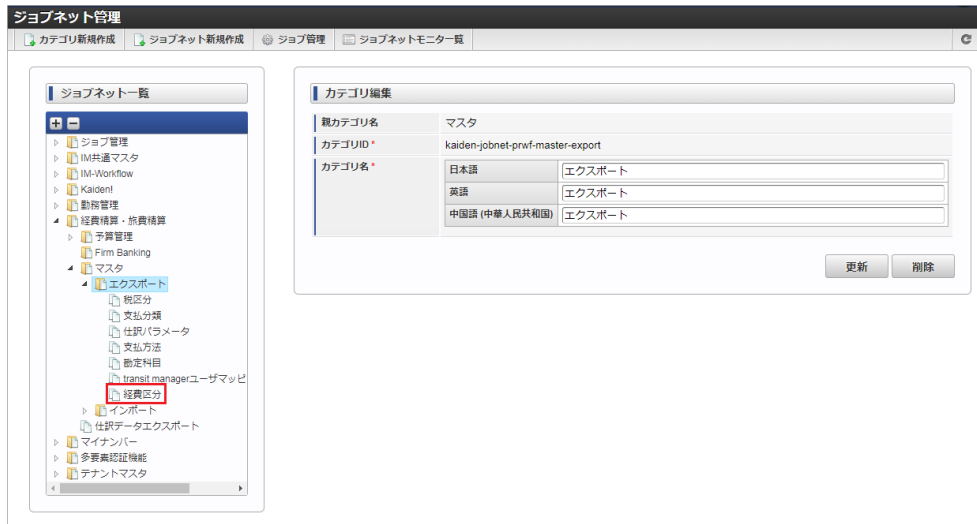
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

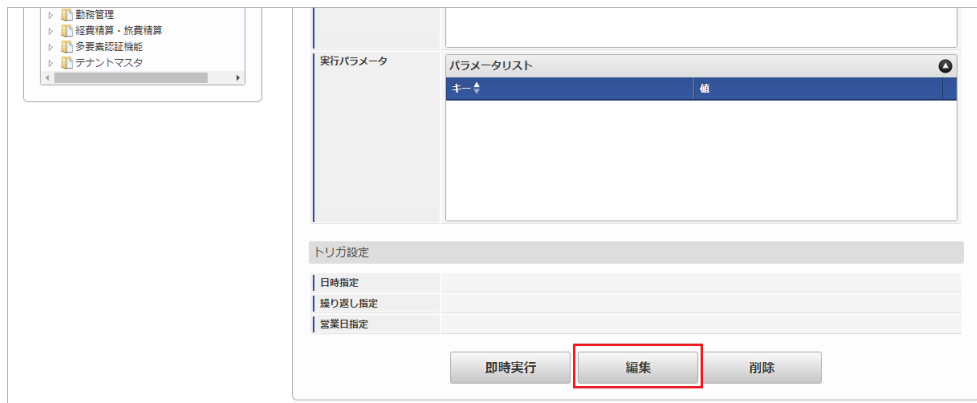
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

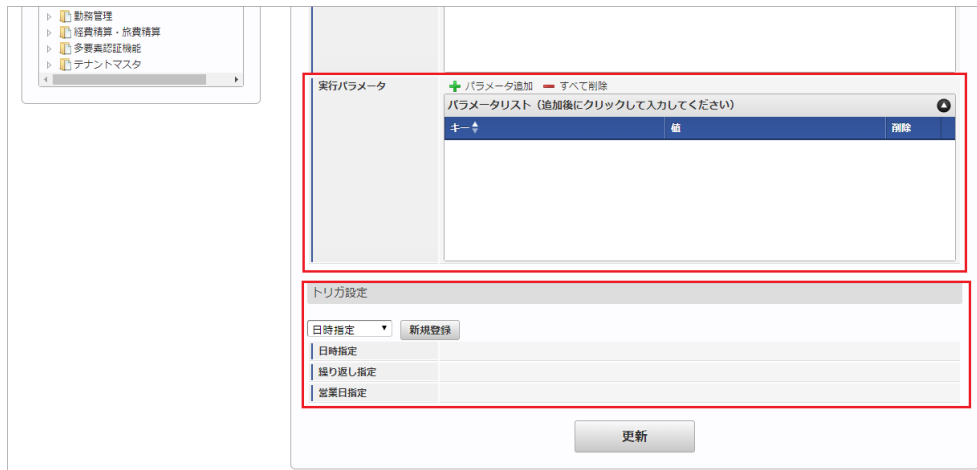
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「経費区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

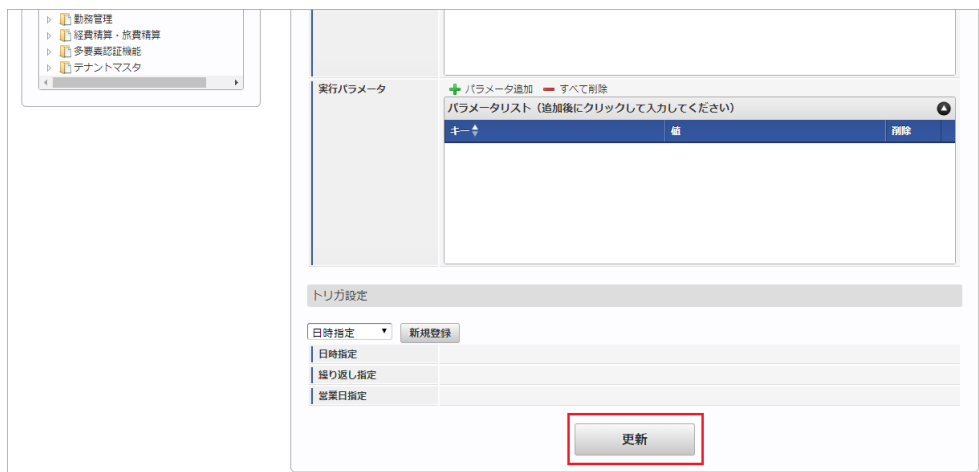
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

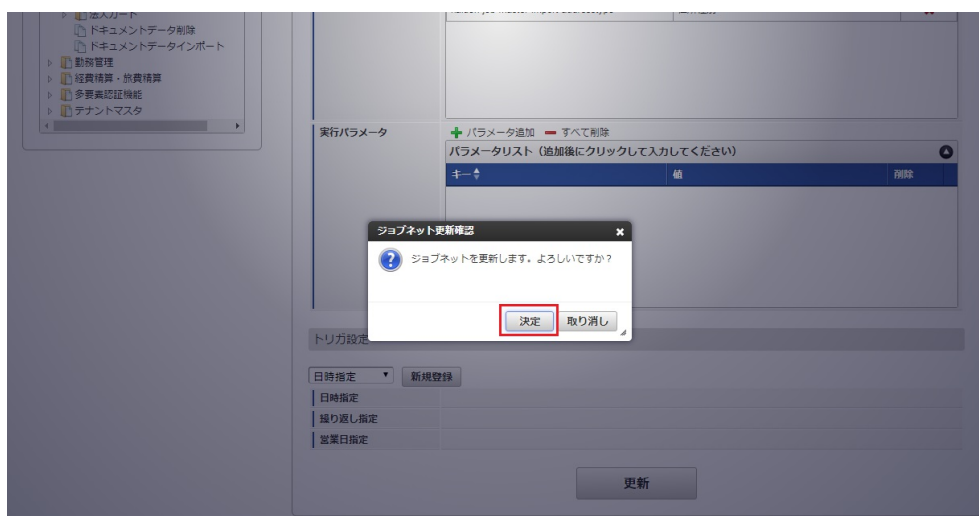
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-exptype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 経費区分

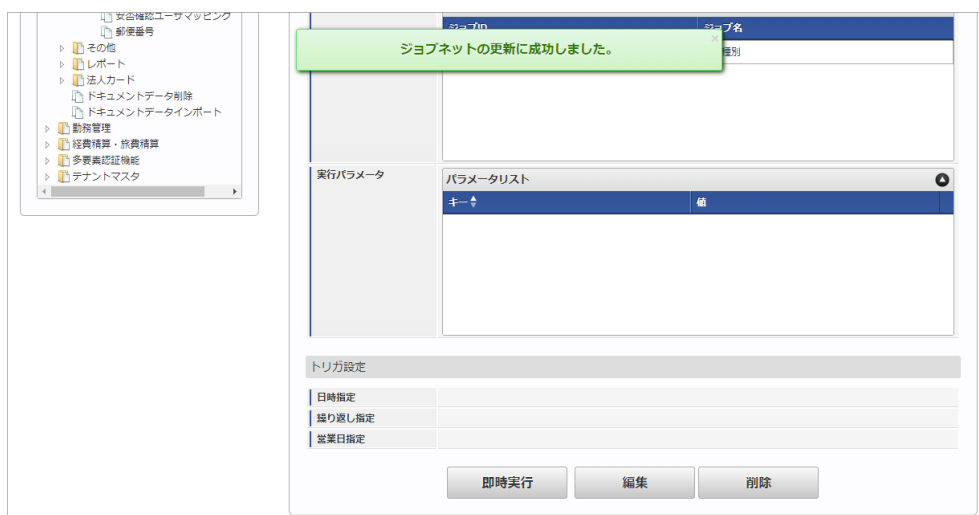
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/generic/master/exp_type/`

ファイル名 `export.csv`



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
expTypeCd	経費区分コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
expTypeName	経費区分名	
expTypeCategory	経費区分カテゴリ	
accountCd	勘定科目コード	
taxTypeCd	税区分コード	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効



コラム

MasterBuilderの定義ファイルを編集することでデータ形式に「検索キーワード」を追加することができます。

MasterBuilderの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」に格納しています。

追加方法の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! MasterBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「MasterBuilder定義」 - 「エクスポート設定」を参照して実施してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 経費区分マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「exp_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

支払方法マスタ

本項では、支払方法マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

支払方法マスタは、現金／銀行振込などの支払時の方法として利用します。

intra-mart Accel Kaiden! では、この「支払方法」により振込データ出力有無や仕訳データ作成時の債務勘定科目が利用されます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

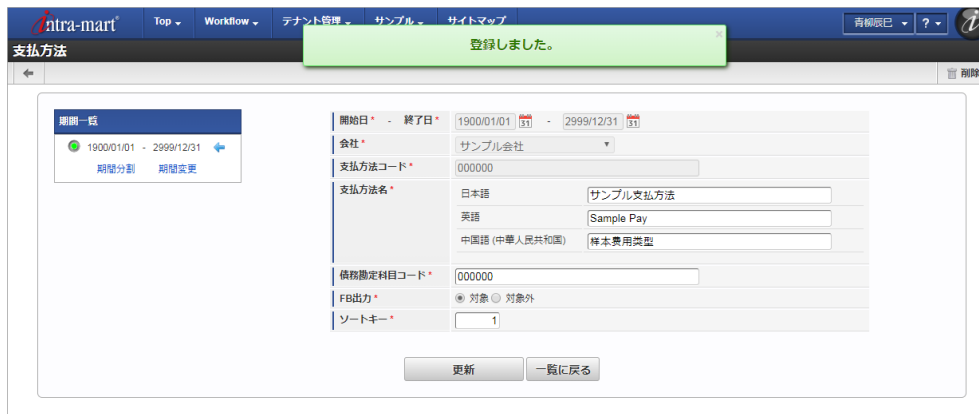
新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払方法」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

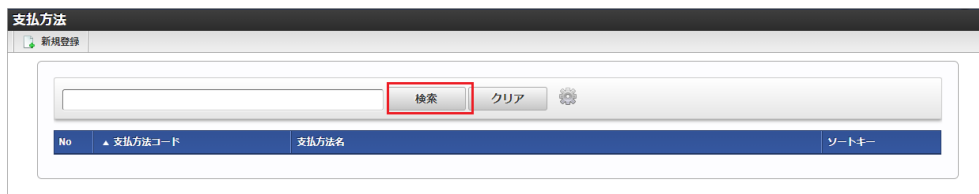
- 支払方法コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 支払方法名
支払方法の名称を入力します。
 - 債務勘定科目コード
仕訳データ作成／出力時の債務勘定科目コードを入力します。
 - FB出力
「対象」を指定すると、振込データの出力対象として設定されます。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払方法」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

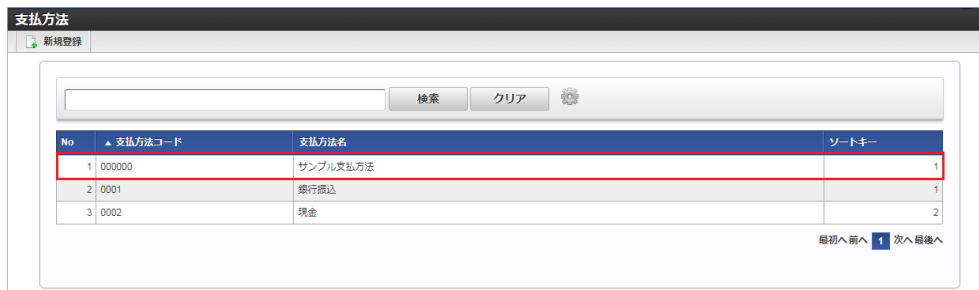


i コラム

検索欄に検索したい支払方法の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 支払方法コード
- 支払方法名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

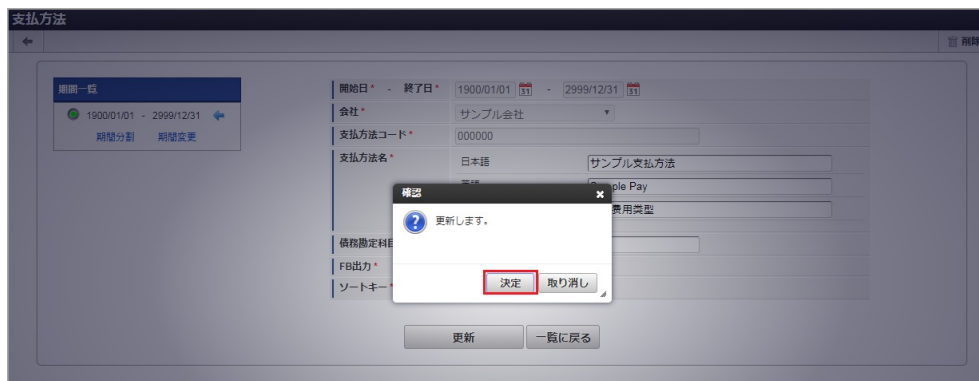
- 開始日
- 終了日
- 会社

- 支払方法コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	支払方法コード	○	100	

3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
6	支払方法名	○	250	
7	債務勘定科目コード	○	100	
8	FB出力フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
9	ソートキー	○	15	
10	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

**コラム**

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","","ja","サンプル支払方法","000000","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","","en","Sample Pay","000000","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","","zh_CN","□品付款","000000","1","0","0"
```

**コラム**

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pay_method

ファイル名 import.csv

**コラム**

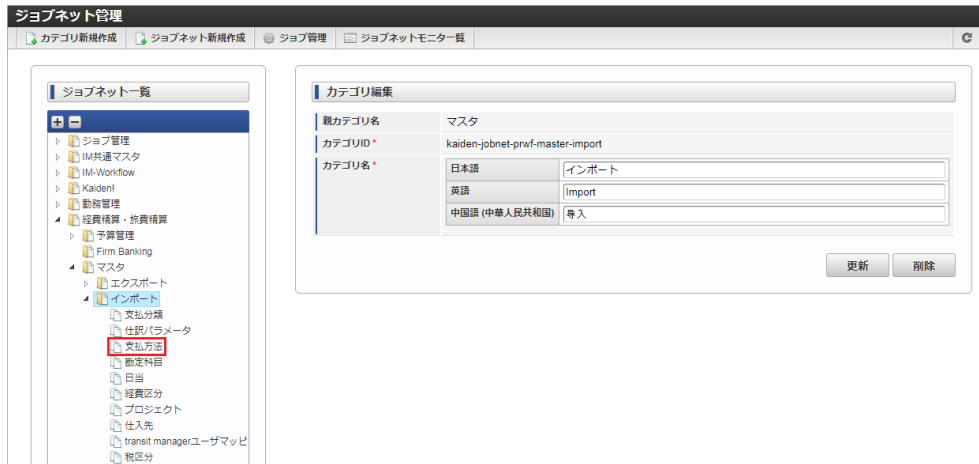
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

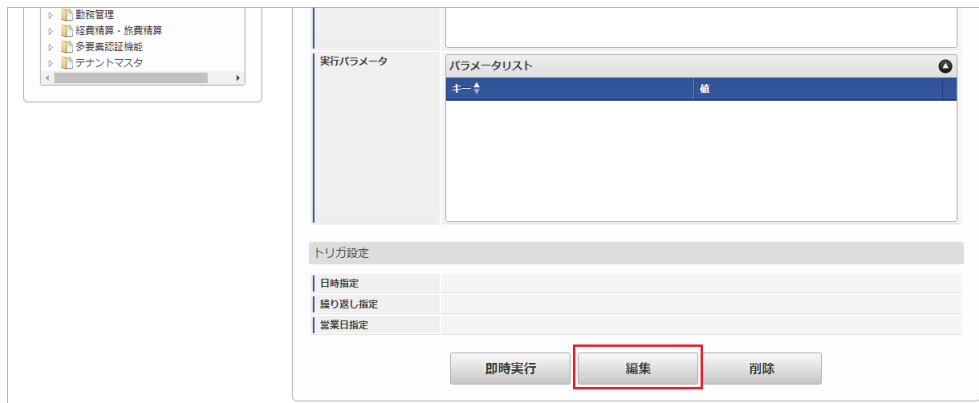
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

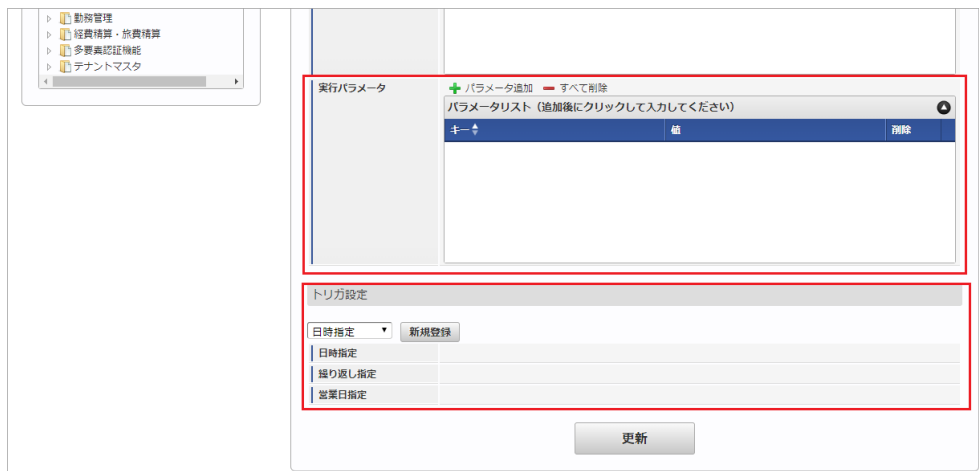
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

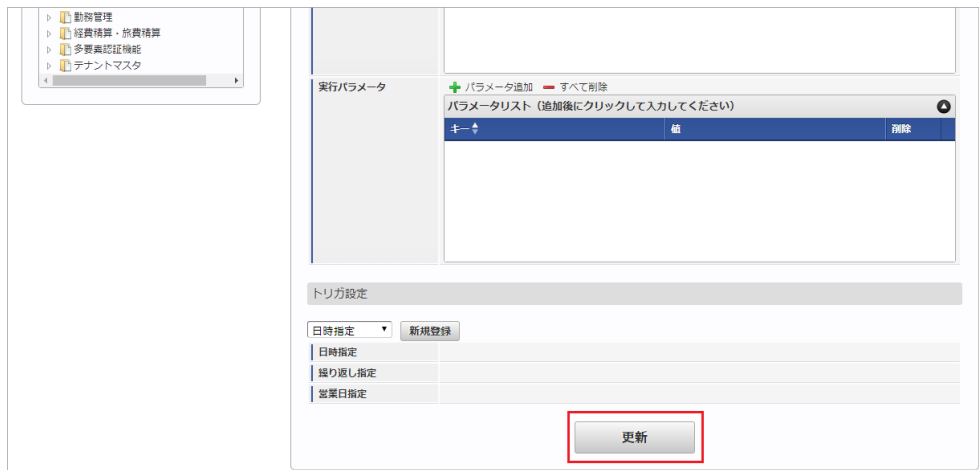
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

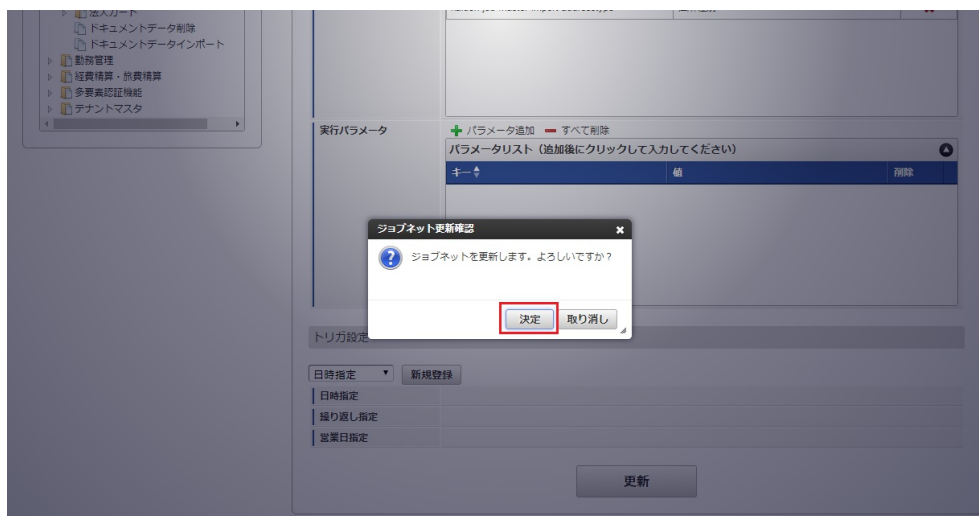
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-paymentmethod	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 支払方法

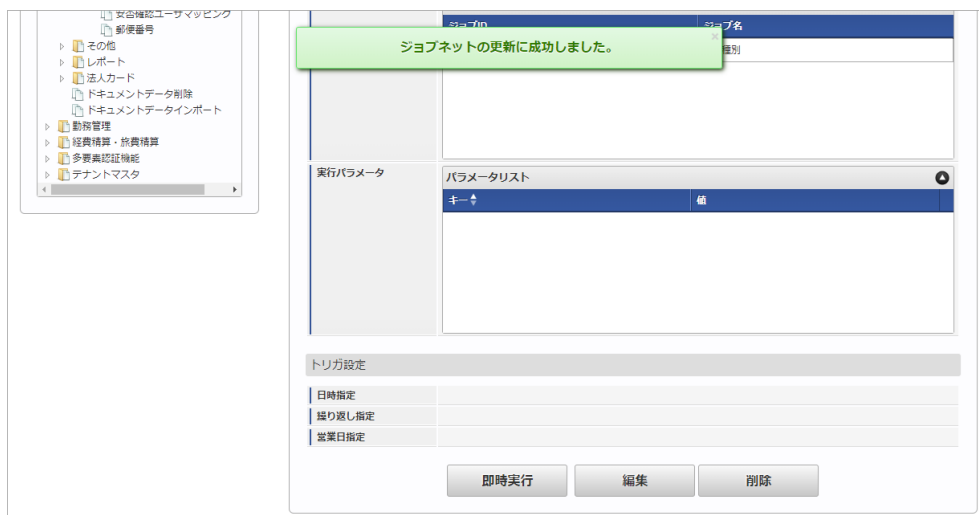
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間 (差分) モード ▪ 2: 単一期間 (一新) モード ▪ 3: 単一期間 (入替) モード ▪ 4: 複数期間 (差分) モード ▪ 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 支払方法マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category」を設定しています。

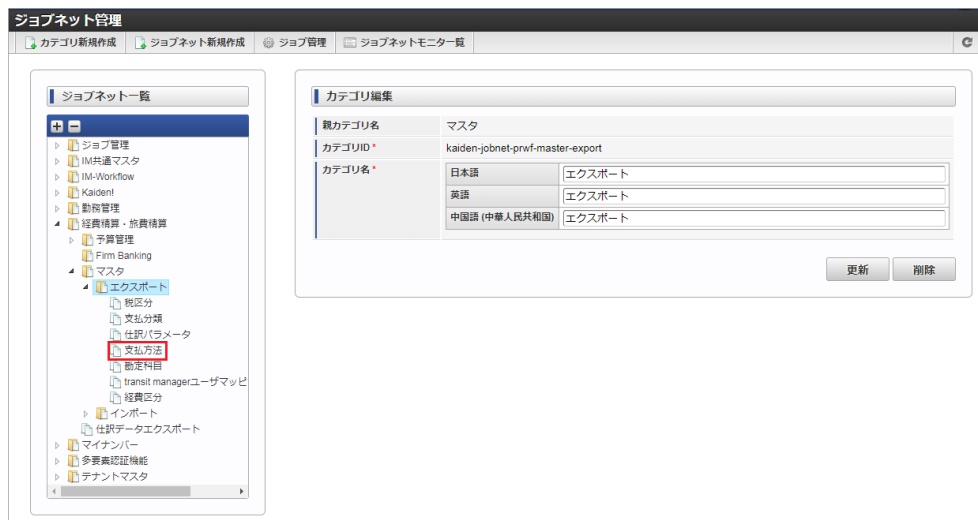
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

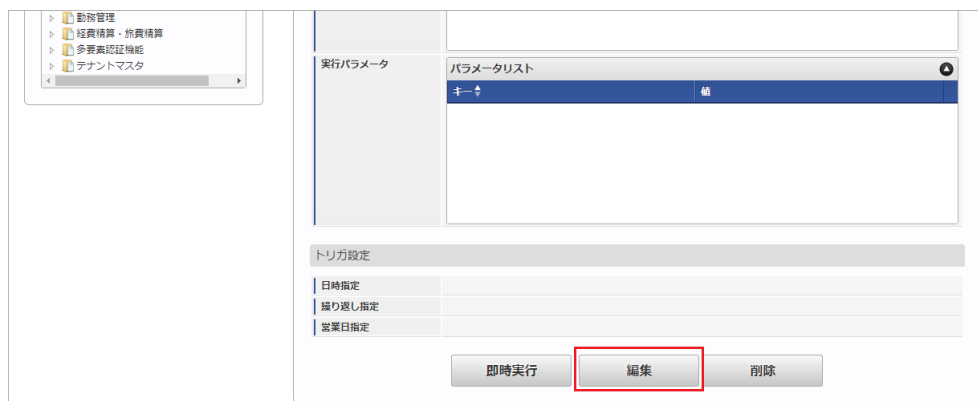
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

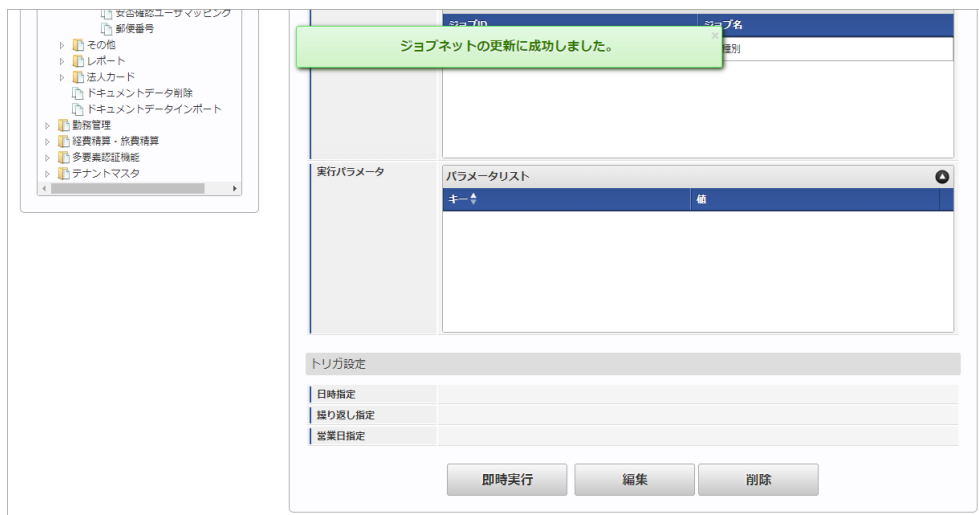
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-paymethod	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 支払方法

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/pay_method/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
payMethodCd	支払方法コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
payMethodName	支払方法名	
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
fbOutputFlag	FB出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 全件出力モード ▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 支払方法マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_method」を設定しています。

支払分類マスタ

本項では、支払分類マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

支払分類マスタは、従業員が立替えた支出か、またはそれ以外の方法での支出なのかの分類として利用します。登録時に、「立替」の対象/対象外を設定できます。「立替」とは、従業員が精算時に一時的な立替払いを行うための項目で、立替精算の対象です。intra-mart Accel Kaiden! では、この「支払分類」により仕訳出力の有無や仕訳データ作成時の債務勘定科目が利用されます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

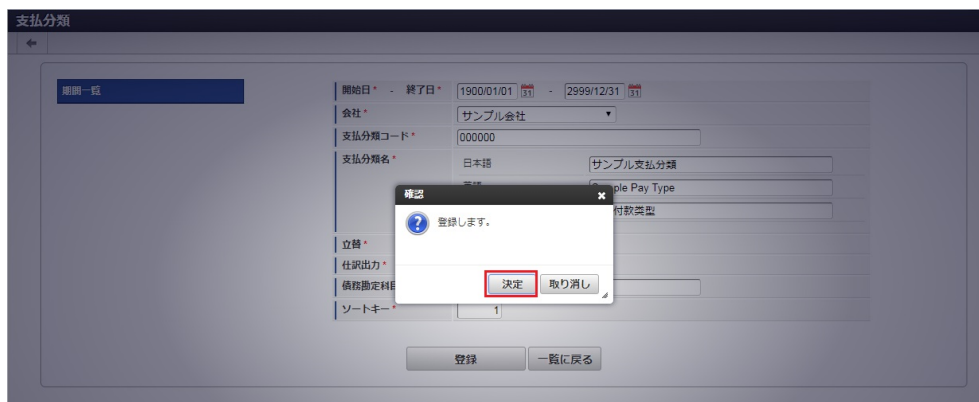
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払分類」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 支払分類コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 支払分類名
支払分類の名称を入力します。

- 立替
「対象」を指定すると、従業員が立替えたことを示します。
- 仕訳出力
「対象」を指定すると、仕訳データ作成／出力の対象として設定されます。
- 債務勘定科目コード
仕訳データ作成／出力時の債務勘定科目コードを入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

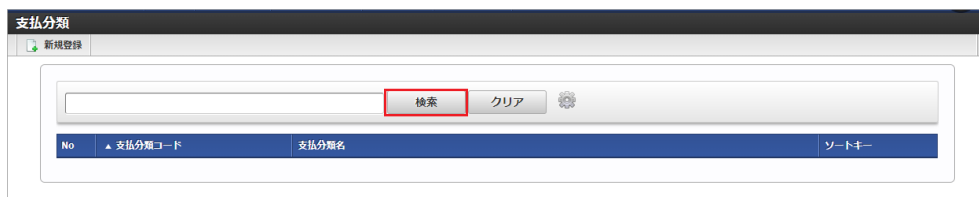


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払分類」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい支払分類の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 支払分類コード
- 支払分類名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

支払分類

新規登録

検索 クリア

No	支払分類コード	支払分類名	ソートキー
1	000000	サンプル支払分類	1
2	0001	立替	1
3	0002	タクシー券	2
4	0003	JR券	3
5	0004	JAL/JANA券	4
6	0005	CorpCard	5
7	0006	JTB	6

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

支払分類

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 (日) - 2999/12/31 (日)

会社 * サンプル会社

支払分類コード * 000000

支払分類名 *

日本語 サンプル支払分類

英語 Sample Pay Type

中国語 (中華人民共和国) 样本付款类型

立替 * 対象 対象外

仕訳出力 * 対象 対象外

債務勘定科目コード 000000

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 支払分類コード
- 立替

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

支払分類

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 (日) - 2999/12/31 (日)

会社 * サンプル会社

支払分類コード * 000000

支払分類名 *

日本語 サンプル支払分類

英語 Sample Pay Type

中国語 (中華人民共和国) 样本付款类型

立替 * 対象 対象外

仕訳出力 * 対象 対象外

債務勘定科目コード 000000

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	支払分類コード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
6	支払分類名	○	250	
7	立替フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
8	仕訳出力フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
9	債務勘定科目コード		100	仕訳出力フラグが「対象」の場合は必須
10	ソートキー	○	15	
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","","","ja","サンプル支払分類","1","0","","1","0"
"comp_sample_01","000000","","","en","Sample Pay Type","1","0","","1","0"
"comp_sample_01","000000","","","zh_CN","□本付款□型","1","0","","1","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pay_type

ファイル名 import.csv

i コラム

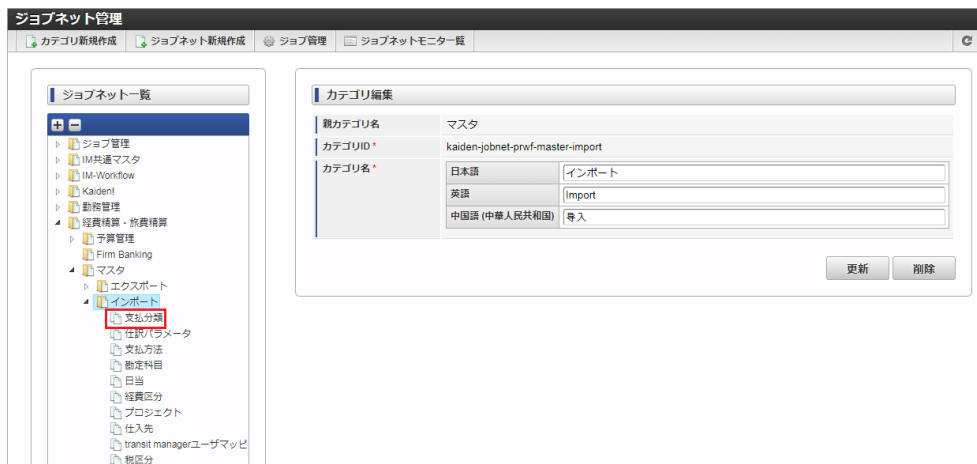
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

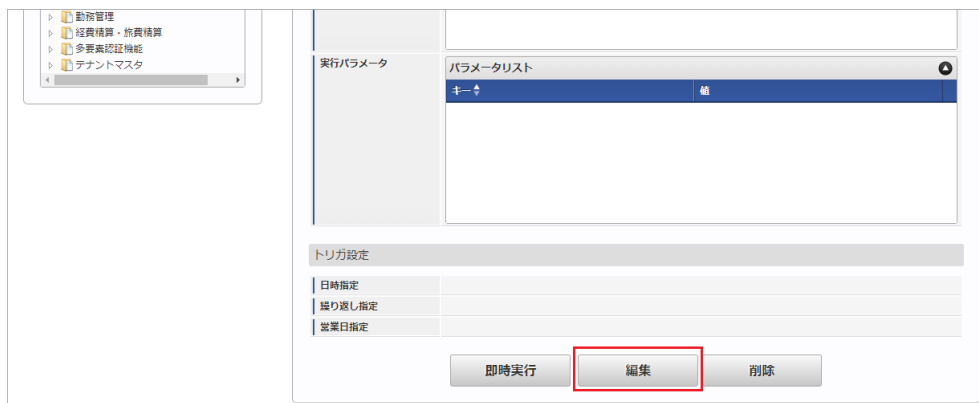
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

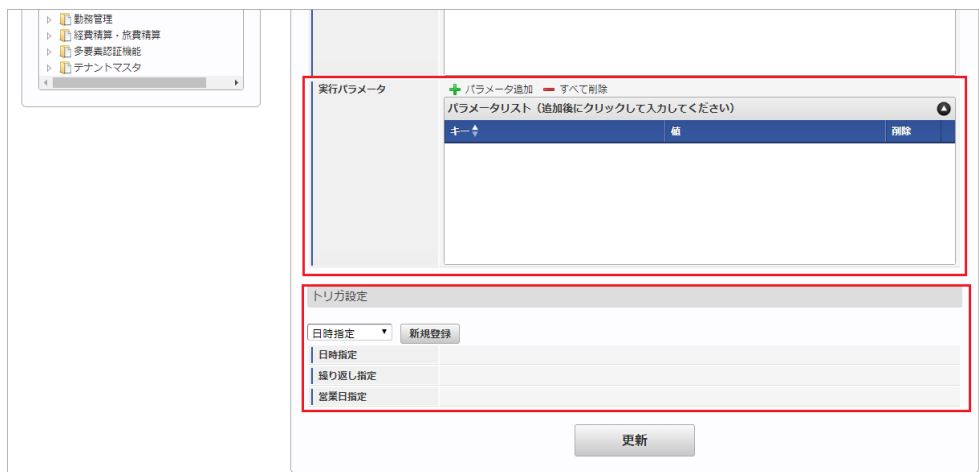
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「支払分類」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

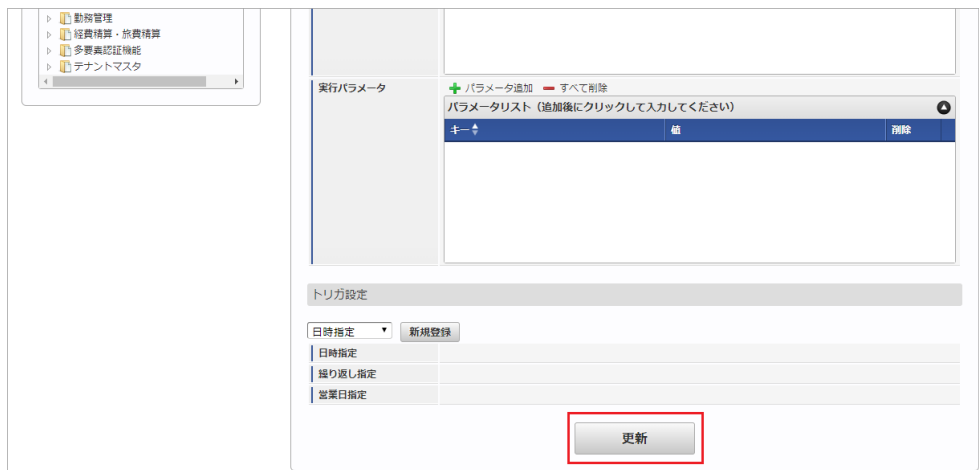
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

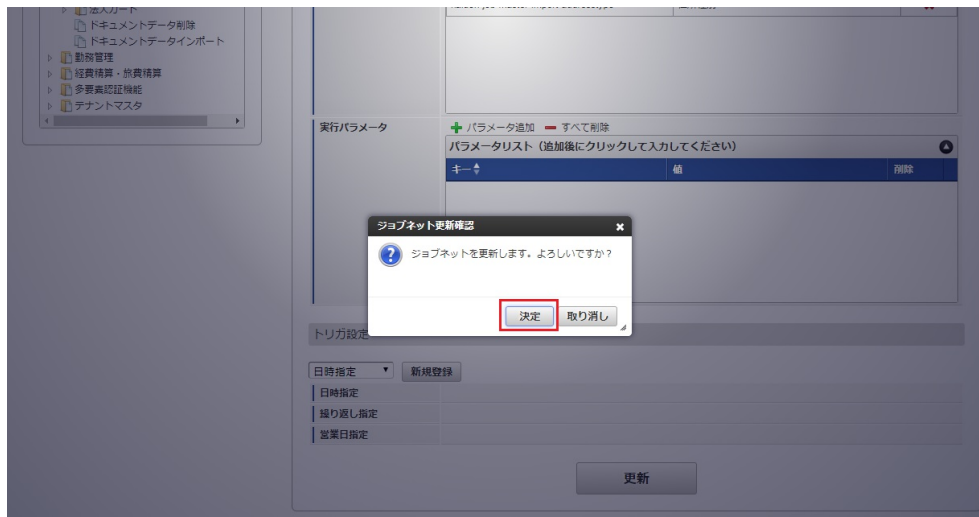
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-paytype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 支払分類

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 支払分類マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

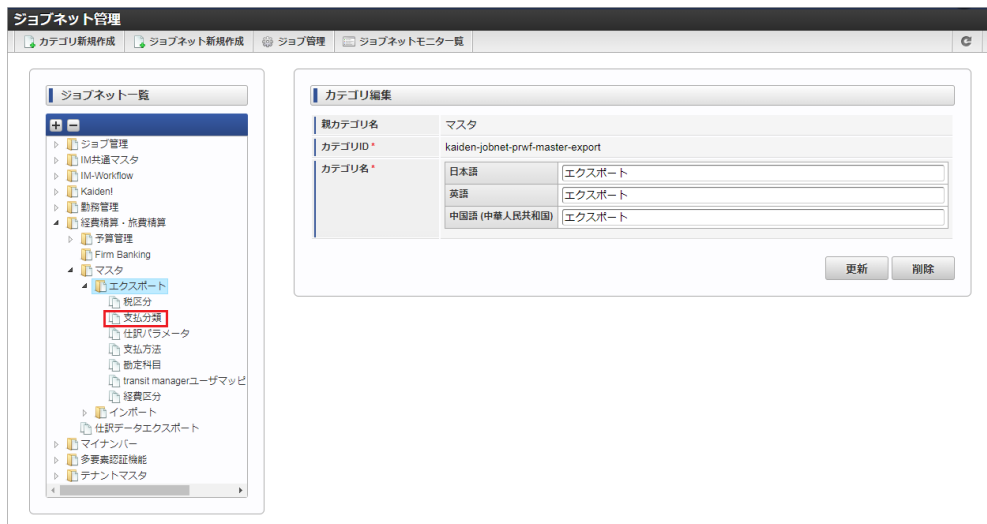
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

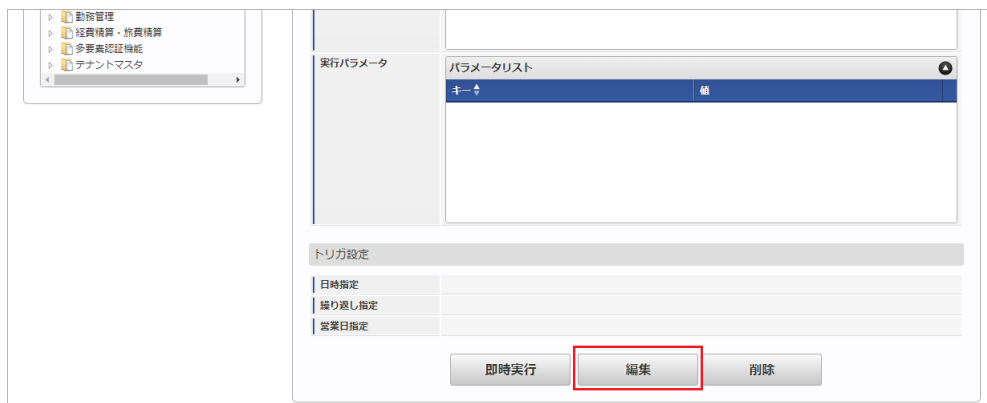
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

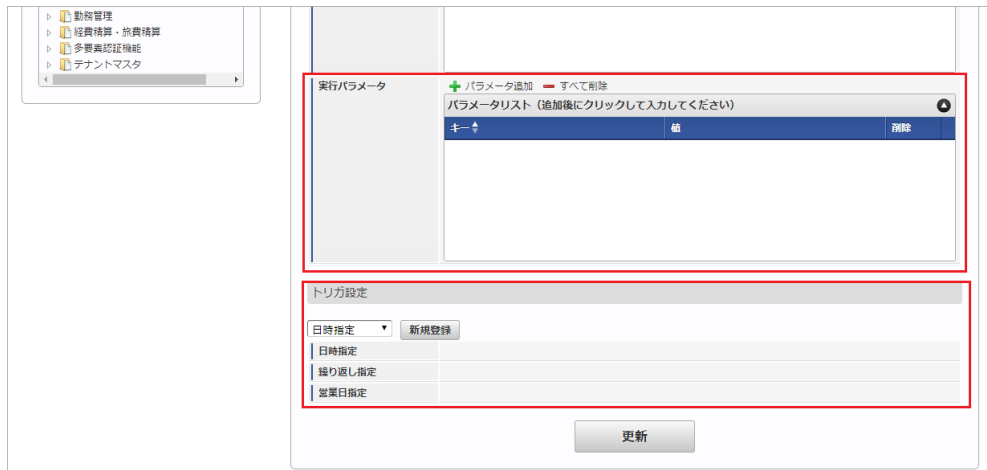
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「支払分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

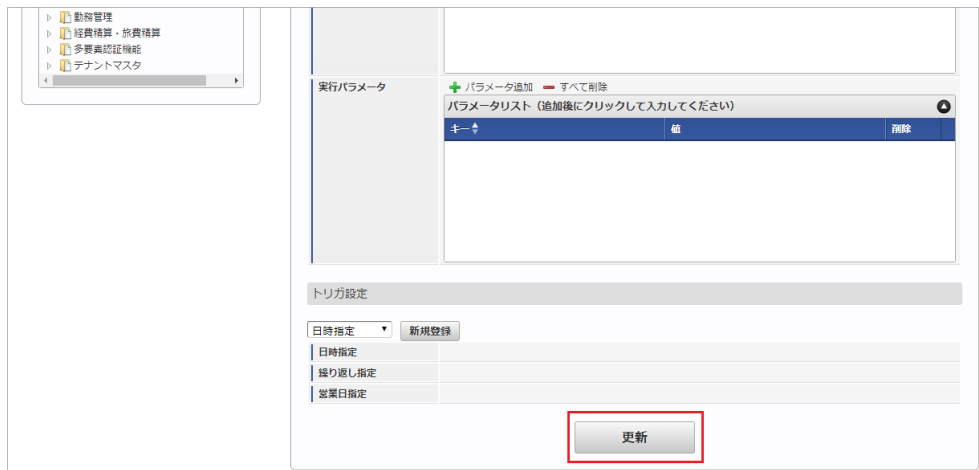
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

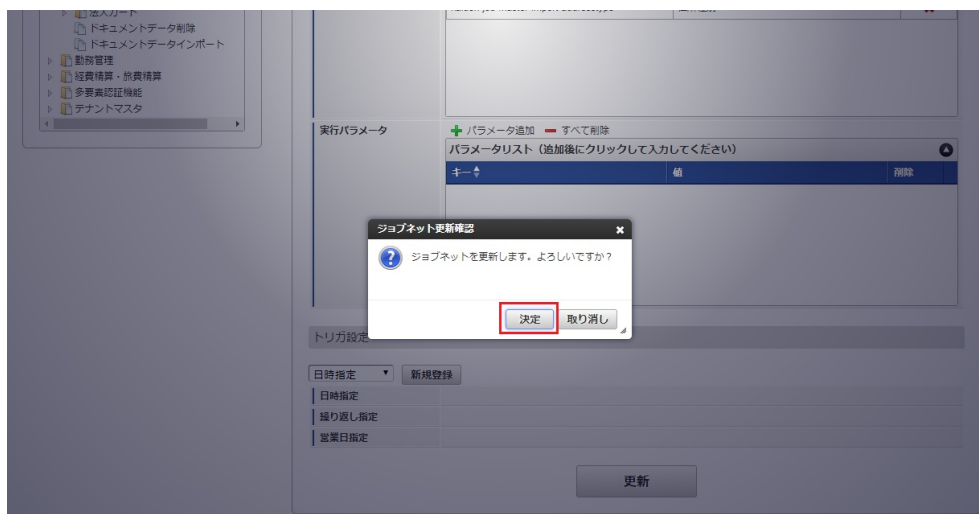
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-paytype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 支払分類

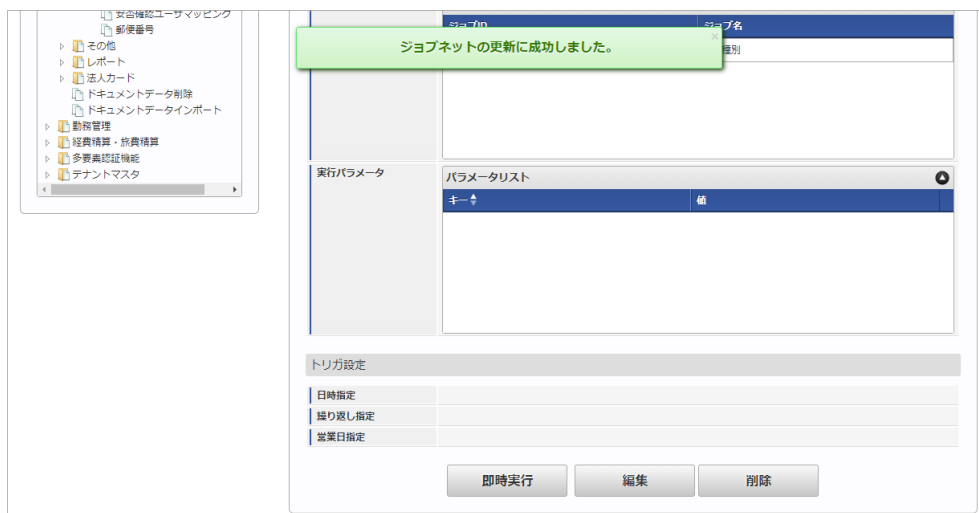
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/generic/master/pay_type/`

ファイル名 `export.csv`



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
payTypeCd	支払分類コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
payTypeName	支払分類名	
paymentFlag	立替フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
journalOutputFlag	仕訳出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 支払分類マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

日当マスタ

本項では、日当マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

日当マスタは、旅費規程に基づいて、申請者の資格種別から適切な日当額を自動的に算出するためのものです。

日当マスタの資格種別には、役職/ロールが利用できます。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

! 注意

資格種別に利用するロールは、カテゴリに「KAIDEN」を設定したロールのみ利用できます。

ロール一覧

新規登録

検索条件にカテゴリとロール名を指定することができます。

ロール名を入力してください。 検索 クリア

編集	ユーザーコード	カテゴリ	ロール名	表示名
			account_manager	アカウント管理者
		KAIDEN	allowance_01	一般社員
		KAIDEN	allowance_02	管理職
			authz_manager	認可管理者
			calendar_manager	カレンダー管理者
		im_master	im_master_manager	IM共通マスタ管理者
		im_master	im_master_operator	IM共通マスタ運用管理者
		im_workflow	im_workflow_manager	IM-Workflow 管理者
		im_workflow	im_workflow_operator	IM-Workflow 運用管理者

3 ページ中 1 ページ目 10 22 件中 1 - 10 を表示

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「日当」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

日当マスタメンテナンス

新規登録

検索

No	日当コード	日当名	ステータス
----	-------	-----	-------

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

日当マスター/メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 *
 日本語 サンプル日当
 英語 Sample Allowance
 中国語 (中華人民共和国) 特品日补贴

通貨 * JPY

算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ロール ▼ 管理職 ▼	10000	10
2	ロール ▼ 一般社員 ▼	5000	20
3	▼ ▼	3000	30

登録 一覧に戻る

- 日当コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 日当名
日当の名称を入力します。
- 通貨
通貨を選択します。
- 算定基準
「ロール」または「役職」を選択します。
空欄の指定も可能です。
- 資格コード
算定基準に「ロール」を指定した場合、ロールがリストされますので選択します。
算定基準に「役職」を指定した場合、役職がリストされますので選択します。
算定基準を指定しない場合は入力不可です。
- 金額
金額を入力します。
- 優先度
優先度を入力します。
数字が小さいほど優先度が高く設定されます。

i コラム

上記の画面のように登録した場合、
 管理職ロールを保持する社員が申請する場合には **10,000円**
 一般社員ロールを保持する社員が申請する場合には **5,000円**
 その他の社員が申請する場合には **3,000円** が表示されます。
 管理職ロールと一般社員ロールを両方保持する場合は、
 優先度が高い(優先度の数字が低い)管理職ロールの金額である **10,000円** が設定されます。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

日当マスター/メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 * 日本語 サンプル日当
英語 Sample Allowance
中国語 (中華人民共和国) 特品日补贴

通貨 * JPY

算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ロール ▼ 管理職 ▼	10000	10
2	ロール ▼ 一般社員 ▼	5000	20
3	▼ ▼	3000	30

登録 一覧に戻る

確認

登録します。

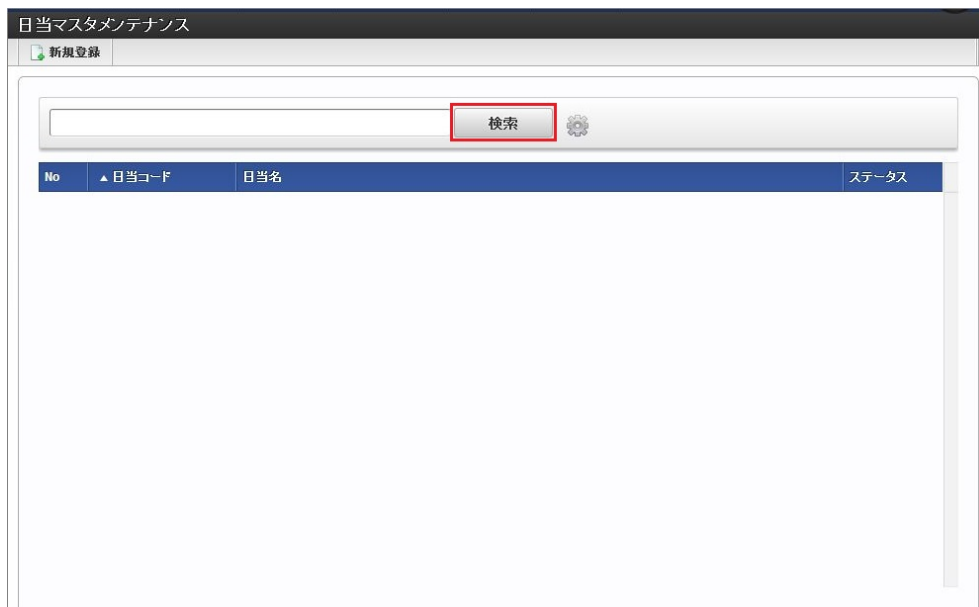
決定 取り消し

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「日当」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい日当の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 日当コード
- 日当名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

日当マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	日当コード	日当名	ステータス
1	000000	サンプル日当	
2	1000	国内日当(200km未満)	
3	2000	国内日当(200km以上)	
4	3000	国外日当	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

←

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 *

日本語 サンプル日当

英語 Sample Allowance

中国語 (中華人民共和国) 特品日补贴

通貨 * JPY

	算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ルール	管理職	10000	10
2	ルール	一般社員	5000	20
3			3000	30

更新 削除 一覧に戻る

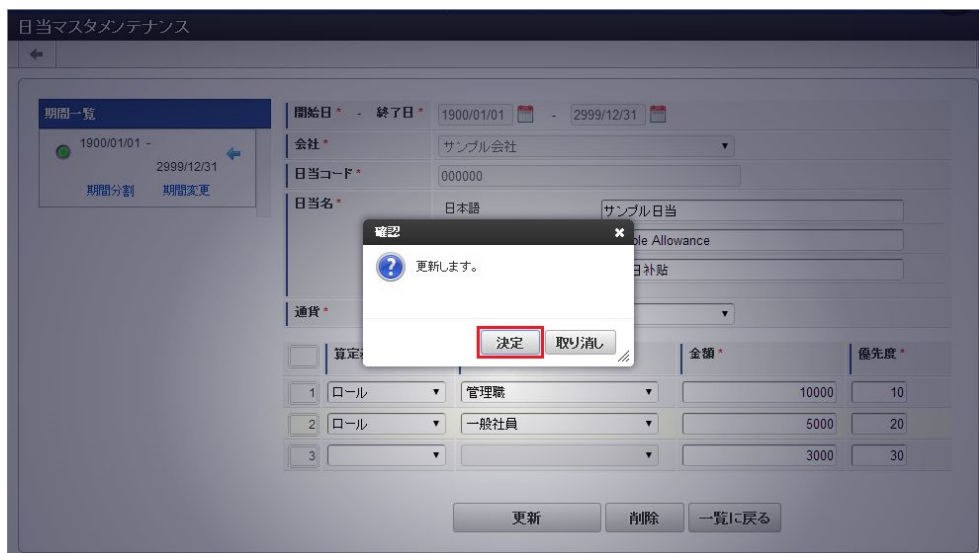
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 日当コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

- | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ファイル名 | <ul style="list-style-type: none"> ■ allowance_header.csv
日当コード・日当名称等の基本情報ファイル ■ allowance_dtl.csv
日当コードごとの資格(ロール/役職)に対する日当金額ファイル |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式 (allowance_header.csv)

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	日当コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
6	日当名	○	250	
7	通貨コード	○	100	
8	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル日当","JPY","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Allowance","JPY","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","品日","JPY","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- データ形式 (allowance_dtl.csv)

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	日当コード	○	100	
3	連番	○	18	
4	算定基準コード		100	<ul style="list-style-type: none"> 300004-ROLE ロールを設定する場合 300004-POST 役職を設定する場合
5	資格種別コード		100	ロールまたは役職のコードを設定します。
6	金額	○	28	
7	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","0","300004-ROLE","allowance_02","300","0"
"comp_sample_01","000000","1","300004-ROLE","allowance_01","200","10"
```

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/allowance

ファイル名 allowance_header.csv
 allowance_dtl.csv



コラム

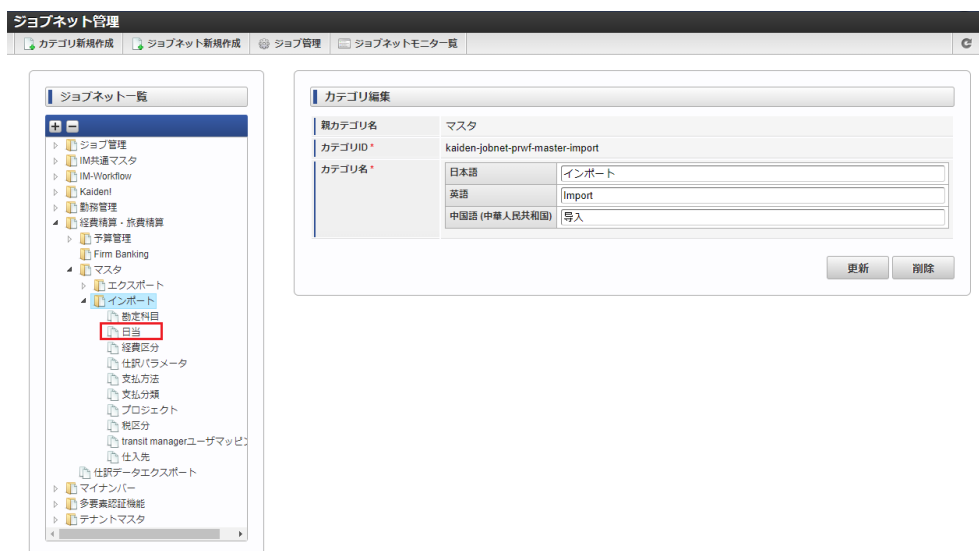
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「日当」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-allowance	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / 日当

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

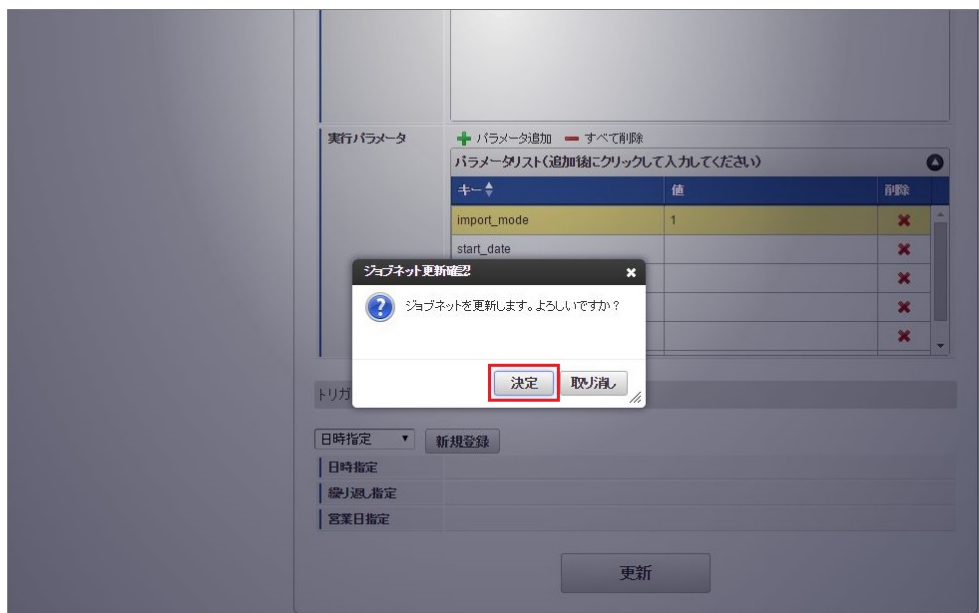
日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)

名称	キー	説明／設定値
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
インポートファイル	target_file	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時 : kaiden/import/allowance/allowance_header.csv : kaiden/import/allowance/allowance_dtl.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
アーカイブファイル	archive_file	インポートファイルのアーカイブ先を設定します。 (省略時 : kaiden/archive/import/allowance/allowance_header_{YMDHMSN}.csv : kaiden/archive/import/allowance/allowance_dtl_{YMDHMSN}.csv)
ファイル削除判定	delete_flag	インポートファイルの削除有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : 削除する ▪ false : 削除しない
正常終了時の ファイル出力有無	normal_log	正常終了時の処理結果ファイル出力有無を設定します。 (省略時：true) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : 出力する ▪ false : 出力しない

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

仕訳パラメータマスタ

本項では、仕訳パラメータマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

仕訳パラメータマスタは、仕訳データ作成機能に関わる設定を管理します。

仕訳パラメータマスタの設定内容により、仕訳作成時の処理やFBデータ出力の内容が変わります。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

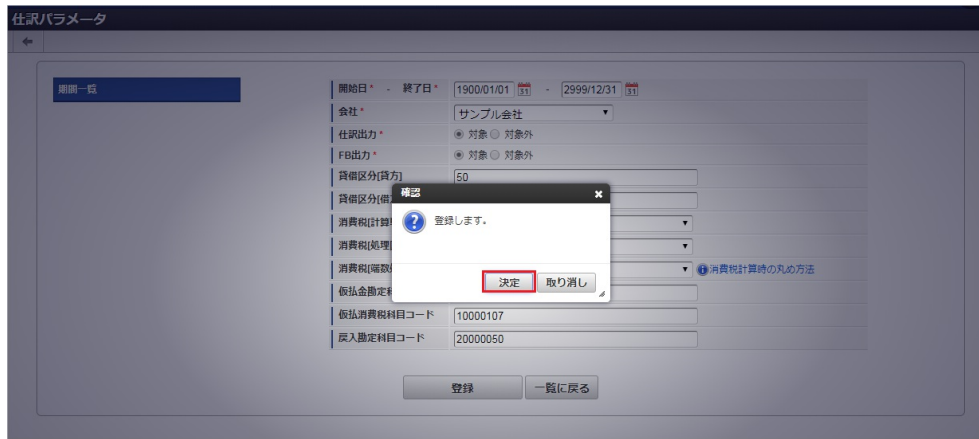
新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕訳パラメータ」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 仕訳出力
「対象」を指定すると、仕訳出力が有効に設定されます。
- FB出力
「対象」を指定すると、FBデータ出力が有効に設定されます。
- 貸借区分[貸方]
貸方レコードであることを識別するための値を指定します。
※ 経理システムなど出力した仕訳データの連携先に必要な値にしてください。
- 貸借区分[借方]
借方レコードであることを識別するための値を指定します。
※ 経理システムなど出力した仕訳データの連携先に必要な値にしてください。
- 消費税[計算単位]
税抜経理の場合に消費税を計算する単位です。「明細単位」のみ指定可能です。
- 消費税[処理区分]
「税抜経理」を選択すると、経費支出などの費用にかかる仮払消費税を別レコードに分割して出力します。
- 消費税[端数処理区分]
税抜経理の場合に使用する、消費税計算時の丸め方法です。
- 仮払金勘定科目コード
事前申請書にて入力された仮払金に関する仕訳で使用する勘定科目コードです。
- 仮払消費税科目コード
税抜経理の場合に仮払消費税に関する仕訳で使用する勘定科目コードです。
- 戻入勘定科目コード
精算申請書で戻入が発生した場合の仕訳で使用する勘定科目コードです。
未指定の場合は、事前申請書で選択した支払方法の「債務勘定科目コード」の設定値が利用されます。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

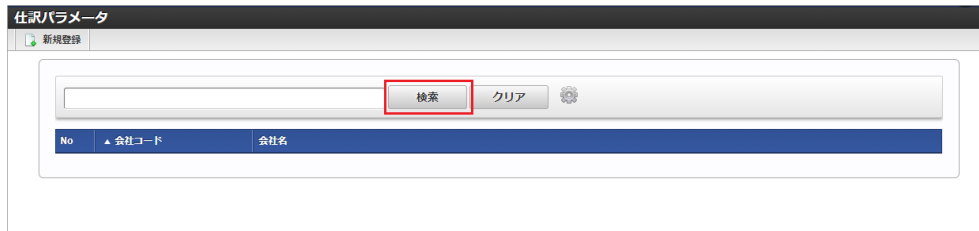


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕訳パラメータ」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

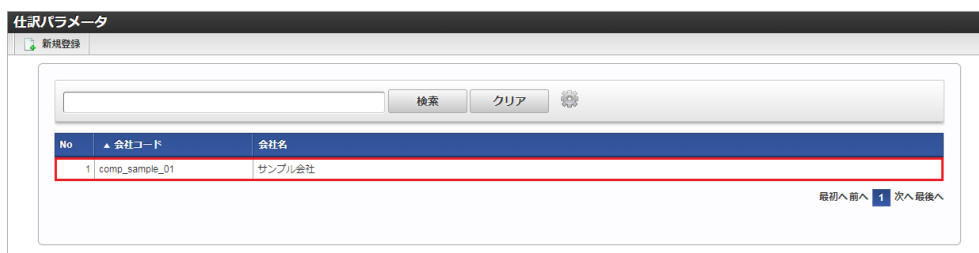


i コラム

検索欄に検索したい仕訳パラメータの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the '仕訳パラメータ' (Journal Entry Parameters) screen. The '更新' (Update) button is highlighted with a red box. The form contains the following fields:

開始日	終了日	1900/01/01	2999/12/31
会社	サンプル会社		
仕訳出力	対象 対象外		
FB出力	対象 対象外		
貸借区分(貸方)	50		
貸借区分(借方)	40		
消費税(計算単位)	明細単位		
消費税(処理区分)	税抜経理		
消費税(端数処理区分)	HALF_UP		
仮払金勘定科目コード	10000055		
仮払消費税科目コード	10000107		
戻入勘定科目コード	20000050		

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the '仕訳パラメータ' screen with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box contains the text '更新します。' (Update) and buttons for '決定' (Decide) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

6. 更新することができました。

The screenshot shows the '仕訳パラメータ' screen after successful update. A green banner at the top says '更新しました。' (Updated). The form fields are the same as in the previous screenshot.

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	貸借区分[貸方]		250	
5	貸借区分[借方]		250	
6	消費税[計算単位]	○	100	「300001-1」を指定してください。
7	消費税[処理区分]	○	100	300002-1：税込経理 300002-2：税抜経理
8	消費税[端数処理区分]	○	100	
9	仮払勘定科目コード		100	
10	仮払消費税科目コード		100	
11	戻入勘定科目コード		100	
12	仕訳出力フラグ	○	1	0：対象外 1：対象
13	FB出力フラグ	○	1	0：対象外 1：対象
14	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）

コラム

消費税[端数処理区分]は以下のいずれかを指定してください。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。

```
"comp_sample_01","1900/01/01","2999/12/31","50","40","300001-1","300003-HALFUP","300002-2","10000055","10000107","20000050","1","1","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/journal_prm

ファイル名 import.csv

コラム

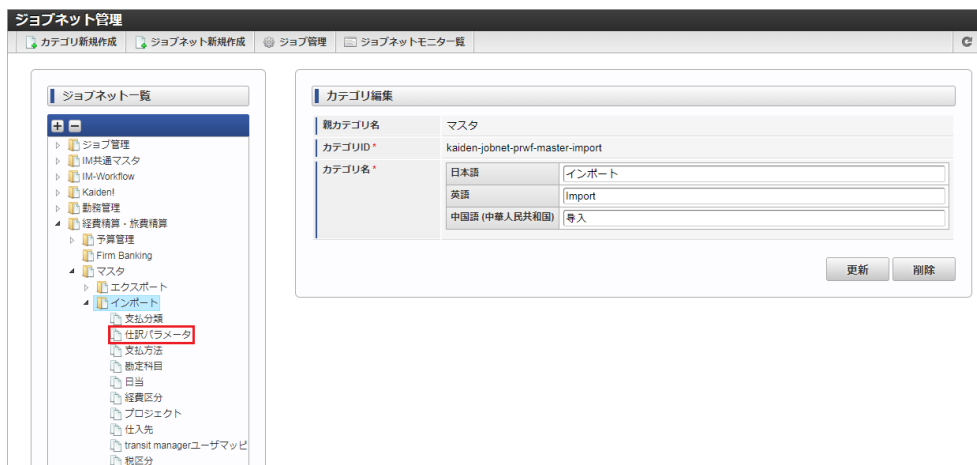
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

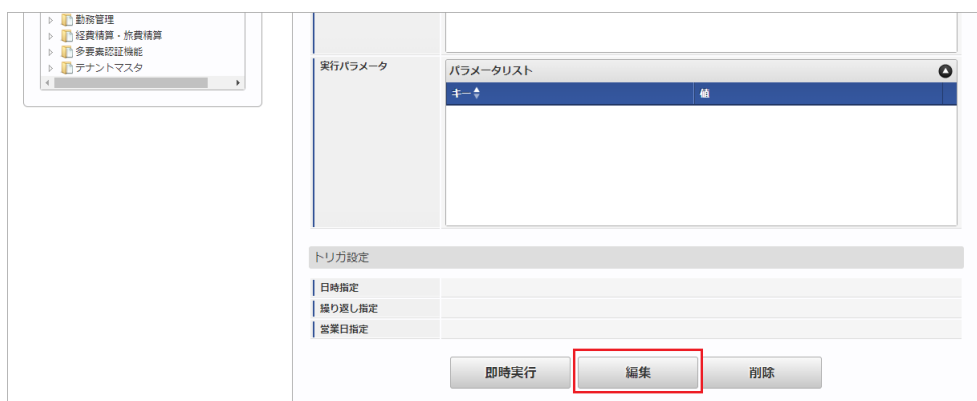
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

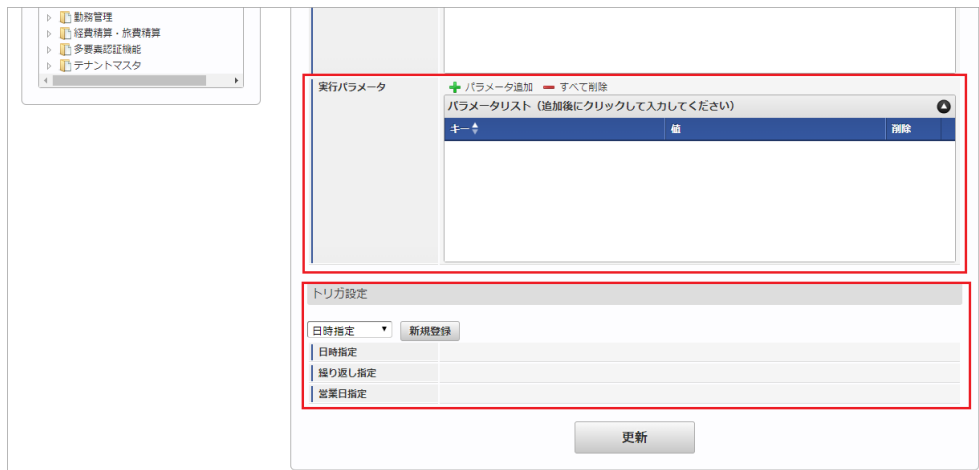
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「仕訳パラメータ」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

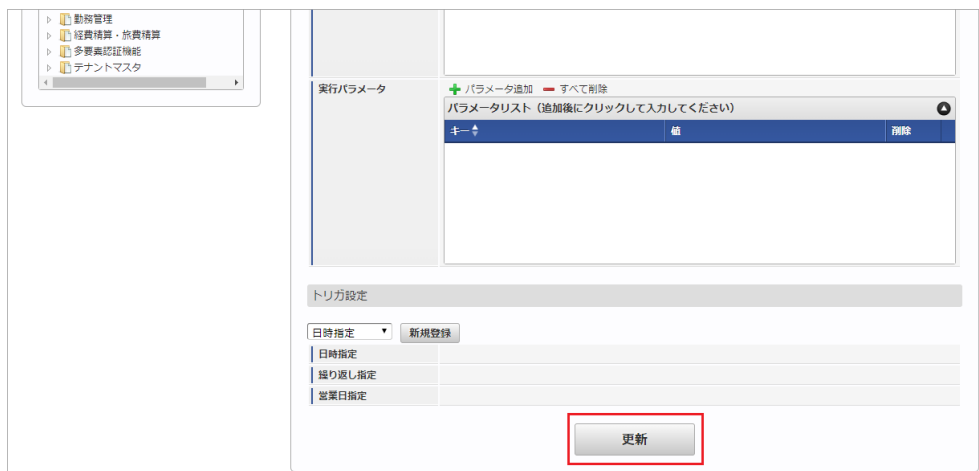
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

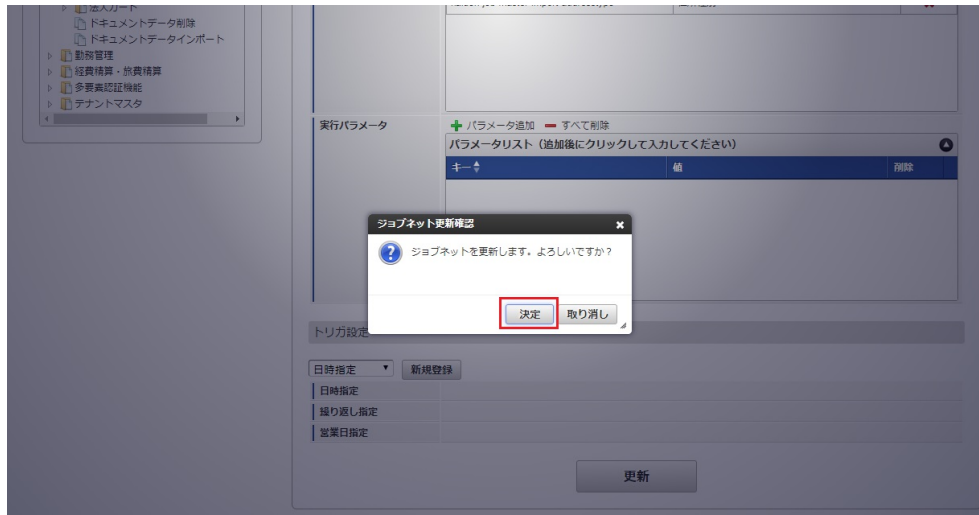
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-journalprm	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 仕訳パラメータ

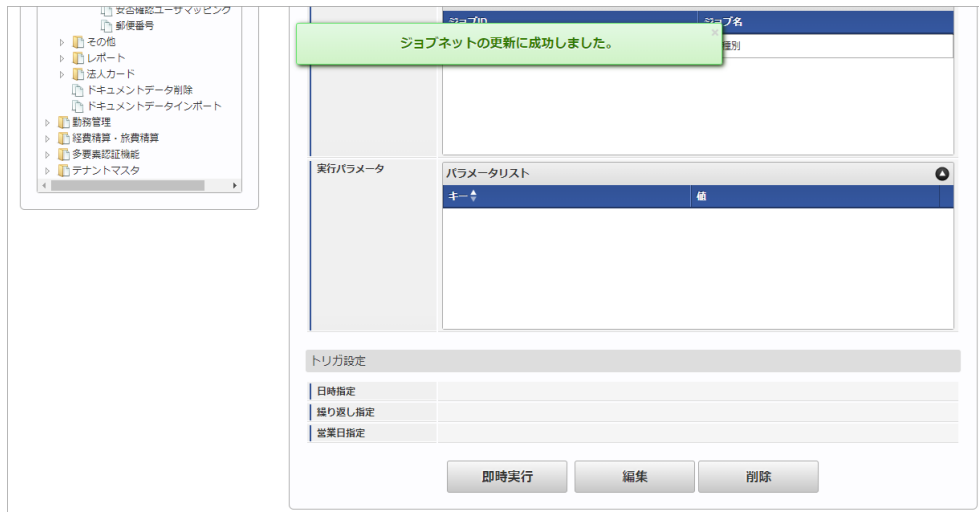
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 仕訳パラメータマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「journal_prm」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

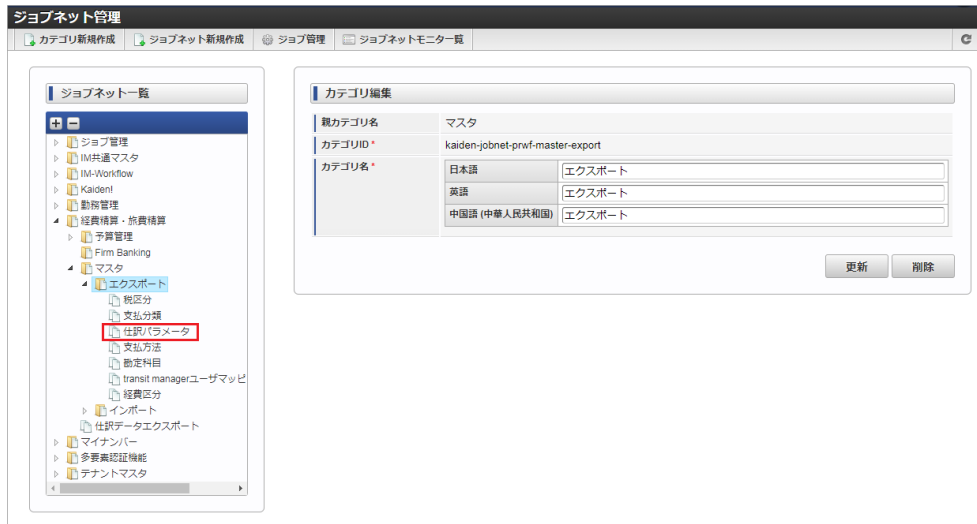
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

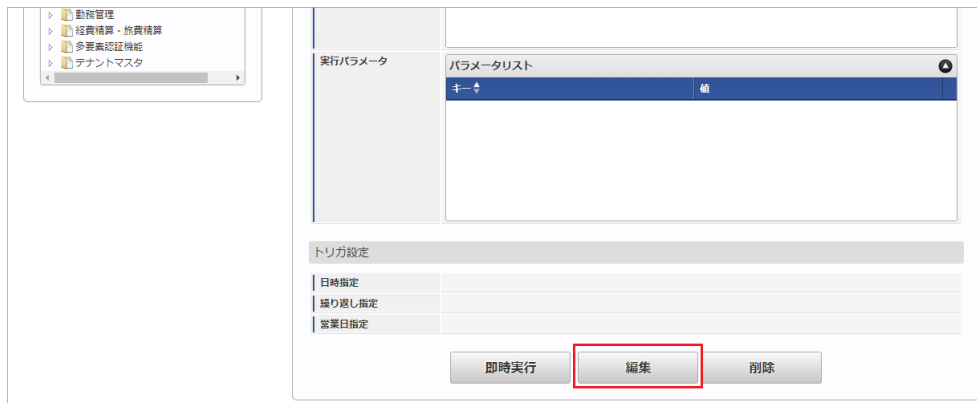
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

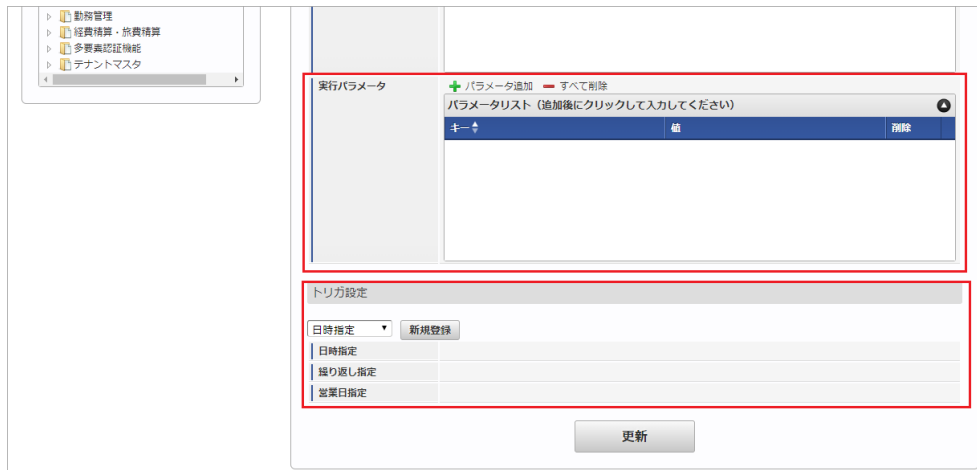
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「仕訳パラメータ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

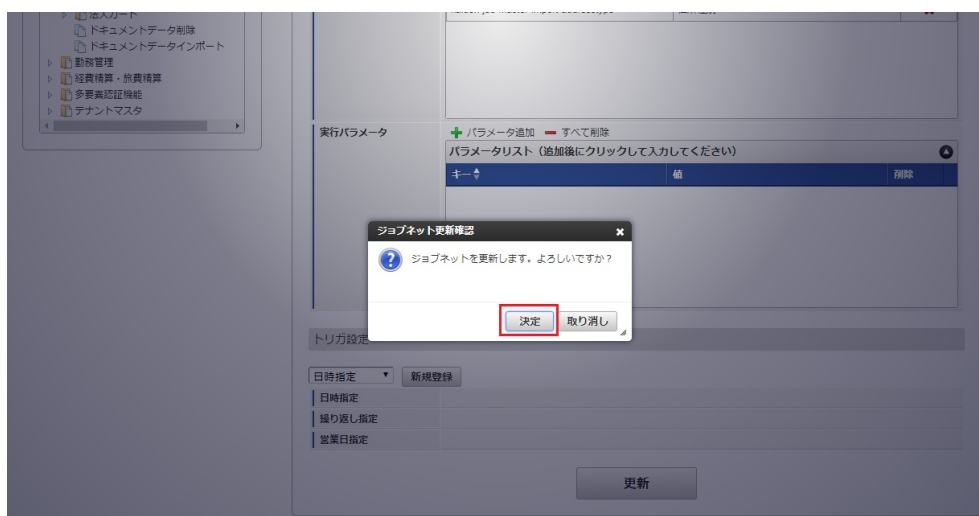
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-journalprm	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 仕訳パラメータ

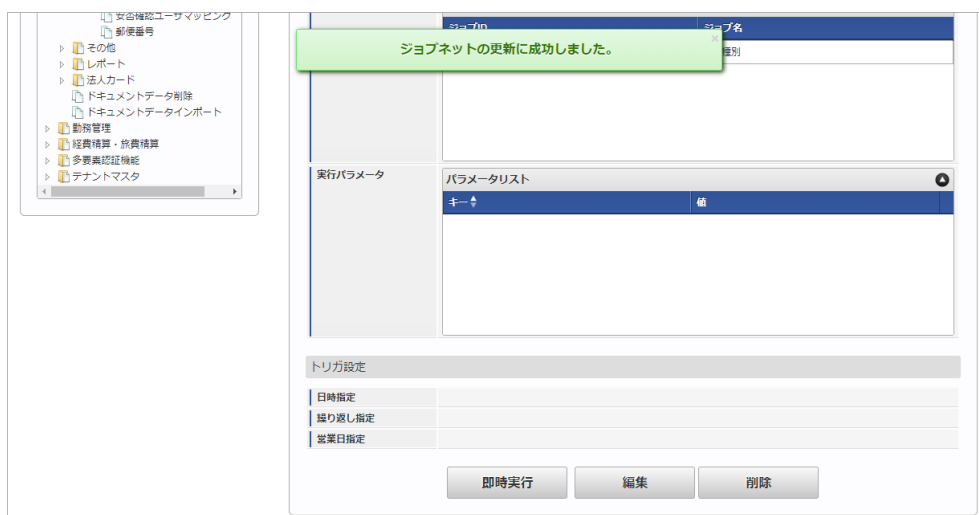
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/journal_prm/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
dcKindCrName	貸借区分[貸方]	
dcKindDrName	貸借区分[借方]	
taxCalcUnit	消費税[計算単位]	300001-1：明細単位
taxRoundTypeCd	消費税[処理区分]	300002-1：税込経理 300002-2：税抜経理
taxProcessingTypeCd	消費税[端数処理区分]	
accountCdSuspensePayment	仮払勘定科目コード	
accountCdSuspensePaidTax	仮払消費税科目コード	
accountCdSuspenseRet	戻入勘定科目コード	
journalOutputFlag	仕訳出力フラグ	0：対象外 1：対象
fbOutputFlag	FB出力フラグ	0：対象外 1：対象
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効



コラム

消費税[端数処理区分]に出力される値は以下のいずれかです。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 全件出力モード ▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 仕訳パラメータマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「journal_prm」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、会計期間マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

会計期間は、申請書の申請可能な期間や承認期日を管理します。
会計期間チェックガジェットによりこのデータが参照され、申請／承認可能か判断されます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「会計期間」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Accounting Period Master Maintenance' interface. At the top, there is a 'New Registration' button highlighted with a red box. Below it is a search bar with a '検索' button and a gear icon. A table header is visible with columns: No, 会計期間名, ▲開始日, 終了日, オープン日, 申請締日, 承認締日. The table body is currently empty.

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

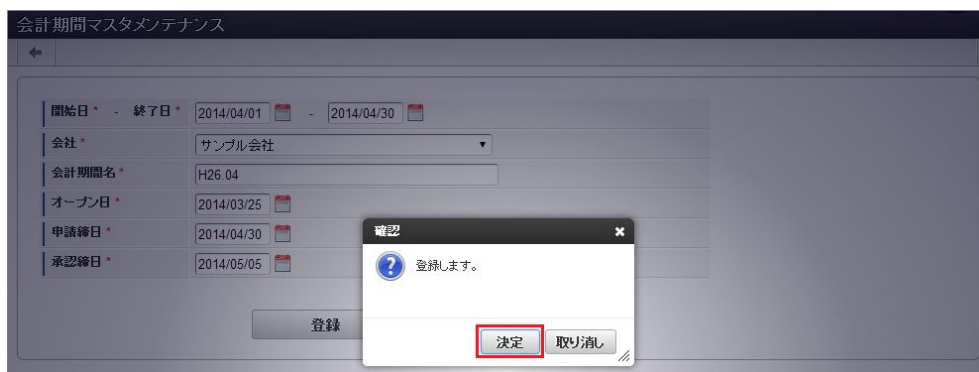
The screenshot shows the registration form for the 'Accounting Period Master Maintenance'. The form includes the following fields:

- 開始日 * - 終了日 *: 2014/04/01 - 2014/04/30
- 会社 *: サンプル会社
- 会計期間名 *: H26_04
- オープン日 *: 2014/03/25
- 申請締日 *: 2014/04/30
- 承認締日 *: 2014/05/05

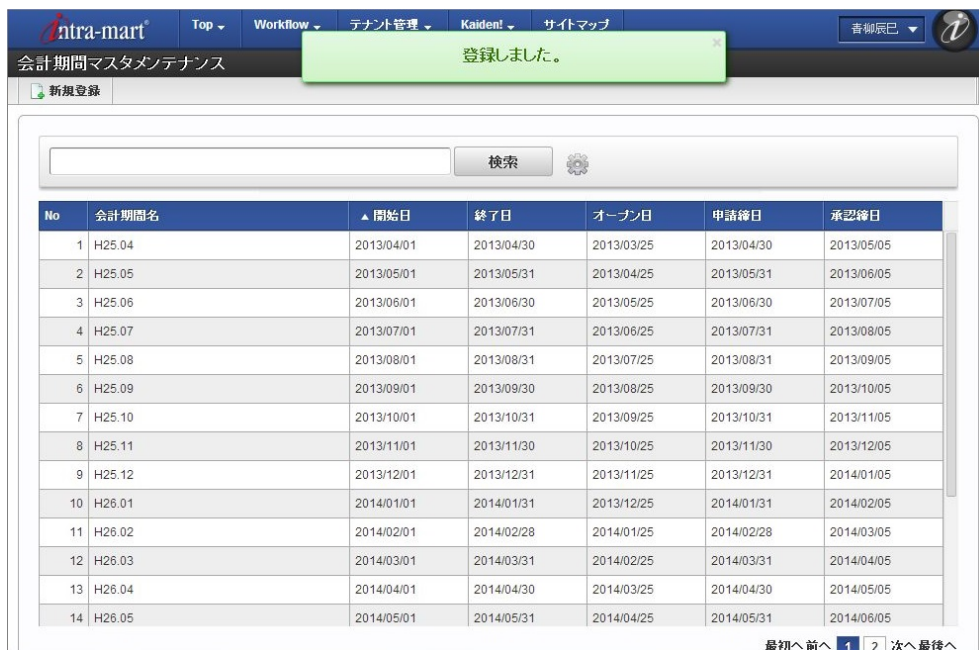
At the bottom, there is a '登録' button highlighted with a red box and a '一覧に戻る' button.

- 会計期間名
会計期間の名称を入力します。
- オープン日
申請が可能になる日付を入力します。
- 申請締日
申請を締切る日付を入力します。
- 承認締日
承認を締切る日付を入力します。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「会計期間」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい会計期間の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会計期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

会計期間メンテナンス

新規登録

検索

No	会計期間名	▲ 開始日	終了日	オープン日	申請締日	承認締日
1	H25.04	2013/04/01	2013/04/30	2013/03/25	2013/04/30	2013/05/05
2	H25.05	2013/05/01	2013/05/31	2013/04/25	2013/05/31	2013/06/05
3	H25.06	2013/06/01	2013/06/30	2013/05/25	2013/06/30	2013/07/05
4	H25.07	2013/07/01	2013/07/31	2013/06/25	2013/07/31	2013/08/05
5	H25.08	2013/08/01	2013/08/31	2013/07/25	2013/08/31	2013/09/05
6	H25.09	2013/09/01	2013/09/30	2013/08/25	2013/09/30	2013/10/05
7	H25.10	2013/10/01	2013/10/31	2013/09/25	2013/10/31	2013/11/05
8	H25.11	2013/11/01	2013/11/30	2013/10/25	2013/11/30	2013/12/05
9	H25.12	2013/12/01	2013/12/31	2013/11/25	2013/12/31	2014/01/05
10	H26.01	2014/01/01	2014/01/31	2013/12/25	2014/01/31	2014/02/05
11	H26.02	2014/02/01	2014/02/28	2014/01/25	2014/02/28	2014/03/05
12	H26.03	2014/03/01	2014/03/31	2014/02/25	2014/03/31	2014/04/05
13	H26.04	2014/04/01	2014/04/30	2014/03/25	2014/04/30	2014/05/05
14	H26.05	2014/05/01	2014/05/31	2014/04/25	2014/05/31	2014/06/05

最初へ前へ 1 2 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会計期間メンテナンス

←

開始日 * - 終了日 * 2014/04/01 - 2014/04/30

会社 * サンプル会社

会計期間名 * H26.04

オープン日 * 2014/03/25

申請締日 * 2014/04/30

承認締日 * 2014/05/05

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

会計期間メンテナンス

←

開始日 * - 終了日 * 2014/04/01 - 2014/04/30

会社 * サンプル会社

会計期間名 * H26.04

オープン日 * 2014/03/25

申請締日 * 2014/04/30

承認締日 * 2014/05/05

更新

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

No	会計期間名	▲ 開始日	終了日	オープン日	申請締日	承認締日
1	H25.04	2013/04/01	2013/04/30	2013/03/25	2013/04/30	2013/05/05
2	H25.05	2013/05/01	2013/05/31	2013/04/25	2013/05/31	2013/06/05
3	H25.06	2013/06/01	2013/06/30	2013/05/25	2013/06/30	2013/07/05
4	H25.07	2013/07/01	2013/07/31	2013/06/25	2013/07/31	2013/08/05
5	H25.08	2013/08/01	2013/08/31	2013/07/25	2013/08/31	2013/09/05
6	H25.09	2013/09/01	2013/09/30	2013/08/25	2013/09/30	2013/10/05
7	H25.10	2013/10/01	2013/10/31	2013/09/25	2013/10/31	2013/11/05
8	H25.11	2013/11/01	2013/11/30	2013/10/25	2013/11/30	2013/12/05
9	H25.12	2013/12/01	2013/12/31	2013/11/25	2013/12/31	2014/01/05
10	H26.01	2014/01/01	2014/01/31	2013/12/25	2014/01/31	2014/02/05
11	H26.02	2014/02/01	2014/02/28	2014/01/25	2014/02/28	2014/03/05
12	H26.03	2014/03/01	2014/03/31	2014/02/25	2014/03/31	2014/04/05
13	H26.04	2014/04/01	2014/04/30	2014/03/25	2014/04/30	2014/05/05
14	H26.05	2014/05/01	2014/05/31	2014/04/25	2014/05/31	2014/06/05

仕入先マスタ

本項では、仕入先マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

仕入先マスタは、経費を支払う場合の仕入先（支払先）を管理します。事前に消費税の端数計算方法や源泉徴収有無などを設定することで、申請者の入力負担を低減することができます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

注意

仕入先マスタは、経費支払申請などで使用するマスタです。intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーの個人支払先を登録する「支払先マスタ」とは異なるマスタですのでご注意ください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕入先」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 仕入先コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 仕入先名
仕入先の名称を入力します。
- 支払先分類
支払先の分類を選択します。
- 外税/内税区分
外税/内税を選択します。
本項目は申請時の初期値として使用します。
- 債務勘定科目コード
仕訳データ作成／出力時の債務勘定科目コードを入力します。
- 源泉税区分利用
源泉税に関する項目の利用有無を選択します。
- 源泉税科目コード
仕訳データ作成／出力時の源泉税科目コードを入力します。
- 消費税端数処理区分
消費税計算時の丸め方法を選択します。
- 検索キーワード
検索用のキーワードを入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

登録しました。

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 | 31 - 2999/12/31 | 31

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *
日本語 株式会社サンプル
英語 Ltd. Sample
中国語 (中華人民共和国) 公司样品

支払先分類 取引先

外税内税区分 * 外税 内税

債務勘定科目コード * 11111111

源泉税区分利用 * 利用しない 利用する

源泉税科目コード 222222

消費税端数処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕入先」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

仕入先

新規登録

検索 クリア

No	仕入先コード	仕入先名	検索キーワード
----	--------	------	---------

i コラム

検索欄に検索したい仕入先の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 仕入先コード
- 仕入先名
- 検索キーワード

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

仕入先

新規登録

検索 クリア

No	仕入先コード	仕入先名	検索キーワード
1	000000	株式会社サンプル	sample
2	000001	ABC商事	
3	000002	法人研修センター	
4	000003	△△デザイン	
5	000004	123法律事務所	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

仕入先

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *
日本語 株式会社サンプル
英語 Ltd Sample
中国語 (中華人民共和国) 公司样品

支払先分類 取引先

外税内税区分 * 外税 内税

債務勘定科目コード * 1111111

源泉税区分利用 * 利用しない 利用する

源泉税科目コード 222222

消費税端数処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 仕入先コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

仕入先

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *
日本語 株式会社サンプル
英語 Sample
中国語 (中華人民共和国) 样品

支払先分類 取引先

外税内税区分 * 外税 内税

債務勘定科目コード * 1111111

源泉税区分利用 * 利用しない 利用する

源泉税科目コード 222222

消費税端数処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow ナビゲーション サンプル サイトマップ 青帳戻り ? ?

仕入先 更新しました。

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *
日本語 株式会社サンプル
英語 Ltd Sample
中国語 (中華人民共和国) 公司样品

支払先分類 取引先

外税内税区分 * 外税 内税

債務勘定科目コード * 1111111

源泉税区分利用 * 利用しない 利用する

源泉税科目コード 222222

消費税端数処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名	import.csv
文字コード	UTF-8
区切り文字	,
囲み文字	"

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	仕入先コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式
6	仕入先名	○	250	
7	支払先分類		100	項目区分（300009）に設定した項目ID
8	債務勘定科目コード	○	100	
9	源泉税利用有無	○	1	0 : 利用しない 1 : 利用する
10	源泉税科目コード	源泉税利用時は必須	100	
11	外税/内税区分	○	1	1 : 外税 2 : 内税
12	消費税端数処理区分	○	100	
13	検索キーワード		1000	
14	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）



コラム

消費税[端数処理区分]は以下のいずれかを指定してください。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","株式会社サンプル","300009-1","1000","0","","","1","300003-HALFDOWN","sample","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Ltd. Sample","300009-1","1000","0","","","1","300003-HALFDOWN","sample","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","公司品","300009-1","1000","0","","","1","300003-HALFDOWN","sample","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/vendor

ファイル名 import.csv

i コラム

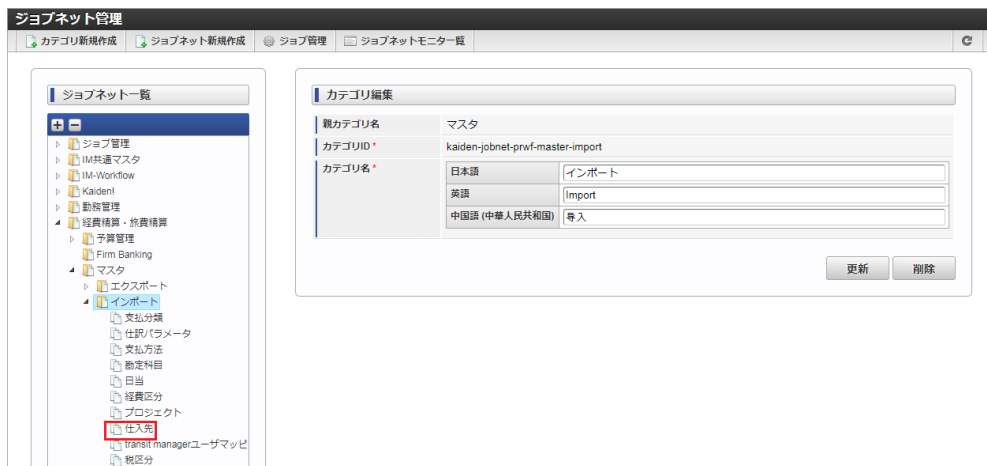
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「仕入先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

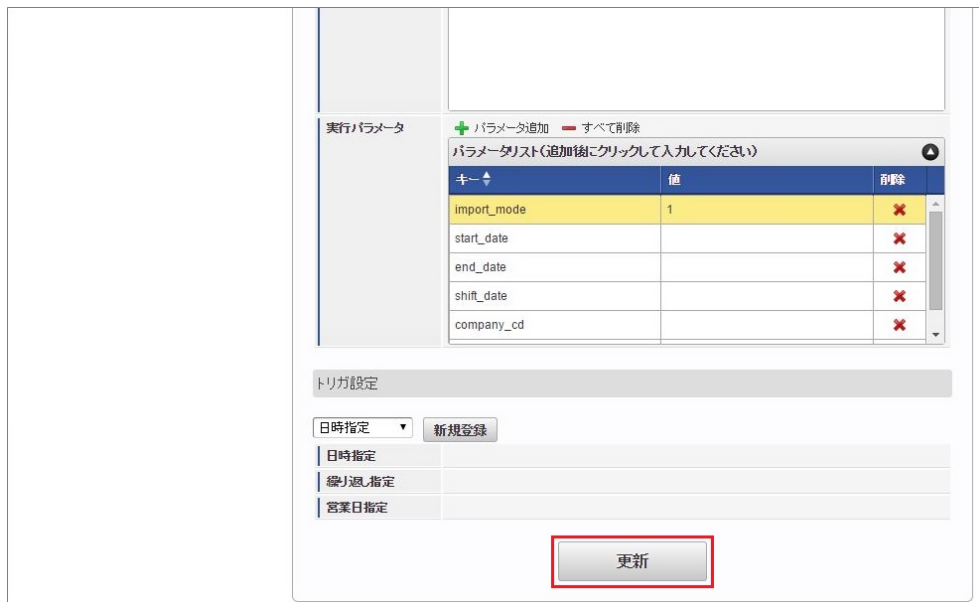
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

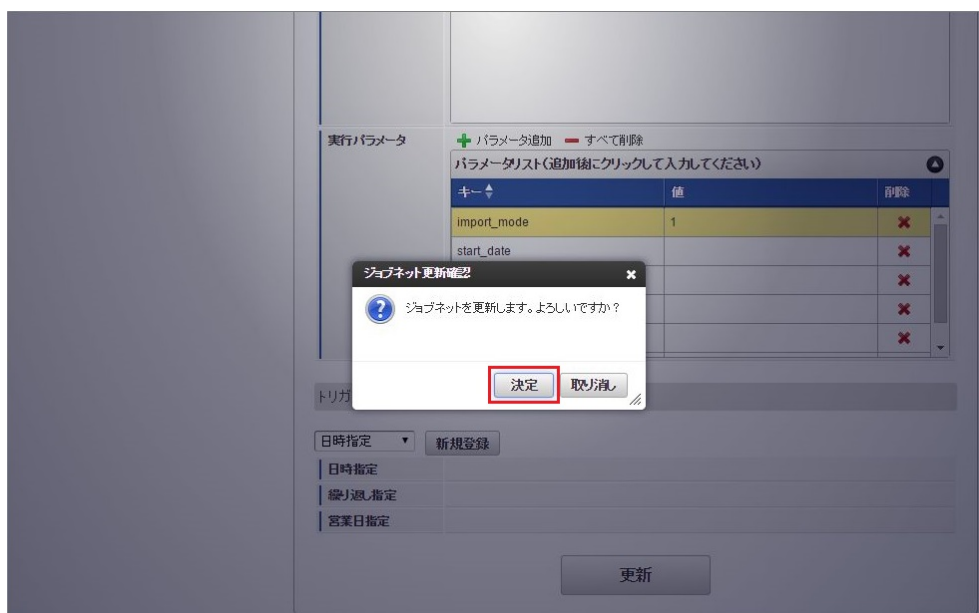
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-vendor	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 仕入先

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/vendor/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/vendor/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ■ ,：カンマ ■ \t：タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 仕入先マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「vendor」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

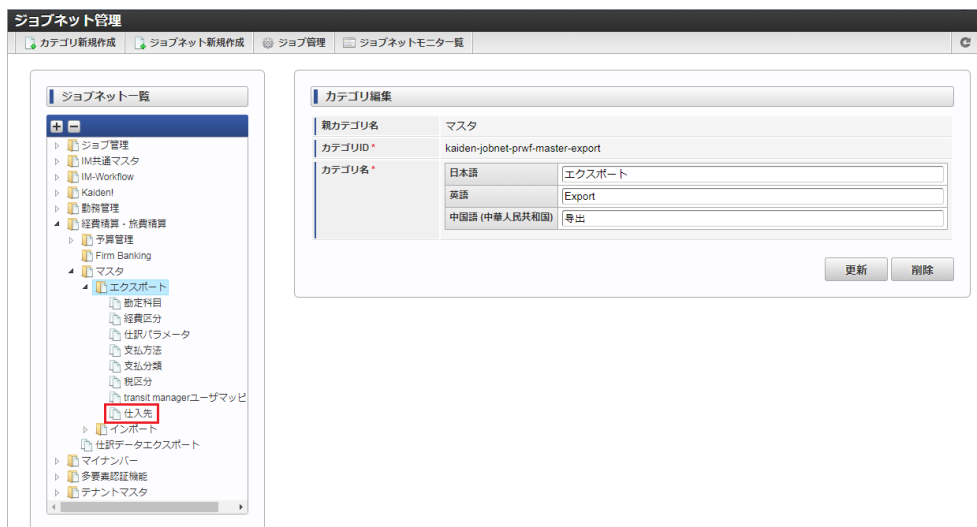
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

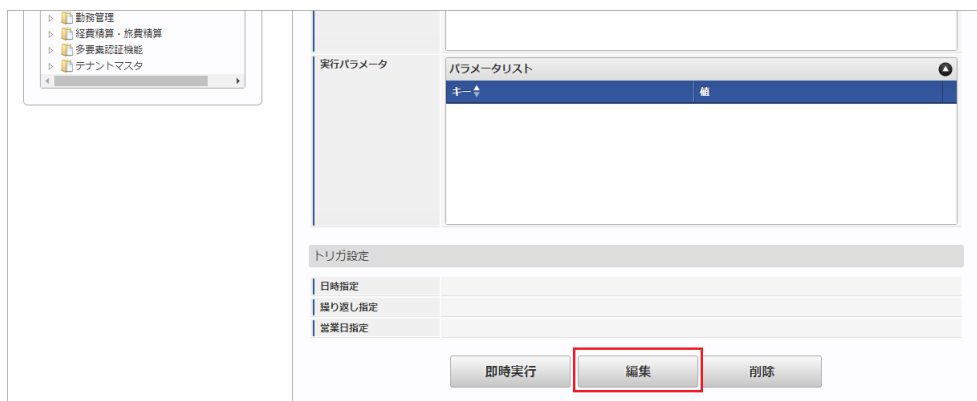
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

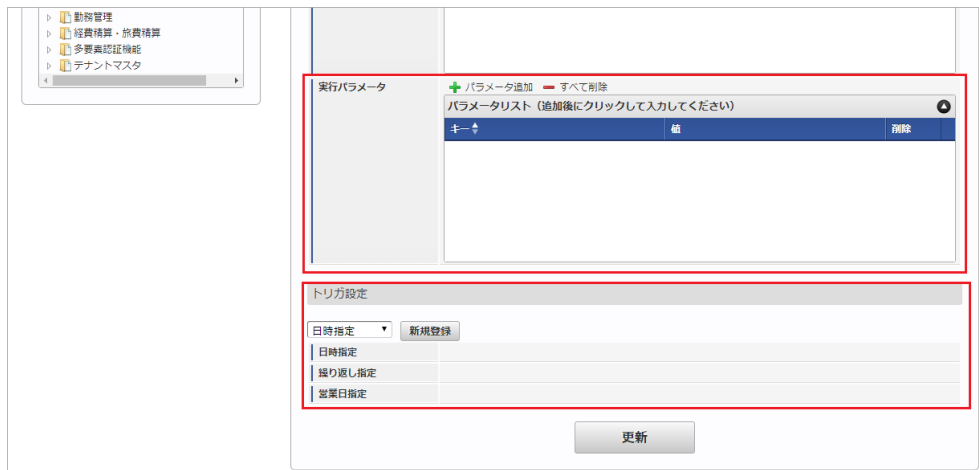
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「仕入先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

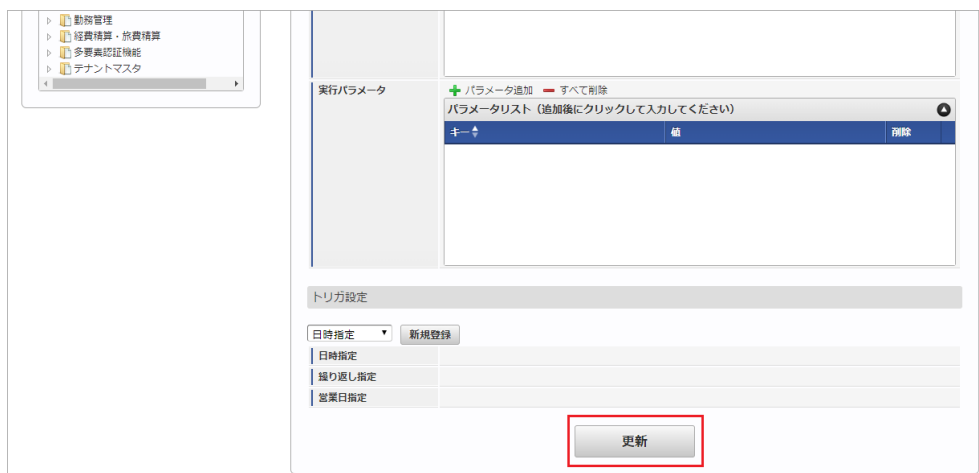
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

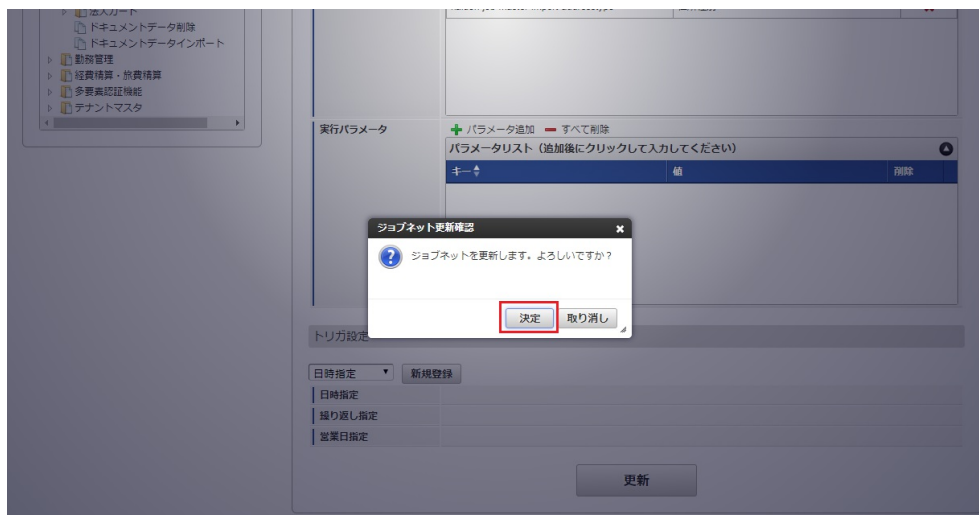
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-vendor	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 仕入先

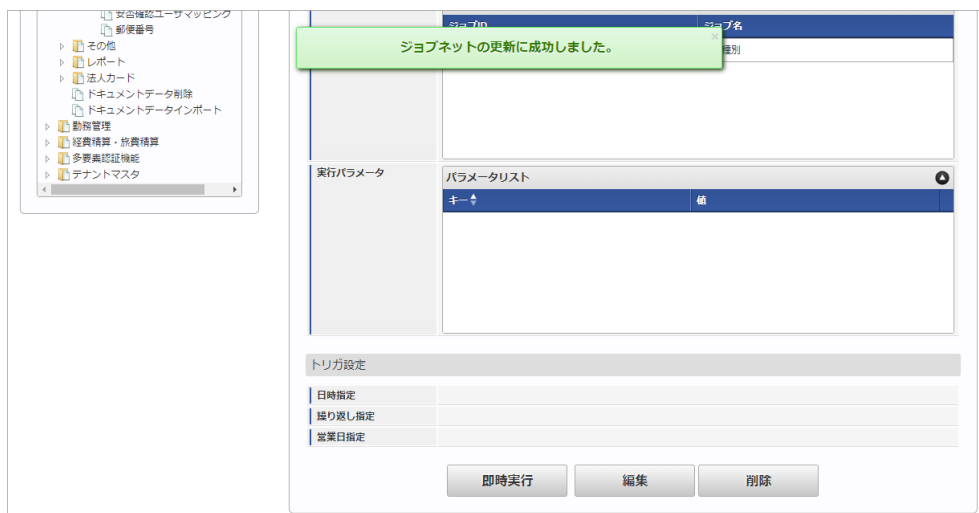
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/vendor/

ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
customerCd	仕入先コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
customerName	仕入先名	
vendorKbn	支払先分類	
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
withholdingTaxFlag	源泉税利用有無	0：利用しない 1：利用する
accountCdWithholdingTax	源泉税科目コード	
taxTypele	外税・内税区分	1：外税 2：内税
taxRoundTypeCd	消費税端数処理区分	
searchKeyword	検索キーワード	
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効

コラム

消費税[端数処理区分]に出力される値は以下のいずれかです。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/vendor/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/vendor/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション ▪ none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true：ヘッダー出力有 ▪ false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 仕入先マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「vendor」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

申請書マスタ

本項では、申請書マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

申請書マスタは、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

メンテナンス

申請書マスタメンテナンスの操作方法は、 [コンテンツ定義](#) を参照してください。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 指定はありません。

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

形式 XMLファイル

- **データ形式**
次の様なXML形式でコンテンツ定義用のインポートデータファイルを作成します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<contentsSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/contentsSettings">
  <contentsGroup>
    <contents>
      <contentsId>サンプル申請</contentsId>
      <localeId>ja</localeId>
      <contentsName>Sample Application</contentsName>
      <contentsClassify>0</contentsClassify>
      <note></note>
      <contentsDetailGroup>
        <contentsDetail>
          <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
          <startDate>2000/01/01</startDate>
          <limitDate>2015/01/31</limitDate>
          <versionStatus>1</versionStatus>
          <note></note>
        </contentsDetail>
        <contentsDetail>
          <contentsVersionId>8e9yusogj0eoz8</contentsVersionId>
          <startDate>2015/02/01</startDate>
          <limitDate>2999/12/31</limitDate>
          <versionStatus>1</versionStatus>
          <note></note>
        </contentsDetail>
      </contentsDetailGroup>
      <contentsPagePathGroup>
        <contentsPagePath>
          <pagePathId>apply</pagePathId>
          <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
          <pageName>Apply</pageName>
          <pageClassify>0</pageClassify>
          <note></note>
          <defaultFlag>1</defaultFlag>
          <pathType>2</pathType>
          <scriptPath></scriptPath>
          <applicationId></applicationId>
          <serviceld></serviceld>
        </contentsPagePath>
      </contentsPagePathGroup>
    </contents>
  </contentsGroup>
</contentsSettings>
```

```

</pagePath>kaiden/workflow/apply?kp=apply</pagePath>
</contentsPagePath>

...略...

</contentsPagePathGroup>
<contentsPluginGroup>
  <contentsPlugin>
    <contentsPluginId>8e9ysqxu0e2da8</contentsPluginId>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <extensionPointId>jp.co.intra_mart.workflow.plugin.event.node.action.process</extensionPointId>
    <pluginId>jp.co.intra_mart.workflow.plugin.event.node.action.process.pluginJavaExecutor</pluginId>
    <pluginName>Action Process (Apply)</pluginName>
    <parameter>jp.co.slcs.kaiden2.extension_imw.feature.plugin.kaiden.workflow.ImwActionProcessPlugin</parameter>
    <note></note>
    <nodeType>2</nodeType>
    <defaultFlag>1</defaultFlag>
    <executeOrder>0</executeOrder>
  </contentsPlugin>

...略...

</contentsPluginGroup>
</contents>
</contentsGroup>
<contentsImboxGroup>
  <contentsImbox>
    <imboxId>processing</imboxId>
    <contentsImboxClassify>0</contentsImboxClassify>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <defaultFlag>1</defaultFlag>
  </contentsImbox>
</contentsImboxGroup>
<contentsMailGroup>
  <contentsMail>
    <mailId>confirm</mailId>
    <contentsMailClassify>3</contentsMailClassify>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <defaultFlag>1</defaultFlag>
  </contentsMail>
</contentsMailGroup>
<contentsRuleGroup>
  <contentsRule>
    <ruleId>rule_sample_01</ruleId>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
  </contentsRule>
</contentsRuleGroup>
</contentsSettings>

```

タグ概要

タグ	必須設定	名称・説明	最大文字数
contentsGroup	○	複数のロケールで利用する場合は、全ロケール分のcontentsを作成してください。	
contentsGroup/contents/contentsId	○	コンテンツIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/localeId	○	ロケールIDを設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsName	○	コンテンツ名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsClassify	○	コンテンツ種類を設定します。	5
contentsGroup/contents/note		コンテンツの備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup	○	コンテンツバージョンごとにcontentsDetailを設定します。	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/startDate	○	開始日を設定します。	10

contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/limitDate	○	終了日を設定します。	10
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/versionStatus	○	バージョンステータスを設定しま す。 ■ 0:無効 ■ 1:有効	1
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/note		コンテンツバージョンの備考を設 定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath	○	画面ごとにcontentsPagePath を設定します。	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定し ます。	20
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pageName	○	画面名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pageClassify	○	画面種類を設定します。	5
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/note		画面定義の備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/defaultFlag	○	デフォルトフラグを設定します。 ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する	1
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pathType	○	パス種別を設定します。	5
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/scriptPath		スクリプトパスを設定します。	200
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/applicationId		アプリケーションIDを設定しま す。	100
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/serviceId		サービスIDを設定します。	100
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePath		ページパスを設定します。	200
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup	○	ユーザプログラムごとに contentsPluginを設定します。	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsPluginId	○	コンテンツプラグインを設定しま す。	20
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定し ます。	20
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/extensionPointId	○	拡張ポイントIDを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginId	○	プラグインIDを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginName	○	プラグイン名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/parameter		パラメータを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/note		ユーザプログラム定義の備考を設 定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/nodeType		ノード種別を設定します。	5

contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/		デフォルトフラグを設定します。	1
contentsPlugin/defaultFlag		<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/executeOrder		実行順番を設定します。	3
contentsImboxGroup		IMBox定義を設定します。複数設定可能です。	
contentsImboxGroup/contentsImbox/imboxId	○	IMBoxIDを設定します。	20
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsImboxClassify	○	コンテンツIMBox種類を設定します。	5
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsImboxGroup/contentsImbox/defaultFlag		デフォルトフラグを設定します。	1
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	
contentsMailGroup		メール定義を設定します。複数設定可能です。	
contentsMailGroup/contentsMail/mailld	○	メールIDを設定します。	20
contentsMailGroup/contentsMail/contentsMailClassify	○	コンテンツメール種類を設定します。	5
contentsMailGroup/contentsMail/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsMailGroup/contentsMail/defaultFlag		デフォルトフラグを設定します。	1
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	
contentsRuleGroup		ルール定義を設定します。複数設定可能です。	
contentsRuleGroup/contentsRule/ruleId	○	ルールIDを設定します。	20
contentsRuleGroup/contentsRule/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20

■ データ形式

次の様なXML形式で申請書定義用のインポートデータファイルを作成します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<appSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/appSettings">
  <app>
    <contentsId>ApplicationSample</contentsId>
    <appType>10</appType>
    <appGadgetGroup>
      <appGadget>
        <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
        <pagePathId>apply</pagePathId>
        <gadgetClass>advance</gadgetClass>
        <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
        <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
        <sortKey>0</sortKey>
        <surfaceKey>chapterTitle</surfaceKey>
        <gadgetDispFlag>1</gadgetDispFlag>
        <appGadgetBlockGroup>
          <appGadgetBlock>
            <gadgetBlock>advTable</gadgetBlock>
            <gadgetBlockType>normal</gadgetBlockType>
            <allowAddFlag>0</allowAddFlag>
            <allowDelFlag>0</allowDelFlag>
            <sortKey>1</sortKey>
            <surfaceKey>chapterTitle</surfaceKey>
          <appGadgetFieldGroup>
            <appGadgetField>
              <fieldKey>companyAmount</fieldKey>
              <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
            </appGadgetField>
          </appGadgetFieldGroup>
        </appGadgetBlock>
      </appGadget>
    </appGadgetGroup>
  </app>
</appSettings>
```

```

<sortKey>10202</sortKey>
<inputType>0</inputType>
<requiredFlag>0</requiredFlag>
<appGadgetValidationGroup>
  <appGadgetValidation>
    <validationId>numericMax</validationId>
    <validationTarget>ALWAYS</validationTarget>
    <validationTimingDefaultFlag>true</validationTimingDefaultFlag>
    <args>{'id':'numericMax', 'args':'100000'}</args>
    <extensionA/>
    <extensionB/>
    <extensionC/>
    <extensionD/>
    <extensionE/>
    <extensionF/>
    <extensionG/>
    <extensionH/>
    <extensionI/>
    <extensionJ/>
  </appGadgetValidation>
</appGadgetValidationGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appGadgetField>

```

...略...

```

</appGadgetFieldGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appGadgetBlock>
</appGadgetBlockGroup>
<appGadgetSurfaceGroup>
  <appGadgetSurface>
    <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
    <localeId>en</localeId>
    <surface>Suspense Pay Amount</surface>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appGadgetSurface>
  <appGadgetSurface>
    <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
    <localeId>ja</localeId>
    <surface>仮払金額</surface>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appGadgetSurface>

```



```

</appGadgetSurface>
<appGadgetSurface>
  <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
  <localeId>zh_CN</localeId>
  <surface>付金</surface>
  <extensionA></extensionA>
  <extensionB></extensionB>
  <extensionC></extensionC>
  <extensionD></extensionD>
  <extensionE></extensionE>
  <extensionF></extensionF>
  <extensionG></extensionG>
  <extensionH></extensionH>
  <extensionI></extensionI>
  <extensionJ></extensionJ>
</appGadgetSurface>

...略...

</appGadgetSurfaceGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appGadget>

...略...

</appGadgetGroup>
<appExtTextGroup>
  <appExtText>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
    <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
    <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
    <localeId>en</localeId>
    <extensionText>&lt;p&gt;sample&lt;/p&gt;</extensionText>
    <extensionA/>
    <extensionB/>
    <extensionC/>
    <extensionD/>
    <extensionE/>
    <extensionF/>
    <extensionG/>
    <extensionH/>
    <extensionI/>
    <extensionJ/>
  </appExtText>
  <appExtText>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
    <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
    <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
    <localeId>ja</localeId>
    <extensionText>&lt;p&gt;サンプル&lt;/p&gt;</extensionText>
    <extensionA/>
    <extensionB/>
    <extensionC/>
    <extensionD/>
    <extensionE/>
    <extensionF/>
    <extensionG/>
    <extensionH/>
    <extensionI/>
    <extensionJ/>
  </appExtText>
  <appExtText>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
    <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
    <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
    <localeId>zh_CN</localeId>

```

```

<extensionText>&lt;p>&gt;品</p>&gt;</extensionText>
<extensionA/>
<extensionB/>
<extensionC/>
<extensionD/>
<extensionE/>
<extensionF/>
<extensionG/>
<extensionH/>
<extensionI/>
<extensionJ/>
</appExtText>
</appExtTextGroup>
<appVersionGroup>
  <appVersion>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <numberingClassId>imwNumbering</numberingClassId>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appVersion>

  ...略...

</appVersionGroup>
<pageScreenInfoGroup>
  <pageScreenInfo>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <pagePathId>apply</pagePathId>
    <pageJspPath></pageJspPath>
    <spPageJspPath></spPageJspPath>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </pageScreenInfo>

  ...略...

</pageScreenInfoGroup>
<appExtParameterGroup>
  <appExtParameter>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <pagePathId>apply</pagePathId>
    <parameterKey>parameterkey1</parameterKey>
    <parameterValue>docSysLink</parameterValue>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appExtParameter>

  ...略...

</appExtParameterGroup>
<appExtUserPgmGroup>
  <appExtUserPgm>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>

```

```

<extensionUserProgram>jp.co.slcs.kaiden2.product_workflow.feature.conductor.documentationSystemLink.impl.DocumentationSystemLinkImpl</extensionUserProgram>

<execOrder>1</execOrder>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appExtUserPgm>

...略...

</appExtUserPgmGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</app>
</appSettings>

```

タグ概要

タグ	必須設定	名称・説明	最大文字数
app	○	申請書ごとに複数設定可能です。	
app/contentId	○	コンテンツIDを設定します。	20
app/appType	○	申請書タイプを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget	○	ガジェットを、コンテンツバー ジョン、画面パスごとに設定 します。	
app/appGadgetGroup/appGadget/contentVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設 定します。	20
app/appGadgetGroup/appGadget/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetClass	○	ガジェットクラスを設定しま す。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetVariation	○	ガジェットバリエーションを 設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetInstance	○	ガジェットインスタンスを設 定します。	18
app/appGadgetGroup/appGadget/sortKey	○	ソートキーを設定します。	15
app/appGadgetGroup/appGadget/surfaceKey		申請書のサーフィスキーを設 定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetDispFlag	○	ガジェット表示フラグを設定 します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:ガジェットを非表示にする ■ 1:ガジェットを表示する 	1

app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetFloatingFlag	○	ガジェットフローティングフラグを設定します。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup		ガジェットブロックを設定します。 複数設定可能です。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlock	○	ガジェットブロックIDを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlockType	○	ガジェットブロックタイプを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowAddFlag	○	追加可否フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:許可しない ■ 1:許可する 	1
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowDelFlag	○	削除可否フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:許可しない ■ 1:許可する 	1
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/sortKey	○	ソートキーを設定します。	15
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/surfaceKey	○	ガジェットブロックのサーフィスキーを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup		フィールドキーごとに設定します。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/fieldKey	○	フィールドキーを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/surfaceKey		サーフィスキーを設定します。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/sortKey	○	ソートキーを設定します。	15
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/inputType	○	入力区分を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:入力項目 ■ 1:ラベル項目 	1
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/requiredFlag	○	必須フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:任意項目 ■ 1:必須項目 	1
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation		バリデーション定義を設定します。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/validationId		バリデーションIDを設定します。	20
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/validationTarget		バリデーションターゲットを設定します。	20
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/validationTimingDefaultFlag		デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ true:全てのイベントで実行する ■ false:指定されたイベントで実行する 	5

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/args		バリデーションID及び引数を JSON形式で 設定します。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup		複数のロケールで利用する 場合は、全ロケール分の contentsを作成してくださ い。	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surfaceKey	○	サーフィスキーを設定しま す。	100
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/localeId	○	ロケールIDを設定します。	50
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surface		サーフィスを設定します。	1000
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appGadgetGroup/appGadget/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appExtTextGroup		コンテンツバージョンごとに 設定します。	
app/appExtTextGroup/appExtText/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設 定します。	20
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetClass	○	ガジェットクラスを設定しま す。	100
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetVariation	○	ガジェットバリエーションを 設定します。	100
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetInstance	○	ガジェットインスタンスを設 定します。	18
app/appExtTextGroup/appExtText/localeId	○	ロケールIDを設定します。	50
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionText		拡張テキストをテキスト形式 または HTML形式で設定します。 HTML形式で設定する場 合は、 タグをエスケープ文字で設 定します。	
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appVersionGroup		コンテンツバージョンごとに 設定します。	
app/appVersionGroup/appVersion/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設 定します。	20
app/appVersionGroup/appVersion/numberingClassId	○	案件番号採番クラスIDを設定 します。	1000
app/appVersionGroup/appVersion/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/pageScreenInfoGroup/		申請書規定画面をコンテン ツ バージョン、画面パスごとに設 定します。	

app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/pageJspPath		基盤JSPパスを設定します。 JSPをカスタマイズした場合、 「kaiden2」以下のパスを設定してください。	1000
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/spPageJspPath		スマートフォン用画面の基盤JSPパスを設定します。 JSPをカスタマイズした場合、 「kaiden2」以下のパスを設定してください。	1000
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appExtParameterGroup		ユーザプログラムで使用するパラメータを設定します。	
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterKey	○	パラメータキーを設定します。	100
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterValue	○	パラメータの値を設定します。	1000
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/appExtUserPgmGroup		ユーザプログラムを設定します。	
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionUserProgram	○	拡張ユーザプログラムを設定します。	1000
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/execOrder	○	実行順番を設定します。	15
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionA~J		予備項目を設定します。	250
app/extensionA~J		予備項目を設定します。	250

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ（コンテンツ定義） kaiden/import/contents/

ディレクトリ（申請書定義） kaiden/import/app/

ファイル名 指定はありません。

コラム

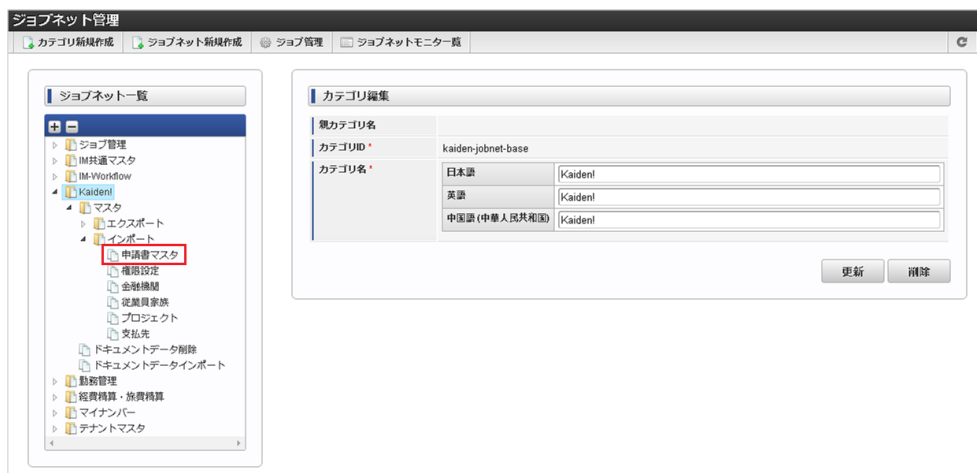
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「申請書マスタ」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

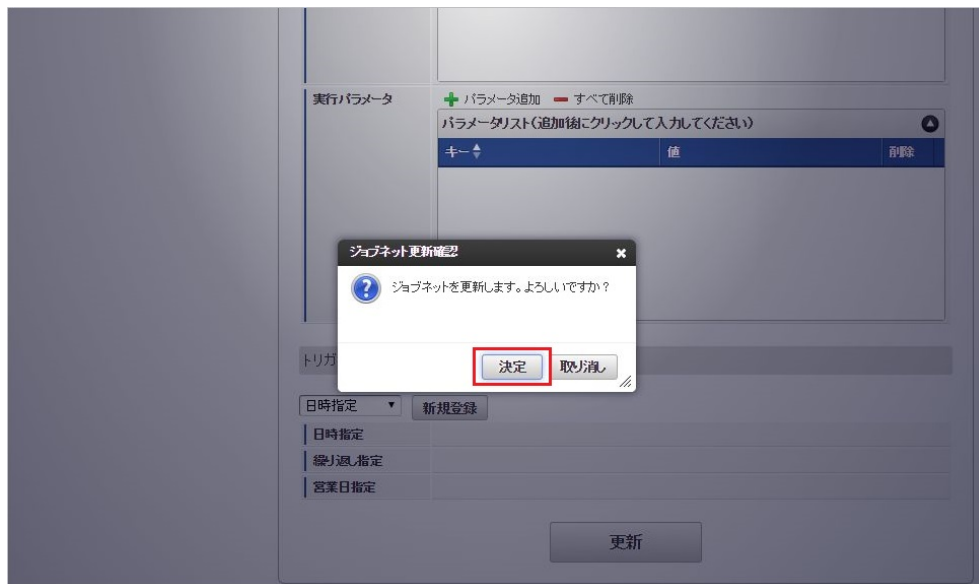
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-contents	Kaiden! / マスタ / インポート / コンテンツ
kaiden-job-master-import-app	Kaiden! / マスタ / インポート / 申請書

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を指定する必要はありません。 (省略時：kaiden/import/app/, kaiden/import/contents/)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/import/app/{CONTENTS_ID}/{FILE_NM}_{YMDHMSN}.xml、 kaiden/import/contents/{CONTENTS_ID}/{FILE_NM}_{YMDHMSN}.xml)
コンテンツID	contents_id	インポートするコンテンツのIDを設定します。 「,」区切りで複数設定できます。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{CONTENTS_ID}: コンテンツID

{FILE_NM}: ファイル名

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

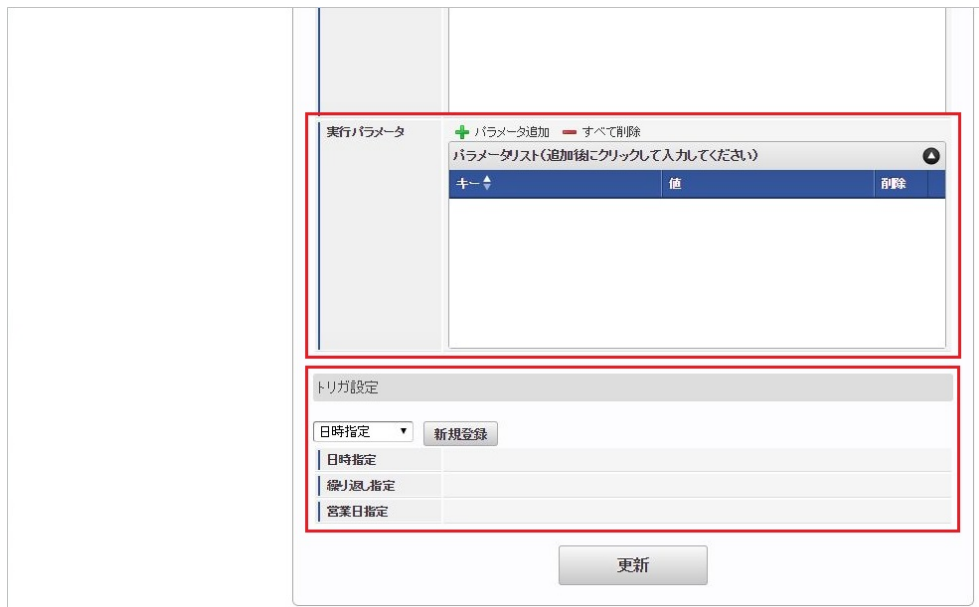
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「申請書マスタ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

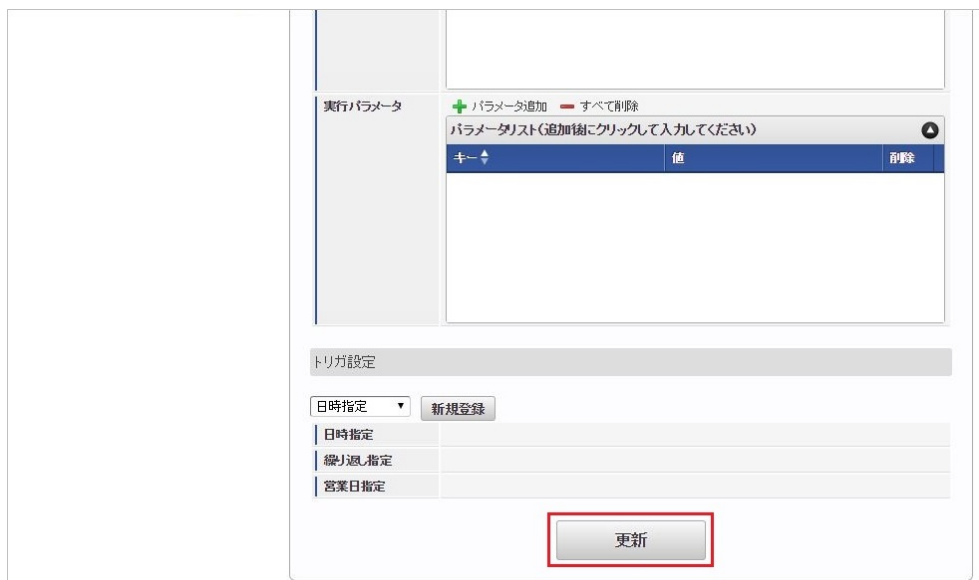
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

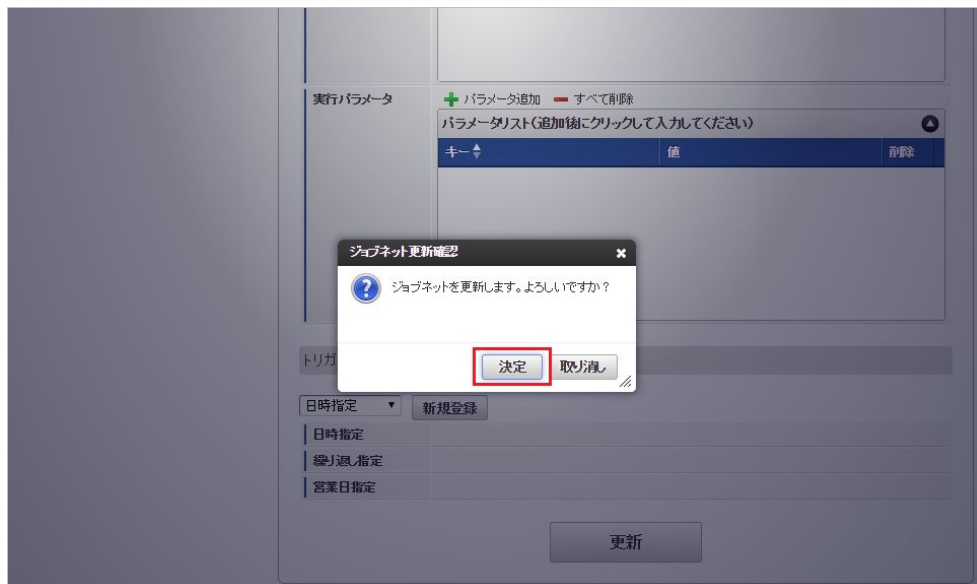
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-contents	Kaiden! / マスタ / エクスポート / コンテンツ
kaiden-job-master-export-app	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 申請書

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ（コンテンツ定義） kaiden/export/contents/

ディレクトリ（申請書定義） kaiden/export/app/

ファイル名 {contents_id}.xml

コンテンツ単位でファイルが作成されます。
ファイル名にはコンテンツIDが付与されます。



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
コンテンツ定義のデータ形式です。

タグ	項目名	備考
contentsGroup/contents/contentsId	コンテンツID	
contentsGroup/contents/localeId	ロケールID	
contentsGroup/contents/contentsName	コンテンツ名	
contentsGroup/contents/contentsClassify	コンテンツ種類	
contentsGroup/contents/note	コンテンツの備考	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/startDate	開始日	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/limitDate	終了日	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/versionStatus	バージョンステータス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:無効 ■ 1:有効
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/note	コンテンツバージョン の備考	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePathId	画面パスID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pageClassify	画面種類	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/note	画面定義の備考	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用し ない。 ■ 1:初期設定で使用す る
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pathType	パス種別	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/scriptPath	スクリプトパス	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/applicationId	アプリケーションID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/serviceId	サービスID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePath	ページパス	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsPluginId	コンテンツプラグイン	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/extensionPointId	拡張ポイントID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginId	プラグインID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginName	プラグイン名	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/parameter	パラメータ	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/note	ユーザプログラム定義 の備考	

contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/nodeType	ノード種別	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:初期設定で使用しない 1:初期設定で使用する
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/executeOrder	実行順番	
contentsImboxGroup/contentsImbox/imboxId	IMBoxID	
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsImboxClassify	コンテンツIMBox種類	
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	
contentsImboxGroup/contentsImbox/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:初期設定で使用しない 1:初期設定で使用する
contentsMailGroup/contentsMail/mailld	メールID	
contentsMailGroup/contentsMail/contentsMailClassify	コンテンツメール種類	
contentsMailGroup/contentsMail/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	
contentsMailGroup/contentsMail/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:初期設定で使用しない 1:初期設定で使用する
contentsRuleGroup/contentsRule/ruleId	ルールID	
contentsRuleGroup/contentsRule/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	

■ データ形式

申請書のデータ形式です。

タグ	項目名	備考
app/contentsId	コンテンツID	
app/appType	申請書タイプ	
app/appGadgetGroup/appGadget/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	
app/appGadgetGroup/appGadget/pagePathId	画面パスID	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetClass	ガジェットクラス	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetVariation	ガジェットバリエーション	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetInstance	ガジェットインスタンス	
app/appGadgetGroup/appGadget/sortKey	ソートキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/surfaceKey	サーフィスキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetDispFlag	ガジェット表示フラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:ガジェットを非表示にする 1:ガジェットを表示する
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetFloatingFlag	ガジェットフローティングフラグ	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlock	ガジェットブロックID	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlockType	ガジェットブロックタイプ	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowAddFlag	追加可否フラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:許可しない 1:許可する

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowDelFlag	削除可否フラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:許可しない ■ 1:許可する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/sortKey	ソートキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/surfaceKey	サーフィスキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/fieldKey	フィールドキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/surfaceKey	サーフィスキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/sortKey	ソートキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/inputType	入力区分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:入力項目 ■ 1:ラベル項目
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/requiredFlag	必須区分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:任意項目 ■ 1:必須項目
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup	バリデーショングループ	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation	バリデーション	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationId	バリデーションID	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationTarget	バリデーションターゲット	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationTimingDefaultFlag	バリデーションタイミング デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ true:全てのイベントで実行する ■ false : 指定されたイベントで実行する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/args	引数	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ extensionA~J	予備項目	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ extensionA~J	予備項目	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ extensionA~J	予備項目	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surfaceKey	サーフィスキー	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/localeId	ロケールID	

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surface	サーフィス
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/extensionA~J	予備項目
app/appGadgetGroup/appGadget/extensionA~J	予備項目
app/appExtTextGroup/appExtText/contentsVersionId	コンテンツバージョンID
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetClass	ガジェットクラス
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetVariation	ガジェットバリエーション
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetInstance	ガジェットインスタンス
app/appExtTextGroup/appExtText/localeId	ロケールID
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionText	拡張テキスト
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionA~J	予備項目
app/appVersionGroup/appVersion/contentsVersionId	コンテンツバージョンID
app/appVersionGroup/appVersion/numberingClassId	案件番号採番クラスID
app/appVersionGroup/appVersion/extensionA~J	予備項目
app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/contentsVersionId	コンテンツバージョンID
app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/pagePathId	ページパスID
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/pageJspPath	基盤JSPパス
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/spPageJspPath	スマートフォン用画面の基盤JSP パス
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/extensionA~J	予備項目
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/contentsVersionId	コンテンツバージョンID
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/pagePathId	画面パスID
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterKey	パラメータキー
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterValue	パラメータの値
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/extensionA~J	予備項目
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/contentsVersionId	コンテンツバージョンID
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionUserProgram	拡張ユーザプログラム
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/execOrder	実行順番
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionA~J	予備項目
app/extensionA~J	予備項目

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エクスポートファイルのパス	outputPath	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を指定する必要はありません。 (省略時: kaiden/export/app/, kaiden/export/contents/)

名称	キー	説明/設定値
既存ファイル操作	fileOperation	同名のファイルが存在する場合の操作を設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 上書き保存する 2: 同名のファイルをアーカイブファイルへ移動してからエクスポートする
アーカイブ先パス	archivePath	エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/export/archive/app/{CONTENTS_ID}_{YMDHMSN}.xml、 kaiden/export/archive/contents/{CONTENTS_ID}_{YMDHMSN}.xml)
コンテンツID	contentsId	エクスポートするコンテンツのIDを設定します。 「,」区切りで複数設定できます。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{CONTENTS_ID}: コンテンツID

transit managerユーザマッピングマスタ

本項では、transit managerユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

transit managerユーザマッピングマスタは、intra-mart Accel Kaiden!の使用するユーザと「transit manager」で使用する社員番号を紐付けます。transit managerユーザマッピングマスタに登録したユーザは、ICデータ検索ガジェットで「transit manager」に登録したデータを検索することができます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「transit managerユーザマッピングマスタ」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面に必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ユーザ
「transit manager」を使用するユーザを選択します。
- 社員番号
「transit manager」の社員番号を入力します。

コラム

「ユーザ」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「transit managerユーザーマッピングマスタ」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したいtransit managerユーザーマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 社員番号

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



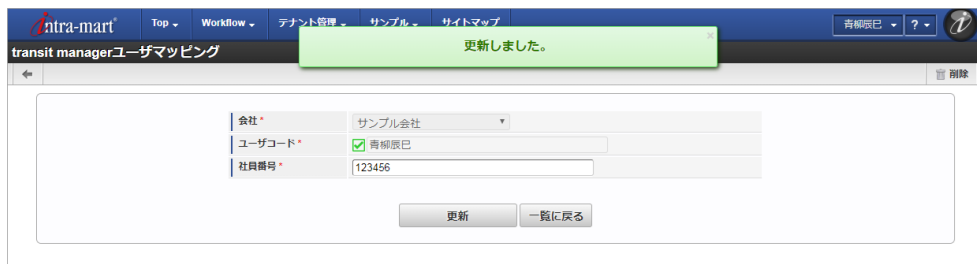
次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	社員番号	○	100	

データサンプル

"comp_sample_01","aoyagi","123456"

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tm_user_mapping

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

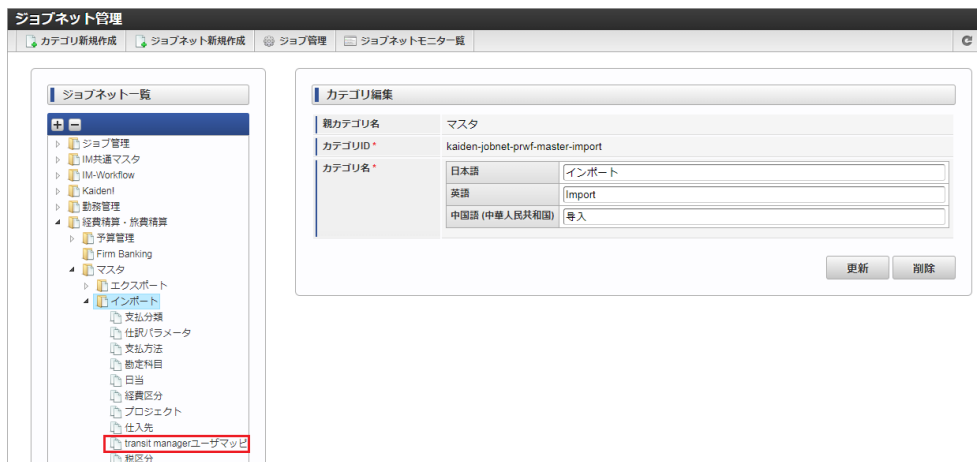
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

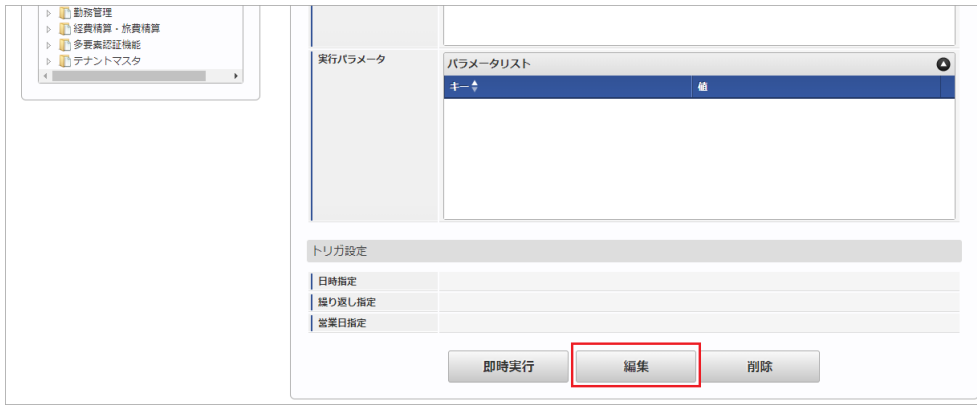
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

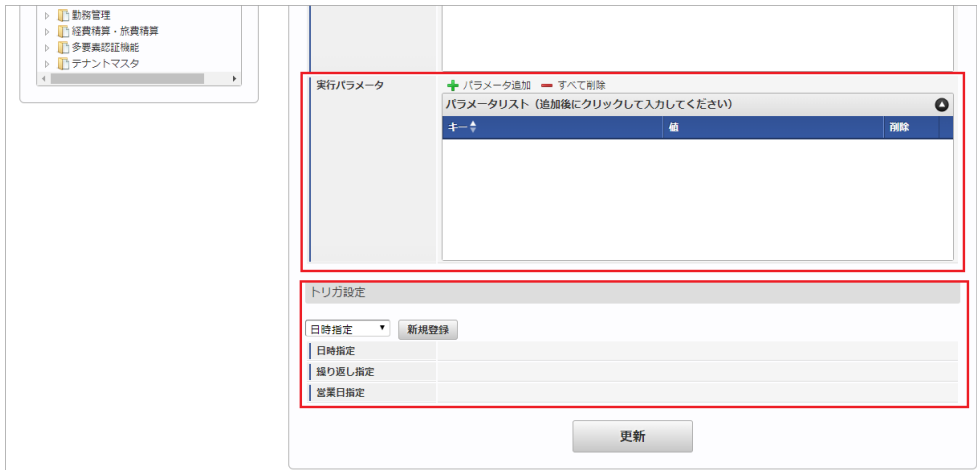
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「transit managerユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

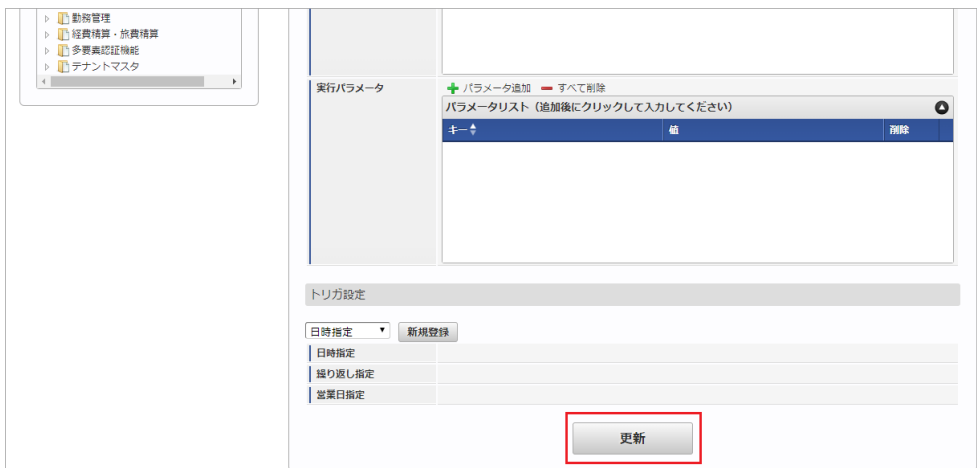
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

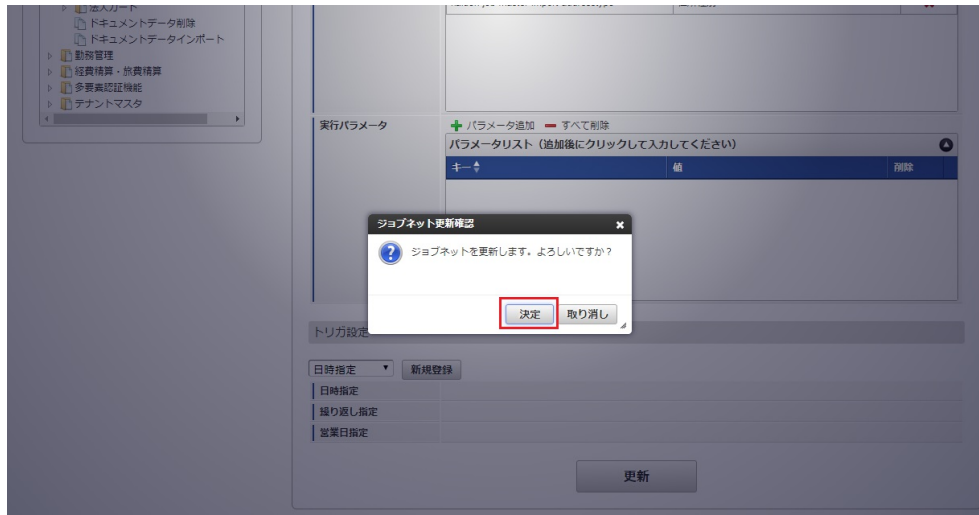
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-tmusermapping	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / transit managerユーザマッピング

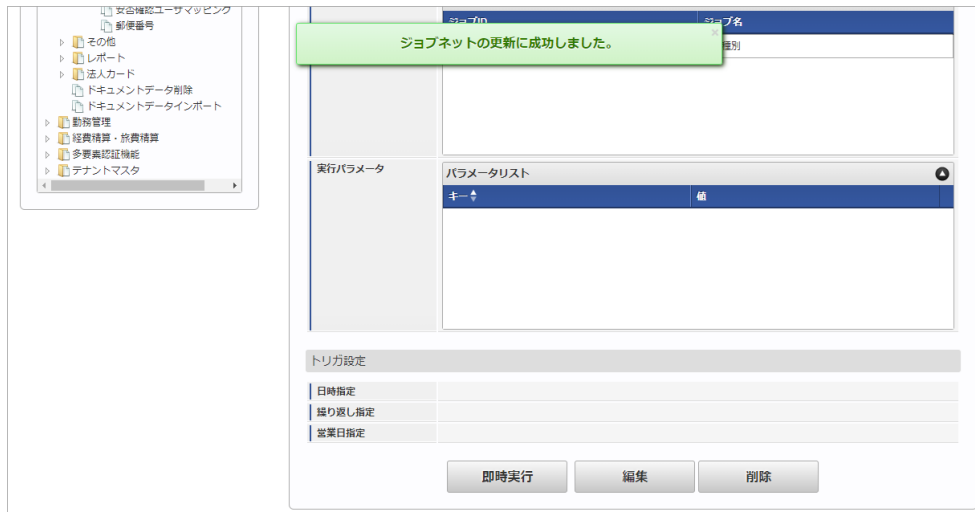
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 transit managerユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tm_user_mapping」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

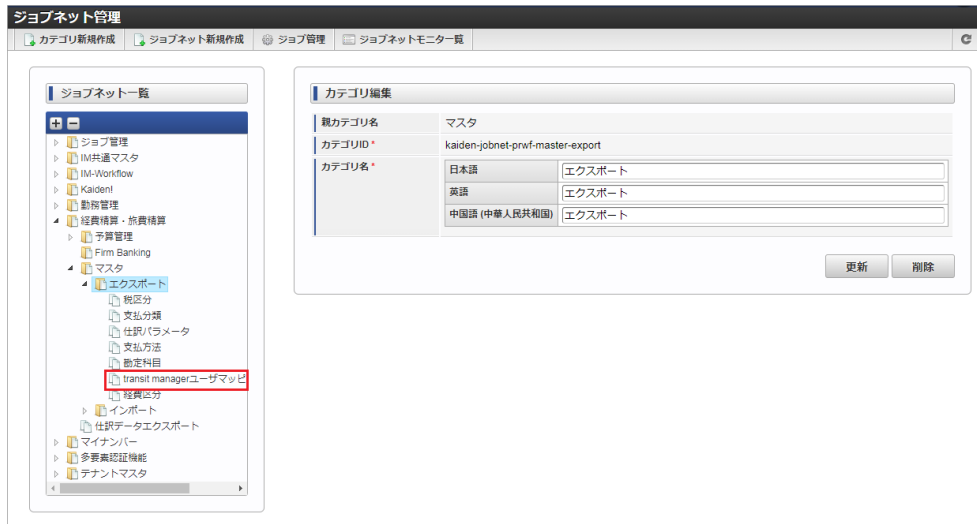
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

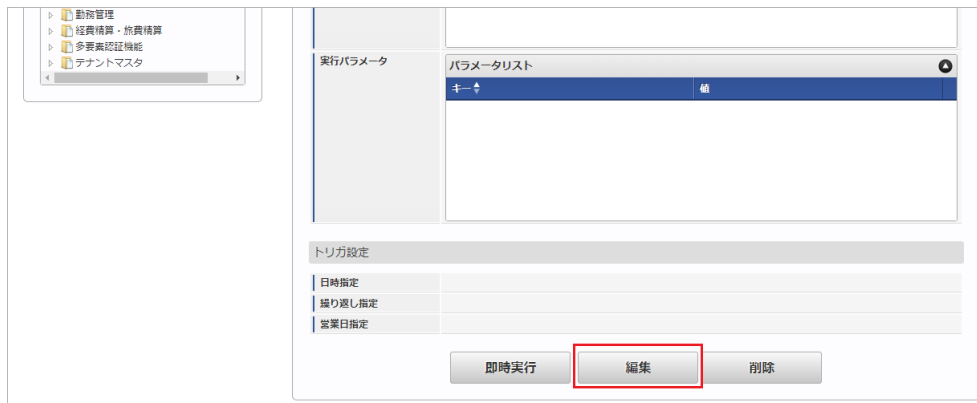
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

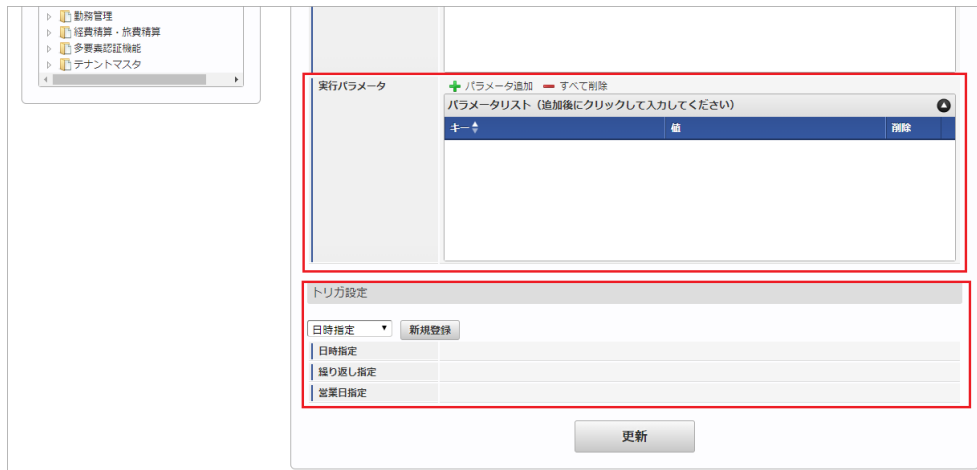
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「transit managerユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

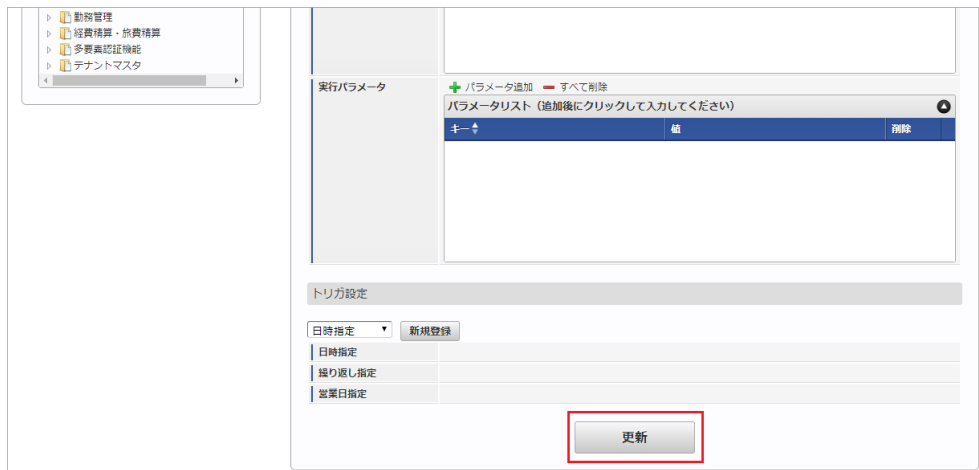
ジョブID

kaiden-job-master-export-
tmusermapping

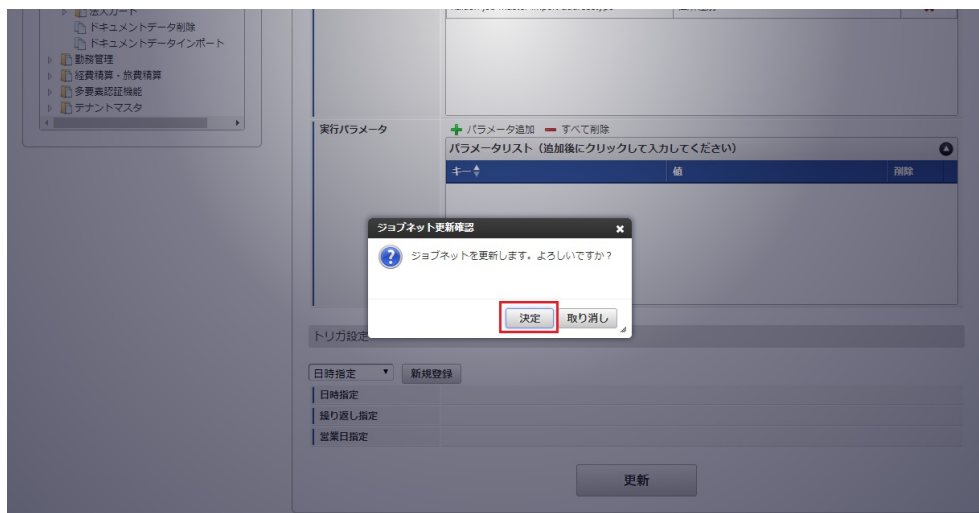
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / transit managerユーザーマッピング

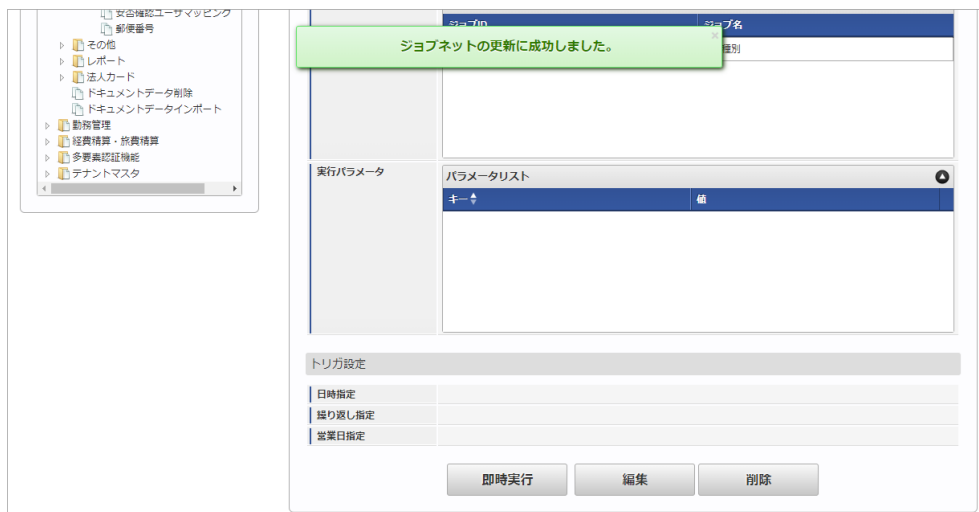
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/tm_user_mapping/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
userNo	社員番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 transit managerユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tm_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カードマスタ

本項では、法人カードマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カードマスタは、連携する法人カードを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 精算ユーザ
連携する法人カードを使用する従業員を選択します。
- カードID
連携する法人カードを特定するためにシステム内で一意の任意のIDを入力します。
- カード会社
連携する法人カードのカード会社を選択します。
- カード会社契約ID
連携する法人カードの会社契約IDを選択します。
- 契約体系
連携する法人カードの契約体系を選択します。
- ブランド
連携する法人カードのブランドを選択します。
- 利用データ編集可否
連携する法人カードの利用データの編集可否を選択します。
「可能」を選択した場合、法人カードの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。

i コラム

「精算ユーザ」、「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

! 注意

悪用の恐れがあるため、「カードID」に、法人カードのカード番号を入力しないでください。
「カードID」には、法人カードを特定するためのシステム内で一意の任意のIDを入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	カードID	カード会社	精算ユーザ
1	0000000000000000	三井住友VISAカード	青柳限巳
2	0000000000000001	三井住友VISAカード	坂本彌子
3	0000000000000002	三井住友VISAカード	原田浩二

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい法人カードの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カードID
- カード会社
- 積算ユーザ

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 積算ユーザ
- カードID

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
5	カードID	○	100	
6	カード会社コード	○	100	

7	精算ユーザコード	○	100	
8	カード会社契約ID		100	
9	契約体系コード		100	
10	ブランド		100	
11	利用データ編集フラグ	○	1	0 : 利用データ編集不可能 1 : 利用データ編集可能

データサンプル

```
"comp_sample_01","","","0","000000000000000000","10","aoyagi","","","","1"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/card

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

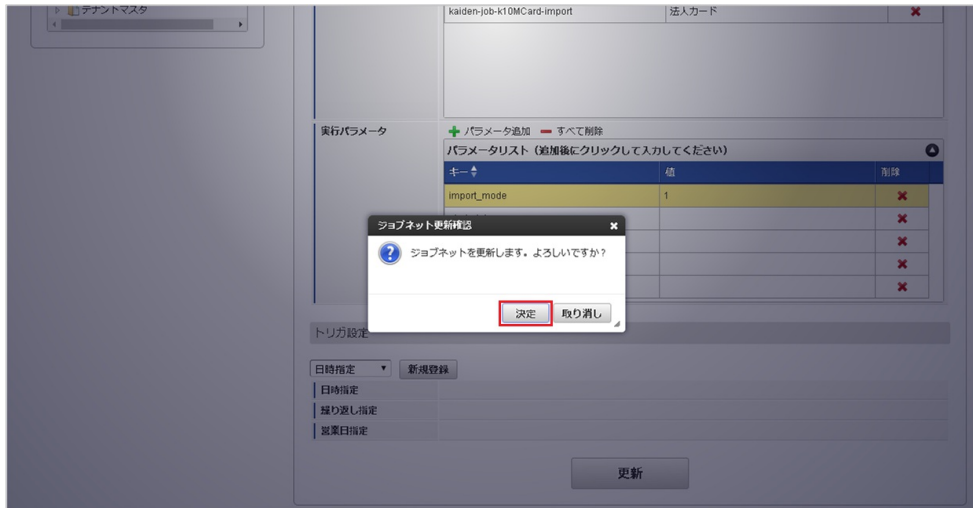
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

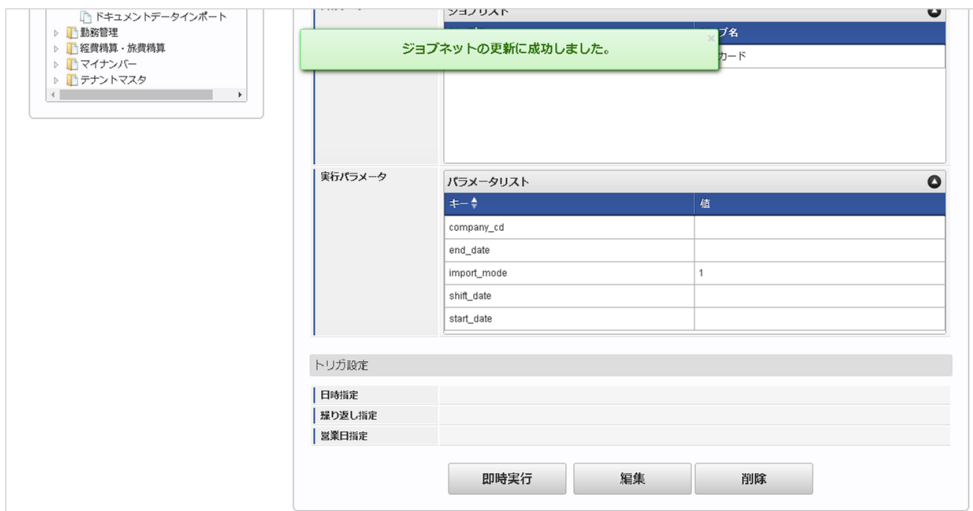
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-01-k10MCard	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none">■ 1：単一期間(差分)モード■ 2：単一期間(一新)モード■ 3：単一期間(入替)モード■ 4：複数期間(差分)モード■ 5：複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/card/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none">■ 1：操作なし■ 2：コピー(copy)■ 3：アーカイブ(move)■ 4：正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし■ 5：正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move)■ 6：削除(delete)■ 7：正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし■ 8：正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/card/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none">■ UTF-8■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none">■ ,：カンマ■ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none">■ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カードマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「card」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

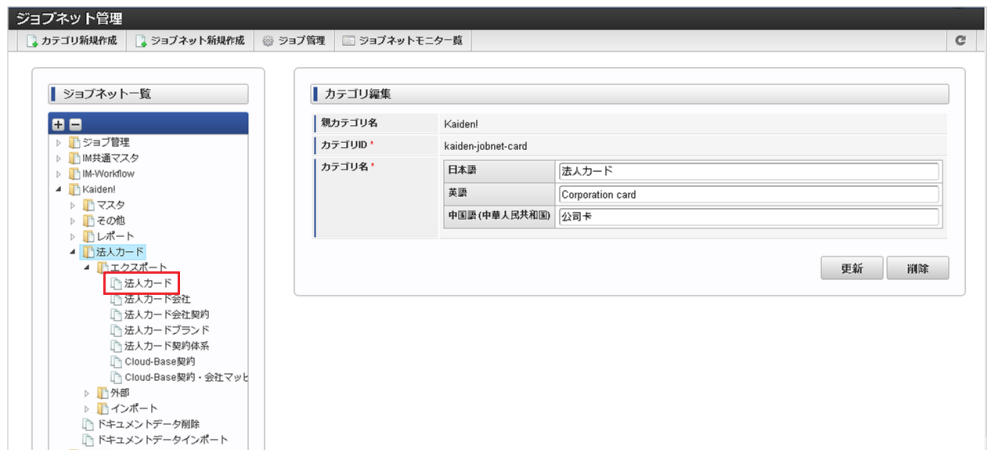
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

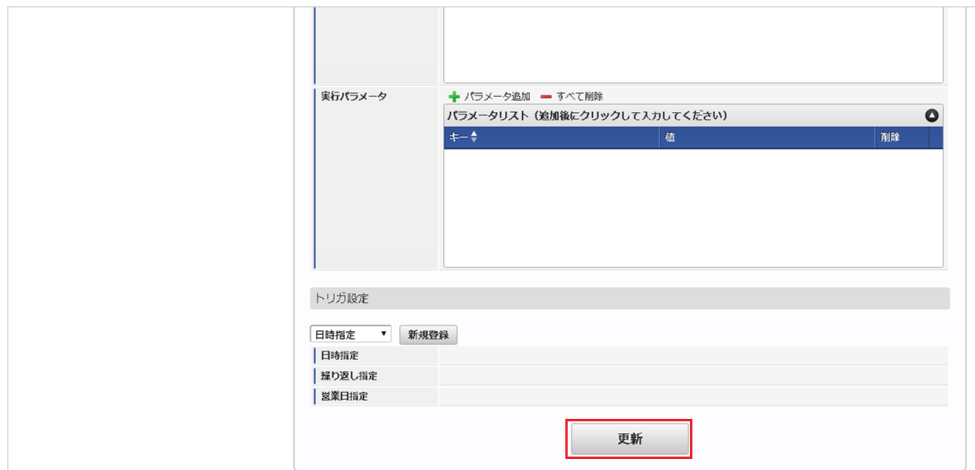
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

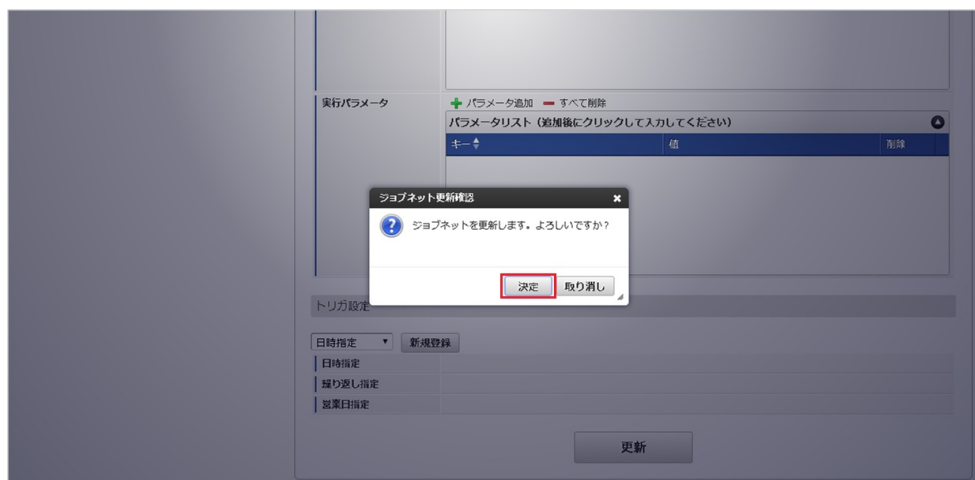
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-01-k10MCard	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード

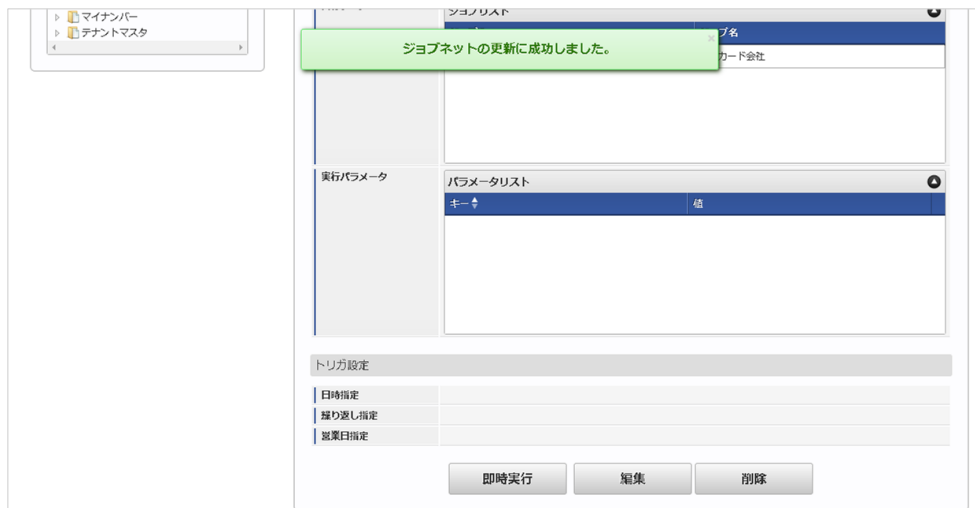
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/card/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	精算会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効（論理削除）
cardId	カードID	
cardCompanyCd	カード会社コード	
userCd	精算ユーザコード	
contractId	カード会社契約ID	
contractTypeCd	契約体系コード	
brand	ブランド	
editFlg	利用データ編集フラグ	0：利用データ編集不可能 1：利用データ編集可能

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/card/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/card/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション ■ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ■ true : ヘッダー出力有 ■ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カードマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「card」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カード会社マスタ

本項では、法人カード会社マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社マスタは、連携する法人カード会社を管理します。

メンテナンス画面でマスタ設定してください。

[法人カード会社取り込み](#)を利用して「Cloud-Base」からマスタ情報を取得することも可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	カード会社コード	カード会社名

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

期間一覧

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

カード会社コード: 10

カード会社オリジナル名: 三井住友VISAカード

カード会社名:

日本語	三井住友VISAカード
英語	Mitsui Sumitomo VISA Card
中国語 (中華人民共和国)	三井住友VISA卡

登録 一覧に戻る

- カード会社コード
連携する法人カードの会社コードを入力します。
- カード会社オリジナル名
連携する法人カード会社の名称を入力します。
- カード会社名
連携する法人カード会社の名称を入力します。

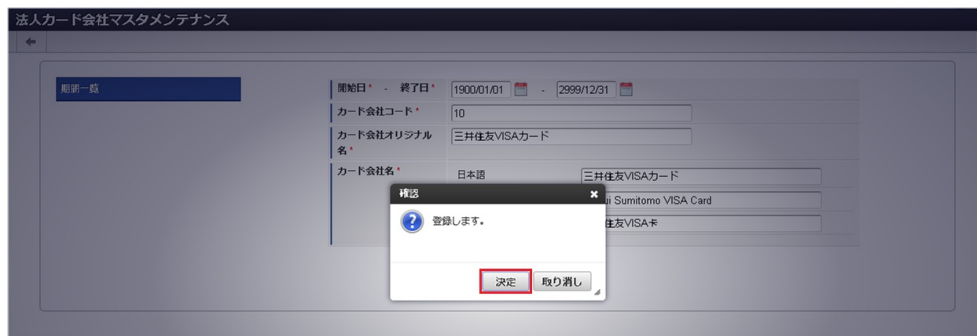


コラム

「カード会社オリジナル名」は、「Cloud-Base」に登録されている法人カード会社の名称を入力してください。

「カード会社名」は、「カード会社オリジナル名」と同一か、Kaiden! 表示用の名称を入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

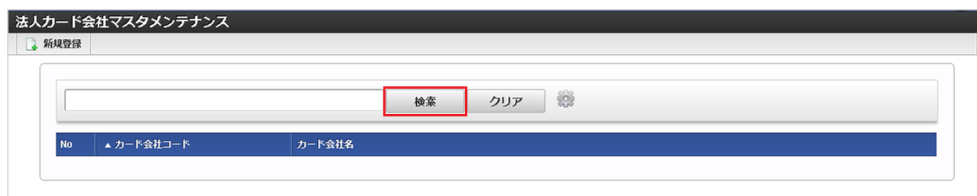


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カード会社の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社コード
- カード会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

期第一覧
1900/01/01 - 2999/12/31

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

カード会社コード: 10

カード会社オリジナル名: 三井住友VISAカード

カード会社名:

- 日本語: 三井住友VISAカード
- 英語: Mitsui Sumitomo VISA Card
- 中国語 (中華人民共和国): 三井住友VISA卡

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- カード会社コード



コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

期第一覧
1900/01/01 - 2999/12/31

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

カード会社コード: 10

カード会社オリジナル名: 三井住友VISAカード

カード会社名:

- 日本語: 三井住友VISAカード
- 英語: Mitsui Sumitomo VISA Card
- 中国語 (中華人民共和国): 三井住友VISA卡

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳 勇巴 ?

法人カード会社マスタメンテナンス 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	▲ カード会社コード	カード会社名
1	10	三井住友VISAカード
2	20	アメリカンエキスプレスカード

最初へ戻る 1 次へ進む

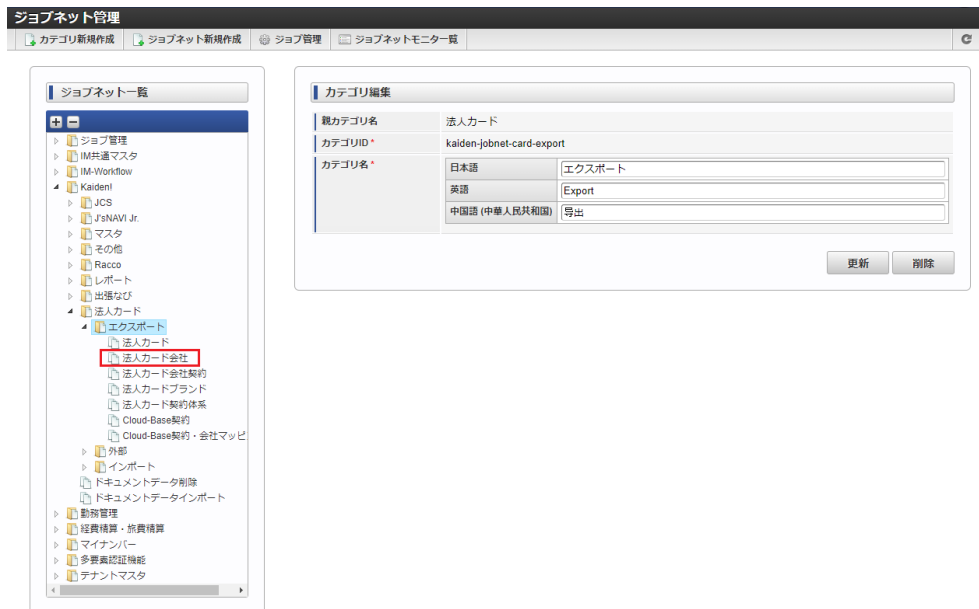
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

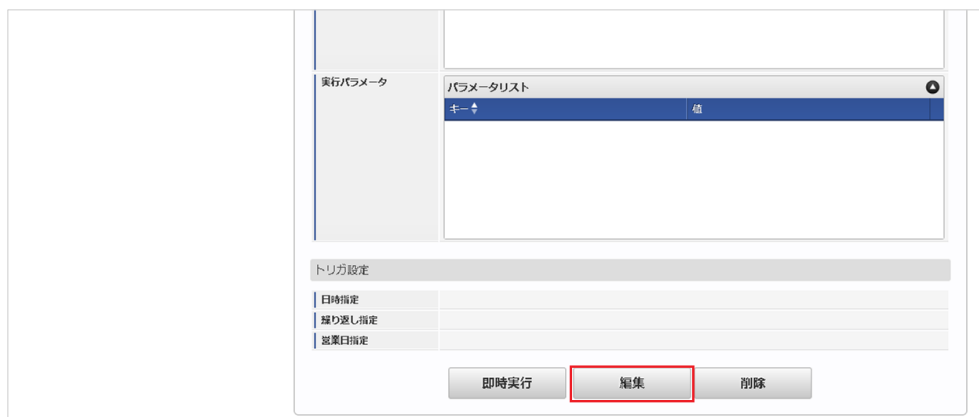
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

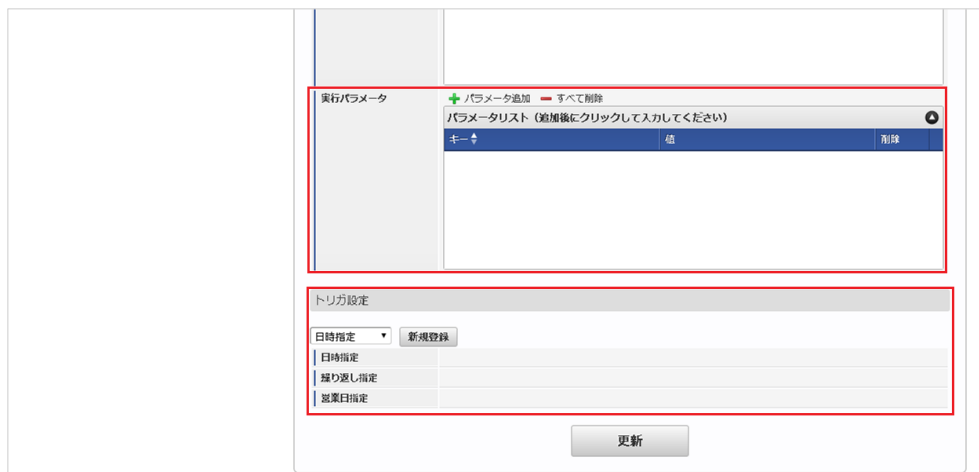
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カード会社」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

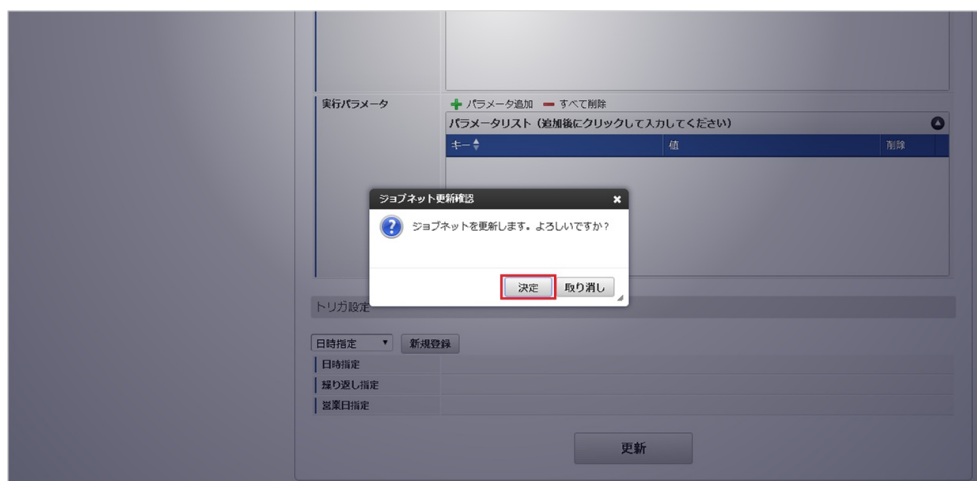
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-02-k10MCardCompany	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード会社

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cardCompany/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cardCompanyCd	カード会社コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
cardCompanyOrgName	カード会社オリジナル名	
cardCompanyName	カード会社名	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompany/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompany/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompany」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カード会社契約マスタ

本項では、法人カード会社契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社契約マスタは、連携する法人カード会社との契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- カード会社
連携するカード会社を選択します。
- カード会社契約ID
連携するカード会社契約のIDを入力します。
- カード会社契約名
連携するカード会社との契約名を入力します。
- 備考
備考を入力します。

i コラム

「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カード会社契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社契約ID
- カード会社契約名
- カード会社名
- カード会社コード

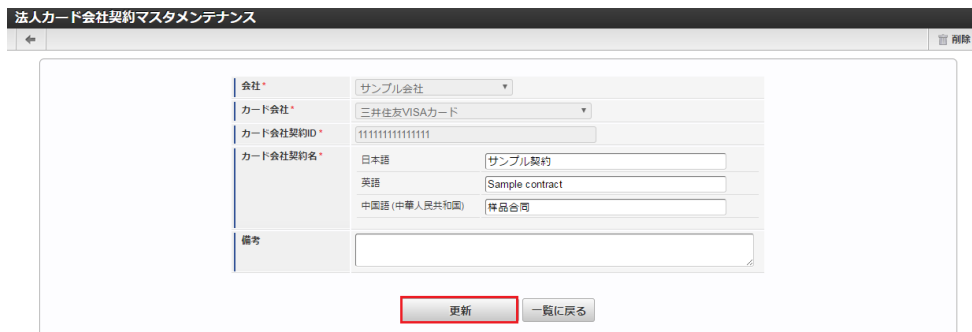
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

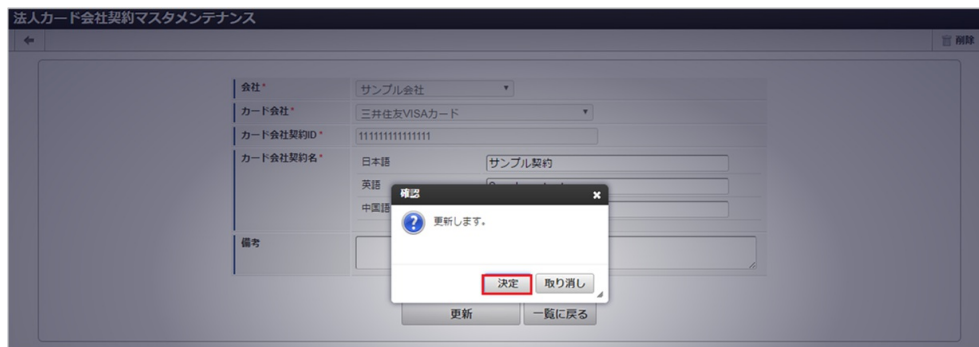
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- カード会社
- カード会社契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
3	カード会社コード	○	100	
4	カード会社契約ID	○	100	
5	カード会社契約名	○	250	
6	備考		250	

データサンプル


```
"ja","comp_sample_01","10","0000000000","三井住友VISAカード",""
"en","comp_sample_01","10","0000000000","Mitsui Sumitomo VISA Card",""
"zh_CN","comp_sample_01","10","0000000000","三井住友VISA卡",""
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardCompanyContract

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード会社契約」をクリックします。

The screenshot shows the 'Job Network Management' (ジョブネット管理) interface. On the left, a tree view shows the navigation path: Job Network List (ジョブネット一覧) > Import (インポート) > Corporate Card (法人カード) > Corporate Card Company Contract (法人カード会社契約). The main area displays the 'Category Edit' (カテゴリ編集) form for 'Corporate Card' (親カテゴリ名: 法人カード). The 'Category ID' (カテゴリID) is 'kaiden-jobnet-card-import'. The 'Category Name' (カテゴリ名) is set for Japanese (日本語), English (英語), and Chinese (中国語 (中華人民共和国)).

- 「編集」をクリックします。

The screenshot shows the 'Edit' form for the Job Network. The 'Execution Parameters' (実行パラメータ) section contains a 'Parameter List' (パラメータリスト) table with columns for 'Key' (キー) and 'Value' (値). Below this is the 'Trigger Settings' (トリガ設定) section with checkboxes for 'Date Specified' (日時指定), 'Repeat Specified' (繰り返し指定), and 'End Date Specified' (翌日指定). At the bottom, there are three buttons: 'Execute Immediately' (即時実行), 'Edit' (編集), and 'Delete' (削除). The 'Edit' button is highlighted with a red box.

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

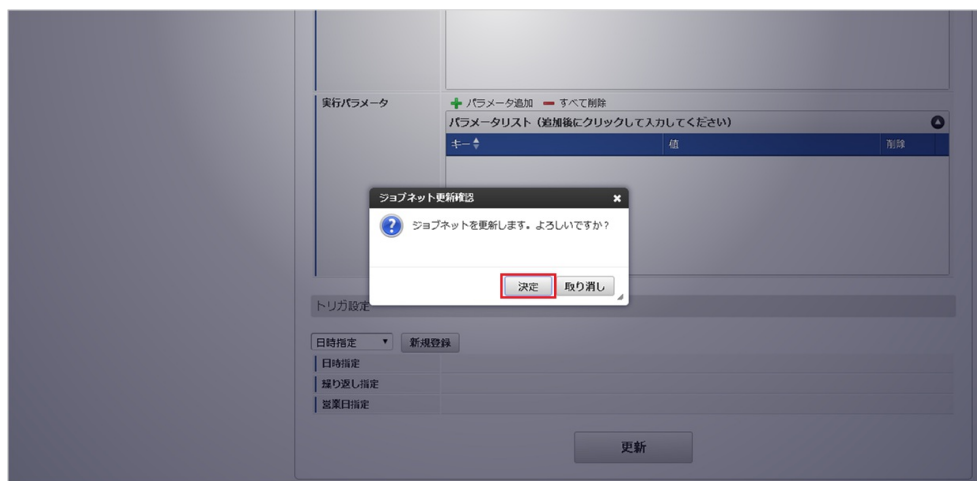
kaiden-job-card-import-02-
k10MCardCompanyContract

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

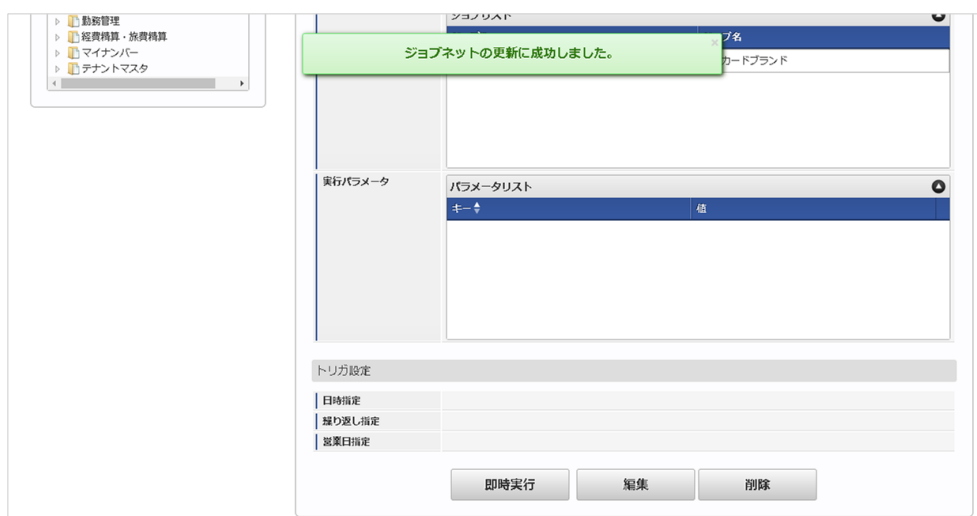
Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード会社契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cardCompanyContract/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompanyContract」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

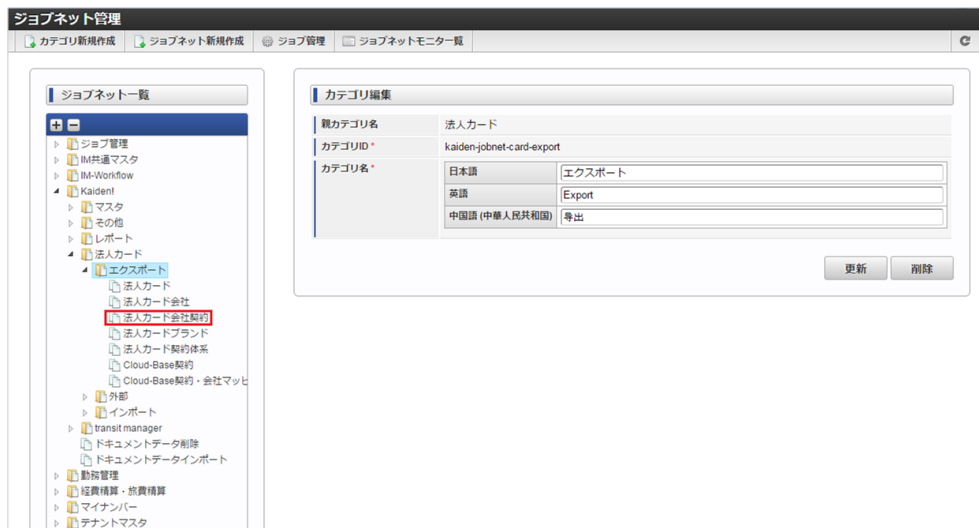
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カード会社契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

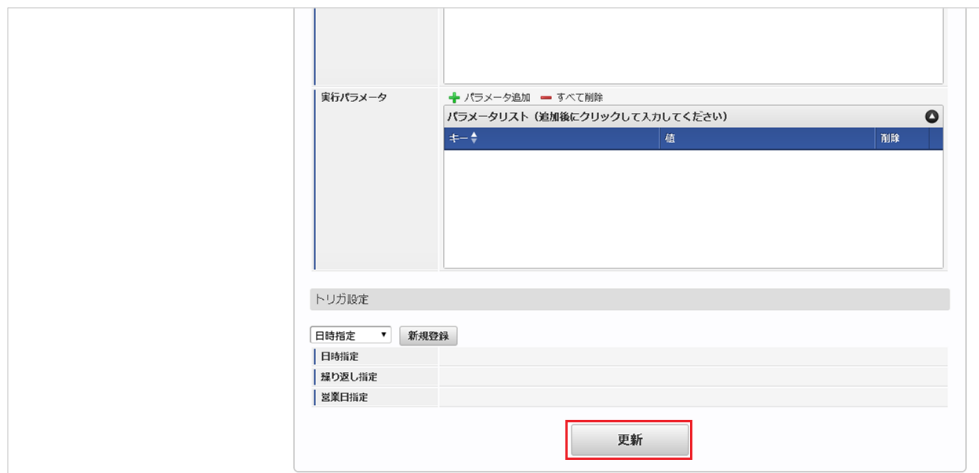
ジョブID

kaiden-job-card-export-03-
k10MCardCompanyContract

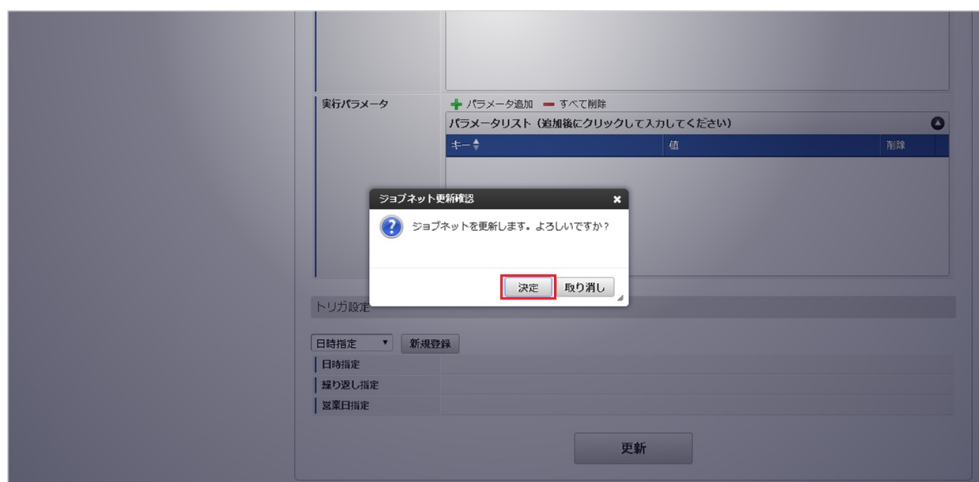
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード会社契約

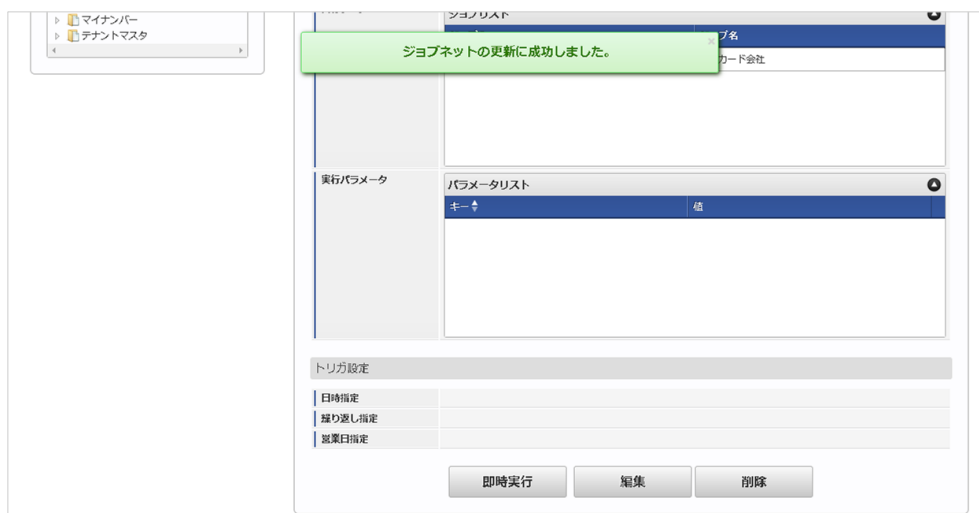
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cardCompanyContract/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
cardCompanyCd	カード会社コード	
contractId	カード会社契約ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
contractName	カード会社契約名	
text	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompanyContract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カードブランドマスタ

本項では、法人カードブランドマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カードブランドマスタは、連携する法人カードのブランドを管理します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カードブランド」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- ブランドコード
連携する法人カードのブランドコードを入力します。
- ブランド名
連携する法人カードのブランド名を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



No	ブランドコード	ブランド名
1	001	VISA
2	002	アメリカン・エクスプレス
3	003	MasterCard
4	004	JCB

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カードブランド」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カードブランドの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ブランドコード
- ブランド名

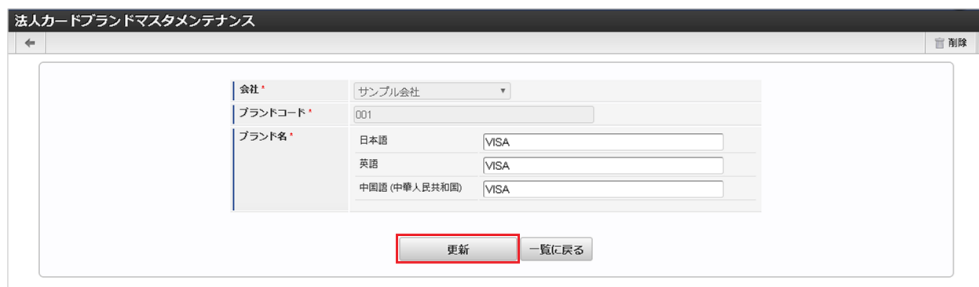
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

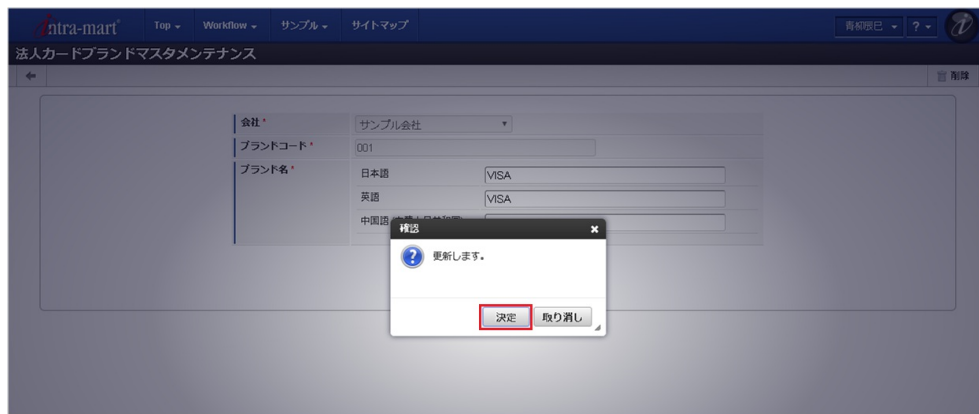
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ブランドコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
3	ブランドコード	○	100	
4	ブランド名	○	250	

データサンプル

```
"ja","comp_sample_01","001","VISA"
"en","comp_sample_01","001","VISA"
"zh_CN","comp_sample_01","001","VISA"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardBrand

ファイル名 import.csv

i コラム

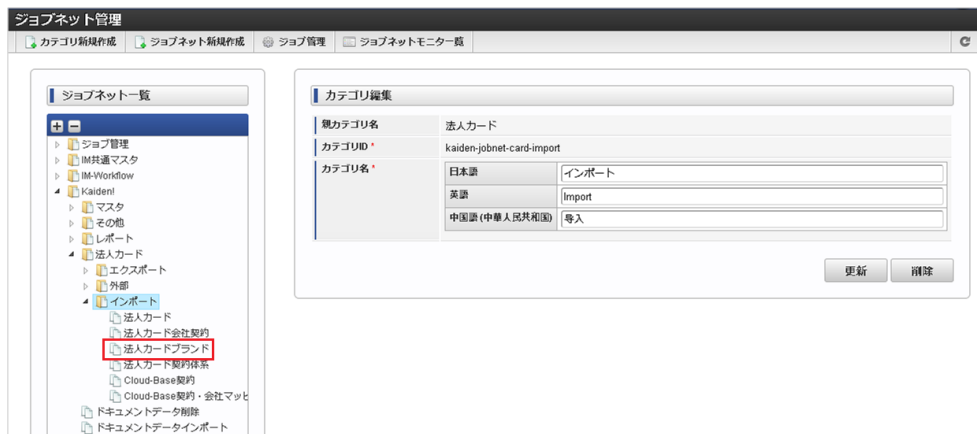
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

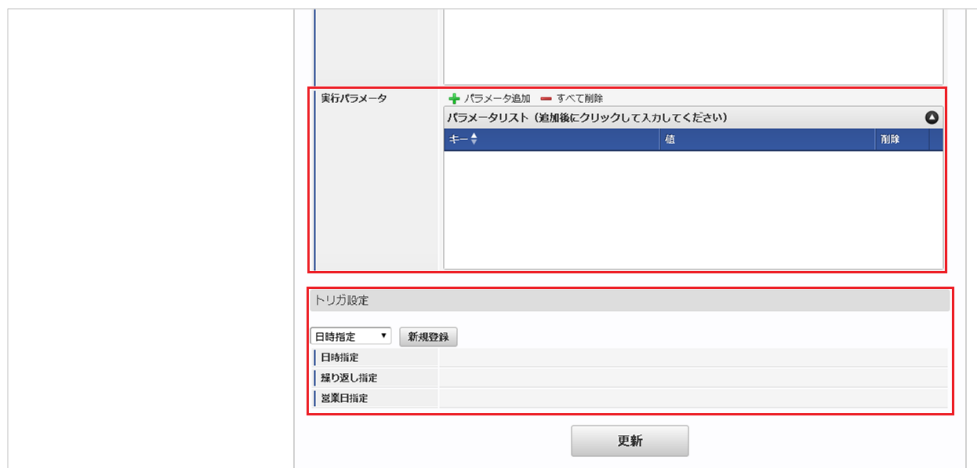
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カードブランド」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-03-k10MCardBrand	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カードブランド

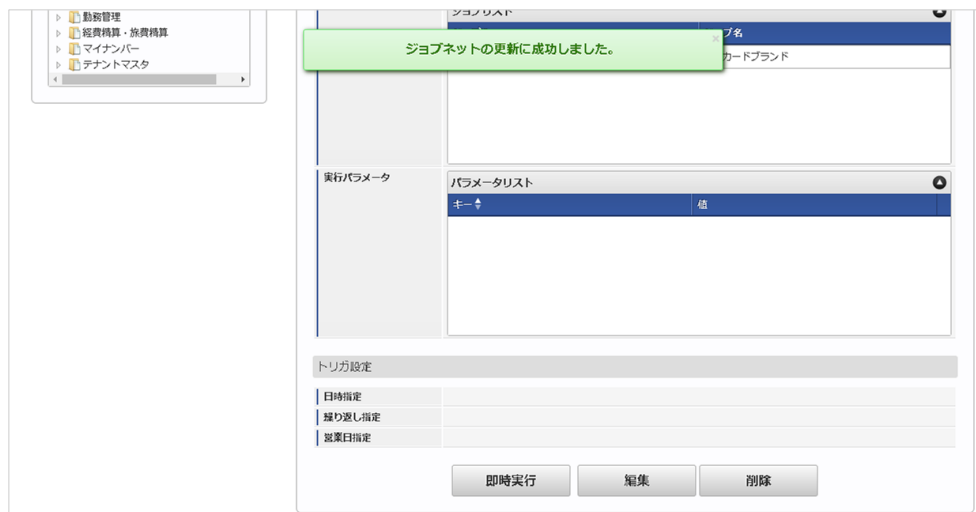
5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows a web interface for configuring a job. It includes sections for '実行パラメータ' (Execution Parameters) with a table for parameter lists, and 'トリガ設定' (Trigger Settings) with fields for date and time. A red box highlights the '更新' (Update) button at the bottom right of the configuration area.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

The screenshot shows the same configuration page as in step 5, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog asks 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). The '決定' (Confirm) button is highlighted with a red box.

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cardBrand/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cardBrand/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カードブランドマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardBrand」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

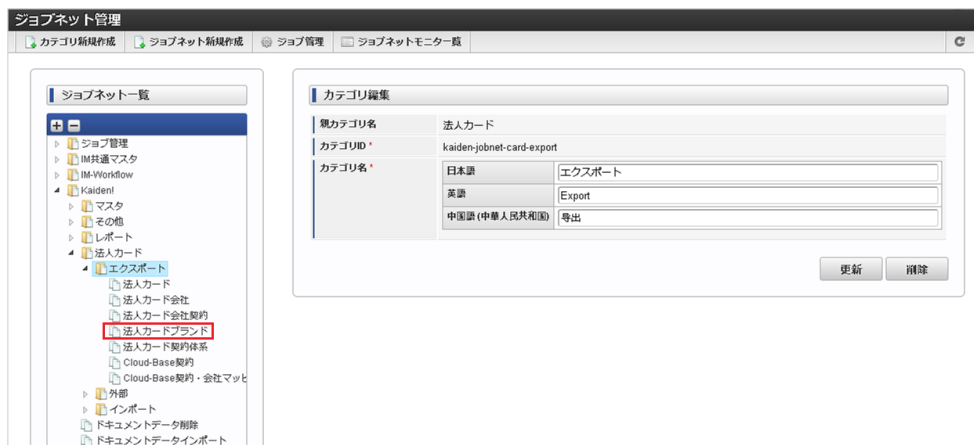
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カードブランド」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

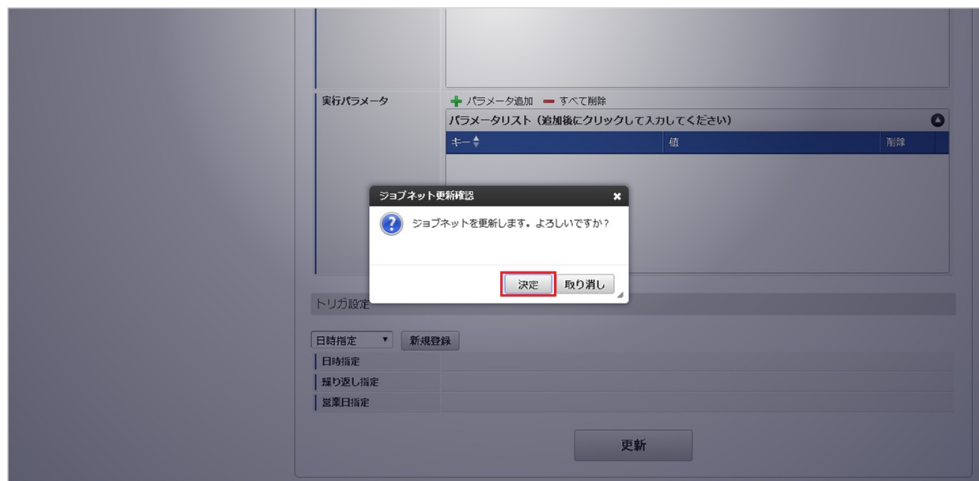
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

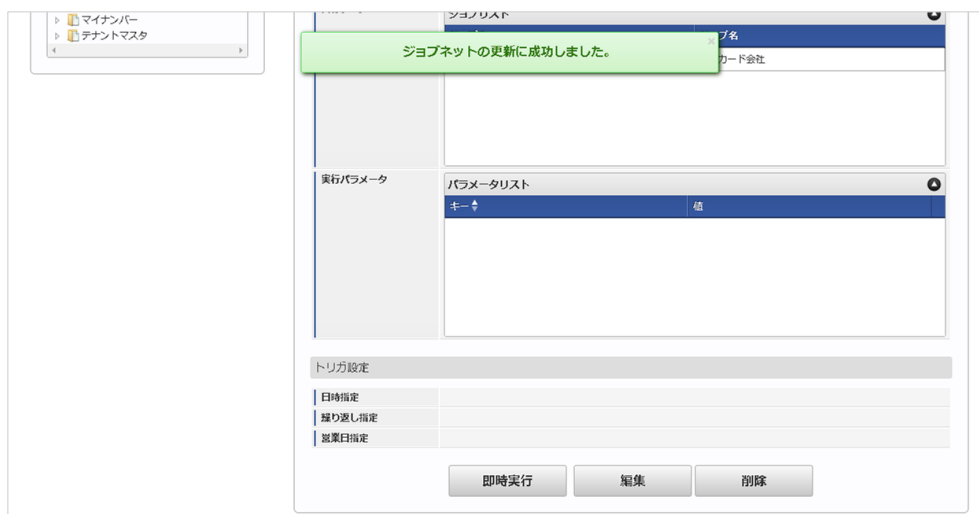
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-04-k10MCardBrand	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カードブランド

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardBrand/
 ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
brandCd	ブランドコード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
brandName	ブランド名	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：全件出力モード ▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cardBrand/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cardBrand/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション ▪ none：囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カードブランドマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardBrand」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カード契約体系マスタ

本項では、法人カード契約体系マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード契約体系マスタは、連携する法人カードの契約体系を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード契約体系」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- カード会社
連携する法人カード会社を選択します。
- 契約体系コード
連携する法人カードの契約体系コードを入力します。
- 契約体系名
連携する法人カードの契約体系の名称を入力します。
- 備考
備考を入力します。

i コラム

「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	▲ 契約体系コード	契約体系名	カード会社
1	001	個人決済	三井住友VISAカード
2	002	法人決済	三井住友VISAカード
3	003	バーチャリング	三井住友VISAカード

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード契約体系」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したい法人カード契約体系の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社契約ID
- カード会社契約名
- カード会社コード
- カード会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



No	契約体系コード	契約体系名	カード会社
1	001	個人決済	三井住友VISAカード
2	002	法人決済	三井住友VISAカード
3	003	パーチャージング	三井住友VISAカード

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

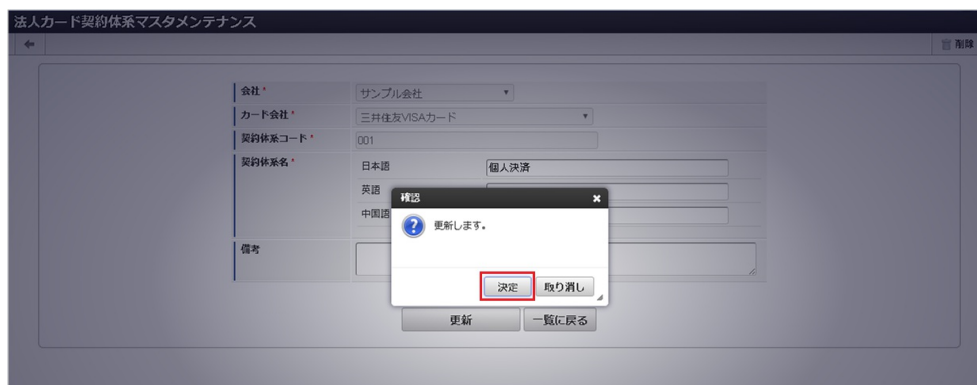
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- カード会社
- カード会社契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
2	カード会社コード	○	100	
3	契約体系コード	○	100	
4	契約体系名	○	250	
5	備考		250	

データサンプル

```
"ja","comp_sample_01","10","000","サンプル契約体系",""
"en","comp_sample_01","10","000","Sample contract system",""
"zh_CN","comp_sample_01","10","000","□品合同制度",""
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。



コラム

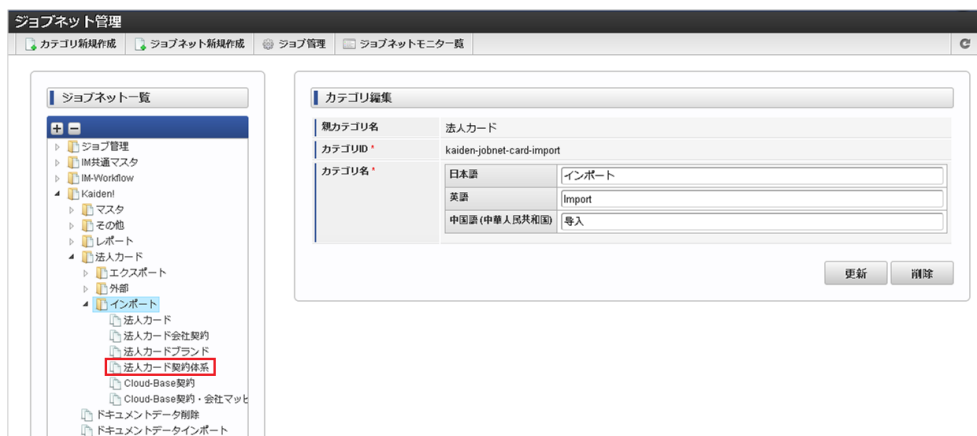
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード契約体系」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

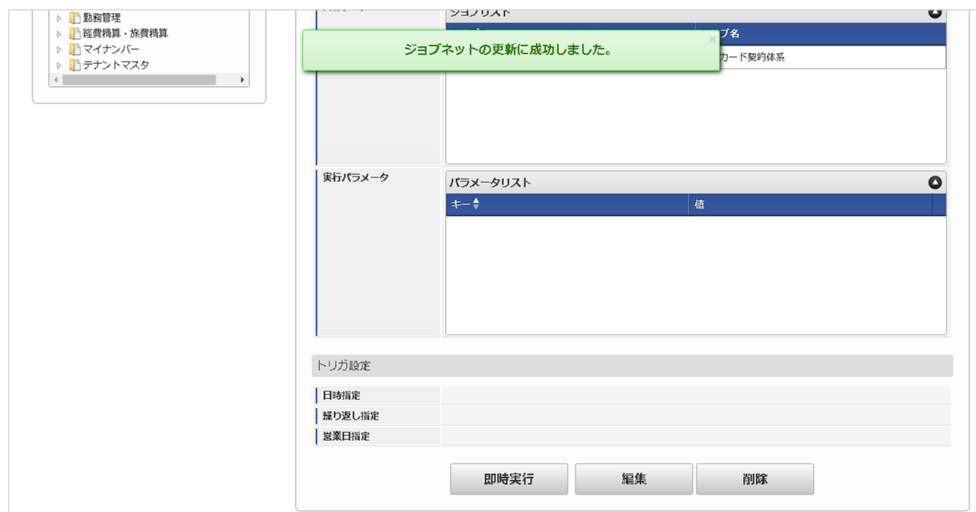
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-04-k10MContractType	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード契約体系

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/contractType/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/contractType/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カード契約体系マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「contractType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

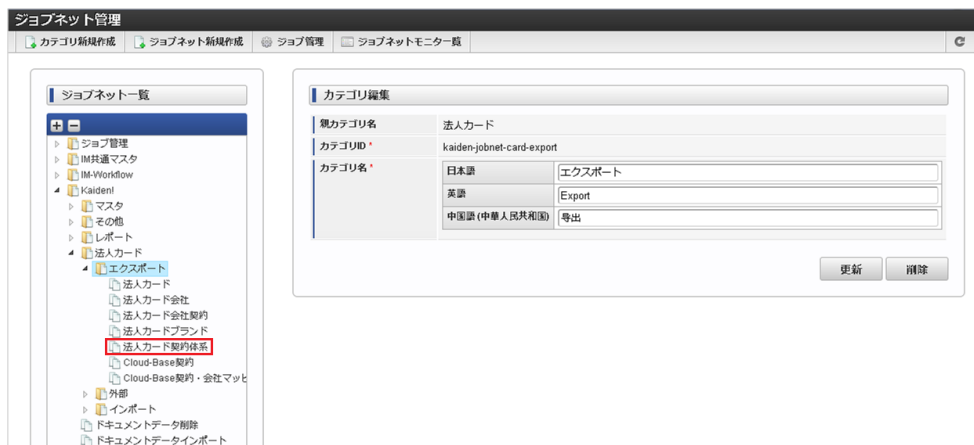
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード契約体系」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

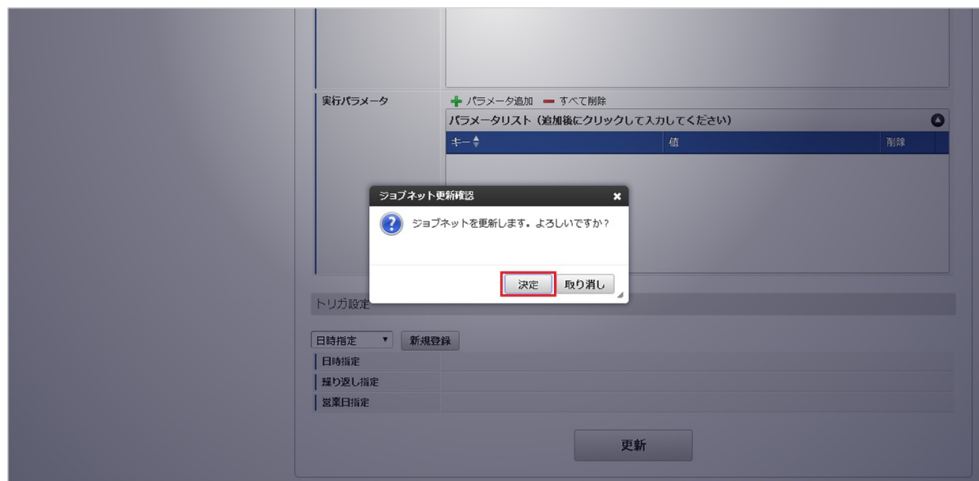
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

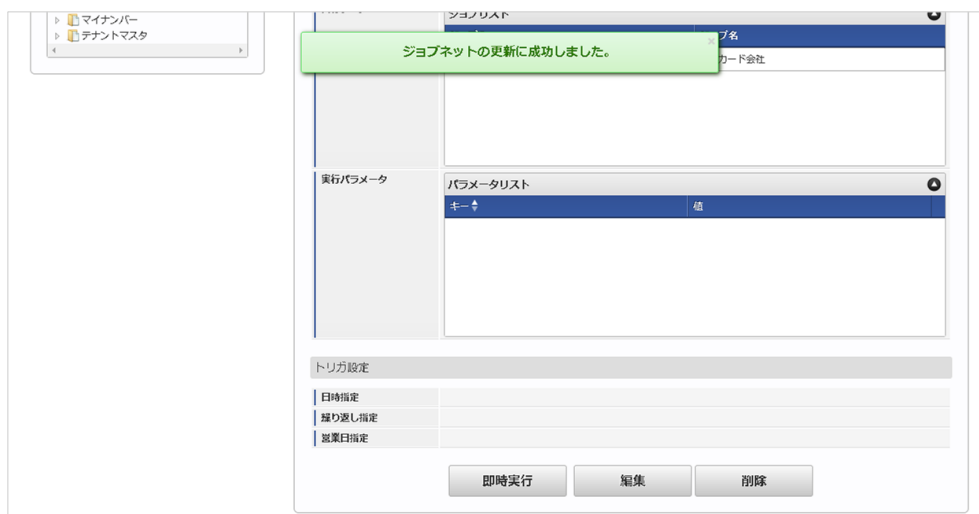
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-05-k10MContractType	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カードブランド

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/contractType/
 ファイル名 export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
cardCompanyCd	カード会社コード	
contractTypeCd	契約体系コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

contractTypeName	契約体系名
text	備考

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/contractType/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/contractType/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ

名称	キー	説明／設定値
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード契約体系マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「contractType」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Cloud-Base契約マスタ

本項では、Cloud-Base契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Cloud-Baseマスタは、「Cloud-Base」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



- 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- CB契約ID
「Cloud-Base」の契約IDを入力します。
- アクセスキー
「Cloud-Base」のアクセスキーを入力します。
- クラウドベースURL
「Cloud-Base」のURLを入力します。
- CB契約名称
「Cloud-Base」の契約名称を入力します。
- 担当者所属会社
「Cloud-Base」の契約担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
「Cloud-Base」の契約担当者を選択します。

i コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	▲ CB契約ID	CB契約名称	備考
1	000001	CloudBase	
2	000002	サンプル	

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

Cloud-Base契約メンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	CB契約ID	CB契約名称	備考
----	--------	--------	----

コラム

検索欄に検索したいCloud-Base契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- CB契約ID
- CB契約名称

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

Cloud-Base契約メンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	CB契約ID	CB契約名称	備考
1	000001	CloudBase	
2	000002	サンプル	

最新へ戻る 1 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

Cloud-Base契約メンテナンス

削除

CB契約ID * 000002

アクセスキー * 0000000002

クラウドベースURL * https://127.0.0.1/fmart/ccis

CB契約名称 *

日本語 サンプル

英語 Sample

中国語 (中華人民共和国) 样本

担当所属会社 * サンプル会社

担当者 * 青柳依巴

備考

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- CB契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

Cloud-Base契約メンテナンス

削除

CB契約ID * 000002

アクセスキー * 0000000002

クラウドベースURL * https://127.0.0.1/fmart/ccis

CB契約名称 *

日本語 サンプル

英語

中国語

担当所属会社 * サンプル会社

担当者 * 青柳依巴

備考

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	CB契約ID	○	100	
3	アクセスキー	○	100	
4	クラウドベースURL	○	100	
5	CB契約名称	○	250	
6	備考		250	
7	担当者所属会社コード	○	100	
8	担当者ユーザコード	○	100	

データサンプル

```
"ja","000000","00000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB契約名称","","comp_sample_01","aoyagi"
"en","000000","00000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB Contract Name","","comp_sample_01","aoyagi"
"zh_CN","000000","00000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB合同名称","","comp_sample_01","aoyagi"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContract

ファイル名 import.csv

コラム

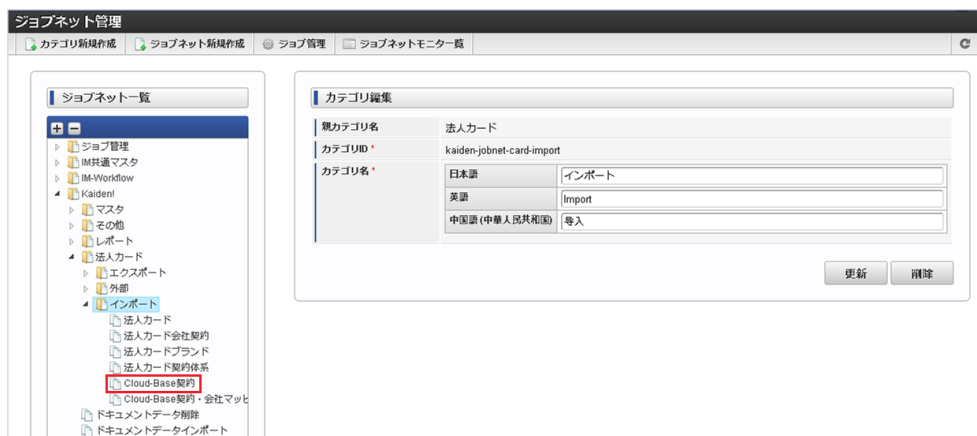
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「Cloud-Base契約」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

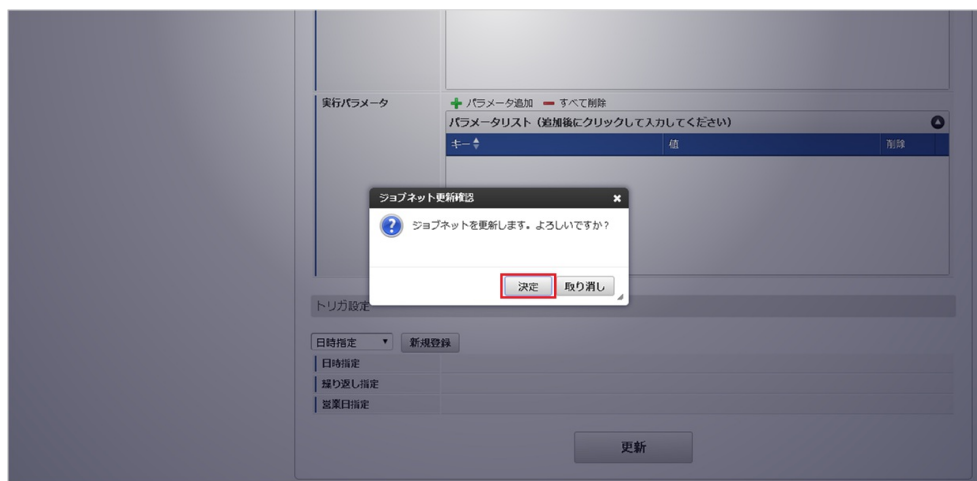
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

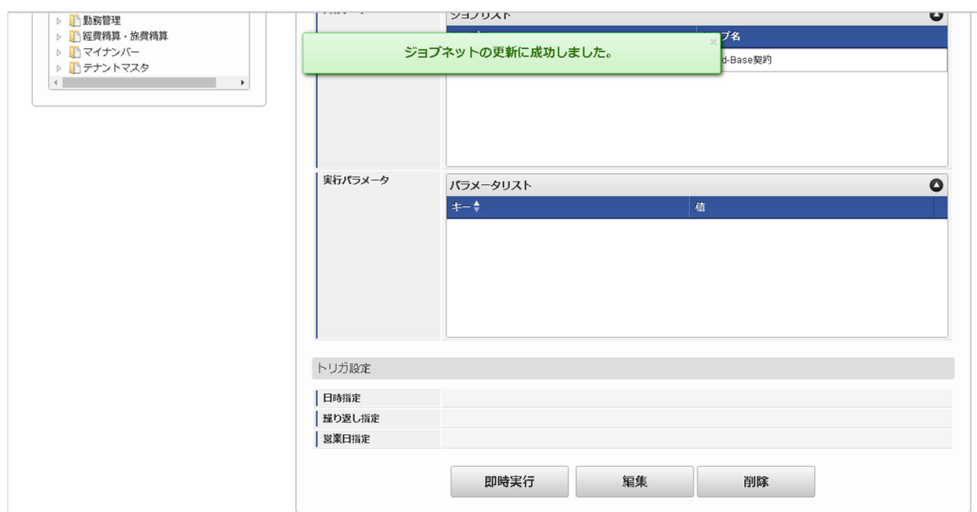
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-05-k10MCbContract	Kaiden! / 法人カード / インポート / Cloud-Base契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

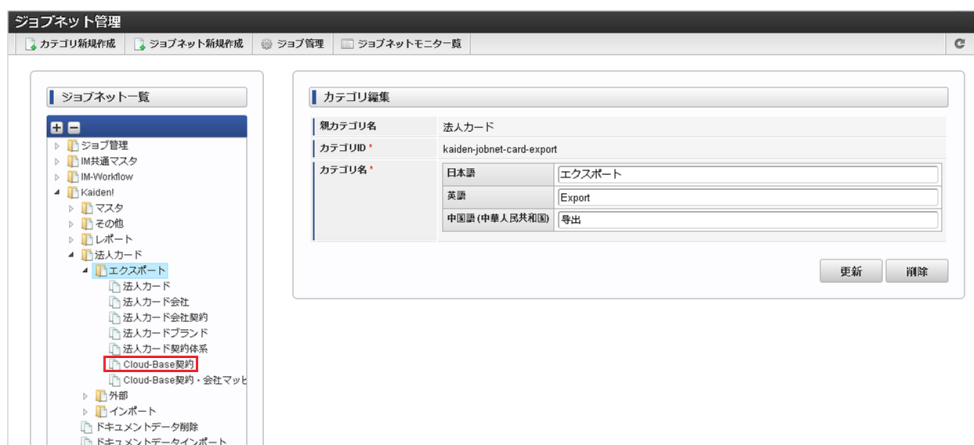
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「Cloud-Base契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

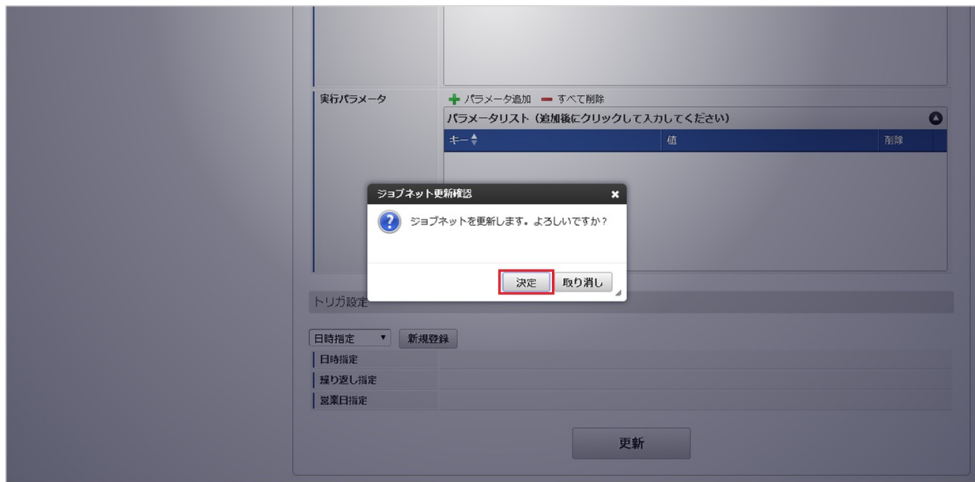
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

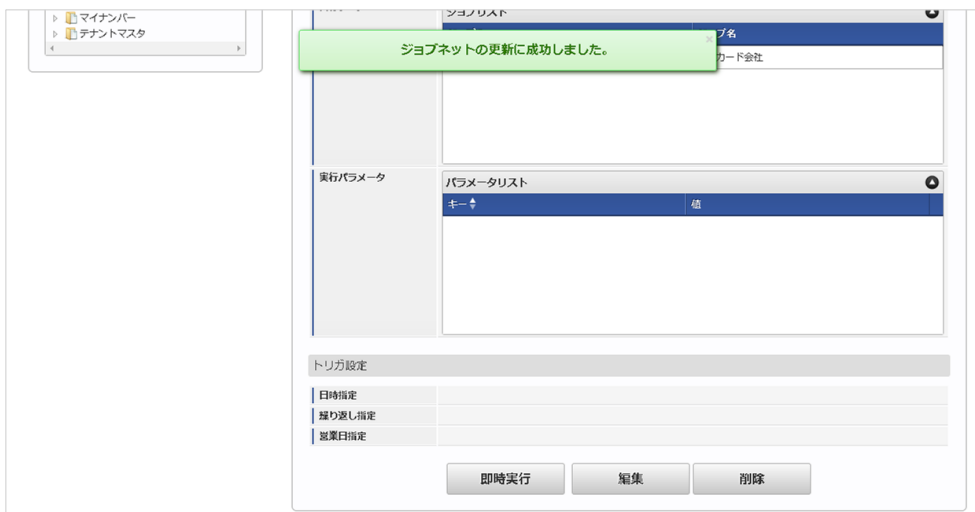
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-06-k10MCbContract	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / Cloud-Base契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContract/

ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cbContractId	CB契約ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
accessKey	アクセスキー	
cloudBaseUrl	クラウドベースURL	

cbContractName	CB契約名称
text	備考
chargeCompanyCd	担当者所属会社コード
chargeUserCd	担当者ユーザコード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ

本項では、Cloud-Base契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタは、「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
「Cloud-Base」と契約している会社を選択します。
- CB契約

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

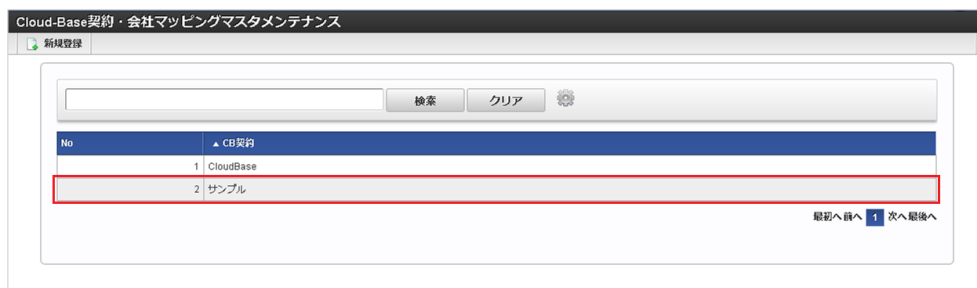


i コラム

検索欄に検索したいCloud-Base契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- CB契約

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



注意

当マスタは更新時変更可能な項目がありません。
マッピングを変更する場合、マスタを削除して再度登録してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	CB契約ID	○	100	

データサンプル

"comp_sample_01","000000"

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContractComp

ファイル名 import.csv

i コラム

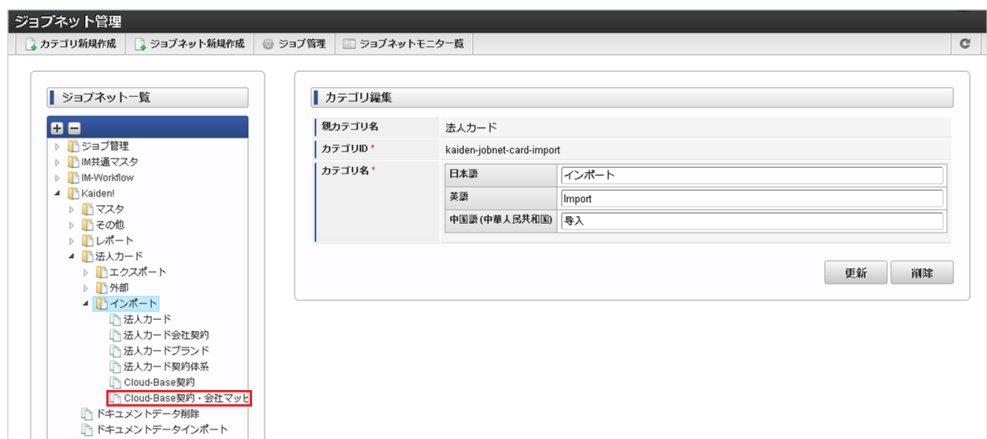
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

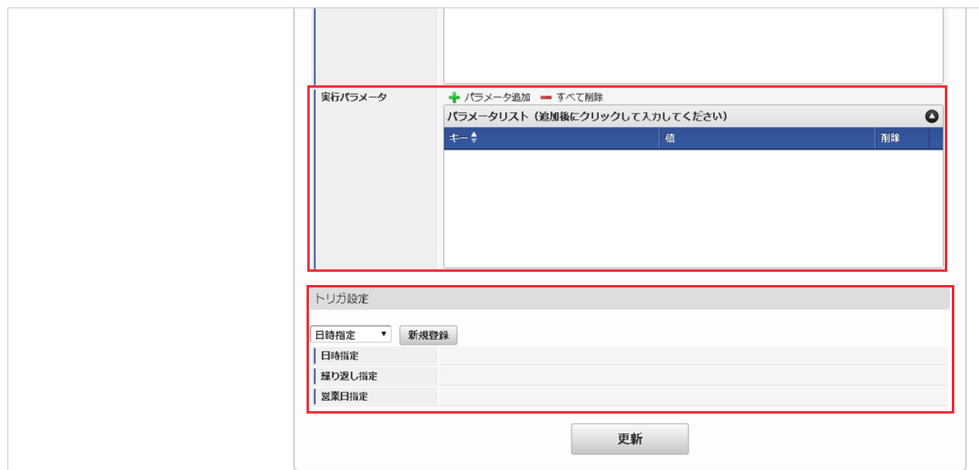
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

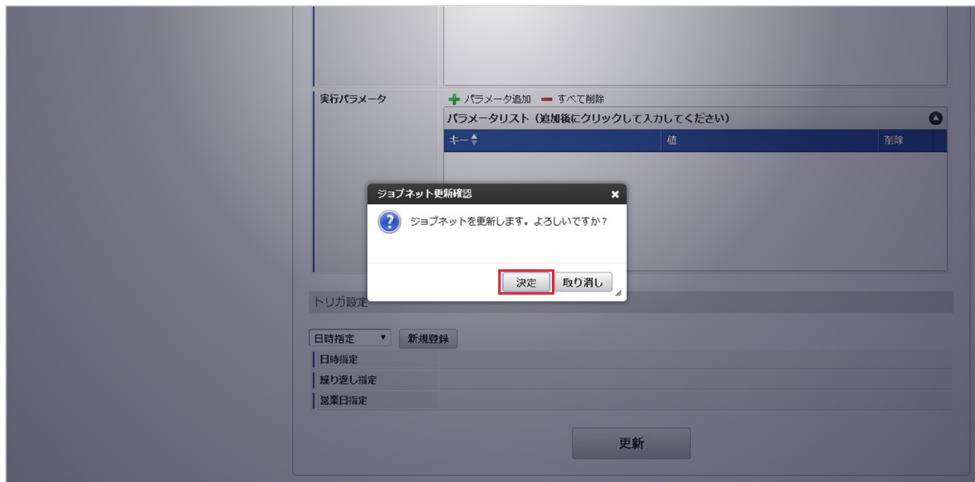
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-06-k10MCbContractComp	Kaiden! / 法人カード / インポート / Cloud-Base契約・会社マッピング

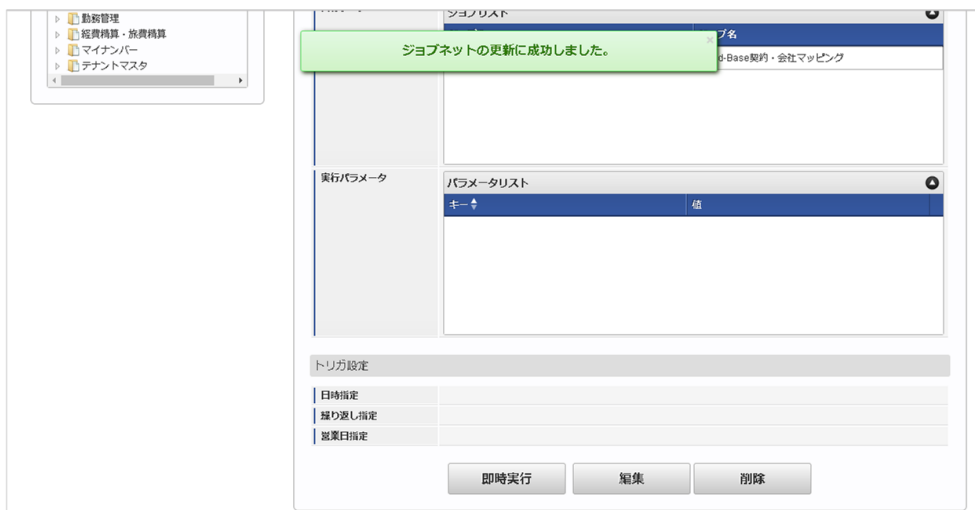
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContractComp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

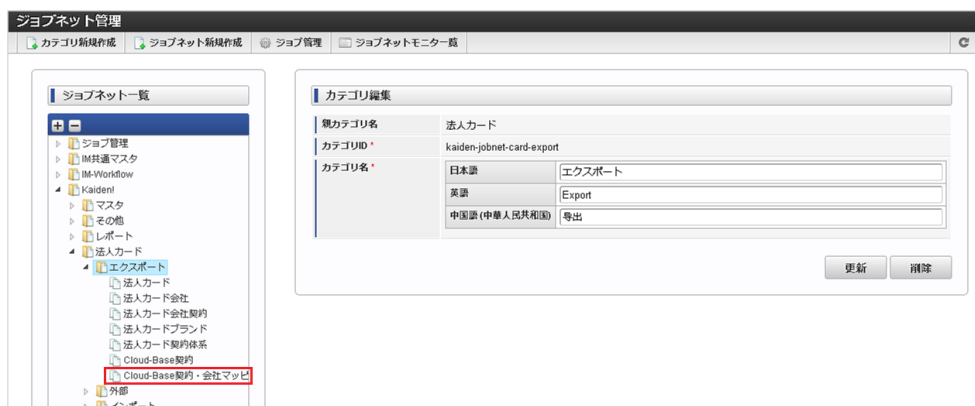
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧 (画面左部) の「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

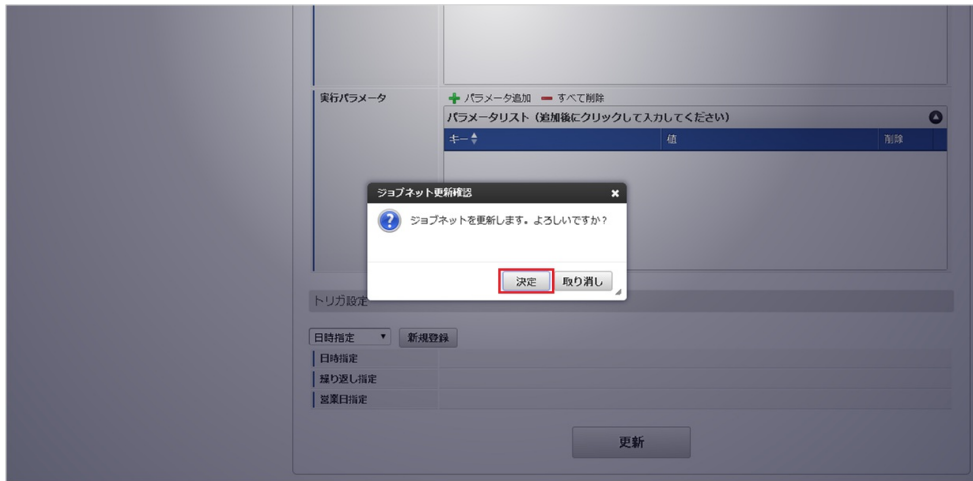
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

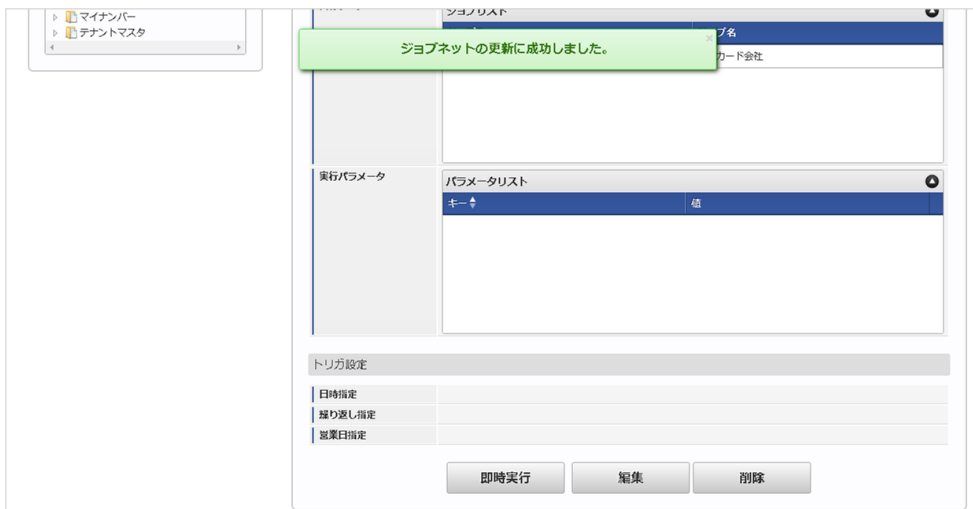
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-07-k10MCbContractComp	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / Cloud-Base契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cbContractComp/
ファイル名	export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
	companyCd	会社コード
	cbContractId	CB契約ID

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContractComp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

案件番号採番ルールマスタ

本項では、案件番号採番ルールマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
- 置換文字列

概要

案件番号採番ルールマスタは、案件番号採番ルール（フロー連携）マスタに連携させることで案件番号の拡張ルールを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 採番ルール定義ID
システム内で一意となる採番ルール定義IDを入力します。
- 採番ルール定義名
採番ルール定義名をロケール別に入力します。
- 接頭辞
案件番号の先頭となる文字を入力します。
- 開始番号
案件番号の採番を開始する際の番号を入力します。
- 桁数
案件番号の数字部分の桁数を入力します。
桁数を「0」にすると案件番号は「接頭辞」+「接尾辞」となり数字は採番されません。
- 増分値
案件番号のを採番する際の増分値を入力します。
- 接尾辞
案件番号の末尾に付ける文字を入力します。
- 通し番号設定フラグ
通し番号設定の可否を決めます。
有効を選択した場合、採番ルール1個に対して1個の通し番号で採番します。
無効を選択した場合、置換文字の置換後の接頭辞・接尾辞の組み合わせに対して1個の通し番号で採番します。
接頭辞、接尾辞に置換文字を使用した場合、採番ルール1個に対して複数の通し番号で採番する場合があります。
- リセット設定フラグ
リセット設定の可否を決めます。
有効を選択した場合、案件番号が指定された桁数で採番できない時、開始番号から再度採番します。
無効を選択した場合、案件番号が指定された桁数で採番できない時、エラーが発生して申請できません。
- プレビュー
実際の案件番号に設定される文字が表示されます。

注意

接頭辞、桁数、接尾辞が20桁を超える場合、申請時にエラーが発生します。

コラム

接頭辞、接尾辞に置換文字を設定できます。
詳細は、[置換文字列](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい採番ルールの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 採番ルール定義ID
- 採番ルール定義名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

案件番号採番ルール

新規登録

検索 クリア

No	採番ルール定義ID	採番ルール定義名	桁数	接頭辞	接尾辞
1	bankaccount	口座変更申請	5	BANK(APPLY_Y3)-	
2	billpayment	経費支払申請	5	BPAY(APPLY_Y3)-	
3	chgempfamily	家族異動申請	5	CFMY(APPLY_Y3)-	
4	commroute	通勤経路変更申請	5	CRTE(APPLY_Y3)-	
5	etexpadv	交際費事前申請	5	ETE(APPLY_Y3)-	
6	etexpstl	交際費精算申請	5	ETES(APPLY_Y3)-	
7	general	汎用申請	5	GNRL(APPLY_Y3)-	
8	gnexpadv	経費事前申請	5	GNE(APPLY_Y3)-	
9	gnexpstl	経費精算申請	5	GNES(APPLY_Y3)-	
10	journalDetail	費用振替明細	5	J-DETAIL(APPLY_Y3)-	
11	matterDetail	案件明細	5	M-DETAIL(APPLY_Y3)-	
12	payeeregist	支払先登録申請	5	PARE(APPLY_Y3)-	
13	rodem	RODEM連携	5	RODEM(APPLY_Y3)-	
14	sample	サンプル	5	sample	SAMPLE
15	trexpadv	出張事前申請	5	TREA(APPLY_Y3)-	
16	trexpstl	出張精算申請	5	TRES(APPLY_Y3)-	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

案件番号採番ルール

採番ルール定義ID: sample

採番ルール定義名: 日本語: サンプル, 英語: sample, 中国語 (中華人民共和国): 样品

接頭辞: sample

開始番号: 1

桁数: 5

増分値: 1

接尾辞: SAMPLE

連し番号設定フラグ: 無効 有効

リセット設定フラグ: 無効 有効

プレビュー: sample0001SAMPLE

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 採番ルール定義ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

案件番号採番ルール

採番ルール定義ID: sample

採番ルール定義名: 日本語: サンプル, 英語: sample, 中国語 (中華人民共和国): 样品

接頭辞: sample

開始番号: 1

桁数: 5

増分値: 1

接尾辞: SAMPLE

連し番号設定フラグ: 無効 有効

リセット設定フラグ: 無効 有効

プレビュー: sample0001SAMPLE

更新 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

No	採番ルール定義ID	採番ルール定義名	桁数	接頭辞	接尾辞
1	bankaccount	口座変更申請	5	BANK(APPLY_Y3)-	
2	billpayment	経費支払申請	5	BPAY(APPLY_Y3)-	
3	chgempfamily	家族異動申請	5	CFM(APPLY_Y3)-	
4	commroute	通勤経路変更申請	5	CRTE(APPLY_Y3)-	
5	etexpadv	交際費事前申請	5	ETE(APPLY_Y3)-	
6	etexpstl	交際費精算申請	5	ETES(APPLY_Y3)-	
7	general	汎用申請	5	GNRL(APPLY_Y3)-	
8	gnexpadv	経費事前申請	5	GNEA(APPLY_Y3)-	
9	gnexpstl	経費精算申請	5	GNES(APPLY_Y3)-	
10	journalDetail	費用振替明細	5	J-DETAIL(APPLY_Y3)-	
11	matterDetail	案件明細	5	M-DETAIL(APPLY_Y3)-	
12	payeregist	支払先登録申請	5	PARE(APPLY_Y3)-	
13	rodem	RODEM連携	5	RODEM(APPLY_Y3)-	
14	sample	サンプル	5	sample	SAMPLE
15	trexpadv	出張事前申請	5	TREA(APPLY_Y3)-	
16	trexpstl	出張精算申請	5	TRES(APPLY_Y3)-	

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	採番ルール定義ID	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	採番ルール定義名	○	1000	
4	ノート		4000	
5	開始番号	○	18	
6	桁数	○	18	
7	増分値	○	18	
8	接頭辞		1000	
9	接尾辞		1000	
10	通し番号設定フラグ	○	1	0 : 無効 1 : 有効
11	リセット設定フラグ	○	1	0 : 無効 1 : 有効

データサンプル

```
"sample","ja","サンプル","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
"sample","en","Sample","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
"sample","zh_CN","[]例","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/numbering_rule

ファイル名 import.csv

i コラム

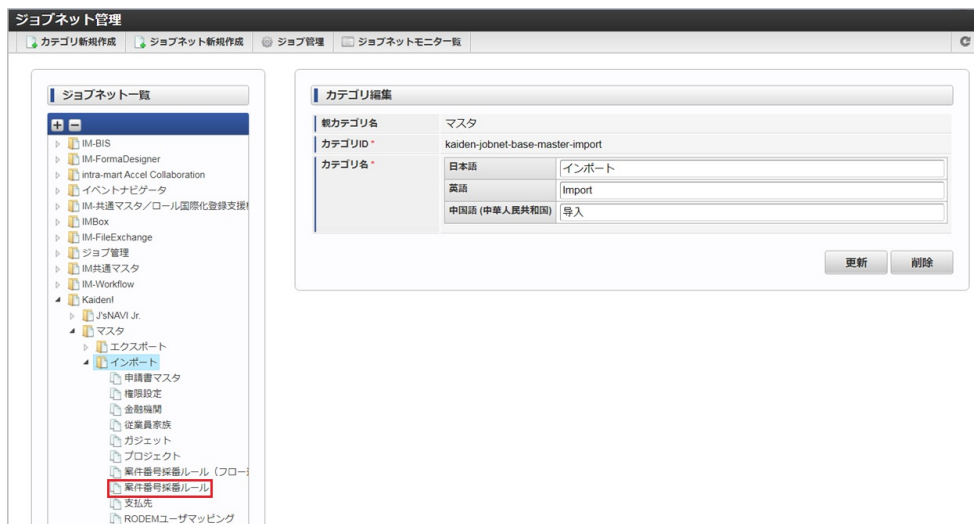
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

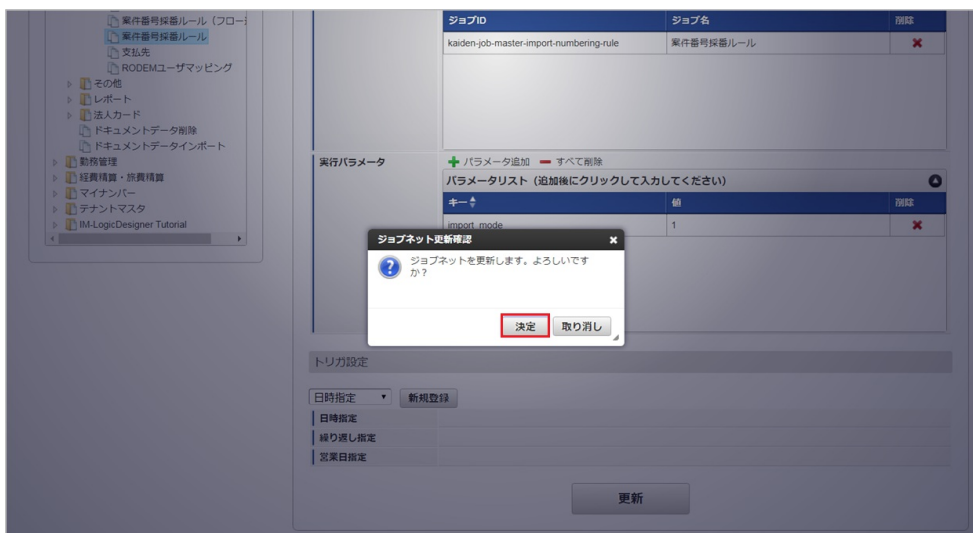
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-numbering-rule	Kaiden! / マスタ / インポート / 案件番号採番ルール

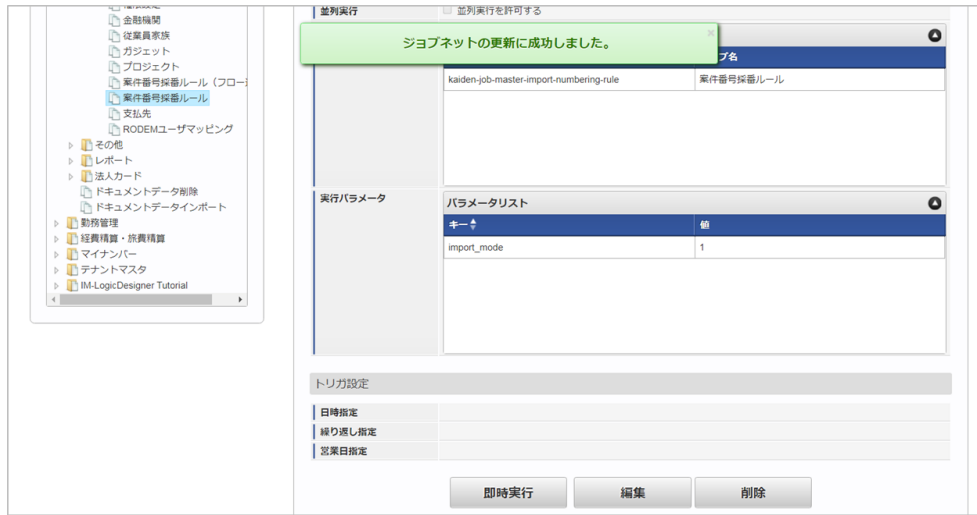
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 操作なし ■ 2 : コピー(copy) ■ 3 : アーカイブ(move) ■ 4 : 正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5 : 正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6 : 削除(delete) ■ 7 : 正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8 : 正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ": ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルールマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_rule」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

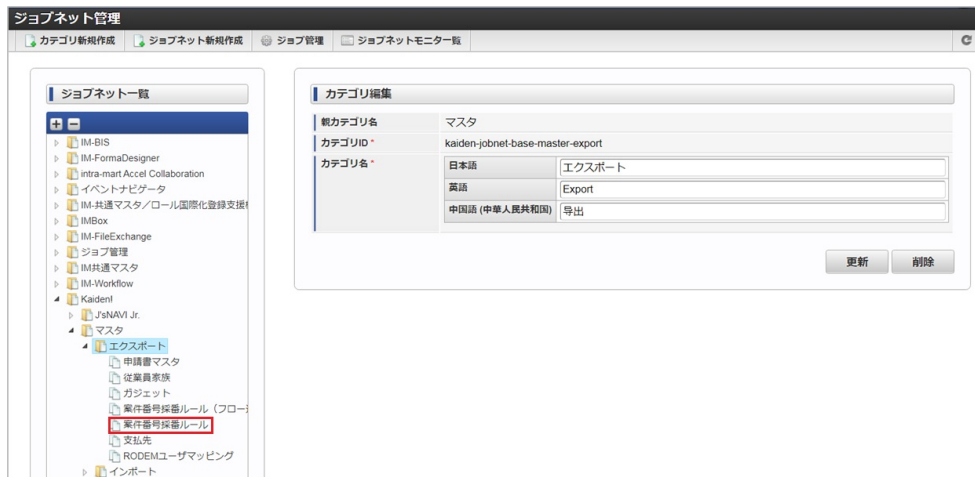
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、**実行パラメータ**を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『**テナント管理者操作ガイド**』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『**テナント管理者操作ガイド**』を参照してください。

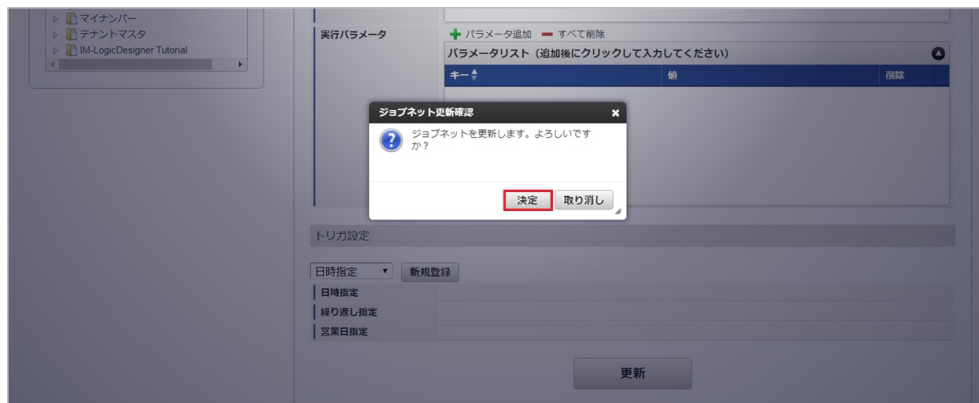
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-numbering-rule	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 案件番号採番号ルール

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/numbering_rule
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
numberingRuleId	採番ルール定義ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
numberingRuleName	採番ルール定義名	
note	ノート	
startNumber	開始番号	
digit	桁数	
incrementalNumber	増分値	
prefix	接頭辞	
suffix	接尾辞	
serialFlag	通し番号設定フラグ	0 : 無効 1 : 有効
resetFlag	リセット設定フラグ	0 : 無効 1 : 有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルールマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_rule」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

置換文字列

「接頭辞」、「接尾辞」には、置換文字列の使用が可能です。

置換文字列を設定する際は、「{ }」で囲んでください。

使用可能な置換文字列は、次の通りです。

名称	置換文字列	説明
権限会社コード	COMPANY_CD	申請時の権限会社コードに置換します。
権限組織セットコード	ORGZ_SET_CD	申請時の権限組織セットコードに置換します。
権限組織コード	ORGZ_CD	申請時の権限組織コードに置換します。
代理フラグ	ACT_FLAG	代理フラグに置換します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0 : 本人申請 ▪ 1 : 代理申請
優先度	PRIORITY_LEVEL	優先度に置換します。
処理権限者コード	AUTH_USER_CD	申請時の処理権限者コードに置換します。
処理実行者コード	EXEC_USER_CD	申請時の処理実行者コードに置換します。
コンテンツID	CONTENTS_ID	申請時のコンテンツIDに置換します。
フローID	FLOW_ID	申請時のフローIDに置換します。
ルートID	ROUTE_ID	申請時のルートIDに置換します。
申請基準日「西暦年(yyyy)」	APPLY_Y1	申請基準日を「西暦年(yyyy)」に置換します。
申請基準日「西暦年上2桁(yy)」	APPLY_Y2	申請基準日「西暦年上2桁(yy)」に置換します。
申請基準日「西暦年下2桁(yy)」	APPLY_Y3	申請基準日「西暦年下2桁(yy)」に置換します。
申請基準日「和暦年(y)」	APPLY_GY1	申請基準日「和暦年(y)」に置換します。
申請基準日「和暦年(yy)」	APPLY_GY2	申請基準日「和暦年(yy)」に置換します。
申請基準日「月(M)」	APPLY_M1	申請基準日「月(M)」に置換します。
申請基準日「月(MM)」	APPLY_M2	申請基準日「月(MM)」に置換します。
申請基準日「日(d)」	APPLY_D1	申請基準日「日(d)」に置換します。
申請基準日「日(dd)」	APPLY_D2	申請基準日「日(dd)」に置換します。
申請基準日の月末日(dd)	APPLY_D3	申請基準日の月末日(dd)に置換します。
申請基準日(yyyyMMdd)	APPLY_BASE_DATE	申請基準日(yyyyMMdd)に置換します。
処理日「西暦年(yyyy)」	PROCESS_Y1	処理日「西暦年(yyyy)」に置換します。
処理日「西暦年上2桁(yy)」	PROCESS_Y2	処理日「西暦年上2桁(yy)」に置換します。
処理日「西暦年下2桁(yy)」	PROCESS_Y3	処理日「西暦年下2桁(yy)」に置換します。
処理日「和暦元号(G)」	PROCESS_G3	処理日「和暦元号(G)」に置換します。
処理日「和暦年(y)」	PROCESS_GY1	処理日「和暦年(y)」に置換します。
処理日「和暦年(yy)」	PROCESS_GY2	処理日「和暦年(yy)」に置換します。
処理日「月(M)」	PROCESS_M1	処理日「月(M)」に置換します。
処理日「月(MM)」	PROCESS_M2	処理日「月(MM)」に置換します。
処理日「日(d)」	PROCESS_D1	処理日「日(d)」に置換します。
処理日「日(dd)」	PROCESS_D2	処理日「日(dd)」に置換します。
処理日の月末日(dd)	PROCESS_D3	処理日の月末日(dd)に置換します。
処理日(yyyyMMdd)	PROCESS_DATE	処理日(yyyyMMdd)に置換します。

案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ

本項では、案件番号採番ルール（フロー連携）マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

案件番号採番ルール（フロー連携）マスタは、連携するフローと案件番号採番ルールの情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

コラム

案件番号採番ルール（フロー連携）で定義した設定を有効にするには、フローに紐づくコンテンツの「案件番号採番クラス」を「拡張（採番ルール定義による採番番号）」に設定する必要があります。詳細は、[新規登録](#)を参照してください。

案件番号採番クラス* 拡張(採番ルール定義による採番番号)

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール（フロー連携）」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- フローID
採番ルールに連携させるフローを選択します。
 - 採番ルール定義ID
フローに連携させる採番ルール定義を選択します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール (フロー連携)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい採番ルールの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- フローID
- フロー名
- 採番ルール定義ID
- 採番ルール定義名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	▲ フローID	フロー名	採番ルール定義ID	採番ルール定義名
1	0_budget	0_予算連携	matterDetail	案件明細
2	0_budgetsettle	0_予算集積連携	matterDetail	案件明細
3	0_matterdtl	0_案件明細	matterDetail	案件明細
4	0_route_detail	旅程明細 (連携) カレンダーデータ連携	rodem	RODEM連携
5	0_st2-1	費用振替明細	journalDetail	費用振替明細
6	bankaccount_v01	K201 口座変更申請	bankaccount	口座変更申請
7	billpayment_v01	K114 経費支払申請	billpayment	経費支払申請
8	chgempfamily_v01	K203 家族異動申請	chgempfamily	家族異動申請
9	commroute_v01	K202 通勤経路変更申請	commroute	通勤経路変更申請
10	etexpadv_v01	K105 交際費事前申請	etexpadv	交際費事前申請
11	etexpadv_v02	K112 交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv	交際費事前申請
12	etexpstl_v01	K106 交際費精算申請	etexpstl	交際費精算申請
13	etexpstl_v02	K113 交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl	交際費精算申請
14	general_v01	K901 汎用申請	general	汎用申請
15	gnexpadv_v01	K101 経費事前申請	gnexpadv	経費事前申請
16	gnexpadv_v02	K107 経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv	経費事前申請
17	gnexpstl_v01	K102 経費精算申請	gnexpstl	経費精算申請

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

案件番号採番ルール (フロー連携)

フローID * 費用振替明細

採番ルール定義ID * 費用振替明細

次の項目は編集不可項目です。

- フローID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

案件番号採番ルール (フロー連携)

フローID * 費用振替明細

採番ルール定義ID * 費用振替明細

確認

更新します。

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow Collaboration サンプル サイトマップ 再検索済

案件番号採番ルール (フロー連携) 更新しました。

No	▲ フローID	フロー名	採番ルール定義ID	採番ルール定義名
1	0_budget	0_予算連携	matterDetail	案件明細
2	0_budgetsettle	0_予算集積連携	matterDetail	案件明細
3	0_matterdtl	0_案件明細	matterDetail	案件明細
4	0_route_detail	旅程明細 (連携) カレンダーデータ連携	rodem	RODEM連携
5	0_st2-1	費用振替明細	journalDetail	費用振替明細
6	bankaccount_v01	K201 口座変更申請	bankaccount	口座変更申請
7	billpayment_v01	K114 経費支払申請	billpayment	経費支払申請
8	chgempfamily_v01	K203 家族異動申請	chgempfamily	家族異動申請
9	commroute_v01	K202 通勤経路変更申請	commroute	通勤経路変更申請
10	etexpadv_v01	K105 交際費事前申請	etexpadv	交際費事前申請
11	etexpadv_v02	K112 交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv	交際費事前申請
12	etexpstl_v01	K106 交際費精算申請	etexpstl	交際費精算申請
13	etexpstl_v02	K113 交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl	交際費精算申請
14	general_v01	K901 汎用申請	general	汎用申請
15	gnexpadv_v01	K101 経費事前申請	gnexpadv	経費事前申請
16	gnexpadv_v02	K107 経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv	経費事前申請
17	gnexpstl_v01	K102 経費精算申請	gnexpstl	経費精算申請

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	採番ルール定義ID	○	100	
2	フローID	○	20	

データサンプル

```
"matterDetail","0_matterdtl"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/numbering_flow

ファイル名 import.csv



コラム

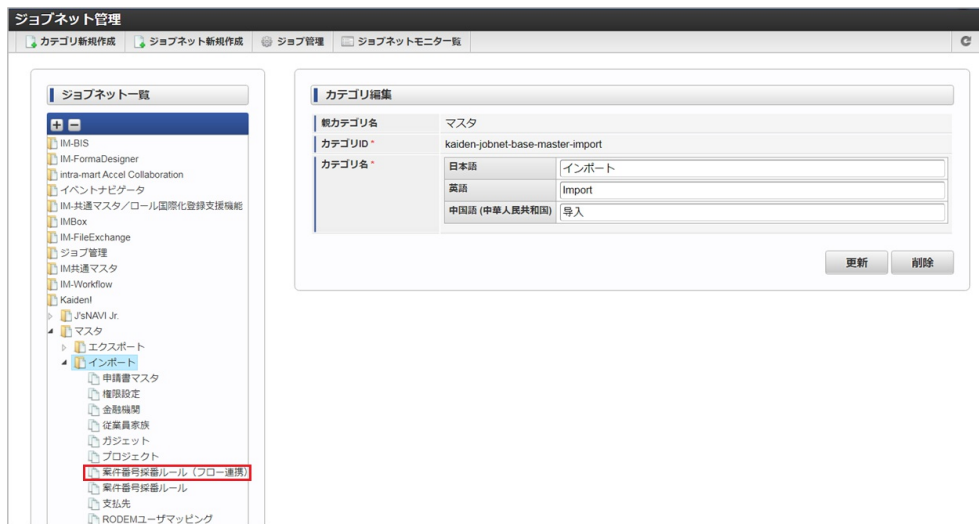
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

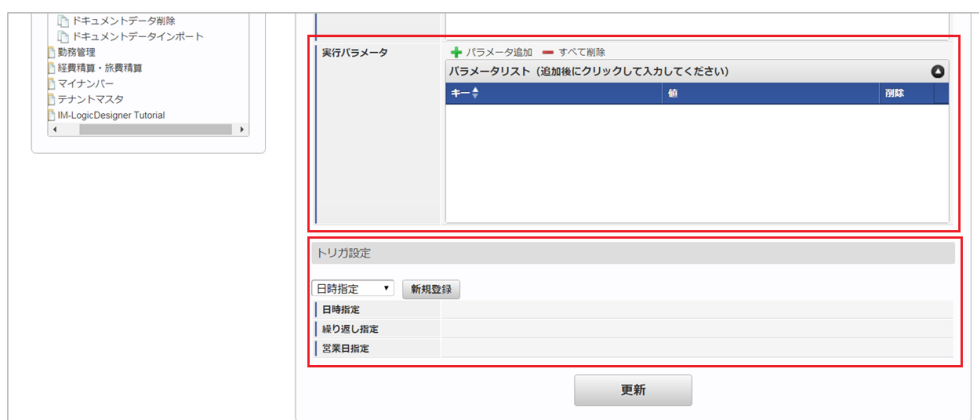
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール（フロー連携）」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

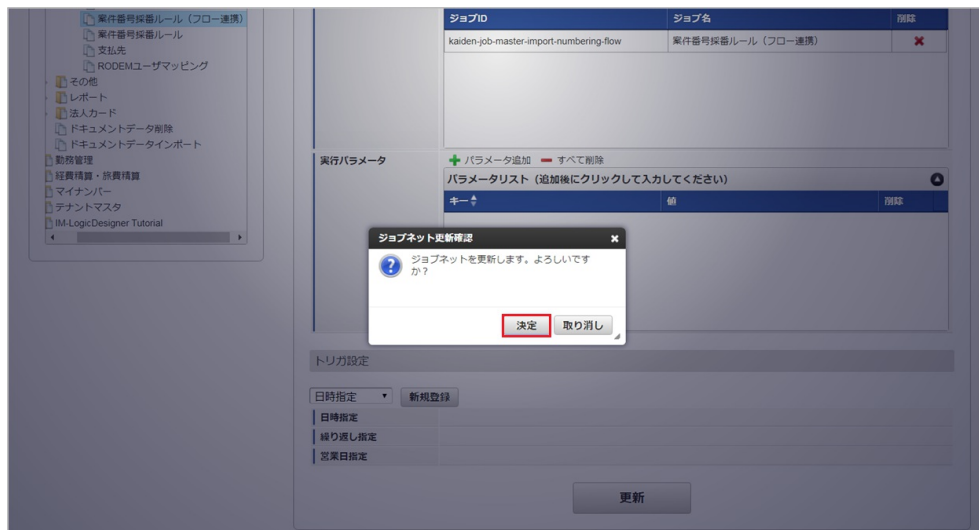
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-numbering-flow	Kaiden! / マスタ / インポート / 案件番号採番ルール (フロー連携)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルール (フロー連携) マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_flow」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

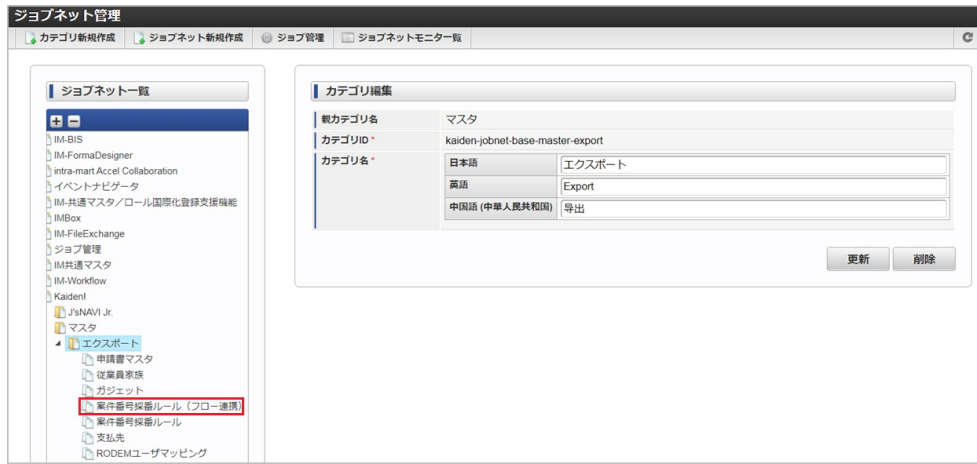
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

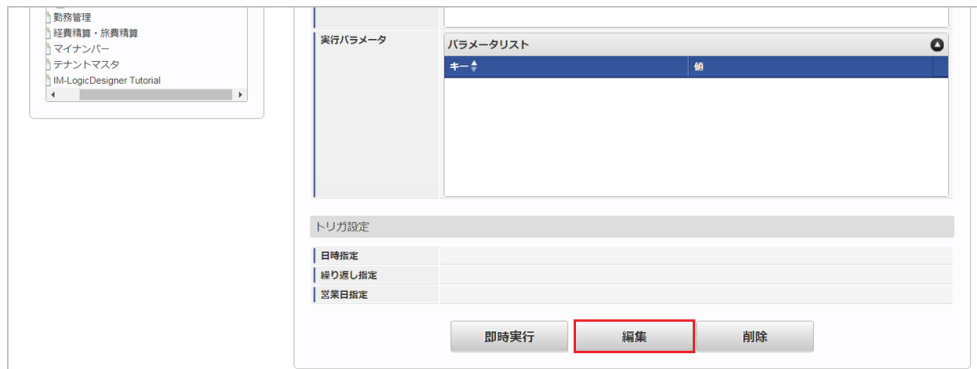
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「案件番号採番ルール (フロー連携)」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

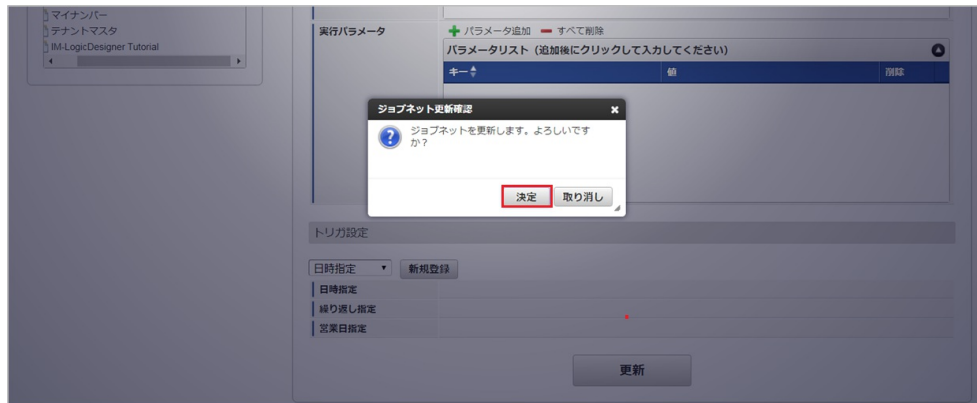
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-numbering-flow	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 案件番号採番号ルール (フロー連携)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/numbering_flow
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
numberingRuleId	採番ルール定義ID	
flowId	フローID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルール(フロー連携)マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_flow」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.契約マスタ

本項では、J'sNAVI Jr.契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.契約マスタは、連携する「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

J'sNAVI Jr.契約マスタメンテナンス

契約企業コード*	sample
契約企業名称*	日本語 サンプル
	英語 sample
	中国語(中国) 样本
契約企業パスワード*
認証キー*
出張手配SSO URL	https://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
出張手配予約情報取得URL	https://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
出張手配実績データ取得URL	https://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
カード利用データ連携URL	https://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
担当者所属会社*	サンプル会社
担当者*	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳原巳
備考	SAMPLE

- 契約企業コード
「J'sNAVI Jr.」に登録している企業コードを入力します。
- 契約企業名称
契約企業名称をロケール別に入力します。
- 契約企業パスワード
「J'sNAVI Jr.」に登録している企業コードに対するパスワードを入力します。
- 認証キー
「J'sNAVI Jr.」の認証キーを入力します。
- 出張手配SSO URL
「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスシングルサインオンする際のURLを入力します。
「UTF-8」用のURLを設定してください。
- 出張手配予約情報取得URL
「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスから予約情報を取得する際のURLを入力します。
- 出張手配実績データ取得URL
「[出張手配実績データ取得](#)」で使用します。
- カード利用データ連携URL
「[利用データ取得](#)」で使用します。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
担当者は、「[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)」、「[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)」で担当する契約に紐づくデータを編集・参照できます。

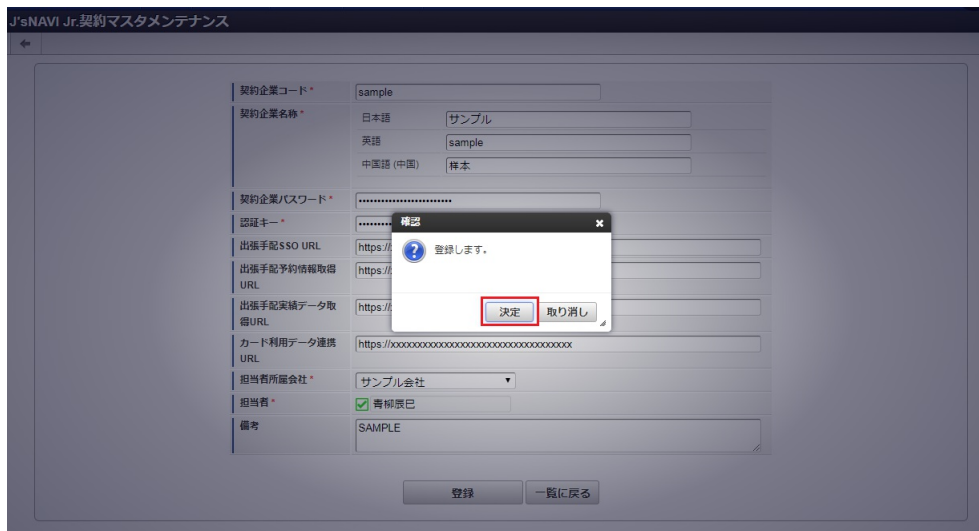
コラム

「[出張手配実績データ取得](#)」、「[利用データ取得](#)」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約企業コード
- 契約企業名称
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 契約企業コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	契約企業コード	契約企業名称	備考
1	00000	サンプル会社	
2	sample	サンプル	SAMPLE

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	契約企業名称	○	1000	
4	契約企業パスワード	○	100	
5	認証キー	○	100	
6	出張手配SSO URL		1000	
7	出張手配予約情報取得URL		1000	
8	出張手配実績データ取得URL		1000	
9	カード利用データ連携URL		1000	
10	担当者所属会社	○	100	
11	担当者	○	100	
12	備考		1000	

データサンプル

```
"sample","en","sample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","ht
"sample","ja","サンプ
ル","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxx
"sample","zh_CN","□
品","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

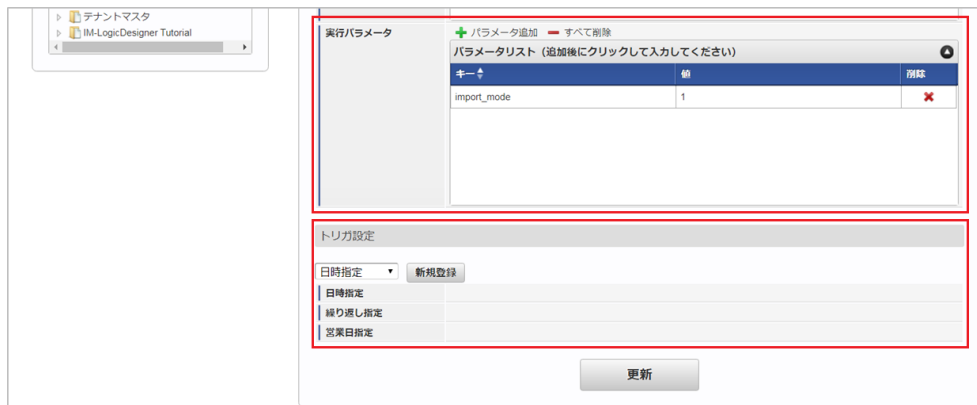
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

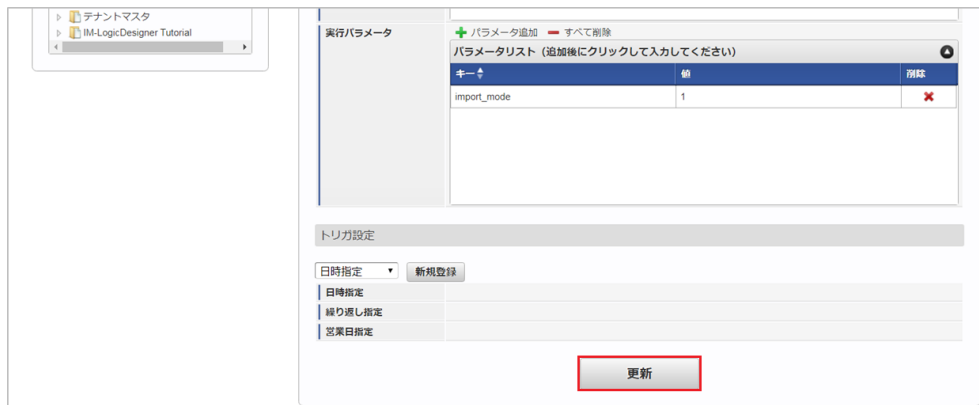
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

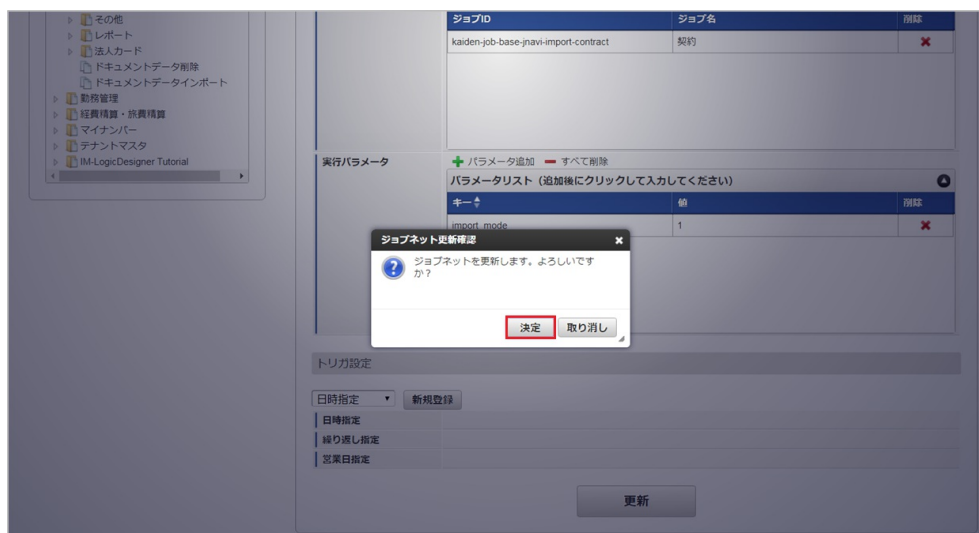
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-contract	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 契約

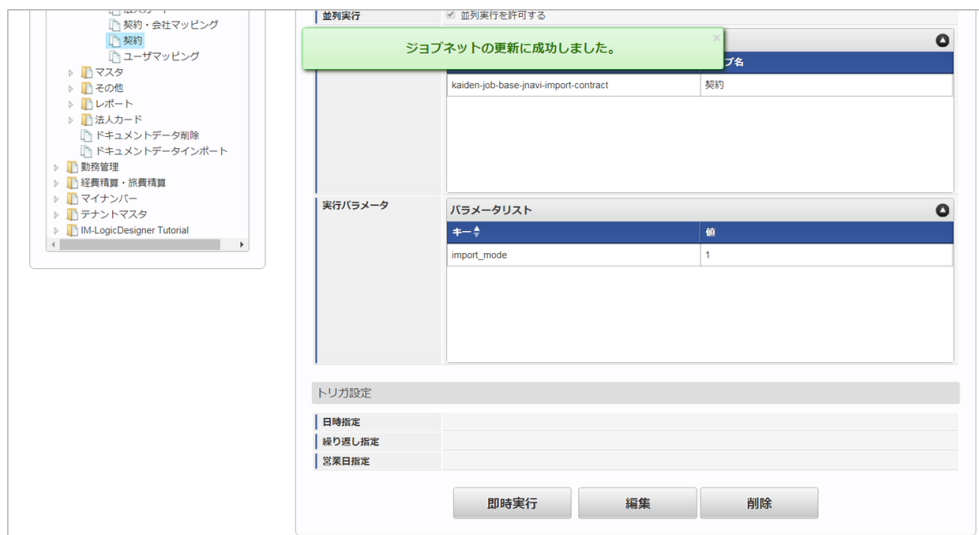
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

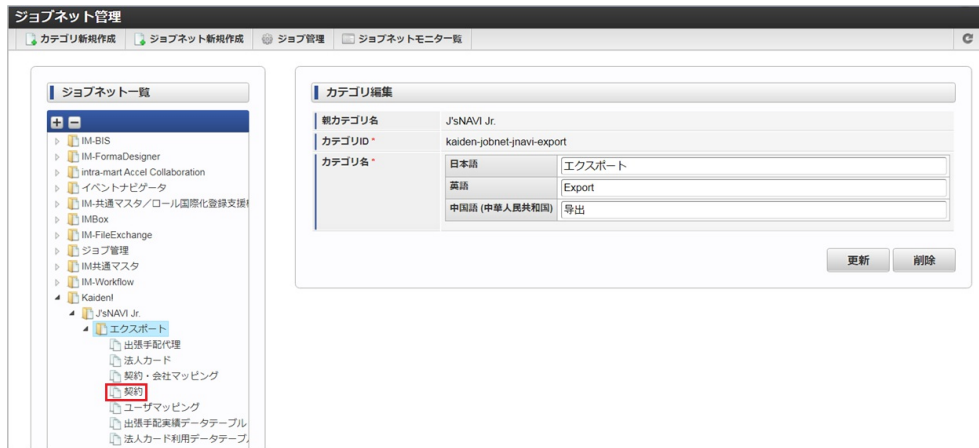
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

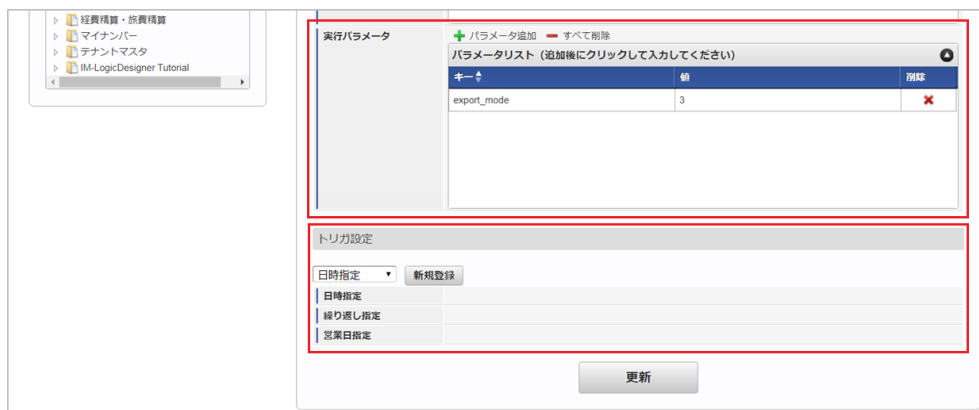
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-contract	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 契約

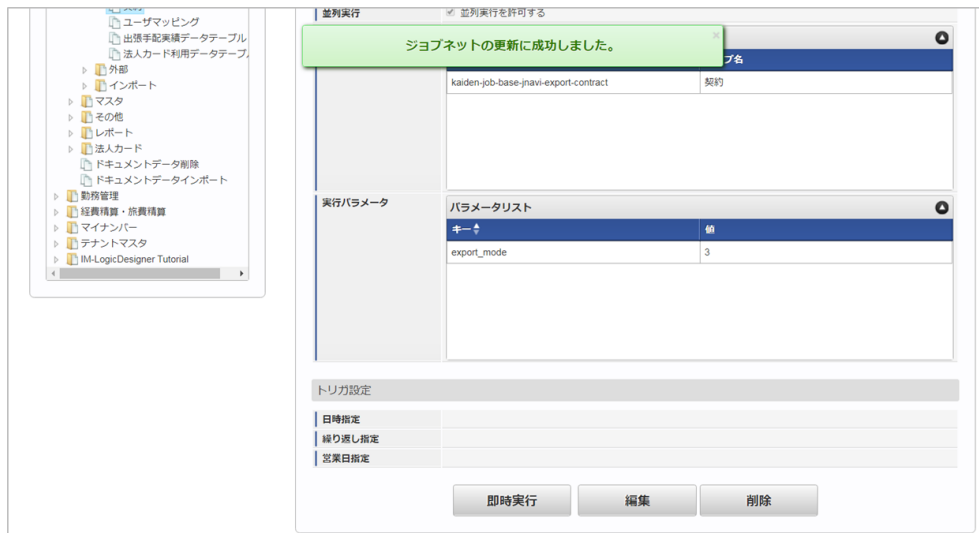
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_contract

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名称	
corporatePassword	契約企業パスワード	
authKey	認証キー	
ticketSsoUrl	出張手配SSO URL	
ticketReserveUrl	出張手配予約情報取得URL	
ticketResultUrl	出張手配実績データ取得URL	
cardDataUrl	カード利用データ連携URL	
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ

本項では、J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 会社
「J'sNAVI Jr.」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「J'sNAVI Jr.」に登録済みの契約を選択します。

コラム

「会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名称

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	契約	契約企業名称
1	TEST038	スミセイ情報システム
2	TESTCONTRACT01	contractName_ja
3	TESTCONTRACT02	ja2
4	sample	サンプル

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

! 注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	企業コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_company

ファイル名 import.csv

コラム

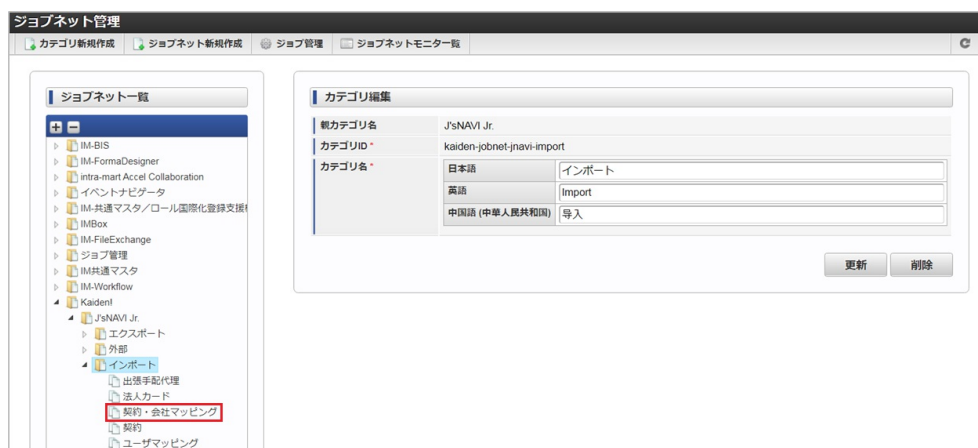
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

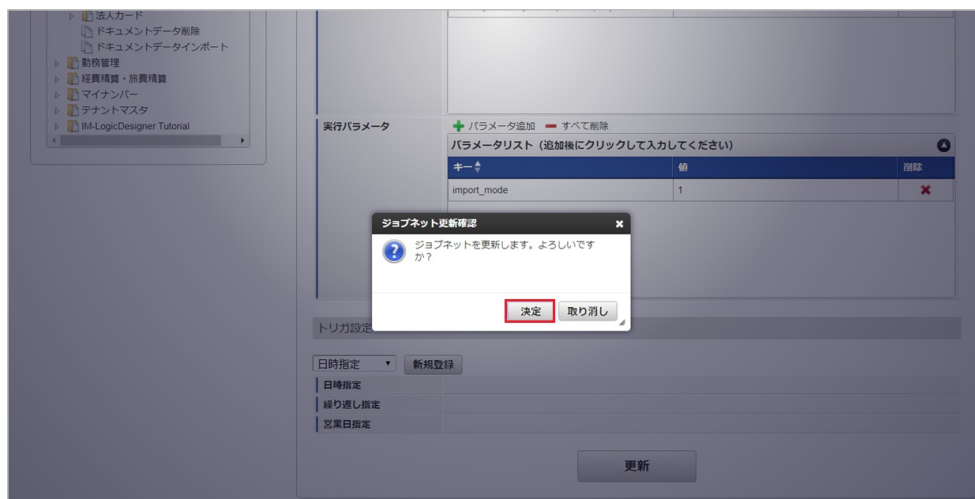
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-company	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定 (実行) 後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_company」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

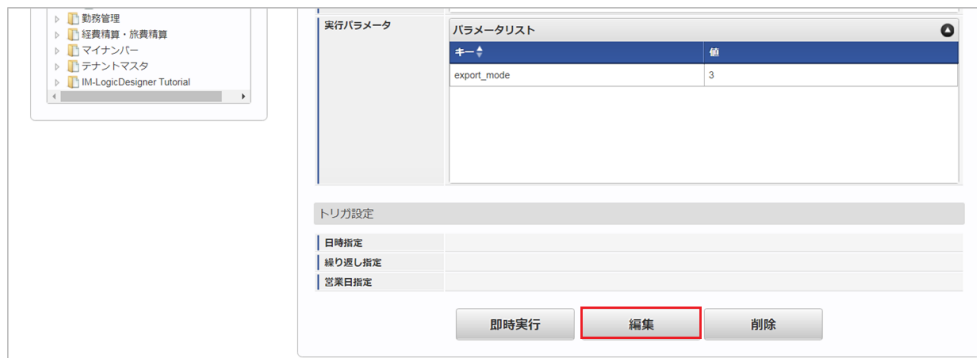
エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。

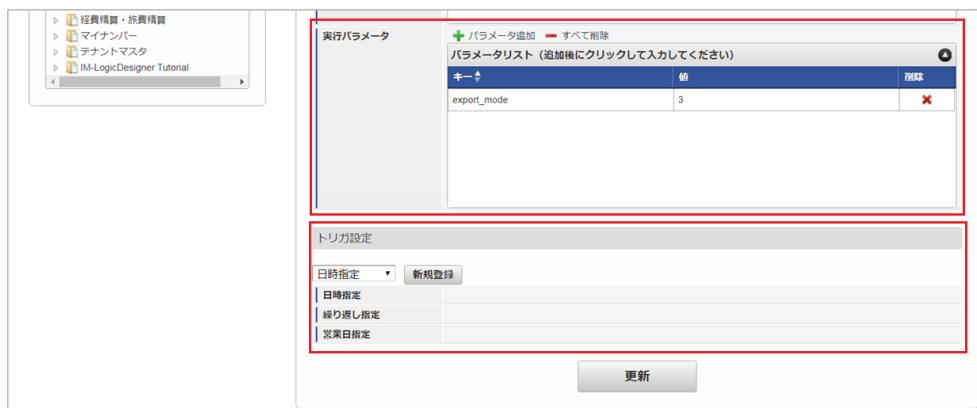
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-company	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 契約・会社マッピング

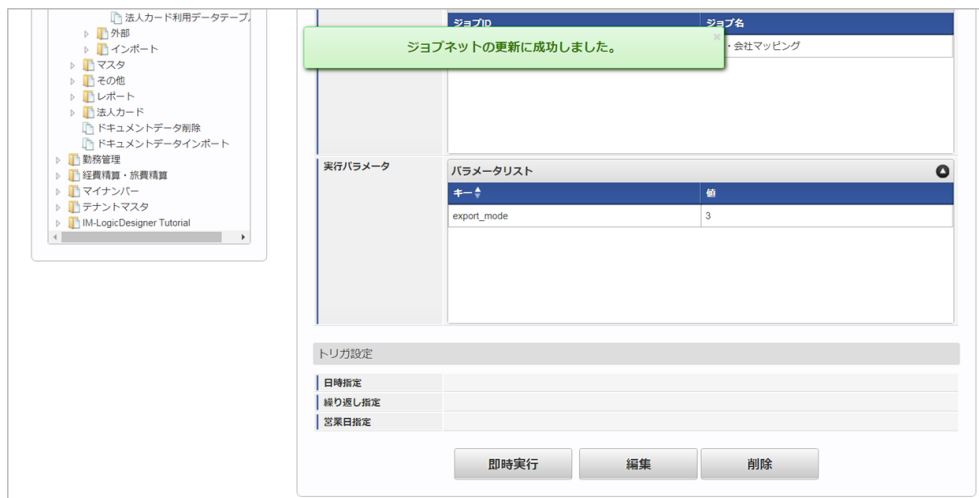
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_company/
ファイル名	export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
corporateCd	企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.法人カードマスタ

本項では、J'sNAVI Jr.法人カードマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.法人カードマスタは、「J'sNAVI Jr.」からデータを取り込む法人カードを管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 精算会社
法人カードの精算会社を設定します。
- 精算ユーザ
法人カードの精算ユーザを設定します。
- 契約企業
「J'sNAVI Jr.」の契約企業を選択します。
- カードID
システム内で一意となるカードIDを入力します。
- 集計部署コード
集計部署コードを入力します。
将来拡張用の項目です。
- 利用者部署コード
利用者の所属部署コードを入力します。
将来拡張用の項目です。
- 利用データ編集可否
利用データの編集可否を設定します。
「可能」を選択した場合、法人カードの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。

コラム

「精算者」は、システム日付を検索基準日としています。
「精算会社」、「契約企業」は、開始日を検索基準日としています。

注意

悪用の恐れがあるため、「カードID」に、法人カードのカード番号を入力しないでください。
「カードID」には、法人カードを特定するためのシステム内で一意の任意のIDを入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい法人カードの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算会社
- 精算ユーザ

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 契約企業
- カードID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	100	
2	カードID	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	

6	集計部署コード		100	
7	利用者部署コード		100	
8	精算会社コード	○	100	
9	精算ユーザコード	○	100	
10	利用データ編集可否	○	1	0：無効 1：有効

データサンプル

```
"sample","sample","1900/01/01","2999/12/31","0","sample","sample","comp_sample_01","aoyagi","1"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_card

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

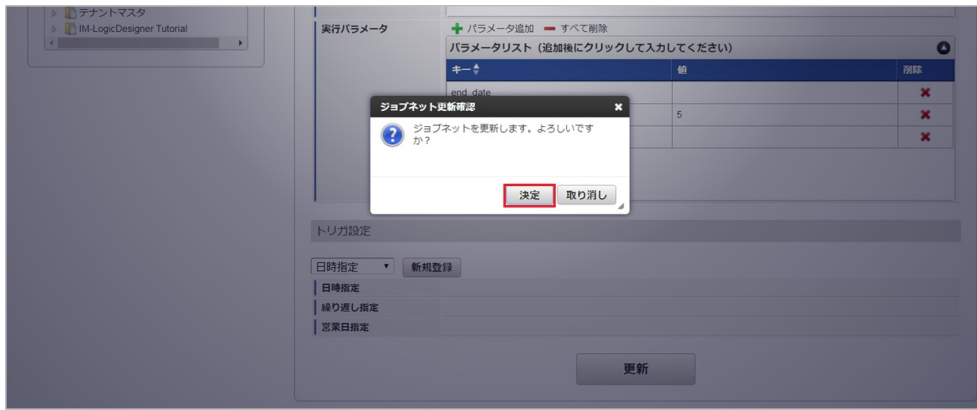
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-base-jnavi-import-card Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 法人カード

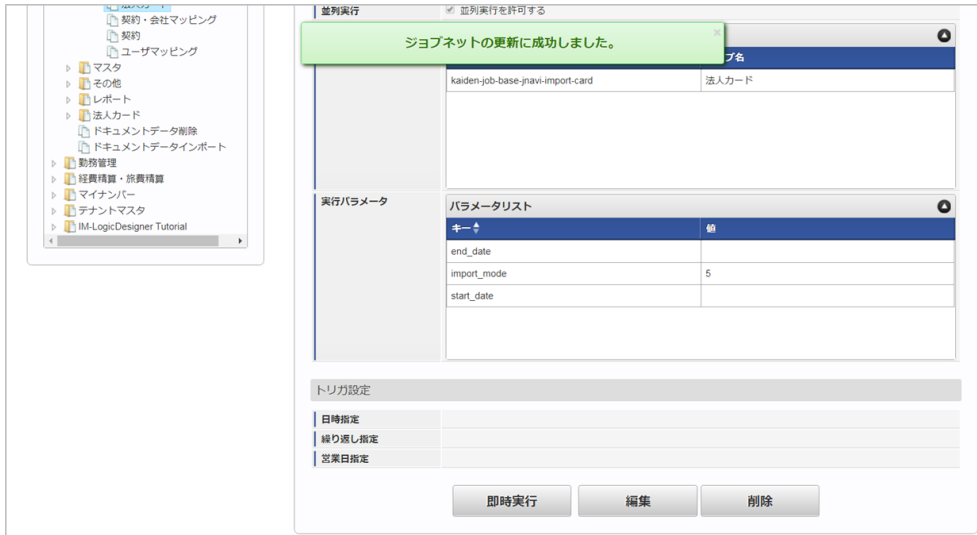
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.法人カードマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

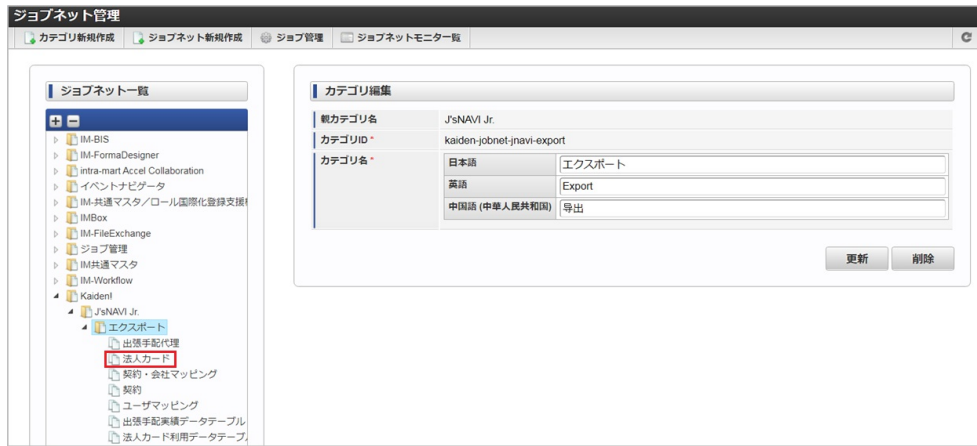
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

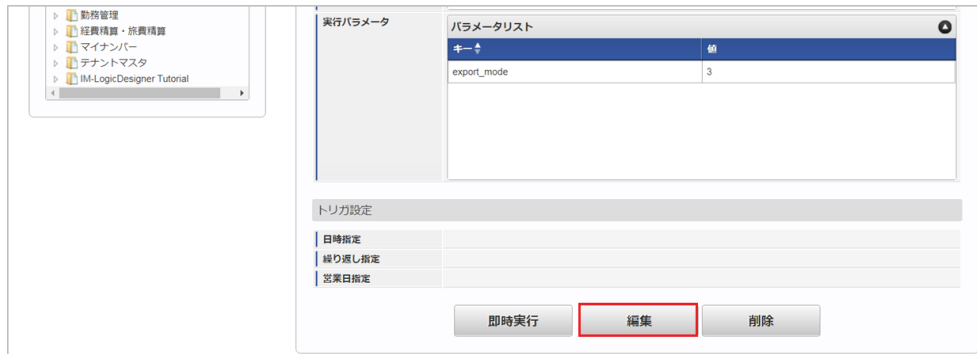
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

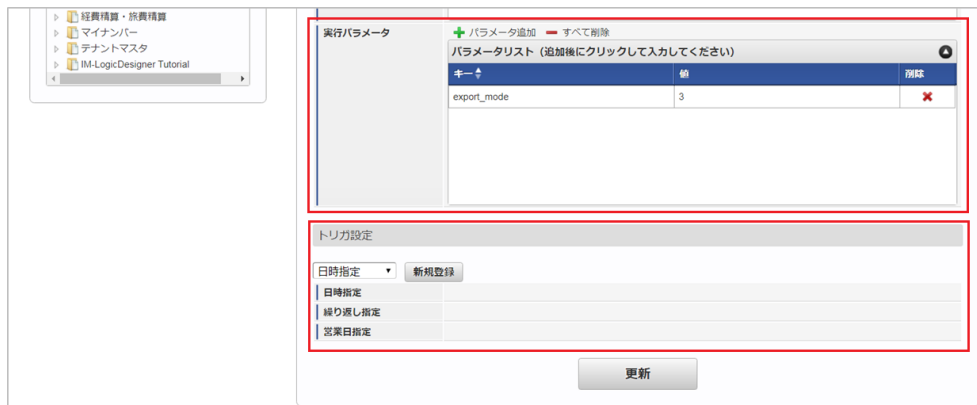
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

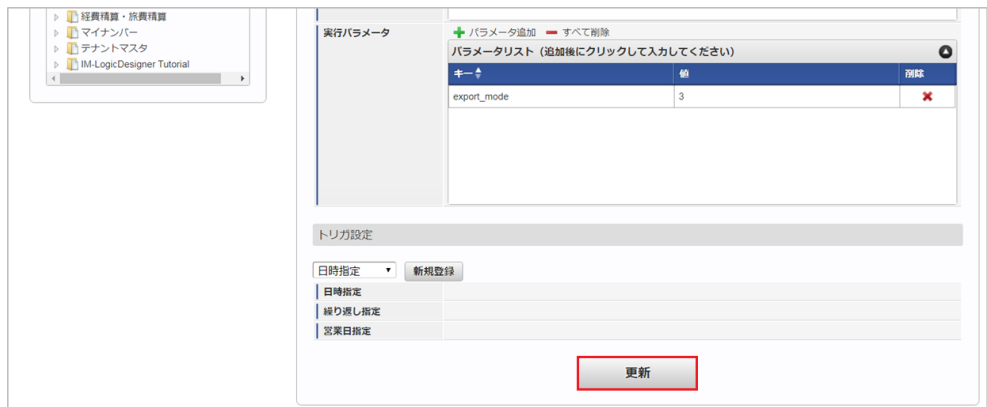
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

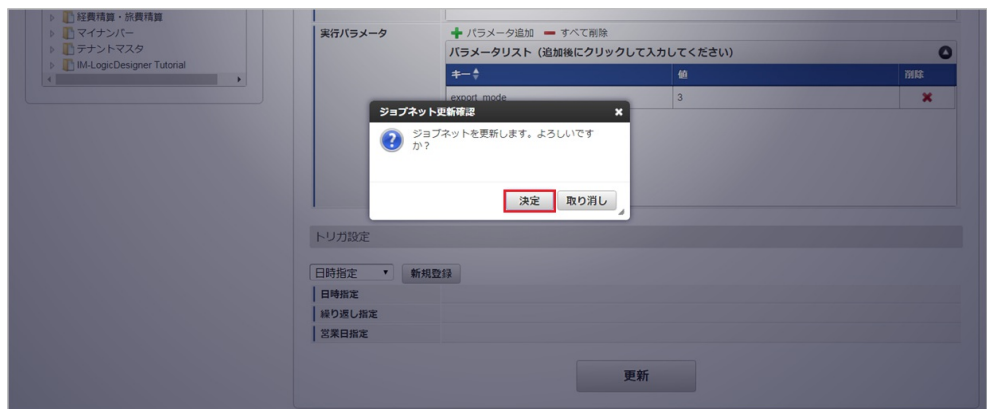
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-card	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 法人カード

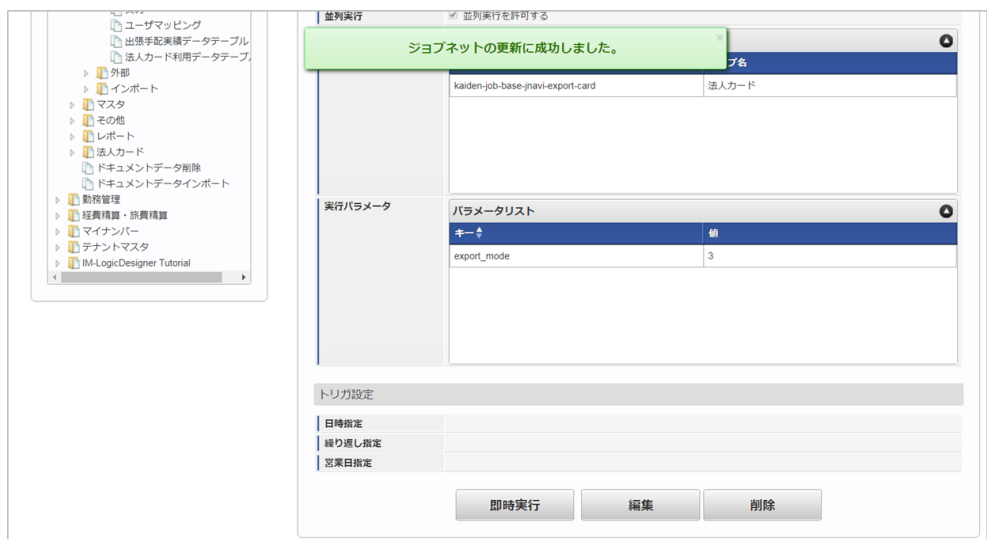
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_card/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	契約企業コード	
cardId	カードID	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
aggregateDeptCd	集計部署コード	
memberDeptCd	利用者部署コード	
settleCompanyCd	精算会社コード	
settleUserCd	精算ユーザコード	
editFlg	利用データ編集可否	0 : 無効 1 : 有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jnavi_card/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.法人カードマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張手配ユーザマッピングマスタ

本項では、出張手配ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配ユーザマッピングマスタは、「J'sNAVI Jr.」と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

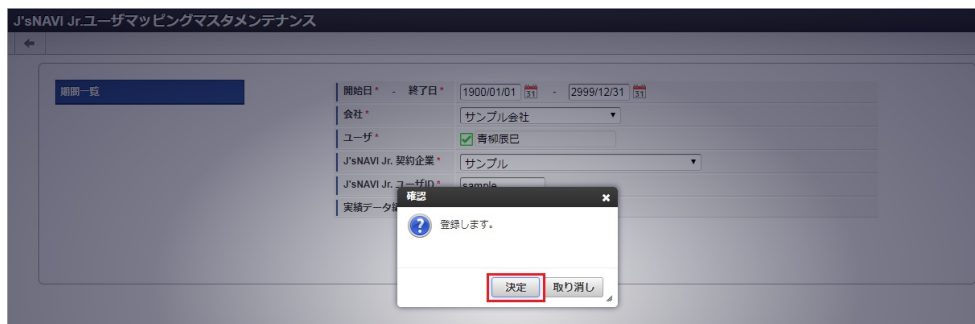


- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- J'sNAVI Jr.契約企業
「J'sNAVI Jr.」契約企業を選択します。
- J'sNAVI Jr.ユーザID
「J'sNAVI Jr.」で登録するユーザIDを登録します。
- 実績データ編集可否
利用データの編集可否を設定します。
「可能」を選択した場合、出張手配実績データの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。

i コラム

「ユーザ」は、システム日付を検索基準日としています。
「会社」、「J'sNAVI Jr. 契約企業」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい出張手配ユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社
- ユーザ
- J'sNAVI Jr.契約企業

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

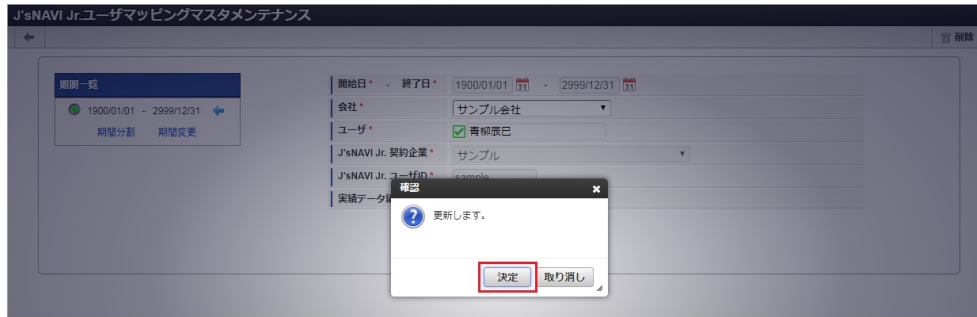
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- J'sNAVI Jr.契約企業
- J'sNAVI Jr.ユーザID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	企業コード	○	100	J'sNAVI Jr.の企業コード
2	ユーザID	○	100	J'sNAVI Jr.のユーザID
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

6	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
7	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
8	実績データ編集可否	○	1	0：無効 1：有効

データサンプル

```
"sample","sample","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","aoyagi","1"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_user

ファイル名 import.csv



コラム

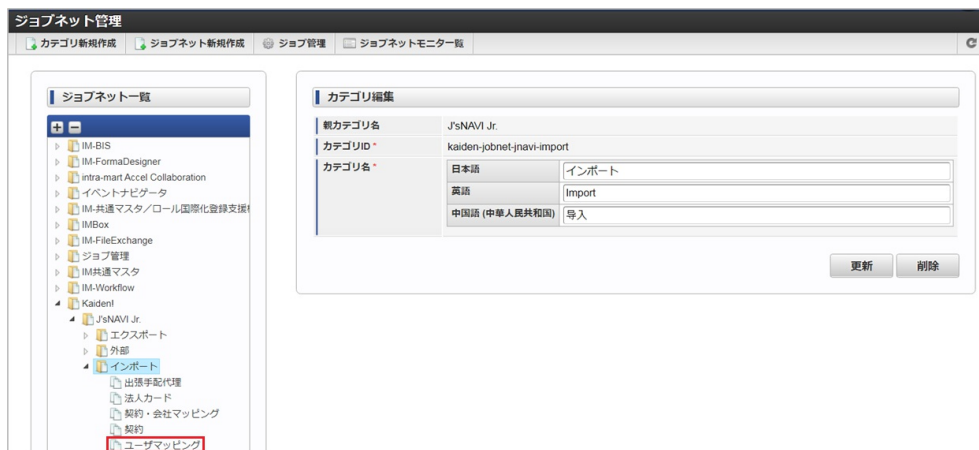
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「ユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

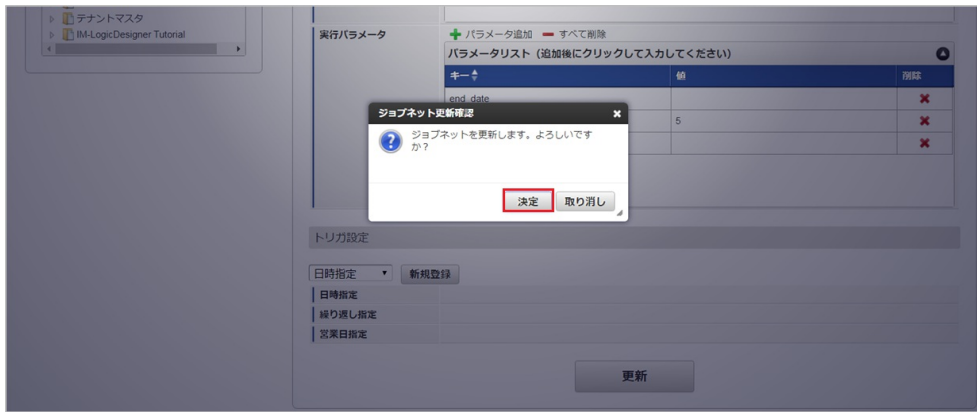
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-corporatecard-card-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / ユーザマッピング

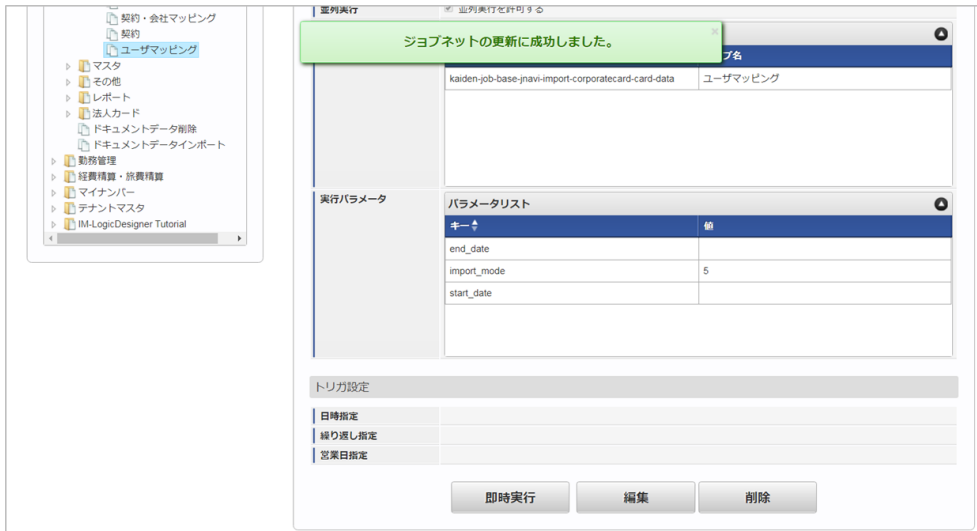
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 出張手配ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

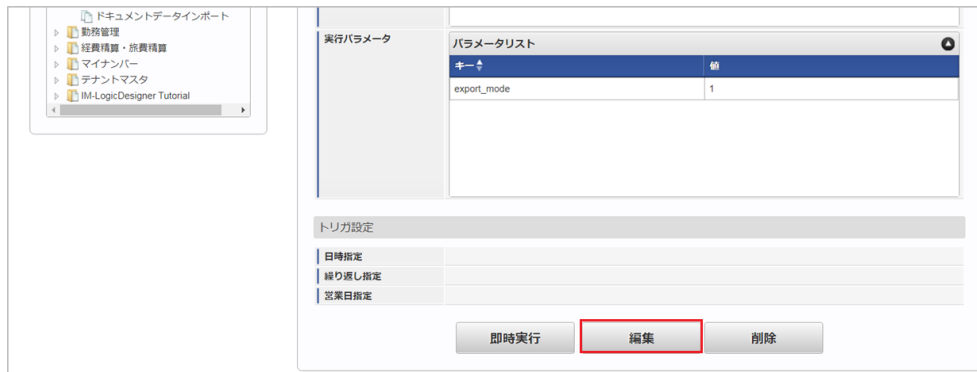
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

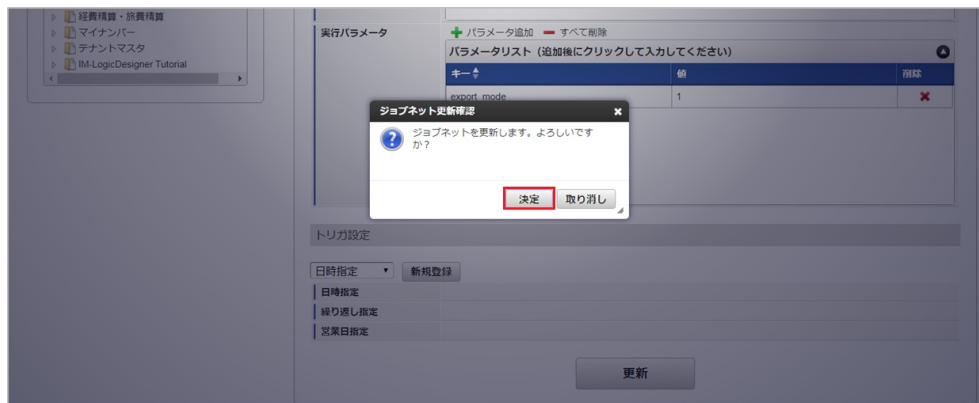
kaiden-job-base-jnavi-export-corporatecard-card-data

Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / ユーザマッピング

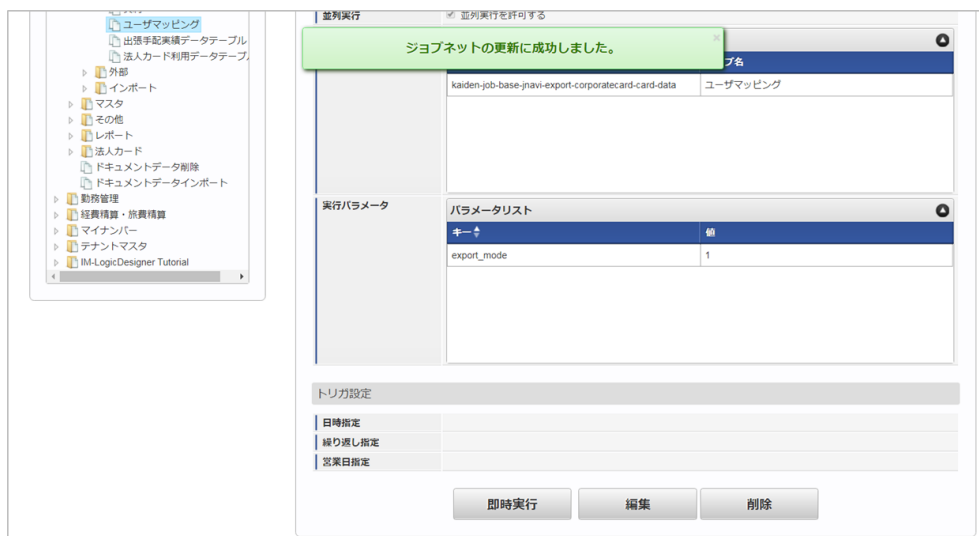
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_user/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	企業コード	J'sNAVI Jr.の企業コード
userId	ユーザID	J'sNAVI Jr.のユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
imUserCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
editFlg	実績データ編集可否	0 : 無効 1 : 有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jnavi_user/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張手配ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張手配代理マスタ

本項では、出張手配代理マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配代理マスタは、「J'sNAVI Jr.」の出張手配に関する代理情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

出張手配代理マスタに代理先として設定されたユーザは、代理申請時に出張手配が可能です。

また、代理元ユーザが申請した案件の承認時に、出張手配が可能です。

出張手配の詳細は「[Kaiden! から「J'sNAVI Jr.」を使用して出張手配する方法](#)」を参照してください。

出張手配を実施する際は、代理先ユーザも [出張手配ユーザマッピングマスタ](#)に登録する必要があります。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配代理」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 有効期間
開始日と終了日を設定します。
- 会社
代理元の会社を設定します。
- 代理元
代理元ユーザを設定します。
- 代理先
代理先ユーザを設定します。

コラム

「代理元」、「代理先」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配代理」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム
 検索欄に検索したい出張手配代理マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

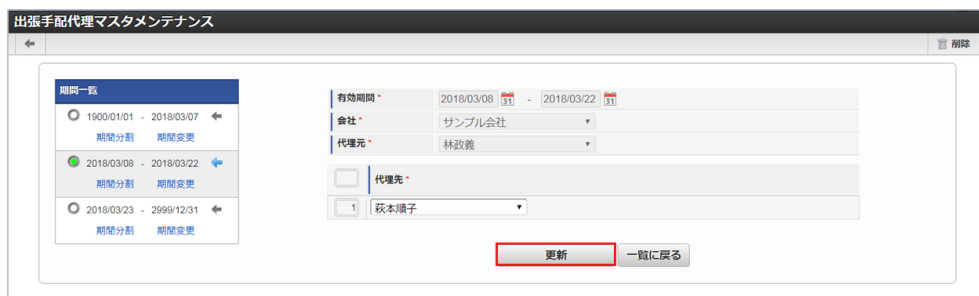
- 代理元

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム
 一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 代理元

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザID	○	100	
3	期間コード	○	50	
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term_01","1900/01/01","2999/12/31","0"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- データ形式

import_dtl.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザID	○	100	
3	期間コード	○	50	
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	代理先ユーザコード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term_01","0","1","hagimoto"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnaviAgt

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

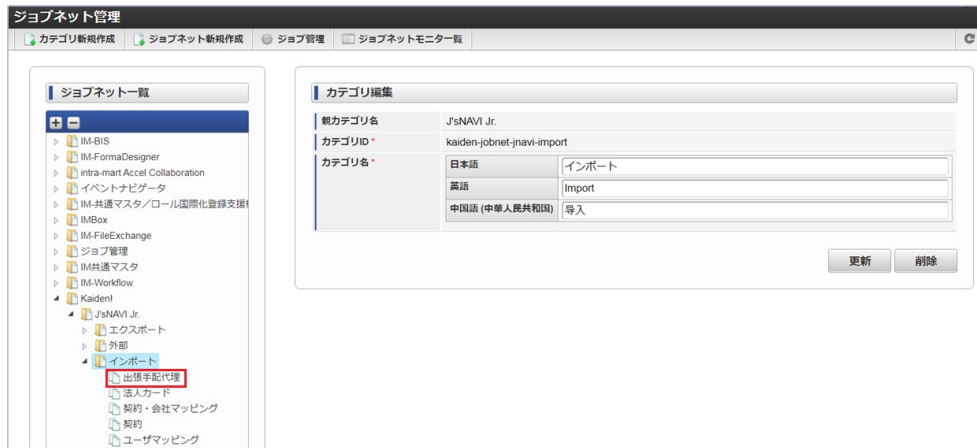
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

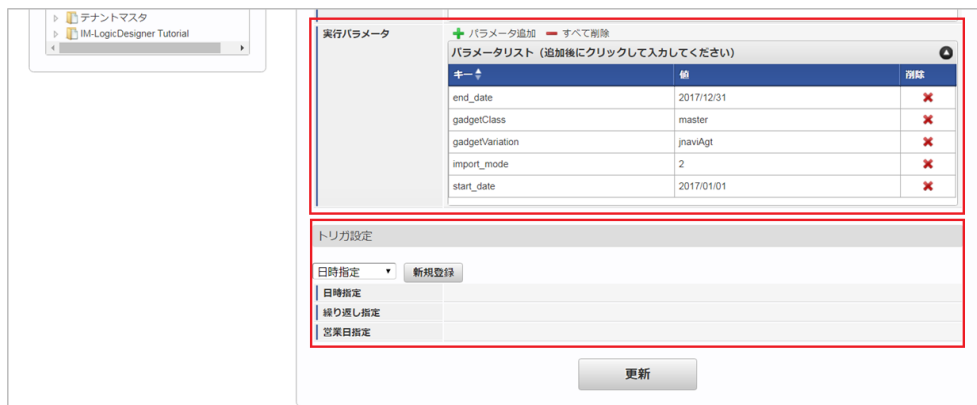
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配代理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

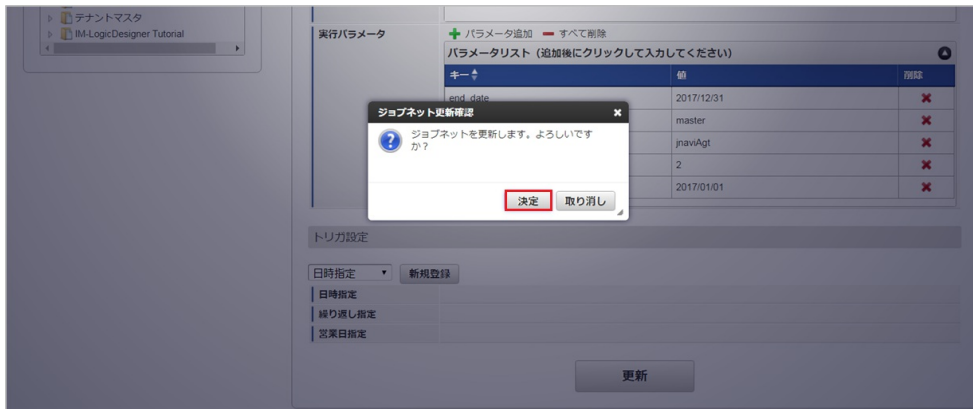
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-agt	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 出張手配代理

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnaviAgt/import_header.csv import_dtl.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnaviAgt/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)

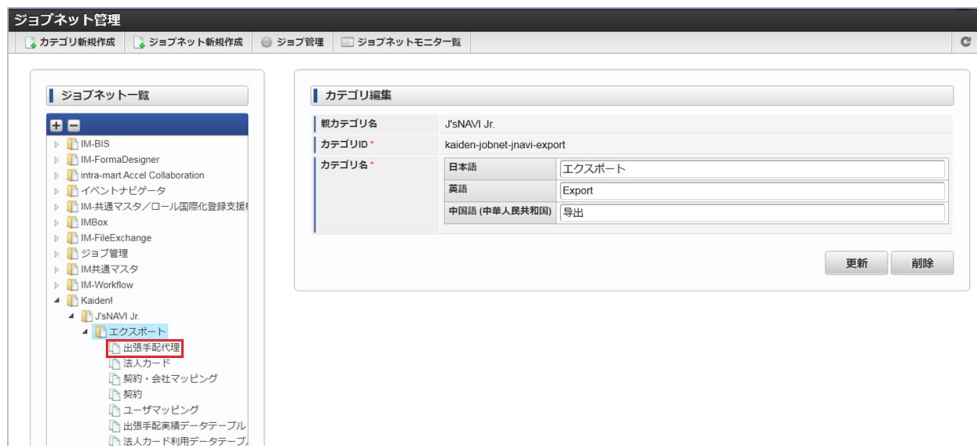
{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

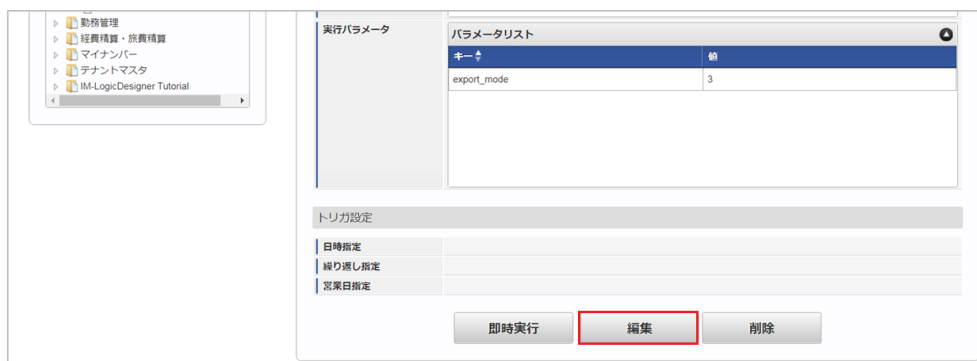
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

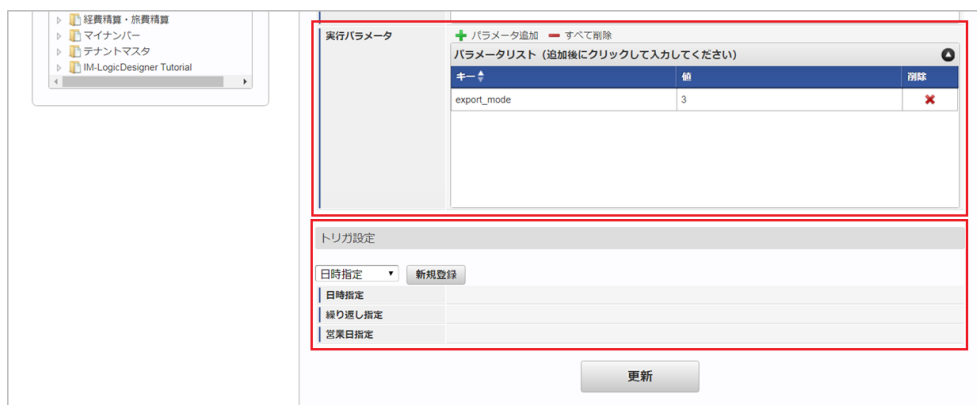
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配代理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-agt	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 出張手配代理

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

パラメータ追加 すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
export_mode	3	✕

トリガ設定

日時指定 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

実行パラメータ

パラメータ追加 すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

export_mode 3 ✕

トリガ設定

日時指定 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

7. ジョブネットが設定されました。

並列実行 並列実行を許可する

ジョブネットの更新に成功しました。

ジョブID	ジョブ名
kaiden-job-base-jnavi-export-agt	出張手配代理

実行パラメータ

パラメータリスト

キー	値
export_mode	3

トリガ設定

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

即時実行 編集 削除

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/
ファイル名	export_header.csv export_dtl.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式(画面の日付+1日)
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
agentUserCd	代理先ユーザコード	



注意

当マスタをエクスポートすると、終了日が画面の日付+1日で出力されます。
エクスポートしたファイルを使用してインポートモード「4」、「5」でインポートする場合、
終了日を「終了日-1日」に変更してインポートしてください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/export_header.csv export_dtl.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

RODEMユーザマッピングマスタ

本項では、RODEMユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

RODEMユーザマッピングマスタは、「RODEM」と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「RODEMユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
会社を設定します。
- ユーザコード
ユーザを設定します。
- クライアントID
「RODEM」のクライアントIDを入力します。
- クライアントシークレット
「RODEM」のクライアントシークレットを入力します。

コラム

「ユーザコード」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

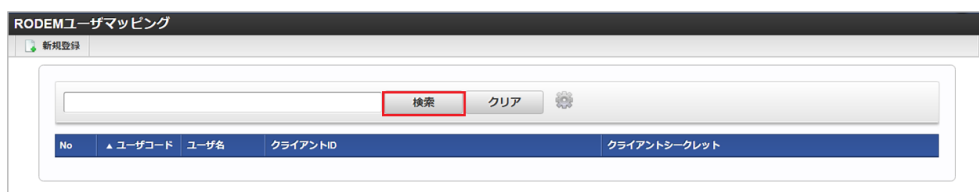


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「RODEMユーザーマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したいRODEMユーザーマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- クライアントID
- クライアントシークレット

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザーコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式
import.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	

2	ユーザID	○	100
3	クライアントID	○	1000
4	クライアントシークレット	○	1000

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","sample","sample"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rodem_user

ファイル名 import.csv

コラム

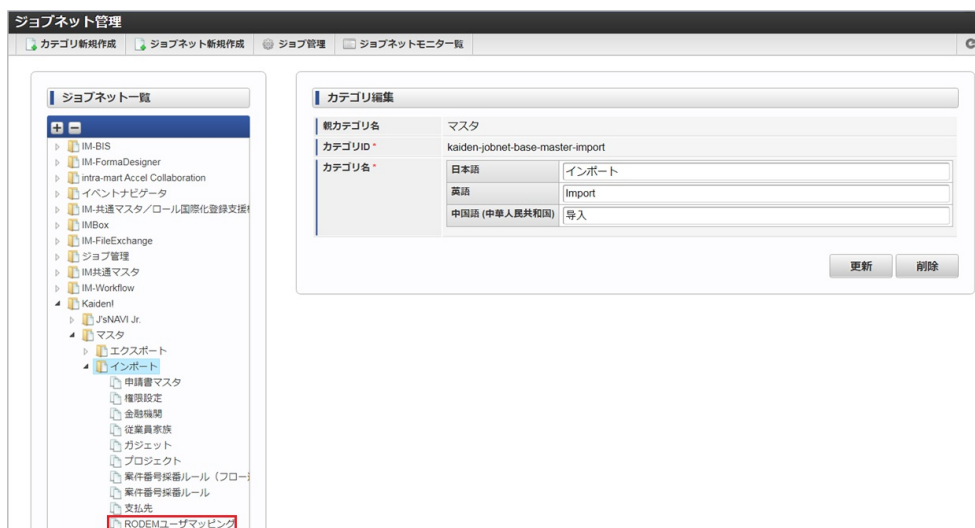
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

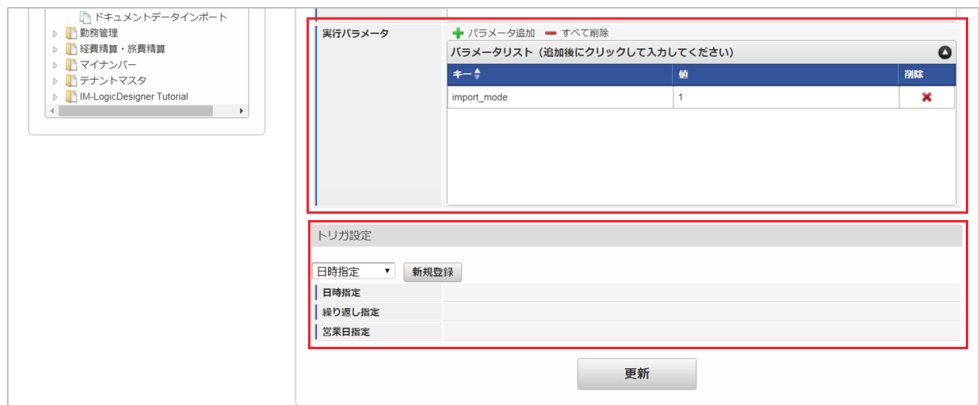
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「RODEMユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

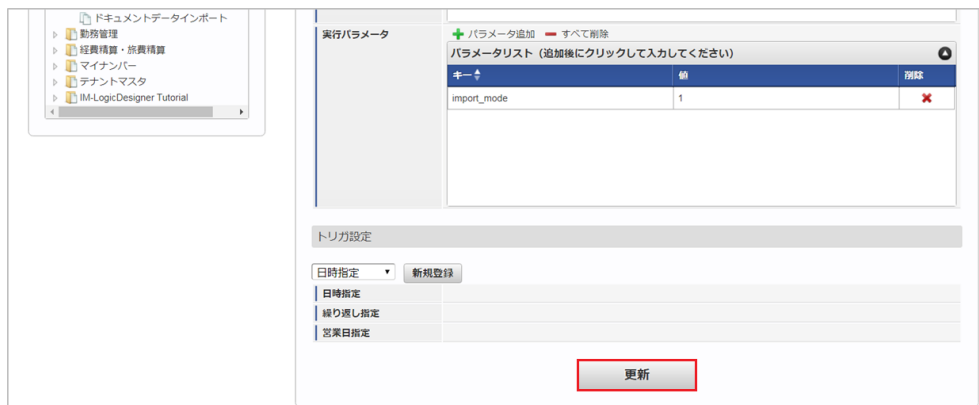
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-rodem-usersm	Kaiden! / マスタ / インポート / RODEMユーザマッピング

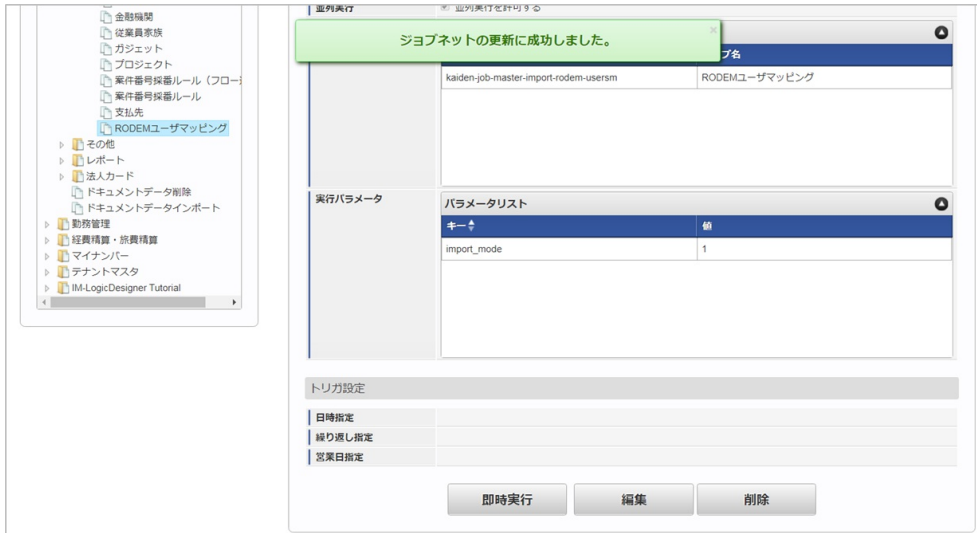
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/rodem_user/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 RODEMユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rodem_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

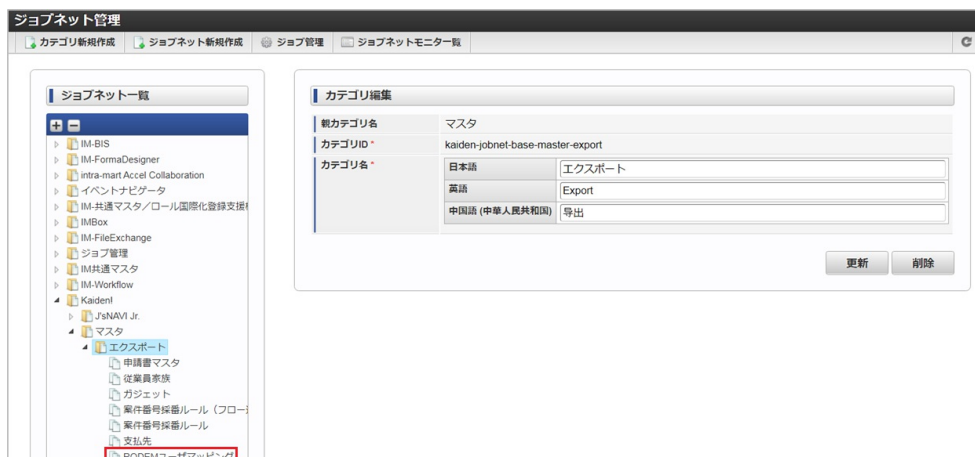
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「RODEMユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

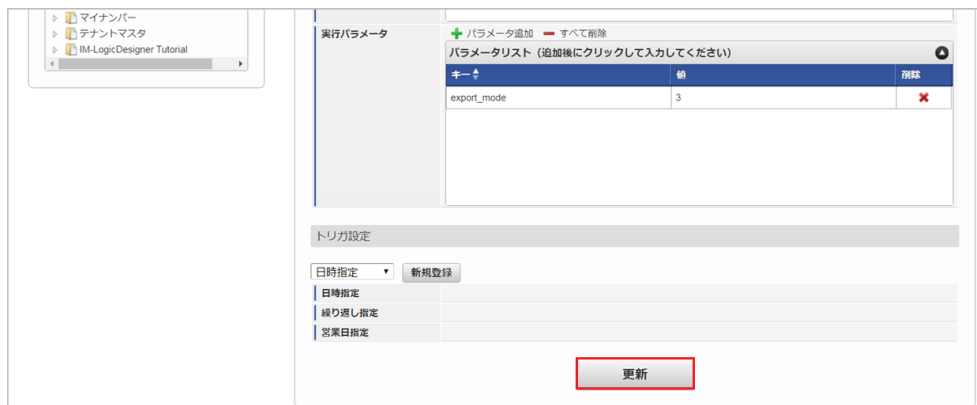
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

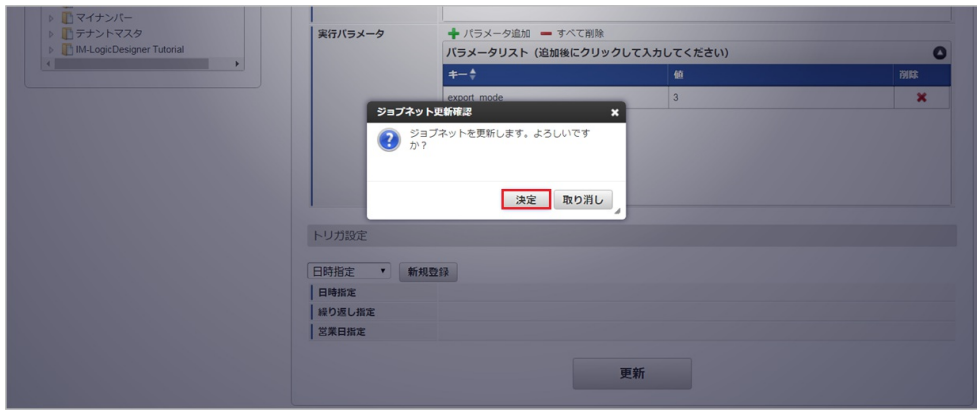
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-rodem-usersm	Kaiden! / マスタ / エクスポート / RODEMユーザマッピング

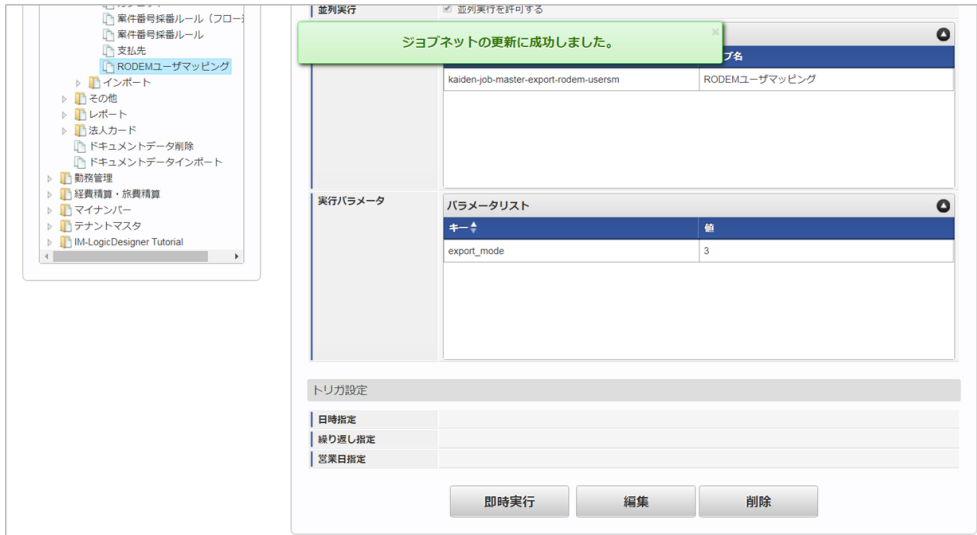
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rodem_user
 ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。
 export.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
clientId	クライアントID	
clientSecret	クライアントシークレット	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 RODEMユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rodem_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

予算単位マスタ

本項では、予算単位マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算単位マスタは、予算で使用する項目を管理します。
 予算単位マスタの設定内容により、予算で使用する項目が変わります。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

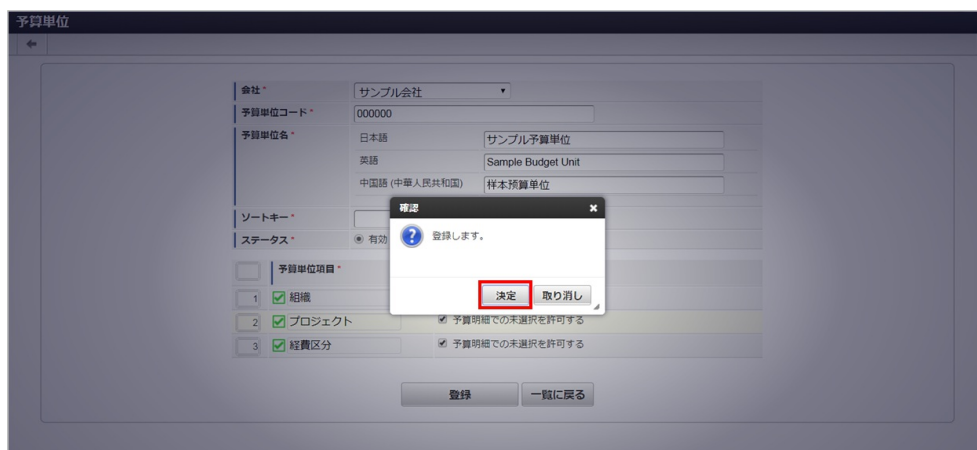
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算単位」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算単位コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算単位名
予算単位の名称を入力します。
- 予算単位項目
予算単位として紐づけたい予算単位項目を選択します。
 - 予算明細での未選択を許可する
チェックした場合は、予算明細画面の入力で任意項目とします。

チェックをしていない場合は、予算明細画面の入力で必須項目とします。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算単位」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算単位の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算単位コード
- 予算単位名

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 予算単位コード



コラム

予算単位がすでに予算に紐づけされている場合、予算単位項目の編集および予算単位の削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	予算単位コード	予算単位名	ソートキー	ステータス
1	000000	サンプル予算単位	1	

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算単位コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	予算単位名	○	1000	
5	ソートキー	○	15	
6	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
7	行番号	○	18	
8	予算単位項目コード	○	100	
9	省略可否フラグ	○	1	0 : 予算明細での未選択を許可しない 1 : 予算明細での未選択を許可する

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","Sample Budget Unit","1","0","1","departmentCd","0"
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル予算単位","1","0","1","departmentCd","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","本予算位","1","0","1","departmentCd","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget_unit

ファイル名 import.csv

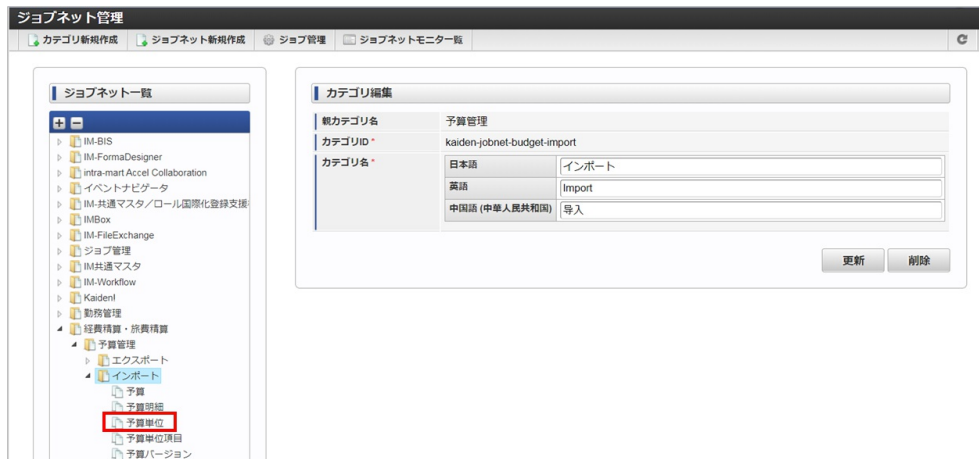
i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

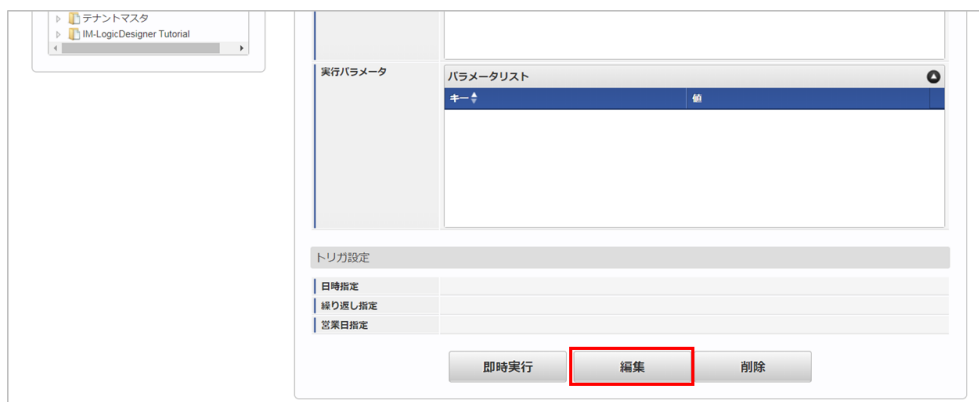
- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

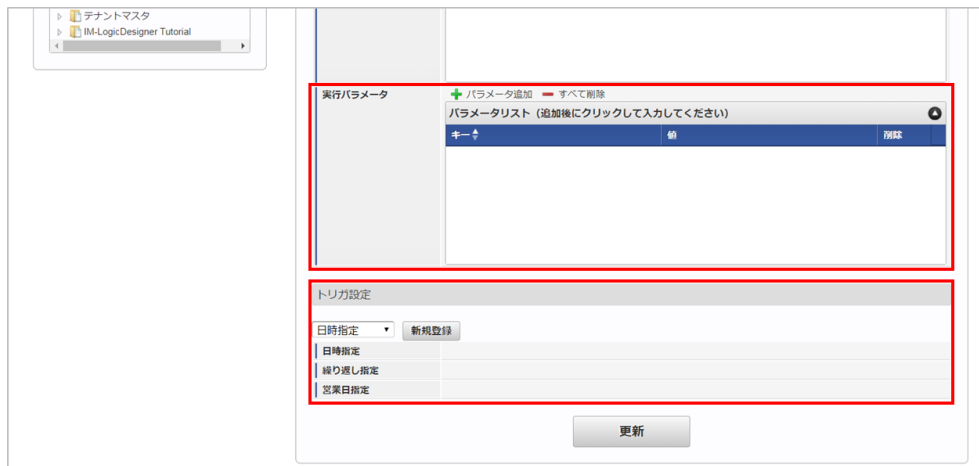
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「予算単位」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budgetunit	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算単位

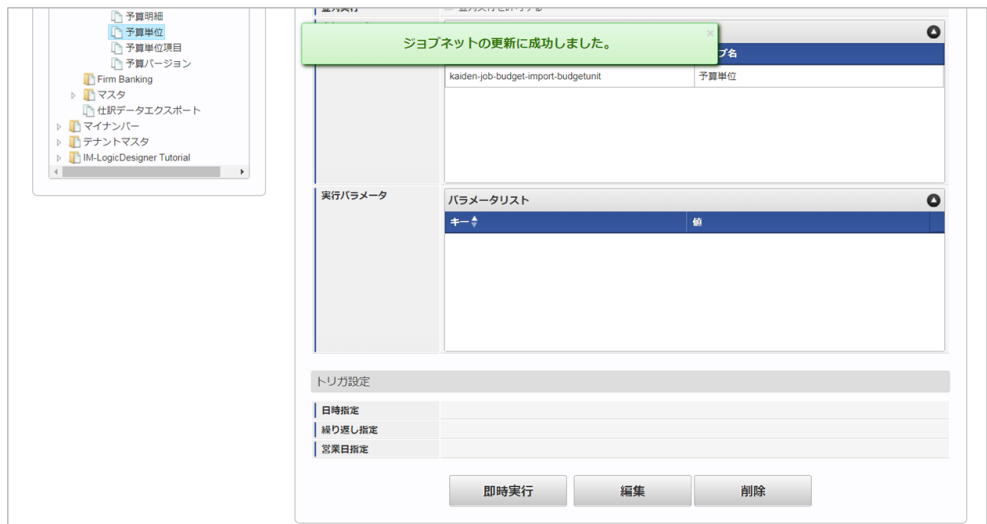
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算単位マスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget_unit/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 予算単位マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_unit」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID}: マスタID

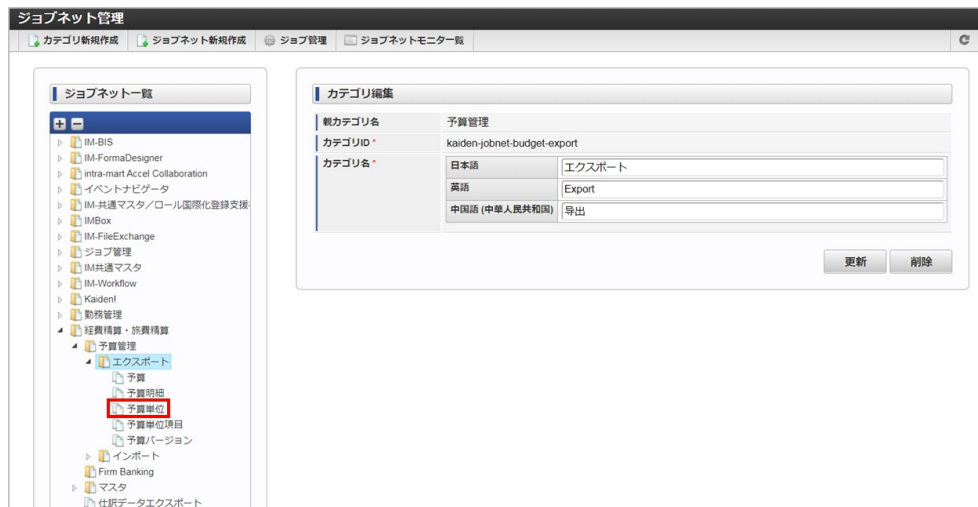
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

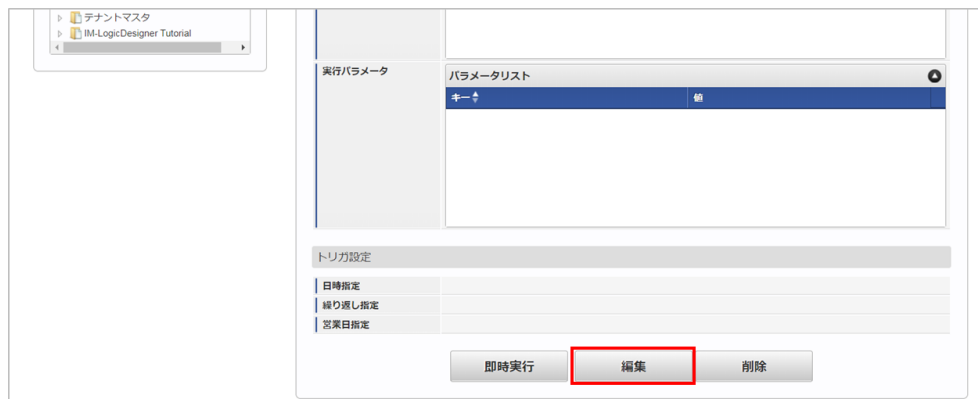
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

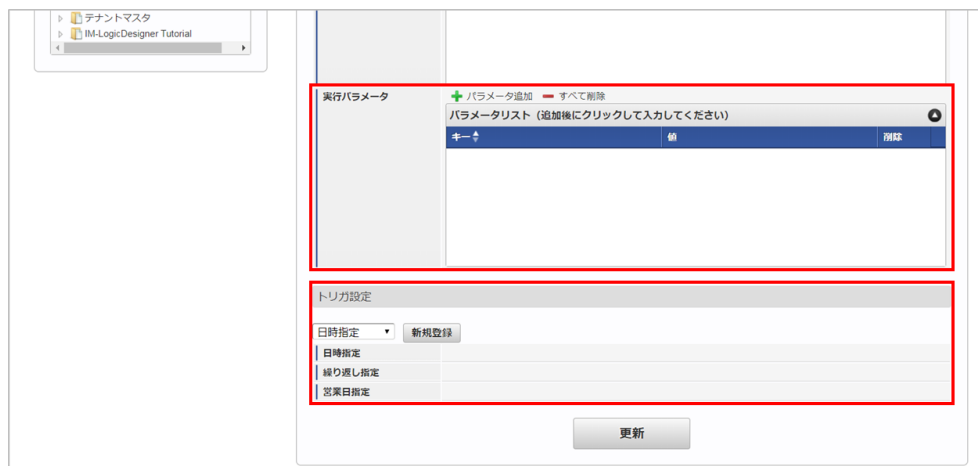
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「予算単位」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

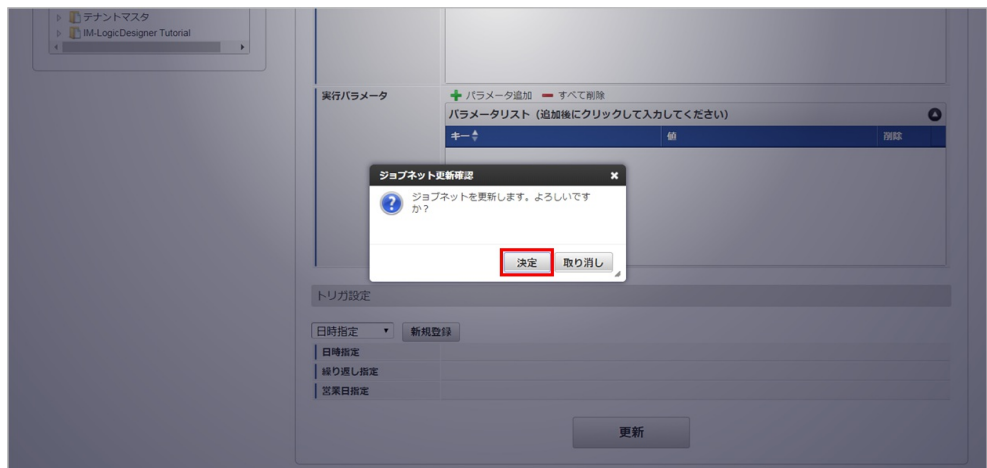
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budgetunit	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算単位

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/budget_unit

ファイル名 export_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetUnitCd	予算単位コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetUnitName	予算単位名	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）
rowNumber	行番号	
budgetUnitItemCd	予算単位項目コード	
allowOmitFlag	省略可否フラグ	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 3 : 更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	<p>エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。</p> <p>「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。</p> <p>(省略時: 0)</p>
エクスポートファイルのパス	file_path	<p>エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。</p> <p>予算単位マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。</p> <p>ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。</p>
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	<p>エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。</p> <p>(省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	<p>エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。</p> <p>(省略時: kaiden/generic/master/budget_unit/export_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>エクスポートファイルの文字コードを設定します。</p> <p>(省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。</p> <p>(省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。</p> <p>(省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション ■ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。</p> <p>(省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ true : ヘッダー出力有 ■ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。</p> <p>予算単位マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_unit」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

予算バージョンマスタ

本項では、予算バージョンマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算バージョンマスタは、予算で使用するバージョンを管理します。
 予算明細でこのデータが参照され、バージョンごとの予算を作成する際に使用されます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算バージョン」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算バージョン
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 予算バージョン名
予算バージョンの名称を入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算バージョン」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい予算バージョンの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算バージョン
- 予算バージョン名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



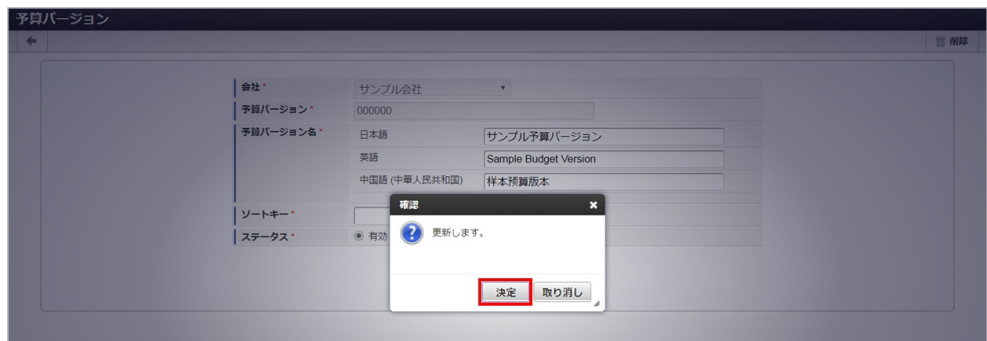
次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 予算バージョン

i コラム

予算バージョンがすでに予算に紐づけされている場合、ステータスの変更および予算バージョンの削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算バージョン	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	予算バージョン名	○	1000	
5	ソートキー	○	15	
6	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","Sample Budget Version","1","0"
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル予算バージョン","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","□本□算版本","1","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget_version

ファイル名 import.csv

i コラム

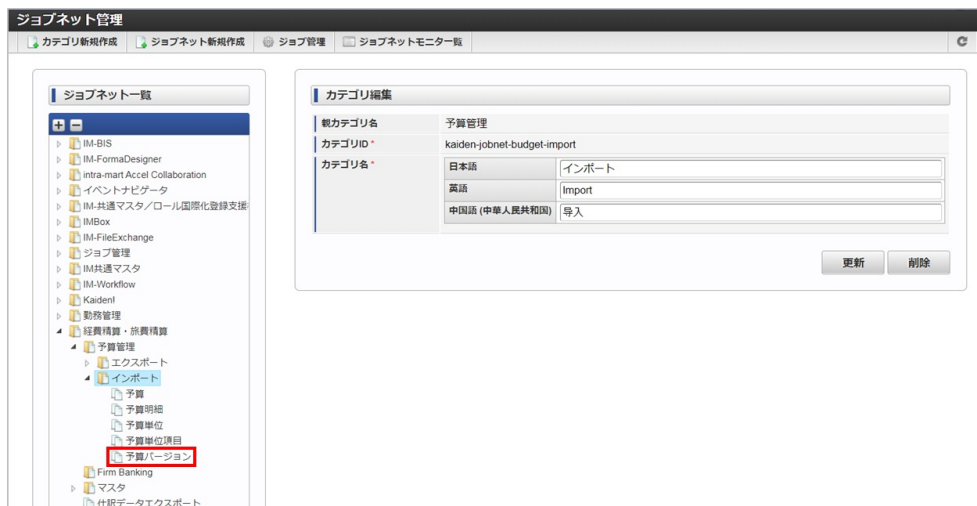
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

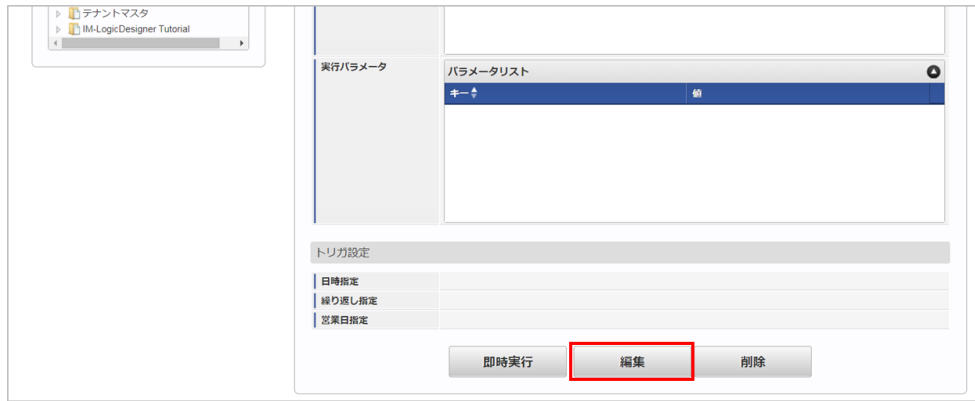
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算バージョン」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

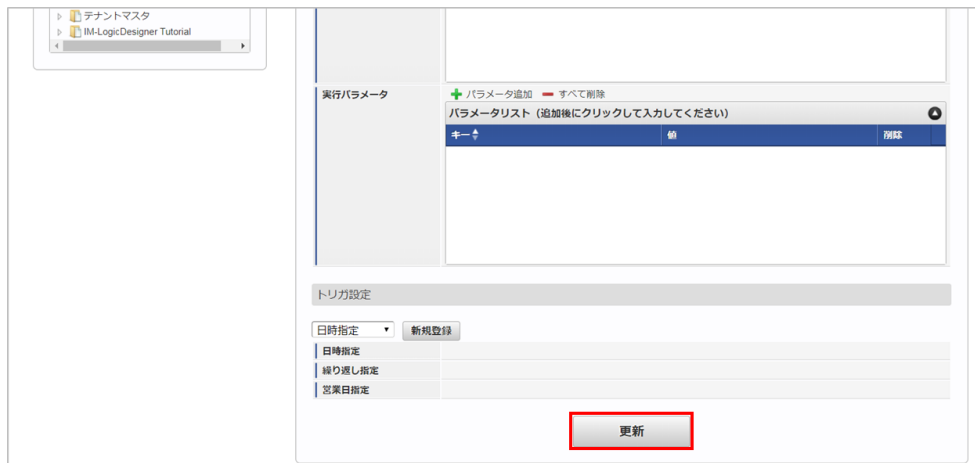
ジョブID

kaiden-job-budget-import-
budgetversion

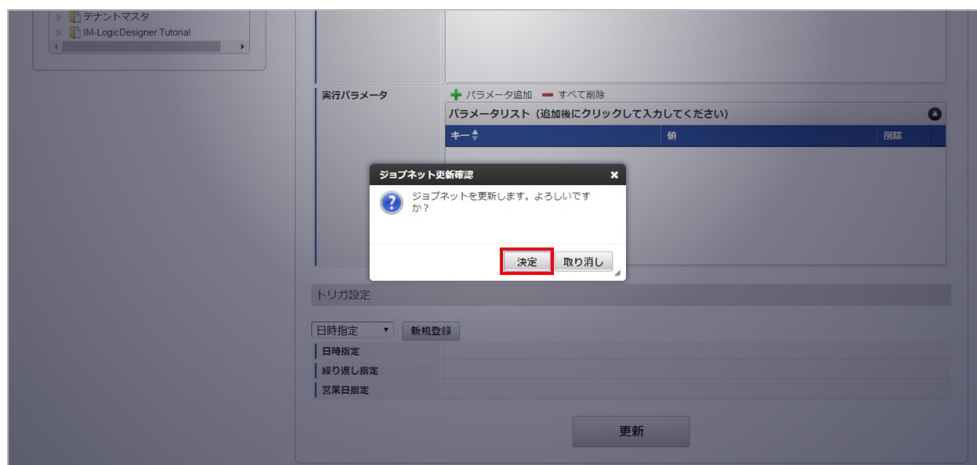
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算バージョン

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算バージョンマスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget_version/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 予算バージョンマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_version」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

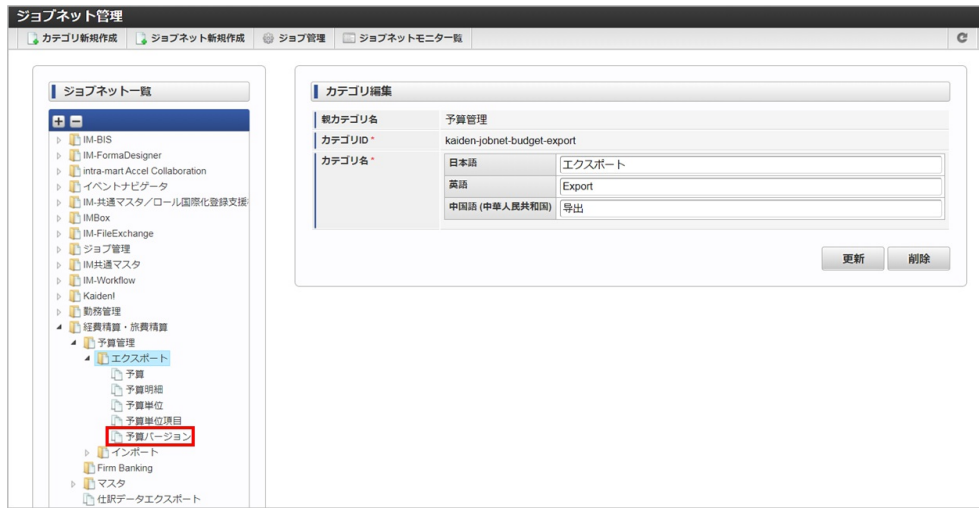
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

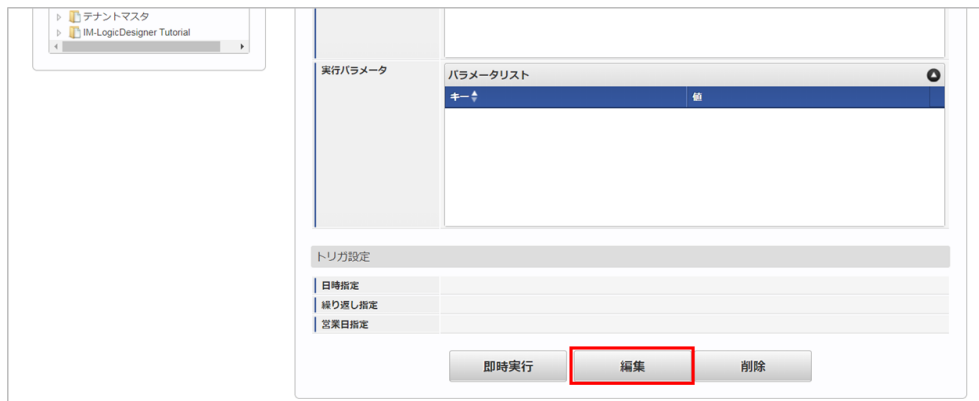
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

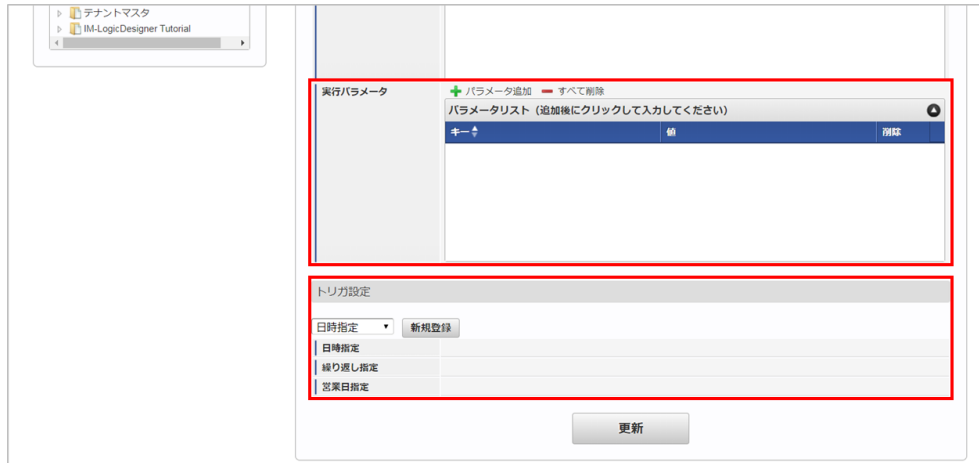
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「予算バージョン」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

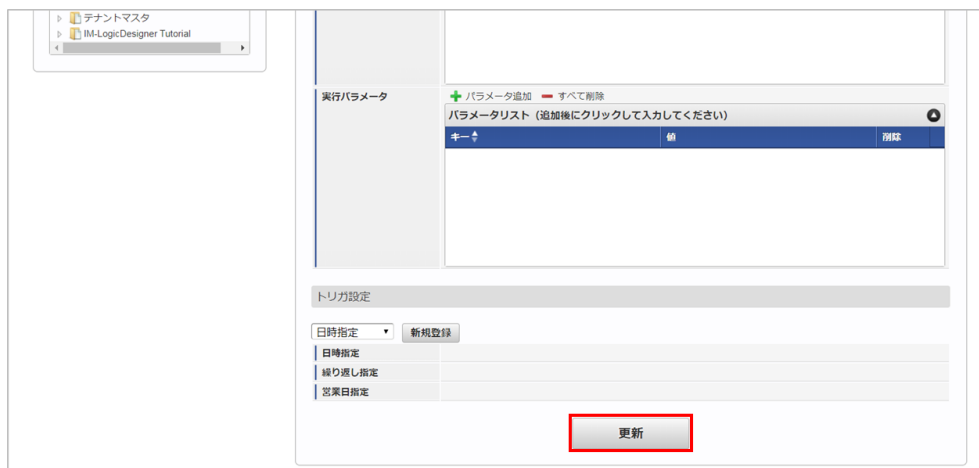
ジョブID

kaiden-job-budget-export-
budgetversion

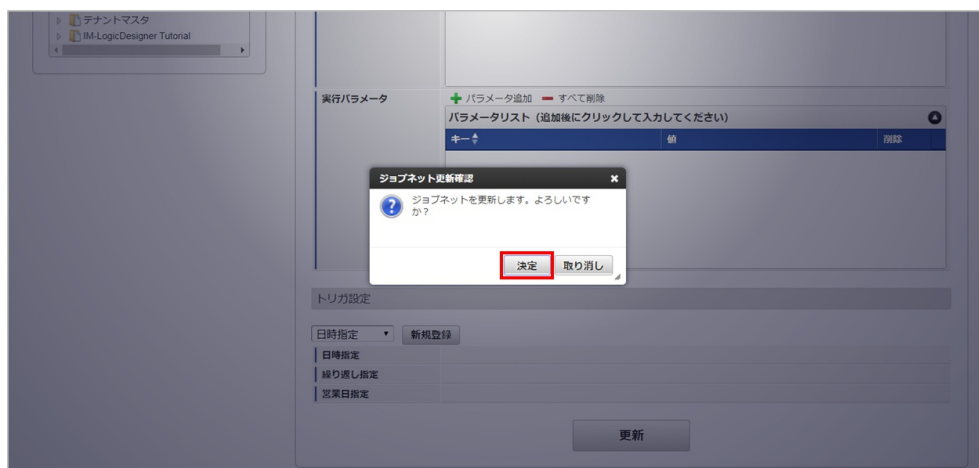
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算バージョン

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/budget_version

ファイル名 export_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetVersion	予算バージョン	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetVersionName	予算バージョン名	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算バージョンマスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget_version/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション ■ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ■ true : ヘッダー出力有 ■ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 予算バージョンマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_version」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

予算マスタ

本項では、予算マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 予算登録
 - 予算明細登録
 - 更新
 - 予算更新
 - 予算明細更新
 - コピー
 - 予算コピー
 - 予算明細コピー
 - アップロード
 - 予算アップロード
 - 予算明細アップロード
 - ダウンロード
 - 予算ダウンロード
 - 予算明細ダウンロード
- インポート
 - 予算インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
 - 予算明細インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - 予算エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
 - 予算明細エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算マスタは、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する予算を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

本項では、予算の新規登録方法を説明します。

予算登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算期間コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算期間名
予算期間の名称を入力します。
- 開始日
予算期間の開始日を入力します。
- 終了日
予算期間の終了日を入力します。
- 分割設定
予算期間を指定した月数で分割する場合、チェックします。
 - 期間分割設定を行う
チェックした場合、予算明細画面で予算金額を分割した期間ごとに入力します。
また分割基準日、分割月数は必須となります。
チェックしていない場合、予算明細画面で予算金額を単一期間で入力します。
- 分割基準日
予算期間を分割する基準日を入力します。
- 分割月数
予算期間を分割する月数を入力します。
「1」の場合「1か月単位」で分割します。
- 予算単位
予算で使用する予算単位を選択します。

i コラム

分割設定を下図の通り設定した場合、予算期間は下記の通り作成されます。

開始日 2019/04/01

分割基準日 2019/04/15

分割月数 1

第1期間：2019/04/01～2019/04/14

第2期間：2019/04/15～2019/05/14

第3期間：2019/05/15～2019/06/14

～以下、終了日まで1ヵ月単位に分割

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位		2018/04/01	2019/03/31	1	●	予算明細設定 ▶

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

予算明細登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 予算明細画面表示後、「新規登録」をクリックします。



5. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 予算バージョン
予算で使用する予算バージョンを選択します。
- 選択状況
選択したした予算バージョンを有効にします。
有効にした場合、他のバージョンは無効になります。
- 表示順
予算明細の表示順を入力します。
- 予算単位項目

予算に設定されている予算単位に紐づく予算単位項目を選択します。

- 予算集約区分
予算集約区分を選択します。
本項目は申請時の予算残高取得時に使用します。
- 税処理区分
明細行の予算が「税込」「税抜」かを選択します。
- 警告設定
予算金額の警告設定を「差額」「割合」で入力します。
- 上限設定
予算金額の上限設定を「差額」「割合」で入力します。
- 予算金額
明細行の予算金額を入力します。



コラム

「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」は、システム日付を検索基準日としています。



コラム

上記の画面の場合、
予算単位に「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」が設定されています。



コラム

予算集約区分は次の種類があります。

予算集約区分	説明
事前-申請	事前申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
事前-承認	事前申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用金額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
実績-申請	精算申請が未実施の場合、事前申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。
実績-承認	精算申請が未実施の場合、事前申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。
精算-申請	精算申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。
精算-承認	精算申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用金額を算出します。

コラム

下図の通り、警告設定、上限設定を行った場合の金額は下記の通り算出されます。

差額の場合

予算金額 + 入力した金額

警告設定を5000円と入力した場合、下記の通りです。

$$20,000 + 5,000 = 25,000$$

警告金額を15,000円としたい場合、「20,000 + -5,000」となるため、警告設定に「-5000円」と入力してください。

% (割合) の場合

予算金額 + 入力した割合 × 予算金額

警告設定を80%と入力した場合、下記の通りです。

$$20,000 + 16,000 = 36,000$$

警告金額を16,000円（20,000円の80%）としたい場合、「20,000 + -4,000(20,000 × -20%)」となるため、警告設定に「-20%」と入力してください。

警告設定の入力チェックで%を選択時、-100～100の範囲チェックを行っています。

また、上限設定の入力チェックで%を選択時、0～100の範囲チェックを行っています。

注意

警告金額の超過判定について

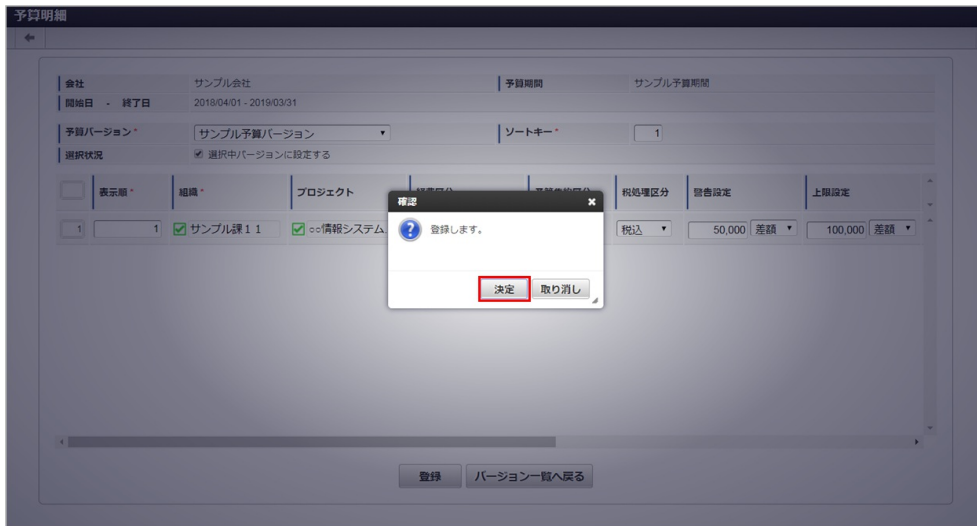
予算金額が警告金額より大きい場合エラーとしています。

警告金額を16,000円とした場合、予算金額が16,001円以上の場合エラーとなります。

コラム

予算残高は、予算金額 - 予算利用額で算出します。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 新規登録することができました。



更新

本項では、予算の更新方法を説明します。

予算更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会社: サンプル会社
 予算期間コード: 000000
 予算期間名: 日本語 (サンプル予算期間), 英語 (Sample Budget Period), 中国語 (中華人民共和国) (样本预算期)
 開始日: 2018/04/01
 終了日: 2019/03/31
 分割設定: 期間分割設定を行う
 分割基準日: 2018/04/01
 分割月数: 3
 予算単位: サンプル予算単位
 ソートキー: 1
 ステータス: 有効 無効

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 予算期間コード

コラム

予算明細がすでに登録されている場合、開始日、分割設定、予算単位の編集および予算期間の削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認
 ? 更新します。
 決定 取り消し

6. 更新することができました。

更新しました。

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位		2018/04/01	2019/03/31	1		予算明細設定 ▶

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

予算明細更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 予算明細画面表示後、対象データが表示されている行の「表示」をクリックします。



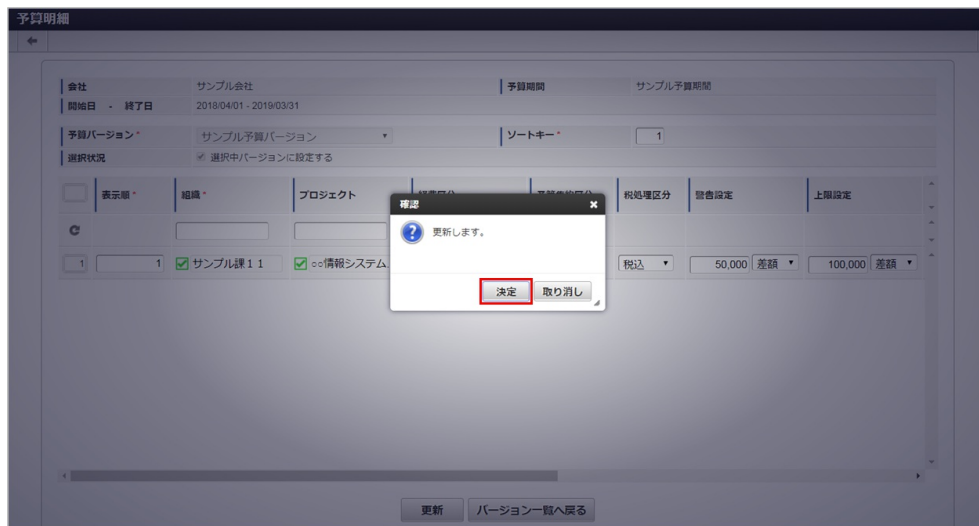
5. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 予算バージョン
- 選択状況

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 更新することができました。



コピー

本項では、予算のコピー方法を説明します。

予算コピー

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

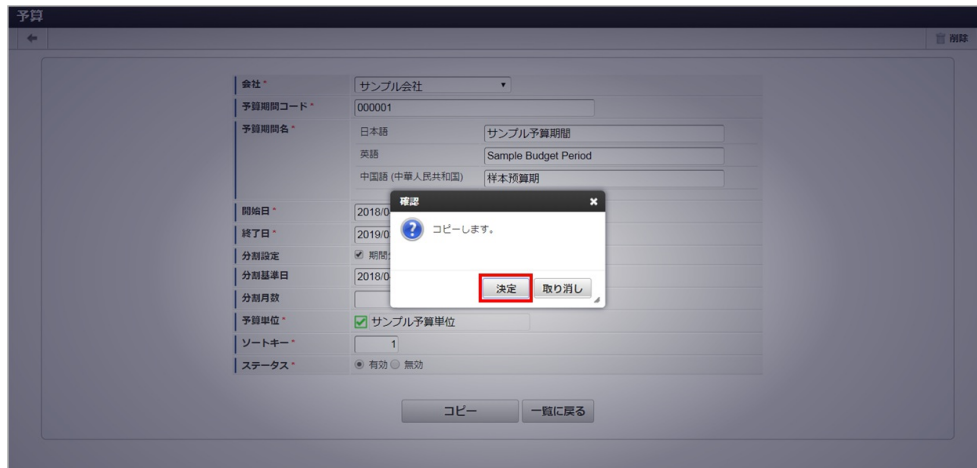
一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面表示後、「予算コピー」をクリックします。

5. 登録／更新画面で情報を編集し、「コピー」をクリックします。

- 予算期間コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算期間名
予算期間の名称を入力します。
- 開始日
予算期間の開始日を入力します。
- 終了日
予算期間の終了日を入力します。
- 分割設定
予算期間を指定した月数で分割する場合、チェックします。
 - 期間分割設定を行う
チェックした場合は、予算明細画面で予算金額を分割した期間ごとに入力を可能とします。
チェックをしていない場合は、予算明細画面で予算金額を単一期間で入力します。
- 分割基準日
予算期間を分割する基準日を入力します。
- 分割月数
予算期間を分割する月数を入力します。
- 予算単位
予算で使用する予算単位を選択します。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. コピーすることができました。



コラム

予算マスター一覧画面で、コピーされた予算を確認してください。

予算明細コピー

注意

コピー機能を利用して新たなバージョンを作成する場合、行削除を行わないでください。コピー画面で行削除を行った場合、新たに削除した行と同一の予算単位を持つ予算を追加しても予算コードは異なるコードで作成されます。また、行のコピー、貼付け機能を使用した場合も同様に予算コードは異なるコードで作成されます。予算コードが異なる場合、元の予算コードに紐づく予算としては予算残高の集計が行われません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。

予算

新規登録 アップロード ダウンロード

検索 クリア

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位	サンプル予算バージョン	2018/04/01	2019/03/31	1		予算明細設定

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 予算明細画面表示後、対象データが表示されている行の「コピー」をクリックします。

予算明細

← 新規登録 アップロード ダウンロード

会社 サンプル会社 | 予算期間 サンプル予算期間

開始日 - 終了日 2018/04/01 - 2019/03/31

No	予算バージョン名	予算金額合計	選択状況		
1	サンプル予算バージョン	1,000,000		表示	コピー

戻る

5. 登録/更新画面で情報を編集し、「登録」をクリックします。

予算明細

←

会社 サンプル会社 | 予算期間 サンプル予算期間

開始日 - 終了日 2018/04/01 - 2019/03/31

予算バージョン コピー先バージョン | ソートキー 2

選択状況 選択中バージョンに設定する

	表示順	組織	プロジェクト	経費区分	予算集約区分	税処理区分	警告設定	上限設定
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1.1	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム...	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	実績申請	税込	50,000 差額	100,000 差額

登録 バージョン一覧へ戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 予算バージョン
予算で使用する予算バージョンを選択します。
- 選択状況
選択した予算バージョンを有効にします。
有効にした場合、他のバージョンは無効になります。
- 表示順
予算明細の表示順を入力します。
- 予算単位項目
予算に設定されている予算単位に紐づく予算単位項目を選択します。
- 予算集約区分
予算集約区分を選択します。
本項目は申請時の予算残高取得時に使用します。
- 税処理区分
明細行の予算が「税込」「税抜」かを選択します。
- 警告設定
予算金額の警告設定を「差額」「割合」で入力します。
- 上限設定
予算金額の上限設定を「差額」「割合」で入力します。
- 予算金額
明細行の予算金額を入力します。

i コラム

上記の画面の場合、
予算単位に「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」が設定されています。

i コラム

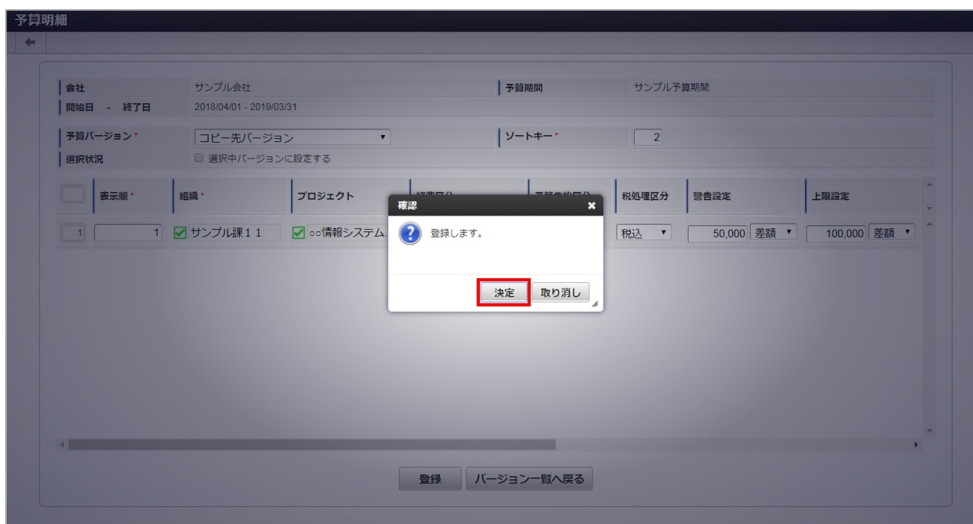
予算集約区分は次の種類があります。

予算集約区分	説明
事前-申請	事前申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
事前-承認	事前申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
実績-申請	精算申請が未実施の場合、事前申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。
実績-承認	精算申請が未実施の場合、事前申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。
精算-申請	精算申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。
精算-承認	精算申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用額を算出します。

i コラム

予算残高は、予算金額-予算利用額で算出します。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. コピーすることができました。



i コラム

予算明細一覧画面で、コピーされた予算明細を確認してください。

アップロード

本項では、予算のアップロード方法を説明します。

予算アップロード

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「アップロード」をクリックします。



3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. ファイル選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択し「開く」をクリックします。

i コラム

アップロードファイルの詳細は、[インポートデータ作成](#)を参照してください。

5. 予算の情報が登録／更新されます。

予算明細アップロード

! 注意

予算明細をアップロードする場合、予算コードを変更しないでください。
予算コードを変更すると、変更前の予算コードに紐づく予算としては予算残高が計算されません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 一覧画面表示後、「アップロード」をクリックします。



5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. ファイル選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択し「開く」をクリックします。

i コラム

アップロードファイルの詳細は、[インポートデータ作成](#)を参照してください。

7. 予算明細の情報が登録／更新されます。

ダウンロード

本項では、予算のダウンロード方法を説明します。

予算ダウンロード

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「ダウンロード」をクリックします。



3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. 予算の情報がダウンロードされます。

予算明細ダウンロード

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 一覧画面表示後、「ダウンロード」をクリックします。



5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 予算明細の情報がダウンロードされます。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

予算インポート

本項では、予算マスタのインポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算期間コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日	○	10	yyyy/MM/dd形式
5	終了日	○	10	yyyy/MM/dd形式
6	予算期間名	○	1000	
7	予算単位コード	○	100	
8	期間分割フラグ	○	1	0 : 予算期間を分割しない 1 : 予算期間を分割する
9	期間分割基準日		10	yyyy/MM/dd形式
10	期間分割月数		18	
11	ソートキー	○	15	
12	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","2020/04/01","2021/03/31","Sample Budget Period","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
"comp_sample_01","000000","ja","2020/04/01","2021/03/31","サンプル予算期間","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","2020/04/01","2021/03/31","□本□算期","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget

ファイル名 import.csv

i コラム

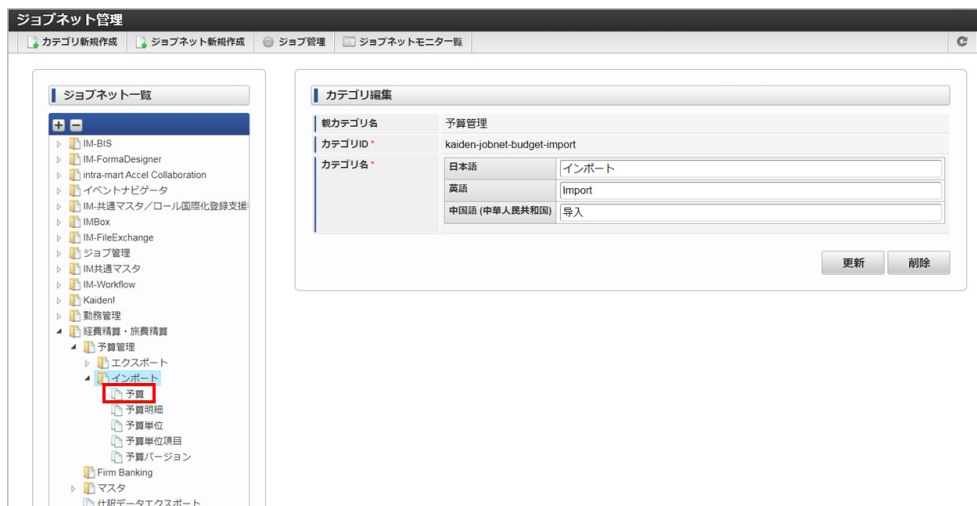
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

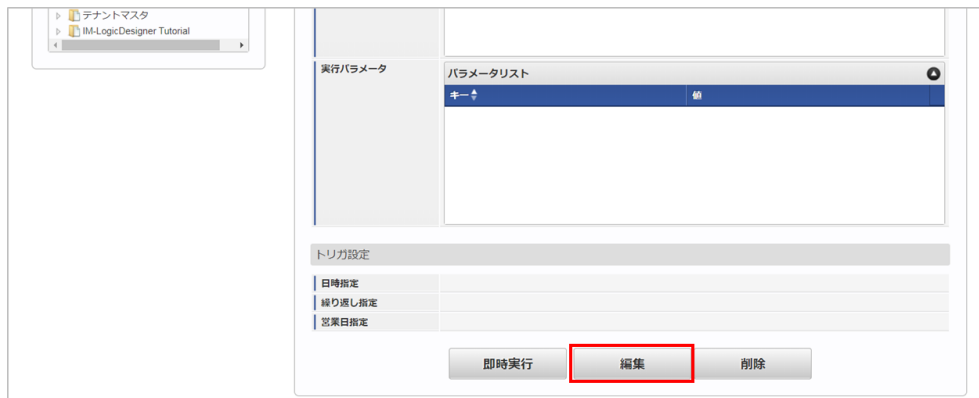
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

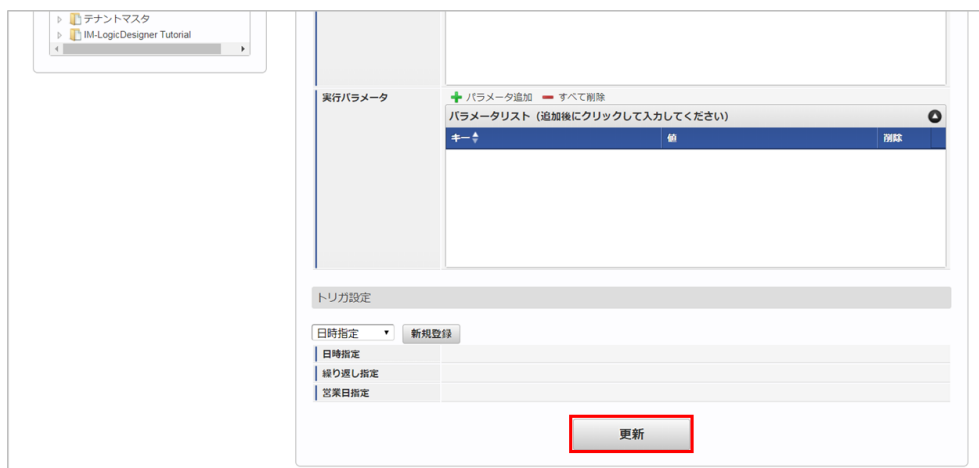
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

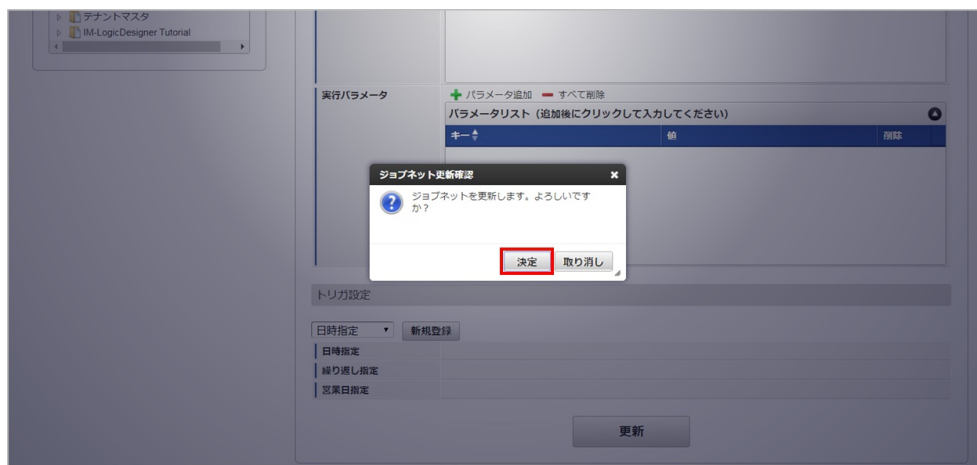
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budget	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算マスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 予算マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

予算明細インポート

本項では、予算明細マスタのインポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget_detail

ファイル名 import.csv



コラム

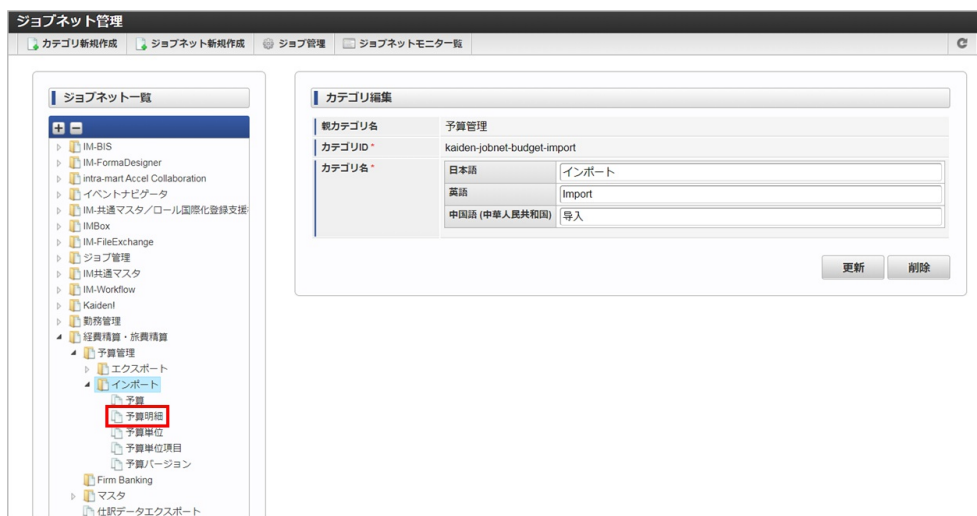
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

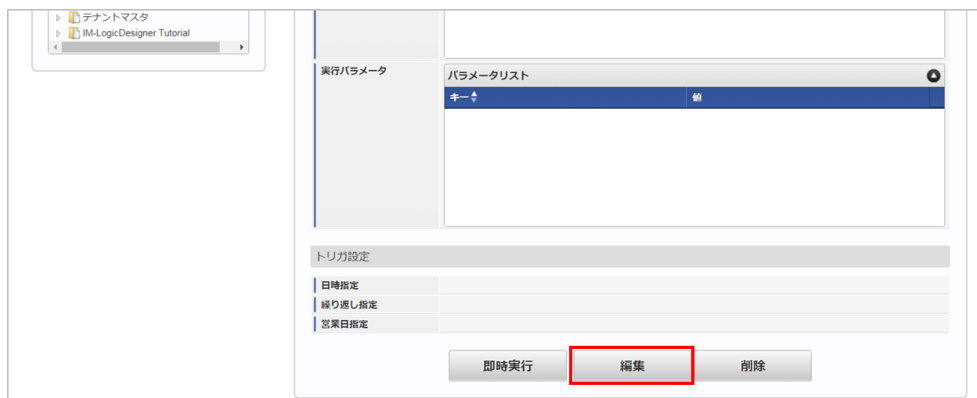
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算明細」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

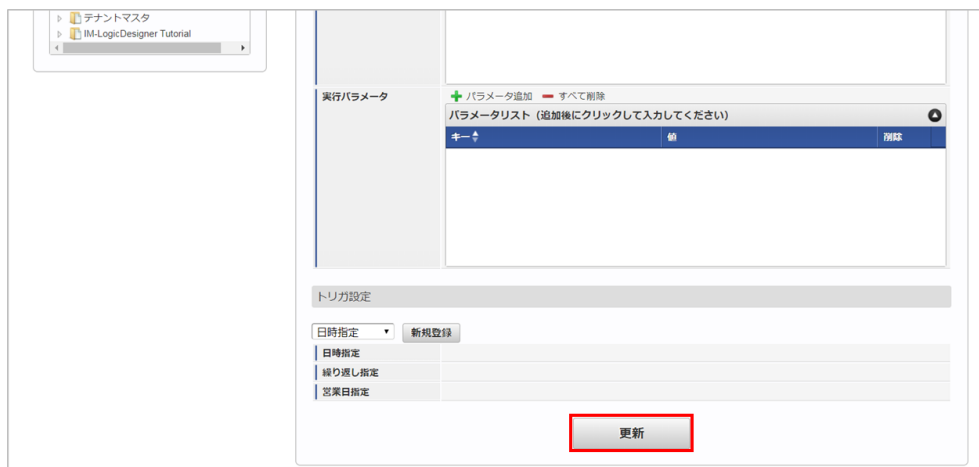
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

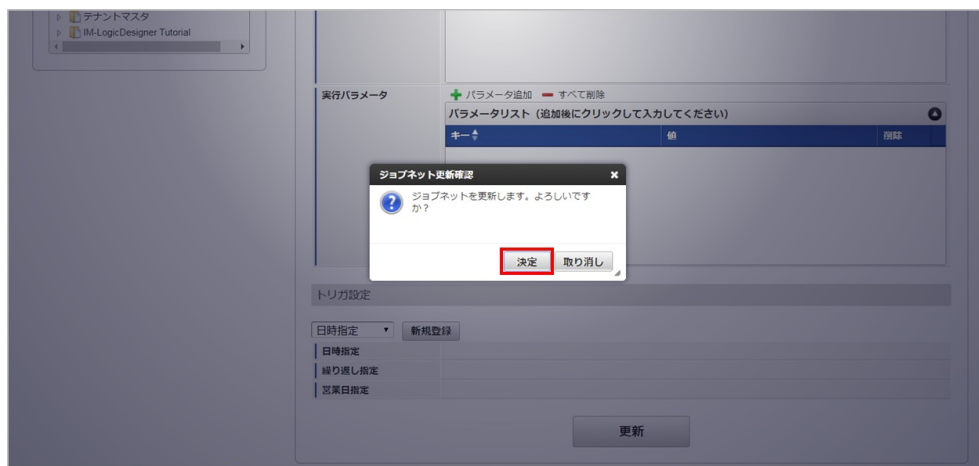
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budgetdetail	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算明細

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 （省略時：1） <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 3：単一期間（入替）モード
<p>i コラム</p> <p>1：単一期間（差分）および3：単一期間（入替）以外のインポートモードは使用できません。</p>		
<p>i コラム</p> <p>3：単一期間（入替）指定時は、「会社コード」、「予算期間コード」、「予算バージョン」が同じデータを削除し、インポートデータを登録します。</p>		
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。（省略時：false）
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。（省略時：10秒）
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 （省略時：コンダクターを使用しません。）
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算明細マスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/import/budget_detail/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
予算期間コード	budget_period_cd	インポートする予算明細の予算期間コードを設定します。
予算バージョン	budget_version	インポートする予算明細の予算バージョンを設定します。
検索対象日	target_date	予算明細をインポートする予算期間の検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

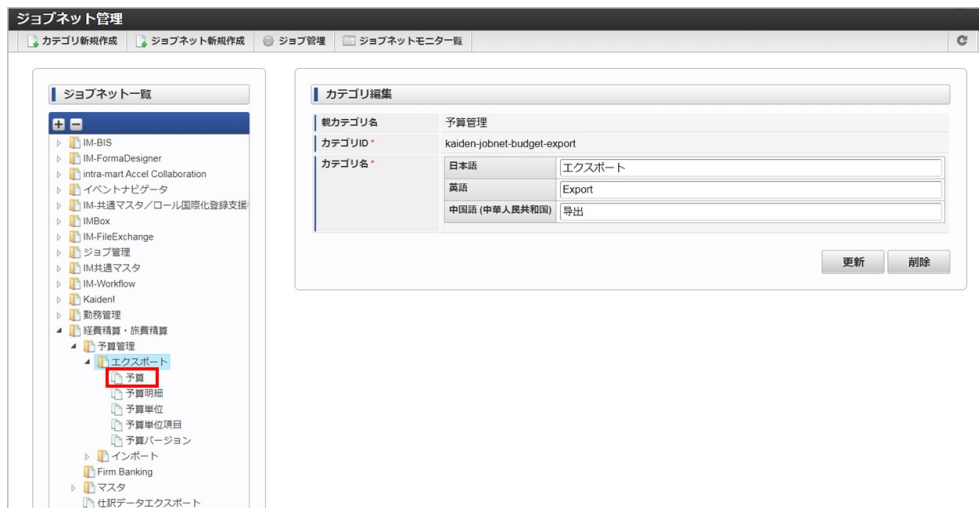
予算エクスポート

本項では、予算マスタのエクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

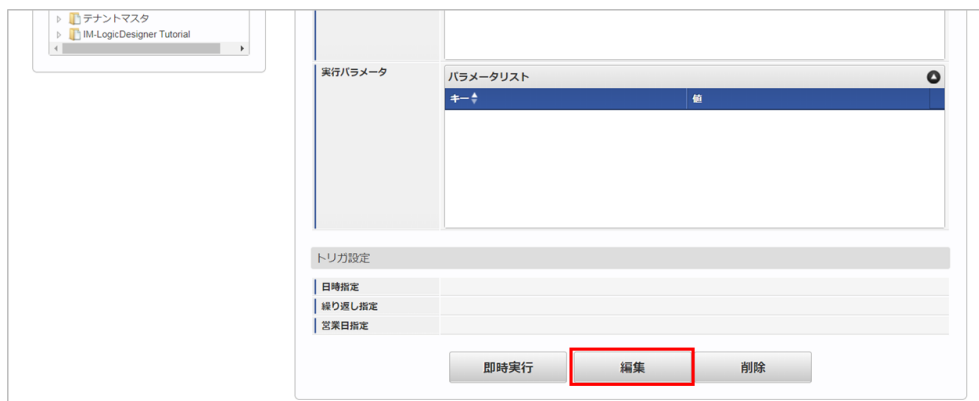
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

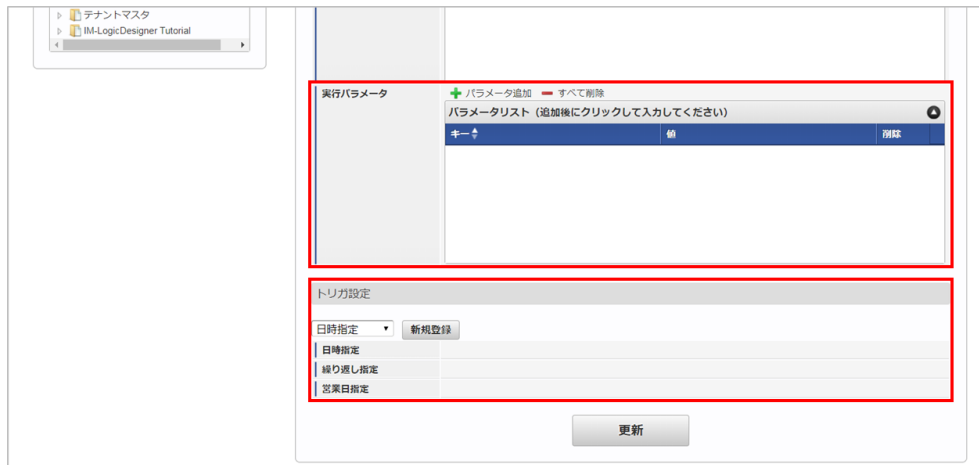
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「予算」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

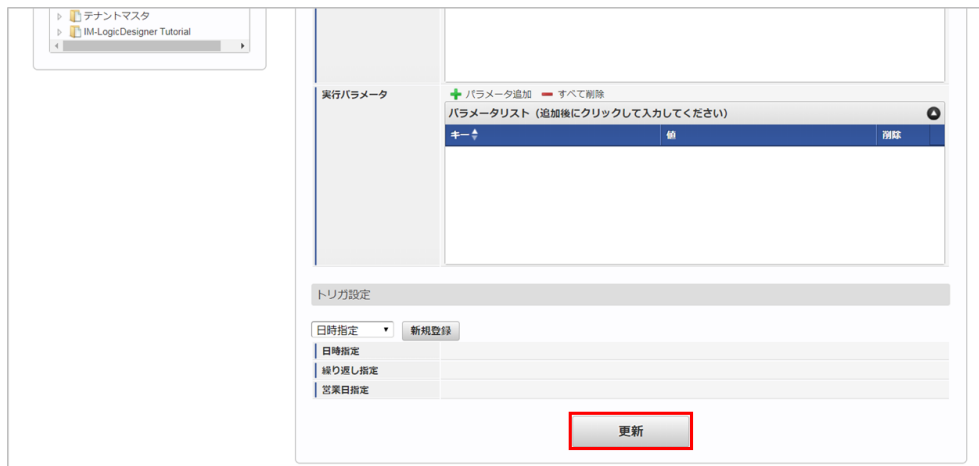
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

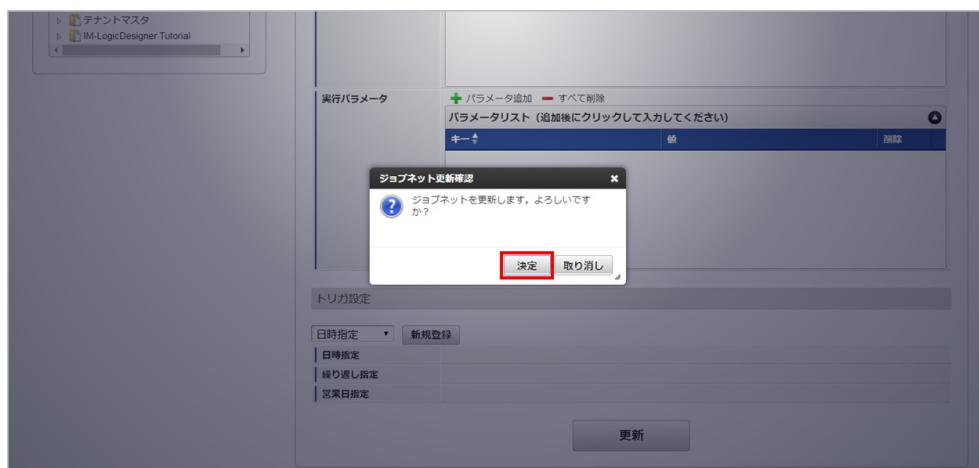
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budget	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/budget

ファイル名 export_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetPeriodCd	予算期間コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetPeriodStartDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
budgetPeriodEndDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
budgetPeriodName	予算期間名	
budgetUnitCd	予算単位コード	
periodDivideFlag	期間分割フラグ	0 : 予算期間を分割しない 1 : 予算期間を分割する
periodDivideCriteriaDate	期間分割基準日	
periodDivideMonths	期間分割月数	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「2」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。 <ul style="list-style-type: none"> 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式
{MASTER_ID} : マスタID

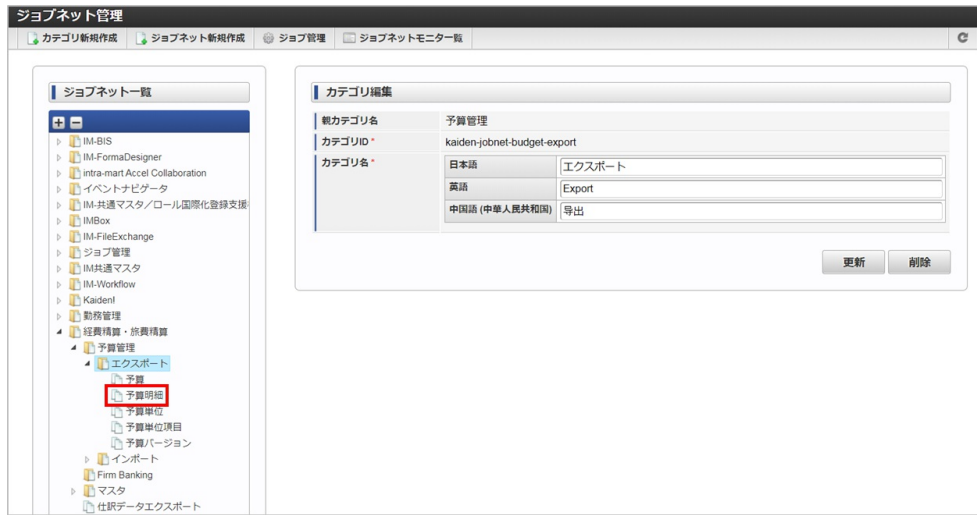
予算明細エクスポート

本項では、予算明細マスタのエクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

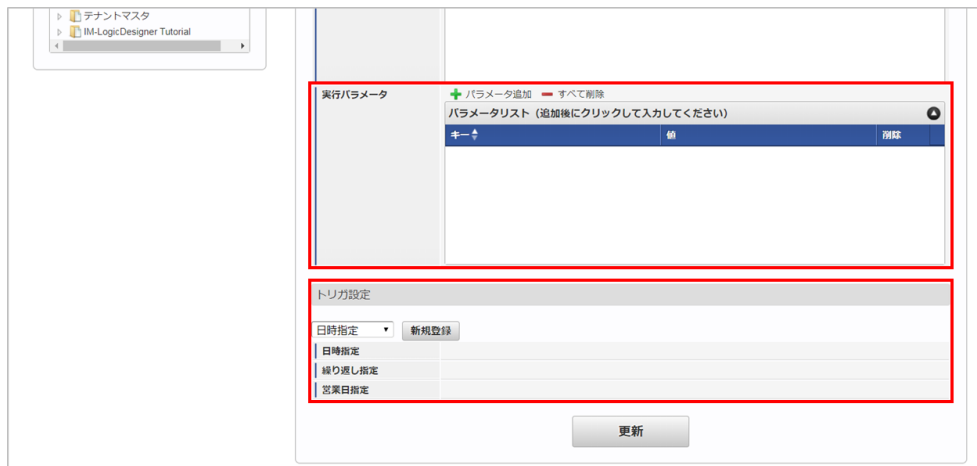
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算明細」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

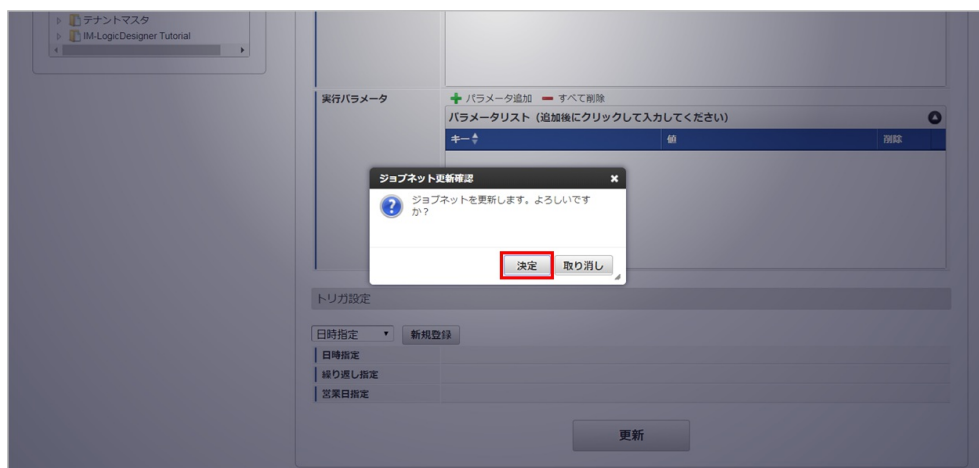
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budgetdetail	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算明細

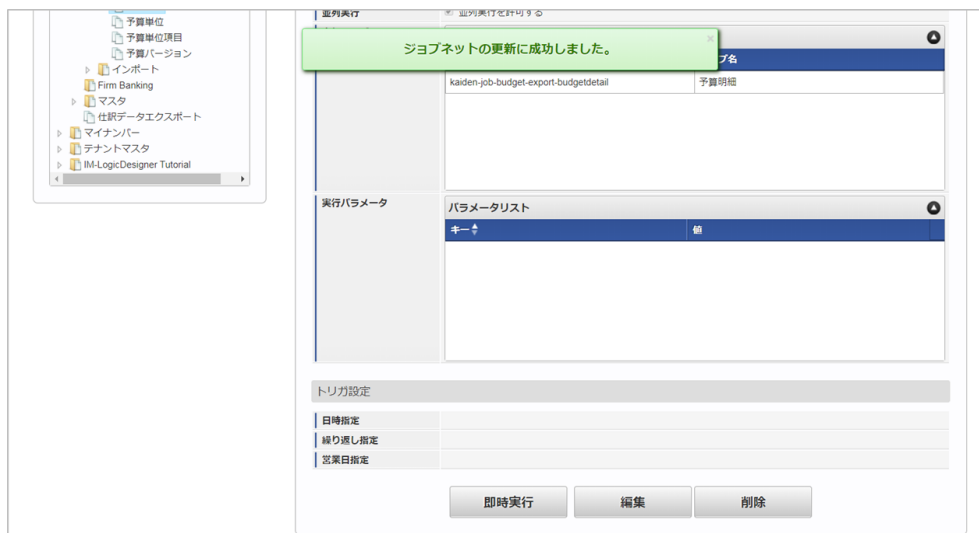
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/budget_detail

ファイル名 export_{YMDHMSN}.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

■ データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetPeriodCd	予算期間コード	
budgetVersion	予算バージョン	
budgetCd	予算コード	
departmentSetCd	組織セットコード	
unitItemValue1	単位項目値 1	
unitItemValue2	単位項目値 2	
unitItemValue3	単位項目値 3	
unitItemValue4	単位項目値 4	
unitItemValue5	単位項目値 5	
unitItemValue6	単位項目値 6	
unitItemValue7	単位項目値 7	
unitItemValue8	単位項目値 8	
unitItemValue9	単位項目値 9	
unitItemValue10	単位項目値 1 0	
budgetSummaryType	予算集約種別	10：事前-申請 20：事前-承認 30：実績-申請 40：実績-承認 50：精算-申請 60：精算-承認
taxProcessingTypeCd	税処理区分	1：税込 2：税抜
warningSettingType	警告設定種別	300013-1：％ 300013-2：差額
warningSettingValue	警告設定値	
limitSettingType	上限設定種別	300013-1：％ 300013-2：差額
limitSettingValue	上限設定値	
sortKey	ソートキー	
budgetAmount	予算金額	

i コラム

予算マスタで予算期間を分割している場合は、分割した期間分の予算金額が出力されます。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算明細マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 予算明細マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「2」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。 <ul style="list-style-type: none"> 2：既存ファイルを削除し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/budget_detail/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
予算期間コード	budget_period_cd	エクスポートする予算明細の予算期間コードを設定します。
予算バージョン	budget_version	エクスポートする予算明細の予算バージョンを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

変更事由マスタ

本項では、変更事由マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

変更事由マスタは、intra-mart Accel Kaiden!の各画面で利用する変更事由のドロップダウンリストの選択肢です。変更事由のドロップダウンリストを使用する場合、メンテナンスしてください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「変更事由」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



No	分類	事由コード	事由名
1	変更事由 (住所変更)	100001	転居 (自己都合)
2	変更事由 (住所変更)	100002	転居 (会社都合)
3	変更事由 (共通)	100001	その他
4	変更事由 (口座変更申請)	100001	入社
5	変更事由 (口座変更申請)	100002	自己都合
6	変更事由 (口座変更申請)	100003	金融機関都合
7	変更事由 (家族異動届)	100001	入社
8	変更事由 (家族異動届)	100002	自己都合
9	変更事由 (文払先申請)	100001	入社
10	変更事由 (文払先申請)	100002	自己都合
11	変更事由 (文払先申請)	100003	登録
12	変更事由 (通勤経路申請)	100001	入社

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



開始日 - 終了日: 1900/01/01 [31] - 2999/12/31 [31]

会社: サンプル会社

事由分類コード: 変更事由 (共通)

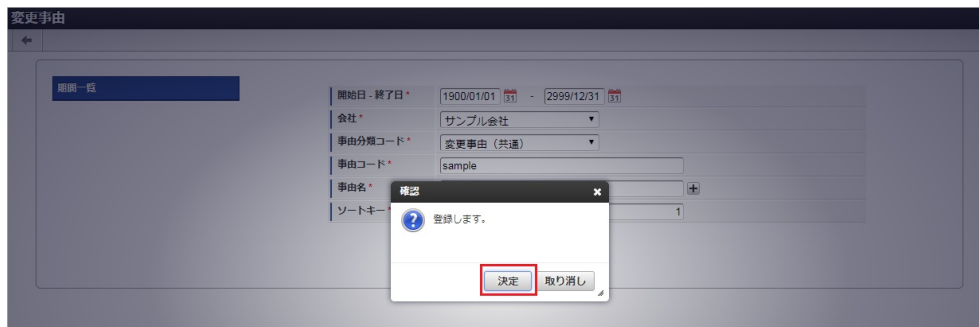
事由コード: sample

事由名: サンプル

ソートキー: 1

登録 | 一覧に戻る

- 事由分類コード
登録する変更事由を使用するガジェットを選択します。
 - 事由コード
会社、事由分類ごとに、一意のコードを入力します。
 - 事由名
事由の名称を入力します。
 - ソートキー
ソートキーを入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「変更事由」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい変更事由の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 事由コード
- 事由名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 事由分類コード
- 事由コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	分類	事由コード	事由名
1	変更事由 (住所変更)	100001	転居 (自己都合)
2	変更事由 (住所変更)	100002	転居 (会社都合)
3	変更事由 (共通)	100001	その他
4	変更事由 (共通)	sample	サンプル
5	変更事由 (口座変更申請)	100001	入社
6	変更事由 (口座変更申請)	100002	自己都合
7	変更事由 (口座変更申請)	100003	金融機関都合
8	変更事由 (家族異動届)	100001	入社
9	変更事由 (家族異動届)	100002	自己都合
10	変更事由 (交私先申請)	100001	入社

住所種別マスタ

本項では、住所種別マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

住所種別マスタは、「従業員住所マスタ」で使用する住所の種別を管理します。
インポートとエクスポートが可能です。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	住所ID	○	100	
3	期間コード	○	50	
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
7	ロケールID	○	50	ja：日本語 en：英語 zh_CN：中国語
8	住所種別名称	○	250	
9	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","00000","1900/01/01","2999/12/31","0","en","Current address","1"
"comp_sample_01","sample","00000","1900/01/01","2999/12/31","0","zh_CN","目前的地址","1"
"comp_sample_01","sample","00000","1900/01/01","2999/12/31","0","ja","現住所","1"
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/data/master/addressType

ファイル名 import.csv

i コラム

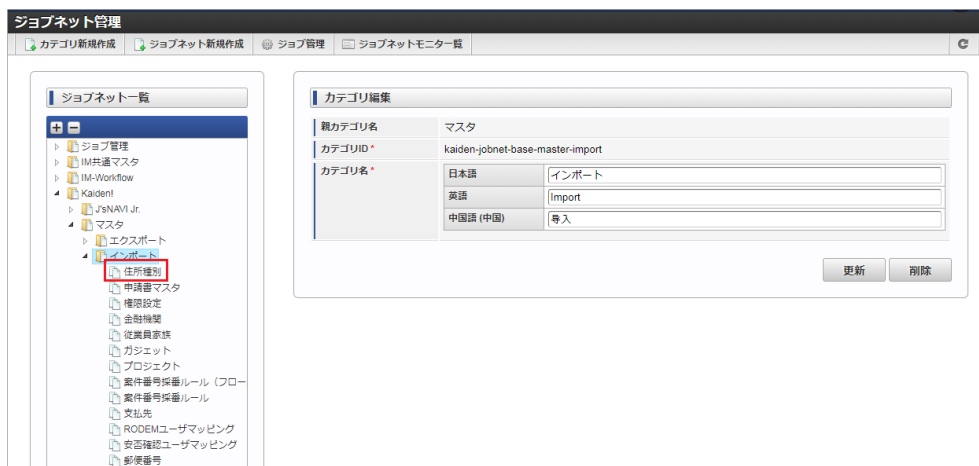
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

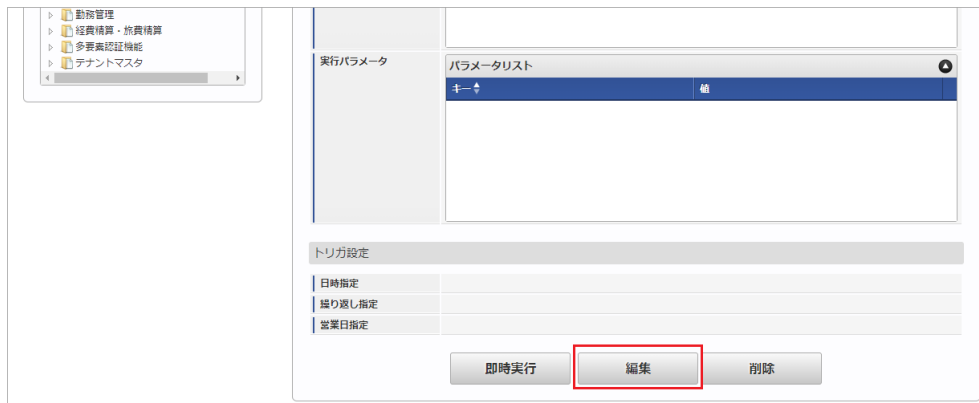
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

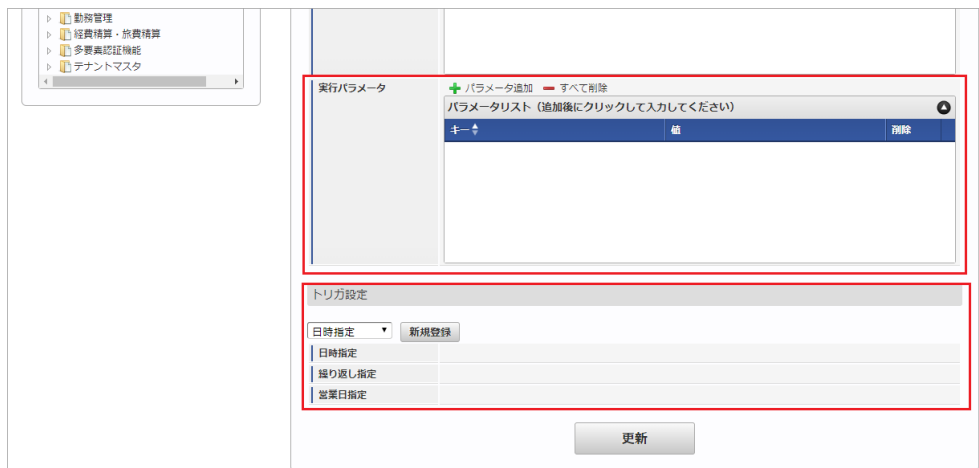
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「住所種別」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

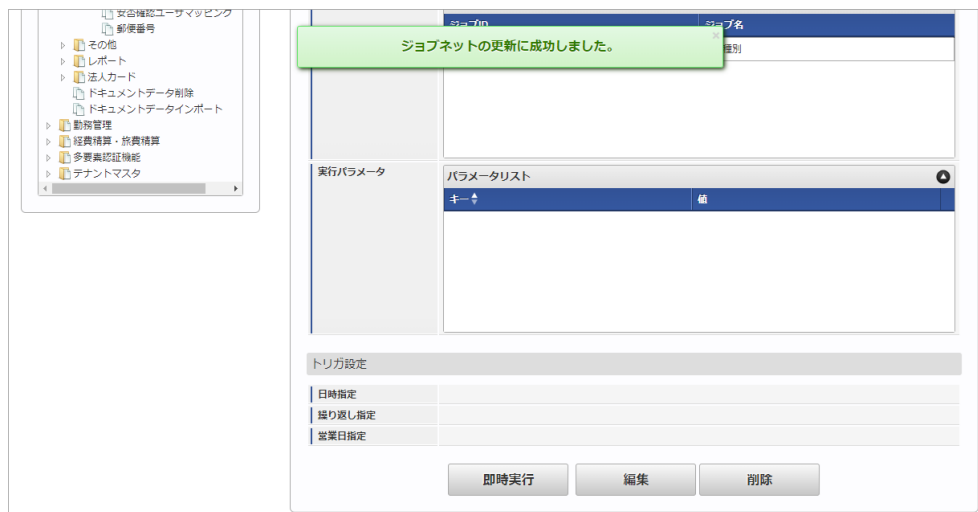
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-addressstype	Kaiden! / マスタ / インポート / 住所種別

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/data/master/addressType/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/data/master/addressType/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 住所種別マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 住所種別マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「addressType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

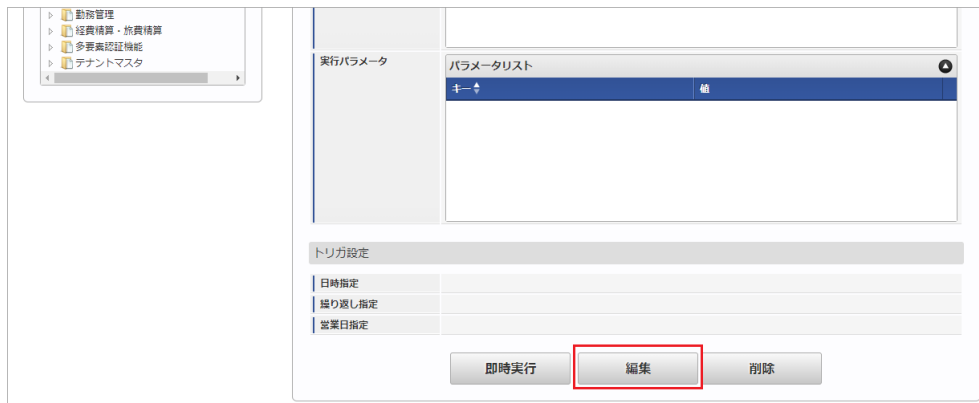
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

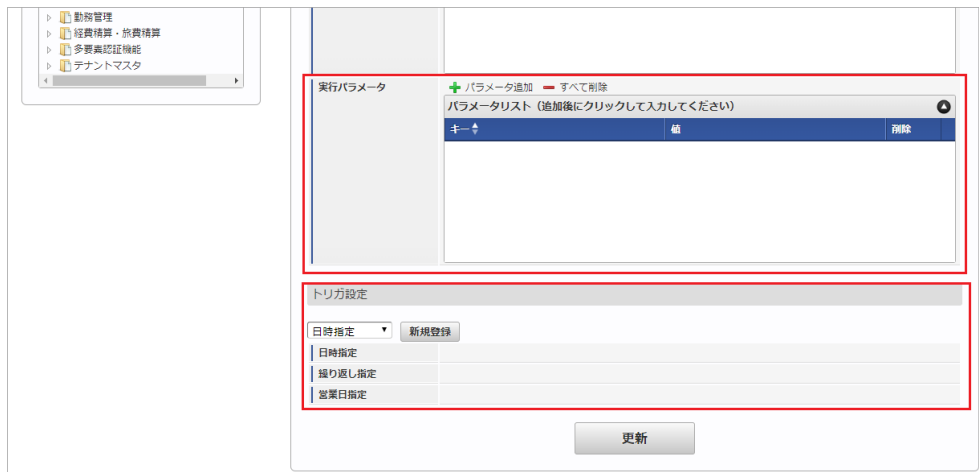
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「住所種別」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

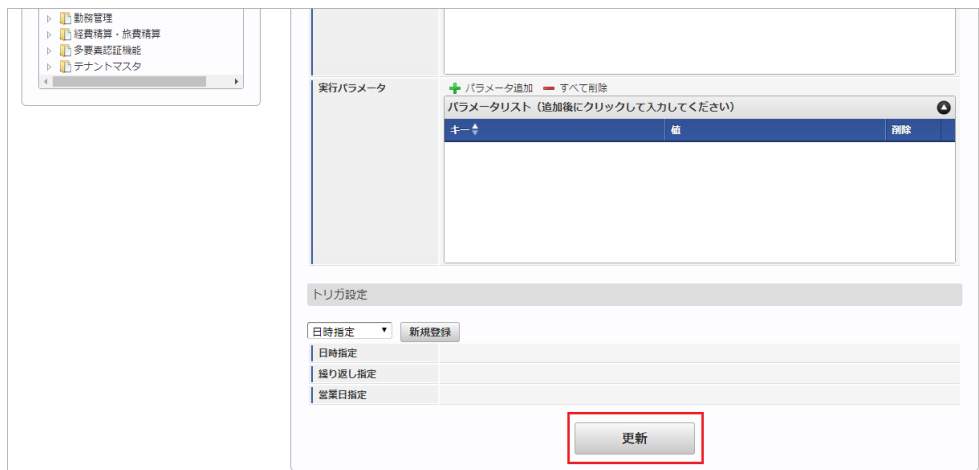
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

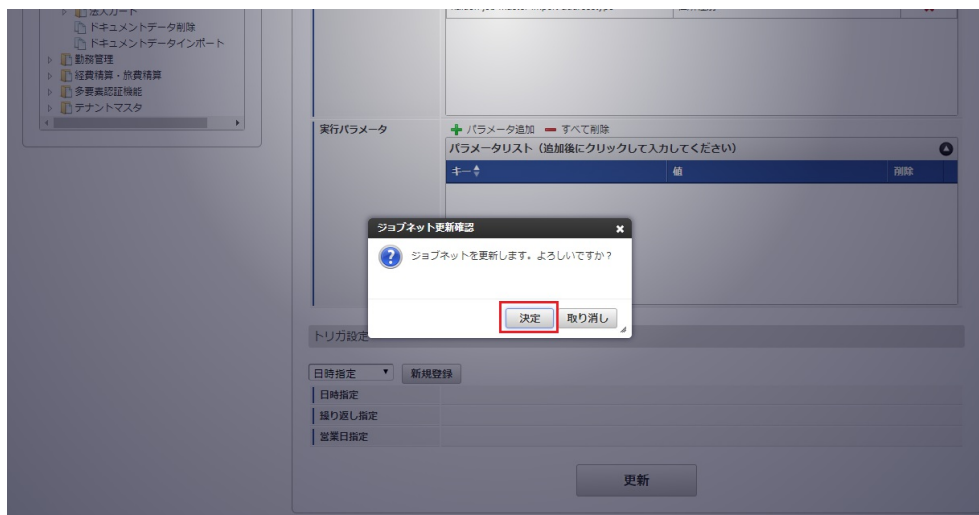
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-addressstype	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 住所種別

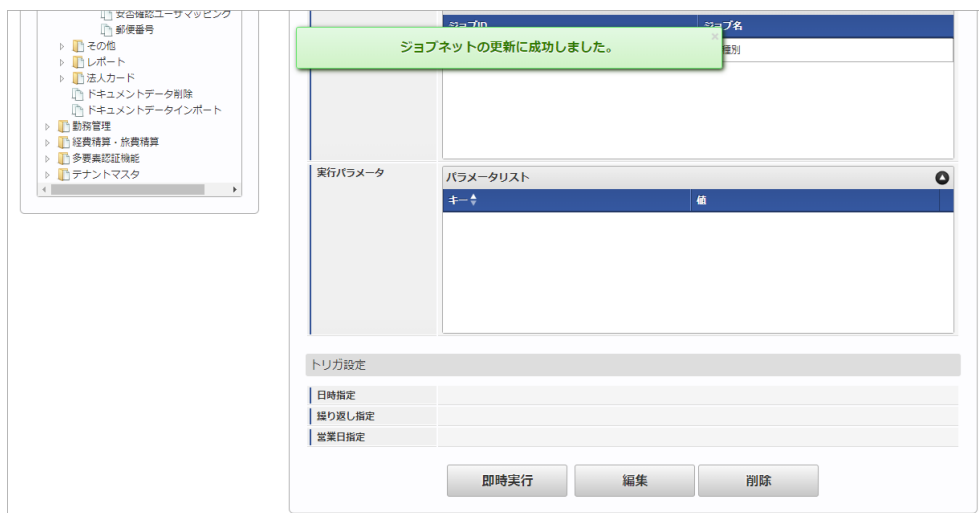
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/data/master/addressType
 ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
addressId	住所ID	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式

deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
addressTypeName	住所種別名称	
sortKey	ソートキー	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/data/master/addressType/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/data/master/addressType/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 住所種別マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 住所種別マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「addressType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

郵便番号マスタ

本項では、郵便番号マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

郵便番号マスタは、日本郵便株式会社の提供している郵便番号データを取り込み「[従業員住所マスタ](#)」で使用します。
インポートを実施できます。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

日本郵便株式会社の[サイト](#)から郵便番号データ(ken_all.zip)をダウンロードして、インポートデータに使用してください。
インポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード SHIFT-JIS

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

1	LGコード	○	6
2	old_zipコード	○	5
3	zipコード	○	7
4	都道府県カナ		250
5	市町村カナ		250
6	町域名カナ		250
7	都道府県		250
8	群市町村		250
9	町域名		250
10	フラグ1		1
11	フラグ2		1
12	フラグ3		1
13	フラグ4		1
14	フラグ5		1
15	フラグ6		1

データサンプル

```
01101,"064 ", "0640941", "ホッカイド", "サッポロ市中央区", "アサヒカ 劫", "北海道", "札幌市中央区", "旭ヶ丘", 0,0,1,0,0,0
```



コラム

日本郵便株式会社からダウンロードしたデータをインポートしてください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/zipCode

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

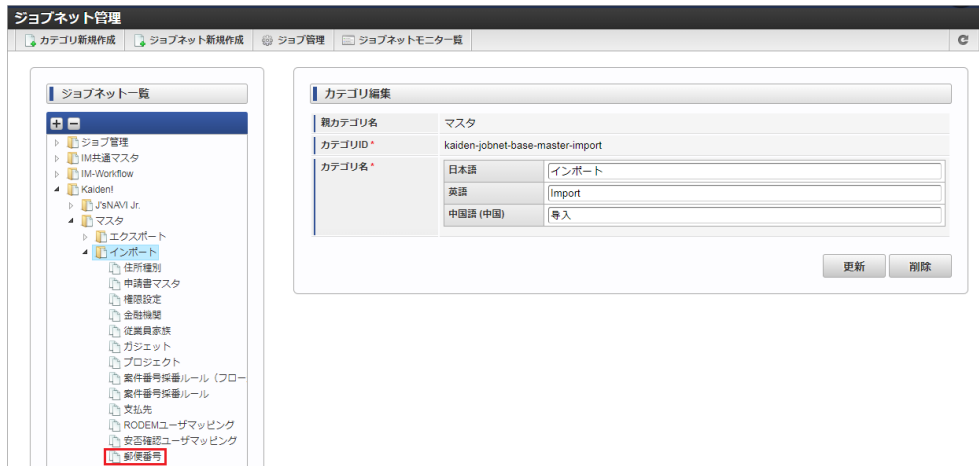
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

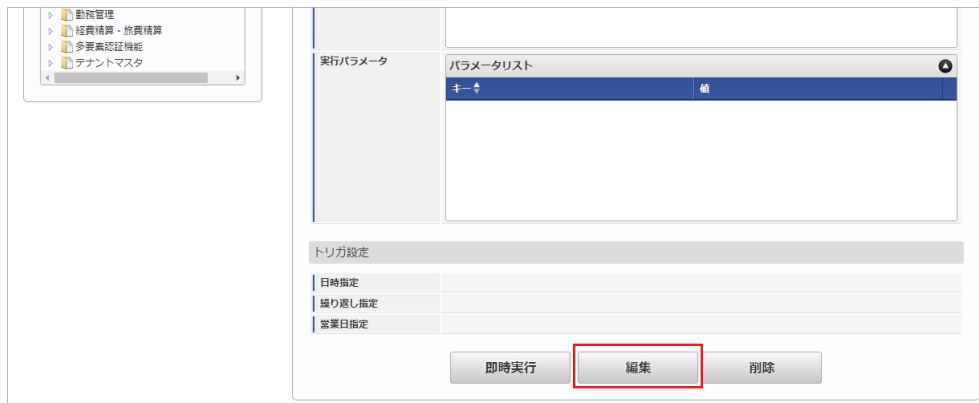
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

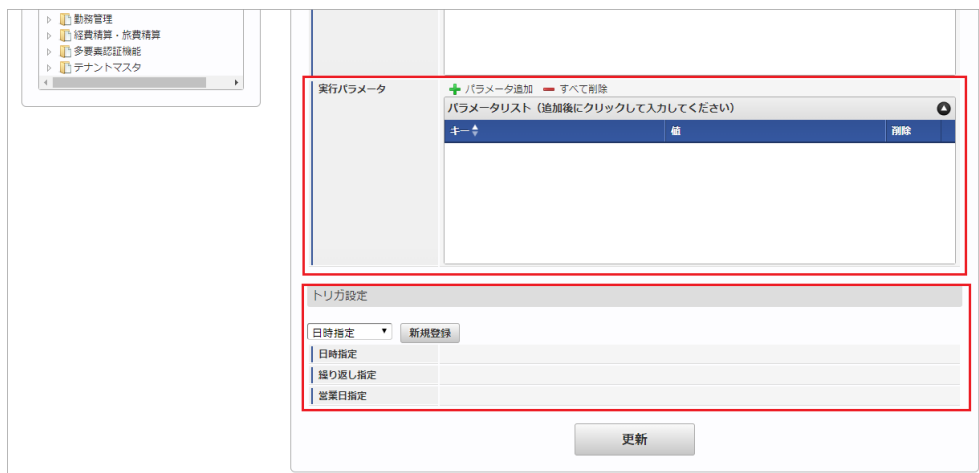
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「郵便番号」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

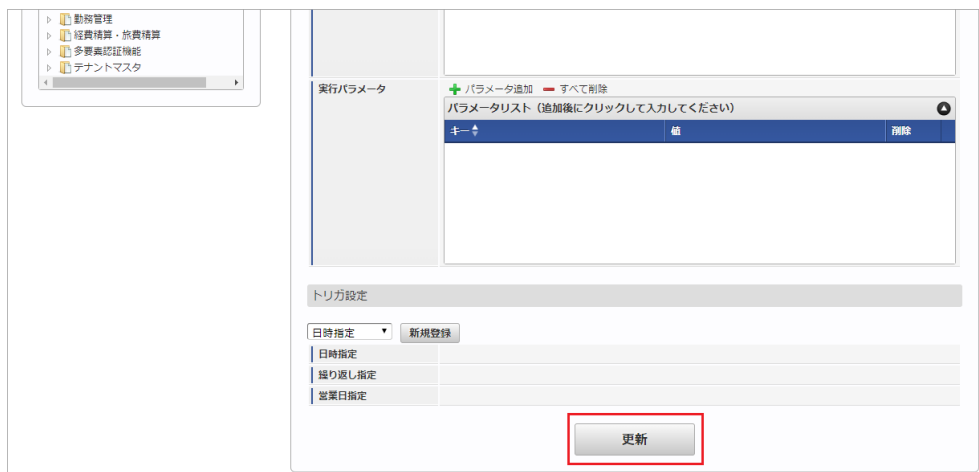
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

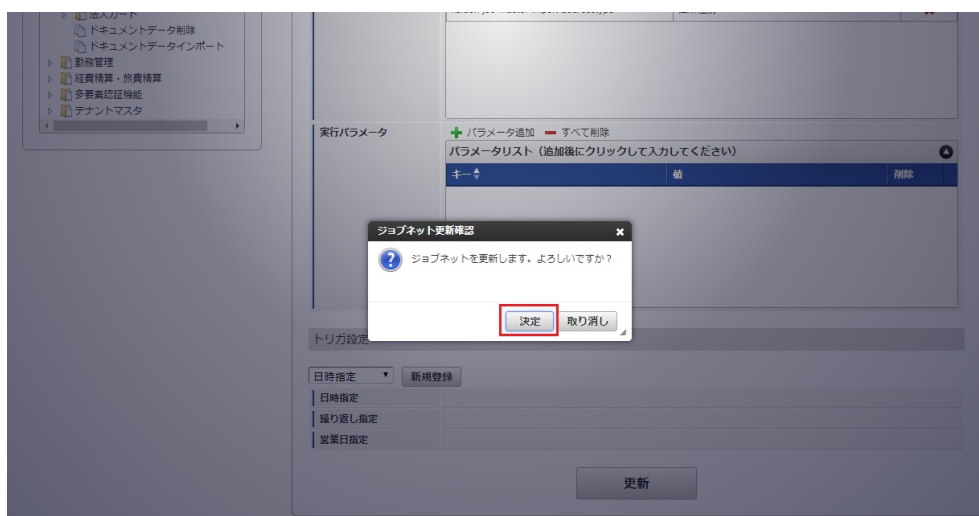
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-zipcode	Kaiden! / マスタ / インポート / 郵便番号

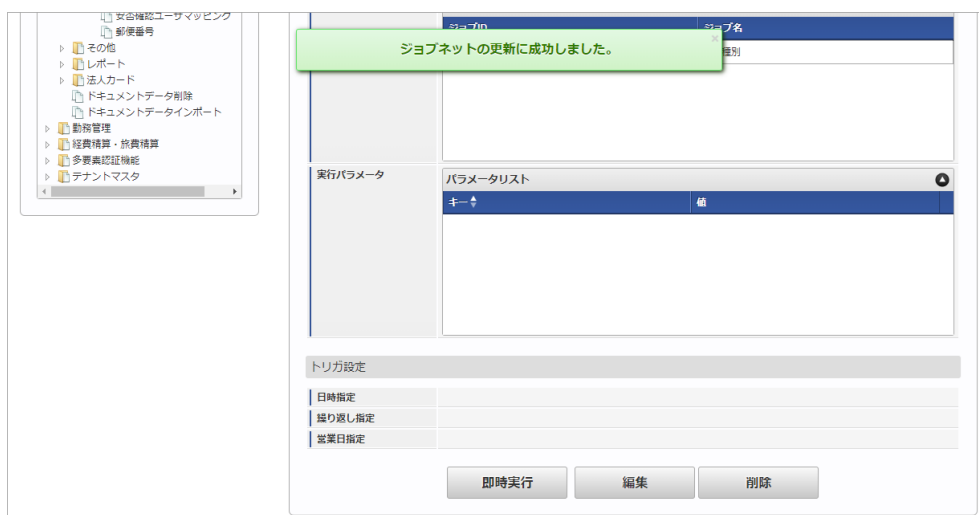
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/zipCode/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/zipCode/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：SHIFT-JIS) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
整理モード	cleanup_mode	整理モードの有無を設定します。 整理する場合、郵便番号データの市区町村・市区町村カナが住所ではないデータの場合（例「以下に掲載がない場合」）空文字を設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0：整理しない ▪ 1：整理する

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

従業員住所マスタ

本項では、従業員住所マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [住所検索機能](#)

概要

従業員住所マスタは、従業員の住所を管理します。

設定はユーザ単位で行い、複数の住所情報を管理できます。

メンテナンスの他に申請機能（住所変更申請）でも、従業員住所の登録が可能です。

コラム

住所変更申請では、最終承認後に従業員住所が登録（更新）されます。

住所変更申請の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「従業員住所」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 変更事由
住所を変更した事由を選択します。
- 住所種別
対象住所の種別を選択します。
- 郵便番号
郵便番号を入力します。
「住所検索」をクリックすると、住所を検索できます。
- 都道府県
都道府県を選択します。
- 群市町村
住所のうち、群市町村を入力します。
- 丁目・番地
住所のうち、丁目・番地を入力します。
- ビル・建物名
住所のうち、ビル・建物名を入力します。



コラム

「従業員」、「変更事由」、「住所種別」は、システム日付を検索基準日としています。



コラム

明細機能の操作方法は、[明細行（カード形式）の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

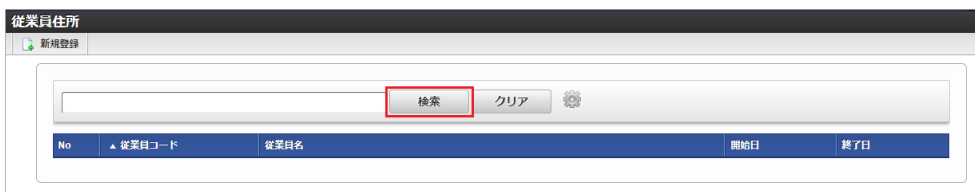


5. 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「従業員住所」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

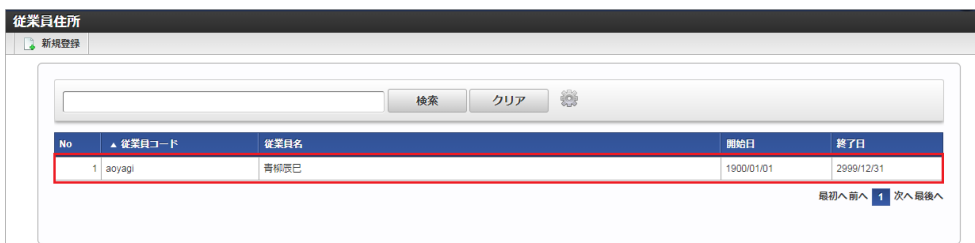


コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 従業員コード
- 従業員名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。





コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

従業員住所

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

会社: サンプル会社
従業員: 青柳辰巳

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31
変更事由: 転居 (自己都合)

1

住所種別: 現住所
郵便番号: 1600023 住所検索
都道府県: 東京都
市区町村: 新宿区
丁目・番地: 西新宿6-14-1
ビル・建物名: ビル・建物名

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 従業員
- 開始日
- 終了日

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

変更事由: 転居 (自己都合)

1

住所種別: 現住所
郵便番号: 1600023 住所検索
都道府県: 東京都
市区町村: 新宿区
丁目・番地: 西新宿6-14-1
ビル・建物名: ビル・建物名

確認
更新します。
決定 取り消し

更新 一覧に戻る

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳辰巳

従業員住所 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	従業員コード	従業員名	開始日	終了日
1	aoiyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ

住所検索機能

住所検索機能は、[郵便番号マスタ](#)のインポートを実施している場合使用できます。

1. 「住所検索」 ボタンをクリックします。

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

住所検索

2. 検索条件を入力し、「検索」をクリックします。

住所検索

郵便番号: 1600023

都道府県:

郡市区町村:

丁目・番地:

検索

No	郵便番号	都道府県	郡市区町村	丁目・番地

3. 反映したい行をクリックします。

住所検索

郵便番号: 1600023

都道府県:

郡市区町村:

丁目・番地:

検索

No	郵便番号	都道府県	郡市区町村	丁目・番地
1	1600023	東京都	新宿区	西新宿

最初へ前へ 1 次へ最後へ

4. 「郵便番号」、「都道府県」、「群市区町村」、「丁目・番地」が反映されます。

1

住所種別

郵便番号

1600023

住所検索

都道府県

東京都

郡市区町村

新宿区

丁目・番地

西新宿

ビル・建物名

ビル・建物名

安否確認ユーザマッピングマスタ

本項では、安否確認ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

安否確認ユーザマッピングマスタは、安否確認サービスと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

安否確認ユーザマッピング

新規登録

検索

クリア

No	ユーザ	安否確認ユーザID	開始日	終了日
----	-----	-----------	-----	-----

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 安否確認ユーザID
安否確認システムのユーザIDを入力します。

i コラム

「ユーザ」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したい安否確認ユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザ
- ユーザID
- 安否確認ユーザID

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

安否確認ユーザマッピング

新規登録

検索 クリア

No	ユーザ	安否確認ユーザID	開始日	終了日
1	上田 辰男	000011	2000/01/01	2999/12/31
2	円山 益男	000007	2000/01/01	2999/12/31
3	原田 浩二	000003	2000/01/01	2999/12/31
4	吉川 一哉	000012	2000/01/01	2999/12/31
5	大塚 博文	000008	2000/01/01	2999/12/31
6	寺田 雅彦	000010	2000/01/01	2999/12/31
7	林 政義	000004	2000/01/01	2999/12/31
8	片山 聡	000006	2000/01/01	2999/12/31
9	生田 一哉	000005	2000/01/01	2999/12/31
10	萩本 慎子	000002	2000/01/01	2999/12/31
11	榎根 千香	000009	2000/01/01	2999/12/31
12	青柳 辰巳	sample	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

安否確認ユーザマッピング

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

ユーザ * 青柳辰巳

安否確認ユーザID * sample

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

安否確認ユーザマッピング

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

ユーザ * 青柳辰巳

安否確認ユーザID * sample

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
6	安否確認ユーザID	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","sample"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

i コラム

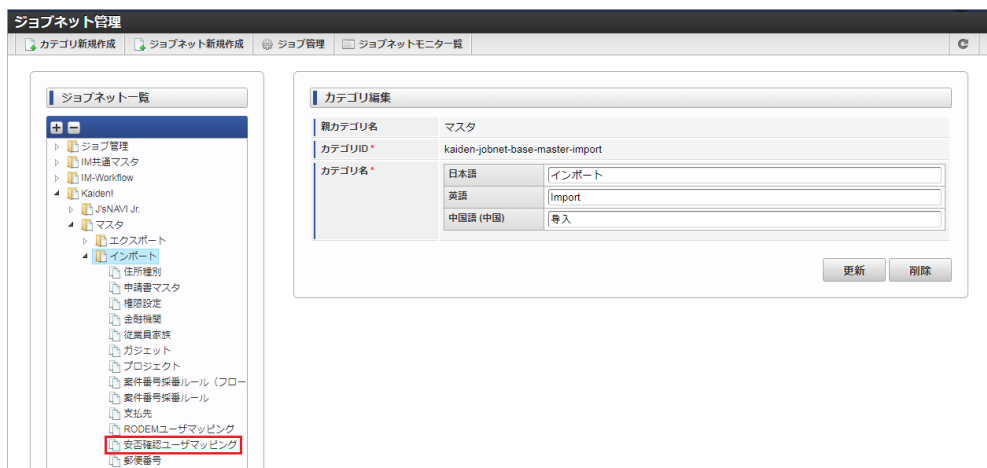
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

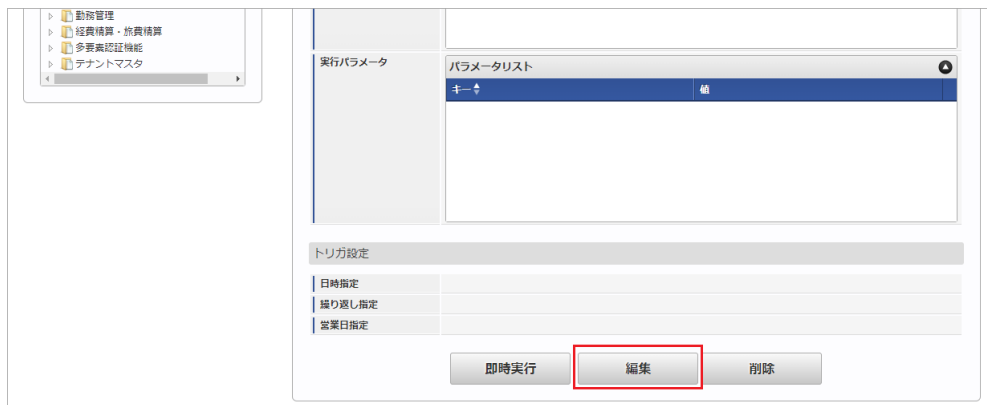
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

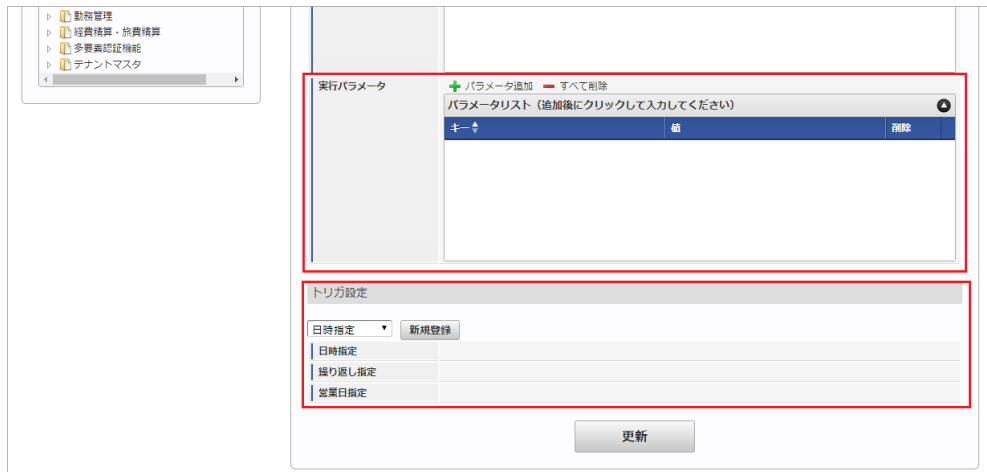
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

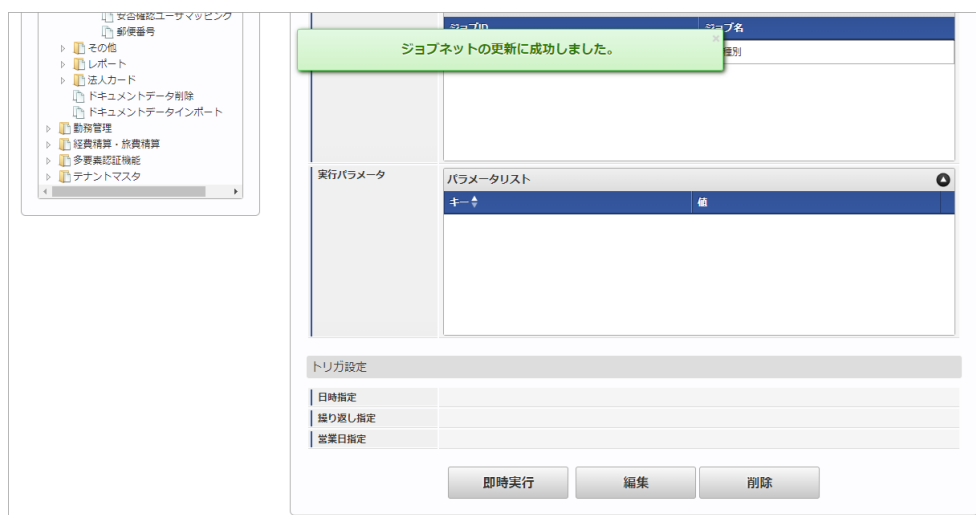
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-safe-user-mapping	Kaiden! / マスタ / インポート / 安否確認ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 安否確認ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「safe_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

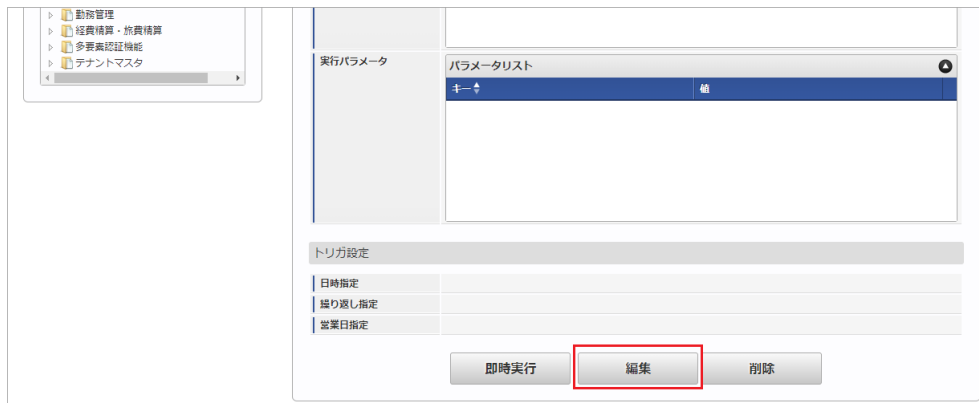
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

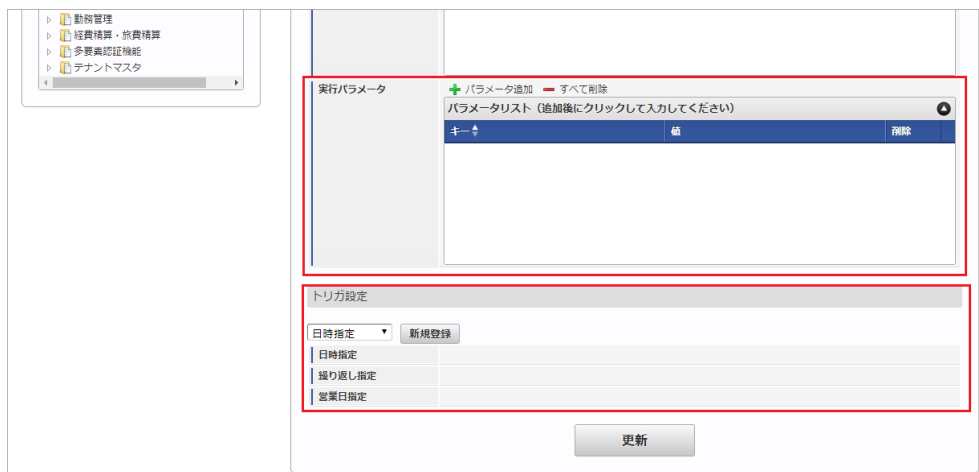
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

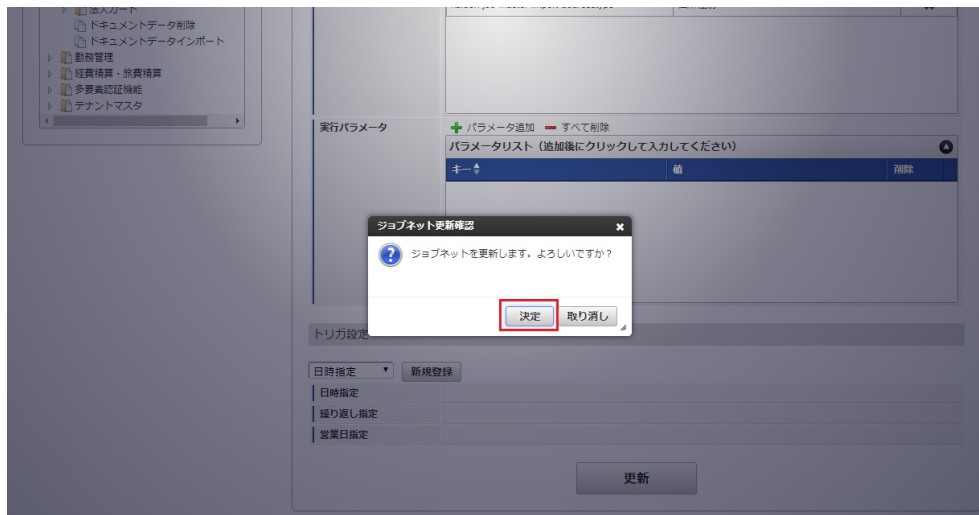
kaiden-job-master-export-safe-user-
mapping

Kaiden! / マスタ / エクスポート / 安否確認ユーザマッピング

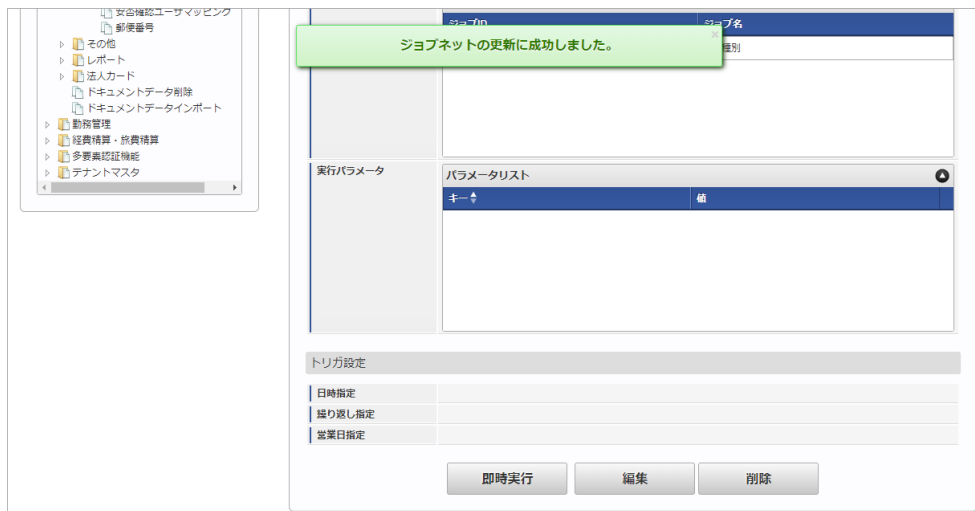
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/safe_user_mapping/
ファイル名	export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式

deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
userId	安否確認ユーザID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 安否確認ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「safe_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

駅すばあと検索条件設定マスタ

本項では、駅すばあと検索条件設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

駅すばあと検索条件設定マスタは、駅すばあとWebサービスで経路を検索する際の検索条件の表示条件を管理します。

[駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#)で、ユーザと検索条件設定を紐付けます。

駅すばあと検索条件設定マスタを設定しない場合、駅すばあとWebサービスの設定ファイルに基づいて検索条件を指定します。

また、「探索種別」は「平均待ち時間探索」が設定され、詳細な検索条件の設定画面は非表示になります。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

コラム

駅すばあとWebサービスの設定ファイルの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-

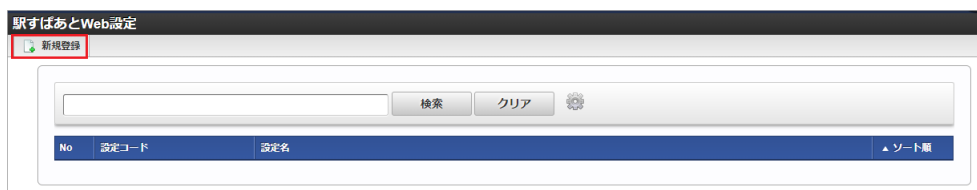
「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-「駅すばあとWebサービス設定」を参照して設定してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

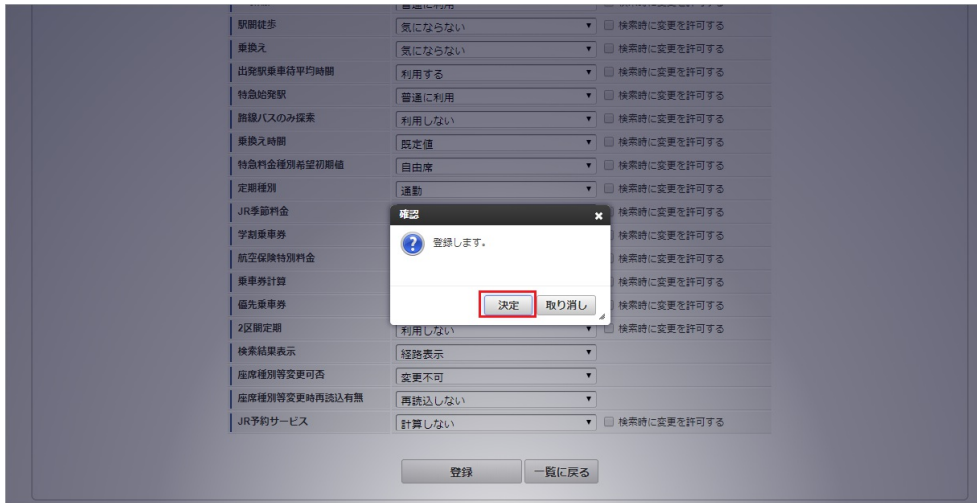
駅すばあとWeb設定

会社*	サンプル会社	
設定コード*	sample	
設定名*	サンプル	
設定分類*	運賃検索	
共通設定*	個別設定	
ソート順*	1	
探索種別	平均待ち時間探索	
検索条件表示	簡易表示	
ソート種別	料金順	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
最大回答数	5件表示	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
最大探索数	5件表示	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
運賃種別	片道運賃	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
飛行機	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
新幹線	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
新幹線のぞみ	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
寝台列車	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
有料特急	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
高速バス	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
連絡バス	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
路線バス	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
深夜急行バス	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
船	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
有料普通列車	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
JR路線	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
駅間徒歩	気にならない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗換え	気にならない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
出発駅乗車待平均時間	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
特急始発駅	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
路線バスのみ探索	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗換え時間	既定値	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
特急料金種別希望初期値	自由席	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
定期種別	通勤	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
JR季節料金	考慮する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
学期乗車券	計算しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
航空保険特別料金	運賃に含む	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗車券計算	普通乗車券のみ	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
優先乗車券	指定なし	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
2区間定期	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
検索結果表示	経路表示	
座席種別等変更可否	変更不可	
座席種別等変更時再読み込み	再読み込みしない	
JR予約サービス	計算しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する

登録 一覧に戻る

- 設定コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 設定名
設定の名称を入力します。
- 設定分類
「運賃検索」を選択した場合、経路探索時の設定として使用します。
「定期券料金検索」を選択した場合、定期券の料金検索時の設定として使用します。
- 共通設定
「個別設定」を選択した場合、駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングしたユーザの検索条件として使用します。
「共通設定」を選択した場合、該当の会社の全てのユーザの検索条件として使用します。
ただし、「個別設定」が設定されている場合、「個別設定」を優先して使用します。
- ソート順
ソート順を入力します。
- 探索種別
「平均待ち時間探索」：指定した日付の平均待ち時間を考慮して経路を探索します。
「出発時刻探索」：指定した日時に出発する経路を探索します。
「到着時刻探索」：指定した日時に到着する経路を探索します。
「始発電車探索」：指定した日付の始発経路を探索します。
「最終電車探索」：指定した日付の最終経路を探索します。
「ダイヤ探索」：「出発時刻探索」、「到着時刻探索」、「始発電車探索」、「最終電車探索」から選択して経路を探索します。
- 検索条件表示
「簡易表示」を設定した場合、経路探索時に詳細な検索条件の設定画面を非表示にします。
「詳細表示」を設定した場合、経路探索時に詳細な検索条件の設定画面が表示されます。
- 詳細検索条件全般
「検索時に変更を許可する」にチェックを入れた項目は、詳細な検索条件の設定画面に表示され、ユーザが検索条件を変更できます。
また、選択した項目が詳細な検索条件の設定画面表示時の初期値となります。
「検索時に変更を許可する」にチェックを入れた項目がある場合、「検索条件表示」に「詳細表示」を選択してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。

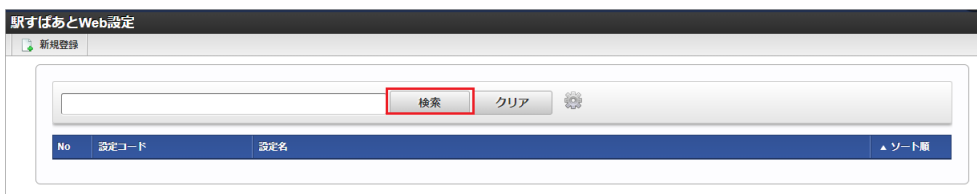


コラム

「学割乗車券」と「JR予約サービス」の同時指定はできません。いずれかを設定なし、もしくは計算しないに設定してください。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい駅すばあと検索条件設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 設定コード
- 設定名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

駅すばあとWeb設定

新規登録

検索 クリア

No	設定コード	設定名	ソート順
1	sample	サンプル	1
2	1000	共通設定 (運賃)	1000
3	1001	役職者用設定 (運賃)	1001
4	2000	共通設定 (定期)	2000
5	2001	役職者用設定 (定期)	2001

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

駅すばあとWeb設定

← 削除

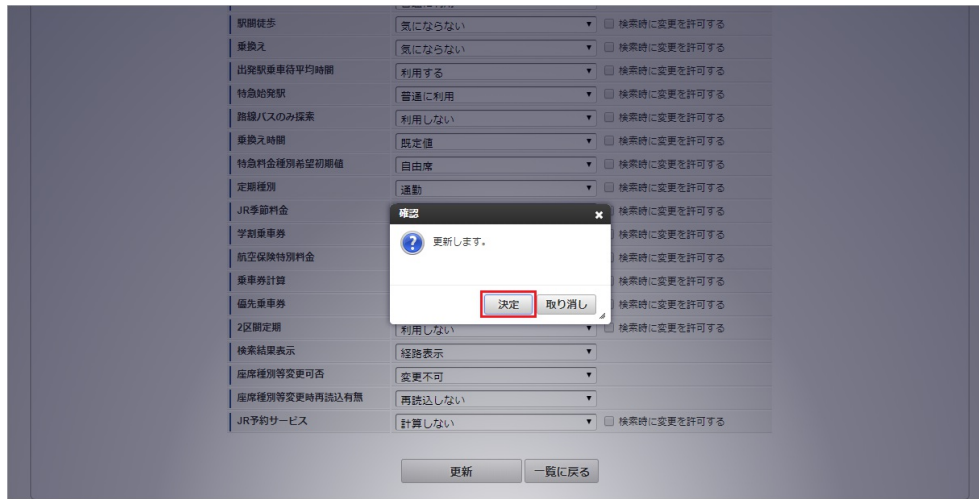
会社*	サンプル会社	
設定コード*	sample	
設定名*	サンプル	
設定分類*	運賃検索	
共通設定*	個別設定	
ソート順*	1	
検索種別	平均待ち時間探索	
検索条件表示	簡易表示	
ソート種別	料金額	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
最大回答数	5件表示	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
最大探索数	5件表示	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
運賃種別	片道運賃	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
飛行機	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
新幹線	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
新幹線のぞみ	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
留台列車	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
有料特急	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
高速バス	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
連絡バス	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
路線バス	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
深夜急行バス	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
船	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
有料普通列車	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
JR路線	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
駅間徒歩	気にならない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗換え	気にならない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
出発駅乗車待ち平均時間	利用する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
特急始発駅	普通に利用	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
路線バスのみ探索	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗換え時間	既定値	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
特急料金種別希望初期値	自由席	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
定期種別	通勤	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
JR季節料金	考慮する	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
学割乗車券	計算しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
航空保険特別料金	運賃に含む	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
乗車券計算	普通乗車券のみ	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
優先乗車券	指定なし	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
2区間定期	利用しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する
検索結果表示	経路表示	
座席種別等変更可否	変更不可	
座席種別等変更時再読み込み	再読み込みしない	
JR予約サービス	計算しない	<input type="checkbox"/> 検索時に変更を許可する

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 設定コード
- 設定分類
- 共通設定

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	設定コード	○	100	
4	設定名	○	250	

5	設定分類	○	1	1 : 運賃検索 2 : 定期券料金検索
6	共通設定	○	1	1 : 共通設定 2 : 個別設定
7	ソート順	○	18	
8	探索種別		100	plain : 平均待ち時間探索 dia : ダイヤ探索 departure : 出発時刻探索 arrival : 到着時刻探索 firstTrain : 始発電車探索 lastTrain : 最終電車探索
9	検索条件表示	○	100	true : 簡易表示 false : 詳細表示
10	ソート種別		100	ekispert : 駅すばあと探索順 price : 料金順 time : 時間順 transfer : 乗換回数順 co2 : CO2排出量順 teiki : 定期券の料金順 teiki1 : 定期券の料金順(1カ月) teiki3 : 定期券の料金順(3カ月) teiki6 : 定期券の料金順(6カ月)
11	ソート種別(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
12	最大回答数		100	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
13	最大回答数(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
14	最大探索数		100	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
15	最大探索数(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
16	運賃種別		100	oneway : 片道運賃 round : 往復運賃 teiki : 定期代
17	運賃種別(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
18	飛行機		100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
19	飛行機(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
20	新幹線		100	normal : 利用する never : 利用しない
21	新幹線(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
22	新幹線のぞみ		100	normal : 利用する never : 利用しない
23	新幹線のぞみ (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

24	寝台列車	100	possible : 極力利用する normal : 普通に利用 never : 利用しない
25	寝台列車(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
26	有料特急	100	normal : 利用する never : 利用しない
27	有料特急(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
28	高速バス	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
29	高速バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
30	連絡バス	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
31	連絡バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
32	路線バス	100	normal : 利用する never : 利用しない
33	路線バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
34	深夜急行バス	100	normal : 利用する never : 利用しない
35	深夜急行バス (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
36	船	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
37	船(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
38	有料普通列車	100	normal : 利用する never : 利用しない
39	有料普通列車 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
40	JR路線	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない
41	JR路線(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
42	駅間徒歩	100	normal : 気軽に利用 little : 普通に利用 never : 極力利用しない
43	駅間徒歩(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
44	乗換え	100	normal : 気にならない little : 少し気になる never : 極力利用しない
45	乗換え(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

46	出発駅乗車待平均時間	100	true : 利用する false : 利用しない
47	出発駅乗車待平均時間 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
48	特急始発駅	100	possible : 極力利用する normal : 普通に利用
49	特急始発駅(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
50	路線バスのみ探索	100	true : 利用する false : 利用しない
51	路線バスのみ探索 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
52	乗換え時間	100	normal : 規定値 moreMargin : 少し余裕をみる mostMargin : 余裕をみる lessMargin : 短め
53	乗換え時間(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
54	特急料金種別希望初期値	100	free : 自由席 reserved : 指定席 green : グリーン
55	特急料金種別希望初期値 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
56	定期種別	100	bussiness : ビジネス highSchool : 学割 (高校) university : 学割
57	定期種別(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
58	JR季節料金	100	true : 考慮する false : 考慮しない
59	JR季節料金(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
60	学割乗車券	100	true : 計算する false : 計算しない
61	学割乗車券(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
62	航空保険特別料金	100	true : 運賃に含む false : 運賃に含まない
63	航空保険特別料金 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
64	乗車券計算	100	normal : 普通乗車券のみ ic : ICカード乗車券も計算
65	乗車券計算(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
66	優先乗車券	100	none : 指定なし normal : 普通乗車券 ic : ICカード乗車券 cheap : 安い乗車券
67	優先乗車券(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
68	2区間定期	100	true : 利用する false : 利用しない
69	2区間定期(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

70	検索結果表示	○	100	true : 一覧表示 false : 経路表示
71	座席種別等変更可否	○	100	true : 変更可 false : 変更不可
72	座席種別等変更時再読込有無	○	100	true : 再読込する false : 再読込しない
73	JR予約サービス		100	exYoyaku : EX予約 exETokkyu : EX予約(e 特急券) exHayatoku : EX予約(EX早特) exHayatoku21 : EX予約(EX早特21) exGreenHayatoku : EX予約 (EXグリーン早特) smartEx : スマートEX smartExHayatoku : スマートEX(EX早特) smartExHayatoku21 : スマートEX (EX早特21) smartExGreenHayatoku : スマートEX (EXグリーン早特) none : 計算しない
74	JR予約サービス (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

データサンプル

```
"comp_sample_01","en","1000","Common setting
(Fare)","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0",
"comp_sample_01","ja","1000","共通設定 (運
賃)","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0",
"comp_sample_01","zh_CN","1000","普通口置 (票
价)","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0",
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertweb

ファイル名 import.csv

コラム

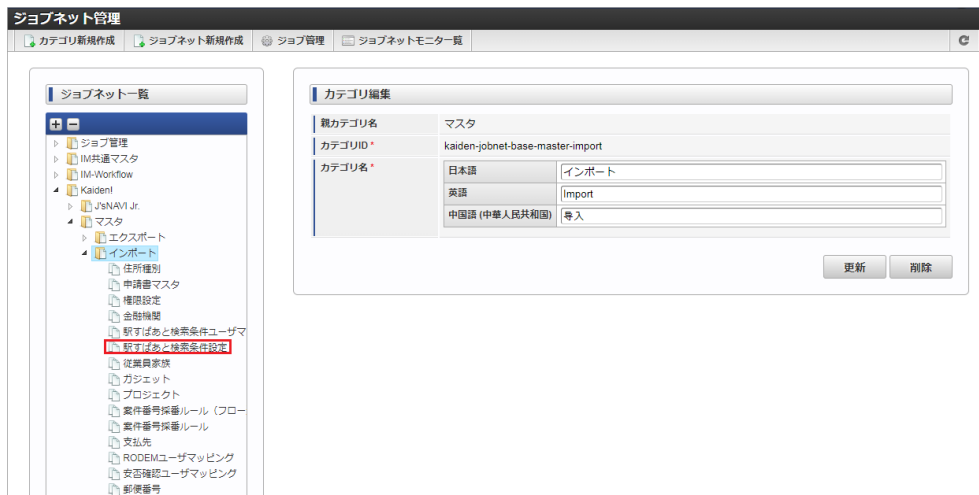
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

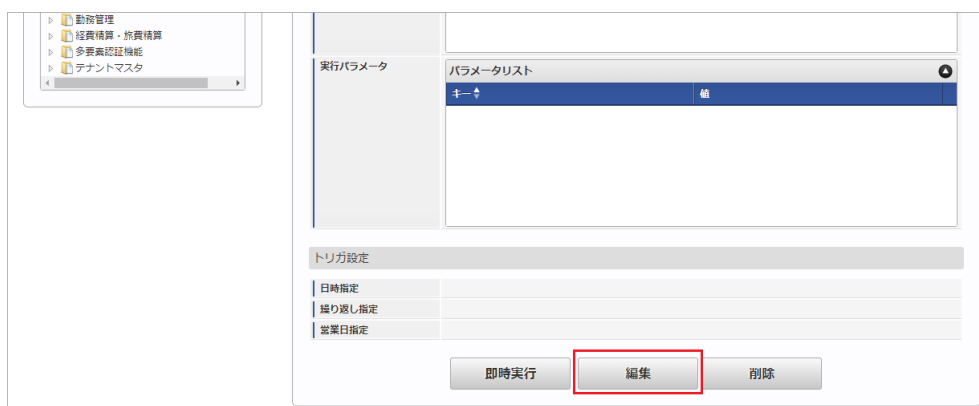
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

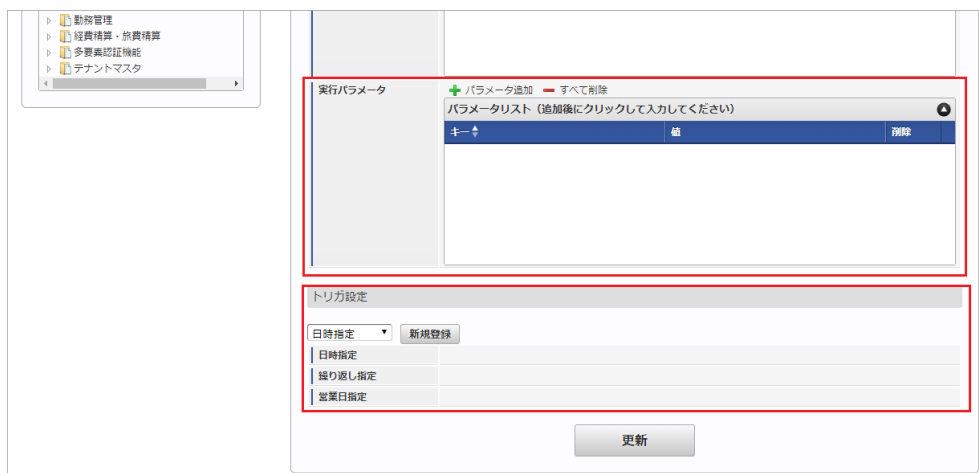
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

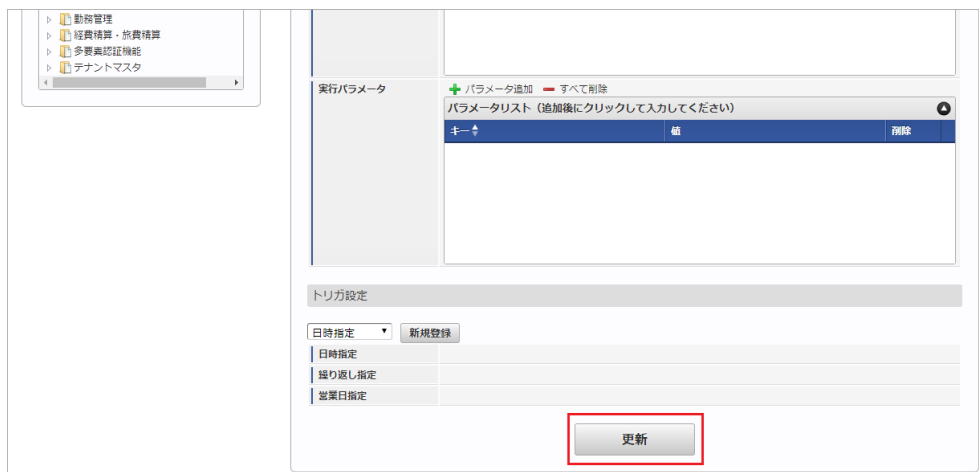
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

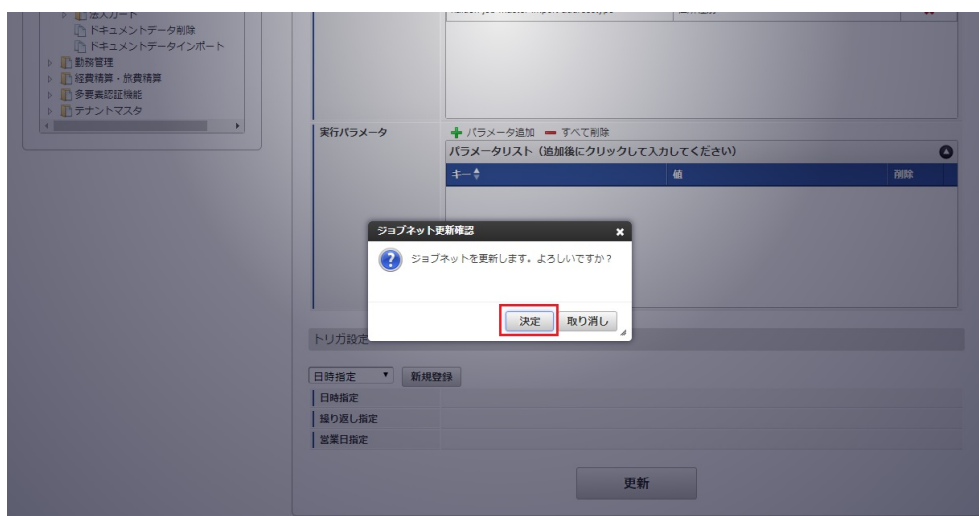
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-ekispertweb	Kaiden! / マスタ / インポート / 駅すばあと検索条件設定

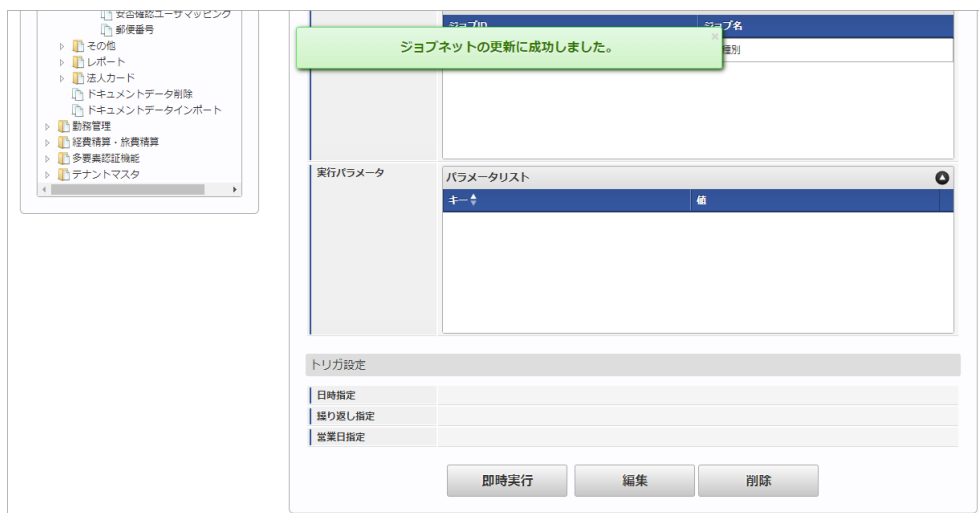
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertweb」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

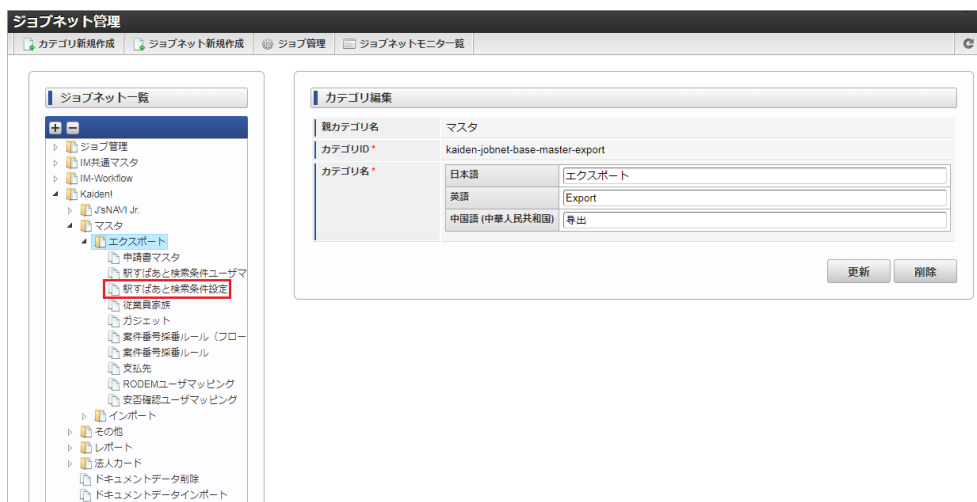
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

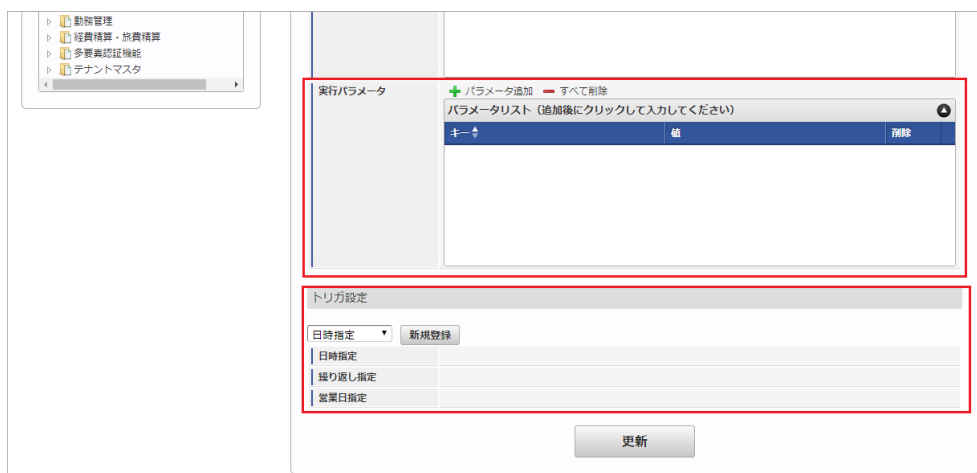
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

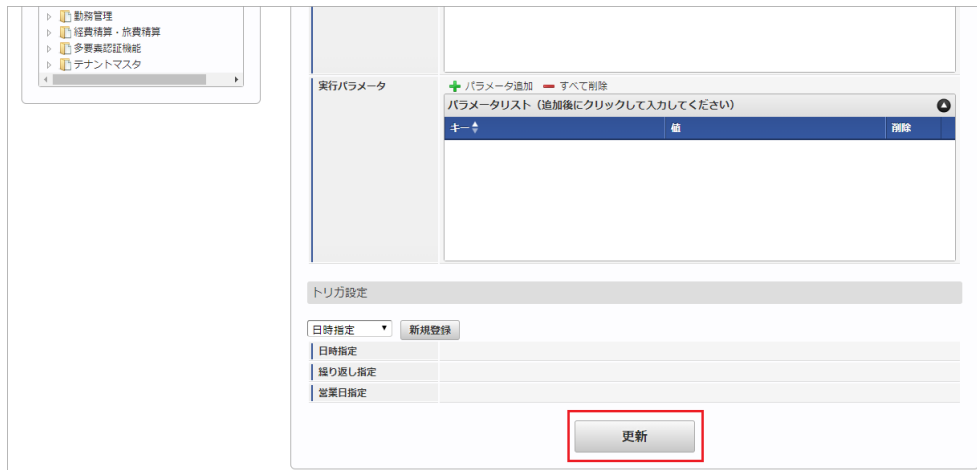
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

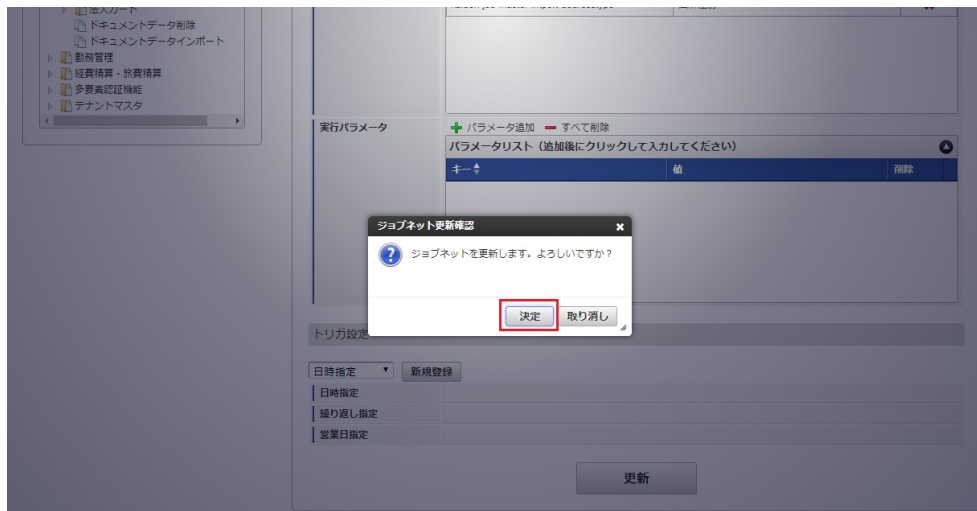
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-ekispartweb	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 駅すばあと検索条件設定

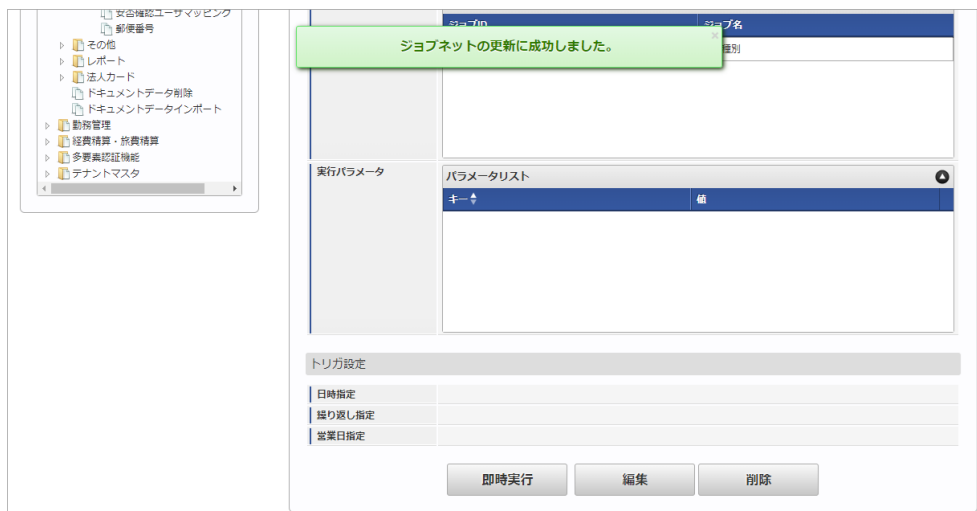
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/ekispertweb/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
settingCd	設定コード	
settingName	設定名	
settingType	設定分類	1 : 運賃検索 2 : 定期券料金検索
defaultFlag	共通設定	1 : 共通設定 2 : 個別設定
sortKey	ソート順	
searchType	探索種別	plain : 平均待ち時間探索 dia : ダイヤ探索 departure : 出発時刻探索 arrival : 到着時刻探索 firstTrain : 始発電車探索 lastTrain : 最終電車探索
simpleCondition	検索条件表示	true : 簡易表示 false : 詳細表示
cndSortType	ソート種別	ekispert : 駅すばあと探索順 price : 料金順 time : 時間順 transfer : 乗換回数順 co2 : CO2排出量順 teiki : 定期券の料金順 teiki1 : 定期券の料金順(1カ月) teiki3 : 定期券の料金順(3カ月) teiki6 : 定期券の料金順(6カ月)
dspSortType	ソート種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndAnswerCount	最大回答数	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
dspAnswerCount	最大回答数(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

cndSearchCount	最大探索数	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
dspSearchCount	最大探索数(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndPriceType	運賃種別	oneway : 片道運賃 round : 往復運賃 teiki : 定期代
dspPriceType	運賃種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndPlane	飛行機	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspPlane	飛行機(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndShinkansen	新幹線	normal : 利用する never : 利用しない
dspShinkansen	新幹線(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndNozomi	新幹線のぞみ	normal : 利用する never : 利用しない
dspNozomi	新幹線のぞみ (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndSleeperTrain	寝台列車	possible : 極力利用する normal : 普通に利用 never : 利用しない
dspSleeperTrain	寝台列車(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLimitedExpress	有料特急	normal : 利用する never : 利用しない
dspLimitedExpress	有料特急(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndHighwayBus	高速バス	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspHighwayBus	高速バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndConnectionBus	連絡バス	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspConnectionBus	連絡バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLocalBus	路線バス	normal : 利用する never : 利用しない
dspLocalBus	路線バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndMidnightBus	深夜急行バス	normal : 利用する never : 利用しない
dspMidnightBus	深夜急行バス (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

cndShip	船	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspShip	船(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLiner	有料普通列車	normal : 利用する never : 利用しない
dspLiner	有料普通列車 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndUsejr	JR路線	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない
dspUsejr	JR路線(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndWalk	駅間徒歩	normal : 気軽に利用 little : 普通に利用 never : 極力利用しない
dspWalk	駅間徒歩(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTransfer	乗換え	normal : 気にならない little : 少し気になる never : 極力利用しない
dspTransfer	乗換え(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndWaitAverage	出発駅乗車待平均時間	true : 利用する false : 利用しない
dspWaitAverage	出発駅乗車待平均時間 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndExpStart	特急始発駅	possible : 極力利用する normal : 普通に利用
dspExpStart	特急始発駅(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLocalBusOnly	路線バスのみ探索	true : 利用する false : 利用しない
dspLocalBusOnly	路線バスのみ探索 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTransferTime	乗換え時間	normal : 規定値 moreMargin : 少し余裕をみる mostMargin : 余裕をみる lessMargin : 短め
dspTransferTime	乗換え時間(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndSurchargeKind	特急料金種別希望初期値	free : 自由席 reserved : 指定席 green : グリーン
dspSurchargeKind	特急料金種別希望初期値 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTeikiKind	定期種別	bussiness : ビジネス highSchool : 学割 (高校) university : 学割
dspTeikiKind	定期種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndJrSeason	JR季節料金	true : 考慮する false : 考慮しない

dspJrSeason	JR季節料金(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndStudent	学割乗車券	true : 計算する false : 計算しない
dspStudent	学割乗車券(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndInclInsurance	航空保険特別料金	true : 運賃に含む false : 運賃に含まない
dspInclInsurance	航空保険特別料金 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTicketType	乗車券計算	normal : 普通乗車券のみ ic : ICカード乗車券も計算
dspTicketType	乗車券計算(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTicketOrder	優先乗車券	none : 指定なし normal : 普通乗車券 ic : ICカード乗車券 cheap : 安い乗車券
dspTicketOrder	優先乗車券(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndNikukanTeiki	2区間定期	true : 利用する false : 利用しない
dspNikukanTeiki	2区間定期(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
courseList	検索結果表示	true : 一覧表示 false : 経路表示
priceChange	座席種別等変更可否	true : 変更可 false : 変更不可
priceChangeRef	座席種別等変更時再読み込み有無	true : 再読み込みする false : 再読み込みしない
cndJrReservation	JR予約サービス	exYoyaku : EX予約 exETokkyu : EX予約(e 特急券) exHayatoku : EX予約(EX早特) exHayatoku21 : EX予約(EX早特21) exGreenHayatoku : EX予約 (EXグリーン早特) smartEx : スマートEX smartExHayatoku : スマートEX (EX早特) smartExHayatoku21 : スマートEX (EX早特21) smartExGreenHayatoku : スマートEX (EXグリーン早特) none : 計算しない
dspJrReservation	JR予約サービス (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/ekispertweb/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/ekispertweb/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション ■ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ■ true : ヘッダー出力有 ■ false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。

名称	キー	説明 / 設定値
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertweb」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ

本項では、駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタは、ユーザと [駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を紐付けます。

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングされているユーザは、マッピングされた検索条件に基づいて検索します。

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングされていないユーザは、共通設定が設定されている場合、共通設定の検索条件に基づいて検索します。

共通設定が設定されていない場合、駅すばあとWebサービスの設定ファイルの検索条件に基づいて検索します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。



コラム

駅すばあとWebサービスの設定ファイルの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-

「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-「駅すばあとWebサービス設定」を参照して設定してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ユーザ
駅すばあと検索条件と紐付けるユーザを選択します。
- 運賃検索
運賃検索で使用する駅すばあと検索設定を選択します。
- 定期代検索
定期代検索で使用する駅すばあと検索設定を選択します。

コラム

「ユーザ」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	ユーザコード	ユーザ名	運賃検索	定期代検索
1	aoyagi	青柳辰巳	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
2	harada	原田清二	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
3	katayama	片山聡	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
4	maruyama	丸山益男	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい駅すばあと検索条件ユーザマッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

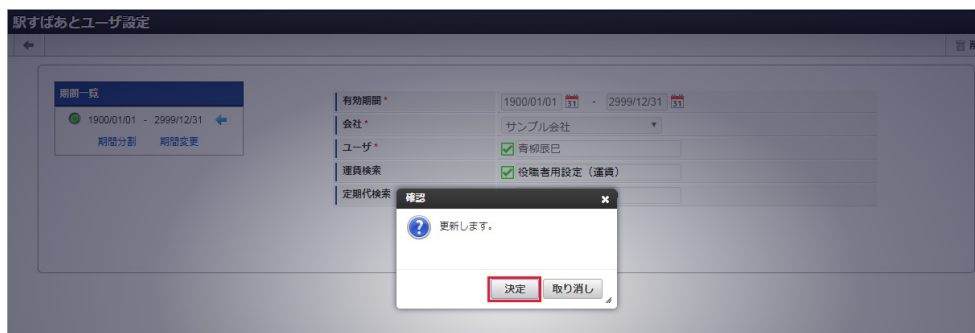
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 有効期間
- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	期間コード	○	50	
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
7	設定コード(運賃検索)		100	
8	設定コード(定期代検索)		100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","term_01","1900/01/01","2999/12/31","1","1001","2001"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertuser

ファイル名 import.csv

i コラム

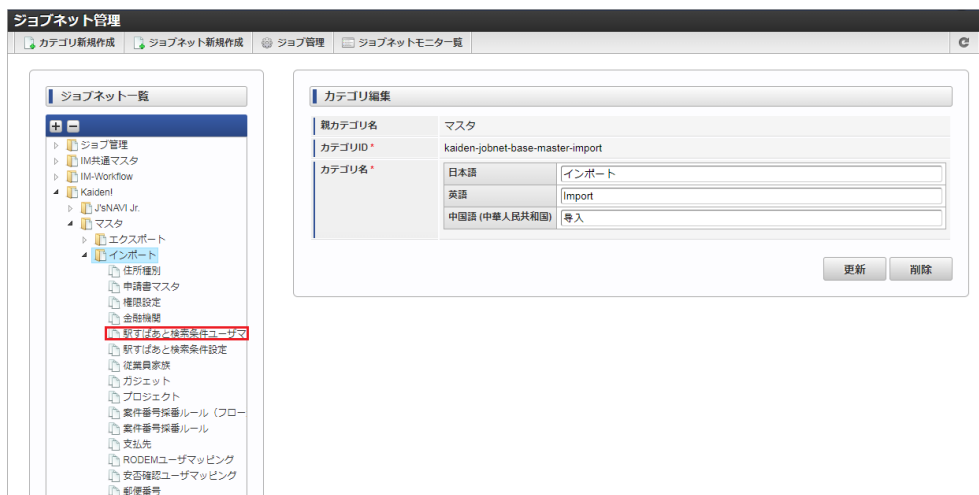
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

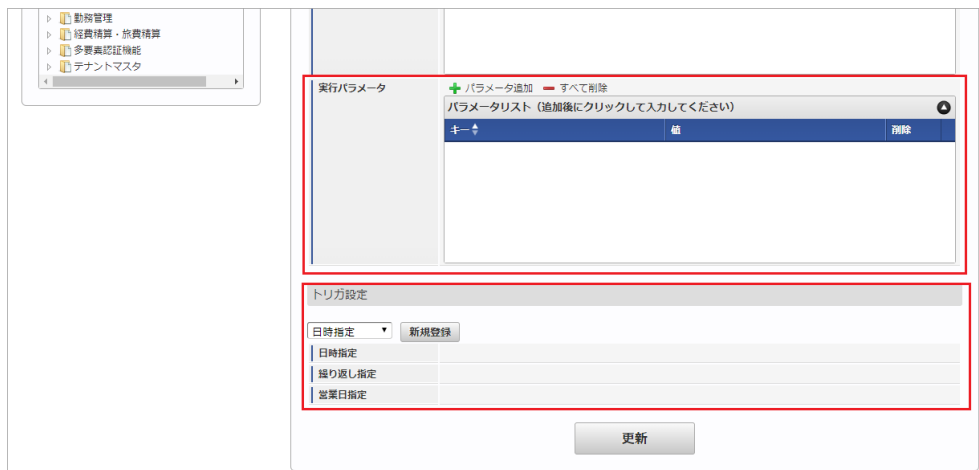
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-ekispertuser	Kaiden! / マスタ / インポート / 駅すばあと検索条件ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/ekispertuser/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertuser/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
ガジェットクラス	gadgetClass	<p>インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。</p>
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	<p>インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertuser」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

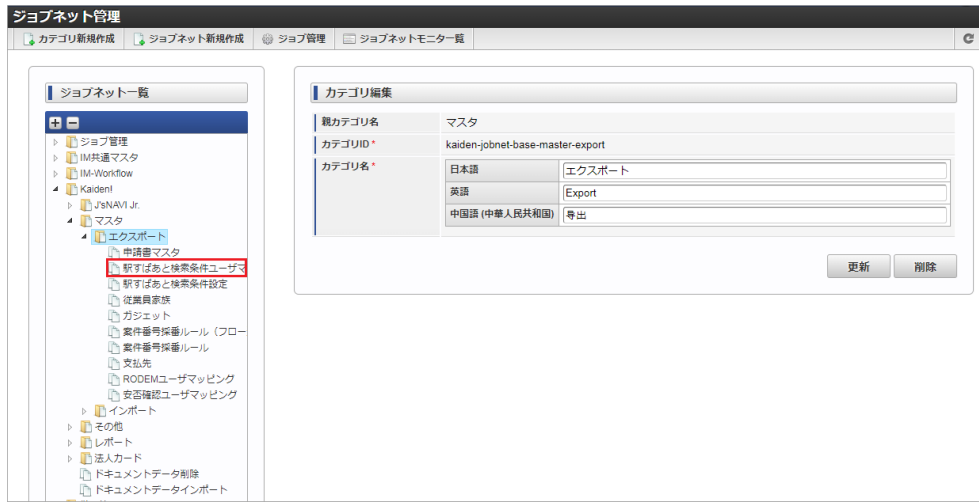
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

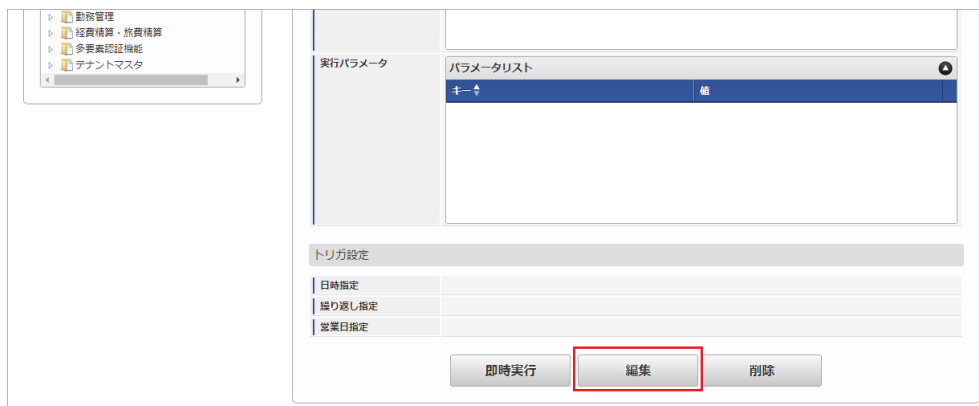
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

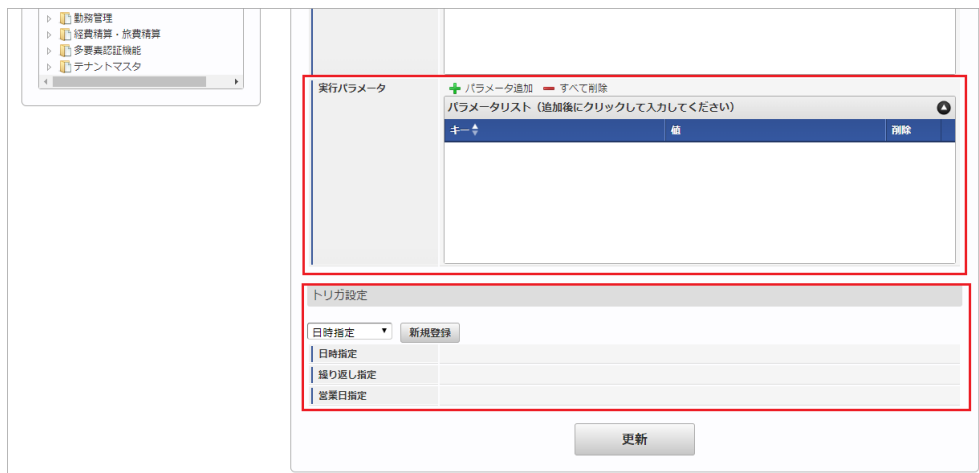
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

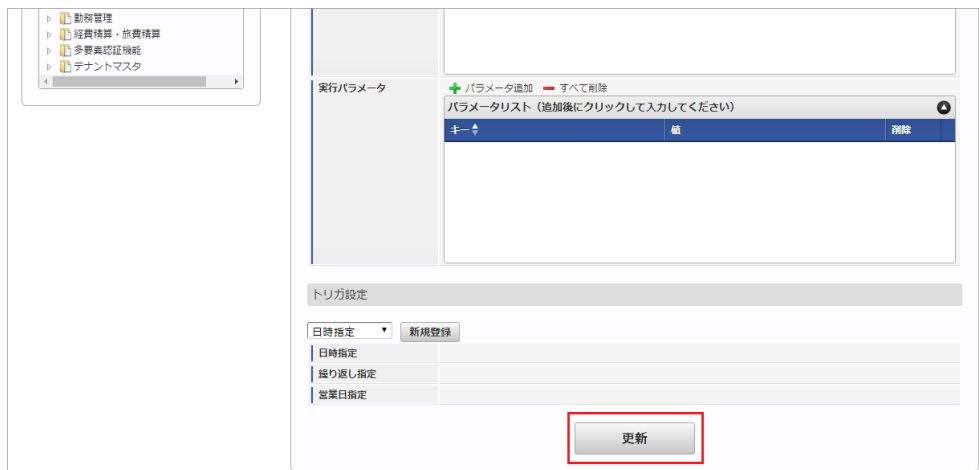
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

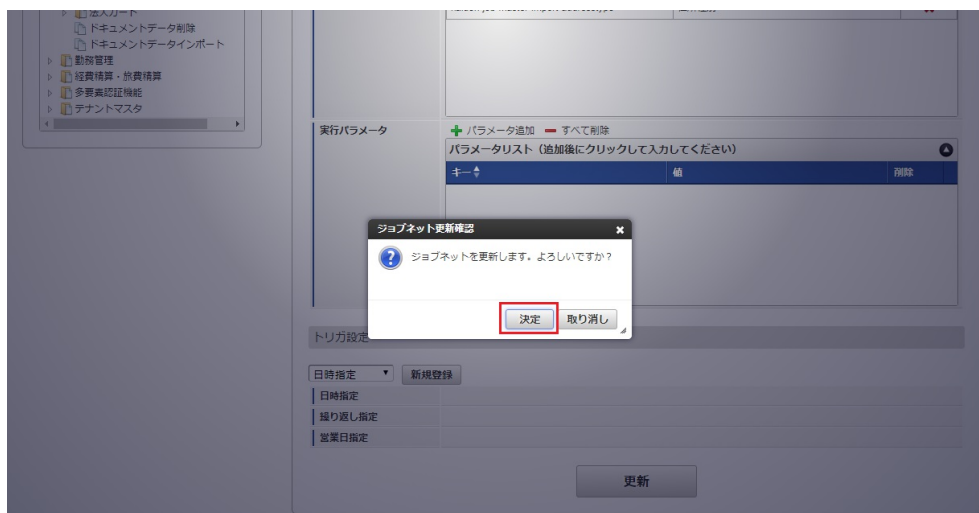
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-ekispertuser	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 駅すばあと検索条件ユーザマッピング

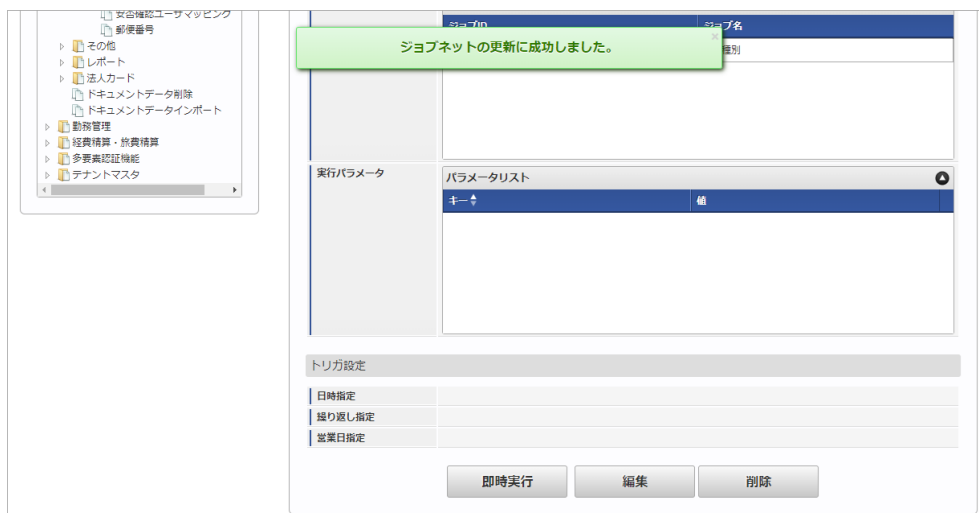
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/ekispertuser/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式(画面の日付+1日)
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
routeSettingCd	設定コード(運賃検索)	
teikiSettingCd	設定コード(定期代検索)	



注意

当マスタをエクスポートすると、終了日が画面の日付+1日で出力されます。
エクスポートしたファイルを使用してインポートモード「4」、「5」でインポートする場合、
終了日を「終了日-1日」に変更してインポートしてください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertuser/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertuser/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertuser」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

権限設定マスタ

本項では、権限設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)

権限設定マスタは、特定の組織および配下の組織に所属するユーザに対する、関連機能の権限を管理します。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費で管理する各種データや操作は、この権限設定マスタに基づいてコントロールすることができます。

BTMサービスに関する権限

権限	説明
BTMサービス利用実績データの更新権限	BTMサービス利用実績データメンテナンス画面で更新を可能とする権限

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「権限設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
会社を選択します。
- 組織セット
組織セットを選択します。
- 組織
組織を選択します。
- 従業員
従業員を選択します。
- 開始日 - 終了日
権限設定の有効期間を選択します。
- 付与権限
付与する権限を選択します。



コラム

「組織セット」、「従業員」は、システム日付を検索基準日としています。
「組織」は、開始日を検索基準日としています。



コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。

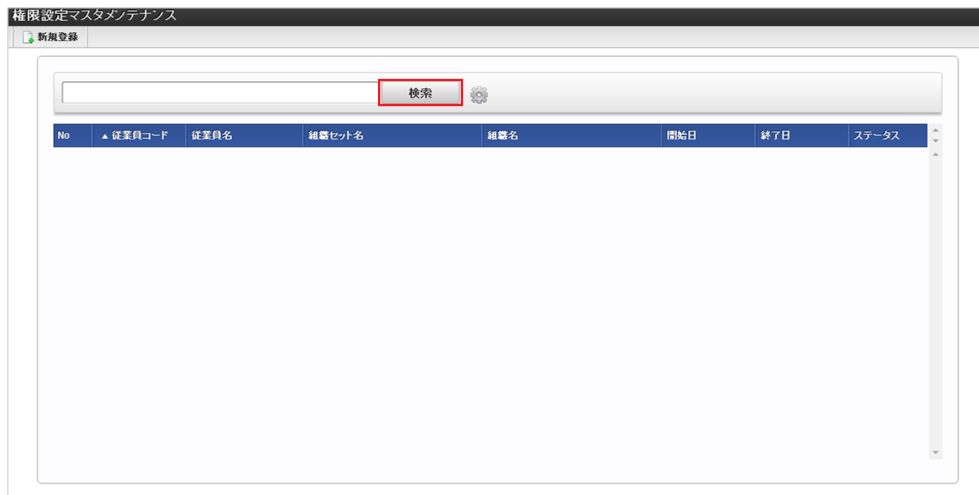


注意

BTMサービスに関する権限は、会社ごとに設定します。
そのため、組織を選択しないで権限を設定してください。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「権限設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

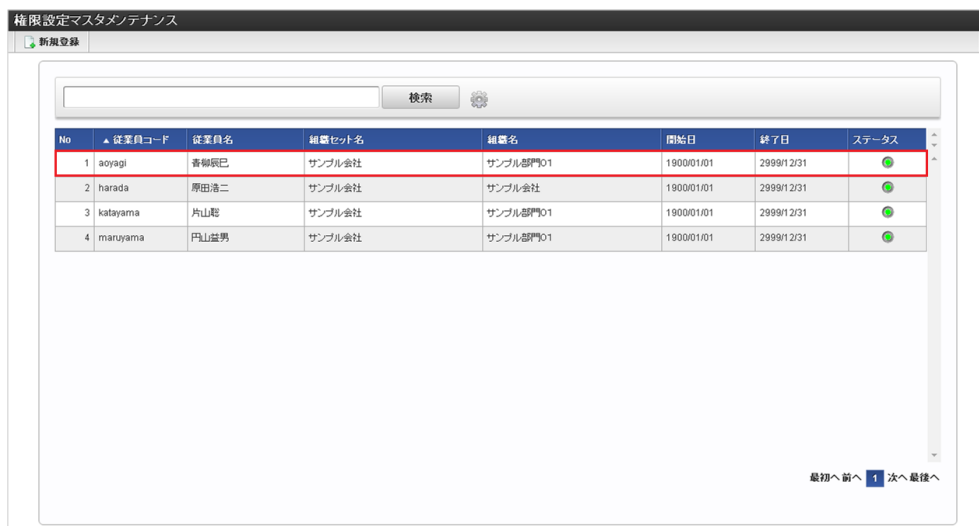


コラム

検索欄に検索したい権限設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 従業員コード
- 従業員名
- 組織名

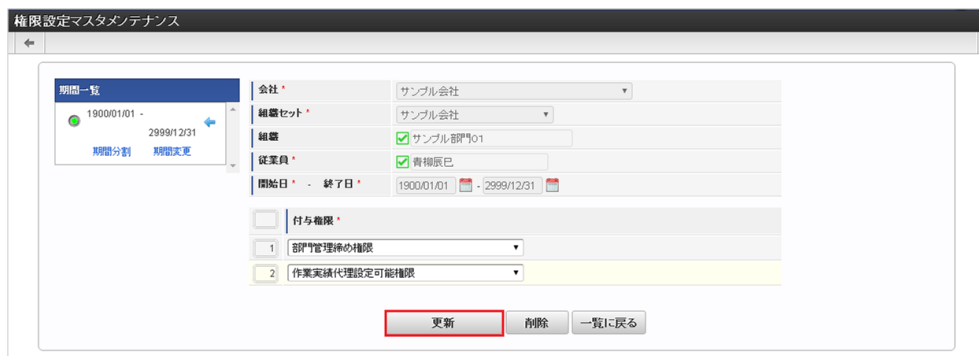
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

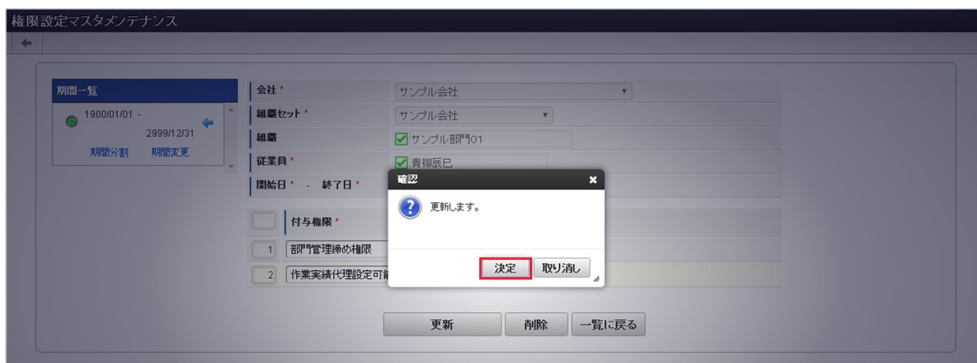


次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 組織セット
- 組織
- 従業員

- 開始日
- 終了日

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 auth_import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	組織セットコード	○	100	
3	組織コード		100	

4	ユーザコード	○	100	
5	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
6	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
7	ソートキー	○	15	
8	付与権限コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","comp_sample_01","dept_sample_11","aoyagi","","","1","btm_serivce_management_edit"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/authsetting

ファイル名 auth_import.csv

コラム

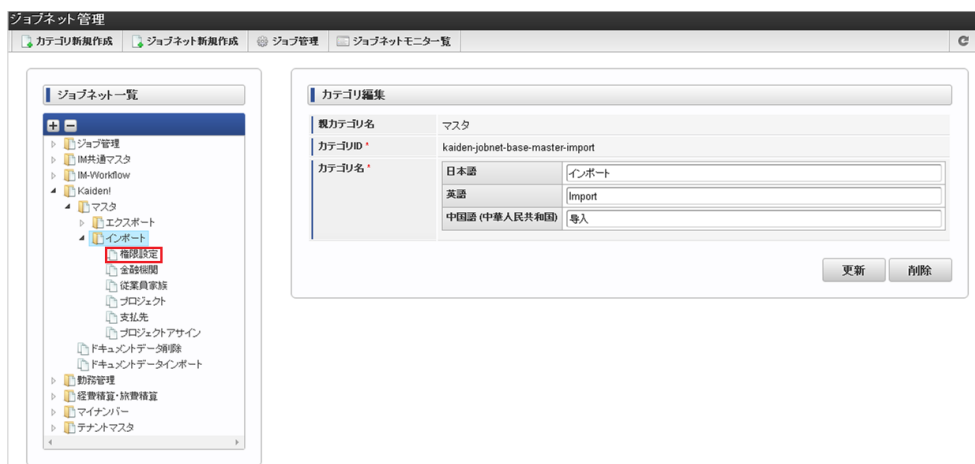
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「権限設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

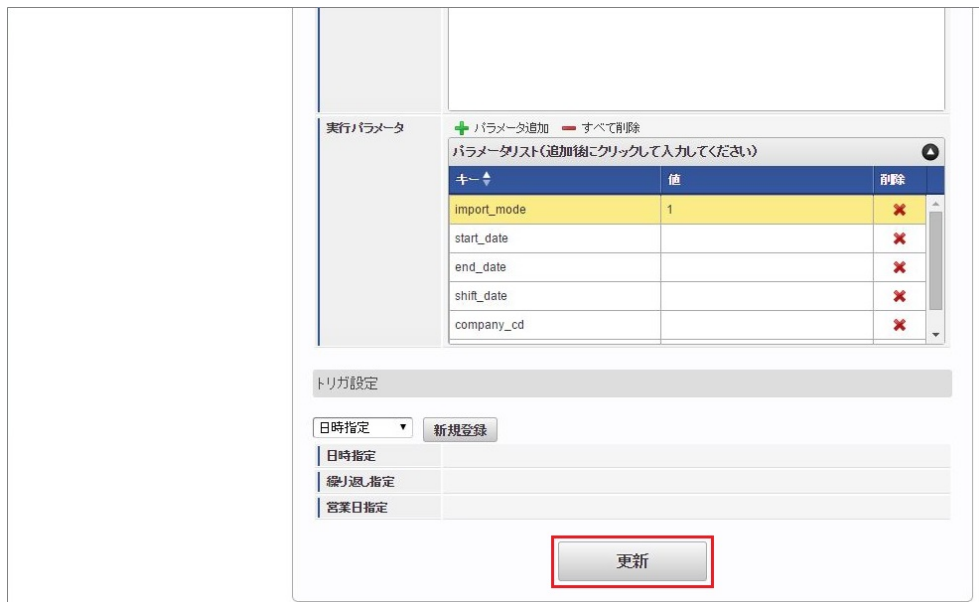
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

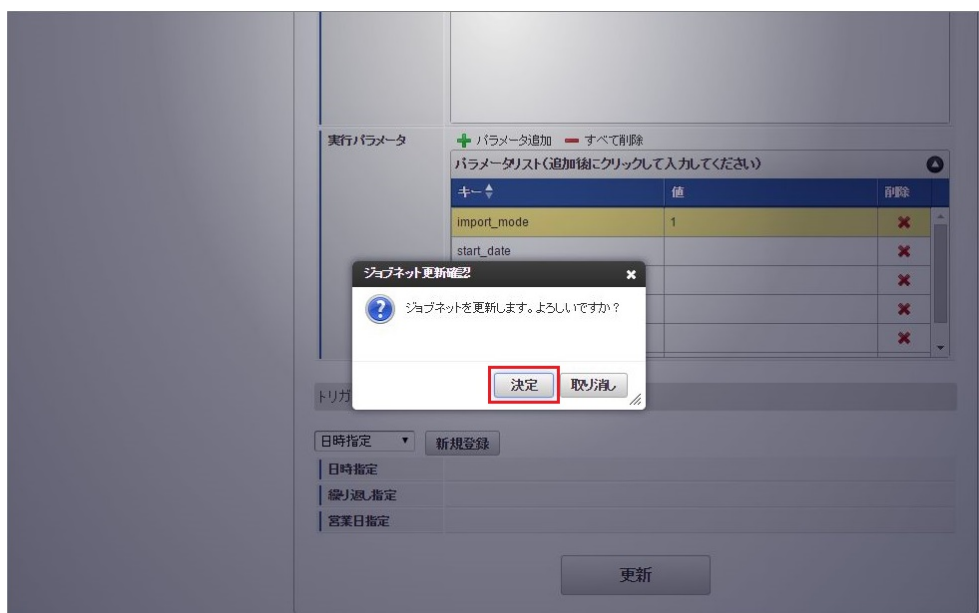
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-authority	Kaiden! / マスタ / インポート / 権限設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none">■ 1：単一期間（差分）モード■ 2：単一期間（一新）モード（インポートファイルにないデータは、未来の期間を無効状態にしません。）■ 3：単一期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
インポートファイル	target_file	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/import/authsetting/auth_import.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none">■ UTF-8■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none">■ ,：カンマ■ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none">■ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
アーカイブファイル	archive_file	インポートファイルのアーカイブ先を設定します。 (省略時：kaiden/archive/import/authsetting/auth_{YMDHMSN}.csv)
ファイル削除判定	delete_flag	インポートファイルの削除有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none">■ true：削除する■ false：削除しない

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

概要

IM-Workflowでは、コンテンツ定義とルート定義の組合せでフロー定義（ワークフロー機能）を構築しています。
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、IM-Workflowのコンテンツ定義を設定で作成する機能を提供しています。

次項の[コンテンツ定義](#)では、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるコンテンツ定義の作成方法を説明します。
コンテンツ定義を作成後、ルート定義・フロー定義を行います。

コラム

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義の作成は、申請書マスタメンテナンス機能を利用します。
申請書マスタメンテナンス機能では、ガジェットを組み合わせることでコンテンツ定義を作成します。
ガジェットの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照してください。

コンテンツ定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義は、申請書マスタメンテナンス機能で作成します。
申請書マスタメンテナンス機能では、ガジェットを組み合わせることでコンテンツ定義を作成します。

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用した、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるコンテンツ定義の作成方法を説明します。

コラム

ガジェットの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照してください。
初期データに含まれているコンテンツは、[初期データ](#)を参照してください。

注意

申請書マスタメンテナンス機能では、コンテンツ定義の基本情報・画面・ユーザプログラムを作成します。
IM-Workflowのコンテンツ定義編集画面で、コンテンツ定義の基本情報・画面・ユーザプログラムを変更しないでください。
ユーザプログラムの追加やメール、ルールの追加は行うことができます。

新規登録

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツの新規登録方法を説明します。
コンテンツバージョン設定の詳細は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照してください。

- [コンテンツ登録](#)
- [コンテンツバージョン登録](#)

コンテンツ登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 申請書タイプ
作成したい申請書によって選択する申請書タイプが異なります。
登録後の変更はできません。

コラム

申請書タイプは次の種類があります。

申請書タイプ	説明
一般	汎用的な申請書です。
事前申請書(仕訳対象)	出張や物品購入などを起案し上司に決裁を仰ぐことを目的とした申請書です。
精算申請書(仕訳対象)	事前申請書にて承認された行為に対する報告や立替精算を目的とした申請書です。
請求書払申請書(仕訳対象)	請求書や納品書への経費支払を目的とした申請書です。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



コンテンツバージョン登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



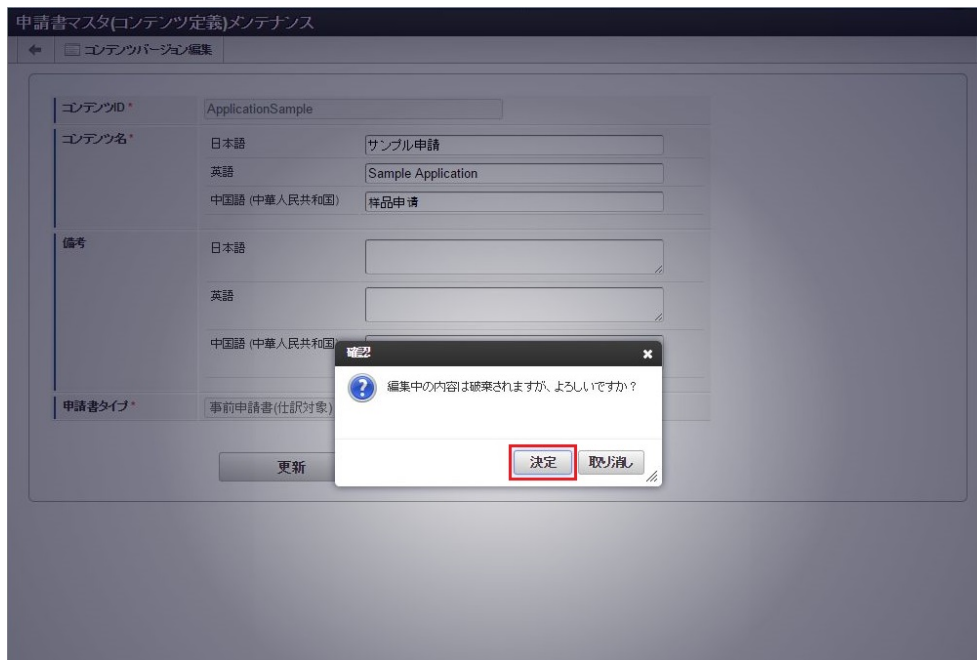
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)
開始日	2000/01/01
終了日	2999/12/31
ステータス	有効 無効
案件番号採番クラス	標準(すべての申請書で通し番号)
備考	日本語 英語 中国語(中華人民共和国)
コンテンツ定義	<input type="checkbox"/> 画面情報を変更しない <input type="checkbox"/> ユーザプログラムを変更しない
画面種別設定	
プログラム設定	
パラメータ設定	

申請書カジェット

ガジェット追加

- 仮払情報
- 旅程明細
- 宿泊明細
- 備考

申請書プレビュー

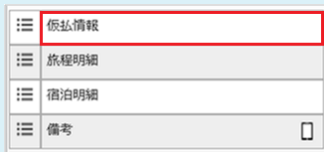
- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
[案件番号採番ルール\(フロー連携\)マスタ](#)で設定したフローと紐付く場合、「拡張(採番ルール定義による採番番号)」を設定してください。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。
- コンテンツ定義
コンテンツバージョンの変更方法を選択します。
(更新時のみ有効です。)
- 画面情報を変更しない
チェックした場合は、コンテンツの画面情報を変更しません。
チェックをしていない場合は、コンテンツの画面情報を変更(洗い替え)を行います。
- ユーザプログラムを変更しない
チェックした場合は、コンテンツのユーザプログラムを変更しません。
チェックをしていない場合は、コンテンツのユーザプログラムを変更(洗い替え)を行います。
- 画面種別設定
利用する画面情報を設定します。
設定方法の詳細は、[画面種別設定](#)を参照してください。
- プログラム設定
利用するユーザプログラムの情報を設定します。
設定方法の詳細は、[プログラム設定](#)を参照してください。
- パラメータ設定
利用するパラメータの情報を設定します。
設定方法の詳細は、[パラメータ設定](#)を参照してください。
- ガジェット
利用するガジェットを設定します。

設定方法の詳細は、[ガジェット設定](#)を参照してください。

i コラム

利用するガジェットの設定アイコンをクリックし、次の設定を行うことができます。

- [ラベル設定](#)
- [拡張テキスト設定](#)



i コラム

申請書タイプにより、「申請書に追加済のガジェット」にガジェットが初期設定されている場合があります。

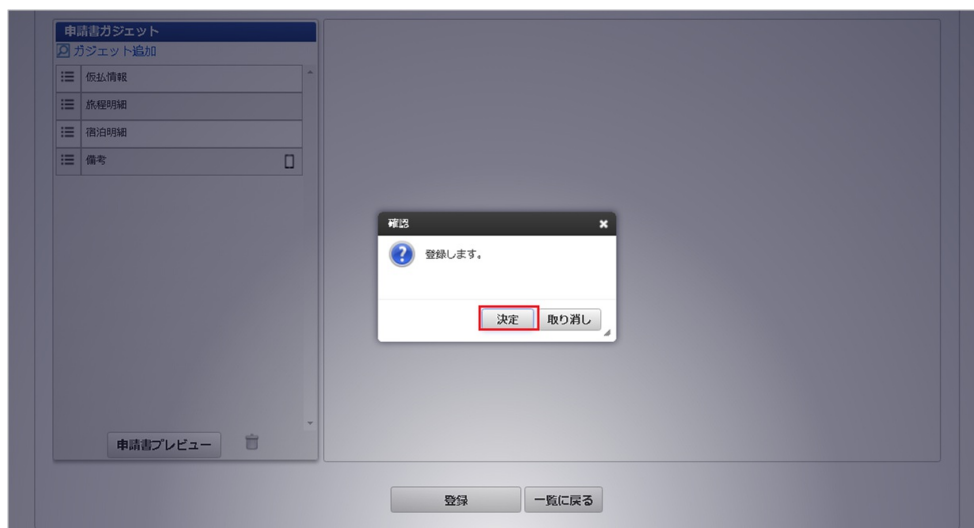
申請書タイプ	初期表示ガジェット
一般	
事前申請書(仕訳対象)	仮払情報
精算申請書(仕訳対象)	精算情報
請求書払申請書(仕訳対象)	請求書払情報

! 注意

ガジェットの組み合わせには一部制限があります。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』-「補足」-「ガジェット設定」を参照してください。

8. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



9. 新規登録することができました。



更新

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツの新規登録方法を説明します。
コンテンツバージョン設定の詳細は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照してください。

! 注意

すでにフロー定義に連携済みのコンテンツ情報の変更も行えますが、申請済みの申請書にも変更が反映されますので注意してください。

すでにフロー定義に連携済みのコンテンツは次の様な警告を表示しています。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

新規登録

⚠ フロー定義に連携済みです。すでに申請済みの申請書にも変更が反映されますので注意してください。

コンテンツID: gnepadv_01
 コンテンツ名: 経費事前申請
 申請書タイプ: 事前申請書(仕訳対象)

No	▲ 開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	2000/01/01	2999/12/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

- コンテンツ更新
- コンテンツバージョン更新

コンテンツ更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
1. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ
----	-----------	--------	--------

2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
1	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
2	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
3	billpayment_v01	請求書払申請	請求書払申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
4	commroute_v01	通勤経路変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
5	etexpadv_v01	交際費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	etexpadv_v02	交際費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
7	etexpstl_v01	交際費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
8	etexpstl_v02	交際費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
9	general_v01	汎用申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
10	gnexpadv_v01	経費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
11	gnexpadv_v02	経費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
12	gnexpstl_v01	経費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
13	gnexpstl_v02	経費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
14	trexpadv_v01	出張事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶

最初へ前へ 1 2 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID * ApplicationSample

コンテンツ名 *

日本語	サンプル申請
英語	Sample Application
中国語(中華人民共和国)	样品申请

備考

日本語	
英語	
中国語(中華人民共和国)	

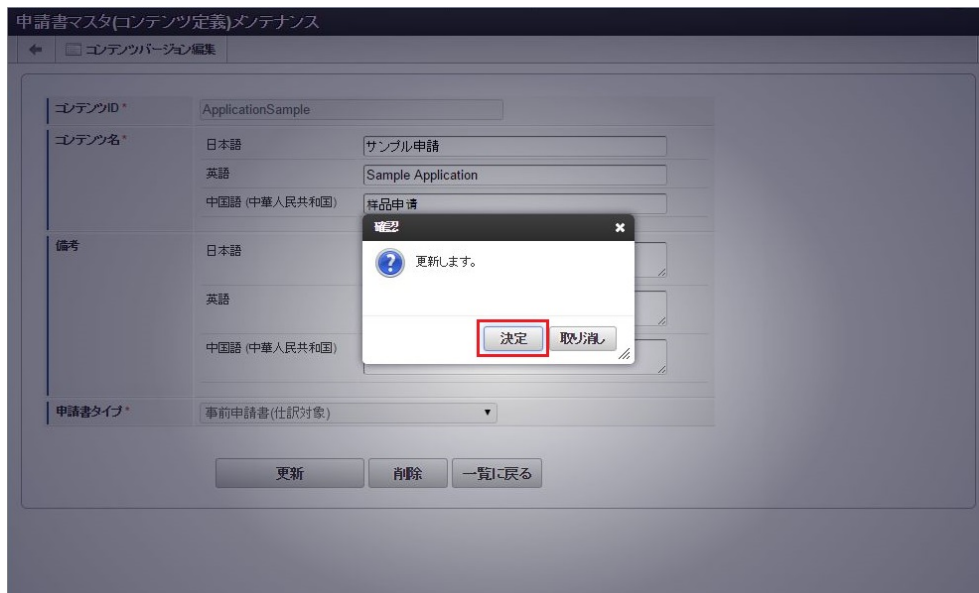
申請書タイプ * 事前申請書(仕訳対象)

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- コンテンツID
- 申請書タイプ

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 更新することができました。



コンテンツバージョン更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



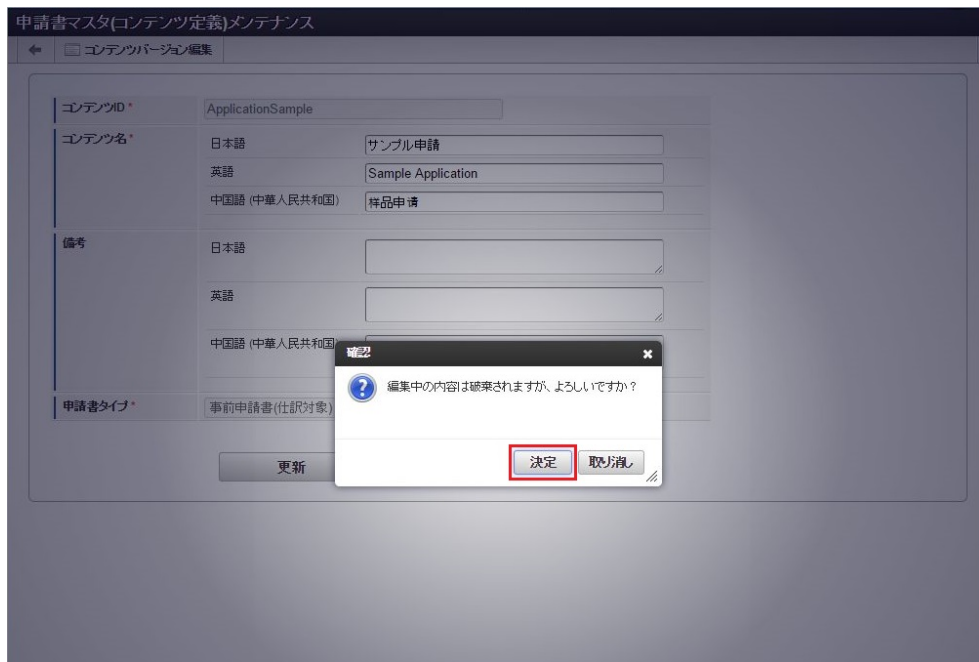
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

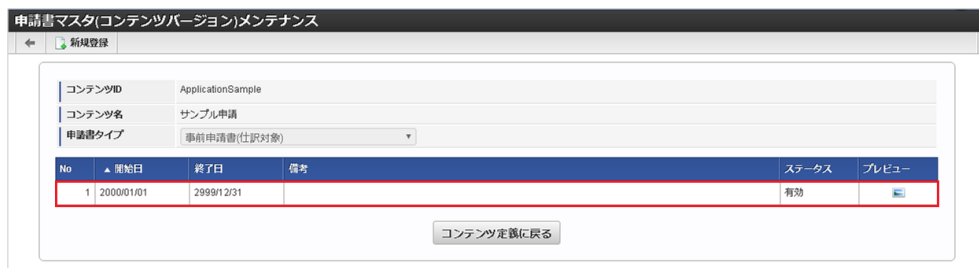


i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー 連携精算申請書作成

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)
開始日	2000/01/01
終了日	2999/12/31
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
案件番号振替クラス	標準(すべての申請書で通し番号)
備考	日本語 <input type="text"/>
	英語 <input type="text"/>
	中国語(中華人民共和国) <input type="text"/>
コンテンツ定義	<input type="checkbox"/> 画面情報を変更しない <input checked="" type="checkbox"/> ユーザプログラムを変更しない
画面種別設定	+
プログラム設定	+
パラメータ設定	+

申請書ガジェット

ガジェット追加

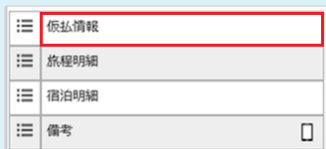
≡	仮払情報	+
≡	旅程明細	
≡	宿泊明細	
≡	備考	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー

📘 コラム

利用するガジェットの設定アイコンをクリックし、次の設定を行うことができます。

- [ラベル設定](#)
- [拡張テキスト設定](#)

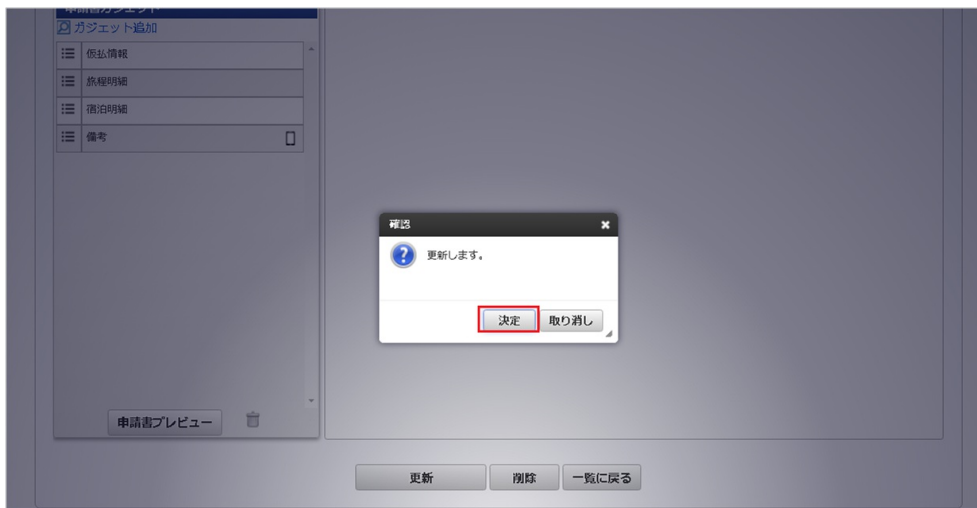


⚠️ 注意

ガジェットの組み合わせには一部制限があります。

詳細は『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』-「補足」-「ガジェット設定」を参照してください。

8. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



9. 更新することができました。



コピー

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツのコピー方法を説明します。

- コンテンツコピー
- コンテンツバージョンコピー

コンテンツコピー

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
1	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
2	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
3	billpayment_v01	請求書払申請	請求書払申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
4	commroute_v01	通勤経路変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
5	etexpadv_v01	交際費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	etexpadv_v02	交際費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
7	etexpstl_v01	交際費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
8	etexpstl_v02	交際費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
9	general_v01	汎用申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
10	gnexpadv_v01	経費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
11	gnexpadv_v02	経費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
12	gnexpstl_v01	経費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
13	gnexpstl_v02	経費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
14	trexpadv_v01	出張事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶

最初へ前へ 1 2 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。

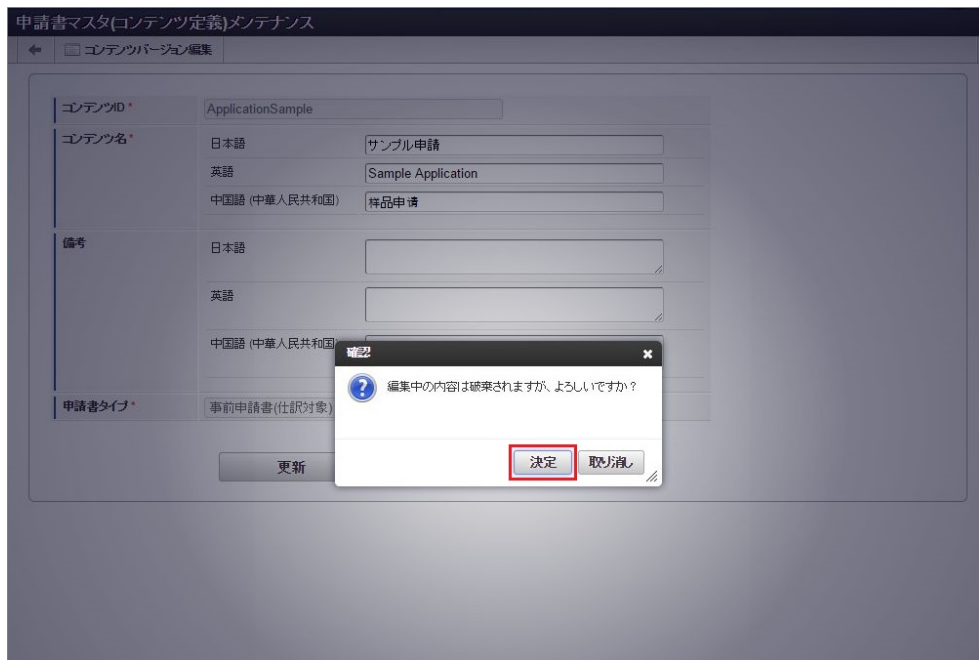
申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID *	ApplicationSample		
コンテンツ名 *	日本語	サンプル申請	
	英語	Sample Application	
	中国語(中華人民共和国)	特品申請	
備考	日本語		
	英語		
	中国語(中華人民共和国)		
申請書タイプ *	事前申請書(仕訳対象)		

更新 削除 一覧に戻る

5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

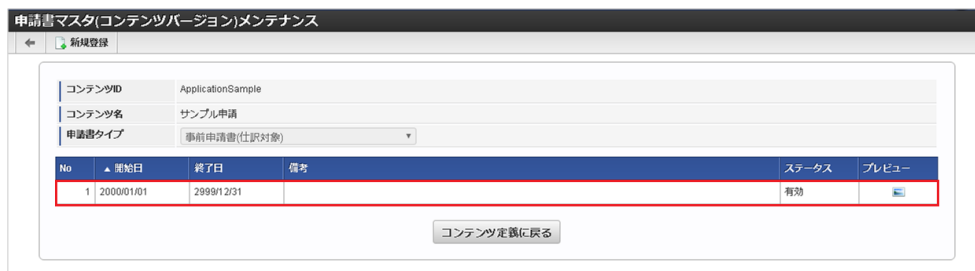


i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「コンテンツコピー」をクリックします。



8. コンテンツコピー画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

10. コピーすることができました。

i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面で、コピーされたコンテンツを確認してください。

コンテンツバージョンコピー

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID *	ApplicationSample	
コンテンツ名 *	日本語	サンプル申請
	英語	Sample Application
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请
備考	日本語	
	英語	
	中国語 (中華人民共和国)	
申請書タイプ *	事前申請書(仕訳対象)	

更新 削除 一覧に戻る

5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID *	ApplicationSample	
コンテンツ名 *	日本語	サンプル申請
	英語	Sample Application
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请
備考	日本語	
	英語	
	中国語 (中華人民共和国)	
申請書タイプ *	事前申請書(仕訳対象)	

更新

確認

編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか？

決定 取り消し

i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID	ApplicationSample	
コンテンツ名	サンプル申請	
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)	

No	▲ 開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	200001/01	299912/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「バージョンコピー」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー 連携積算申請書作成

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)

8. バージョンコピー画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

バージョンコピー (申請書マスタメンテナンス)

←

期間一覧 2000/01/01- 2999/12/31 コピー元のバージョン	開始日 * - 終了日 * 2015/02/01 - 2999/12/31 ステータス * <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 案件番号採番クラス * 標準(すべての申請書で通し番号) 備考 日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)
--------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

コピー 戻る

- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

バージョンコピー (申請書マスタメンテナンス)

←

期間一覧 2000/01/01- 2999/12/31 コピー元のバージョン	開始日 * - 終了日 * 2015/02/01 - 2999/12/31 ステータス * <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 案件番号採番クラス * 標準(すべての申請書で通し番号) 備考 日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)
--------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

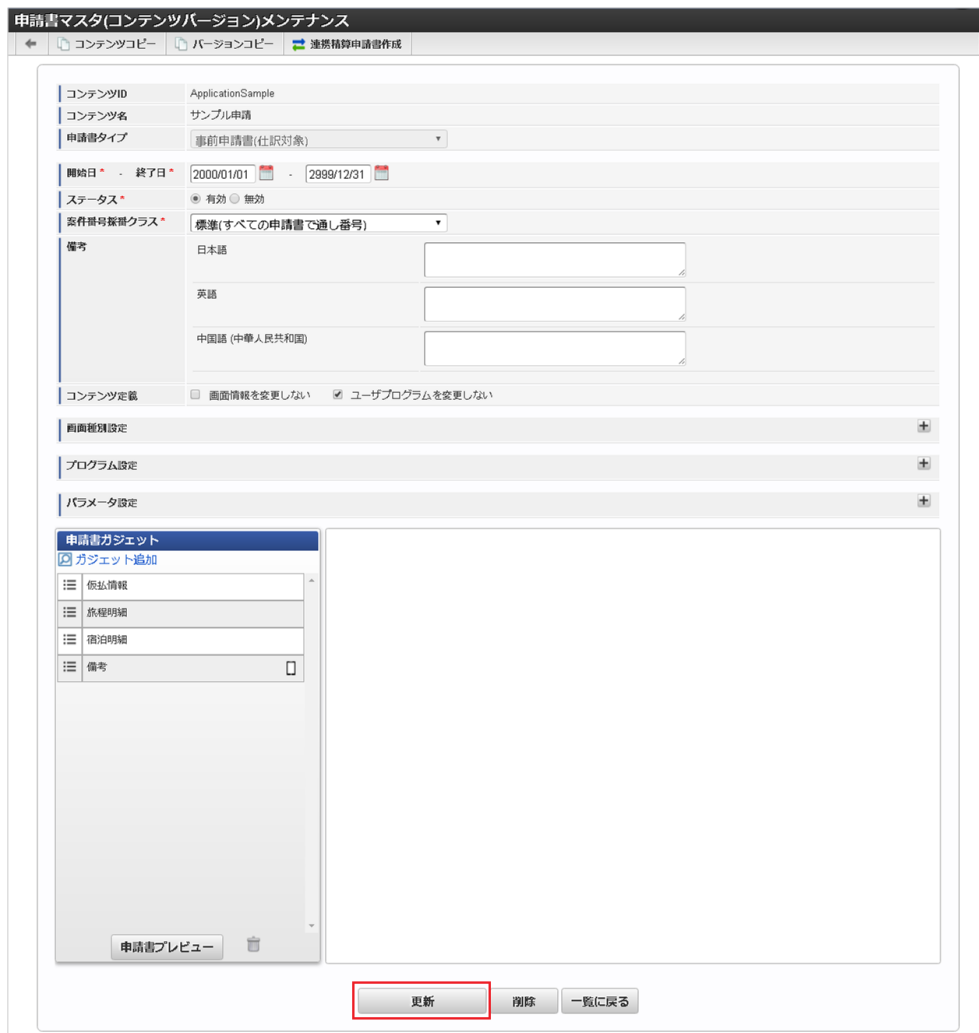
確認

コピーします。

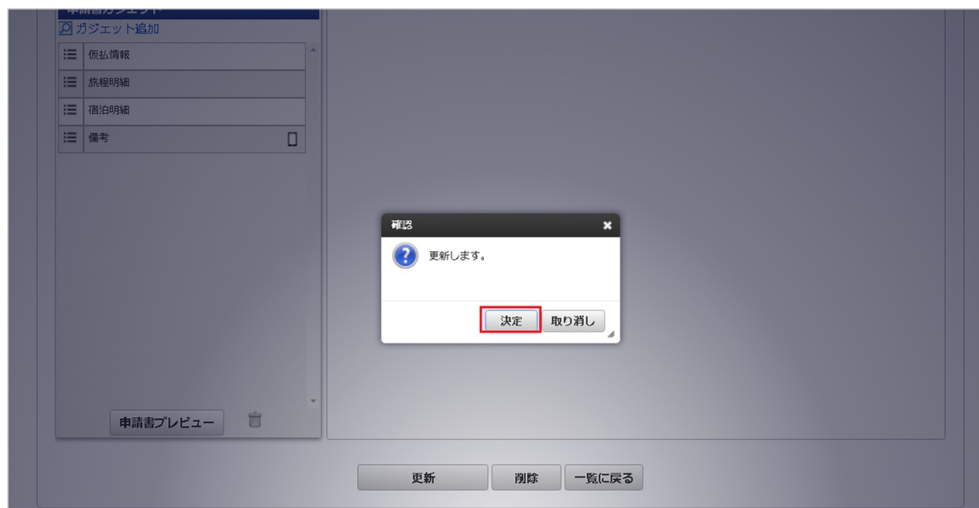
決定 取り消し

コピー 戻る

10. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



11. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



12. 更新することができました。



- 連携精算申請書作成
- 申請書連携設定

連携精算申請書作成

本項では、申請書連携用コンテンツの作成方法を説明します。

申請書マスタメンテナンス機能では、次の様に申請書連携用コンテンツをコピーして作成することができます。

- 事前申請のコンテンツから、精算申請のコンテンツを作成（コピー）する
- 精算申請のコンテンツから、事前申請のコンテンツを作成（コピー）する

作成後は、[申請書連携設定](#)が設定済の状態として設定されます。

申請書連携用コンテンツをコピーして作成する場合には、精算情報ガジェットと仮払情報ガジェットが自動的に切り替わります。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID * ApplicationSample

コンテンツ名 *
日本語 サンプル申請
英語 Sample Application
中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

申請書タイプ * 事前申請書(仕訳対象)

更新 削除 一覧に戻る

5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID * ApplicationSample

コンテンツ名 *
日本語 サンプル申請
英語 Sample Application
中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

申請書タイプ * 事前申請書(仕訳対象)

更新

確認
編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか?
決定 取り消し

コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集
6	bankaccount_01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID ApplicationSample

コンテンツ名 サンプル申請

申請書タイプ 事前申請書(仕訳対象)

No	開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	200001/01	299912/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「連携精算申請書作成」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー **連携精算申請書作成**

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)

8. 連携精算申請書作成画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

連携精算申請書作成 (申請書マスタメンテナンス)

←

コンテンツID *			
コンテンツ名 *	日本語	サンプル申請	
	英語	Sample Application	
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请	
備考	日本語		
	英語		
	中国語 (中華人民共和国)		
開始日 *	2000/01/01	終了日 *	2999/12/31
ステータス *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
案件番号採番クラス *	標準(すべての申請書で通し番号)		
備考	日本語		
	英語		
	中国語 (中華人民共和国)		

コピー 戻る

- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



10. 申請書連携用コンテンツを作成することができました。



コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面で、コピーされたコンテンツを確認してください。

申請書連携設定

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、事前申請書と精算申請書を連携させることができます。事前申請書と精算申請書を連携することで、仮払金の精算など複数の申請書を用いることで完結する業務を実現することができます。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「事前申請書-精算申請書連携設定」をクリックします。



3. 事前申請書-精算申請書連携設定画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



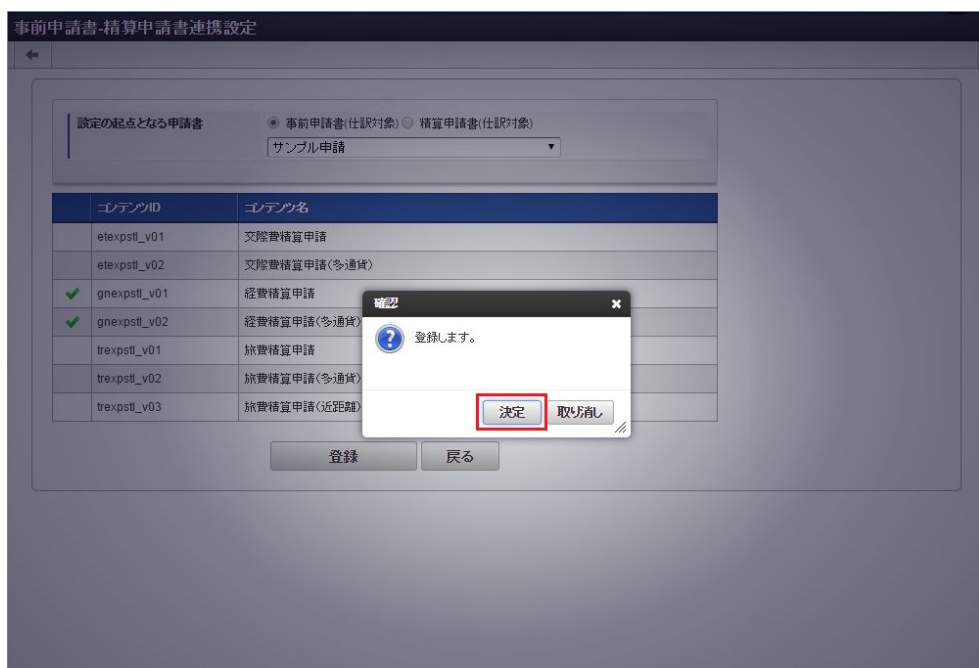
- 設定の起点となる申請書
連携元の申請書を選択します。
- コンテンツ
連携先の申請書を選択します。

i コラム

「1 : 1」の連携だけではなく「n : m」の連携が可能です。



4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

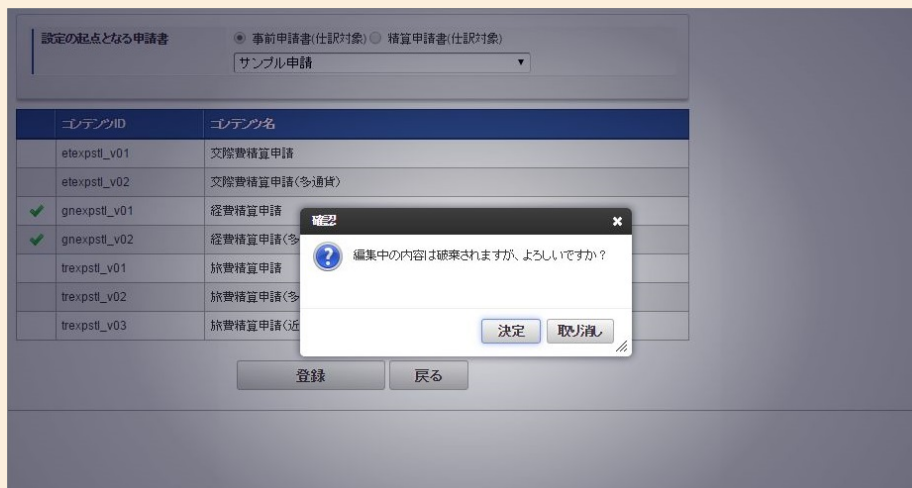


5. 登録することができました。



注意

申請書連携設定を行っていない場合でも「戻る」ボタンをクリック時に、「編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか?」という確認ダイアログが表示されます。



プレビュー表示

申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面では、申請書のプレビューを表示できます。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
1	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
2	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
3	billpayment_v01	請求書払申請	請求書払申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
4	commroute_v01	通勤経路変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
5	etexpadv_v01	交際費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	etexpadv_v02	交際費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
7	etexpstl_v01	交際費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
8	etexpstl_v02	交際費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
9	general_v01	汎用申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
10	gnexpadv_v01	経費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
11	gnexpadv_v02	経費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
12	gnexpstl_v01	経費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
13	gnexpstl_v02	経費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
14	trexpadv_v01	出張事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶

最初へ前へ 1 2 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「プレビュー」欄のアイコンをクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID: ApplicationSample
 コンテンツ名: サンプル申請
 申請書タイプ: 事前申請書(仕訳対象)

No	▲開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	2000/01/01	2999/12/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

5. ポップアップが表示されたら、ロケール・画面種別を選択して「表示」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID: ApplicationSample
 コンテンツ名: サンプル申請
 申請書タイプ: 事前申請書(仕訳対象)

No	▲開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	2000/01/01	2999/12/31		有効	

申請書プレビュー

ロケール: 日本語
 画面種別: 申請

- ロケール
プレビューを表示する言語を選択します。
- 画面種別
プレビューを表示する画面の種別を選択します。
[画面種別設定](#)で設定したPC用画面の画面種別を選択できます。
スマートフォン用画面のプレビューは表示できません。

6. 申請書のプレビューが表示されます。

振込情報

振込希望日:

振込金額:

振込手続:

部門: サンプル課1 1

プロジェクト: 〇〇情報システム株式会社 ワークフローシステム再構築プロジェクト

本項では、コンテンツバージョン設定時の操作方法を説明します。

- 画面種別設定
- プログラム設定
- パラメータ設定
- ガジェット設定
 - 利用ガジェット設定
 - 申請書プレビュー
- ラベル設定
- 拡張テキスト設定
- 項目設定
 - 入力／表示設定
 - 必須／任意設定
 - チェックルール設定
 - 明細制御設定
 - ガジェット表示設定

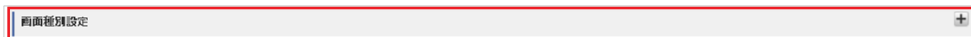
画面種別設定

画面種別設定では、IM-Workflowで使用する画面（申請画面や処理画面など）を設定します。

IM-Workflowの処理に必要な画面は、新規作成時に自動設定されますので、標準的な画面のみを使用する場合は変更の必要はありません。

参照と特定項目の入力を行う画面の2種類の処理画面を設定する場合や、同一種類の画面で必須項目を変更する場合などで使用します。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録／更新画面を表示した時点では、画面種別設定は省略表示となっていますので、「画面種別設定」をクリックします。



2. 画面種別設定で必要な情報を設定します。

画面種別	画面名	初期使用
1 申請	日本語 申請 英語 Apply 中国語 (中華人民共和国) 申請	<input checked="" type="checkbox"/>
2 一時保存	日本語 一時保存 英語 Save temporary 中国語 (中華人民共和国) 临时保存	<input checked="" type="checkbox"/>
3 申請(起草案件)	日本語 申請(起草案件) 英語 Apply (Draft application) 中国語 (中華人民共和国) 申请(申请案件)	<input checked="" type="checkbox"/>
4 再申請	日本語 再申請 英語 Re-Apply 中国語 (中華人民共和国) 再申请	<input checked="" type="checkbox"/>
5 処理	日本語 処理 英語 Process 中国語 (中華人民共和国) 处理	<input checked="" type="checkbox"/>
6 確認	日本語 確認 英語 Confirmation 中国語 (中華人民共和国) 确认	<input checked="" type="checkbox"/>
7 処理詳細	日本語 処理詳細 英語 Process Detail 中国語 (中華人民共和国) 处理详细	<input checked="" type="checkbox"/>

8	参照詳細	日本語	参照詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Reference Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	参照詳細		
		基底JSPパス(PC)			
		基底JSPパス(SP)			
9	確認詳細	日本語	確認詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(PC)
		英語	Confirmation Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	確認詳細		
		基底JSPパス(PC)			
		基底JSPパス(SP)			
10	過去詳細	日本語	過去詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(PC)
		英語	Archive Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	存档詳細		
		基底JSPパス(PC)			
		基底JSPパス(SP)			
11	申請(sp)	日本語	申請(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Apply (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	申請(sp)		
		基底JSPパス(SP)			
12	一時保存(sp)	日本語	一時保存(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Save temporary (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	临时保存(sp)		
		基底JSPパス(SP)			
13	申請(起草案件)(sp)	日本語	申請(起草案件)(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Apply (Draft application) (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	申請(申請案件)(sp)		
		基底JSPパス(SP)			
14	再申請(sp)	日本語	再申請(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Re-Apply (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	再申請(sp)		
		基底JSPパス(SP)			
15	処理(sp)	日本語	処理(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Process (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	処理(sp)		
		基底JSPパス(SP)			
16	確認(sp)	日本語	確認(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	基底JSPパス(SP)
		英語	Confirmation(sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	确认(sp)		
		基底JSPパス(SP)			

画面種別設定

- 画面種別
IM-Workflowの処理に必要な画面を選択します。
- 画面名
画面名を入力します。
- 初期使用
IM-Workflowの初期利用有無を選択します。
- 基底JSPパス
使用するJSPパスを設定します。
標準のJSPを使用する場合は変更の必要はありません。
JSPをカスタマイズした場合、「kaiden2」以下のパスを設定してください。
画面種別が次の場合、基底JSPパスにPCとSPの両方を設定できます。
 - 処理詳細
 - 参照詳細
 - 確認詳細
 - 過去詳細

コラム

明細の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

**注意**

intra-mart Accel Platformの仕様により、初期使用にチェックしていないスマートフォン用の画面定義を作成しても、フロー定義で設定することができません。

3. 設定後、画面種別設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

プログラム設定

プログラム設定では、IM-Workflowの処理時に実行するプログラムを設定します。
標準的な処理のみを使用する場合は設定の必要はありません。
また、ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、プログラムを設定できます。
設定可能なプログラムは [ユーザプログラムの設定](#) を参照してください。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面を表示した時点では、プログラム設定は省略表示となっていますので、「プログラム設定」をクリックします。

2. プログラム設定で必要な情報を設定します。

- ユーザプログラム
IM-Workflowの処理時に実行するプログラムを設定します。
- 実行順番
処理の実行順番を設定します。

**コラム**

明細の操作方法は、[明細行の操作](#) を参照してください。

3. 設定後、プログラム設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

パラメータ設定

パラメータ設定では、プログラム設定で設定したプログラムで使用するパラメータを設定します。
プログラム設定を設定しない場合は設定の必要はありません。
また、ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、設定可能なパラメータは [ユーザプログラムの設定](#) を参照してください。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面を表示した時点では、パラメータ設定は省略表示となっていますので、「パラメータ設定」をクリックします。

2. パラメータを設定する画面種別をクリックします。
パラメータは画面種別ごとに異なる値を設定できます。

3. パラメータ設定で必要な情報を設定します。

申請	処理
一般旅行	
申請(標準案件)	
再申請	
処理	
申請(特)	
一般旅行(特)	
申請(標準案件(特))	
再申請(特)	
処理(特)	

パラメータキー	パラメータ値
1 parameterkey1	
2 parameterkey2	
3 parameterkey3	
4 parameterkey4	
5 parameterkey5	

- パラメータ値
プログラム設定で設定したプログラムで使用するパラメータの値を設定します。

4. 設定後、パラメータ設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

ガジェット設定

ガジェット設定では、申請画面や処理画面などで利用するガジェットを設定します。
各ガジェットの設定アイコンから、[ラベル設定](#)や[拡張テキスト設定](#)を変更することができます。

利用ガジェット設定

ガジェットの追加方法を説明します。

1. ガジェット追加アイコンをクリックします。

2. ガジェット検索画面がポップアップ表示します。
検索ボタンをクリックすると、絞り込み検索を実施できます。

3. 選択可能なガジェットに表示されている、追加したいガジェットをクリックします。

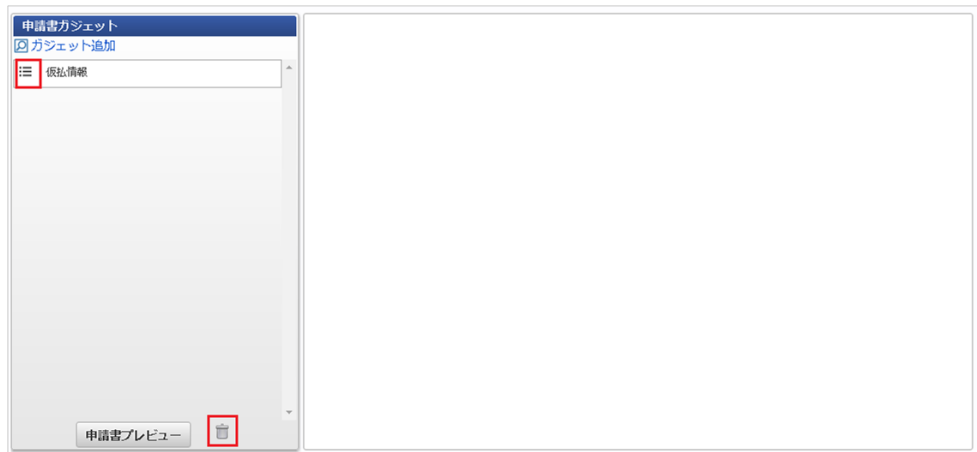
CTRLキーをクリックしながら各行をクリックすると、複数選択できます。

4. 追加ボタンをクリックすると、選択されたガジェットが追加されます。

5. 決定ボタンをクリックすると、選択したガジェットが追加されます。

- ガジェットの削除

「申請書ガジェット」に表示されているガジェットのリストアイコンをゴミ箱アイコンまでドラッグアンドドロップすると削除できます。

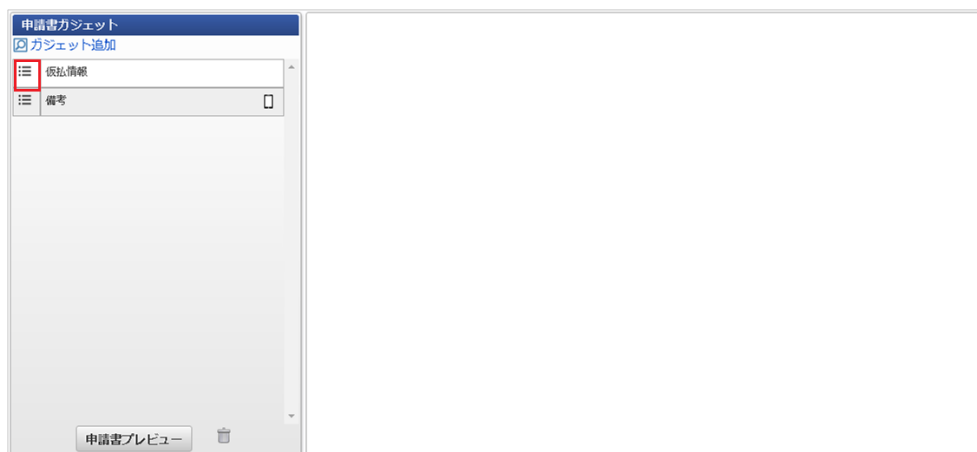


i コラム

ゴミ箱アイコンをダブルクリックすると、「申請書ガジェット」に表示されているガジェットを全て削除できます。

■ **ガジェットの表示順変更**

「申請書ガジェット」に表示されているガジェットをドラッグアンドドロップすることで、ガジェットの表示順を変更できます。



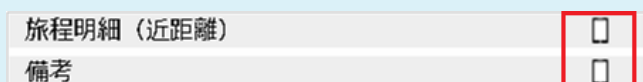
■ **ガジェットのラベル/項目設定**

「申請書ガジェット」に表示されているガジェット名をクリックすると、各ガジェットのラベル設定、項目設定を行うことができます。詳細は、[ラベル設定](#)、または[拡張テキスト設定](#)を参照してください。



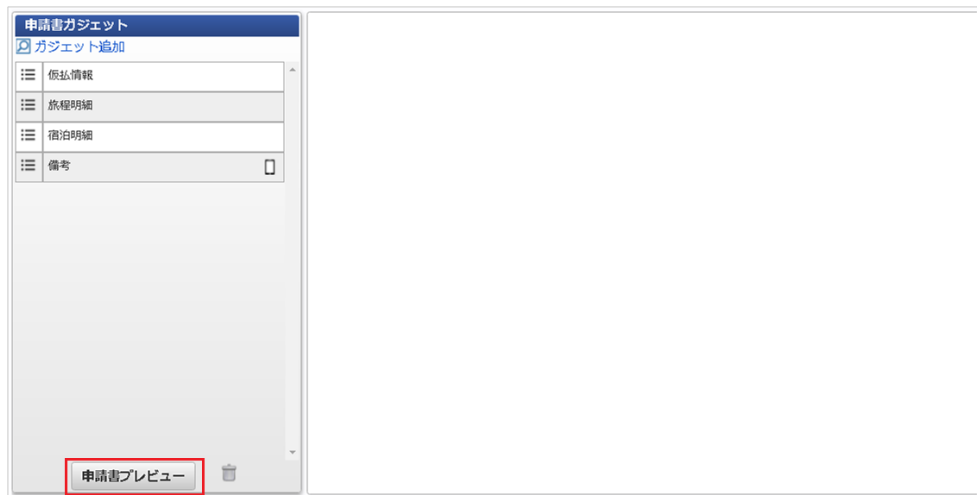
i コラム

ガジェット名の横にスマートフォンアイコンが表示されているガジェットは、スマートフォン用画面で入力可能なガジェットです。



申請書のプレビュー方法を説明します。

1. 「申請書プレビュー」ボタンをクリックします。



2. ポップアップが表示されたら、ロケール・画面種別を選択して「表示」をクリックします。



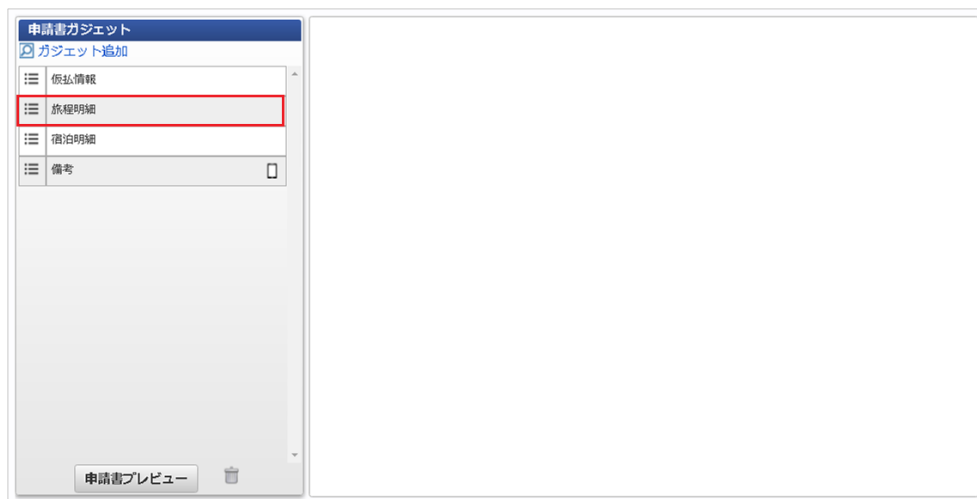
- ロケール
プレビューを表示する言語を選択します。
- 画面種別
プレビューを表示する画面の種別を選択します。
[画面種別設定](#)で設定したPC用画面の画面種別を選択できます。
スマートフォン用画面のプレビューは表示できません。

3. 申請書のプレビューが表示されます。



ラベル設定では、各ガジェットが保持する項目のラベルを設定することができます。

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「ラベル設定」をクリックします。



3. 言語を切り替えたい場合、各言語をクリックします。



4. 「変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベルの設定が保存されます。



i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベルの設定と項目の設定が全て保存されます。



i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows a web application interface with two main panels. The left panel, titled '申請書ガジェット' (Application Widgets), contains a list of widgets: 'ガジェット追加' (Add Widget), '仮払情報' (Provisional Payment Information), '旅程明細' (Itinerary Details), '宿泊明細' (Accommodation Details), and '備考' (Remarks). The right panel, titled '旅程明細' (Itinerary Details), contains a table with columns for 'project', 'roundTrip', 'routeDate', 'routeSearchLink', 'startingSpot', 'supplement', 'taxType', and 'travelRoute'. Below the table are sections for '英語' (English) and '中国語' (Chinese), followed by '変更を反映する' (Apply Changes) and '全ての変更を反映する' (Apply All Changes) buttons. At the bottom of the interface, the '更新' (Update) button is highlighted with a red box, along with '削除' (Delete) and '一覧に戻る' (Return to List) buttons.

拡張テキスト設定

拡張テキスト設定では、メッセージ表示ガジェットが表示する拡張テキストを設定することができます。

i コラム

拡張テキスト設定はメッセージ表示ガジェットのみ設定することが可能です。

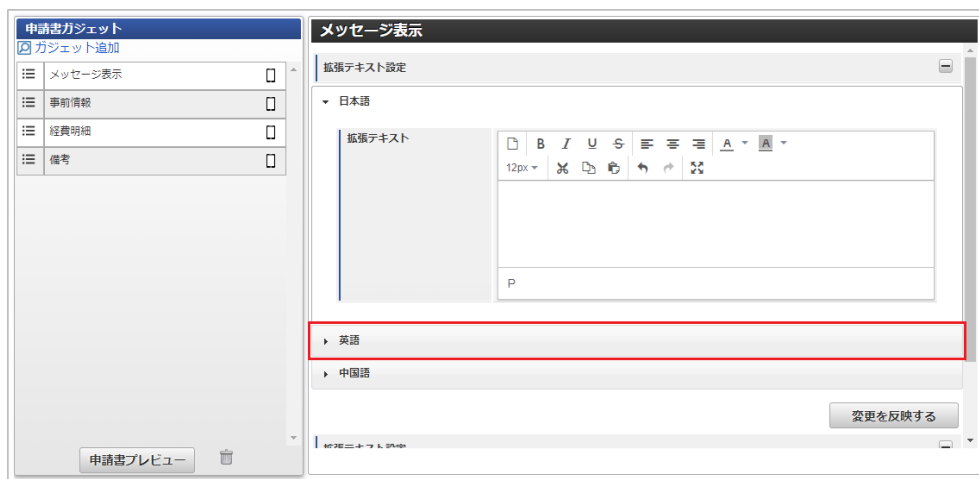
1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Widgets) panel. The 'メッセージ表示' (Message Display) widget is highlighted with a red box, indicating it is selected. Other widgets listed include 'ガジェット追加' (Add Widget), '事前情報' (Pre-information), '経費明細' (Expense Details), and '備考' (Remarks). The '申請書プレビュー' (Application Preview) button is visible at the bottom of the panel.

2. 「拡張テキスト設定」をクリックします。



3. 言語を切り替えたい場合、各言語をクリックします。



4. 「変更を反映する」ボタンをクリックすると、拡張テキストの設定が保存されます。

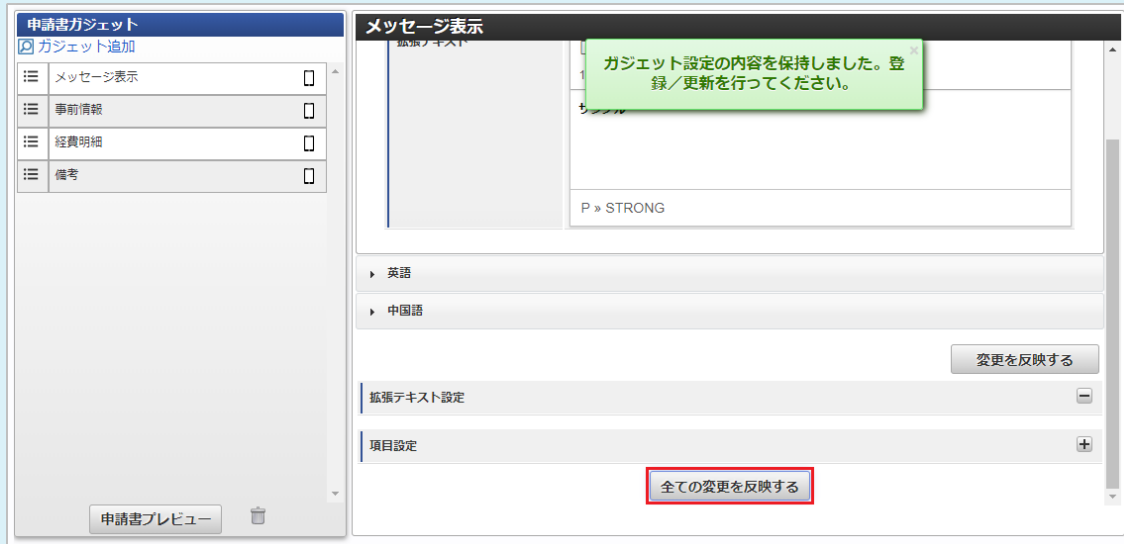


i コラム

拡張テキストのツールバーを操作することで文字サイズや文字色、太字などメッセージのスタイルを設定することができます。申請書に任意のメッセージを表示する方法は、「[申請書に任意のメッセージを表示する方法](#)」を参照してください。

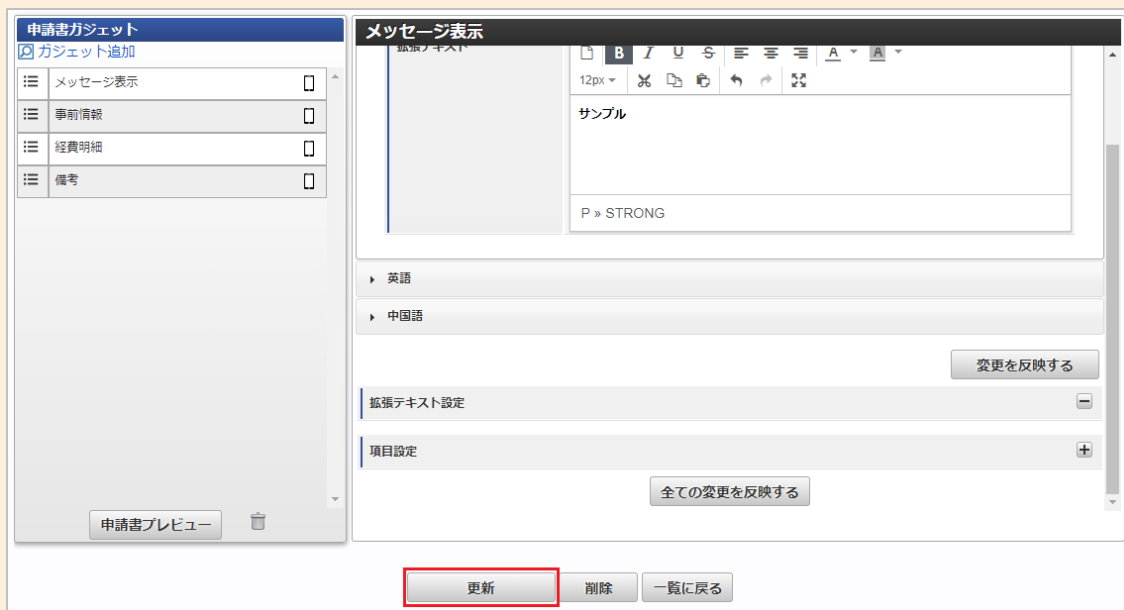
コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、拡張テキストの設定と項目の設定が全て保存されます。



注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
 「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、拡張テキスト設定、項目設定の変更が保存されません。
 また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。



項目設定

項目設定では、各ガジェットが保持する項目の次の設定について設定することができます。

- 入力／表示設定
- 必須／任意設定（必須チェックの有効／無効）
- チェックルール設定（入力チェックの設定）
- 明細制御設定（明細行の追加／削除の許可）
- ガジェット表示設定

入力／表示設定

入力／表示設定では、各ガジェットが保持する項目の入力有無を設定することができます。

i コラム

次の画面の項目は設定変更できません。

- 申請画面
- 一時保存画面
- 申請(起票案件)画面
- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面

次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

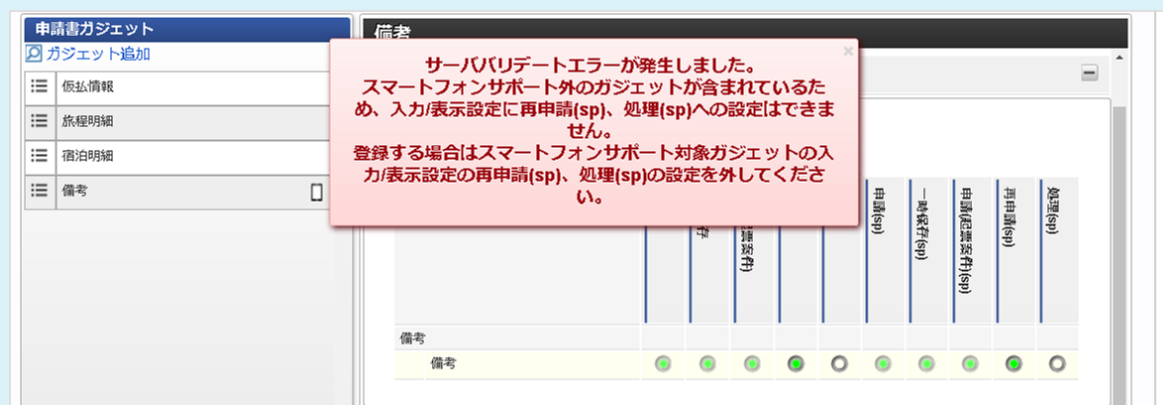
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

i コラム

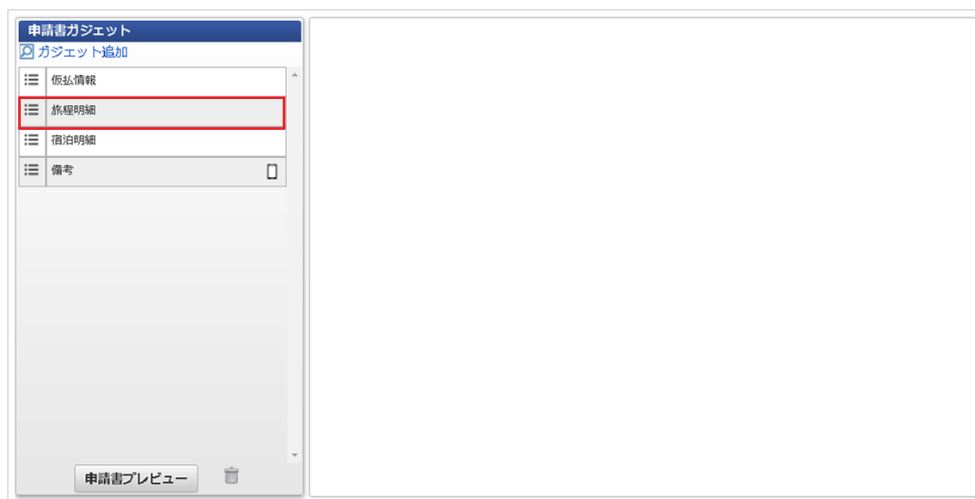
スマートフォン用画面で入力できないガジェットが含まれている場合は、入力/表示設定の次の画面の項目をラベル表示にしてください。

- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

テキスト表示項目にした場合、「更新」ボタンクリック時にエラーが発生します。



1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「入力／表示設定」をクリックします。



4. 入力／表示設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合はテキスト表示項目の設定です。
- 項目が未選択状態の場合はラベル表示項目の設定です。

コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

注意

各画面種別で必須入力かつテキスト表示の項目は、申請時、処理時等に必須チェックを実施します。そのため、該当の項目が空欄の場合、入力エラーが発生します。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) and '旅程明細' (Itinerary Details) sections. The '全ての変更を反映する' (Reflect all changes) button is highlighted with a red box. A green tooltip message is displayed over the '変更を反映する' (Reflect changes) button, stating: 'ガジェット設定の内容を保持しました。登録/更新を行ってください。' (Gadget settings content is maintained. Please register/update.)

i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。
また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the same application interface as above, but with the '更新' (Update) button highlighted in red. The '全ての変更を反映する' (Reflect all changes) button is also visible.

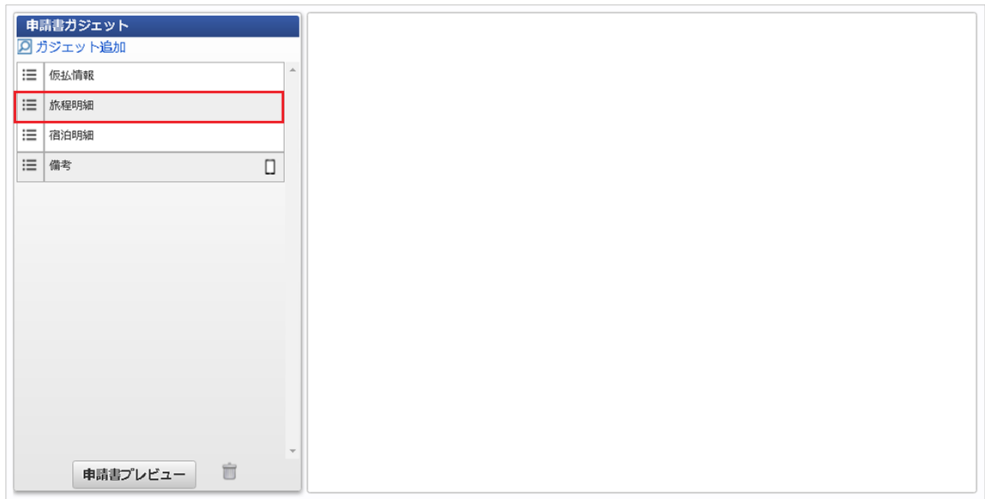
必須/任意設定

項目の必須/任意設定では、各ガジェットが保持する項目の必須入力有無（必須チェックの有効/無効）を設定することができます。項目の入力を必須に設定することで、各画面で対象項目を未入力の場合にエラーとすることができます。

i コラム

各ガジェットでシステム上必要な項目は設定できません。
必須/任意設定の画面に表示されている項目のみ設定変更が可能です。

1. 設定を行うガジェットの名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「必須／任意設定」をクリックします。



4. 必須／任意設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- チェックボックスにチェックした場合は必須項目の設定です。
- チェックボックスにチェックしていない場合は任意項目の設定です。

i コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

必須設定例

		画面種別				
		申請	一時保存	申請 (起票案件)	再申請	処理
項 目	項目A	○	○	○	○	
	項目B					○

上記のように設定した場合、項目Aと項目Bは以下の通り設定されます。

- 項目A
申請／一時保存／申請（起票案件）画面の「申請」クリック時、必須チェック
再申請画面の「再申請」クリック時、必須チェック
- 項目B
処理画面の「処理」クリック時、必須チェック

! 注意

各画面種別で必須入力かつテキスト表示の項目は、申請時、処理時等に必須チェックを実施します。そのため、該当の項目が空欄の場合、入力エラーが発生します。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) and '旅程明細' (Itinerary Details) sections. The '全ての変更を反映する' button is highlighted with a red box. A green tooltip message is displayed over the '旅程明細' table, stating: 'ガジェット設定の内容を保持しました。登録/更新を行ってください。' (Gadget settings are maintained. Please register/update.)

project	プロジェクト	プロジェクト	
roundTrip	往復	往復	
routeDate	日付	日付	
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携	
startingSpot	出発地	出発地	
supplement	補足	補足	
taxType	税区分	税区分	
travelRoute	利用区間	利用区間	

i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。
また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) and '旅程明細' (Itinerary Details) sections. The '更新' (Update) button is highlighted with a red box. The '全ての変更を反映する' button is also visible.

project	プロジェクト	プロジェクト	
roundTrip	往復	往復	
routeDate	日付	日付	
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携	
startingSpot	出発地	出発地	
supplement	補足	補足	
taxType	税区分	税区分	
travelRoute	利用区間	利用区間	

チェックルール設定

チェックルール設定では、各ガジェットが保持する項目の入力チェックを設定することができます。
設定可能なチェックは、『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』 - 「リファレンス」 - 「バリデーション処理」を参照してください。

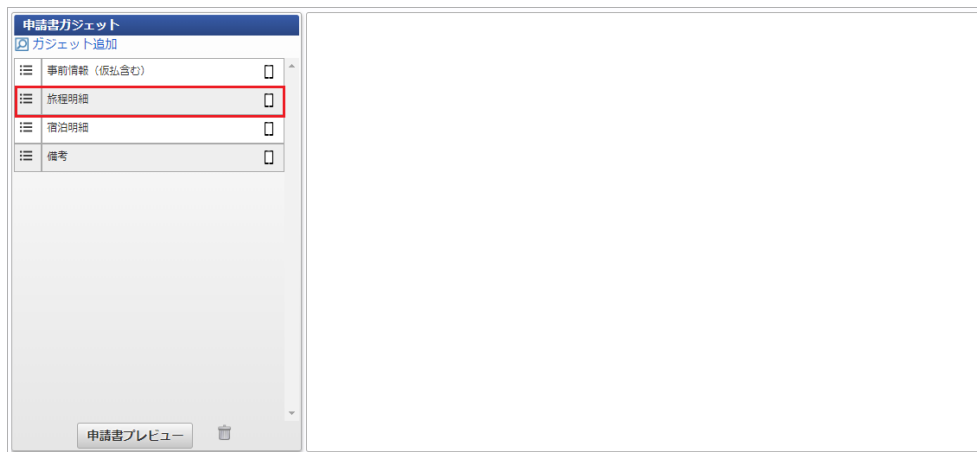
i コラム

チェックルール設定に対応していないガジェットは、チェックルール設定画面が表示されません。
GadgetBuilder版のガジェットがチェックルール設定に対応しています。
GadgetBuilder版ではないガジェットと一部のGadgetBuilder版のガジェットはチェックルールに対応していません。

! 注意

誤った設定を実施すると、申請書が正常に動作しない可能性があります。

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「チェックルール設定」をクリックします。

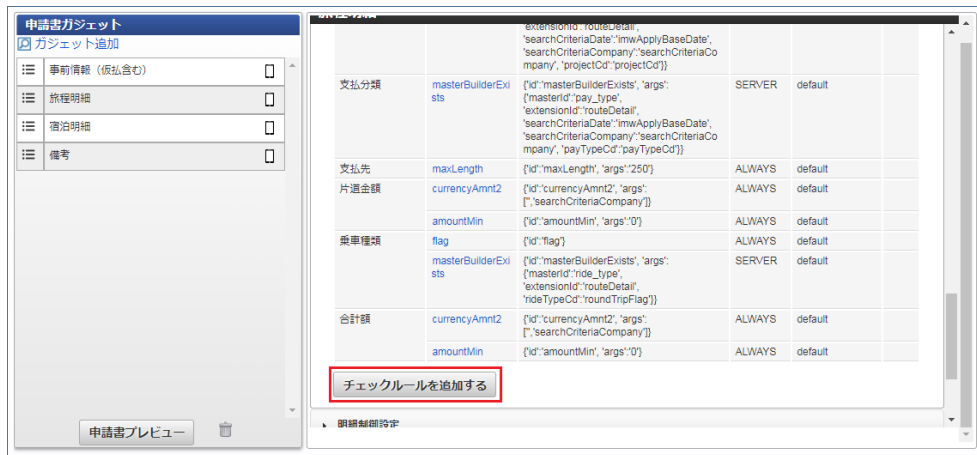


4. GadgetBuilder定義ファイルで定義された項目が表示されます。
GadgetBuilder定義ファイルで定義された項目を削除することはできません。

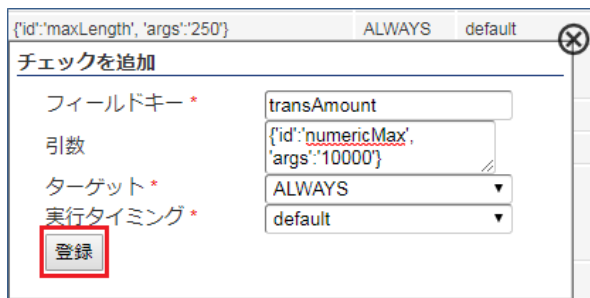


- 項目名
バリデーションを実施する項目の名称が表示されます。
項目名にフォーカスをあてるとフィールドキーが表示されます。
- バリデーションID
入力チェックのIDが表示されます。
- 引数
バリデーションID及び引数がJSON形式で表示されます。
- ターゲット
入力チェックの実行タイミングが表示されます。
- 実行タイミング
入力チェックを実行するイベントが表示されます。
- 削除
ゴミ箱アイコンが表示されたチェックルールは削除可能です。
削除したい場合、ゴミ箱アイコンをクリックしてください。

5. 入力チェックを追加したい場合、「チェックルールを追加する」をクリックします。



6. チェックを入力して「登録」をクリックします。



- フィールドキー
入力チェックを実施したい項目のフィールドキーを入力します。
フィールドキーは、該当のガジェットのGadgetBuilder定義ファイルを参照してください。
GadgetBuilder定義ファイルの格納先は、『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』-「基本」-「GadgetBuilder定義」を参照してください。
- 引数
バリデーションID及び引数をJSON形式で入力します。
入力形式の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』-「基本」-「リファレンス」-「バリデーション処理」を参照して

「config」に設定する内容を入力してください。

日付形式チェックの場合「{'id':'date'}」と入力します。

- ターゲット
入力チェックの実行タイミングを選択します。
- 実行タイミング
入力チェックを実行するイベントを表示します。

7. チェックルールが登録できました。



8. 「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



9. バリデーションIDをクリックすると、チェックを追加画面に該当行の設定内容が表示されます。



i コラム

選択可能なターゲットは次の通りです。

設定値	説明
CLIENT	クライアントサイドのみ実行
SERVER	サーバーサイドのみ実行
ALWAYS	クライアントサイド、サーバーサイドの両方で実行

i コラム

選択可能な実行タイミングは次の通りです。

設定値	説明
default	全てのイベントで実行
apply	申請イベント(PC版)のみ実行
applySp	申請イベント(SP版)のみ実行
temporarySave	一時保存イベント(PC版)のみ実行
temporarySaveSp	一時保存イベント(SP版)のみ実行
reapply	再申請イベント(PC版)のみ実行
reapplySp	再申請イベント(SP版)のみ実行
process	処理イベント(PC版)のみ実行
processSp	処理イベント(SP版)のみ実行

i コラム

GadgetBuilder定義ファイルで「fieldInputType」が「LABEL」のフィールド及び「groupInputType」の「LABEL」を引き継いだフィールドは、チェックルール設定に表示されません。

! 注意

実行タイミングに「warning」、「information」は設定できません。

「warning」、「information」の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Form Gadget) configuration screen. On the left is a sidebar with a tree view containing '仮払情報', '旅程明細', '宿泊明細', and '備考'. The main area is titled '旅程明細' and contains a table of fields with their input types. A green tooltip message reads: 'ガジェット設定の内容を保持しました。登録/更新を行ってください。' (The gadget settings have been saved. Please register/update.) At the bottom right, a button labeled '全ての変更を反映する' (Reflect all changes) is highlighted with a red box. Below the main table are sections for '英語' and '中国語' settings, and buttons for '変更を反映する' (Reflect changes) and 'ラベル設定' (Label settings).

注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

明細制御設定

明細制御設定では、明細行があるガジェットの場合、明細行の追加許可・削除許可を設定することができます。

コラム

次の画面の項目は設定変更できません。

- 申請画面
- 一時保存画面
- 申請(起票案件)画面
- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面

次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

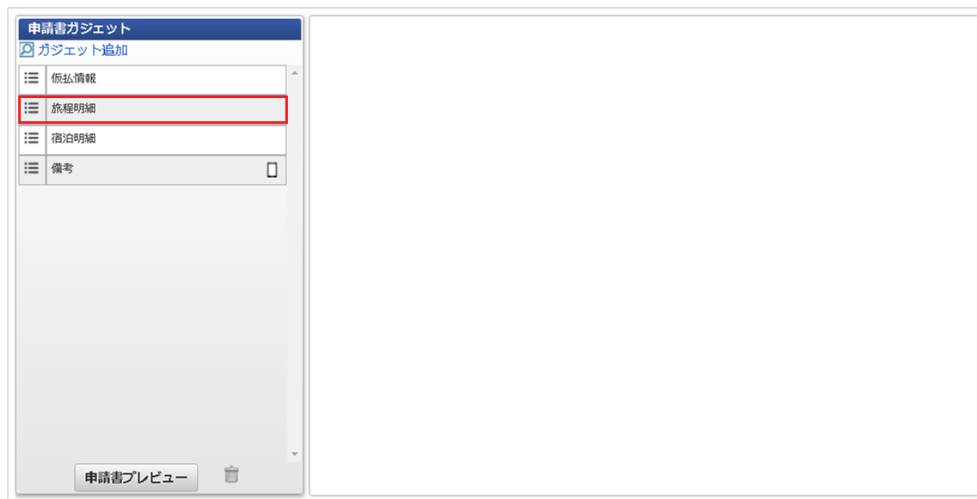
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

コラム

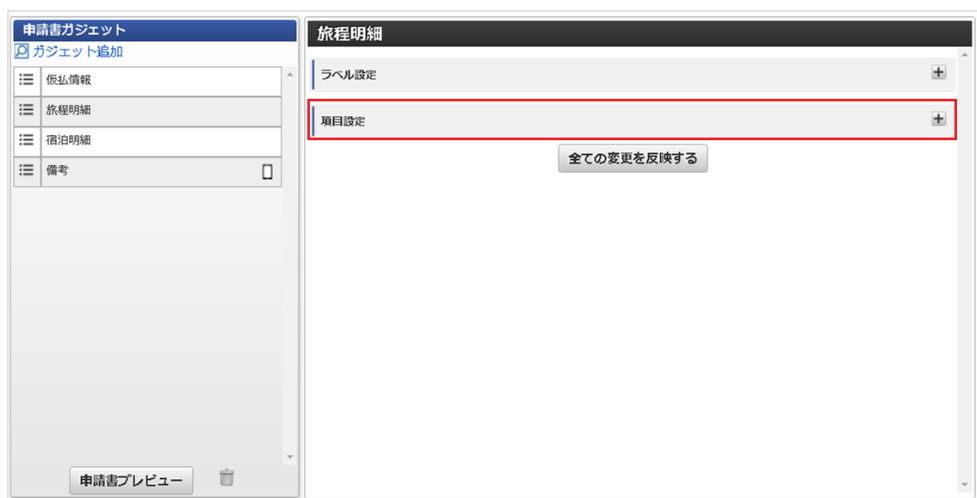
スマートフォン用画面で入力できないガジェットが含まれている場合は、明細制御設定の次の画面の追加・削除を禁止にしてください。

- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「明細制御設定」をクリックします。



4. 明細制御設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合は許可の設定です。
- 項目が未選択状態の場合は禁止の設定です。

i コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。



i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Widgets) sidebar on the left and the main '旅程明細' (Travel Details) form on the right. The '更新' (Update) button at the bottom center is highlighted with a red box. Other buttons include '削除' (Delete) and '一覧に戻る' (Return to List). The form contains fields for project details, dates, and search links, along with '変更を反映する' (Reflect Changes) and '全ての変更を反映する' (Reflect All Changes) buttons.

ガジェット表示設定

ガジェット表示設定では、各ガジェットの表示状態を画面種別ごとに設定することができます。

i コラム

次の画面の項目は設定変更できません。

- 申請画面
- 一時保存画面
- 申請(起票案件)画面

次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Widgets) sidebar. The '旅程明細' (Travel Details) widget is highlighted with a red box, indicating it is selected for configuration. Other widgets include '仮払情報' (Provisional Payment Information), '宿泊明細' (Accommodation Details), and '備考' (Remarks).

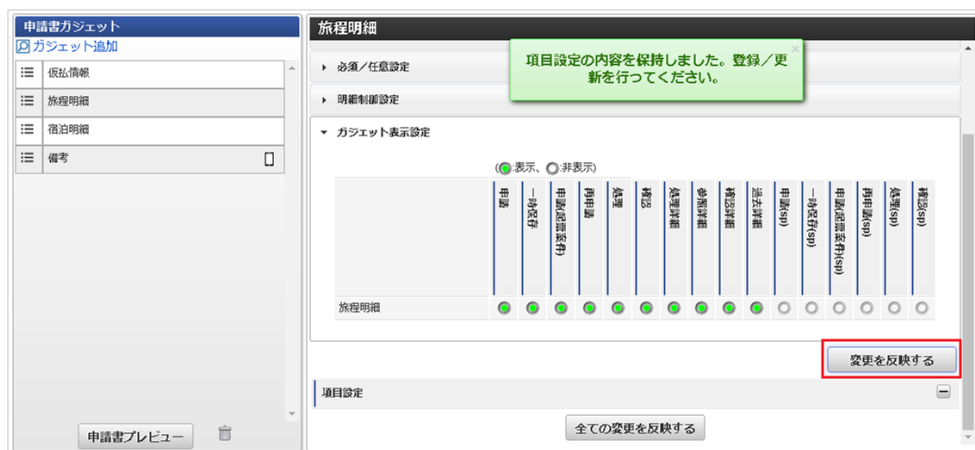
2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「ガジェット表示設定」をクリックします。



4. ガジェット表示設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合は表示の設定です。
- 項目が未選択状態の場合は非表示の設定です。

コラム
画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

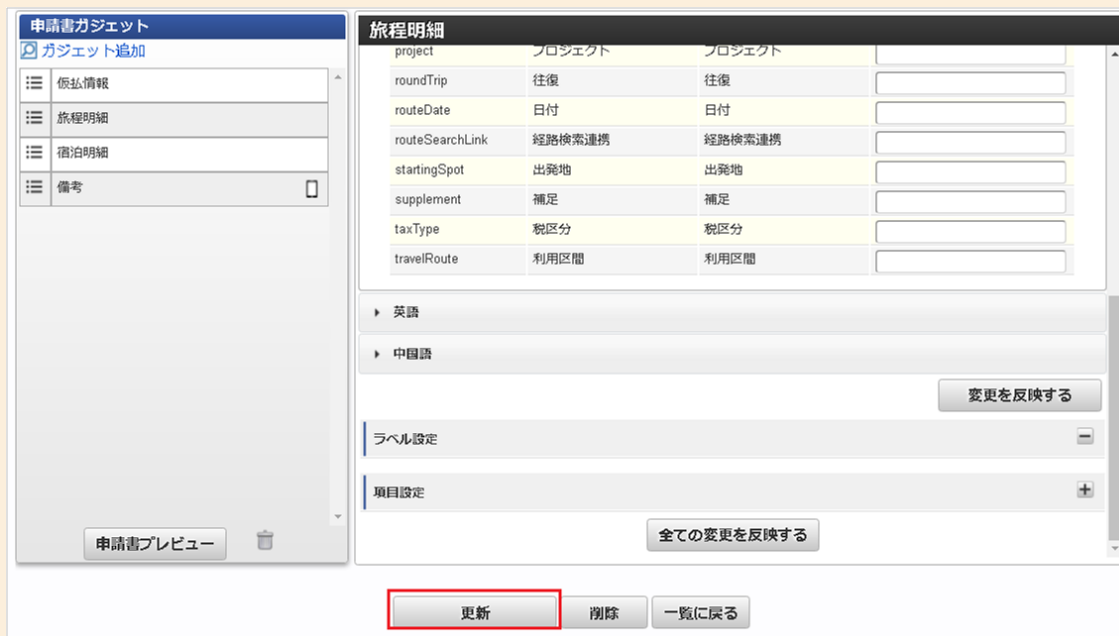


i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
 「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。
 また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。



初期データ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の初期データには次のコンテンツが含まれています。

コンテンツ	コンテンツID	ガジェット	ガジェットクラス	バリエーション
経費事前申請	gnexpadv_v01	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01

		仮払情報	advance	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費精算申請	gnexpstl_v01	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請	trexpadv_v01	出張(旅費)情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v03
		仮払情報	advance	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請	trexpstl_v01	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
交際費事前申請	etexpadv_v01	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費精算申請	etexpstl_v01	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv_v02	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費精算申請 (多通貨)	gnexpstl_v02	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01

		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請 (多通貨)	trexpadv_v02	出張(旅費)情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v03
		仮払情報	advance	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請 (多通貨)	trexpstl_v02	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
旅費精算申請 (近距離)	trexpstl_v03	精算情報 (精算のみ)	settle	v02
		旅程明細 (近距離)	routeDetail	v03
		備考	generic	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv_v02	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl_v02	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
経費支払申請	billpayment_v01	請求書払情報	billPaymentInfo	v01
		請求書払明細	billPaymentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
旅費精算申請 (近距離) ファイル 添付	trexpstl_v04	精算情報 (精算のみ)	settle	v02
		旅程明細 (近距離)	routeDetail	v03
		ファイル添付明細	fileAttachDetail	v01
		備考	generic	v01

		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
口座変更申請	bankaccount_v01	従業員口座	chgEmpBank	v01
通勤経路変更申請	commroute_v01	通勤経路	chgCommRoute	v01
汎用申請	general_v01	備考	generic	v01
家族異動届	chgempfamily_v01	家族異動	chgEmpFamily	v01
支払先登録申請	payeeregist_v01	支払先申請	payeeRegister	v01

ルート定義

IM-Workflowの機能を利用してルート定義を作成します。
ルート定義の作成方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

フロー定義

IM-Workflowの機能を利用してフロー定義を作成します。
フロー定義の作成方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

コンテンツ定義で複数画面を設定した場合は忘れずに設定してください。

その他の定義

IM-Workflowの機能を利用してその他の定義を作成します。
作成方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

- 案件プロパティ定義
- ルール定義
- メール定義

案件プロパティ定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の初期データとして、次の案件プロパティが登録されています。
コンテンツ定義で選択した申請書タイプによって、利用可能な案件プロパティが変わりますのでご注意ください。

案件プロパティ	案件プロパティキー	型	設定内容
仮払金額	K_AdvAmount	数値	事前申請書で入力した仮払金額
費用合計	K_ExpenseAmount	数値	精算申請書の各明細の金額の合計値
会社負担額合計	K_CompanyPayAmount	数値	精算申請書内の各明細に入力された金額のうち、支払分類が立替以外である金額の合計値
精算予定額合計	K_AdvanceOffset	数値	精算申請書で入力した精算予定額の合計値
本人立替額合計	K_TemporaryPayAmount	数値	精算申請書内の各明細に入力された金額のうち、支払分類が立替である金額の合計値
精算額	K_AdjustmentAmount	数値	「本人立替額合計」から「精算予定額合計」を減じた値
概算費用	K_ApproximateAmount	数値	概算費用に入力した値

申請書タイプ別の利用可能な案件プロパティ

案件プロパティ	案件プロパティキー	一般	事前申請書	精算申請書	請求書払申請書
仮払金額	K_AdvAmount		○		
費用合計	K_ExpenseAmount			○	○
会社負担額合計	K_CompanyPayAmount			○	○

精算予定額合計	K_AdvanceOffset					○		
本人立替額合計	K_TemporaryPayAmount					○		
精算額	K_AdjustmentAmount					○		
概算費用	K_ApproximateAmount	○		○		○		○

 **注意**

概算費用は、GadgetBuilder版ガジェットのみ案件プロパティを登録します。

ルール定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の独自設定はありませんので、必要に応じて設定を行ってください。
金額による分岐ルールなどを設定する場合は、案件プロパティ定義をご利用ください。

メール定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の独自設定はありませんので、必要に応じて設定を行ってください。
メール本文に金額などを設定する場合は、案件プロパティ定義をご利用ください。

仕訳データ

本項では、仕訳データの作成／出力方法を説明します。

- 概要
- 仕訳のパターン
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - エクスポートファイルの取得
- 実行パラメータ

概要

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、申請データを仕訳データとして出力する機能を提供しています。
仕訳機能の詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 仕訳機能詳細](#)』を参照してください。

仕訳のパターン

1. 仮払金の仕訳

事前申請書にて入力された仮払額を基に、仮払金に関する仕訳を作成できます。
仮払額がない（0）の場合、仕訳は作成されません。

仕訳例（仮払金50,000を希望した事前申請仕訳）

借方		貸方	
仮払金	50,000	現預金など	50,000



コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
[仕訳パラメータマスタ](#)の仮払金勘定科目コード
- 現預金など
[支払方法マスタ](#)の債務勘定科目コード

2. 経費支出（仮払なし）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（交通費10,000の精算申請仕訳）

借方		貸方	
旅費交通費	10,000	未払金など	10,000



コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 旅費交通費
[経費区分マスタ](#)の勘定科目コード
- 未払金など
支払分類マスタで立替対象に設定されている場合、[支払方法マスタ](#)の債務勘定科目コード
支払分類マスタで立替対象外に設定されている場合、[支払分類マスタ](#)の債務勘定科目コード

3. 経費支出（仮払あり、追払いあり）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を行った場合の仕訳）

借方		貸方	
----	--	----	--

旅費交通費	51,000	仮払金	50,000
		未払金など	1,000

**コラム**

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
仕訳パラメータマスタの仮払金勘定科目コード
- 旅費交通費
経費区分マスタの勘定科目コード
- 未払金など
支払分類マスタの債務勘定科目コード

4. 経費支出（仮払あり、戻入あり）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費49,000の精算申請を行った場合の仕訳）

借方		貸方	
旅費交通費	49,000	仮払金	50,000
現預金など	1,000		

**コラム**

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
仕訳パラメータマスタの仮払金勘定科目コード
- 旅費交通費
経費区分マスタの勘定科目コード
- 現預金など
事前申請書で選択した支払方法マスタの債務勘定科目コード
仕訳パラメータマスタの戻入勘定科目コードが設定されている場合はそちらが優先されます。

**注意**

仮払金の計上先（部門・プロジェクト）と費用の計上先（部門・プロジェクト）が異なる場合は、いったん仮払金をすべて戻入したのち経費支出の仕訳を起こしますので、注意してください。

仕訳例

仮払金50,000（計上先A）の事前申請書に対し、交通費49,000（計上先B）の旅費精算申請書を作成し、承認された。

仮払金の仕訳

借方		貸方	
仮払金	(計上先A)	50,000	現預金など (計上先A)
			50,000

経費支出の仕訳

借方		貸方	
現預金など	(計上先A)	50,000	仮払金 (計上先A)
			50,000
旅費交通費	(計上先B)	49,000	未払金など (計上先B)
			49,000

**注意**

請求書払明細（外貨支払）ガジェットを利用すると、マイナス金額の入力が可能です。仕訳出力時に金額がマイナスの場合は、貸借を入れ替え、金額をプラスで出力します。

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用した仕訳出力方法を説明します。

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「仕訳データエクスポート」をクリックします。

3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

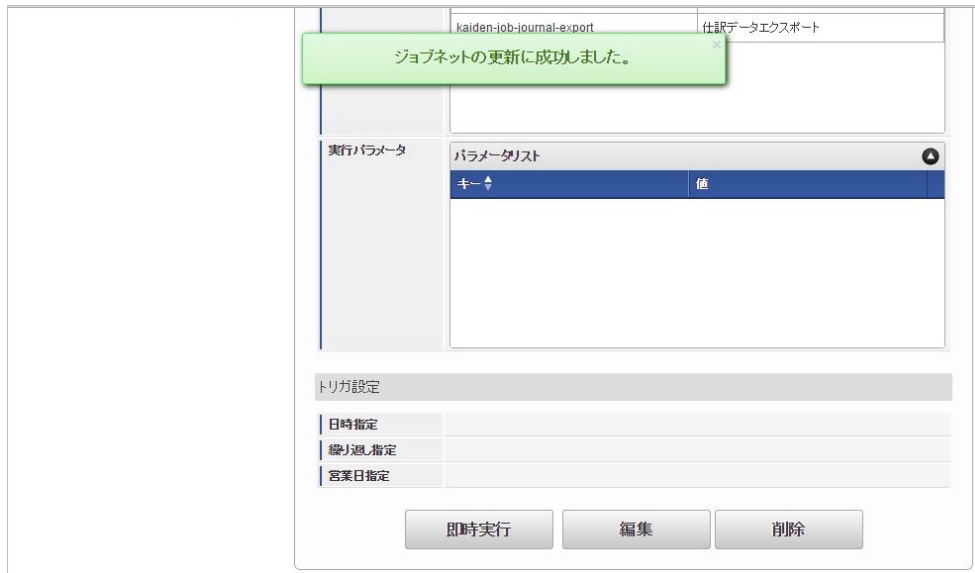
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-journal-create	Kaiden! / 仕訳 / 仕訳データ作成
kaiden-job-journal-export	Kaiden! / 仕訳 / 仕訳データエクスポート

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルの取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/会社コード/export

ファイル名 journal_実行日時.csv

会社単位で仕訳エクスポートが行われますので、ダウンロード先のディレクトリは各会社単位です。
ファイル名には実行日付（「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式）が付与されます。



コラム

エクスポートファイルをダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
エクスポートファイル	target_file	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/{COMPANY_CD}/export/ journal_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション
ヘッダー出力有無	header_output	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: true) <ul style="list-style-type: none"> true : 出力する false : 出力しない
既存ファイル操作	file_operation	同名のファイルが存在する場合の操作を設定します。 (省略時: 2) <ul style="list-style-type: none"> 1 : エラーを出力する 2 : 上書き保存する
不整合データの出力有無	inconsistent_data	不整合データの出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : 出力する false : 出力しない
正常終了時の ファイル出力有無	normal_log	正常終了時の処理結果ファイル出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : 出力する false : 出力しない

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{COMPANY_CD}: 会社コード

振込データ

本項では、振込 (F B) データのメンテナンス / 出力方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
- エクスポート
 - 出力条件
 - 出力パターン
 - 出力方法 (一括)
 - 出力方法 (個別)

概要

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、申請データを元に従業員の仮払金及び経費立替の振込データを出力する機能を提供しています。また、振込データは出力のステータス変更が可能です。

メンテナンス

F B データメンテナンス機能では、振込データを出力不要に設定したり、振込データの再出力が行えるようにステータス変更が可能です。本項では、振込データのステータス変更方法を説明します。

コラム

変更可能なステータスは次の通りです。

変更前		変更可能な状態
出力可能 (未出力)	→	出力不要
出力済	→	出力可能 (未出力)
出力不要	→	出力可能 (未出力)

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「メンテナンス」をクリックします。
2. FBデータメンテナンス画面表示後、FBステータスを選択し「検索」をクリックします。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社 サンプル会社 振込日 [] - []

振込元口座 [] FBステータス 出力可能

社員名 [] 最終承認日 [] - []

FBデータ出力日 [] - [] 仮払希望日 [] - []

立替精算口座有無 立替精算口座がない社員のみを対象にする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山盛男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

出力不要にする 出力可能にする

3. 行をクリックし、ステータスを変更するデータを選択します。
詳細アイコンをクリックすると、申請書の詳細を別画面で表示します。
権限のない申請書の詳細アイコンをクリックしても、申請書は表示されません。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社 サンプル会社 振込日 [] - []

振込元口座 [] FBステータス 出力可能

社員名 [] 最終承認日 [] - []

FBデータ出力日 [] - [] 仮払希望日 [] - []

立替精算口座有無 立替精算口座がない社員のみを対象にする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山盛男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

出力不要にする 出力可能にする

4. 「出力不要にする」、「出力可能にする」をクリックします。

※ここでは出力可能から出力不要に変更します。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社: サンプル会社 | 振込日: | 振込元口座: | FBステータス: 出力可能
社員名: | 最終承認日: | FBデータ出力日: | 仮払希望日: | 立替精算口座有無: 立替精算口座がない社員のみを対象にする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

出力不要にする 出力可能にする

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 振込データのステータス変更ができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳辰巳

FBデータメンテナンス 更新しました。

出力不要にする

会社: サンプル会社 | 振込日: | 振込元口座: | FBステータス: 出力可能
社員名: | 最終承認日: | FBデータ出力日: | 仮払希望日: | 立替精算口座有無: 立替精算口座がない社員のみを対象にする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	maruyama	丸山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

エクスポート

本項では、FBデータ出力機能を利用した振込データの出力方法を説明します。

出力条件

振込データが作成される条件は以下の通りです。

- 仮払金や立替経費に関する仕訳データが出力されている。
- **仕訳パラメータマスタ**でFB出力対象に設定している。
- FB出力対象の**支払方法マスタ**を利用している。
- 振込先として、**従業員口座マスタ**に立替精算の口座情報が登録されている。

出力パターン

■ 仮払金の振込データ

事前申請書にて入力された仮払金に対する振込データを作成できます。

例（仮払金50,000を希望した事前申請）

50,000 の振込データが作成できます。

■ 経費支出（仮払なし）の振込データ

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（交通費10,000の精算申請）

10,000 の振込データが作成できます。

■ 経費支出（仮払あり、追払いあり）の振込データ

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を行った場合）

1,000 の振込データが作成できます。

■ 経費支出（仮払あり、戻入あり）の振込データ

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費49,000の精算申請を行った場合）

-1,000 の振込データが作成できます。



コラム

この場合、振込データはマイナスですが、振替データを作成できるわけではありません。
マイナスの振込データのため、振込データ出力時にプラスの振込データと相殺させて出力します。



注意

紐づけた事前申請書の仮払手段と、精算申請書の精算手段が異なると、仮払金を相殺して振込データを出力できません。

例（仮払金を現金で50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を銀行振り込みで行った場合）

51,000 の振込データが作成され、仮払金の50,000は相殺されません。

出力方法（一括）

仮払金や立替経費の精算に関する振込データを一括出力することができます。

出力した振込データをファームバンキング端末などに連携することで、振込に関する作業の省力化を実現できます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「一括出力」をクリックします。
2. FBデータ一括出力画面表示後、検索条件を設定し「検索」をクリックします。

■ 振込日

振込日を入力します。

■ 振込元口座

振込元口座（ファームバンキング端末等にて振込依頼をする口座）を選択します。

■ 立替精算口座がない従業員

立替精算口座がない従業員の処理スキップ有無を選択します。

■ 金額がマイナスの従業員

振込金額がマイナスの従業員の処理スキップ有無を選択します。

コラム

振込データの絞り込みについて

振込データは、詳細検索アイコンをクリックすることで、詳細な検索条件を指定することができます。



会社 サンプル会社 検索 出力 クリア 

振込先銀行 支店まで絞り込む

組織 下位組織を含む 社員名

最終承認日 - 仮払希望日 -

FBデータ出力日 - 振込日 -

仕訳出力日 - 2015/10/05

振込日* 2015/10/01 振込元口座* 会社口座 (三菱東京)


立替精算口座がない従業員 スキップして処理を続ける 金額がマイナスの従業員 スキップして処理を続ける

- 振込先銀行
振込先の銀行（支店）を設定します。
- 組織
振込を行う従業員の組織を設定します。
- 社員名
振込を行う従業員の名称を設定します。
- 最終承認日
振込を行うデータの最終承認日を設定します。
- 仮払希望日
振込を行うデータの仮払希望日を設定します。
- FBデータ出力日
振込を行うデータの出力日を設定します。
- 振込日
振込を行うデータの振込日を設定します。
- 仕訳出力日
振込を行うデータの仕訳出力日を設定します。

3. 振込元口座を設定します。

振込データを確認し「出力」をクリックします。

FBデータ一括出力

会社 サンプル会社 検索 出力 クリア 

振込日* 2015/10/01 振込元口座* 会社口座 (三菱東京)

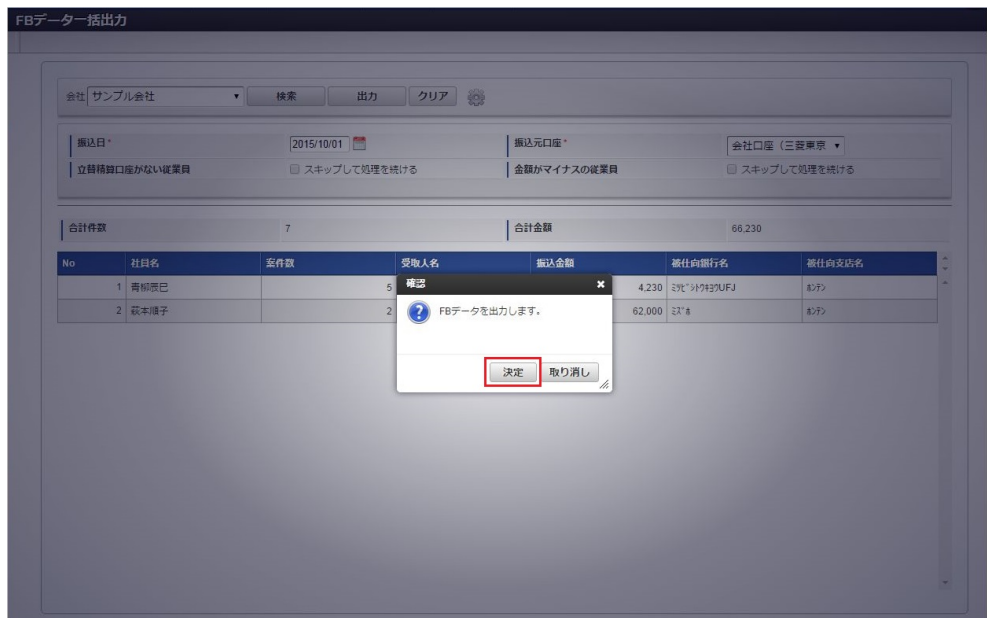
立替精算口座がない従業員 スキップして処理を続ける 金額がマイナスの従業員 スキップして処理を続ける

合計件数 7 合計金額 66,230

No	社員名	案件数	受取人名	振込金額	振込銀行名	振込支店名
1	青柳菜巳	5	7777	4,230	7777 77777777UFJ	7777
2	萩本環子	2	7777	62,000	7777	7777

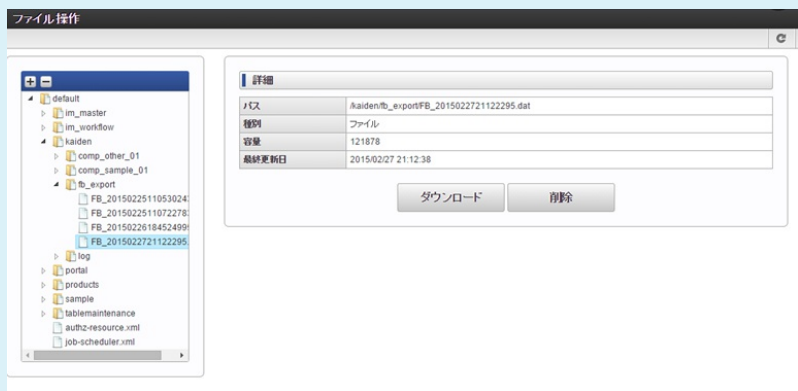
最初へ戻る 1 次へ最後へ

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



i コラム

ストレージにファイルが出力されますので、出力されたファイルを所定のフォルダに転送していただく運用も可能です。転送用のバッチは標準機能ではご用意していませんので、作成いただく必要があります。



! 注意

一括出力を行う場合、FBデータ出力用のジョブ及びジョブネット情報が登録されている必要があります。登録されていない場合、ジョブの起動に失敗し出力が行えませんので、削除しないように注意してください。万が一、削除してしまった場合、再度同じIDでジョブおよびジョブネット情報を登録してください。

- ジョブ
ID : kaiden-job-fb-export
- ジョブネットカテゴリ
kaiden-jobnet-prwf-fb-export
このカテゴリ以下に、オンライン用のジョブネットが登録され、実行されます。

出力方法 (個別)

仮払金や立替経費の精算に関する振込データを個別出力することができます。出力した振込データをファームバンキング端末などに連携することで、振込に関する作業の省力化を実現できます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「出力」をクリックします。
2. FBデータ出力画面表示後、「検索」をクリックします。

FBデータ出力

会社: サンプル会社 | 社員名: [検索]

振込先銀行名: [検索] | 最終承認日: [日付] - [日付]

振込希望日: [日付] - [日付] | FBデータ出力日: [日付] - [日付]

[検索] [クリア]

振込日*: [日付] | 振込元口座*: [選択] | [出力]

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	振込希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳	[詳細]	0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	円山益男	[詳細]	0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

3. 振込日、振込元口座を設定します。
振込データの対象行をクリックし、振込対象データを選択します。

FBデータ出力

会社: サンプル会社 | 社員名: [検索]

振込先銀行名: [検索] | 最終承認日: [日付] - [日付]

振込希望日: [日付] - [日付] | FBデータ出力日: [日付] - [日付]

[検索] [クリア]

振込日*: 2013/08/30 | 振込元口座*: 三菱UFJ 丸の内 | [出力]

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	振込希望日	最終承認日
<input checked="" type="checkbox"/>	1	aoyagi	青柳辰巳	0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
<input checked="" type="checkbox"/>	2	maruyama	円山益男	0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

- 振込日
振込日を入力します。
- 振込元口座
振込元口座（ファームバンキング端末等にて振込依頼をする口座）を選択します。



注意

振込データは同時に20案件（一覧表示の最大件数）分まで出力可能です。
ページを跨いで複数の案件を同時に出力することはできません。

4. 「出力」をクリックします。

FBデータ出力

会社: サンプル会社 | 社員名: [検索]

振込先銀行名: [選択] | 最終承認日: [日付]

仮払希望日: [日付] | FBデータ出力日: [日付]

検索 クリア

振込日*: 2013/08/30 | 振込元口座*: 三菱UFJ丸の内 | 出力

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳	[詳細]	0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	円山益男	[詳細]	0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

FBデータを出力します。

決定 取り消し

コラム

マイナスの振込データについて

仮払金の戻入が発生した場合、マイナスの振込データが作成されます。
このマイナスの振込データは、ほかのプラスの振込データと相殺するために利用できます。

以下のように、-2,000と50,000を相殺させ、48,000の振込データを作成できます。

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日	振込金額	振込先銀行
1	maruyama	円山益男	[詳細]	0000000028	事務用品の購入		2013/8/28 20:10:42	-2,000	三菱東京UF
2	maruyama	円山益男	[詳細]	0000000029	〇〇社との業務提携に向けた打ち合...		2013/8/28 20:14:31	50,000	三菱東京UF

マイナスの振込データの相殺は、本人以外の振込データとはできません。
*円山さんのマイナス振込データは、円山さんのプラス振込データとしか相殺できません。

精算ステータス

本項では、精算ステータスのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- 精算ステータス変更

概要

承認された事前申請には、次の様なステータス（精算状況）があり、本機能ではこのステータスの一部を変更できます。

- 未精算
- 精算中（一時保存、申請中、再申請待ち）

- 精算済
- 精算不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「精算中～精算済」に変化しますが、本機能では、未精算と精算不要を切り替えることができます。

精算ステータス変更

精算ステータスを未精算から精算不要にする

未精算の事前申請書が、何らかの理由により精算する必要がなくなった場合、当該申請書を精算不要にできます。精算不要にした事前申請書に対する精算申請書は、作成できません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「仮払未精算データ」→「メンテナンス」をクリックします。

仮払未精算データメンテナンス

精算状況 未精算 精算不要

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日 -

仮払金額 -

申請組織

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
------	----	------	-----	---------	-------	------	----

精算不要に変更 未精算に変更

2. 検索欄の精算状況に 未精算 を設定し「検索」をクリックすると、仮払未精算のデータが一覧表示されます。

仮払未精算データメンテナンス

精算不要に変更

精算状況 未精算 精算不要

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日 -

仮払金額 -

申請組織

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	16,000	16,000
2		0000000914	プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
3		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0
4		0000000920	PC購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	8,000	5,000

最初へ前へ 1 次へ最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

- 詳細

事前申請書の詳細を別画面で表示します。

権限のない事前申請書の詳細アイコンをクリックしても、申請書は表示されません。

■ 仮払金額

事前申請で承認された仮払金額を表示します。

■ 残額

未精算の仮払額の残高です。

すでに精算済の仮払額を差し引いた残りを表示しています。

例) 仮払金8,000のうち3,000が精算済の場合、残額として5,000が表示されます。

i コラム

仮払金が0の場合でも、精算申請の作成は必要のため、未精算であれば表示されます。

3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックがつきます。

仮払未精算データメンテナンス

精算不要に変更

精算状況 未精算 精算不要 会社 サンプル会社

案件番号 案件名

申請基準日 - 仮払金額 -

申請組織 申請権限者

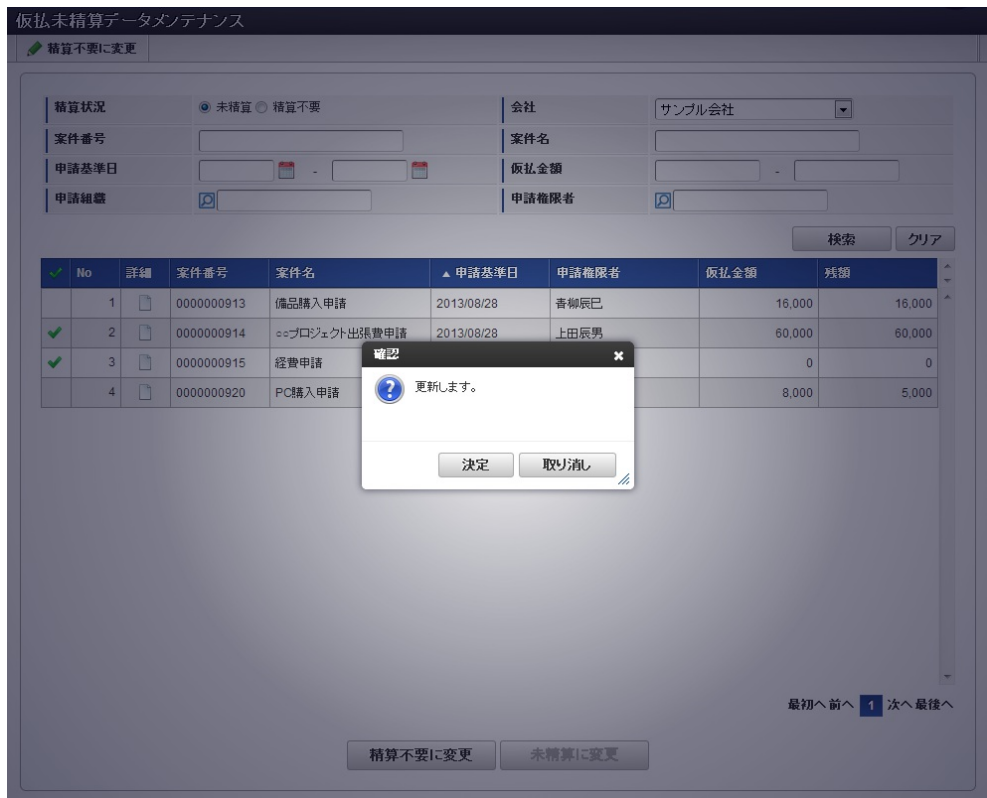
検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	16,000	16,000
<input checked="" type="checkbox"/>	2		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
<input checked="" type="checkbox"/>	3		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0
	4		0000000920	PC購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	8,000	5,000

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

4. 「精算不要に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。
確認ポップアップの「決定」をクリックします。



5. 一覧からデータが消え、精算状況が精算不要に変更されました。



精算ステータスを精算不要から未精算にする

当機能で精算不要にした事前申請書を、未精算に切り替えます。

1. 検索欄の精算状況に **精算不要** を設定し「検索」をクリックすると、精算不要データが一覧表示されます。

仮払未精算データメンテナンス

未精算に変更

精算状況 未精算 精算不要

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

仮払金額

申請組織

申請権限者

検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
	2		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

2. 切り替え対象のデータ行を選択し「未精算に変更」をクリックすると、精算状況が未精算に変更されます。

アーカイブ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データアーカイブは、IM-Workflowが提供するアーカイブ（ジョブ）機能を利用します。IM-Workflowのアーカイブ（ジョブ）機能実行方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データアーカイブには、次の様な制約があります。

- 未精算の仮払がある案件のアーカイブ処理は実施できません。
仮払金が0円の場合でも、未精算の場合はアーカイブ処理は実施できません。
精算を行うか、未精算仮払メンテナンスより精算不要のステータスに変更後、アーカイブ処理をお願いします。

案件削除

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データ削除は、IM-Workflowが提供する次の削除機能を利用します。

- 未完了案件削除
- 完了案件削除
- 過去案件削除

IM-Workflowが提供する各削除機能の実行方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データ削除には、次の様な制約があります。

- ワークフローの完了案件の削除処理は実施できません。
これは、仕訳出力やFBデータ出力等を行う申請データが、簡単に削除されないようにする仕様です。
完了案件の削除処理を行う場合は、アーカイブ処理の実施後に削除処理をお願いします。

案件操作

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データは、IM-Workflowが提供する案件操作機能で操作可能です。IM-Workflowが提供する案件操作機能の詳細は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

案件操作でフローが完了した場合、「否認」、「取止め」と同じ処理を実施します。
事前申請書/精算申請書を案件操作してフロー完了とした場合、仕訳が行われません。
また、事前申請書を案件操作してフロー完了とした場合、精算申請書と紐付けることができません。

利用データ取得

本項では、「Cloud-Base」から法人カードの利用データを取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

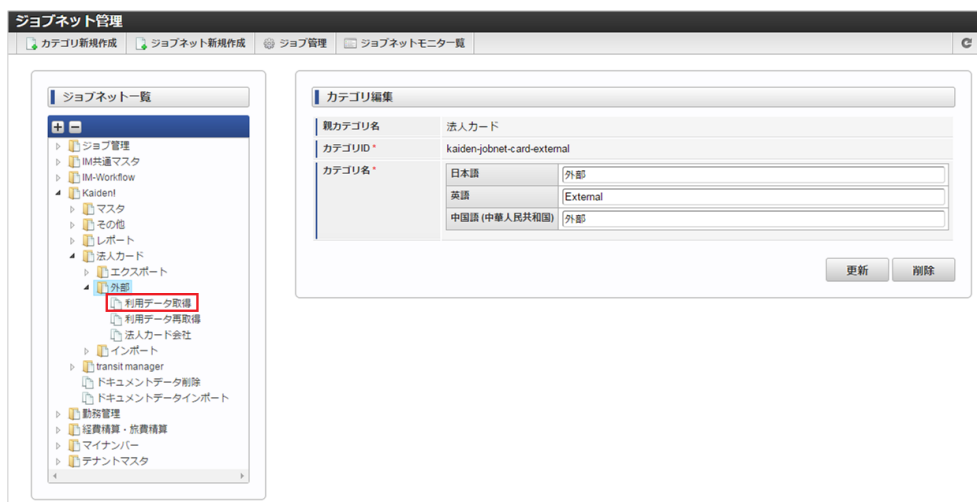
概要

利用データ取得は、指定されたCloud-Base契約マスタの情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カードの利用データを取得します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

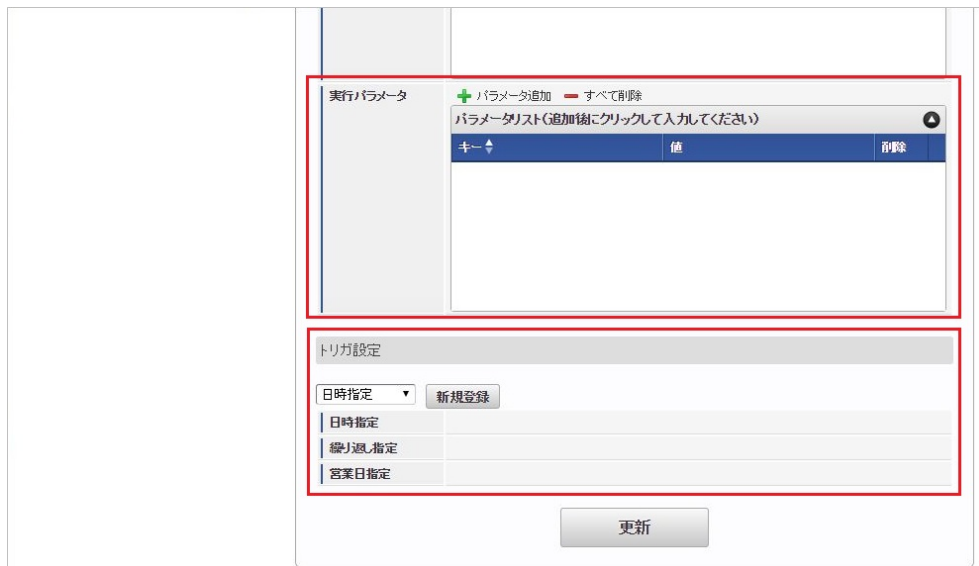
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「利用データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

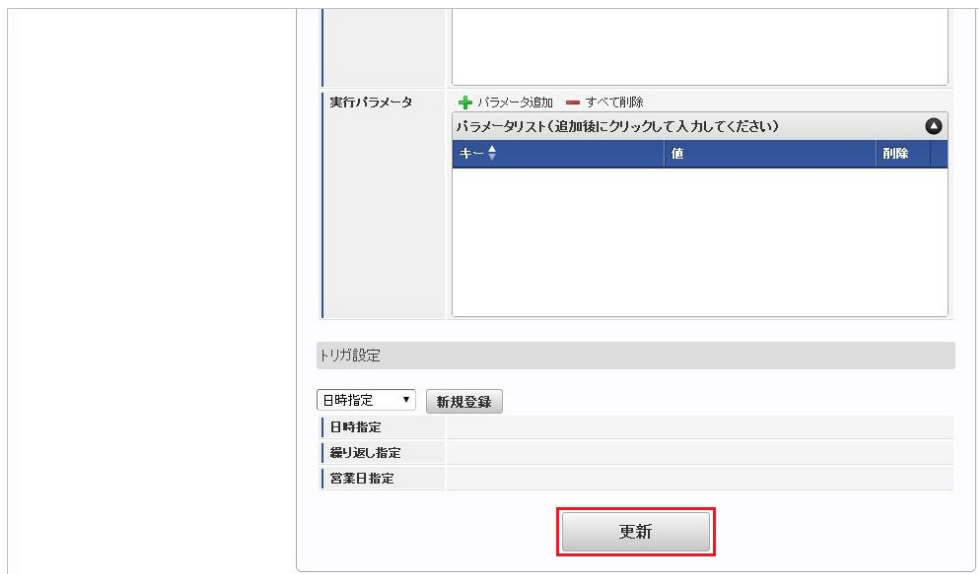
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

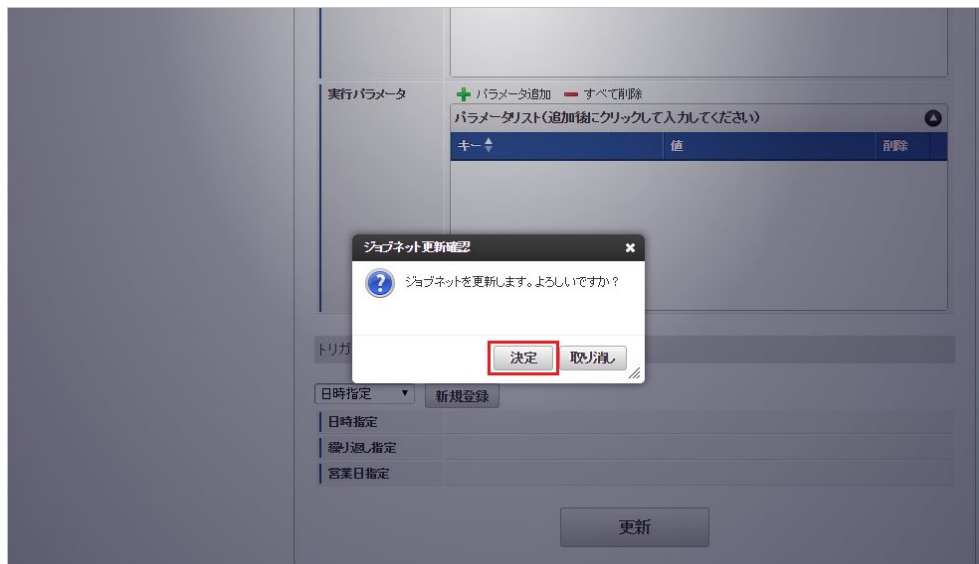
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-01-acquisition-of-usage-data	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ取得
kaiden-job-card-external-02-register-usage-data	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ登録

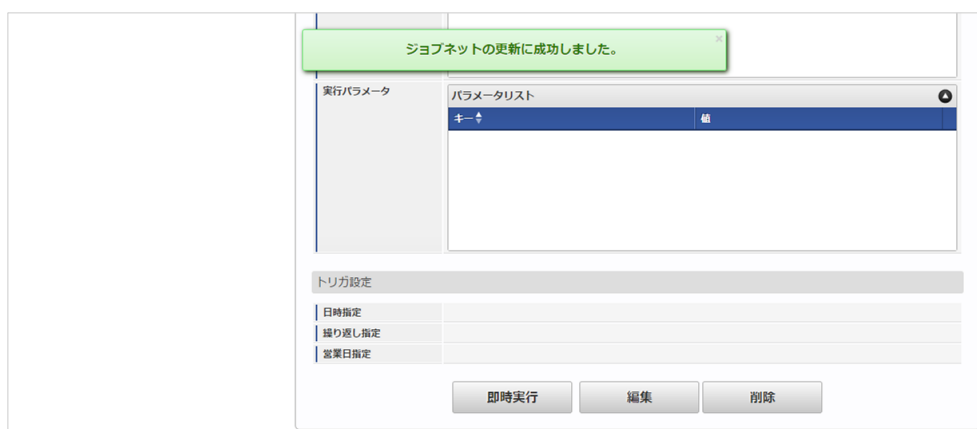
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
CB契約ID	cbContractId	法人カード利用データ取得元のCloud-Base契約マスタで設定したIDを設定します。 (設定必須)

利用データ再取得

本項では、「Cloud-Base」から法人カードの利用データを再取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

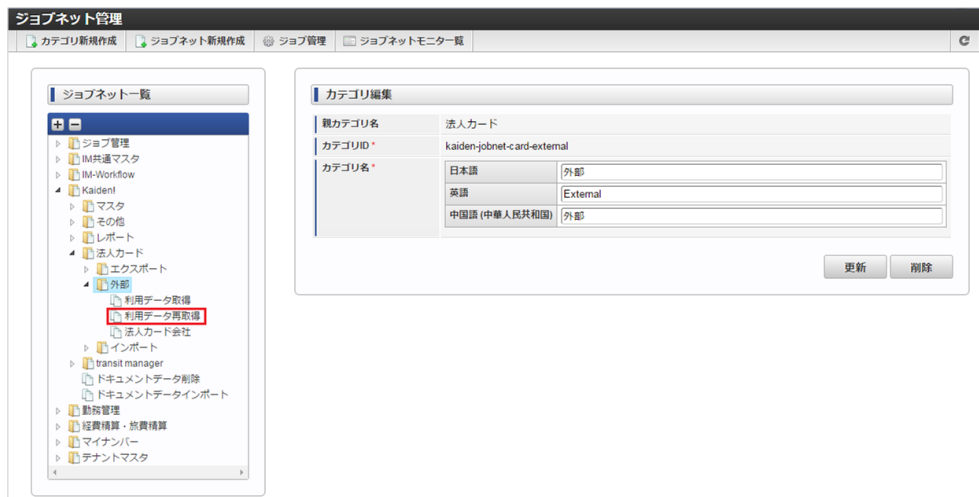
概要

利用データ再取得は、指定されたCloud-Base契約マスタの情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カードの利用データを再取得します。利用データ再取得を実行すると、[利用データ取得](#)で取得済みのデータを利用データの退避用テーブルに登録します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

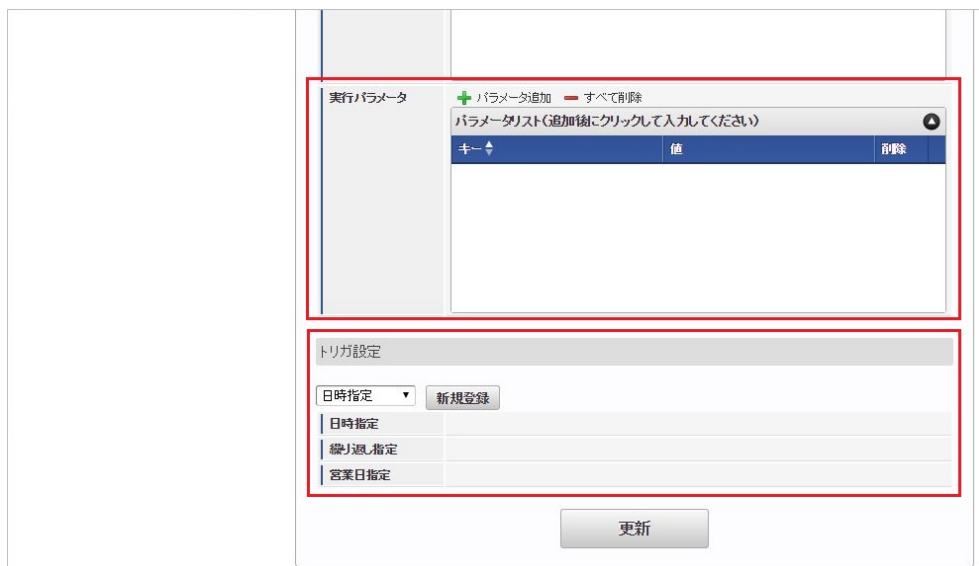
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「利用データ再取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

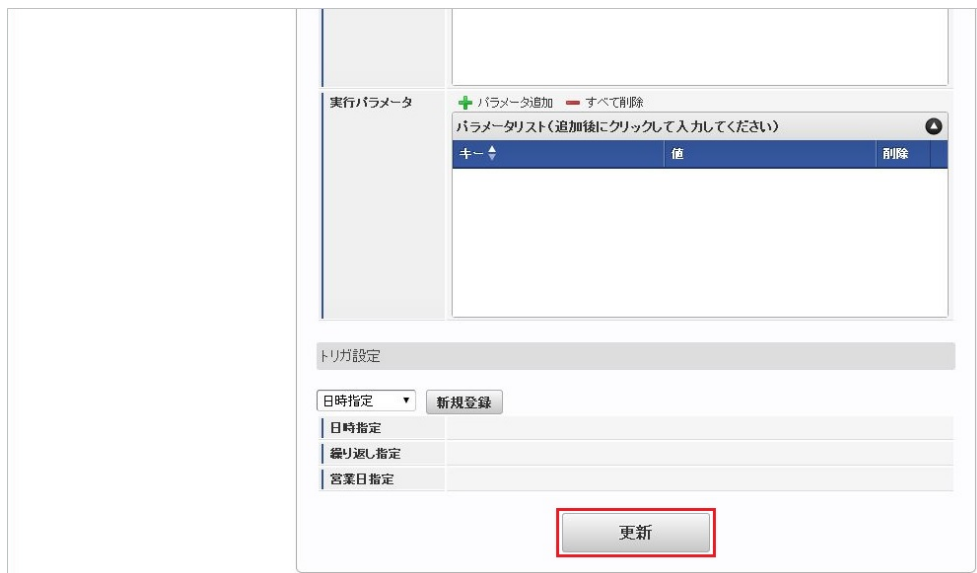
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

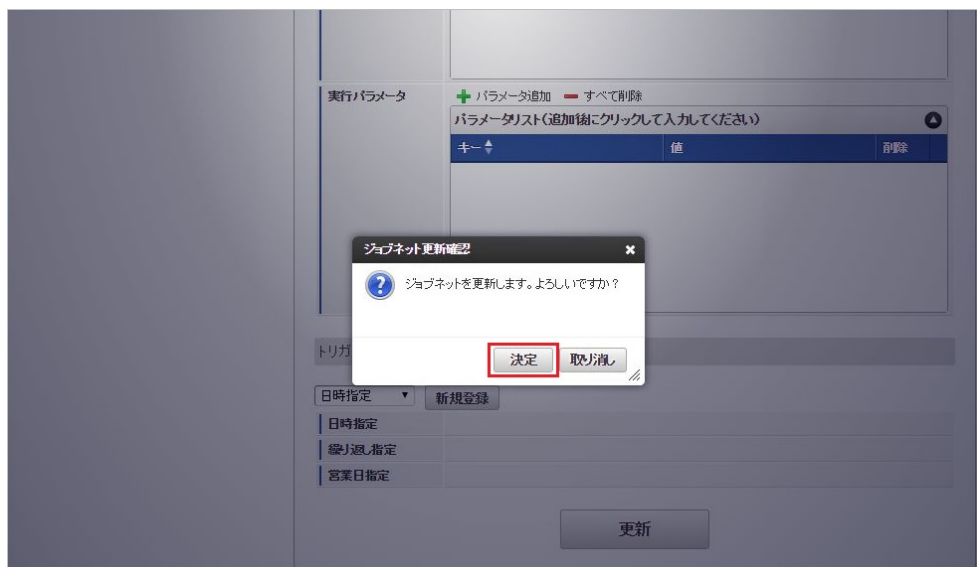
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-03-usage-data-reacquisition	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ再取得

5. 編集後、「更新」をクリックします。



The screenshot shows a web interface for configuring a job. It includes sections for '実行パラメータ' (Execution Parameters) with a table for adding parameters, and 'トリガ設定' (Trigger Settings) with fields for '日時指定' (Date/Time), '繰り返し指定' (Repeat), and '営業日指定' (Business Day). A '新規登録' (New Registration) button is next to the date field. At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



This screenshot shows the same job configuration page as above, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog contains a question mark icon and the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). At the bottom of the dialog, the '決定' (Confirm) button is highlighted with a red rectangular box, while the '取り消し' (Cancel) button is to its right. The background page is dimmed.

7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
CB契約ID	cbContractId	法人カード利用データ再取得元のCloud-Base契約マスタで設定したIDを設定します。 (設定必須)
開始日	startDate	利用データ再取得依頼の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (設定必須)
終了日	endDate	利用データ再取得依頼の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (設定必須)

利用データテーブルメンテナンス

本項では、利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)

概要

利用データテーブルメンテナンスは、[利用データ取得](#)で「Cloud-Base」から取り込んだ法人カードの利用データのメンテナンスを行います。

[法人カードマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている法人カードのデータの場合、「精算ユーザ」、
「利用データステータス」を変更できます。

利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中 (一時保存、申請中、再申請待ち)
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、
本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「利用データテーブルメンテナンス」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい利用データテーブルメンテナンスの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算者名
- 精算者ユーザコード
- 利用加盟店名（カナ）
- 利用データステータス

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- [Cloud-Base契約マスタ](#) で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

検索
クリア

No	▲ 利用日	精算者名	利用加盟店名 (カナ)	利用金額	利用データステータス
1	2016/04/13	青柳 崇巳	株式会社" "	-4036	未処理
2	2016/04/13	青柳 崇巳	株式会社" "	4036	未処理
3	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	-16690	未処理
4	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	-9790	未処理
5	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	8610	未処理
6	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	48000	未処理
7	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	30090	未処理
8	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	7700	未処理
9	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	2490	未処理
10	2016/04/16	青柳 崇巳	株式会社" "	8610	未処理
11	2016/04/17	青柳 崇巳	株式会社" "	34890	未処理
12	2016/04/17	青柳 崇巳	株式会社" "	7800	未処理
13	2016/04/18	青柳 崇巳	株式会社" "	1810	未処理
14	2016/04/18	青柳 崇巳	株式会社" "	33588	未処理
15	2016/04/18	青柳 崇巳	株式会社" "	17100	未処理
16	2016/04/19	青柳 崇巳	株式会社" "	3610	未処理
17	2016/04/19	青柳 崇巳	株式会社" "	13910	未処理
18	2016/04/19	青柳 崇巳	株式会社" "	3980	未処理
19	2016/04/19	青柳 崇巳	株式会社" "	11900	未処理
20	2016/04/19	青柳 崇巳	株式会社" "	36000	未処理

最初へ前へ **1** 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

会社*	サンプル会社
精算ユーザ*	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳 崇巳
利用データステータス*	未処理
備考	<input type="text"/>
カードデータキー	8edgc084mn4cam3
CBカードデータキー	USE20170315000000030000
CB契約	CloudBase
カード会社契約	三井住友VISAカード
トランザクションID	08edgc06h119ryrk
カード会社	三井住友VISAカード
カードID	0000000000000000
決済日	2016/07/10
対象日	2017/03/15
請求日	2016/07/10
作成日	2017/03/15
TRコード	02
法人契約組織番号	0001
法人契約組織名	?
法人申込組織番号	5000
法人申込組織名	DIMKT00F41
使用者所属組織番号	5000
使用者所属組織名	DIMKT00F41
利用区分	1
利用日	2016/04/13
利用金額	-4036
利用加盟店名(カナ)	?
加盟店番号(VJ加盟店のみ)	382039230
ISO業種コード	5964
区分コード	0
マルチエリア	Happy 急便
加盟店名(漢字)	Happy 急便
現地通貨額	
海外換算レート	
換算レート小数点位置	
レート換算日	
外貨種別	
加盟店所在地	
クーポンチケット番号	
クーポン番号	
課金情報	
高速道路利用情報	
利用ETCカード会員番号	
利用ETCカード会員名(カナ)	
割引元金情報	
ガソリンスタンド名称	
市外通話割引率	
文字区分	
航空券情報	
取扱店所(カナ)	
取扱店所(漢字)	
会員決済日	2016/07/11
一連NO	00001
カード会社連携ファイル取込日時	2017/05/01
取消フラグ	<input type="radio"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 有効
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2017/07/01
システム案件ID	
ユーザーID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットバリエーション	

次の項目は編集可能な項目です。

- 精算ユーザ
精算者を選択します。
利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

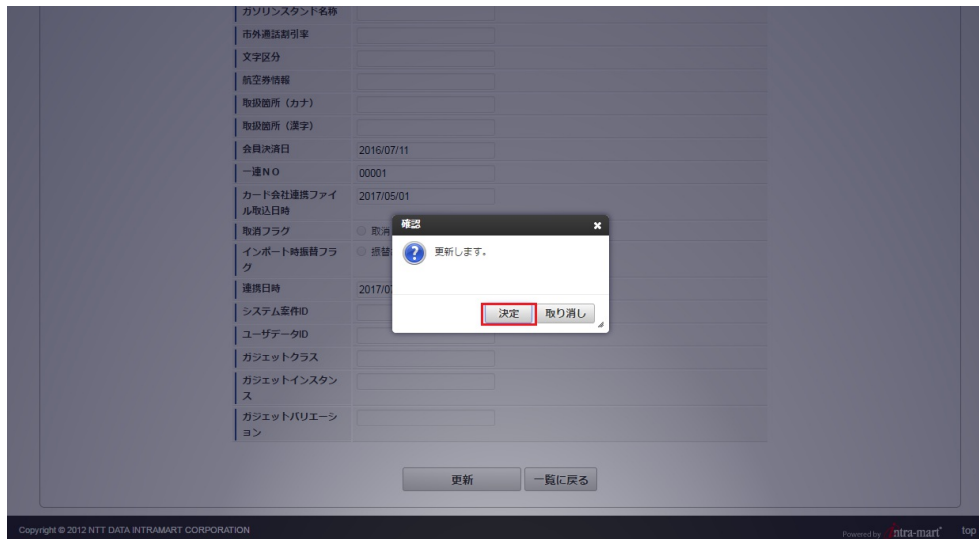
コラム

Cloud-Base契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、法人カードマスタの「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたカードIDに紐付く場合のみ編集可能です。

精算ユーザを振り替えた場合も、カードIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。

No	利用日	精算者名	利用加盟店名 (カナ)	利用金額	利用データステータス
1	2016/04/13	青柳崇巳	0001-41701	4036	未処理
2	2016/04/13	青柳崇巳	0001-41701	-4036	未処理
3	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	-9790	未処理
4	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	7700	未処理
5	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	8610	未処理
6	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	48000	未処理
7	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	-16690	未処理
8	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	2490	未処理
9	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	8610	未処理
10	2016/04/16	青柳崇巳	0001-41701	30090	未処理
11	2016/04/17	青柳崇巳	0001-41701	7800	未処理
12	2016/04/17	青柳崇巳	0001-41701	34890	未処理
13	2016/04/18	青柳崇巳	0001-41701	33588	未処理
14	2016/04/18	青柳崇巳	0001-41701	1810	未処理
15	2016/04/18	青柳崇巳	0001-41701	17100	未処理
16	2016/04/19	青柳崇巳	0001-41701	3610	未処理

法人カード会社取り込み

本項では、「Cloud-Base」から法人カード会社の情報を取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社取り込みはCloud-Base契約マスタに登録された情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カード会社のID、名称等の情報を取得します。

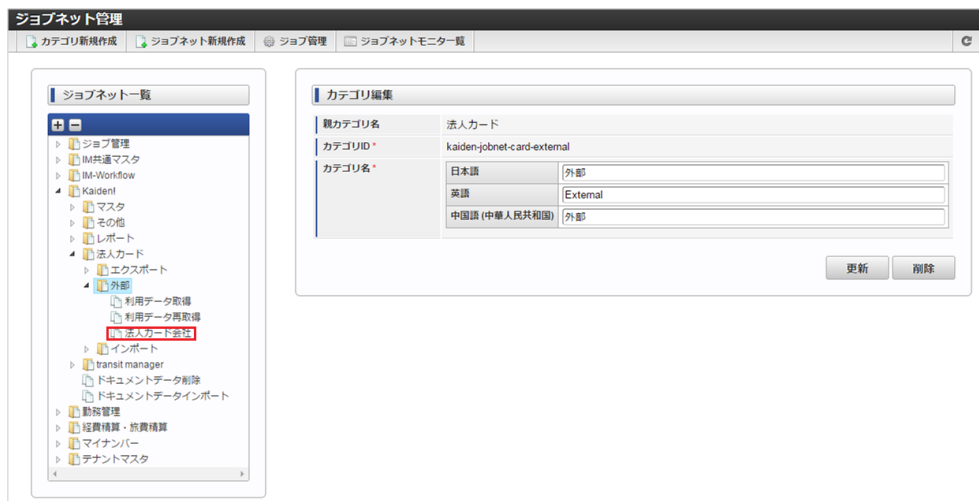
法人カード会社の情報は法人カード会社マスタからもメンテナンス可能です。

新規に法人カード会社を登録する際や、法人カード会社の情報に変更がある場合、実行してください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

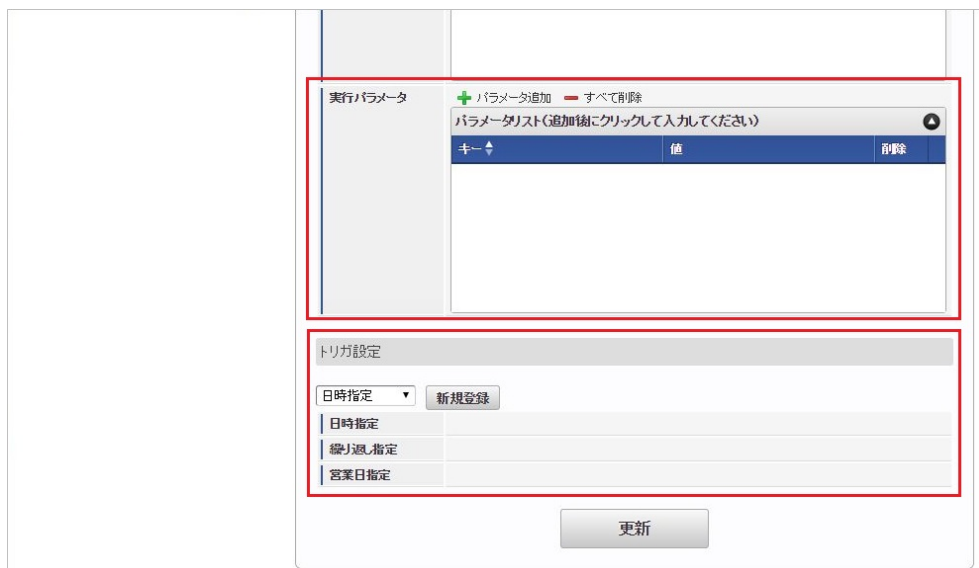
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード会社」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「トリガ設定」を編集します。



i コラム

当ジョブに実行パラメータの設定は不要です。
 設定されている実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
 トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-04-card-company	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 法人カード会社

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、[法人カード会社マスタ](#)でジョブが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

下記の実行パラメータで実行されます。

名称	キー	説明／設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間は10秒です。
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードは単一期間（差分）モードです。 （省略時：1）
開始日	start_date	インポート期間の開始日はシステムの開始日です。
終了日	end_date	インポート期間の終了日はシステムの終了日です。

J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作

利用データ取得

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードの利用データを取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

利用データ取得は、指定された[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の情報に基づき「J'sNAVI Jr.」に接続し、法人カードの利用データを取得します。

[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の「カード利用データ連携URL」を使用して「J'sNAVI Jr.」と通信します。

カードの利用日時点で有効なユーザが[J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ](#)に登録されていない場合、[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の「担当者」を利用者に設定します。

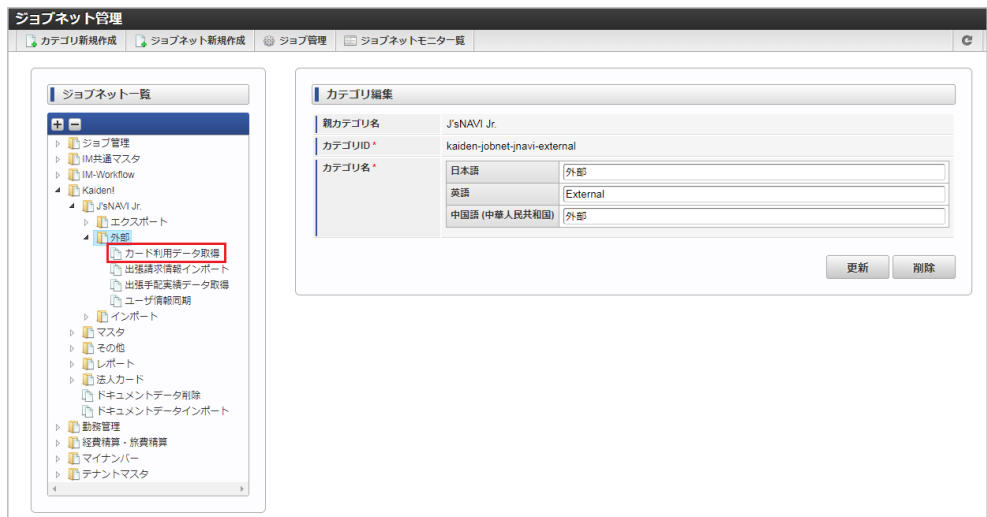
取得するデータは法人カード会社によって異なります。

詳細は、「J'sNAVI Jr.」のサービス内容をご確認ください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

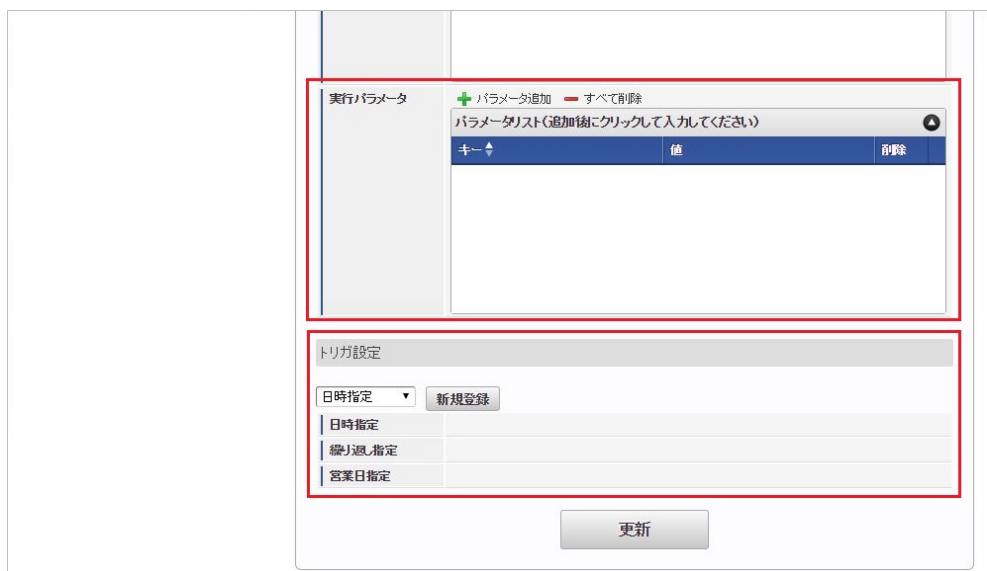
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「カード利用データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

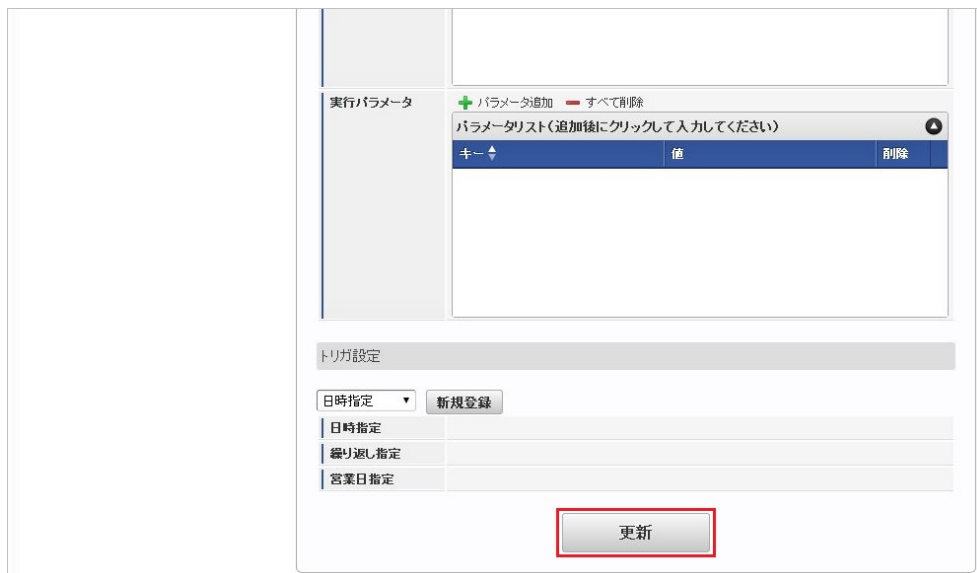
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

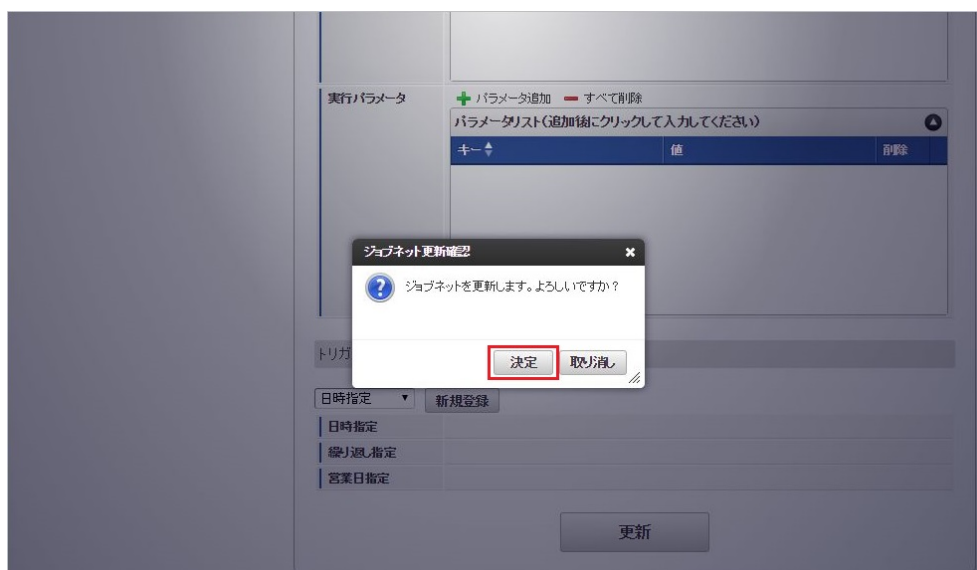
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-card-usage-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / 外部 / カード利用データ取得

5. 編集後、「更新」をクリックします。



The screenshot shows a web interface for configuring a job. It includes sections for '実行パラメータ' (Execution Parameters) with a table for adding parameters, and 'トリガ設定' (Trigger Settings) with fields for date, repeat, and business day specifications. A '新規登録' (New Registration) button is visible. At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



This screenshot shows the same configuration page as above, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog contains a question mark icon and the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). At the bottom of the dialog, the '決定' (Confirm) button is highlighted with a red rectangular box, and the '取り消し' (Cancel) button is also visible.

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

ファイル取得

利用データ取得に成功した場合、次の通り「J'sNAVI Jr.」からダウンロードしたファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/cardData/archive
ファイル名	import-CARD_{corporateCd}_{YMDHMSN}.csv

「J'sNAVI Jr.」からデータをダウンロード後に処理に失敗した場合、次の通りファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/cardData/error/
ファイル名	import-CARD_{corporateCd}_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{corporateCd} : 企業コード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
企業コード	corporateCd	法人カード利用データ取得元のJ'sNAVI Jr. 契約マスタで設定した「契約企業コード」を設定します。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
データ連携開始日	dtRelationFrom	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時：未取得のデータを全て取得します。)
データ連携終了日	dtRelationTo	取得するデータの終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時：未取得のデータを全て取得します。)

出張手配実績データ取得

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
 - 実績データの変更

概要

出張手配実績データ取得は、指定されたJ'sNAVI Jr. 契約マスタの情報に基づき「J'sNAVI Jr.」に接続し、出張手配の実績データを取得します。

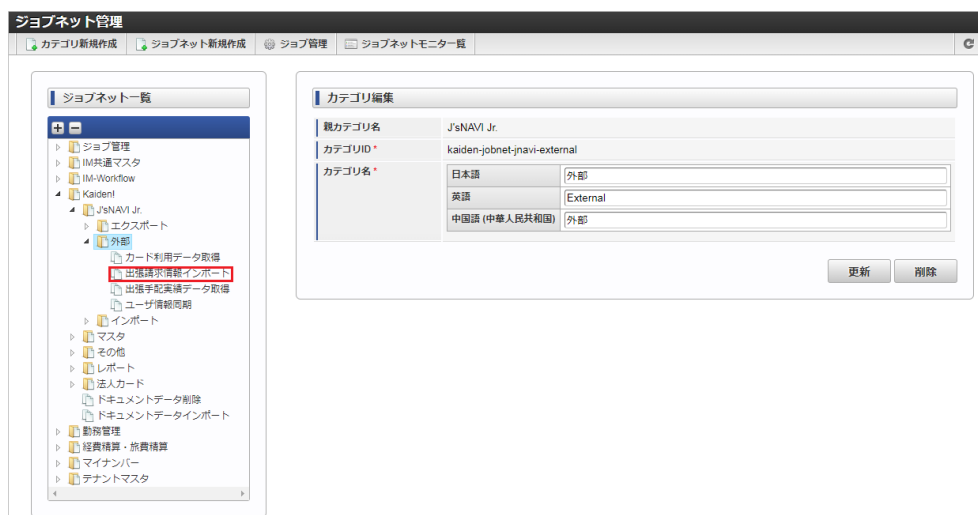
J'sNAVI Jr. 契約マスタの「出張手配実績データ取得URL」を使用して「J'sNAVI Jr.」と通信します。

有効なユーザが出張手配ユーザマッピングマスタに登録されていない場合、J'sNAVI Jr. 契約マスタの「担当者」を利用者に設定します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配実績データ取得」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

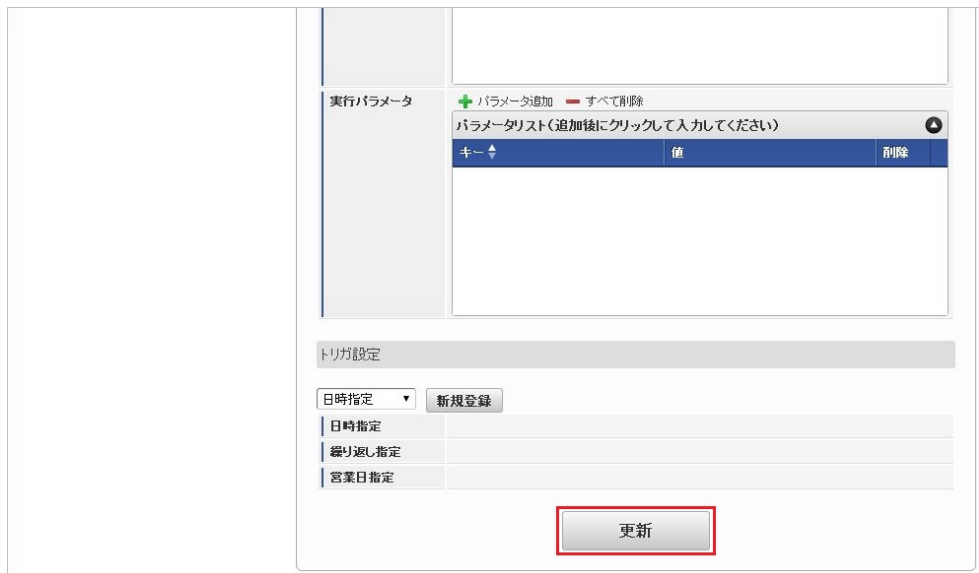
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

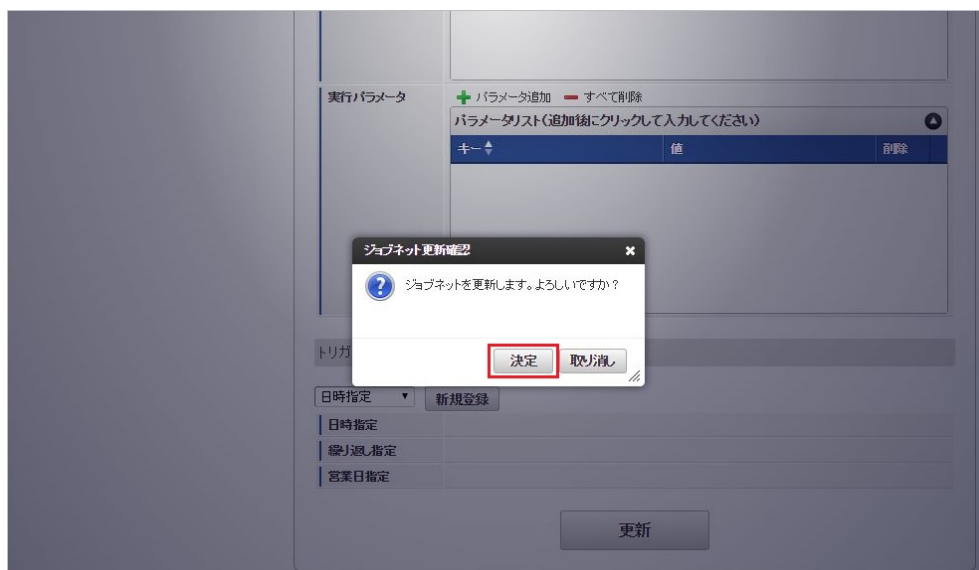
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-trip-result-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr./ 外部 / 出張手配実績データ取得
kakaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-trip-registration-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr./ 外部 / 出張手配実績データ登録

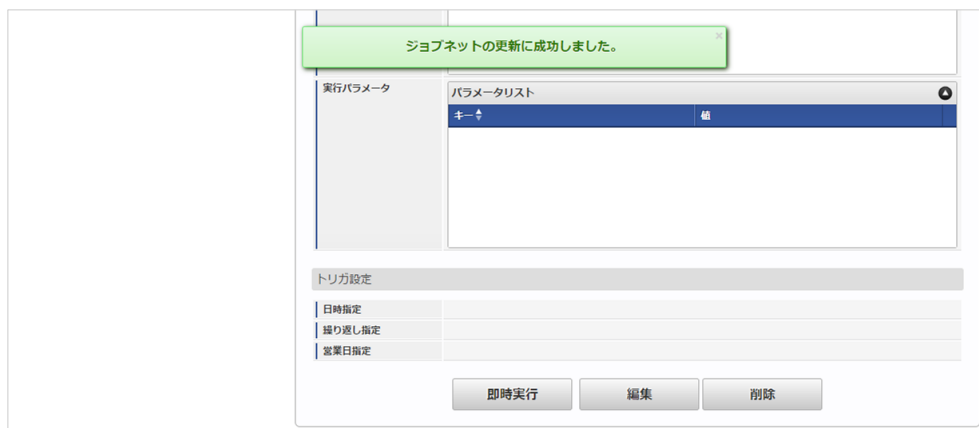
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

ファイル取得

利用データ取得に成功した場合、次の通り「J'sNAVI Jr.」からダウンロードしたファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/tripData/archive
ファイル名	import-TRIP-RESULT- <code>{corporateCd}</code> - <code>{YMDHMSN}</code> .csv

「J'sNAVI Jr.」からデータをダウンロード後に処理に失敗した場合、次の通りファイルが出力されます。

出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/tripData/error/
ファイル名	import-TRIP-RESULT- <code>{corporateCd}</code> - <code>{YMDHMSN}</code> .csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式
 {corporateCd} : 企業コード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
企業コード	corporateCd	出張手配実績データ取得元のJ'sNAVI Jr. 契約マスタで設定した「契約企業コード」を設定します。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
暗号化モード	encryptMode	暗号化モードを指定します。 暗号化ありを使用する場合、事前に「J'sNAVI Jr.」への連絡が必要です。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 暗号化なし 2 : 暗号化あり
データ連携開始日	dtRelationFrom	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時: 未取得のデータを全て取得します。)
データ連携終了日	dtRelationTo	取得するデータの終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時: 未取得のデータを全て取得します。)

実績データの変更

出張予約を変更並びにキャンセルした場合、変更・キャンセル前後のデータが全て実績データとして取り込まれます。

有効なデータのみ精算してください。

また、出張予約を変更並びにキャンセルした場合、金額がマイナスのデータが発生します。

金額がマイナスのデータを精算することはできませんのでご注意ください。

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カード利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

利用データテーブルメンテナンスは、[利用データ取得](#)で「J'sNAVI Jr.」から取り込んだ法人カードの利用データのメンテナンスを行います。
[J'sNAVI Jr.法人カードマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている法人カードのデータの場合、「精算ユーザ」、
 「利用データステータス」を変更できます。
 利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、
 本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード利用データテーブル」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい法人カード利用データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算会社
- 精算ユーザ
- 加盟店名

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- [J'sNAVI Jr.契約マスタ](#)で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

検索 クリア

No	▲ 利用日	精算会社	精算ユーザ	加盟店名	内訳利用金額	利用データステータス
1	2012/04/10	サンプル会社	林政義	S N O W S N O W S N O W S N O	999999999	処理済
2	2016/09/11	サンプル会社	林政義	JR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGER	999999999999999999999	未処理 9
3	2016/09/11	サンプル会社	林政義	JR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGER	999999999999999999999	処理済 9
4	2017/04/14	サンプル会社	林政義	E-I* 9f37E-I* 99f38f38f	99999999999	未処理
5	2017/04/14	サンプル会社	林政義	DELTA AIR 00679652	112952	未処理

最初へ前へ 1 次へ 最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

精算会社 *	サンプル会社
精算ユーザ *	<input checked="" type="checkbox"/> 林政義
利用データステータス *	未処理
備考	
カードID	S0003
企業コード	TEST038
企業名	連携テスト用企業(スミセイ情報システム様)
決済方式	PRIVATE
カードタイプ	CORP
連番	999999999
集計部署コード	9999
集計部署名	????????????????
利用者部署コード	9999
利用者部署名	????????????????
利用者ユーザID	S0003
利用者社員名	伊藤 智樹
利用日	2017/04/14
売上基準日	
会員決済日	2017/06/12
国内海外区分	J
通貨種類	USD
現地利用金額	999999999
換算レート	1112830 0009999
レート換算日	2017/04/16
円換利用金額	112952
税金手数料等	
加盟店番号	00000000
加盟店名	DELTA AIR 00679652
加盟店業種コード	3058
海外加盟店所在地	BRUSSELSAAAAA
利用国名	
利用カード会社	MS
利用カードブランド	VISA
データ区分1	02
データ区分2	B
データ区分3	
タクシーチケット番号	999999999999999
タクシーチケット付加情報	ああああああA
ETCカード利用番号	7800123456789012
ETCカード付加情報	ふじのふじのふじのふじの
出発地	ああああ
到着地	ああああ
連携データ備考	ああああああ
連携データ予備項目1	2017042000024
連携データ予備項目2	ああ
連携データ予備項目3	ああ
連携データ予備項目4	
連携データ予備項目5	
連携データ予備項目6	
連携データ予備項目7	
連携データ予備項目8	
連携データ予備項目9	
連携データ予備項目10	
連携データ予備項目11	
連携データ予備項目12	
連携データ予備項目13	
連携データ予備項目14	
連携データ予備項目15	
連携データ予備項目16	
連携データ予備項目17	
連携データ予備項目18	
連携データ予備項目19	
連携データ予備項目20	
作成日時	2017/04/20 14:00:21.000
更新日時	2018/01/23 14:42:16.000
取消フラグ	<input type="radio"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 有効
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2018/03/02 14:07:00.466
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットバージョン	

次の項目は編集可能な項目です。

- 精算ユーザ

精算者を選択します。

利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。

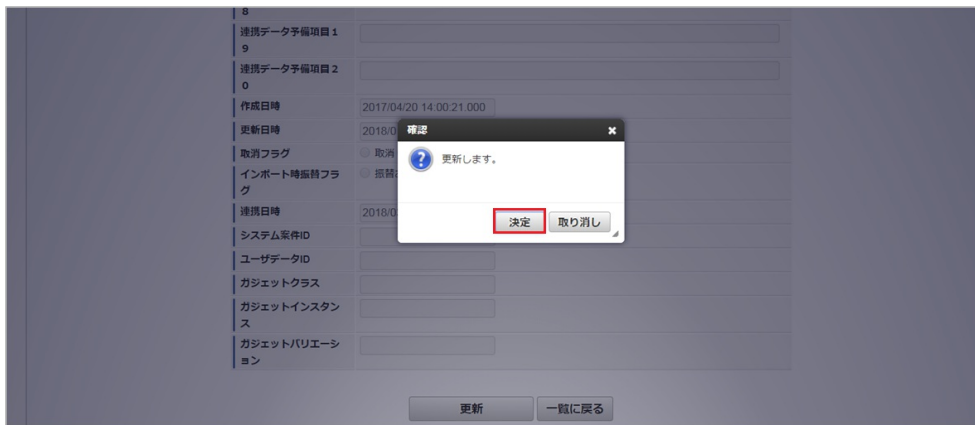
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

i コラム

J'sNAVI Jr. 契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、J'sNAVI Jr. 法人カードマスタの「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたカードIDに紐付く場合のみ編集可能です。精算ユーザを振り替えた場合も、カードIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



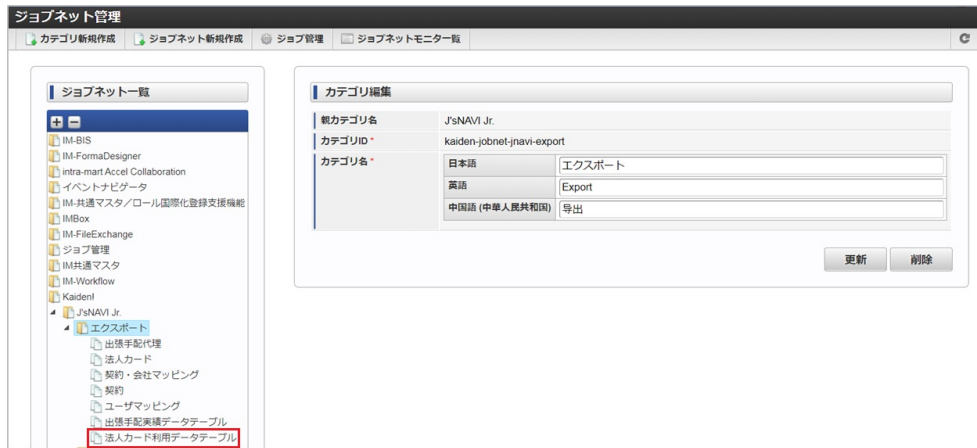
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

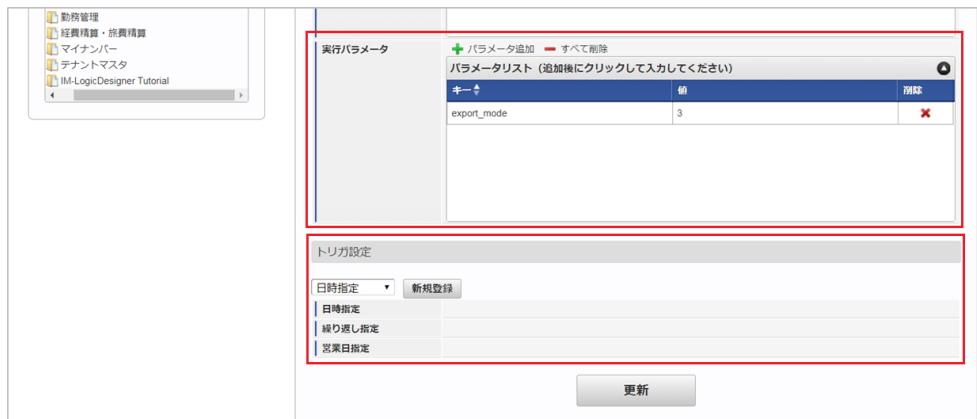
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード利用データテーブル」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

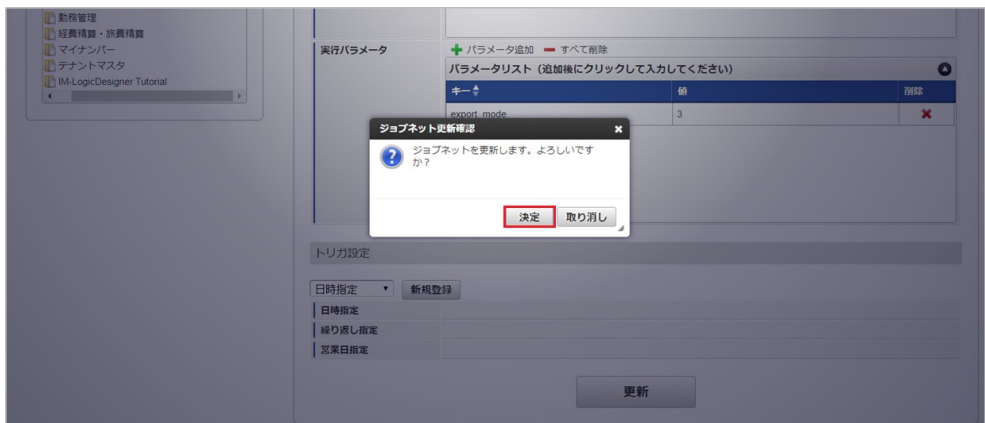
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-user	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 法人カード利用データテーブル

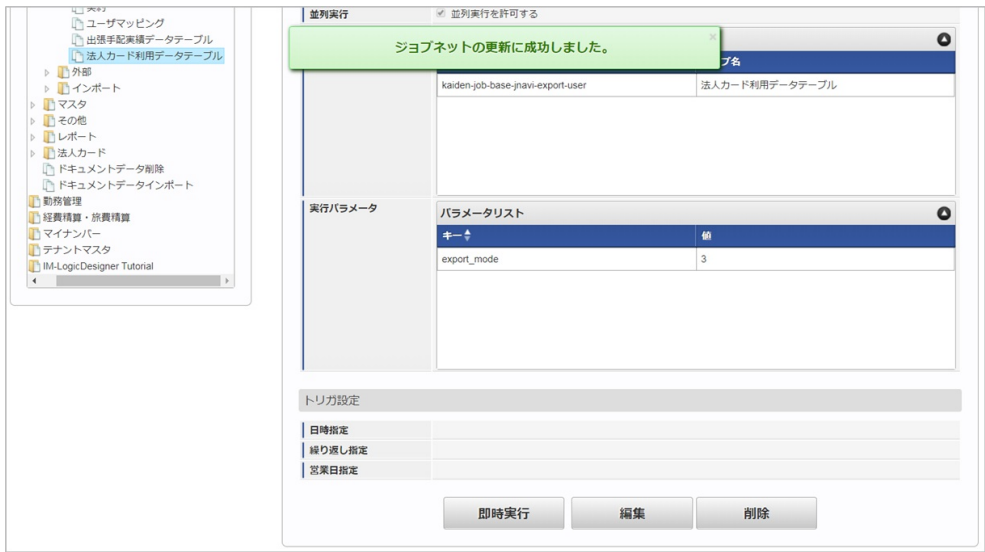
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_card_data/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cardDataKey	カードデータキー	
orgCardDataKey	連携元カードデータキー	
cardId	カードid	
settleCompanyCd	精算者会社コード	
settleUserCd	精算者ユーザコード	
corporateCd	企業コード	
corporateName	企業名	
settlemenMethod	決済方式	
cardType	カードタイプ	
serialNumber	連番	
aggregateDeptCd	集計部署コード	
aggregateDeptName	集計部署名	
memberDeptCd	利用者部署コード	
memberDeptName	利用者部署名	
memberCd	利用者ユーザID	
memberName	利用者社員名	
useDate	利用日	
salesDate	売上基準日	
memberSettleDate	会員決済日	
useClassification	国内海外区分	
currencyType	通貨種類	
currencyAmount	現地利用金額	
exchangeRate	換算レート	
exchangeRateDate	レート換算日	
amount	円貨利用金額	
taxFrees	税金手数料等	
storeNumber	加盟店番号	
storeName	加盟店名	
storeIndustryCd	加盟店業種コード	
storeLocation	海外加盟店所在地	
useCountryName	利用国名	
cardCompanyCd	利用カード会社	
cardBrand	利用カードブランド	
dataClassification1	データ区分1	
dataClassification2	データ区分2	
dataClassification3	データ区分3	
taxiTicketNo	タクシーチケット番号	

taxiTicketInfo	タクシーチケット付加情報
etcCardNo	etcカード利用番号
etcCardInfo	etcカード付加情報
departure	出発地
arrival	到着地
remarks	連携データ備考
preItem1	連携データ予備項目 1
preItem2	連携データ予備項目 2
preItem3	連携データ予備項目 3
preItem4	連携データ予備項目 4
preItem5	連携データ予備項目 5
preItem6	連携データ予備項目 6
preItem7	連携データ予備項目 7
preItem8	連携データ予備項目 8
preItem9	連携データ予備項目 9
preItem10	連携データ予備項目 1 0
preItem11	連携データ予備項目 1 1
preItem12	連携データ予備項目 1 2
preItem13	連携データ予備項目 1 3
preItem14	連携データ予備項目 1 4
preItem15	連携データ予備項目 1 5
preItem16	連携データ予備項目 1 6
preItem17	連携データ予備項目 1 7
preItem18	連携データ予備項目 1 8
preItem19	連携データ予備項目 1 9
preItem20	連携データ予備項目 2 0
createDate	作成日
updateDate	更新日
useDataStatus	利用データステータス
cancelFlag	取消フラグ
importTransferFlag	インポート時振替フラグ
importTs	連携日時
systemMatterId	システム案件ID
userDataId	ユーザデータID
gadgetClass	ガジェットクラス
gadgetInstance	ガジェットインスタンス
gadgetVariation	ガジェットバリエーション
note	備考
freeText1	フリーテキスト1
freeText2	フリーテキスト2
freeText3	フリーテキスト3
freeText4	フリーテキスト4
freeText5	フリーテキスト5
freeText6	フリーテキスト6

freeText7	フリーテキスト7
freeText8	フリーテキスト8
freeText9	フリーテキスト9
freeText10	フリーテキスト10
freeNo1	フリーナンバー1
freeNo2	フリーナンバー2
freeNo3	フリーナンバー3
freeNo4	フリーナンバー4
freeNo5	フリーナンバー5
freeNo6	フリーナンバー6
freeNo7	フリーナンバー7
freeNo8	フリーナンバー8
freeNo9	フリーナンバー9
freeNo10	フリーナンバー10
extensionA	予備項目a
extensionB	予備項目b
extensionC	予備項目c
extensionD	予備項目d
extensionE	予備項目e
extensionF	予備項目f
extensionG	予備項目g
extensionH	予備項目h
extensionI	予備項目i
extensionJ	予備項目j
entryTs	申請日時
entryUserCd	申請者ユーザID
renewCnt	更新カウント
renewTs	更新日時
renewUserCd	更新者ユーザID

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jnavi_card_data/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：既存ファイルに追記 ■ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/jnavi_card_data/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ■ ,：カンマ ■ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ■ "：ダブルクォーテーション ■ none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ■ true：ヘッダー出力有 ■ false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード利用データテーブルエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card_data」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配実績データテーブルメンテナンスは、[出張手配実績データ取得](#)で「J'sNAVI Jr.」から取り込んだ出張手配実績データのメンテナンスを行います。

[出張手配ユーザマッピングマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている出張手配実績データの場合、「利用ユーザ」、「利用データステータス」を変更できます。

利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配実績データテーブル」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい出張手配実績データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 利用会社
- 利用ユーザ
- 支払内容

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- J'sNAVI Jr. [契約マスタ](#)で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

出張手配実績データテーブルメンテナンス

検索 クリア

No	請求発生日	利用会社	利用ユーザ	支払内容	金額	利用データステータス
1	2018/02/01	サンプル会社	萩本隼子	福山 広島 ひかり491 普通	4420	未処理
2	2018/02/01	サンプル会社	萩本隼子	広島 東京羽田 JL 0254 e ビジ 特6	20840	未処理

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

出張手配実績データテーブルメンテナンス

利用会社*	サンプル会社
利用ユーザ*	<input checked="" type="checkbox"/> 採本曠子
利用データステータス*	未処理
備考	<input type="text"/>
企業コード	00000
SEONO	1
発注機能コード	JE
枝番	001
ユーザID	00001
処理番号	
副番号	
旅行番号	J00000099991
請求発生日	2018/02/01
出発日	2018/02/02
到着日	2018/02/01
金額	4420
請求対象区分	2
個別設定01	JR Express
個別設定02	JR
個別設定03	福山
個別設定04	広島
個別設定05	EX予約
個別設定06	ひかり491
個別設定07	普通
個別設定08	08:42
個別設定09	09:05
個別設定10	410000077913059-2188
個別設定11	出場
個別設定12	2017/09/06
個別設定13	00001
個別設定14	青柳旅已
個別設定15	
個別設定16	
個別設定17	
個別設定18	
個別設定19	
個別設定20	
個別設定21	
個別設定22	
個別設定23	
個別設定24	
個別設定25	
個別設定26	
個別設定27	
個別設定28	
個別設定29	
個別設定30	
連携問い合わせ区分	0
連携問い合わせ日時	
WS連携問い合わせ区分	1
WS連携問い合わせ日時	2018/03/01 00:00:00.000
システム区分	J
WF申請書関連フラグ	0
支払内容	福山 広島 ひかり491 普通
作成日時	2018/03/01 00:00:00.000
更新日時	2018/03/01 00:00:00.000
所属拠点コード	9999
精算拠点コード	
取消フラグ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 精算不要
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2018/03/10 00:00:00.000
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットバージョン	

次の項目は編集可能な項目です。

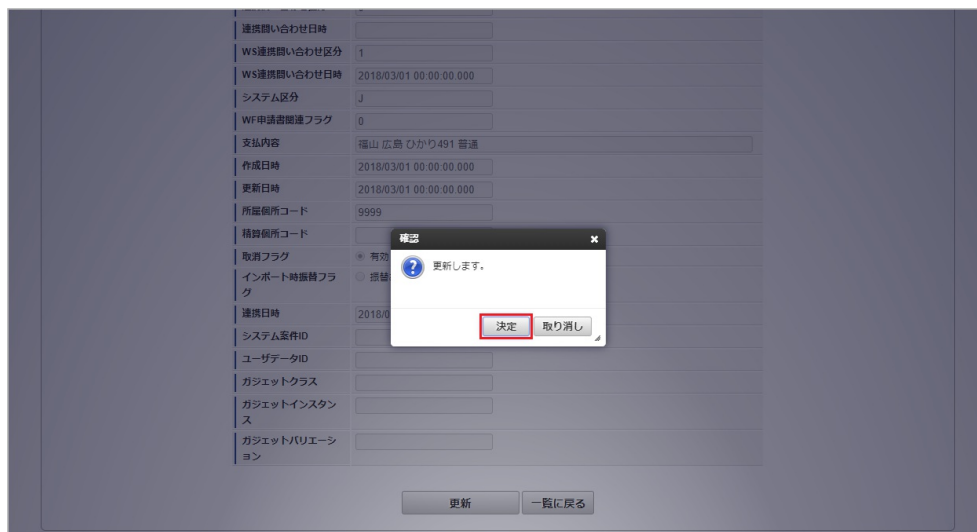
- 利用ユーザ
 - 利用者を選択します。
 - 利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
 - 「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
 - 「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
 - 備考を入力します。

コラム

J'sNAVI Jr. 契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、[出張手配ユーザマッピングマスタ](#)の「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたJ'sNAVI Jr.ユーザIDに紐付く場合のみ編集可能です。利用ユーザを振り替えた場合も、J'sNAVI Jr.ユーザIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

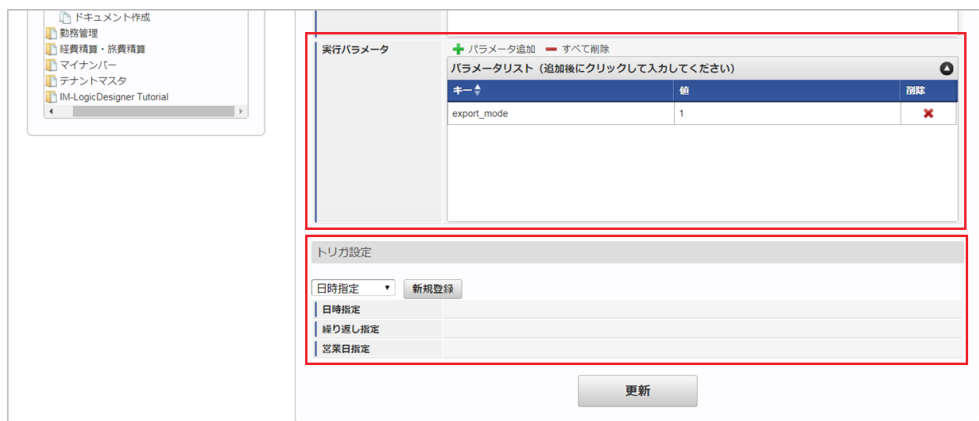
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配実績データテーブル」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

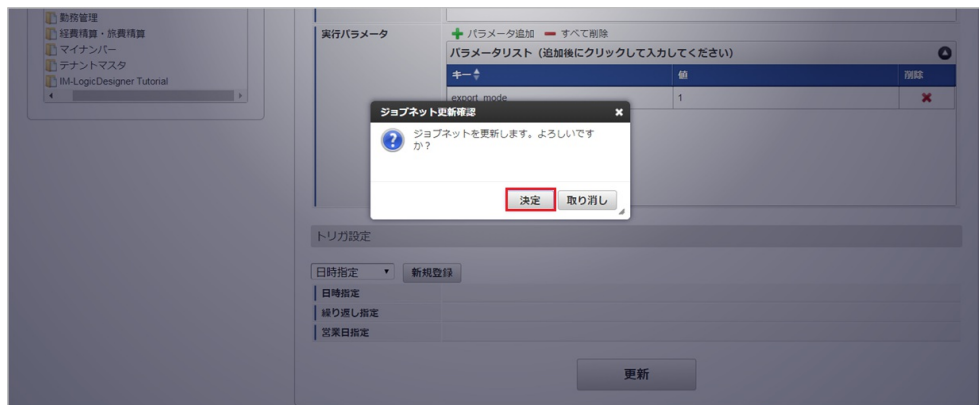
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-trip-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr./ エクスポート / 出張手配実績データテーブル

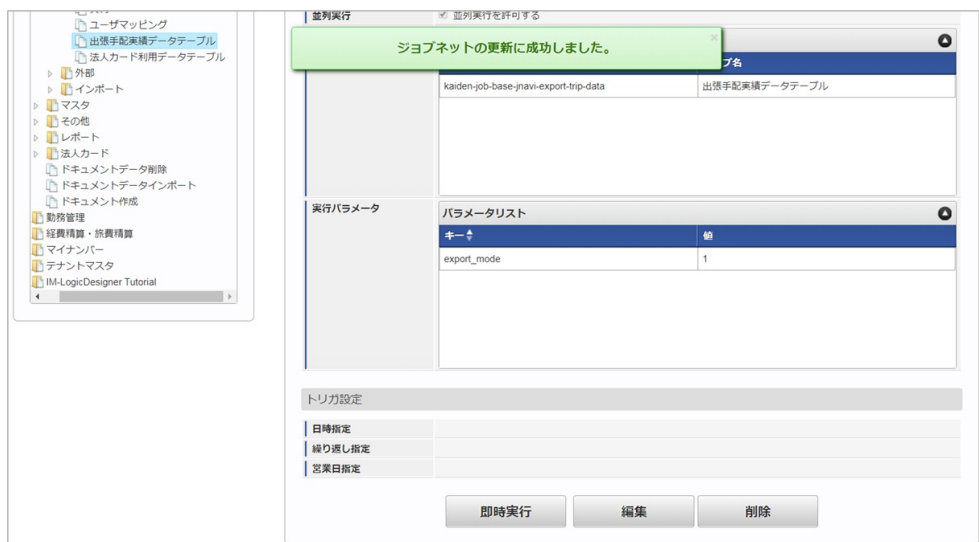
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
tripDataKey	出張手配実績データキー	
orgTripDataKey	連携元出張手配実績データキー	
imCompanyCd	利用会社コード	
imUserCd	利用ユーザコード	
corporateCd	企業コード	
seqNo	SEQNO	

orderFuncCd	発注機能コード
branchNo	枝番
userId	ユーザid
processNo	処理番号
subNo	副番号
tripNo	旅行番号
billingDate	請求発生日
departureDate	出発日
arrivalDate	到着日
amount	金額
billableType	精算対象区分
data01	個別設定01
data02	個別設定02
data03	個別設定03
data04	個別設定04
data05	個別設定05
data06	個別設定06
data07	個別設定07
data08	個別設定08
data09	個別設定09
data10	個別設定10
data11	個別設定11
data12	個別設定12
data13	個別設定13
data14	個別設定14
data15	個別設定15
data16	個別設定16
data17	個別設定17
data18	個別設定18
data19	個別設定19
data20	個別設定20
data21	個別設定21
data22	個別設定22
data23	個別設定23
data24	個別設定24
data25	個別設定25
data26	個別設定26
data27	個別設定27
data28	個別設定28
data29	個別設定29
data30	個別設定30
inquiryType	連携問い合わせ区分
inquiryDate	連携問い合わせ日時
wsInquiryType	ws連携問い合わせ区分

wsInquiryDate	ws連携問い合わせ日時
systemType	システム区分
wfRelationFlag	wf申請書関連フラグ
paymentDetails	支払内容
createDate	作成日
updateDate	更新日
costCenterCd	所属個所コード
adCd	精算個所コード
historyFlag	履歴フラグ
offsetFlag	相殺有無フラグ
useDataStatus	利用データステータス
cancelFlag	取消フラグ
importTransferFlag	インポート時振替フラグ
warningFlag	警告フラグ
importTs	連携日時
systemMatterId	システム案件id
useDataId	ユーザデータid
gadgetClass	ガジェットクラス
gadgetVariation	ガジェットバリエーション
gadgetInstance	ガジェットインスタンス
note	備考
extensionA	予備項目a
extensionB	予備項目b
extensionC	予備項目c
extensionD	予備項目d
extensionE	予備項目e
extensionF	予備項目f
extensionG	予備項目g
extensionH	予備項目h
extensionI	予備項目i
extensionJ	予備項目j
entryTs	申請日時
entryUserCd	申請者ユーザID
renewCnt	更新カウント
renewTs	更新日時
renewUserCd	更新者ユーザID

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無

名称	キー	説明 / 設定値
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張手配実績データテーブルエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_trip_data」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

BTMサービス利用実績データメンテナンス

本項では、BTMサービス利用実績データのメンテナンス方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [更新](#)

概要

BTMサービス利用実績データメンテナンスは、オプションモジュールの実績データ取得で「BTMサービス」から取り込んだBTMサービス利用実績データのメンテナンスを行います。

コラム

BTMサービスと連携する場合、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

[権限設定マスタ](#)でBTMサービス利用実績データの更新権限を付与されている場合、「利用ユーザ」、「利用データステータス」を変更できます。利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「BTMサービス」→「BTMサービス利用実績データ」をクリックします。

コラム

BTMサービス利用実績データメンテナンスを管理者として開く場合は、「サイトマップ」→「Kaiden!」→「BTMサービス」→「BTMサービス利用実績データ(管理者)」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したいBTMサービス利用実績データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 利用ユーザ
- 摘要1

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが利用者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

BTMサービス利用実績データメンテナンス

検索 クリア

No	▲ 利用開始日	利用終了日	利用ユーザ	摘要1	利用金額	利用データステータス	履歴状況
1	2017/10/31	2017/11/01	仮本様子	ダイワロイネットホテル名古屋駅前	10800	未処理	最新
2	2017/11/19	2017/11/22	仮本様子	京王プレッソイン丸下	30200	未処理	最新
3	2017/11/21	2017/11/22	仮本様子	リッチモンドホテル東大阪	11600	未処理	最新
4	2017/11/25	2017/11/26	仮本様子	東横イン東京駅新大橋前	8424	未処理	最新
5	2017/11/27	2017/11/28	仮本様子	ホテルメトロポリタン仙台	12300	未処理	最新

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

BTMサービス利用実績データメンテナンス

←

会社 * サンプル会社

利用ユーザ * 仮本様子

利用データステータス * 未処理

備考

連携番号 SH00001R17080xxxx1000

契約システムID SA

企業コード C00000012

連携システム権限者ID G1346322

連携システム実行者ID G1346322

利用開始日 2017/11/21

利用終了日 2017/11/22

日付3 2017/11/07

日付4

日付5

摘要1 リッチモンドホテル東大阪

摘要2 大阪府東大阪市長田中1-3-16

摘要3 06-6785-3333

摘要4 ※禁煙※スタンダードシングルルーム

摘要5 【LongStay】最大24時間ステイ 14時~14時 和洋ハイキング朝食付き

利用金額 11600

金額2 11600

金額3 0

金額4

金額5

ステータス1

ステータス2

ステータス3

ステータス4

ステータス5

数値1 1

数値2 1

数値3

数値4

数値5

備考1

備考2

備考3

備考4

備考5

履歴状況 最新 履歴

取消フラグ 取消 有効

インポート時振替フラグ 振替あり 振替無し

連携日時 2020/01/17 11:15:25.000

システム案件ID

ユーザデータID

ガジェットクラス

ガジェットバリエーション

ガジェットインスタンス

更新 一覧に戻る

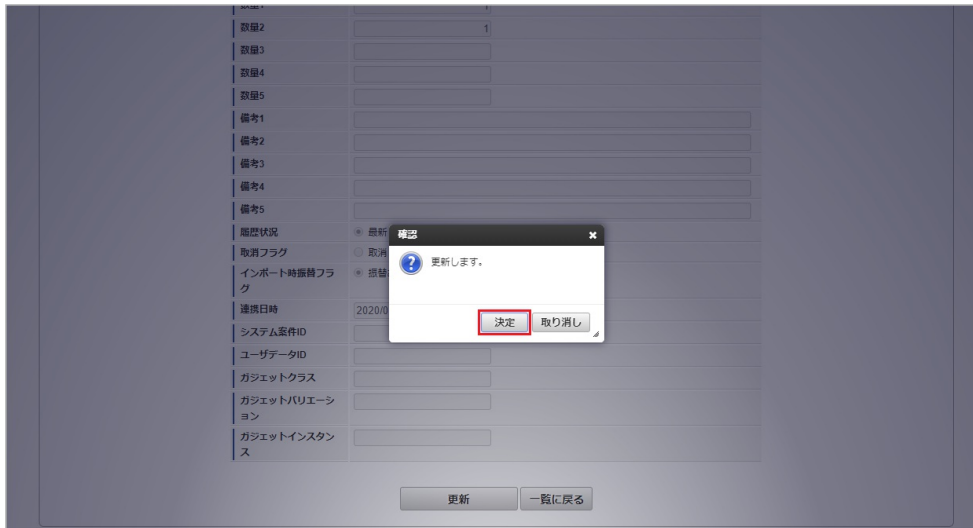
次の項目は編集可能な項目です。

- 利用ユーザ
利用者を選択します。
利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

i コラム

「利用ユーザ」、「利用データステータス」は、「履歴状況」が「最新」の場合のみ編集可能です。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



申請書公開設定

本項では、申請書公開設定のメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- 公開状況変更

概要

申請書公開とは申請書を特定の従業員に公開し、公開された従業員は公開された申請書をコピーすることができる機能です。申請書公開には、次の様なステータス（公開状況）があり、本機能ではこのステータスを変更できます。

- 公開
- 非公開

本機能では公開設定された申請書の公開と非公開を切り替えることができます。また公開対象者を変更することができます。

公開状況変更

公開状況を公開から非公開にする

公開した申請書が、何らかの理由により公開する必要がなくなった場合、当該申請書を非公開にできます。

非公開にした申請書は公開された従業員から参照することができません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「申請書公開」→「申請書公開設定」をクリックします。

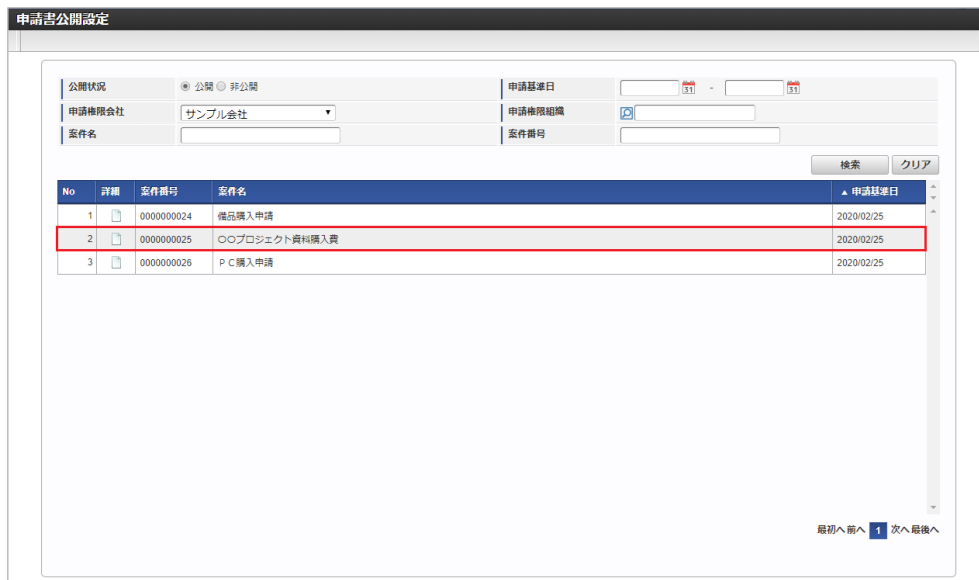
2. 検索欄の公開状況に **公開** を設定し「検索」をクリックすると、公開された申請書が一覧表示されます。

No	詳細	案件番号	案件名	申請標準日
1		0000000024	備品購入申請	2020/02/25
2		0000000025	〇〇プロジェクト資料購入費	2020/02/25
3		0000000026	P C購入申請	2020/02/25

最初へ前へ 1 次へ最後へ

- **詳細**
申請書の詳細を別画面で表示します。
- **案件番号**
申請書の案件番号を表示します。
- **案件名**
申請書の案件名を表示します。
- **申請標準日**
申請書の申請標準日を表示します。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



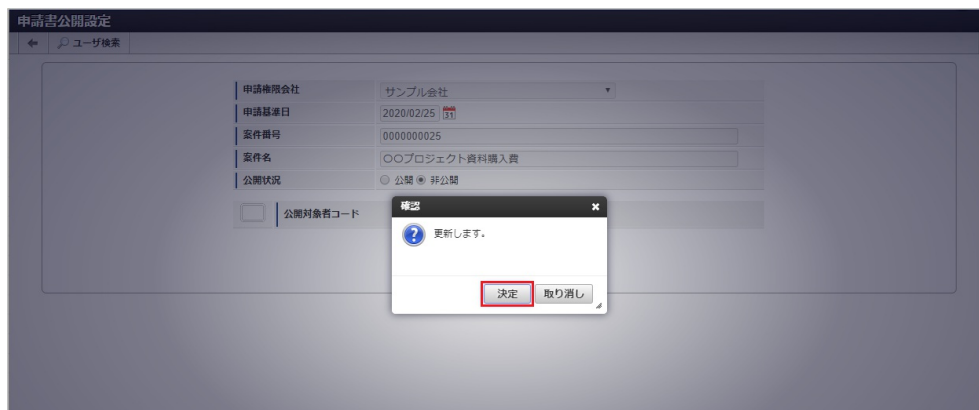
4. 更新画面で公開状況を「非公開」を選択し、公開対象者一覧を0件に編集後に「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 申請権限会社
- 申請基準日
- 案件番号
- 案件名

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 一覧からデータが消え、公開状況が非公開に変更されました。



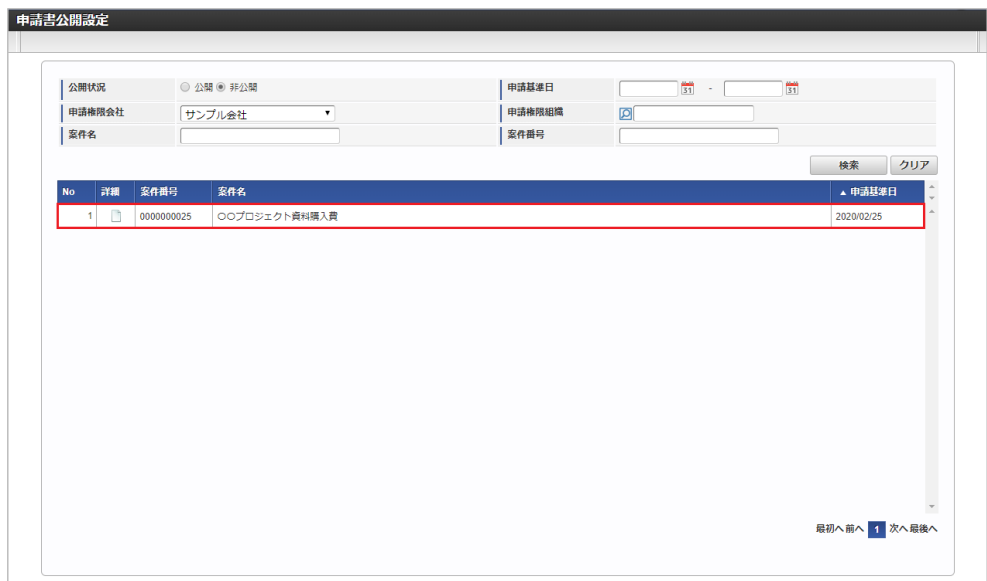
公開状況を非公開から公開にする

当機能で非公開にした申請書を、公開に切り替えます。

1. 検索欄の公開状況に **非公開** を設定し「検索」をクリックすると、非公開にされた申請書が一覧表示されます。



2. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



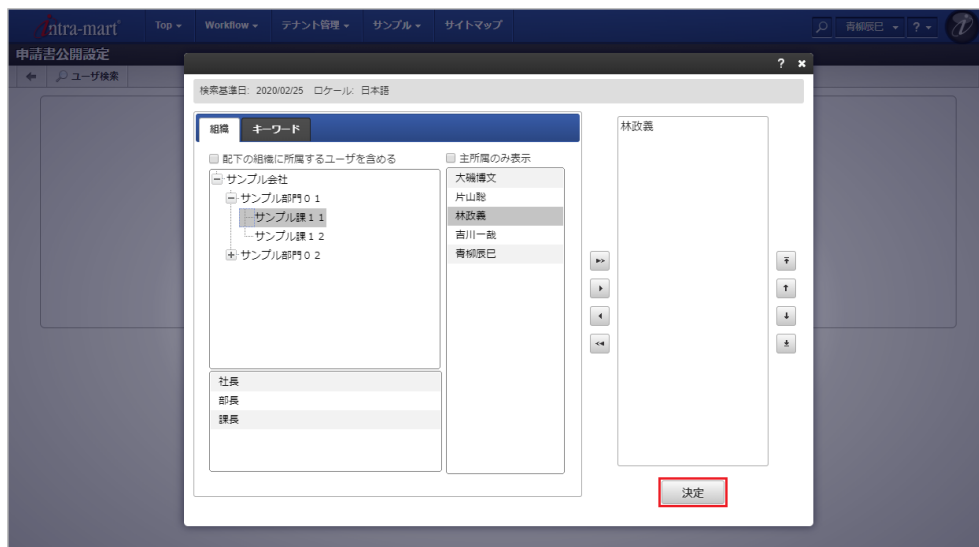
3. 更新画面で公開状況を「公開」を選択し、「ユーザ検索」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 申請権限会社
- 申請基準日
- 案件番号
- 案件名

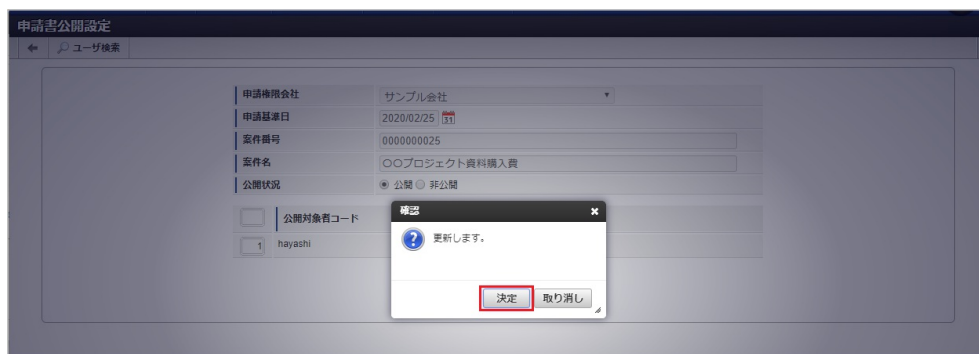
4. ユーザ検索画面で公開対象者を選択し、「決定」をクリックします。



5. 公開対象者一覧に選択したユーザが追加されていることを確認し、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 一覧からデータが消え、公開状況が公開に変更されました。

決裁連携データメンテナンス

本項では、決裁連携データメンテナンスのメンテナンス方法を説明します。

- [概要](#)
- [決裁状況の変更](#)
- [連携対象者の変更](#)
- [決裁状況レポートの表示](#)

概要

申請書紐づけとは申請書を、決裁事前申請・決裁精算申請のように紐付ける機能です。

承認された決裁事前申請には、次の様なステータス（決裁状況）があり、本機能ではこのステータスを変更できます。

- 決裁可能
- 決裁終了

通常は、決裁精算申請を「作成～承認」することでステータスが「決裁可能～決裁終了」に変化しますが、本機能では、決裁可能と決裁終了を切り替えることができます。

また決裁事前申請の連携対象者を変更することができます。

連携対象者は連携された申請書に対し決裁精算申請を作成することができます。

決裁状況の変更

決裁状況を決裁可能から決裁終了にする

決裁事前申請書が、何らかの理由により精算する必要がなくなった場合、当該申請書を決裁終了にできます。

決裁終了にした決裁事前申請書に対する決裁精算申請書は、作成できません。

i コラム

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐付く全ての決裁事前申請書の決裁状況を更新することができます。
- 上記以外の場合、ログイン中のユーザが申請した申請書および自身に連携されている決裁事前申請書でクローズ権限を保持している申請書のみ決裁状況を変更することができます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。

i コラム

決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、

「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。

決裁連携データメンテナンス

決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
----	----	----	------	-----	-------	-------	------	----

決裁終了に変更 決裁可能に変更

2. 検索欄の決裁状況に **決裁可能** を設定し「検索」をクリックすると、決裁未精算のデータが一覧表示されます。

決裁連携データメンテナンス

決裁終了に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	備品購入費申請	2020/02/25	青柳 京巳	15,000	15,000
2			0000000028	〇〇プロジェクト広告費申請	2020/02/25	青柳 京巳	200,000	200,000
3			0000000029	P C購入申請	2020/02/25	青柳 京巳		
4			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	萩本 優子	160,000	160,000

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

- **詳細**
決裁事前申請書の詳細を別画面で表示します。
- **連携**
決裁事前申請書の連携対象者を別画面で表示します。
- **案件番号**
決裁事前申請書の案件番号を表示します。
- **案件名**
決裁事前申請書の案件名を表示します。
- **申請基準日**
決裁事前申請書の申請基準日を表示します。
- **申請権限者**
決裁事前申請書の申請基準日を表示します。
- **決裁金額**
決裁事前申請書で申請した決裁金額を表示します。
- **残高**
未精算の決裁金額の残高です。
すでに精算済の決裁金額を差し引いた残りを表示しています。

例) 決裁額8,000のうち3,000が精算済の場合、残額として5,000が表示されます。

コラム

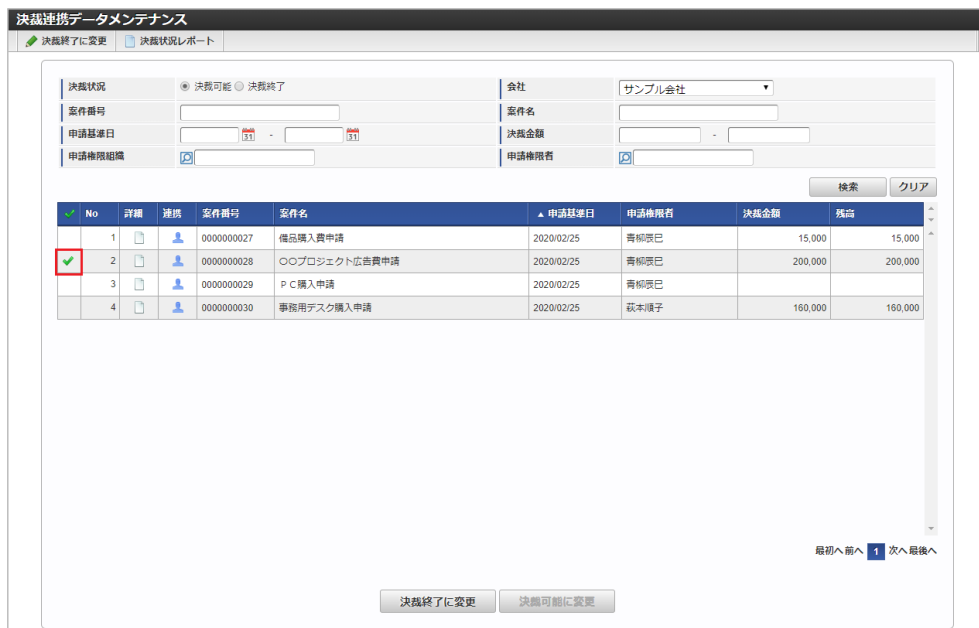
決裁事前申請書で金額未定として申請した場合、「決裁金額」と「残高」は空欄となります。

i コラム

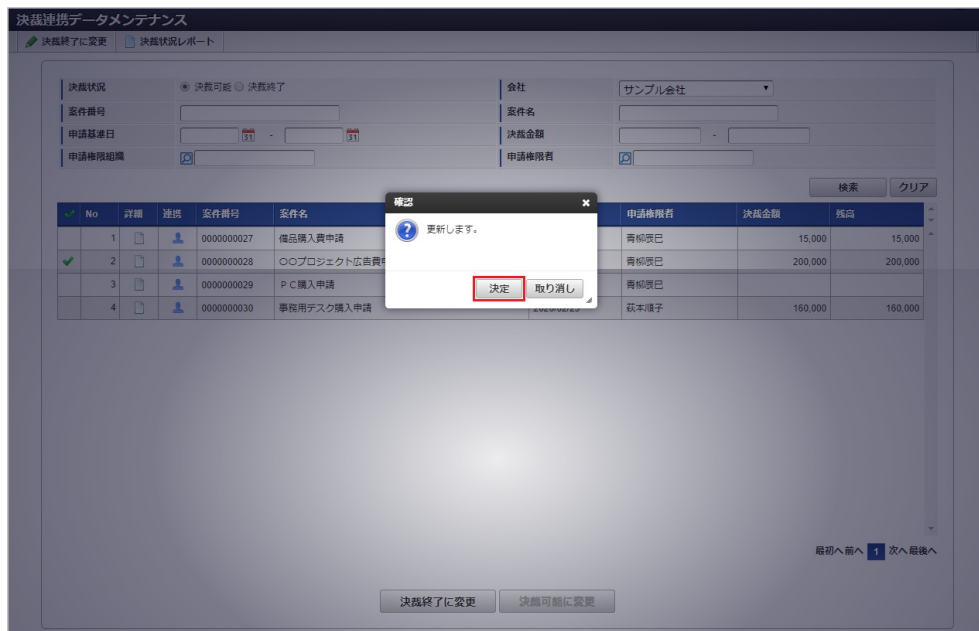
一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐づく決裁事前申請書が表示されます。
- 上記以外の場合、ログインユーザが申請者の決裁事前申請書および自身に連携されている決裁事前申請書が表示されます。

3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックが付きます。



4. 「決裁終了に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。確認ポップアップの「決定」をクリックします。



5. 一覧からデータが消え、決裁状況が決裁終了に変更されました。

更新しました。

検索欄: 会社: サンプル会社

No	詳細	連携	案件番号	案件名	申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	備品購入費申請	2020/02/25	青柳 京巳	15,000	15,000
2			0000000029	P.C購入申請	2020/02/25	青柳 京巳		
3			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	森本 博子	160,000	160,000

検索 クリア

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

決裁状況を決裁終了から決裁可能にする

当機能で決裁終了にした決裁事前申請書を、決裁可能に切り替えます。

1. 検索欄の決裁状況に「決裁終了」を設定し「検索」をクリックすると、決裁終了データが一覧表示されます。

決裁可能に変更 決裁状況レポート

決裁状況: 決裁可能 決裁終了

会社: サンプル会社

No	詳細	連携	案件番号	案件名	申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000028	〇〇プロジェクト広告費申請	2020/02/25	青柳 京巳	200,000	200,000

検索 クリア

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

2. 切り替え対象のデータ行を選択し「決裁可能に変更」をクリックすると、決裁状況が決裁可能に変更されます。

連携対象者の変更

決裁事前申請書が、何らかの理由により連携する対象者を変更する場合、当該申請書の連携対象者を変更することができます。

管理者として開いた場合、所属する会社に紐づく全ての申請書の連携対象者を変更することができます。

上記以外の場合、自身が作成した申請書のみ連携対象者を変更することができます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。



コラム

決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、

「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。

決裁連携データメンテナンス

決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
----	----	----	------	-----	---------	-------	------	----

決裁終了に変更 決裁可能に変更

2. 検索欄の決裁状況に **決裁可能** を設定し「検索」をクリックすると、決裁未精算のデータが一覧表示されます。

決裁連携データメンテナンス

決裁終了に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	権限購入費申請	2020/02/25	青柳京巳	15,000	15,000
2			0000000029	P.C購入申請	2020/02/25	青柳京巳		
3			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	萩本優子	160,000	160,000

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

3. 連携対象者を変更するデータ行の連携アイコンをクリックします。

決裁連携データメンテナンス

決裁終了に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

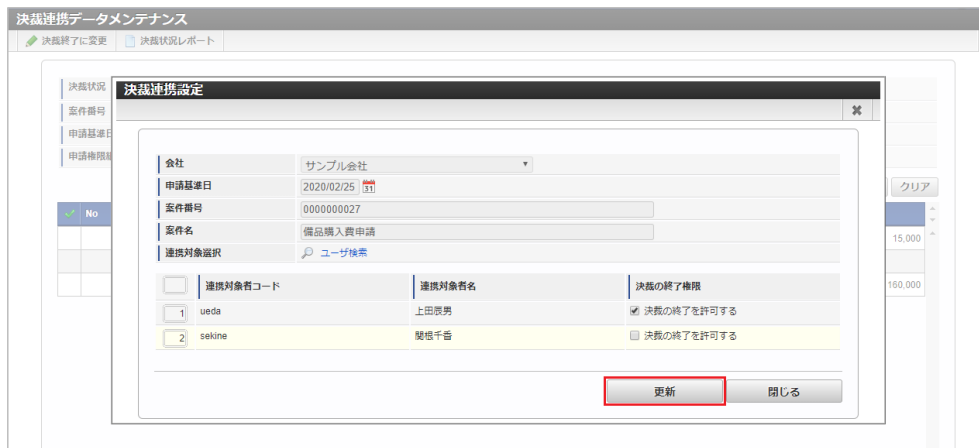
検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	権限購入費申請	2020/02/25	青柳京巳	15,000	15,000
2			0000000029	P.C購入申請	2020/02/25	青柳京巳		
3			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	萩本優子	160,000	160,000

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

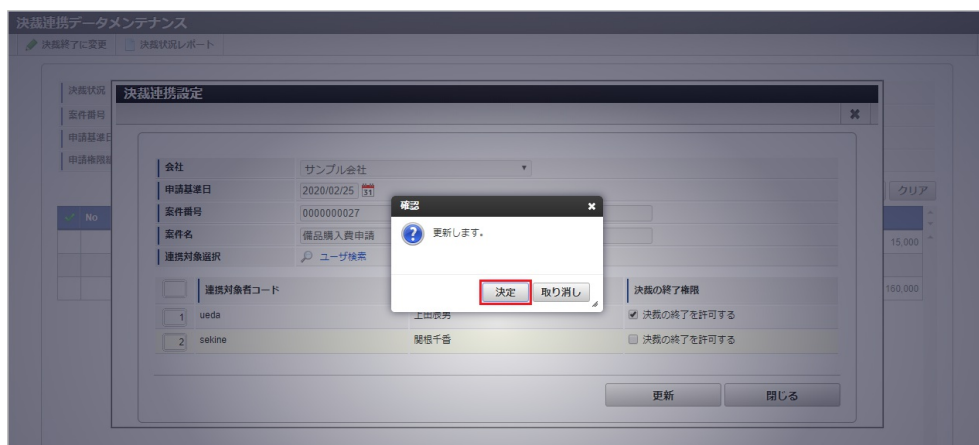
4. 連携設定画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集可能な項目です。

- 連携対象者選択
ユーザ検索画面を起動し、選択したユーザを連携対象者一覧へ追加します。
- 決裁の終了権限
決裁の終了を許可するをチェックした場合、決裁精算申請時に決裁を終了することができます。また本機能で「決裁状況」の変更を行うことができます。決裁の終了を許可するをチェックしない場合、決裁精算申請時に決裁を終了することができません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



決裁状況レポートの表示

本機能から決裁状況レポートを別ウィンドウで表示することができます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。

i コラム

決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、
「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。

2. ツールバー「決裁状況レポート」をクリックすると、別ウィンドウで決裁状況レポートを開きます。

i コラム

本機能を管理者として開いた場合、「決裁状況一覧(管理者)」レポートを開きます。
上記以外の場合、「決裁状況一覧」レポートを開きます。
レポートの操作方法は『intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド』-「レポート」-「ワークフロー」-「決裁状況一覧」を参照してください。

リファレンス

各種操作

一覧画面の操作

本項では、次の様な一覧画面の操作方法を説明します。

プロジェクトマスタメンテナンス

新規登録

検索

検索オプション 検索基準日 2014/03/12 会社 サンプル会社 ロケール 日本語

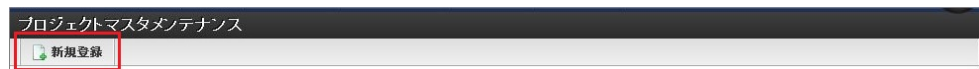
ステータスが無効のデータも検索

No	▲プロジェクトコード	プロジェクト名	上位プロジェクト名	ステータス
1	000001	○○情報システム株式会社 ワークフローシステム再構築プロジェクト		●
2	000002	社内環境整備プロジェクト		●
3	000003	××社向け勤怠・経費申請・承認ワークフローシステム(SAPフロント)導入		●
4	000004	△社 システム(保守(2013年度))		●
5	000005	システム更新対応(社内)		●
6	000006	○○社 ワークフローシステム(保守)		●
7	000007	H25年度通常運用(問合せ等)		●
8	000008	■社 システム構築検討支援		●
9	000009	新製品構築プロジェクト		●
10	000010	品質保証プロジェクト		●

最初へ 前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ 最後へ

- 新規登録ボタン

クリックすると、メンテナンス(新規)画面が表示されます。



- 検索ボタン

クリックすると、検索欄に入力されたキーワードで検索した結果を一覧に表示します。

スペースをあけて、複数のキーワードを指定できます。

初期表示時は、データの一覧・検索オプションは表示しません。



- 検索オプション

設定アイコンをクリックすることで、検索条件の設定ができ、検索条件の絞り込みを行います。

利用できる条件は、各マスタ機能によって異なります。



- 検索基準日

検索したい日付を入力します。

- 会社

検索したい会社を選択します。

- ロケール

検索したいロケールを選択します。

- ステータスが無効のデータも検索

ステータスが無効のデータも検索したい場合にチェックします。

■ ソート

検索後の一覧データは、ヘッダー部分をクリックすることで、対象項目の降順・昇順にソートすることができます。
ソート可能な項目は、各機能によって異なります。

No	▲プロジェクトコード	プロジェクト名	上位プロジェクト名	ステータス
1	000001	〇〇情報システム株式会社 ワークフローシステム再構築プロジェクト		
2	000002	社内環境整備プロジェクト		

■ ページング

一覧データのページングが行えます。

10	000010	品質保証プロジェクト		
----	--------	------------	--	--

最初へ 前へ **1** 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ 最後へ

■ 最初へ

1ページ目を表示します。

■ 前へ

現在のページの前ページを表示します。

■ ページ番号

現在のページを色つきで表します。

数字をクリックすると、対象ページを表示します。

■ 次へ

現在のページの次ページを表示します。

■ 最後へ

最終ページを表示します。

期間の操作

本項では、次の様な期間欄の操作方法を説明します。

プロジェクトマスターメンテナンス

期間一覧	開始日 * - 終了日 *	2014/04/01 - 2015/03/31
1900/01/01 - 2014/03/31 期間分割 期間変更	会社 *	サンプル会社
2014/04/01 - 2015/03/31 期間分割 期間変更	プロジェクトコード *	000001
2015/04/01 - 2999/12/31 期間分割 期間変更	プロジェクト名 *	日本語 〇〇情報システム株式会社 ワークフローシステム再構築 英語 Sample-A Information System Corporation Workflow 中国語 (中華人民共和国) 〇〇信息系统公司 工作流系统重新构筑项目
	上位プロジェクト	
	更新	削除 一覧に戻る

■ 期間の有効化・無効化アイコン

選択されている期間が有効の場合は緑のアイコン、無効の場合は白のアイコンが表示されます。
クリックすると有効/無効の状態を切り替えることができます。

	1900/01/01 - 2014/03/31 期間分割 期間変更
	2014/04/01 - 2015/03/31 期間分割 期間変更

■ 有効期間開始日、有効期間終了日

有効期間の開始日と終了日が表示されます。

	2014/04/01 - 2015/03/31 期間分割 期間変更
--	--------------------------------------

- 期間分割リンク

対象の期間を分割します。



i コラム

リンクをクリックすると、期間分割画面が表示されますので、分割日を入力後、実行をクリックします。



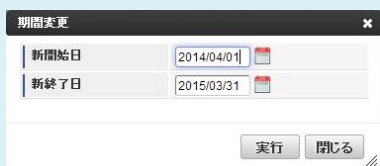
- 期間変更リンク

対象の期間の開始日、終了日を変更します。



i コラム

リンクをクリックすると、期間変更画面が表示されますので、新しい開始日と終了日を入力後、実行をクリックします。隣接する期間の開始日と終了日は、自動的に調整されます。



- 対象期間表示アイコン

対象期間のデータを表示します。

表示中の期間は青のアイコンが表示されます。



明細行の操作

本項では、明細行の操作方法を説明します。

- 操作パネルを開く
- 明細行（1行）の追加方法
- 明細行（連続）の追加方法
- 明細行のコピー・貼り付け方法
- 最下行にコピーする方法
- 上に追加する方法
- 上に追加（連続）する方法
- 行削除方法

操作パネルを開く

ヘッダーまたは明細の以下の個所をクリックし、操作パネルを開くことで、明細行に対しての操作が行えます。

発生日*	経費内容*			
経費区分*	勘定科目	税区分	部門	プロジェクト
支払分類*	支払先		金額*	
1				
立替			<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課11	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム株式会...

■ 操作パネル

※操作パネルの位置によって利用できる機能が異なります。

ヘッダー用の操作パネル



明細用の操作パネル



■ 操作アイコン

アイコン 説明



選択された明細行の上に連続して明細行を追加します



選択された明細行の上に明細行を追加します



選択された明細行を削除します



選択された明細行の下に連続して明細行を複数行追加します



選択された明細行の下に明細行を一行追加します



選択された明細行をコピーします



コピーされた行の内容を選択された明細行に貼り付けます



選択された明細行をコピーし、最後の一行に追加します

明細行（1行）の追加方法

1. ヘッダ用パネルの「下に追加」をクリックします。

宿泊明細	レート再取得			
宿泊期間*	宿泊先*	宿泊先Tel		
経費区分*	勘定科目	税区分	部門	プロジェクト
支払分類*	支払先		金額*	
下に追加	レート再取得			

2. 新規明細行が1行追加されます。

宿泊明細	レート再取得			
宿泊期間*	宿泊先*	宿泊先Tel		
経費区分*	勘定科目	税区分	部門	プロジェクト
支払分類*	支払先		金額*	
1				
コーポレートカード				

明細行（連続）の追加方法

1. ヘッダ用パネルの「下に追加（連続）」をクリックします。

2. ボタンを押しても操作パネルは閉じませんので、連続して追加できます。

明細行のコピー・貼り付け方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「行コピー」をクリックします。

2. 以下のように明細行が選択されます。

3. 貼り付けたい明細行の明細行用パネルの「貼り付け」をクリックします。

4. 明細内容がコピーされました。

最下行にコピーする方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「最下行にコピー追加」をクリックします。

The screenshot shows a table with columns for '宿泊期間' (Stay Period), '経費区分' (Expense Category), '勘定科目' (Account), '税区分' (Tax Category), '宿泊先' (Stay Location), '部門' (Department), 'プロジェクト' (Project), '支払先' (Payee), and '金額' (Amount). Row 1 contains data for '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel) with a date range of 2013/07/01 to 2013/07/06, amount 10000, and currency JPY. A red box highlights the '+ 最下行にコピー追加' button in the left-hand panel.

2. 最下行に追加されました。

The screenshot shows the same table as above, but with a new row (row 4) added at the bottom. This new row contains the same data as row 1: '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel), date range 2013/07/01 to 2013/07/06, amount 10000, and currency JPY. The '最下行にコピー追加' button is no longer visible.

上に追加する方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「上に追加」をクリックします。

The screenshot shows the same table as above, but with a red box highlighting the '+ 上に追加' button in the left-hand panel. The data in the table remains the same as in the previous screenshot.

2. 選択している明細の上行に新規明細行が追加されました。

The screenshot shows the same table as above, but with a new row (row 2) added above the selected row (row 1). This new row contains the same data as row 1: '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel), date range 2013/07/01 to 2013/07/06, amount 10000, and currency JPY. The '上に追加' button is no longer visible.

上に追加（連続）する方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「上に追加（連続）」をクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
支払分類*	支払先	金額*					
上に追加 (連続)	701	-	2013/07/06	大阪シティホテル			
<input checked="" type="checkbox"/>	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000
2							
	請求書払						

2. ボタンを押しても操作パネルは閉じませんので、連続して追加できます。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
支払分類*	支払先	金額*					
上に追加 (連続)							
<input checked="" type="checkbox"/>	コーポレートカード						
2	2013/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル			
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000
3							
	請求書払						

行削除方法

1. 削除したい明細行の明細行用パネルの「行削除」をクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
支払分類*	支払先	金額*					
<input type="checkbox"/>	1	2013/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル		
<input checked="" type="checkbox"/>	仕入	仕入	課税		サンプル部門01		社内システム導入プロジ...
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000
2							
<input checked="" type="checkbox"/>	行削除						
<input checked="" type="checkbox"/>	3	3/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル		
<input checked="" type="checkbox"/>	仕入	仕入	課税		サンプル部門01		社内システム導入プロジ...
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000

2. アイコンが変化するので、このアイコンをクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
支払分類*	支払先	金額*					
<input type="checkbox"/>	1	2013/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル		
<input checked="" type="checkbox"/>	仕入	仕入	課税		サンプル部門01		社内システム導入プロジ...
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000
2							
<input checked="" type="checkbox"/>	2013/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル			
<input checked="" type="checkbox"/>	仕入	仕入	課税		サンプル部門01		社内システム導入プロジ...
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000

3. 明細行が削除されました。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
支払分類*	支払先	金額*					
<input type="checkbox"/>	1	2013/07/01	-	2013/07/06	大阪シティホテル		
<input checked="" type="checkbox"/>	仕入	仕入	課税		サンプル部門01		社内システム導入プロジ...
	コーポレートカード				10000 日本円	1	10000
2							
	コーポレートカード						

明細行（カード形式）の操作

本項では、明細行（カード形式）の操作方法を説明します。

- 明細行の追加方法
- 明細行のコピー・貼り付け方法
- 行削除方法
- 行移動方法

明細行の追加方法

1. 「+」をクリックします。

2. 新規明細行が1行追加されます。

明細行のコピー・貼り付け方法

1. コピーしたい明細行の「行コピー」アイコンをクリックします。

1

住所種別

現住所 ▼

郵便番号

都道府県

北海道 ▼

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

+

2. 最下行にコピーした行が追加されました。

1

住所種別

現住所 ▼

郵便番号

都道府県

北海道 ▼

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別

現住所 ▼

郵便番号

都道府県

北海道 ▼

郡市区町村

行削除方法

1. 削除したい明細行の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2. 明細行が削除されました。

行移動方法

1. 移動したい明細行の「移動」アイコンをクリックします。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別

郵便番号

都道府県

2. ドラッグアンドドロップすると、明細行が移動できます。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別

郵便番号

都道府県

マスタ検索

組織マスタ検索を例に各種マスタの検索方法を説明します。

本手順は組織マスタ検索ですが、その他にプロジェクトマスタや経費区分マスタの検索も同様の手順で行えます。

コラム

各画面に以下のようなテキストボックスが表示されている場合、各種マスタの検索ができます。



■ 検索方法①

テキストボックス左の検索アイコンをクリックするか、テキストボックス内でENTERキーを押すと、検索結果が一覧表示されます。

検索結果の一覧をクリックするか、キーボードの↑↓キーで選択後、ENTERキーで確定してください。

(以下は組織検索の例です。)

No	組織コード	組織名
1	dept_sample_10	サンプル部門01
2	dept_sample_11	サンプル課11
3	dept_sample_12	サンプル課12
4	dept_sample_20	サンプル部門02
5	dept_sample_21	サンプル課21
6	dept_sample_22	サンプル課22

■ 検索方法②

テキストボックス内にキーワードを入力した状態で検索アイコンをクリックするか、

テキストボックス内でENTERキーを押すと、入力したキーワードでの絞り込み検索が行えます。

(以下は組織検索の例です。)

🔍 サンプル課

No	組織コード	組織名
1	dept_sample_11	サンプル課11
2	dept_sample_12	サンプル課12
3	dept_sample_21	サンプル課21
4	dept_sample_22	サンプル課22

■ 検索結果の消去方法①

テキストボックス左のアイコンをクリックします。



アイコンが切り替わりますので、再度アイコンをクリックすると、検索結果を消去することができます。



■ 検索結果の消去方法②

TABキーなどでカーソルがテキストボックスに当たっている状態にし、DELETEキーを押すと検索結果を消去することができます。



セレクトボックス

セレクトボックスの検索機能の操作を説明します。

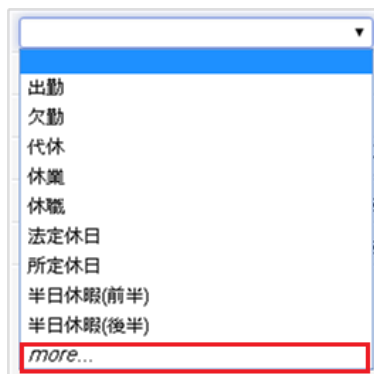
セレクトボックスの件数が最大表示件数を超える場合、検索機能を利用できます。

i コラム

セレクトボックスの最大表示件数は標準で10件に設定されています。

設定の変更方法は『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「モジュール設定」を参照してください。

1. セレクトボックスの件数が最大表示件数を超える場合、最下行に「more」が表示されます。「more」をクリックすると、検索画面がポップアップ表示します。



2. テキストボックスにコードまたは名称を入力すると入力したキーワードでの絞り込み検索が行えます。

検索

検索 (コード or 名称)

検索結果

コード	名称
attendance	出勤
due_diligence	欠勤
compensation	代休
closure	休業
suspension	休職
leagal_holiday	法定休日
holiday	所定休日
leave_half_before	半日休暇(前半)
leave_half_later	半日休暇(後半)
leave_entire	全日休暇
trnsfr_holiday_legal	振替休日(法定)
trnsfr_holiday	振替休日(所定)
trnsfr_attend_legal	振替出勤(法定)
trnsfr_attend	振替出勤(所定)
holiday_attend_legal	休日出勤(法定)
holiday_attend	休日出勤(所定)

閉じる

3. 検索結果の一覧をクリックして確定してください。



ジョブの設定に関する補足

インポートモードと実行結果

- インポートモードと実行結果

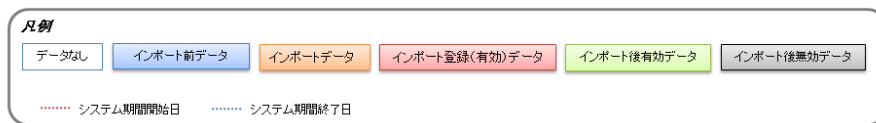
モード	名称	処理方式
1	単一期間(差分)モード	すでに登録済みのデータに対して差分更新を行います。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日／終了日を調整します。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。
2	単一期間(一新)モード	すでに登録済みのデータを一新します。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日／終了日を調整します。 差分モードとは違い、インポートした期間よりも未来の期間は無効状態として登録されます。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。

モード	名称	処理方式
3	単一期間(入替)モード	全件(全期間)インポートデータで洗い替えを行います。 すべてのデータを一旦削除し、インポートデータを新規データとして登録します。 ※インポート時に会社を指定している場合、削除されるのはその会社のみです。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。
4	複数期間(差分)モード	すでに登録済みのデータに対して差分更新を行います。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日/終了日を調整します。 インポート期間の開始日、終了日はインポートファイル中の開始日、終了日を使用します。
5	複数期間(入替)モード	全件(全期間)インポートデータで洗い替えを行います。 すべてのデータを一旦削除し、インポートデータを新規データとして登録します。 ※インポート時に会社を指定している場合、削除されるのはその会社のみです。 インポート期間の開始日、終了日はインポートファイル中の開始日、終了日を使用します。

単一期間モードの場合、インポート期間は以下のように決定されます。
インポート期間に関連する実行パラメータは、「開始日」「終了日」「シフト日数」です。

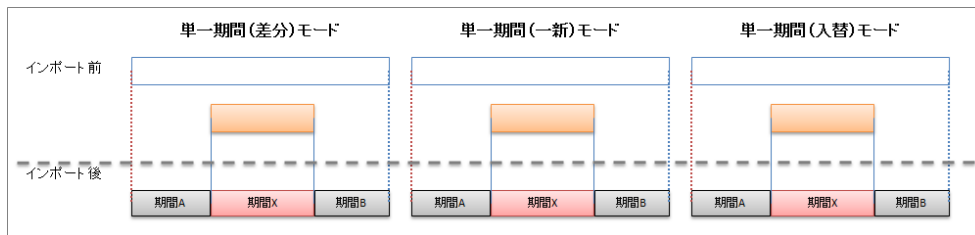
実行パラメータの指定	インポートされる期間
指定なし	ジョブ実行日 ~ システム終了日(2999/12/31)
開始日のみ	指定された開始日 ~ システム終了日(2999/12/31)
終了日のみ	ジョブ実行日 ~ 指定された終了日
シフト日付のみ	ジョブ実行日+シフト日付 ~ システム終了日(2999/12/31)
開始日と終了日	指定された開始日 ~ 指定された終了日
開始日とシフト日付	指定された開始日+シフト日付 ~ システム終了日(2999/12/31)
終了日とシフト日付	ジョブ実行日+シフト日付 ~ 指定された終了日
開始日と終了日とシフト日付	指定された開始日+シフト日付 ~ 指定された終了日

図解) インポートモード別の実行結果



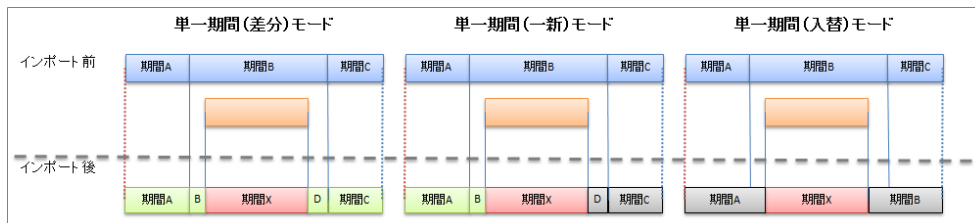
新規登録

- 期間指定されている

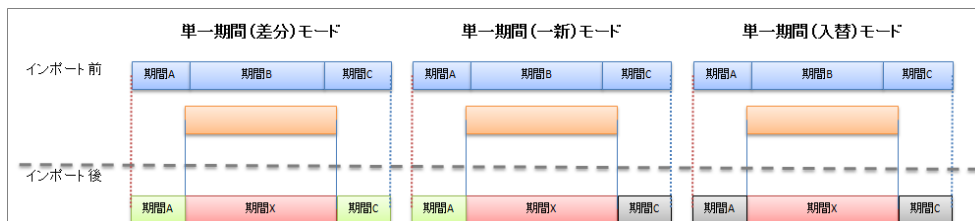


更新

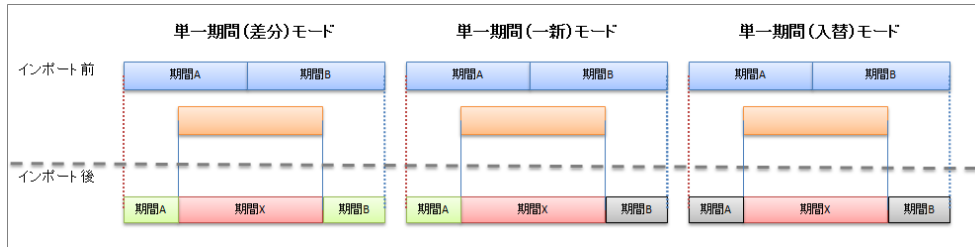
- インポート期間が既期間より短い



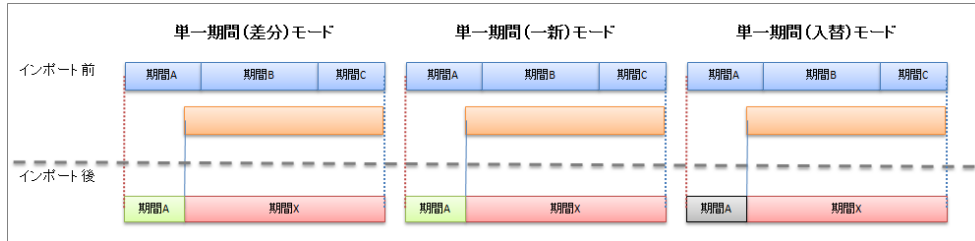
- インポート期間が既期間より長い



- インポート期間が複数の期間にまたがる



- インポート期間によりひとつ以上の期間が削除される



電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法

コラム

intra-mart Accel Documents、DataDeliveryと連携する場合、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。
その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する場合、本項または、[ファイル連携モジュールの操作](#)を参照してください。

その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法

概要

本項では、Kaiden! の申請情報を電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理に対応したシステム（以下「電子証憑管理システム」とします）に連携する際の概要を説明します。

Kaiden! で添付された画像ファイルと取引日、取引先、金額などの申請内容を電子証憑管理システムに連携することが可能です。スキャンされた証憑（PDF）へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、保管期限経過後の削除などは、連携先の電子証憑管理システムにて対応している前提です。

Kaiden! では、ファイル添付明細ガジェットの申請情報を出力して、電子証憑管理システムに連携することができます。出力する情報の詳細は[出力ファイルの定義](#)を参照してください。

主な出力情報

- 添付された請求書／領収書
- 取引日
- 取引先名
- 伝票番号
- 摘要
- 金額

コラム

ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、申請書メンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。詳細は[ワークフロー設定](#)を参照してください。

コラム

ファイル添付明細（簡易）ガジェットは、電子証憑管理に対応したシステムに連携することができません。

各システムの役割

電子証憑管理に対応したシステムと連携して、電子化した文書を申請に添付する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

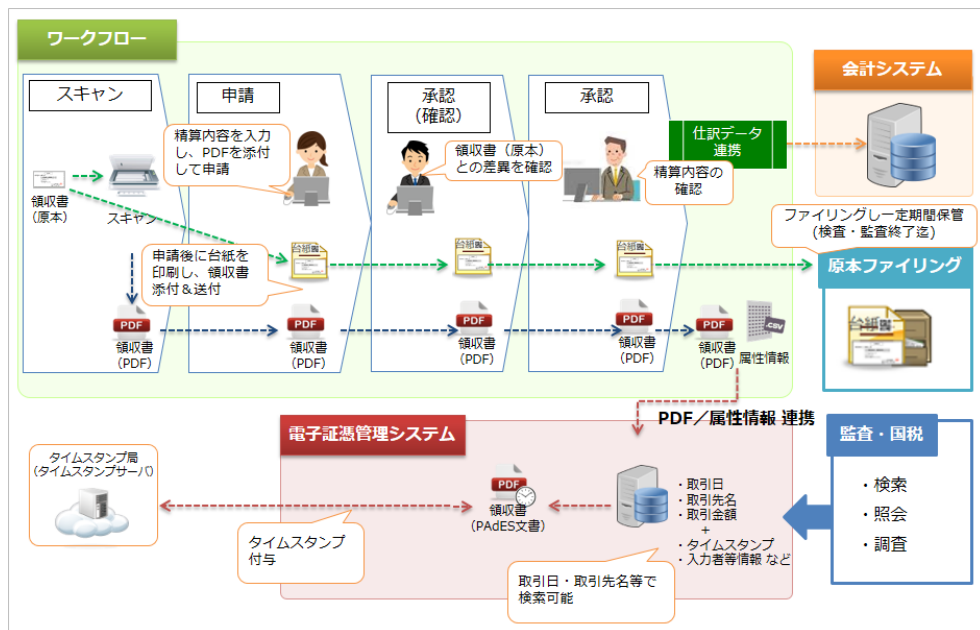
- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 電子証憑管理に対応したシステム

サーバ上で文書を管理します。

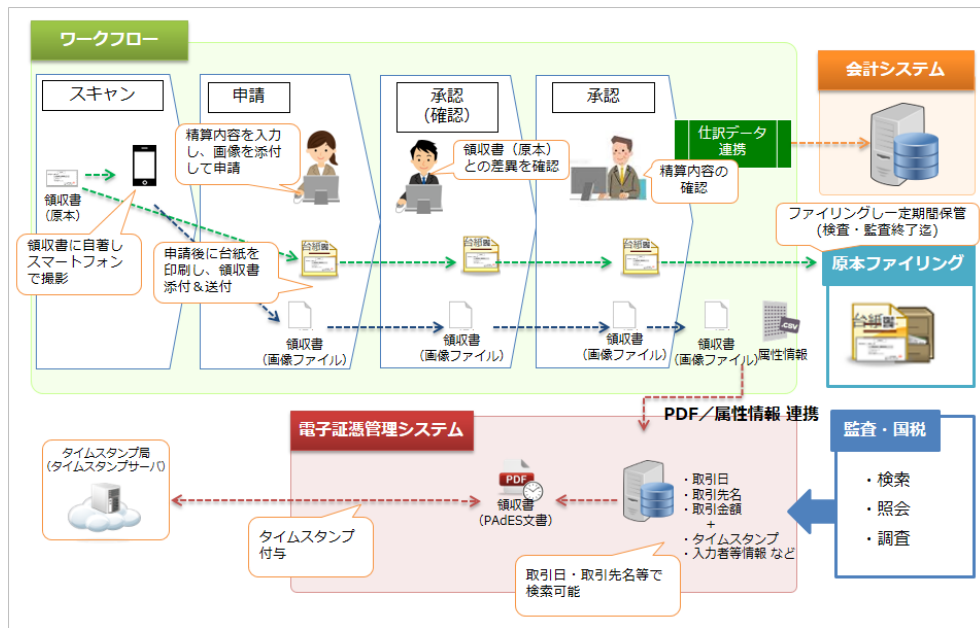
業務フロー

本項では、Kaiden! の申請情報を電子証憑管理に対応したシステム(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携する際の業務フロー例を紹介します。

PCから申請する場合



スマートフォンから申請する場合



ファイル添付明細ガジェット

本項では、ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成する際の注意点を説明します。

確認

ファイル添付明細ガジェットの「確認」は、申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認して問題ない場合、確認担当者がチェックする項目です。

フローが終了するまでに、いずれかの承認者が申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認して「確認」にチェックする必要があります。

また、確認担当者以外は「確認」を変更できないよう設定する必要があります。

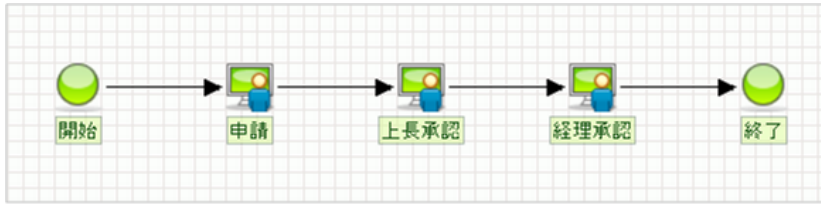
コンテンツ定義を作成する際は、業務フローに合わせて以下を参考に設定してください。

ルート定義

以下のルートを使用する際の設定方法を説明します。

経理承認で申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認することとします。

ルート定義の作成方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。



ガジェットのリポート

ファイル添付明細ガジェットの申請情報を出力するユーザプログラムを使用する場合、以下ガジェットのリポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
fileAttachDetail_v01.xml	ファイル添付明細
fileAttachDetailForDD_v01.xml	ファイル添付明細（DataDelivery連携）

コラム

ファイル添付明細（DataDelivery連携）はDataDelivery連携モジュールに含まれるガジェットです。
 使用する場合、[DataDelivery連携モジュールの操作](#)を参照してください。

コンテンツ定義

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

1. 画面定義に処理画面を追加します。

注意

intra-mart Accel Platformの仕様により、初期使用にチェックしていないスマートフォン用の画面定義を作成しても、フロー定義で設定することができません。

2. ファイル添付明細ガジェットの申請情報を出力するユーザプログラムを設定します。
 詳細は、[ユーザプログラムの設定](#)を参照してください。
3. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。

▼ 入力/表示設定

●:入力、○:表示

	申請	一時保存	申請(起票案件)	再申請	処理	処理(経理承認)	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(起票案件(sp))	再申請(sp)	処理(sp)
ファイル添付明細											
取引日	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
取引先名	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
摘要	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
金額	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
確認	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○

i コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力が設定されていても入力できない項目です。

i コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

4. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。

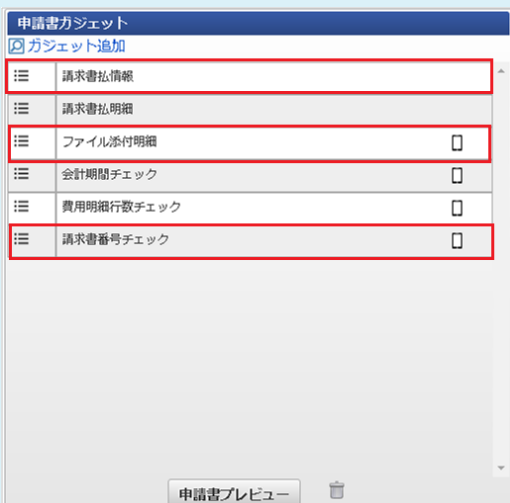
▼ 必須/任意設定

●:必須、○:任意

	申請	一時保存	申請(起票案件)	再申請	処理	処理(経理承認)	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(起票案件(sp))	再申請(sp)	処理(sp)
ファイル添付明細											
取引日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引先名	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
摘要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金額	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
確認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
添付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

i コラム

ファイル添付明細と請求書払情報を同一の申請書で使用する場合、請求書番号チェックを使用すると、ファイル添付明細の「請求書番号/領収書番号」と請求書情報の「納品/請求No」の値が同じかチェックできます。



フロー定義

フロー定義を作成する際の注意点を説明します。

フロー定義の作成方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

1. ノード設定で、経理承認のノードの処理画面を標準から変更して、コンテンツ定義で追加した画面種別を選択します。

ユーザプログラムの設定

本項では、ファイル添付明細ガジェット申請情報の出力方法を説明します。

出力したデータを利用して、電子証憑管理システムと連携することができます。

コラム

ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。
詳細は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラム

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムは次の通りです。

以下ユーザプログラムを設定した場合、設定したノードでファイル添付明細ガジェットの申請情報をCSVファイルで出力します。

また、ファイル添付明細ガジェットで添付されたファイルを、指定されたパスへ移動します。

ユーザプログラムの設定方法は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

ユーザプログラム `jp.co.slcs.kaiden2.product_workflow.feature.conductor.documentationSystemLink.impl.DocumentationSystemLinkConductorImpl`

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムのパラメータ設定

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用可能なパラメータは次の通りです。

設定値	概要	必須
docSysLink	固定値の電子証憑管理システム連携処理の起動キーです。	○
「ノードID」または「matterEnd」	ノードIDを指定します。指定したノードでユーザプログラムを呼び出します。 案件終了時に呼び出す場合は「matterEnd」を設定します。	○
convertPdf	固定値のPDF変換キーです。設定した場合、画像をPDFに変換します。	
noConfirmation	固定値の確認不要キーです。設定した場合、ファイル添付明細ガジェットの確認フラグに関わらず画像ファイルの移動とCSVファイルの出力を実施します。	
notMoveFile	固定値のファイル移動不要キーです。設定した場合、「DocumentationSystemLinkSettings.xml」で設定したパスに画像ファイルを出力しません。 ファイル添付明細 (DataDelivery連携) ガジェットを使用する場合、設定してください。 ファイル添付明細 (DataDelivery連携) ガジェットを使用する場合、「タイムスタンプ設定」で設定したファイルにタイムスタンプ付与済のファイルを出力します。	

i コラム

パラメータ設定は画面種別ごとに設定します。

ユーザプログラムを呼び出すノードを指定する場合、以下の通り画面種別に紐づくノード種別のノードIDを設定してください。

ノード種別	画面種別
申請ノード	申請
	一時保存
	申請（起票案件）
	再申請
	申請（sp）
	一時保存（sp）
	申請（起票案件） （sp）
	再申請（sp）
処理ノード	処理

i コラム

1つの画面種別に対して複数のノードでユーザプログラムを呼び出す場合、ノードIDごとにパラメータ値を分けて設定してください。

パラメータキー	パラメータ値
parameterkey1	docSysLink
parameterkey2	noConfirmation
parameterkey3	matterEnd
parameterkey4	%ノードID_1%
parameterkey5	%ノードID_2%

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用する設定ファイル

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用する設定ファイルは次の通りです。

モジュール intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

設定場所 WEB-

INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_workflow/foundation/model/xml_schema/
documentation_system_link_settings/DocumentationSystemLinkSettings.xml

DocumentationSystemLinkSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>
    <base:target_files>
      <base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
    </base:target_files>
    <base:character>UTF-8</base:character>
    <base:delimiter>,</base:delimiter>
    <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>
    <base:header_output>>true</base:header_output>
    <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
  </defaultSettings>

  <!-- 出力対象データのソート指定 -->
  <orders>
    <order>
      <base:field_key>system_matter_jd</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
  </orders>
</documentationSystemLinkSettings>
```

```

</order>
<order>
  <base:field_key>user_data_id</base:field_key>
  <base:type>asc</base:type>
</order>
<order>
  <base:field_key>gadget_class</base:field_key>
  <base:type>asc</base:type>
</order>
<order>
  <base:field_key>gadget_instance</base:field_key>
  <base:type>asc</base:type>
</order>
<order>
  <base:field_key>row_number</base:field_key>
  <base:type>asc</base:type>
</order>
</orders>

<!-- 項目別設定 -->
<field_settings>
  <!-- システム案件ID -->
  <field_setting>
    <base:key>systemMatterId</base:key>
    <base:sort>1</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- ユーザーデータID -->
  <field_setting>
    <base:key>userDataId</base:key>
    <base:sort>2</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- タブルID -->
  <field_setting>
    <base:key>tupleId</base:key>
    <base:sort>3</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 行番号 -->
  <field_setting>
    <base:key>rowNumber</base:key>
    <base:sort>4</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 取引日 -->
  <field_setting>
    <base:key>tradingDate</base:key>
    <base:sort>5</base:sort>
    <base:type>3</base:type>
    <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
  </field_setting>
  <!-- 取引先 -->
  <field_setting>
    <base:key>customerName</base:key>
    <base:sort>6</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 領収書番号 / 請求書番号 -->
  <field_setting>
    <base:key>slipNum</base:key>
    <base:sort>7</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 摘要 -->
  <field_setting>
    <base:key>summary</base:key>
    <base:sort>8</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 取引通貨額 -->
  <field_setting>
    <base:key>transAmount</base:key>
    <base:sort>9</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </field_setting>
  <!-- 取引通貨コード -->
  <field_setting>

```



```

<base:key>transCurrencyCd</base:key>
<base:sort>10</base:sort>
<base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額 -->
<field_setting>
  <base:key>companyAmount</base:key>
  <base:sort>11</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額コード -->
<field_setting>
  <base:key>companyCurrencyCd</base:key>
  <base:sort>12</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件番号 -->
<field_setting>
  <base:key>matterNumber</base:key>
  <base:sort>13</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件名 -->
<field_setting>
  <base:key>matterName</base:key>
  <base:sort>14</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス -->
<field_setting>
  <base:key>processStatus</base:key>
  <base:sort>15</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>processStatusName</base:key>
  <base:sort>16</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>17</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserName</base:key>
  <base:sort>18</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>19</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>20</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請基準日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyBaseDate</base:key>
  <base:sort>21</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 申請実行日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyDate</base:key>
  <base:sort>22</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>

```

```

<!-- 権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>authUserCd</base:key>
  <base:sort>23</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>authUserName</base:key>
  <base:sort>24</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserCd</base:key>
  <base:sort>25</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserName</base:key>
  <base:sort>26</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理実行日時 -->
<field_setting>
  <base:key>executeDate</base:key>
  <base:sort>27</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 確認権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>28</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserName</base:key>
  <base:sort>29</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>30</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>31</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認日時 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedTs</base:key>
  <base:sort>32</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルID -->
<field_setting>
  <base:key>fileId</base:key>
  <base:sort>33</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルパス -->
<field_setting>
  <base:key>filePath</base:key>
  <base:sort>34</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルタイムスタンプ -->
<field_setting>
  <base:key>fileTimestampTs</base:key>
  <base:sort>35</base:sort>

```

```

<base:type>3</base:type>
<base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatus</base:key>
  <base:sort>36</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatusName</base:key>
  <base:sort>37</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考1 -->
<field_setting>
  <base:key>note1</base:key>
  <base:sort>38</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考2 -->
<field_setting>
  <base:key>note2</base:key>
  <base:sort>39</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考3 -->
<field_setting>
  <base:key>note3</base:key>
  <base:sort>40</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
</field_settings>
<!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
<!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">
      <base:target_files>
<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
      </base:target_files>
      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:character>UTF-8</base:character>
      <base:delimiter>,</base:delimiter>
      <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>
      <base:header_output>>true</base:header_output>
      <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/</move_to_dir>
    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

リファレンス

出力ファイルパス

タグ名 base:target_file

出力ファイルのパスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>
    <base:target_files>

<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>

    </base:target_files>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">
      <base:target_files>

<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
      </base:target_files>
      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
  </companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目	<input type="radio"/>
複数設定	<input type="radio"/>
設定値・設定する内容	出力ファイルのパス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

文字コード

タグ名 base:character

出力ファイルの文字コードを指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:character>UTF-8</base:character>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:character>UTF-8</base:character>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- UTF-8
- SHIFT-JIS

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

区切り文字

タグ名 base:delimiter

出力ファイルの区切り文字を指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:delimiter>,</base:delimiter>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:delimiter>,</base:delimiter>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
  </companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	出力ファイルの区切り文字を指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

囲み文字

タグ名 base:enclosing

出力ファイルの囲み文字を指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	出力ファイルの囲み文字を指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ヘッダー出力有無

タグ名 base:header_output

出力ファイルのヘッダー出力有無を指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:header_output>true</base:header_output>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:header_output>true</base:header_output>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ true ヘッダーを出力する。 ▪ false ヘッダーを出力しない。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

画像移動先パス

タグ名 move_to_dir

画像ファイルの移動先パスを指定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	画像ファイルの移動先パスを指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ソート指定

タグ名 order

出力対象データのソート順を指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

... 略 ...

<!-- 出力対象データのソート指定 -->
<orders>
  <order>
    <base:field_key>system_matter_id</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>user_data_id</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>gadget_class</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>gadget_instance</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>row_number</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
</orders>

... 略 ...

</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目	×
複数設定	○
設定値・設定する内容	出力対象データのソート順を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ field_key フィールドキーを指定します。 ▪ type ソートのタイプを指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	orders

項目別設定

タグ名 field_setting

出力対象データを指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

... 略 ...

<!-- 項目別設定 -->
<field_settings>
  <!-- システム案件ID -->
  <field_setting>
    <base:key>systemMatterId</base:key>
    <base:sort>1</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- ユーザーデータID -->
  <field_setting>
    <base:key>userDataId</base:key>
    <base:sort>2</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
```

```

</field_setting>
<!-- タブルID -->
<field_setting>
  <base:key>tupleId</base:key>
  <base:sort>3</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 行番号 -->
<field_setting>
  <base:key>rowNumber</base:key>
  <base:sort>4</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引日 -->
<field_setting>
  <base:key>tradingDate</base:key>
  <base:sort>5</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 取引先 -->
<field_setting>
  <base:key>customerName</base:key>
  <base:sort>6</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 領収書番号/請求書番号-->
<field_setting>
  <base:key>slipNum</base:key>
  <base:sort>7</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 摘要 -->
<field_setting>
  <base:key>summary</base:key>
  <base:sort>8</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引通貨額 -->
<field_setting>
  <base:key>transAmount</base:key>
  <base:sort>9</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引通貨コード -->
<field_setting>
  <base:key>transCurrencyCd</base:key>
  <base:sort>10</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額 -->
<field_setting>
  <base:key>companyAmount</base:key>
  <base:sort>11</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額コード -->
<field_setting>
  <base:key>companyCurrencyCd</base:key>
  <base:sort>12</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件番号 -->
<field_setting>
  <base:key>matterNumber</base:key>
  <base:sort>13</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件名 -->
<field_setting>
  <base:key>matterName</base:key>
  <base:sort>14</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス-->
<field_setting>
  <base:key>processStatus</base:key>
  <base:sort>15</base:sort>

```

```

<base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス名称-->
<field_setting>
  <base:key>processStatusName</base:key>
  <base:sort>16</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>17</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserName</base:key>
  <base:sort>18</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>19</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>20</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請基準日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyBaseDate</base:key>
  <base:sort>21</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 申請実行日-->
<field_setting>
  <base:key>applyDate</base:key>
  <base:sort>22</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>authUserCd</base:key>
  <base:sort>23</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>authUserName</base:key>
  <base:sort>24</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserCd</base:key>
  <base:sort>25</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserName</base:key>
  <base:sort>26</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理実行日時-->
<field_setting>
  <base:key>executeDate</base:key>
  <base:sort>27</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 確認権限者コード -->

```

```

<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>28</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserName</base:key>
  <base:sort>29</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>30</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>31</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認日時 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedTs</base:key>
  <base:sort>32</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルID -->
<field_setting>
  <base:key>fileId</base:key>
  <base:sort>33</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルパス -->
<field_setting>
  <base:key>filePath</base:key>
  <base:sort>34</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルタイムスタンプ -->
<field_setting>
  <base:key>fileTimestampTs</base:key>
  <base:sort>35</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatus</base:key>
  <base:sort>36</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatusName</base:key>
  <base:sort>37</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考1 -->
<field_setting>
  <base:key>note1</base:key>
  <base:sort>38</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考2 -->
<field_setting>
  <base:key>note2</base:key>
  <base:sort>39</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考3 -->
<field_setting>
  <base:key>note3</base:key>
  <base:sort>40</base:sort>
  <base:type>1</base:type>

```

</field_setting>

... 略 ...

</documentationSystemLinkSettings>

必須項目	×
複数設定	○

設定値・設定する内容 出力対象項目を指定します。

- **key**
フィールドキーを指定します。
- **sort**
ソート順を指定します。
- **type**
出力タイプを指定します。
1:文字型
2:数値型
3:日付型
- **date_format**
出力タイプが日付型の場合、日付の形式を指定します。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	orders

追加可能な項目

出力に追加可能な項目は以下の通りです。

No(列)	項目名	キー	タイプ	フォーマット	備考
1	画像変換フラグ	imageConversionFlag	1		0 : 画像変換なし(添付ファイルがPDF) 1 : 画像変換あり(添付ファイルがPDF以外のファイル)
2	予備項目A~J	extensionA~J	1		標準機能で使用していません

出力ファイルの定義

本項では、ファイル添付ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで出力される、出力ファイルの定義を説明します。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

ディレクトリ kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}

ファイル名 doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	

3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式
6	取引先	customerName	
7	請求書番号/領収書番号	slipNum	
8	摘要	summary	
9	取引通貨額	transAmount	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	
11	会社通貨額	companyAmount	
12	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
13	案件番号	matterNumber	
14	案件名	matterName	
15	処理ステータス	processStatus	
16	処理ステータス名称	processStatusName	
17	申請権限者コード	authUserCd	
18	申請権限者名称	authUserName	
19	申請実行者コード	executeUserCd	
20	申請実行者名称	executeUserName	
21	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
22	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
23	権限者コード	authUserCd	
24	権限者名称	authUserName	
25	実行者コード	executeUserCd	
26	実行者名称	executeUserName	
27	処理実行日時	executeDate	
28	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
29	確認権限者名称	checkedAuthUserName	
30	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
31	確認実行者名称	checkedExecuteUserName	
32	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
33	ファイルID	fileId	
34	ファイルパス	filePath	
35	ファイルタイムスタンプ	fileTimestampTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式 *将来拡張用
36	ファイルステータス	fileStatus	0 : 変更なし 1 : 追加 2 : 削除
37	ファイルステータス名称	fileStatusName	
38	備考1	note1	*将来拡張用
39	備考2	note2	*将来拡張用
40	備考3	note3	*将来拡張用
41	画像変換フラグ	imageConversionFlag	0 : 画像変換なし(添付ファイルがPDF) 1 : 画像変換あり(添付ファイルがPDF以外のファイル) *設定ファイルに項目を追加すると出力可能
42	予備項目A~J	extensionA~J	予備項目のため、標準では使用なし ファイル添付明細ガジェットの予備項目に設定した値を出力可能 *設定ファイルに項目を追加すると出力可能

添付ファイル削除時の出力ファイル

再申請時等にファイルを削除して新たに添付した場合、削除時の情報も出力します。
上記の場合、ファイルステータスが「1」、「2」の合計2行のデータが出力されます。

台紙印刷

本項では、申請書のQRコード付きの台紙を印刷した際の出力情報を説明します。
台紙の印刷方法は『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』-「申請書の操作方法」-「申請書の共通操作」-「PC用画面の申請書の共通操作」を参照してください。

コラム

台紙印刷には、台紙印刷画面の表示とPDF出力画面の表示の2種類あります。
標準では台紙印刷画面の表示に設定されています。

QRコード付きの台紙を使用する場合、台紙印刷の設定を変更してください。

設定の変更方法は『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』-「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール」-「モジュール設定」を参照してください。

出力情報

申請書の台紙に表示されているQRコードを読み取ると、次の情報を取得できます。

- 案件番号
- 案件名
- 申請基準日
- 申請会社
- 申請組織
- 申請者（代理者）

K111.旅費精算申請（近距離）	
案件番号	0000000007
案件名	交通費精算
申請基準日	2017/02/06
申請会社	サンプル会社
申請組織	サンプル課 1 1
申請者(代理者)	青柳辰巳



ここに貼り付けてください。

交通系ICカードデータを使用して精算する方法

概要

本項では、「transit manager」から交通系ICカードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するには、「transit manager」の利用契約が必要です。

「transit manager」は、交通系ICカードを業務用スマートフォンや専用端末などにかざすと、交通系ICカード利用データを読み込むことができるサービスです。

利用可能な交通系ICカードの種類や、取得するデータ等は「transit manager」のサービス内容をご確認ください。

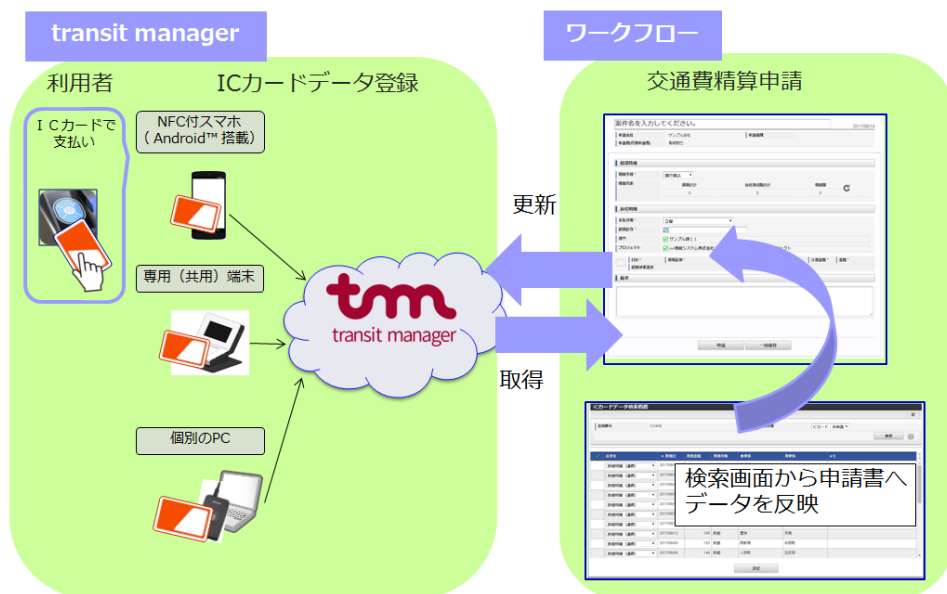
各システムの役割

「transit manager」から取得した交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- transit manager
交通系ICカードから使用履歴を読み取り、クラウド上で管理します。

連携イメージ

本項では、「transit manager」から交通系ICカードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「transit manager」からICカードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するには、「transit manager」の利用契約が必要です。「transit manager」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- transit managerユーザマッピングマスタの設定

！ 注意

標準機能では、「transit manager」側から申請しても、Kaiden!の精算は自動的に実施されません。Kaiden!のICカードデータ検索機能を使用し、「transit manager」のデータを取得して精算申請を実施してください。

「transit manager」側からの申請を契機に、Kaiden!の精算申請を自動的に実施したい場合カスタマイズが必要です。詳細は「[transit manager](#)」から申請したデータを使用してKaiden!で自動的に精算申請を実施するを参照してください。

「transit manager」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「transit manager設定 (ICカードデータ連携)」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

「transit manager」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchTransitManager_v01.xml	ICカードデータ検索
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)
routeDetail_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)
routeDetail_v10.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易, 連携)

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ICカードデータ検索」と作成した連携用ガジェットを選択してください。



transit managerユーザマッピングマスタの設定

「transit manager」を使用して精算するユーザは [transit managerユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。登録方法は、[transit managerユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

ICカードデータ検索で検索対象外となる「transit manager」のデータ

以下の条件に一致する「transit manager」のデータはICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

- transit managerで下記の状態のデータ

transit managerで未申請以外の状態のデータはICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

また、未申請状態のデータで、「業務外」または「申請を保留する」状態のデータも、検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「transit manager」から取得したデータを申請・一時保存すると、ICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

「transit manager」のデータ更新のタイミング

以下を実施した場合、「transit manager」に保存しているデータを「申請済データ」に更新します。

- 申請
- 再申請
- 一時保存
- 承認
- 最終承認

以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「差戻しデータ」に更新します。

- 取り止め
- 否認
- 案件操作による案件完了

以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「未処理状態」に更新します。

- 一時保存削除
- 未完了案件削除

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

ICカードのデータを取消明細で選択して申請した場合、ICカードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。

私用で使用したデータをICカードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- transit managerユーザマッピングマスタの設定

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「transit manager設定 (ICカードデータ連携)」を参照して設定してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ICカードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



transit managerユーザマッピングマスタの設定

「transit manager」を使用して精算するユーザは [transit managerユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。

登録方法は、[transit managerユーザマッピングマスタ](#)を参照してください。

「transit manager」のデータ更新のタイミング

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」に保存しているデータを「申請済データ」に更新します。

- 申請
- 再申請

- 一時保存
- 承認
- 最終承認

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「差戻しデータ」に更新します。

- 取り止め
- 否認
- 案件操作による案件完了

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「未処理状態」に更新します。

- 一時保存削除
- 未完了案件削除

「transit manager」から申請したデータを使用してKaiden!で自動的に精算申請を実施する

本項では、「transit manager」から申請したデータを使用してKaiden!で自動的に精算申請を実施する方法を説明します。交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するには、「transit manager」の利用契約が必要です。

「transit manager」から申請したデータを使用してKaiden!で自動的に精算申請を実施するには、以下の事前準備が必要です。

- 設定ファイルの作成
- IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- transit managerユーザマッピングマスタの設定
- ジョブの設定

事前準備の手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「transit manager設定 (ICカードデータ連携)」を参照して設定してください。

IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成

IM-LogicDesignerでロジックフローを作成してください。

また、IM-LogicDesignerの拡張プログラミングを活用して、自動的に精算申請を実施する際使用するガジェットを作成してください。

Kaiden!ではサンプルの、IM-LogicDesignerの拡張プログラムを提供しています。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド](#)』 - 「応用」 - 「ロジックフロー（「transit manager」と連携して自動申請する）」を参照してください。

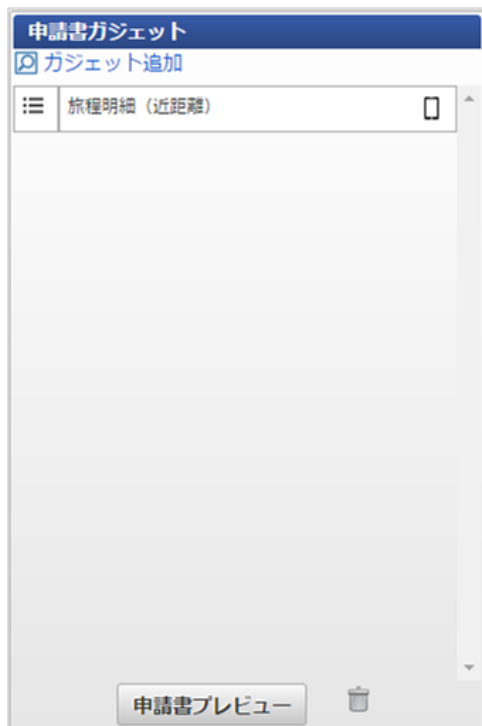
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、[IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成](#)で作成したガジェットを選択してください。Kaiden!で提供しているサンプルを使用する場合、「旅程明細(近距離)」ガジェットを選択してください。



コラム

IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成で作成したガジェットのみを選択してください。

2. フロー定義作成時、フローIDにIM-LogicDesignerの拡張プログラミングの中で指定したフローIDを入力してください。Kaiden!で提供しているサンプルを使用する場合、フローIDに「0_test」を入力してください。

transit managerユーザマッピングマスタの設定

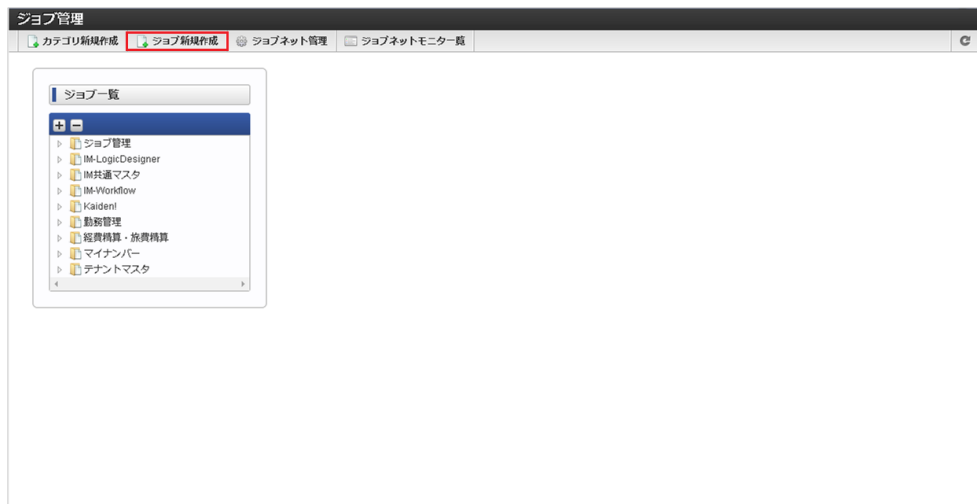
「transit manager」を使用して精算するユーザは [transit managerユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。登録方法は、[transit managerユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

ジョブの設定

ジョブの新規登録

「transit manager」で申請済みのデータをKaiden!で自動的に精算申請するジョブを作成します。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブ管理」をクリックします。
2. 「ジョブ新規作成」をクリックします。



3. 必要な情報を設定します。

- ジョブカテゴリ
任意のカテゴリを選択します。
- ジョブID
任意のジョブIDを入力します。
- ジョブ名
任意のジョブ名を入力します。
- 実行言語
「Java」を選択します。
- 実行プログラム
「jp.co.slcs.kaiden2.product_workflow.feature.job.kaiden.workflow.TmAutoEntryJob」を入力します。



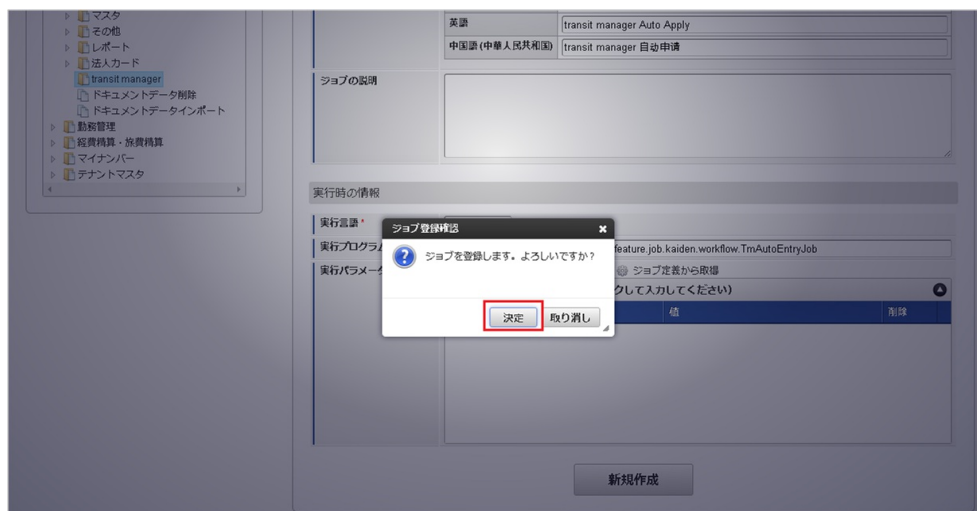
コラム

ジョブの作成方法の詳細は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

4. 編集後、「新規作成」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



6. ジョブが作成されました。



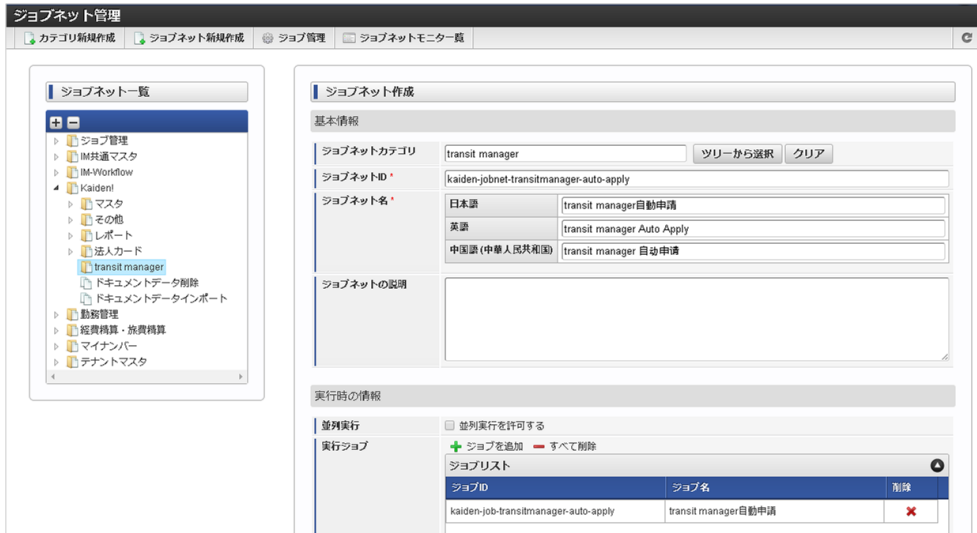
ジョブネットの新規登録

「transit manager」で申請済みのデータをKaiden!で自動的に精算申請するためのジョブネットを作成します。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. 「ジョブネット新規作成」をクリックします。



3. 必要な情報を設定します。



- ジョブネットカテゴリ
任意のカテゴリを選択します。
- ジョブネットID
任意のジョブネットIDを入力します。
- ジョブネット名
任意のジョブネット名を入力します。
- 実行ジョブ
[ジョブの新規登録](#)で新規登録したジョブを選択します。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

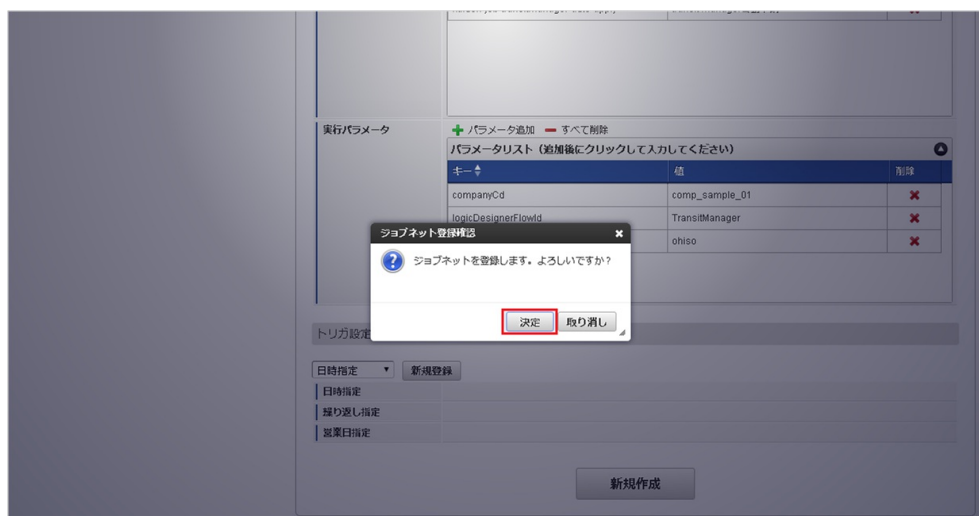
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法の詳細は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

5. 編集後、「新規作成」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが作成されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
ロジックデザイナーフローID	logicDesignerFlowId	IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成で作成したロジックフローのロジックデザイナーフローIDを設定します。 (設定必須)

名称	キー	説明 / 設定値
会社コード	companyCd	自動申請対象のユーザの <i>transit manager</i> ユーザマッピングマスタ で紐づく会社の会社コードを設定します。 (設定必須)
ユーザ	userCd	自動申請対象のユーザコードを設定します。 <i>transit manager</i> ユーザマッピングマスタ に登録されているユーザを指定できません。 (設定必須)
申請基準日(開始)	applyDateFrom	「transit manager」の申請基準日の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日-5日)
申請基準日(終了)	applyDateTo	「transit manager」の申請基準日の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

自動申請の実行手順

- 申請者は「transit manager」から申請します。
- ジョブネットの新規登録*で作成したジョブネットを実行します。
「transit manager」の申請日が実行パラメータの「申請基準日(開始)」～「申請基準日(終了)」の伝票が自動申請の対象となります。
自動申請の対象となった「transit manager」での申請は1つの伝票にまとめられます。
既にKaiden!で申請済みのデータは自動申請の対象になりません。
- ジョブネットが正常に実行された場合、*IM-LogicDesignerを使用したロジックフローの作成*で作成したロジックフローに基づいて申請書が作成されます。

自動申請の注意点

Kaiden!で提供するサンプルで申請した場合、「transit manager」のデータはICカードデータ検索機能で検索対象外となります。
一度検索対象外となったデータを検索対象に変更することはできません。
また、「transit manager」のデータを含む申請書に対して申請・否認等の操作をしても「transit manager」側のデータは更新されません。

法人カードデータを使用して精算する方法

Cloud-Baseと連携して精算する方法

概要

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。
法人カードデータを使用して Kaiden! の精算を実施するには、「Cloud-Base」へ三井住友カードの情報を連携するサービスの利用契約が必要です。
「Cloud-Base」では、三井住友カード発行の法人カードの情報を登録すると、三井住友カードよりクレジットカードの利用明細を「Cloud-Base」へ送付するサービスを提供しています。
利用可能な法人カードや取得するデータは「Cloud-Base」のサービス内容に準じます。
「Cloud-Base」に関しては、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマートにお問い合わせください。



コラム

Cloud-Baseおよびクラウドベースは、株式会社イントラマート・シー・エス・アイの商標です。

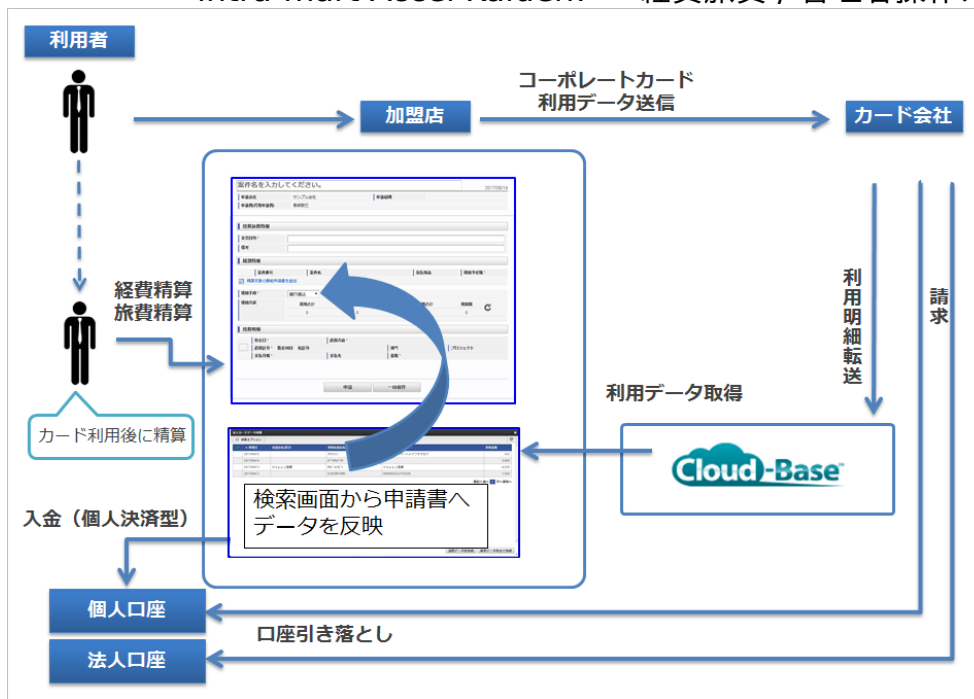
各システムの役割

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Cloud-Base
カード会社から使用データを受け取り Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



法人カードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「Cloud-Base」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 法人カード関連マスタの設定
- 連携用ガジェットの作成
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」との連携手順

法人カード関連マスタの設定

「Cloud-Base」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	必須	概要
法人カードマスタ	○	連携する法人カードを管理します。
法人カード会社マスタ		連携する法人カード会社を管理します。
法人カード会社契約マスタ		連携する法人カード会社との契約を管理します。
法人カードブランドマスタ		連携する法人カードのブランドを管理します。
法人カード契約体系マスタ		連携する法人カードの契約体系を管理します。
Cloud-Base契約マスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報を管理します。
Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。

連携用ガジェットの作成

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを使用して Kaiden! の精算をする際、連携用のガジェットを作成する必要があります。連携用ガジェットの作成方法は『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「応用」-「ガジェット (法人カードデータ検索ガジェットと連携する)」を参照してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と作成した連携用ガジェットを選択してください。



「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[利用データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

法人カードデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「Cloud-Base」のデータは法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを申請・一時保存すると、法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度法人カードデータ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [利用データテーブルメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

法人カードのデータを取消明細で選択して申請した場合、法人カードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。私用で使用したデータ、決済を取り消したデータを法人カードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 法人カード関連マスタの設定
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

法人カード関連マスタの設定

「Cloud-Base」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	必須	概要
法人カードマスタ	○	連携する法人カードを管理します。
法人カード会社マスタ		連携する法人カード会社を管理します。
法人カード会社契約マスタ		連携する法人カード会社との契約を管理します。

法人カードブランドマスタ		連携する法人カードのブランドを管理します。
法人カード契約体系マスタ		連携する法人カードの契約体系を管理します。
Cloud-Base契約マスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報を管理します。
Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[利用データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

J'sNAVI Jr.と連携して精算する方法

概要

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

法人カードデータを使用して Kaiden! の精算を実施するには、「J'sNAVI Jr.」の「コーポレートカードデータ連携サービス」の利用契約が必要です。

利用可能な法人カードや取得するデータは「コーポレートカードデータ連携サービス」の内容をご確認ください。

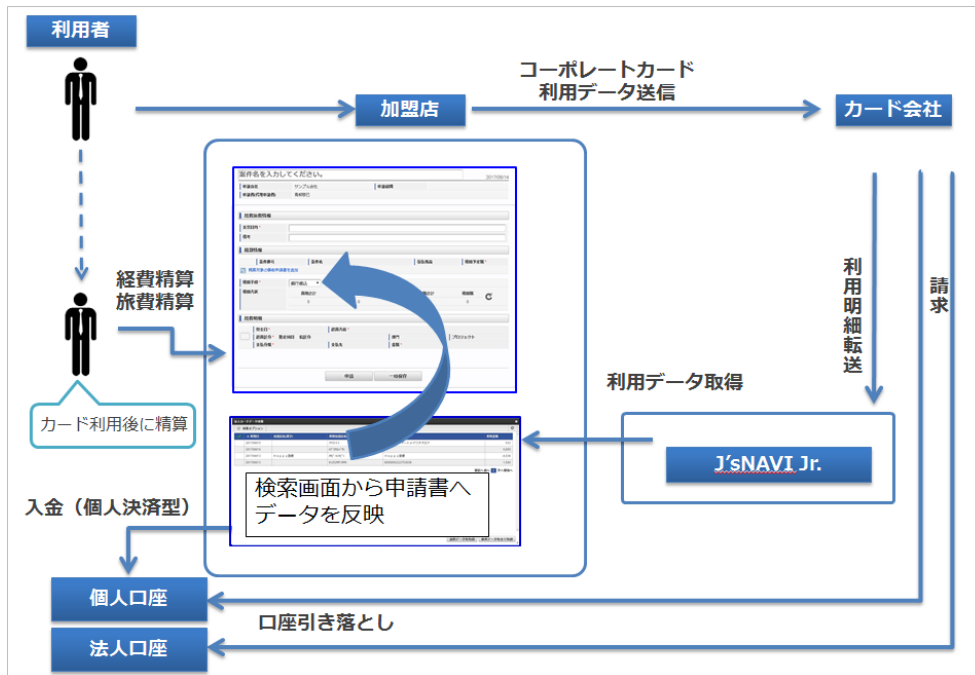
各システムの役割

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- J'sNAVI Jr.
カード会社から使用データを受け取りKaiden!に連携します。
会社ごとのデータの振り分けは「J'sNAVI Jr.」で行います。

連携イメージ

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



法人カードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 法人カード関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

法人カード関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。
J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カードを管理します。

ガジェットのインポート

「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchCorporateCard_v02.xml	法人カードデータ検索(J'sNAVI Jr.)	○

expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)を実施してください。

法人カードデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「J'sNAVI Jr.」のデータは法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータを申請・一時保存すると、法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度法人カードデータ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

法人カードのデータを取消明細で選択して申請した場合、法人カードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。

私用で使用したデータ、決済を取り消したデータを法人カードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 法人カード関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

法人カード関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。
J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カードを管理します。

ガジェットのインポート

J'sNAVI Jr. から取得した法人カードデータを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchCorporateCard_v02.xml	法人カードデータ検索(J'sNAVI Jr.)
cancelDetail_v01.xml	取消明細

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)を実施してください。

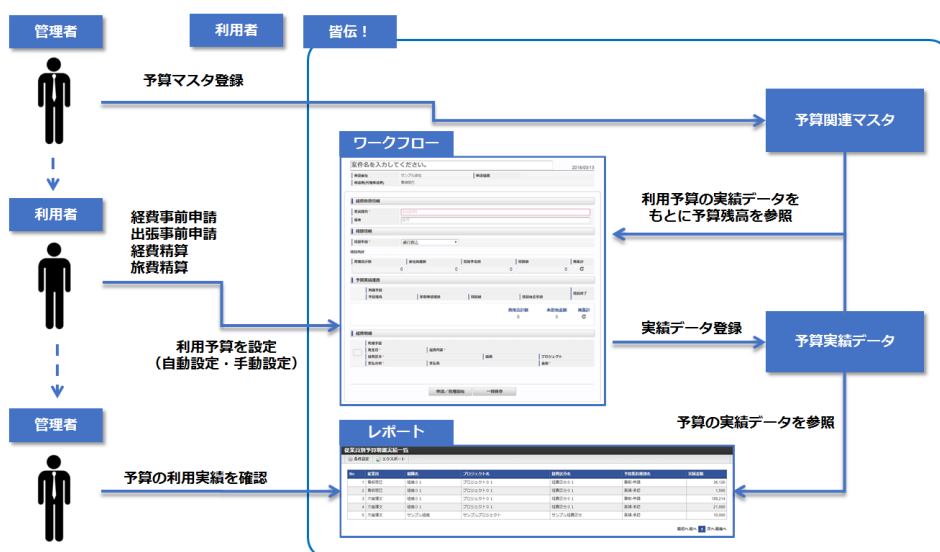
予算管理を実施する方法

概要

本項では、編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請と連携し予算管理する際の概要を説明します。

運用時のイメージ

本項では、編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請と連携し予算管理するイメージを紹介します。



編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請を実施する

本項では、編成した予算を使用して Kaiden! の事前申請および精算申請を実施する方法を説明します。予算と事前申請および精算申請を連携するには、以下の手順が必要です。

- 予算関連マスタの設定

- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

予算との連携手順

予算関連マスタの設定

予算と事前申請および精算申請を連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	必須	概要
予算単位マスタ	○	予算単位を管理します。
予算バージョンマスタ	○	予算バージョンを管理します。
予算マスタ	○	予算を管理します。

ガジェットのリポート

予算と事前申請および精算申請を連携する場合、以下のガジェットのリポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
advance_v01.xml	事前情報（仮払含む）	○
accountingPeriodValidate_v01.xml	会計期間チェック	
budgetAdvance_v01.xml	予算連携	○
budgetSettle_v01.xml	予算実績連携	○
allowanceDetail_v07.xml	日当明細（予算）自動引当	
allowanceDetail_v08.xml	日当明細（予算）手動引当	
expenseCountValidate_v01.xml	費用明細行数チェック	
expenseDetail_v07.xml	経費明細（予算）自動引当	
expenseDetail_v08.xml	経費明細（予算）手動引当	
expenseInfo_v01.xml	経費旅費情報（概算費用あり）	
expenseInfo_v02.xml	経費旅費情報（概算費用なし）	
expenseInfo_v03.xml	出張(旅費)情報（概算費用あり）	
expenseInfo_v04.xml	出張(旅費)情報（概算費用なし）	
lodgeDetail_v07.xml	宿泊明細（予算）自動引当	
lodgeDetail_v08.xml	宿泊明細（予算）手動引当	
routeDetail_v07.xml	旅程明細（予算）自動引当	
routeDetail_v08.xml	旅程明細（予算）手動引当	
settle_v01.xml	精算情報	○
settle_v03.xml	精算情報（概算費用）	○

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義の作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. 事前申請書で予算を自動設定を行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算連携ガジェット」と作成した連携用の明細ガジェット「自動引当」を選択してください。

申請書ガジェット	
ガジェット追加	
出張(旅費)情報 (概算費用あり)	<input type="checkbox"/>
事前情報 (仮払含む)	<input type="checkbox"/>
予算連携	<input checked="" type="checkbox"/>
旅程明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
宿泊明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
日当明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
経費明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
会計期間チェック	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー

2. 事前申請書で予算を手動設定を行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算連携ガジェット」と作成した連携用の明細ガジェット「手動引当」を選択してください。

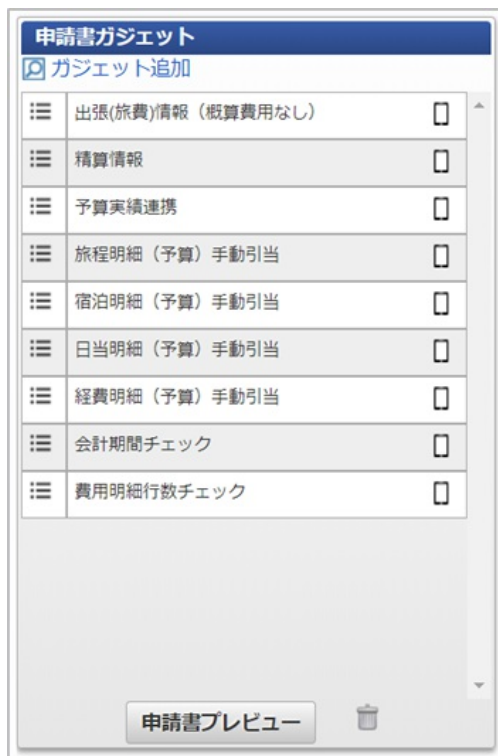
申請書ガジェット	
ガジェット追加	
出張(旅費)情報 (概算費用あり)	<input type="checkbox"/>
事前情報 (仮払含む)	<input type="checkbox"/>
予算連携	<input checked="" type="checkbox"/>
旅程明細 (予算) 手動引当	<input checked="" type="checkbox"/>
宿泊明細 (予算) 手動引当	<input checked="" type="checkbox"/>
日当明細 (予算) 手動引当	<input checked="" type="checkbox"/>
経費明細 (予算) 手動引当	<input checked="" type="checkbox"/>
会計期間チェック	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー

3. 精算申請書で予算を自動設定を行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算実績連携ガジェット」と作成した連携用の明細ガジェット「自動引当」を選択してください。



4. 精算申請書で予算を手動設定を行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算実績連携ガジェット」と作成した連携用の明細ガジェット「手動引当」を選択してください。



案件明細を使用する

本項では、案件明細を使用する際の方法を説明します。

予算を連携した事前申請および精算申請をキャンセルしたい場合、案件明細を使用して申請してください。

案件明細を使用するには、以下の手順が必要です。

コラム

案件明細の概要は、TODO 【皆伝！ / ワークフロー / ガジェットガイドの案件明細にリンクを貼りたい】 を参照してください。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成

- フロー定義の作成

ガジェットのインポート

予算を連携した事前申請および精算申請を案件明細を使用して取消する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchAdvanceSettle_v01.xml	事前・精算書検索
matterDetail_v01.xml	案件明細

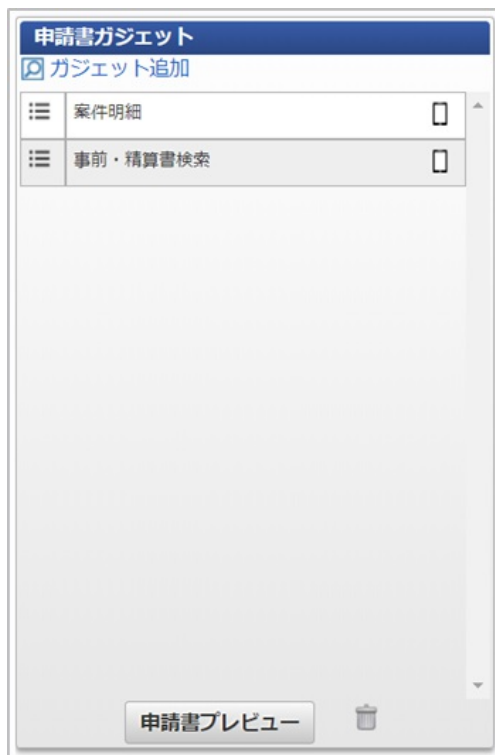
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「事前・精算書検索」と「案件明細」を選択してください。



カレンダーデータを使用して精算する方法

概要

本項では、「RODEM」からカレンダーに登録した経路情報を取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

カレンダーに登録した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施するには、「RODEM」の利用契約が必要です。

「RODEM」は、カレンダーに登録されたアポイントメント予定から行き先を特定し、「駅すばあと」のシステムを使って経路を検索するサービスです。

利用可能なカレンダーの種類や、取得するデータ等は「RODEM」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

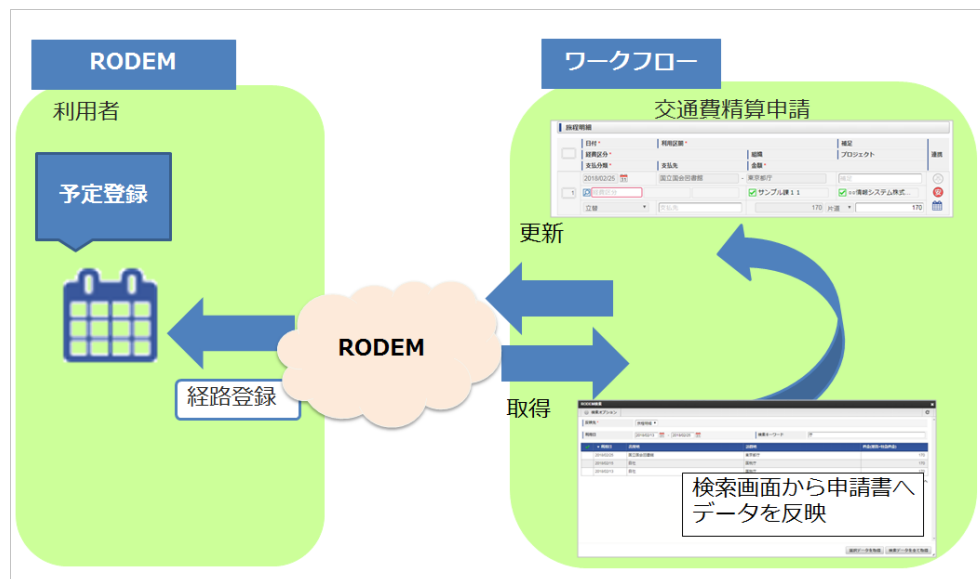
「RODEM」から取得した経路情報を使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- RODEM
カレンダーに登録されたアポイントメント予定から行き先を特定し、経路を検索します。

また、移動予定の検索時に計算した運賃を Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



カレンダーから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する方法を説明します。

経路情報を使用してKaiden!の精算を実施するには、「RODEM」の利用契約が必要です。

「RODEM」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- RODEMユーザマッピングマスタの設定

「RODEM」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「RODEM設定（カレンダーデータ連携）」を参照して設定してください。

ガジェットのエクスポート

「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのエクスポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchRodem_v01.xml	カレンダーデータ検索
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）

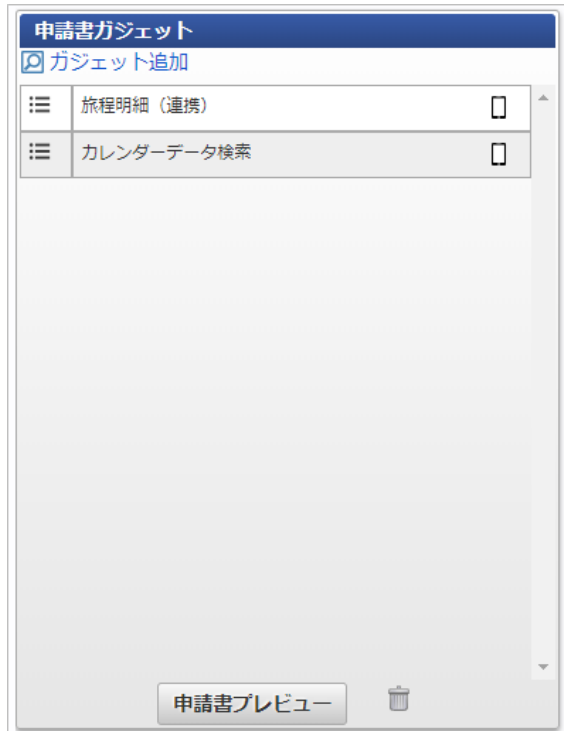
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「カレンダーデータ検索」と「旅程明細（連携）ガジェット」を選択してください。



RODEMユーザマッピングマスタの設定

「RODEM」を使用して精算するユーザは [RODEMユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。

登録方法は、[RODEMユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

カレンダーデータ検索で検索対象外となるデータ

以下の条件に一致する「RODEM」のデータはカレンダーデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「RODEM」から取得したデータを申請・一時保存すると、カレンダーデータ検索機能で検索対象外となります。

該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度カレンダーデータ検索機能で検索対象となります。

検索時の注意

カレンダーデータ検索では、「RODEM設定（カレンダーデータ連携）」で設定した日付からシステム日付の期間を検索します。

初期値は「30」のため、30日前からシステム日付の期間を検索します。

設定した日付よりも過去の期間は検索できません。

出張手配サービスと連携する方法

概要

本項では、Kaiden!の事前申請時に「J'sNAVI Jr.」で出張手配を実施し、取得した出張情報実績データをKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

上記機能の利用には、「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスの利用契約が必要です。

出張手配サービスや取得するデータは「J'sNAVI Jr.」のサービス内容をご確認ください。

注意

Kaiden!と連携しているのは、最新バージョンの「J'sNAVI Jr.」です。

「J'sNAVI Jr.」の拡張設定(初期設定)に対応しています。

拡張設定無しには対応していません。

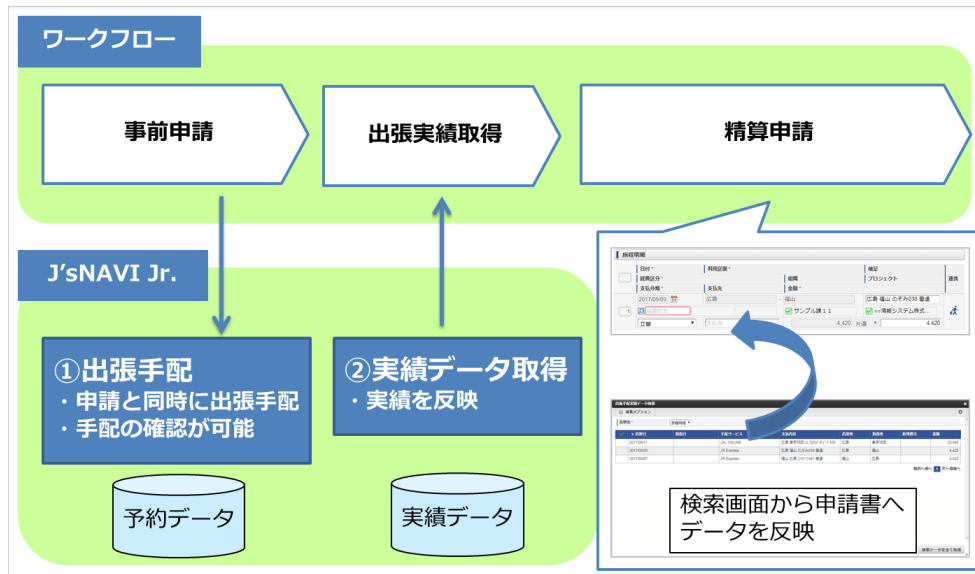
「J'sNAVI Jr.」に関しては、株式会社 JTB ビジネストラベルソリューションズにお問い合わせください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配実績データを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- J'sNAVI Jr.
出張手配サービスを提供し、実績データを Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスと連携するイメージを紹介します。



Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」を使用して出張手配する方法

本項では、Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」にログインして出張手配する方法を説明します。

「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr.契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの設定ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v01.xml	出張手配	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	

コラム

「J'sNAVI Jr.」の海外手配をKaiden!の事前申請と紐付ける場合、「expenseInfo_v05.xml」をコピーしてコピーしたファイルの「businessName」のvalueを「J0」から「F0」に変更してください。

コピーしたファイルのファイル名は「expenseInfo_c05.xml」にすることを推奨します。

また、コピーしたファイル名に合わせて「ガジェットクラス」、「ガジェットバリエーション」を変更してください。

「expenseInfo_v05.xml」を「expenseInfo_c05.xml」に変更した場合、「ガジェットバリエーション」を「v05」から「c05」に変更します。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

「J0」を設定した場合、国内手配モードで「J'sNAVI Jr.」にログインします。

「F0」を設定した場合、海外手配モードで「J'sNAVI Jr.」にログインします。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

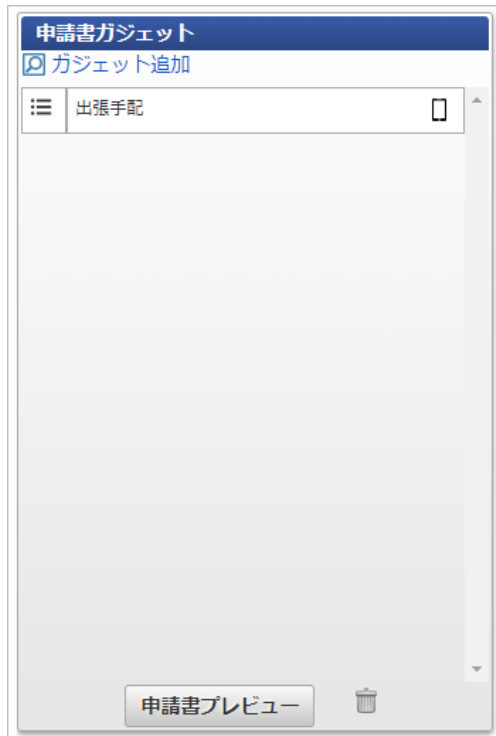
1. 「J'sNAVI Jr.」の出張手配とKaiden!の事前申請を紐付ける場合、

コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」と「出張手配」を選択してください。



2. 「J'sNAVI Jr.」の出張手配とKaiden!の事前申請を紐付けない場合、

コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配」を選択してください。



出張手配実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。
「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザーマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須

searchBusinessTripArrangement_v01.xml	出張手配実績データ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配実績データ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張手配実績データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

出張手配実績データ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「J'sNAVI Jr.」のデータは出張手配実績データ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データを申請・一時保存すると、出張手配実績データ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度出張手配実績データ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

出張手配の実績データを取消明細で選択して申請した場合、出張手配実績データ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配の実績データを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr.契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配実績データを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchBusinessTripArrangement_v01.xml	出張手配実績データ検索
cancelDetail_v01.xml	取消明細

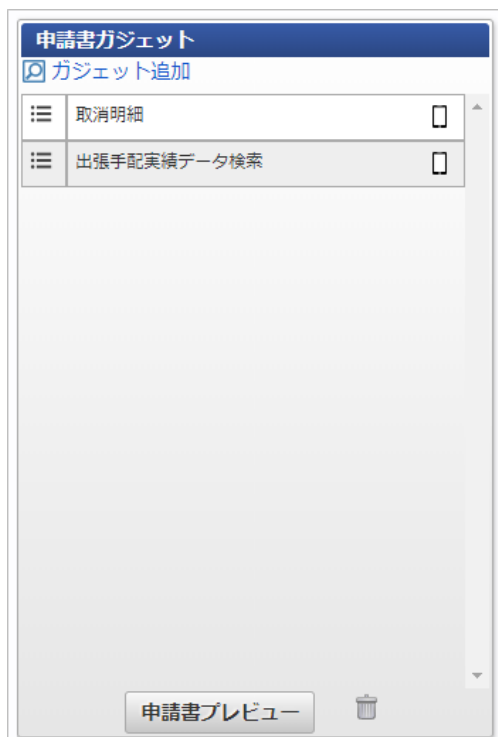
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配実績データ検索」と「取消明細」を選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張手配実績データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

事前申請書・精算申請書を取り消す方法

本項では、事前申請書・精算申請書を取り消す方法を説明します。
申請書を取り消すための申請書を作成して取消を実施します。
使用には以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成

事前申請書・精算申請書を取り消す申請書の作成手順

ガジェットのインポート

事前申請書・精算申請書を取り消す申請書を作成する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchAdvanceSettle_v01.xml	事前・精算書検索
matterDetail_v01.xml	案件明細

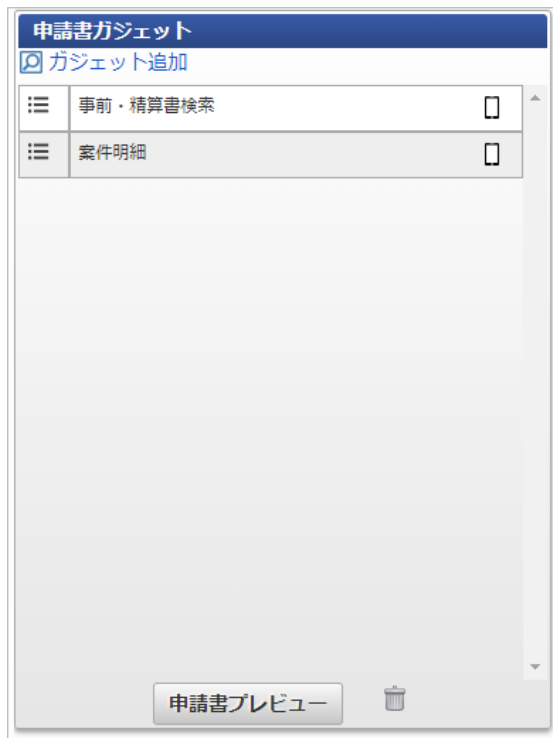
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「事前・精算書検索」と「案件明細」を選択してください。



検索対象となる申請書

以下の条件に一致する申請書が事前・精算検索機能で検索対象となります。
また、自分が申請した申請書のみを取り消し可能です。

- 精算申請書との紐付けがない最終承認済の事前申請書
- 最終承認済の精算申請書



コラム

精算申請書と紐付け済みの事前申請書を取り消す場合、紐付く精算申請書を取り消してから実施してください。



注意

請求書払申請書を取り消すことはできません。

申請時の注意

事前申請書・精算申請書を取り消す申請が最終承認されると、以下の操作が実施されます。

- 事前申請書と紐付いた精算申請書を取り消した場合、紐付けを解除します。
- 取り消した申請書が仕訳出力前の場合、仕訳対象外となります。
- 取り消した申請書が仕訳出力済の場合、反対仕訳のデータを登録します。
- 取り消した申請書が仕訳出力済でFBデータが発生する場合、金額×「-1」のFBデータを登録します。
- 取り消した申請書が予算と紐付いている場合、使用した予算額を取り消します。
- 渡航情報ガジェットを含む事前申請書を取り消した場合、渡航情報取消用のファイルを出力します。



注意

「交通系ICカードデータ」、「法人カードデータ」等の外部のシステムから取得したデータと連携した申請書を取り消した場合、再度該当のデータを使用して申請することができません。
同じ内容で再度申請したい場合、申請書コピー機能を使用してください。

安否確認システムと連携する方法

概要

本項では、Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムと連携するための渡航情報ファイルを出力する方法を説明します。

Kaiden!が連携する安否確認システムは、セコム安否確認サービスGSです。

各システムの役割

Kaiden!の出張事前申請をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 安否確認システム
Kaiden!から出力されたファイルを渡航情報として取り込みます。

Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法

本項では、Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに渡航情報の新規追加を連携するファイルを出力する方法を説明します。安否確認システムに連携するファイルを出力するには、以下の手順が必要です。

- 安否確認ユーザマッピングマスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

設定手順

安否確認ユーザマッピングマスタの設定

以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
安否確認ユーザマッピングマスタ	安否確認システムのユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
travelDetail_v01.xml	渡航明細
expenseInfo_v06.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 渡航明細連携)

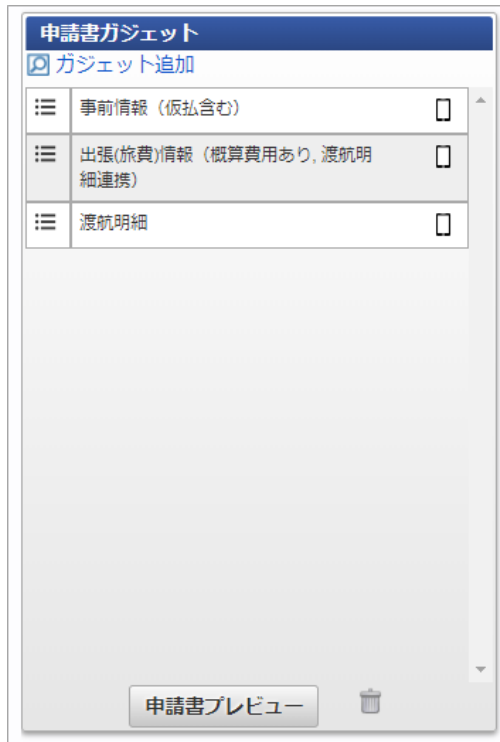
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. Kaiden!の出張事前申請時、安否確認システムに連携するファイルを出力するためには、コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 渡航明細連携)」と「渡航明細」を選択してください。



Kaiden!の出張事前申請を取り消す際に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法

本項では、Kaiden!の事前申請書取消時に安否確認システムに渡航情報の削除を連携するファイルを出力する方法を説明します。安否確認システムに連携するファイルを出力するには、以下の手順が必要です。

- 安否確認ユーザマッピングマスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成



コラム

事前申請書の取消に関する詳細は [事前申請書・精算申請書を取り消す方法](#) を参照してください。

安否確認ユーザマッピングマスタの設定

以下のマスタの設定が必要です。

マスタ

概要

[安否確認ユーザマッピングマスタ](#) 安否確認システムのユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名

ガジェット名

searchAdvanceSettle_v01.xml 事前・精算書検索

matterDetail_v01.xml

案件明細

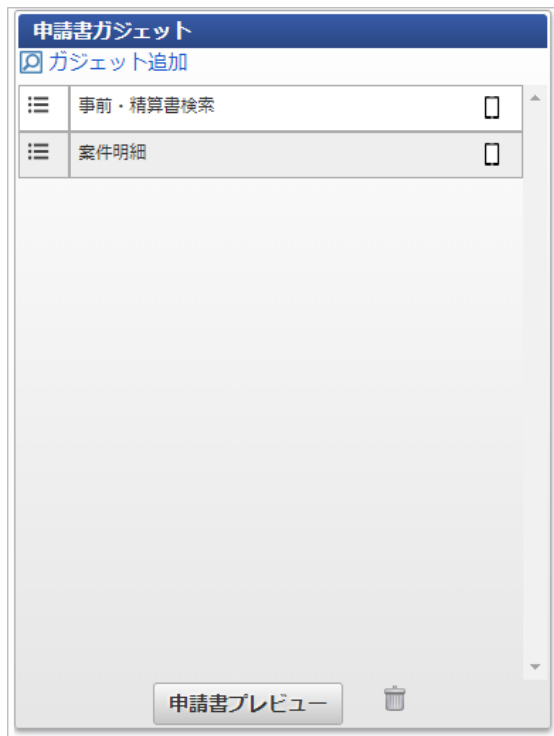
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「事前・精算書検索」と「案件明細」を選択してください。



出力ファイルの定義

本項では、安否確認システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。
出力ファイルを連携する際は、安否確認システムにアップロードしてください。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

ディレクトリ kaiden/safety/csv

ファイル名 travelDetail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	更新区分	actionFlag	1：新規追加 2：削除
2	ユーザID	userId	
3	渡航管理番号	travelNo	
4	出発日	departureDate	yyyyMMdd形式
5	帰着日	returnDate	yyyyMMdd形式
6	備考	summary	
7	渡航先件数	count	

8	エリアコード	areaCd	
9	国コード	countryCd	
10	都市コード	cityCd	
11	滞在先	destination	
12	開始日	startDate	yyyyMMdd形式
13	終了日	endDate	yyyyMMdd形式
14	特記事項	notice	

申請書にアラートを表示する方法

申請書にアラートを表示する方法

本項では、Kaiden!の申請書にアラートを表示する方法を説明します。
アラート機能を使用する場合、以下の手順が必要です。ガジェットに追加の設定が必要です。

- ガジェットのカスタマイズ
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

コラム

標準で提供しているガジェットは、アラート表示の設定が実施されていません。
アラート機能を使用する場合、ガジェットのカスタマイズが必要です。

ガジェットのカスタマイズ

申請書にアラートを表示したい場合、GadgetBuilderで作成したガジェットのバリデート設定を実施する必要があります。
バリデート実行イベントに「warning」、「information」を設定すると、バリデートのチェックがNGの場合申請書にアラートを表示します。
アラートが表示されていても申請は可能です。

コラム

設定方法の詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「GadgetBuilder定義」を参照してください。

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
バリデート設定を追加したガジェット	
informationDetail_v01.xml	情報明細

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「バリデート設定を追加したガジェット」と「情報明細」を選択してください。



確認コメントが必須入力のアラートの操作

本項では、確認コメントが任意入力のアラート（warning）を設定した際の操作を説明します。

1. アラートを設定している申請書を開きます。

旅程明細			
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

2. 入力後、「申請」をクリックします。

旅程明細			
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*
	2019/01/24 <small>31</small>	西新宿	赤坂見附
1	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1	<input checked="" type="checkbox"/> 情報システム株式...	
	立替	支払先	170 片道 170

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

3. バリデーションのチェックが実施され、チェックNGの場合情報明細ガジェットにメッセージが表示されます。また、「確認コメント」の入力が必須です。



4. 処理時もアラートのメッセージを確認できます。



確認コメントが任意入力のアラートの操作

本項では、確認コメントが任意入力のアラート（information）を設定した際の操作を説明します。

1. アラートを設定している申請書を開きます。



2. 入力後、「申請」をクリックします。

旅程明細				
日付*	利用区間*	経費区分*	組織	補足
支払分類*	支払先	金額*	プロジェクト	
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附	国内出張	サンプル課 1 1	補足
1	立替	旅費交通費	課税(8%)	oo情報システム株式...
	東京メトロ	片道金額	片道	0
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附	国内出張	サンプル課 1 1	補足
2	立替	旅費交通費	課税(8%)	oo情報システム株式...
	東京メトロ	170	片道	170

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

3. バリデーシヨンのチェックが実施され、チェックNGの場合情報明細ガジェットにメッセージが表示されます。「確認コメント」を入力して申請することも可能です。

案件 入力エラーが見つかりました 2019/01/24

申請書	旅程明細	片道金額	必須です。
申請書	旅程明細	換算額	必須です。

再チェック 閉じる

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	

4. 処理時もアラートのメッセージを確認できます。

旅程明細				
日付	利用区間	経費区分	組織	補足
支払分類	支払先	金額	プロジェクト	
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附	国内出張	サンプル課 1 1	oo情報システム株式会社...
1	立替	旅費交通費	課税(8%)	
	東京メトロ	170	片道	170
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附	国内出張	サンプル課 1 1	oo情報システム株式会社...
2	立替	旅費交通費	課税(8%)	
	東京メトロ	170	片道	170

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	1行目と2行目は往復の入力です。
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	

駅すばあとWebサービスと連携する方法

概要

本項では、駅すばあとWebサービスを使用して経路検索を実施する方法を説明します。

各システムの役割

駅すばあとWebサービスから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 駅すばあとWebサービス
経路検索を実施します。

駅すばあとWebサービスを使用してKaiden!の申請を実施する

本項では、「駅すばあとWebサービス」から経路情報を取得し Kaiden! の申請を実施する際の方法を説明します。

経路情報を使用してKaiden!の申請を実施するには、「駅すばあとWebサービス」の利用契約が必要です。

「駅すばあとWebサービス」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 駅すばあとと検索条件関連マスタの設定

「駅すばあとWebサービス」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「経路検索設定」及び、

「[駅すばあとWebサービス設定](#)」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

「駅すばあとWebサービス」から経路情報を取得し Kaiden! の申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
routeSearch_v01.xml	経路検索	○
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）	
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）	
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）	
chgCommRoute_v01.xml	通勤経路	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「経路検索」と「旅程明細（連携）ガジェット」等を選択してください。



駅すばあと検索条件関連マスタの設定

経路検索の条件を会社ごとに変更したい場合、また、ユーザに画面で「駅すばあとWebサービス設定」で設定した条件を変更させたい場合、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#) に設定を登録してください。

また、ユーザごとに経路検索の条件を変更したい場合、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#) と [駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を紐付けてください。

登録方法は、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#)、[駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

仕訳の出力項目を変更する方法

本項では、仕訳の出力項目を変更する方法を説明します。

設定ファイル

仕訳の出力設定を行います。

モジュール
intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

設定場 WEB-

所 INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_workflow/foundation/model/xml_schema/journal_export_settings/JournalExportSettings.xml

タグ概要

設定ファイルのタグ概要は次の通りです。

タグ	名称・説明
genericExportSettings/field_settings/field_setting	出力する項目を設定します。
genericExportSettings/field_settings/field_setting/key	出力する項目のキーを設定します。
genericExportSettings/field_settings/field_setting/sort	出力する項目の出力順を設定します。
genericExportSettings/field_settings/field_setting/type	出力する項目のタイプを設定します。

* 1:文字列
* 2:数値
* 3:日付形式

追加可能な項目

仕訳の出力に追加可能な項目は以下の通りです。

No(列)	項目名	キー	タイプ	フォーマット	備考
1	ヘッダー汎用コード1	headerGeneralCd1	1		
2	ヘッダー汎用コード2	headerGeneralCd2	1		標準機能で使用していません
3	ヘッダー汎用コード3	headerGeneralCd3	1		標準機能で使用していません
4	ヘッダー汎用フラグ1	headerGeneralFlag1	1		
5	ヘッダー汎用フラグ2	headerGeneralFlag2	1		標準機能で使用していません
6	ヘッダー汎用フラグ3	headerGeneralFlag3	1		標準機能で使用していません
7	会社通貨コード	companyCurrencyCd	1		
8	会社通貨換算レート	companyRate	2	『#####』	
9	取引通貨額	transAmount	2	『#####』	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	1		
11	税区分コード	taxTypeCd	1		
12	税率	taxRate	2	『#####』	

税率変更時のマスタ設定方法

本項では、増税等税率変更時のマスタ設定方法例を説明します。

本項で説明する内容は設定例となりますので、運用に合わせて設定ください。

税率に関連するマスタは以下の通りです。

- 税区分マスタ
- 経費区分マスタ

税区分マスタの設定

[税区分マスタ](#)で、変更になった税率を追加します。

税率が8%から10%に増税し、軽減税率8%が追加になった場合、10%と軽減税率8%の税区分をマスタに追加します。

経費区分マスタの設定

[経費区分マスタ](#)を新規作成し、追加した[税区分マスタ](#)と[勘定科目マスタ](#)を紐付けます。

ガジェットテンプレートを使用する方法

ガジェットテンプレートを使用する方法

本項では、Kaiden!の申請書に設定されているガジェットでテンプレート機能を使用する方法を説明します。

テンプレート機能を使用する場合、以下の手順が必要です。ガジェットに追加の設定が必要です。

- ガジェットのカスタマイズ
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成



コラム

標準で提供しているガジェットは、テンプレート機能を使用する設定が実施されていません。
テンプレート機能を使用する場合、ガジェットのカスタマイズが必要です。

**注意**

テンプレート機能はGadgetBuilder版のガジェットのみ対応しています。

ガジェットのカスタマイズ

申請書に設定するガジェットでテンプレート機能を使用したい場合、標準で提供しているガジェットにテンプレート設定を実施する必要があります。ガジェット引数に設定する内容は以下の通りです。

キー 設定値

template true

**コラム**

標準で提供しているガジェットでテンプレート機能に対応しているガジェットは以下の通りです。

ファイル名	ガジェット名
expenseDetail_v01.xml	経費明細
expenseDetail_v02.xml	経費明細（複数通貨）
routeDetail_v01.xml	旅程明細
routeDetail_v02.xml	旅程明細（複数通貨）
routeDetail_v03.xml	旅程明細（簡易）
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易, 連携）

**コラム**

設定方法の詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「GadgetBuilder定義」を参照してください。

ガジェットのインポート

テンプレート機能を設定したガジェットのインポートが必要です。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「テンプレート機能を設定したガジェット」を選択してください。

ガジェットのテンプレート登録の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを登録する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。

旅程明細			
テンプレート			
読込 削除			
テンプレート名			
共通 登録			
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

経費明細			
テンプレート			
読込 削除			
テンプレート名			
共通 登録			
<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

コラム

代理申請の場合、テンプレートを登録することはできません。

旅程明細			
テンプレート			
読込			
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

経費明細			
テンプレート			
読込			
<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

2. 入力後、「登録」をクリックします。

- テンプレート名
テンプレートの名称を入力します。
- 共通
 - チェック済で登録した場合、コンテンツが異なる申請書でも同一ガジェットであれば登録したテンプレートを共通で使用することができます。
 - 未チェックで登録した場合、テンプレートを登録した申請書でのみ登録したテンプレートを使用することができます。

i コラム

テンプレートの登録がガジェットの入力項目を保存します。
 テンプレートから除外したい項目は未入力の状態で作成してください。

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

4. テンプレートを登録することができました。

案件名を入力してください。 2020/02/19

申請会社
申請者(代理申請者) 青柳 京巳

テンプレートデータを保存しました。

旅程明細

テンプレート 読込 削除 テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	組織	補足
<input type="checkbox"/>	2020/02/20 <small>Am</small> <small>(3)</small>	西新宿	新大阪	サンプル補足
<input type="checkbox"/>	1	国内出張	旅費交通費	課税(8%)
<input checked="" type="checkbox"/>		立替	サンプル支払先	サンプル課 1 1
				oo情報システム株式...
			13,870	片道 13,870

経費明細

テンプレート 読込 削除 テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

申請 一時保存

ガジェットのテンプレート読込の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを読込する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。

旅程明細

テンプレート 読込 削除 テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	組織	補足
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

経費明細

テンプレート 読込 削除 テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

2. テンプレートを選択し、「読込」をクリックします。

旅程明細

テンプレート サンプルテンプレート **読込** 削除 テンプレート名 共通 登録

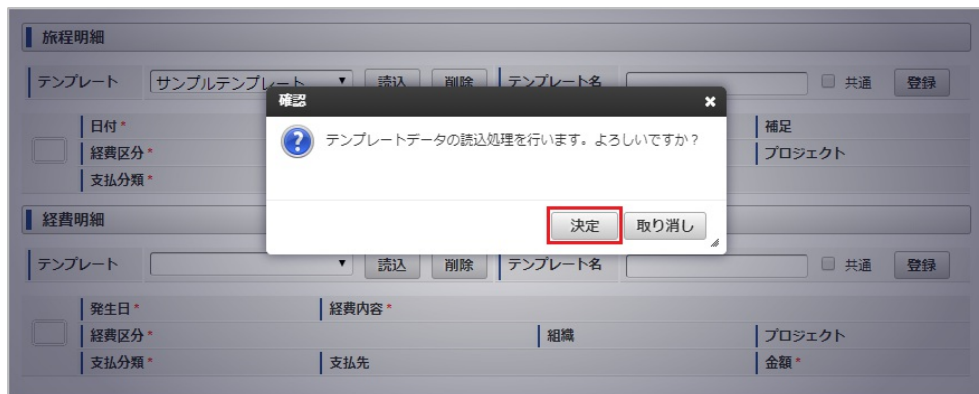
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	組織	補足
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

経費明細

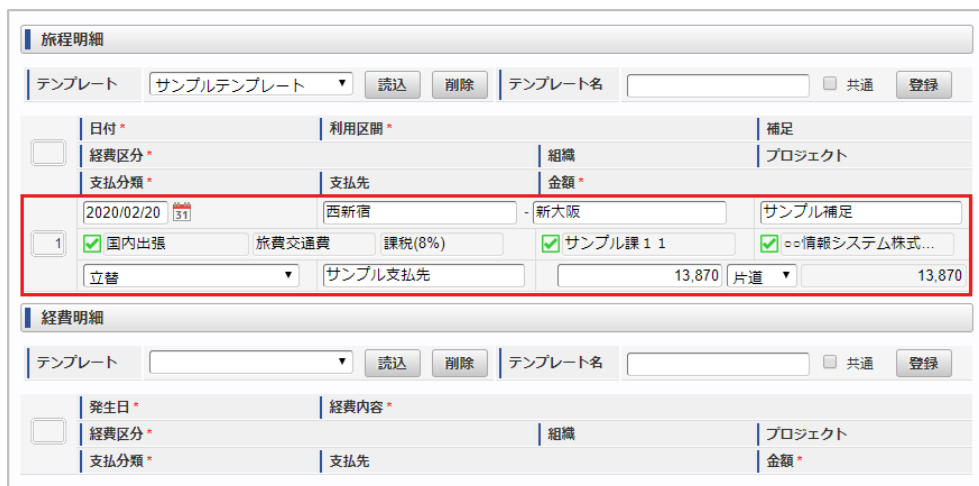
テンプレート 読込 削除 テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. テンプレートを読み込めることができました。



ガジェットのテンプレート削除の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを削除する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。





コラム

代理申請の場合、テンプレートを削除することはできません。

The screenshot shows the '旅程明細' (Travel Details) form. It has two main sections: '旅程明細' and '経費明細' (Expense Details). Each section has a 'テンプレート' (Template) dropdown menu and a '読み込' (Load) button. Below these are several input fields for details like '日付' (Date), '利用区間' (Usage Period), '組織' (Organization), 'プロジェクト' (Project), '経費区分' (Expense Category), '支払先' (Payment Destination), and '金額' (Amount). The '削除' (Delete) button is present but appears to be disabled or greyed out.

2. テンプレートを選択し、「削除」をクリックします。

This screenshot shows the same '旅程明細' form, but now the '削除' (Delete) button is highlighted with a red box, indicating it is active and ready to be clicked. The 'テンプレート' dropdown is set to 'サンプルテンプレート' (Sample Template).

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

This screenshot shows the '旅程明細' form with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box has a question mark icon and the text: '確認 テンプレートデータの削除処理を行います。よろしいですか?' (Confirmation: We will perform the deletion processing of the template data. Is it all right?). There are two buttons at the bottom of the dialog: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

4. テンプレートを削除することができました。

一時保存 申請書コピー

テンプレートデータを削除しました。

案件名を入力してください。 2020/02/19

申請会社	サンプル会社	申請組織	
申請者(代理申請者)	青柳 辰巳		

旅程明細

テンプレート: 読込 削除 テンプレート名: 共通 登録

<input type="checkbox"/> 日付*	利用区間*	組織	補足
経費区分*	支払先	金額*	プロジェクト

経費明細

テンプレート: 読込 削除 テンプレート名: 共通 登録

<input type="checkbox"/> 発生日*	経費内容*	組織	プロジェクト
経費区分*	支払先	金額*	

申請 一時保存

申請書に任意のメッセージを表示する方法

申請書に任意のメッセージを表示する方法

本項では、Kaiden!の申請書に任意のメッセージを表示する方法を説明します。
任意のメッセージを表示する場合、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットの入ポート

申請書に任意のメッセージを表示する場合、以下のガジェットの入ポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
appExtentionText_v01.xml	メッセージ表示

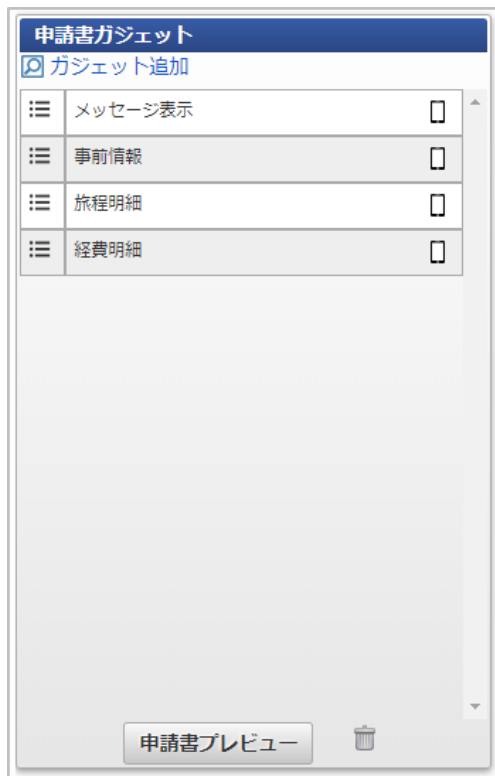
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「メッセージ表示」を選択し、拡張テキスト設定を行ってください。
拡張テキストの設定方法は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)「拡張テキスト設定」を参照してください。



申請書に任意のメッセージを表示

任意のメッセージを設定している申請書を開きます。

1. コンテンツ定義作成時に「メッセージ表示」ガジェットを配置した位置に任意のメッセージが表示されます。

案件名を入力してください。 2020/02/19

申請会社	サンプル会社	申請組織	
申請者(代理申請者)	青柳原巳		

サンプルメッセージ (中央揃え)

サンプルメッセージ (左揃え)

サンプルメッセージ (右揃え)

旅程明細

テンプレート 読込 削除 | テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/> 日付*	利用区画*	組織	補足
経費区分*	支払先	金額*	プロジェクト
支払分類*			

経費明細

テンプレート 読込 削除 | テンプレート名 共通 登録

<input type="checkbox"/> 発生日*	経費内容*	組織	プロジェクト
経費区分*	支払先	金額*	
支払分類*			

申請 一時保存

BTMサービスと連携する方法

BTMサービス利用実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「BTMサービス」から利用実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「BTMサービス」と連携するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成

- フロー定義の作成
- 「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」との連携手順

ガジェットのリポート

「BTMサービス」からBTMサービスの利用実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)	
routeDetail_v10.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易, 連携)	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」から利用実績データを取得する方法は、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

BTMサービスの利用実績データを取消明細で選択して申請した場合、BTMサービスデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されま

す。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「BTMサービス」から利用実績データを取得

ガジェットの入ポート

「BTMサービス」から取得した利用実績データを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索
cancelDetail_v01.xml	取消明細

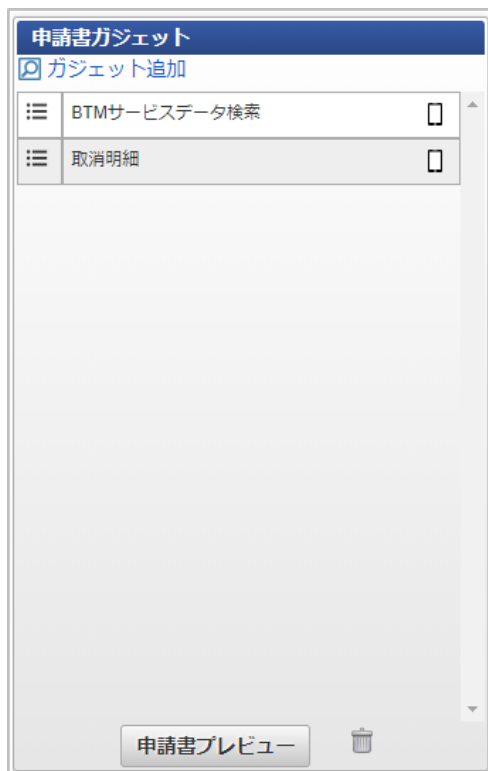
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」から利用実績データを取得する方法は、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

「BTMサービス」から取得した利用実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

申請書公開設定機能を使用する方法

申請書公開設定機能を使用する方法

本項では、自身が作成した申請書を公開する方法を説明します。

申請書を公開するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
publicApplication_v01.xml	申請書公開設定

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、任意のガジェットと「申請書公開設定」を選択してください。



コラム

「申請書公開設定」ガジェットを含まない申請書は他者に公開できません。

申請書コピーで検索対象となるデータ

以下の条件に一致する申請書が申請書コピーでの検索対象となります。

- 自身が作成した申請書で完了案件となっている申請書
- 自身に公開されている申請書で完了案件となっている申請書

コラム

完了案件には「否認」、「取止め」された申請書も含まれます。

申請書紐づけ機能を使用する方法

申請書紐づけ機能を使用してKaiden!の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する

本項では、申請書紐づけ機能を使用して Kaiden! の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する際の方法を説明します。申請書紐づけ機能を使用して決裁事前申請および決裁精算申請を連携するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットの入ポート

申請書紐づけ機能を使用して決裁事前申請および決裁精算申請を連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
decisionAdvance_v01.xml	決裁事前	○
decisionSettle_v01.xml	決裁精算	○

必要に応じてガジェットを追加してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

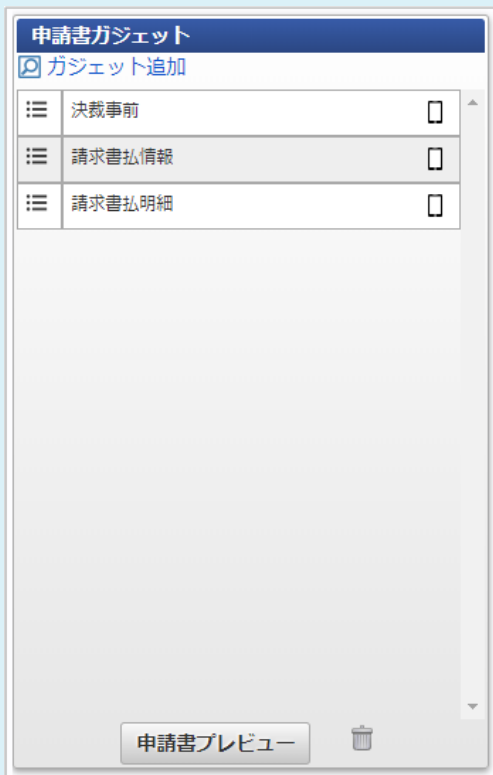
コンテンツ定義の作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. 決裁事前申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「決裁事前ガジェット」を選択してください。




コラム

利用ガジェット設定で任意の明細を選択することで、決裁金額に明細の合計金額を設定することも可能です。



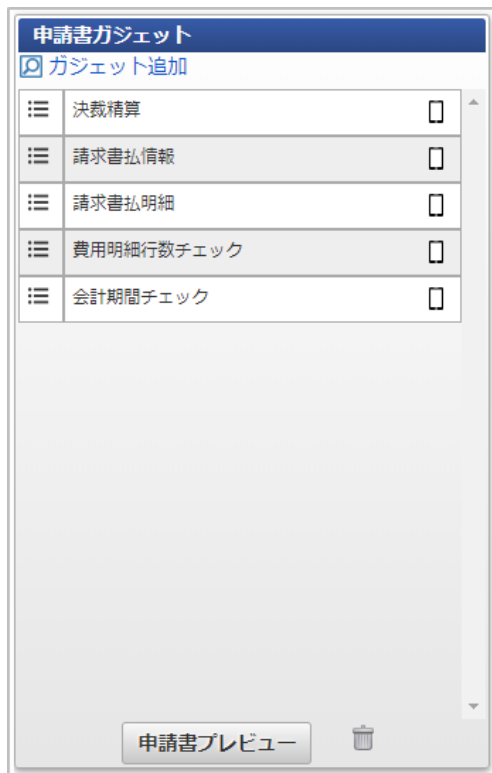
申請書ガジェット	
ガジェット追加	
☰ 決裁事前	<input type="checkbox"/>
☰ 請求書払情報	<input type="checkbox"/>
☰ 請求書払明細	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー 


注意

決裁事前申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、申請書タイプを「一般」で作成する必要があります。

- 決裁精算申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「決裁精算ガジェット」と「請求書払情報ガジェット」、「請求書払明細ガジェット」を選択してください。



申請書ガジェット	
ガジェット追加	
☰ 決裁精算	<input type="checkbox"/>
☰ 請求書払情報	<input type="checkbox"/>
☰ 請求書払明細	<input type="checkbox"/>
☰ 費用明細行数チェック	<input type="checkbox"/>
☰ 会計期間チェック	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー 

注意

決裁精算申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、申請書タイプを「請求書払申請書(仕訳対象)」で作成する必要があります。

フォーム付きPDFを添付して申請する方法

本項では、フォーム付きPDFを添付して申請する方法を説明します。

「Acrobat DC Pro」等のPDF編集ソフトを使用して、Word、Excel等をPDFに変換し、入力可能なフォームをPDFに付与することができます。

上記で作成したフォーム付きPDFを「フォーム付きPDF」ガジェットに添付して申請可能です。

フォーム付きPDFを添付可能な申請書を作成するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
pdf_v01.xml	フォーム付 PDF

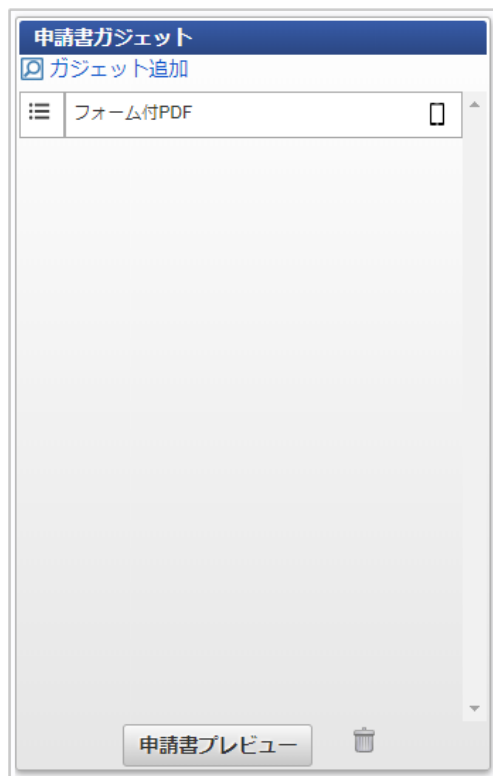
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「フォーム付PDF」を選択してください。



出力ファイルの定義

本項では、フォーム付きPDFを使用した申請書の案件完了時に出力されるファイルの定義を説明します。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- 出力先

設定ファイルの設定により変化します。

以下は初期値の出力先です。

ディレクトリ kaiden/export/{contentsId}/

ファイル名 form_data.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{contentsId} : コンテンツID

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	申請権限者コード	applyAuthUserCd	
4	フォームデータ	json	

Racco連携モジュールの操作

概要

本項では、Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際の概要を説明します。
Racco連携モジュールを使用すると、Kaiden!事前申請時に「Racco」で宿泊手配を実施し、
取得した宿泊実績データでKaiden!の精算を実施できます。

「Racco」と連携するためには、「Racco」の利用契約が必要です。

「Racco」は、出張予約・管理サービスです。

詳細は「Racco」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Racco連携モジュール
「Racco」との連携機能を提供します。
- Racco
出張予約・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

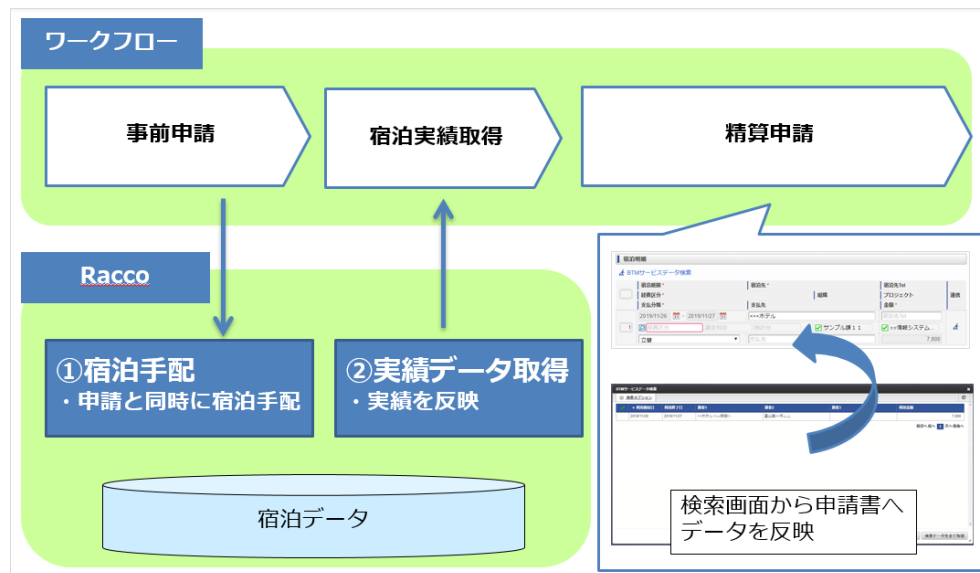
「Racco」から宿泊実績データを取得する機能はRacco連携モジュールに含まれています。

ワークフローを使用して、事前申請・精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	Racco連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「Racco」の宿泊予約サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

Racco契約マスタ

本項では、Racco契約マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

Racco契約マスタは、連携する「Racco」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

Racco契約

契約システムID*	sample
契約企業コード*	sample
契約企業名*	日本語 サンプル 英語 sample 中国語 (中華人民共和国) 样例
Basic認証ID(日次)*	xxxxxxxxxx
Basic認証パスワード(日次)*	*****
Basic認証ID(月次)*	xxxxxxxxxx
Basic認証パスワード(月次)*	*****
宿泊手配SSOURL*	https://xxxxxxxxxx
実績CSV取得URL*	https://xxxxxxxxxx
暗号化キー*	*****
初期化ベクタ*	**
提携チャネルコード*	xxxxxxxxxx
精算単位*	一括精算
担当者所属会社*	サンプル会社
担当者*	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳 京巳
備考	

登録 一覧に戻る

- 契約システムID
「Racco」に登録しているシステムIDを入力します。
- 契約企業コード
「Racco」に登録している企業コードを入力します。
- 契約企業名
契約企業名をロケール別に入力します。
- Basic認証ID(日次)
「Racco宿泊実績データ取得」で使用する、「Racco」へ接続する認証ID(日次データ取得用)を入力します。
- Basic認証パスワード(日次)
「Racco宿泊実績データ取得」で使用する、「Racco」へ接続する認証パスワード(日次データ取得用)を入力します。
- Basic認証ID(月次)
「Racco宿泊実績データ取得」で使用する、「Racco」へ接続する認証ID(月次データ取得用)を入力します。
- Basic認証パスワード(月次)
「Racco宿泊実績データ取得」で使用する、「Racco」へ接続する認証パスワード(月次データ取得用)を入力します。
- 宿泊手配SSOURL
「Racco」へシングルサインオンする際のURLを入力します。
- 実績CSV取得URL
「Racco宿泊実績データ取得」で使用する、「Racco」からデータを取得するURLを入力します。
- 暗号化キー
「Racco」へ接続する際使用する暗号化キーを入力します。
- 初期化ベクタ
「Racco」へ接続する際使用する初期化ベクタを入力します。
- 提携チャネルコード
「Racco」に登録している提携チャネルコードを入力します。
- 精算単位
精算単位を選択します。
運用途中で変更しないでください。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。

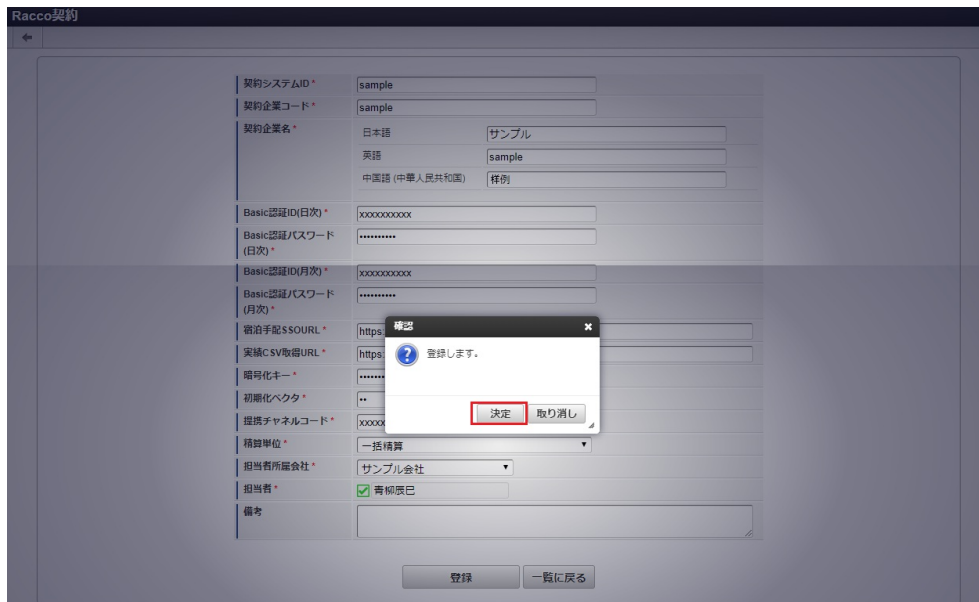
コラム

「Racco宿泊実績データ取得」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

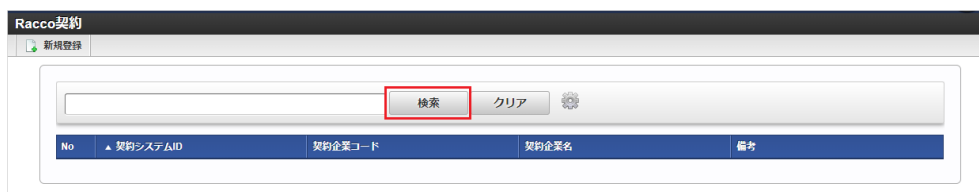


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいRacco契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約システムID
- 契約企業コード
- 契約企業名
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'Racco契約' (Racco Contract) management interface. It features a form with the following fields and values:

- 契約システムID: sample
- 契約企業コード: sample
- 契約企業名: 日本語 (サンプル), 英語 (sample), 中国語 (中華人民共和国) (様例)
- Basic認証ID(日次): xxxxxxxxxxxx
- Basic認証パスワード(日次):
- Basic認証ID(月次): xxxxxxxxxxxx
- Basic認証パスワード(月次):
- 宿泊手配SSOURL: https://xxxxxxxxxxxx
- 実績CSV取得URL: https://xxxxxxxxxxxx
- 暗号化キー:
- 初期化ベクタ: ..
- 提携チャネルコード: xxxxxxxxxxxx
- 精算単位: 一括精算
- 担当者所属会社: サンプル会社
- 担当者: 青柳 崇巳
- 備考: (empty)

At the bottom, there are two buttons: '更新' (Update) and '一覧に戻る' (Return to List). The '更新' button is highlighted with a red box.

次の項目は編集不可項目です。

- 契約システムID
- 契約企業コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

This screenshot shows the same 'Racco契約' form as above, but with a confirmation dialog box overlaid in the center. The dialog box contains the text '更新します。' (Update) and two buttons: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

6. 更新することができました。

The screenshot shows the 'Racco契約' list view. A green notification banner at the top displays '更新しました。' (Updated). Below the banner is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table lists the contract data:

No	契約システムID	契約企業コード	契約企業名	備考
1	sample	sample	サンプル	

At the bottom right, there are navigation links: '最初へ前へ' (Previous), '1' (Current page), and '次へ 最後へ' (Next/Last).

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約システムID	○	10	
2	契約企業コード	○	30	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	契約企業名	○	250	
5	Basic認証ID(日次)	○	100	
6	Basic認証パスワード(日次)	○	100	
7	Basic認証ID(月次)	○	100	
8	Basic認証パスワード(月次)	○	100	
9	宿泊手配シングルサインオンURL	○	1000	
10	実績CSV取得URL	○	1000	
11	暗号化キー	○	100	
12	初期化ベクタ	○	100	
13	提携チャンネルコード	○	100	
14	精算単位	○	100	lump : 一括清算 indv : 個別精算
15	担当者所属会社コード	○	100	
16	担当者	○	100	
17	備考		250	

データサンプル

```
"sample","sample","en","sample","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxx
"sample","sample","ja","サンプル
ル","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample
"sample","sample","zh_CN","[]
品","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/r_travel_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

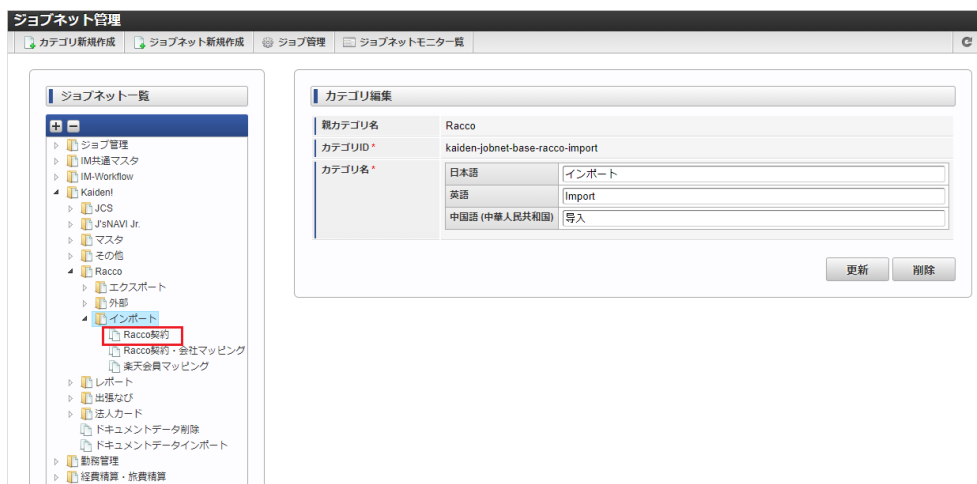
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

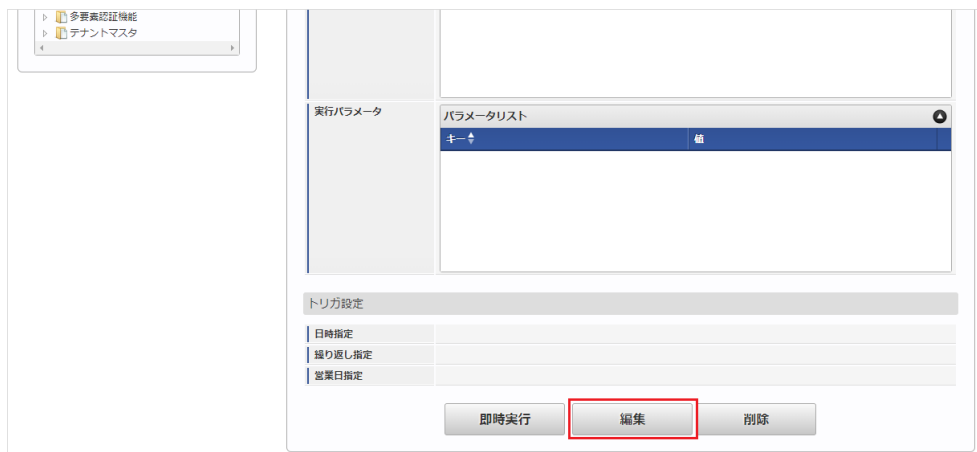
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

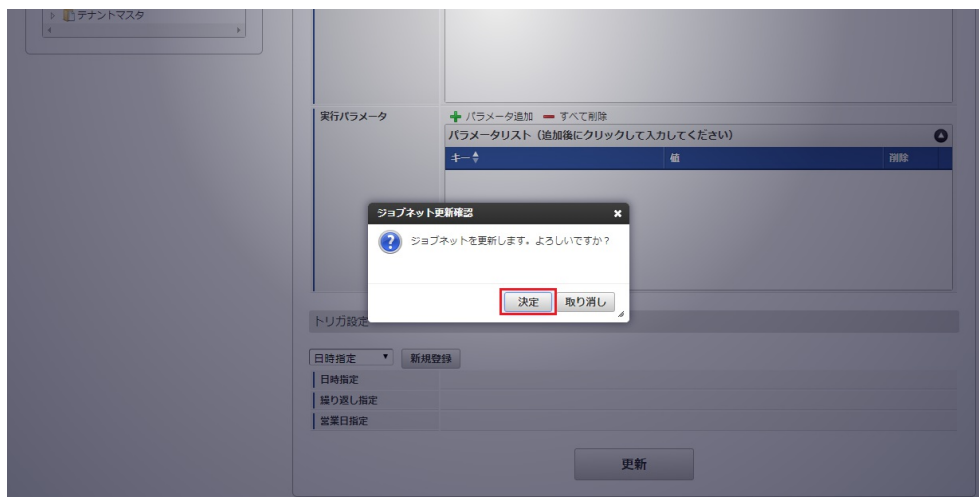
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-01-contract	Kaiden! / Racco / インポート /Racco契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/r_travel_contract/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

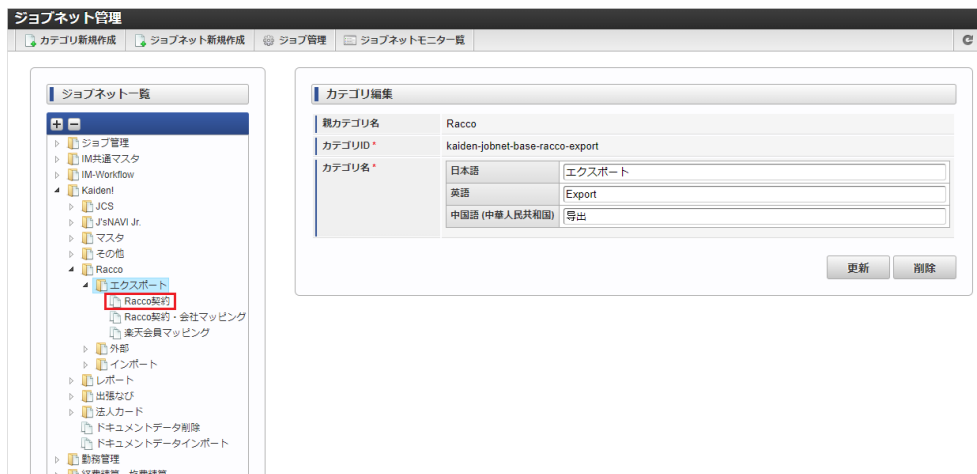
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「Racco契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i **コラム**
 設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
 トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

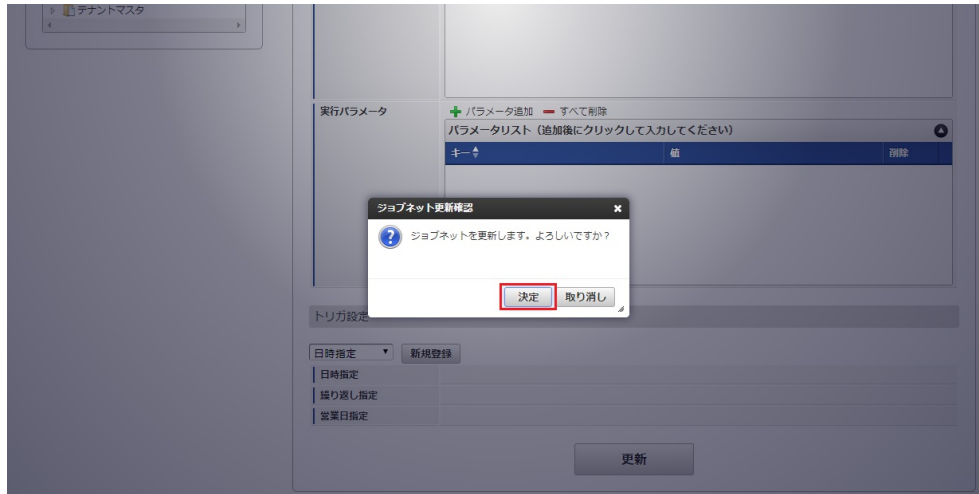
i **コラム**
 複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。
 ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-01-contract	Kaiden! / Racco / エクスポート /Racco契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/r_travel_contract
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名	

basicIdDaily	Basic認証ID(日次)	
basicPasswordDaily	Basic認証パスワード(日次)	
basicIdMonthly	Basic認証ID(月次)	
basicPasswordMonthly	Basic認証パスワード(月次)	
ssoUrl	宿泊手配シングルサインオンURL	
csvGetUrl	実績CSV取得URL	
encryptionKey	暗号化キー	
initializationVector	初期化ベクタ	
partnerChannelCode	提携チャンネルコード	
paymentUnitCd	精算単位	lump : 一括精算 indv : 個別精算
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Racco契約・会社マッピングマスタ

本項では、Racco契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

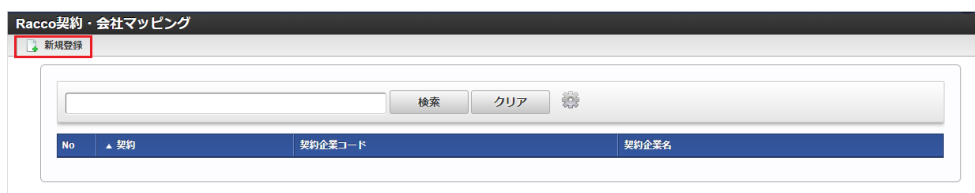
Racco契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録 / 更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
「Racco」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「Racco」に登録済みの契約を選択します。

コラム

「会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	契約	契約企業コード	契約企業名
1	sample	sample	サンプル

更新

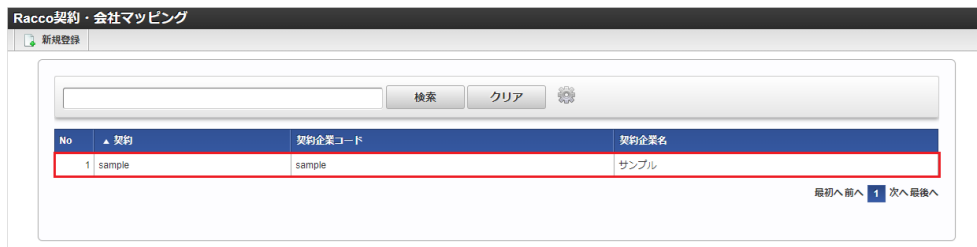
1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「Racco」→「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したいRacco契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名称

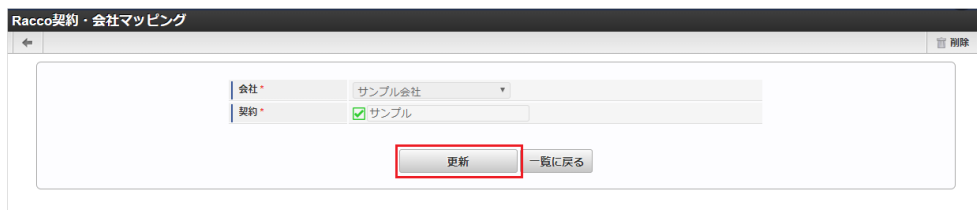
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

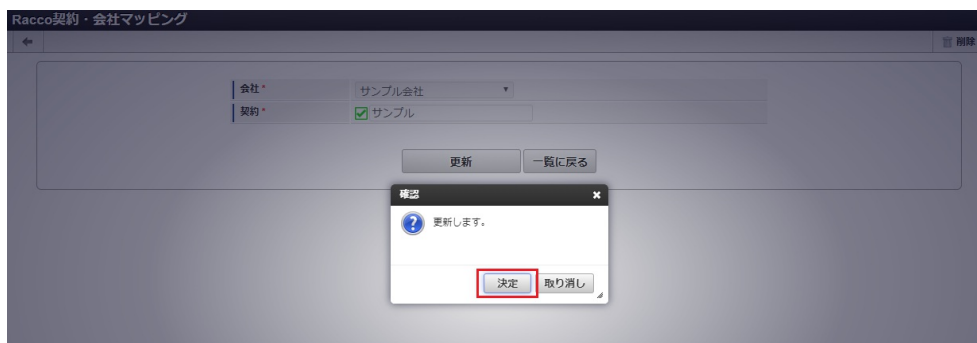
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	契約システムID	○	10	
3	企業コード	○	30	

データサンプル

"comp_sample_01","sample","sample"

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/r_travel_company

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

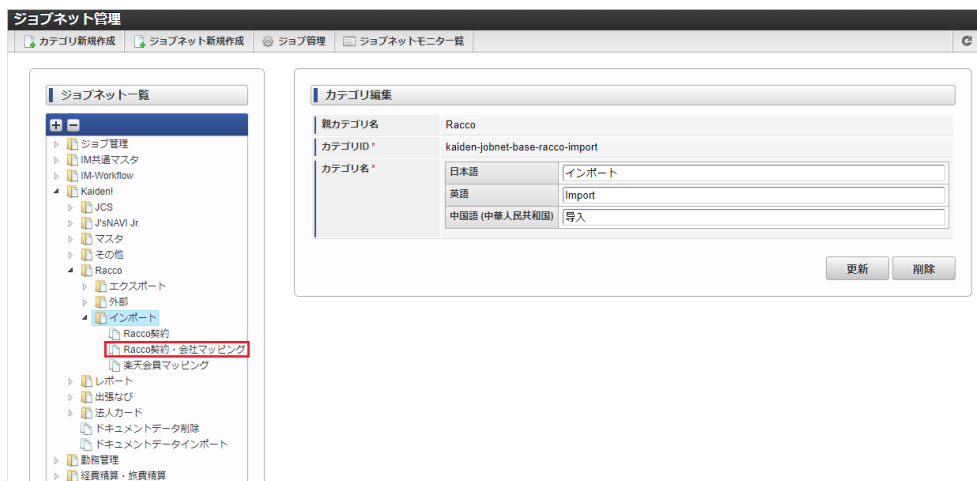
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

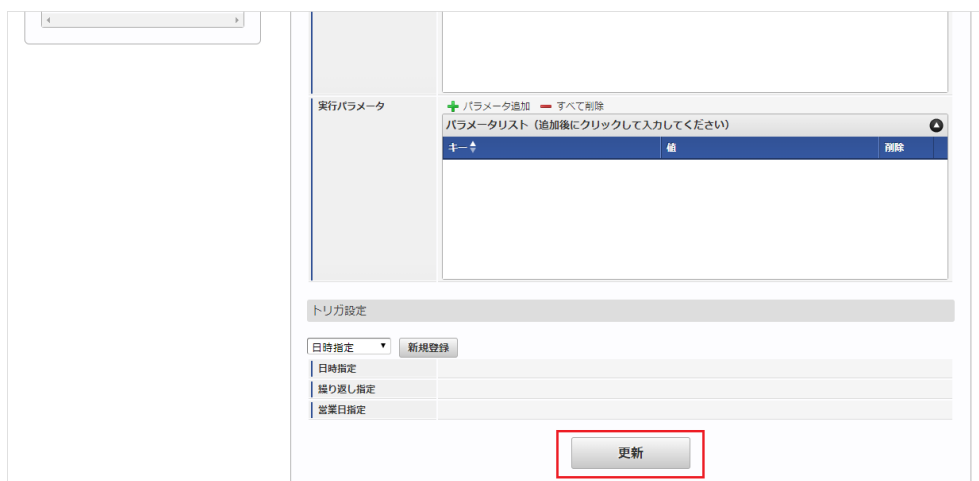
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

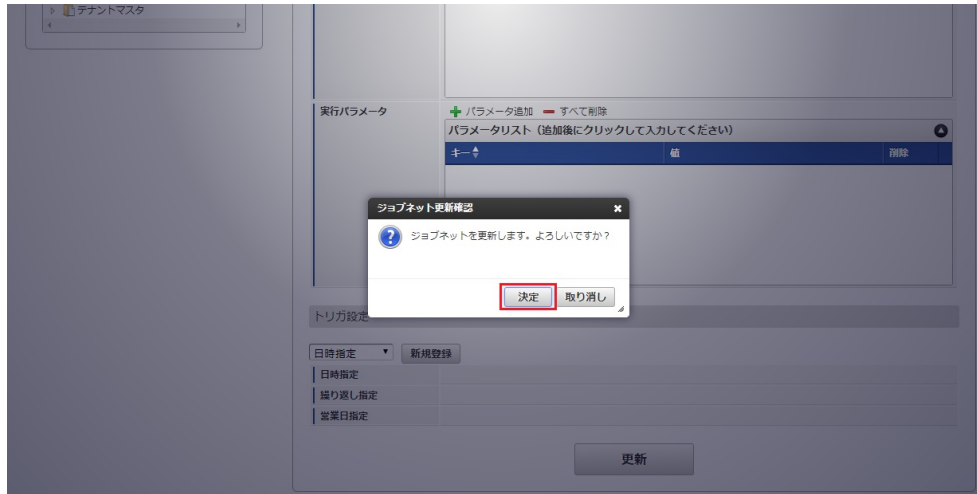
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-02-company	Kaiden! / Racco / インポート /Racco契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/r_travel_company/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

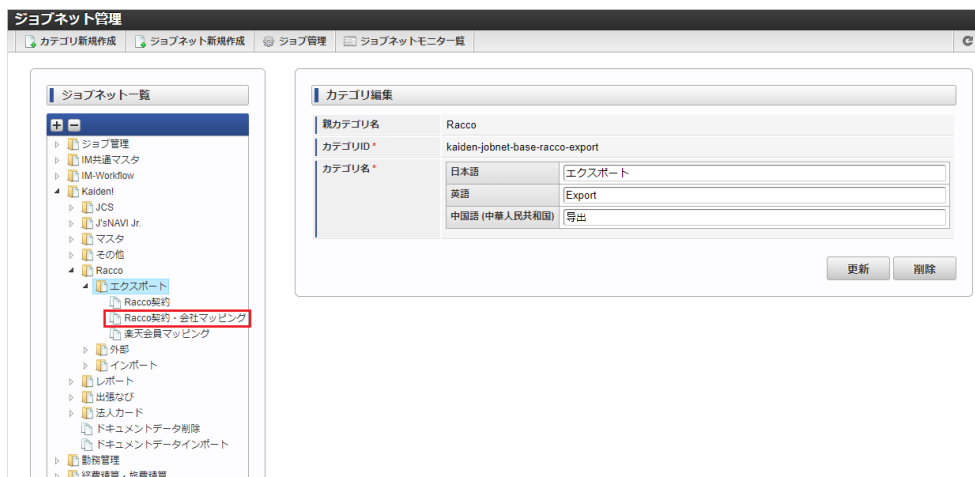
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

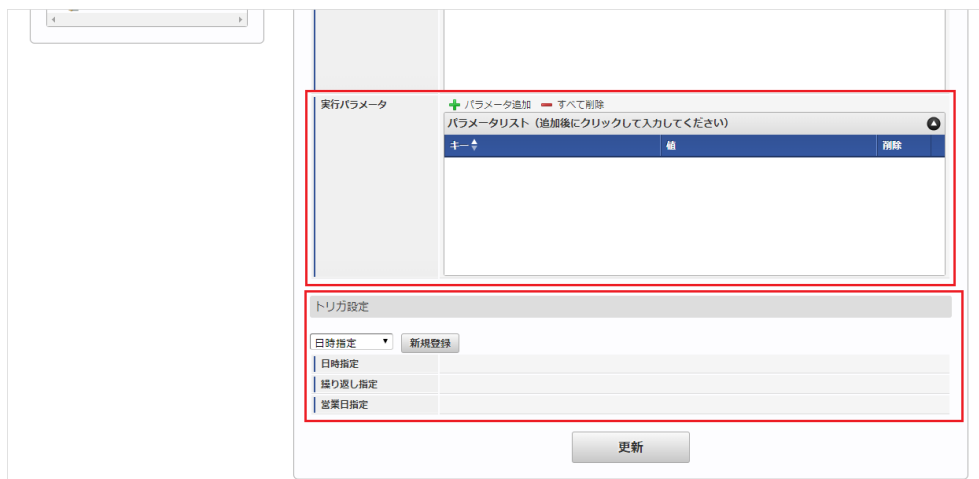
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

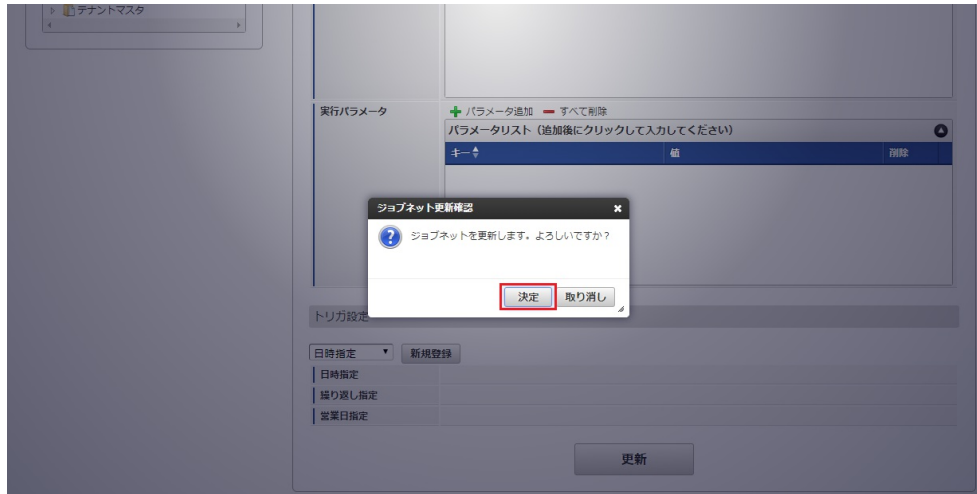
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-02-company	Kaiden! / Racco / エクスポート / Racco契約・会社マッピング

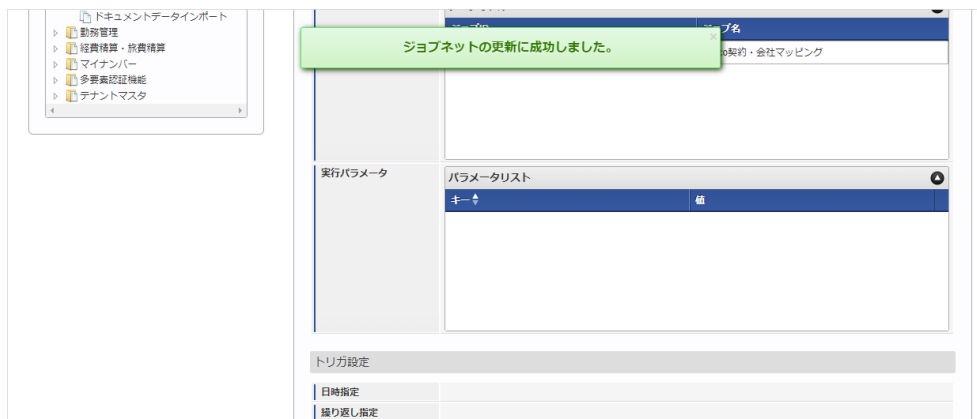
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/r_travel_company/
ファイル名	export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、楽天会員マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

楽天会員マッピングマスタは、「Racco」にシングルサインオンする際使用する「Racco」の契約と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。

「Racco」にシングルサインオンすると、初回ログイン時に「Kaiden!」のユーザと「楽天会員」が紐づけられます。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「楽天会員マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「Racco」との契約を選択します。
- 宿泊規定金額
1円から100,000円の間で設定可能です。

「Racco」へシングルサインオンして予約する場合、
宿泊料金の検索条件の初期値として使用されます。

「Racco」で宿泊規定金額を指定している場合、「Racco」の設定が優先されます。

i コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「楽天会員マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい楽天会員マッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。

3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
5	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
6	契約システムID	○	100	
7	契約企業コード	○	100	
8	宿泊規定金額		6	1から100000を指定してください 1円から100,000円の間で設定可能で す。

データサンプル

```
"aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","sample","sample","100000"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rakuten_user

ファイル名 import.csv

i コラム

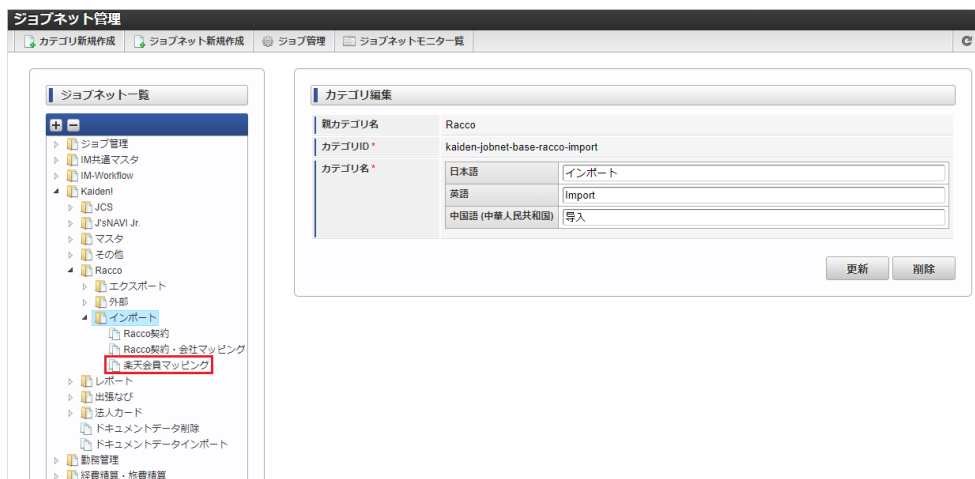
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

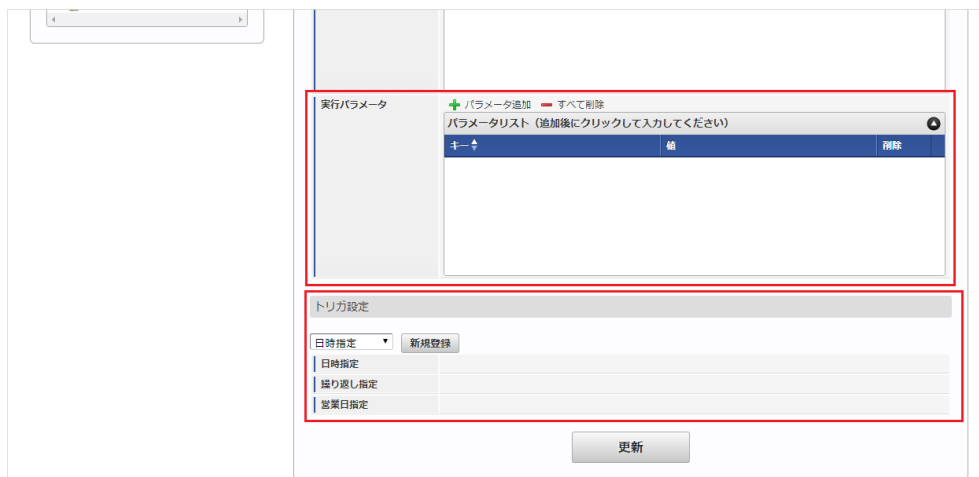
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「楽天会員マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

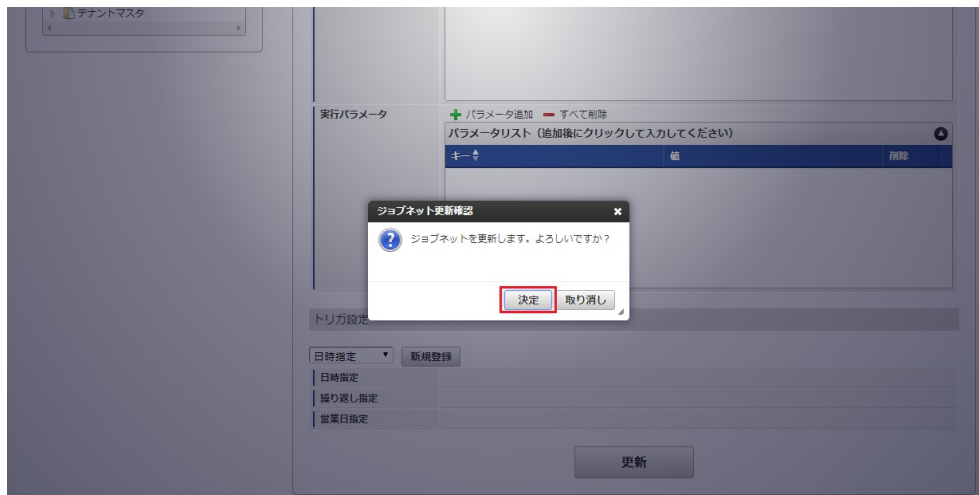
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-03-user	Kaiden! / Racco / インポート / 楽天会員マッピング

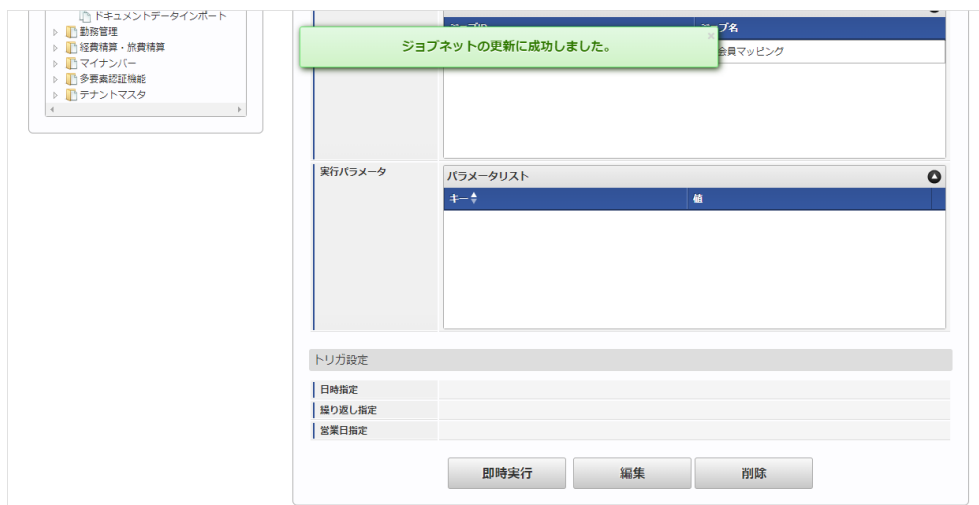
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

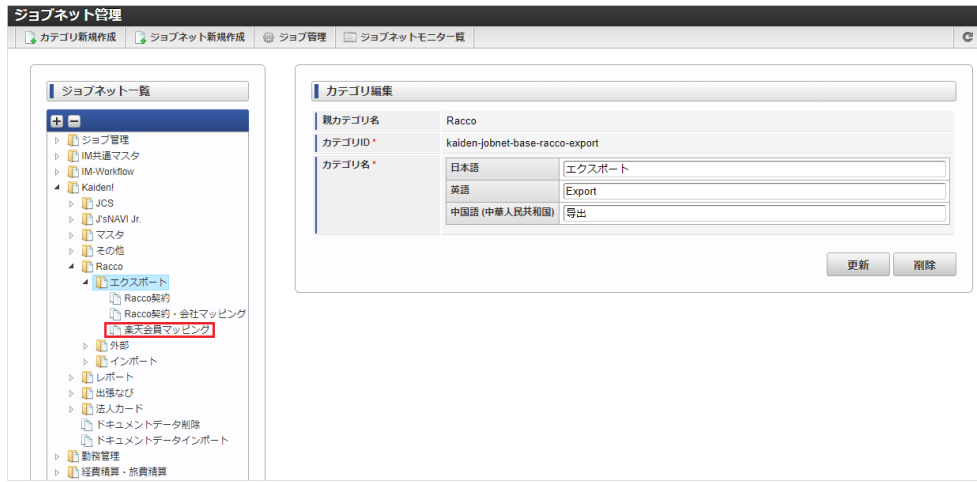
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「楽天会員マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

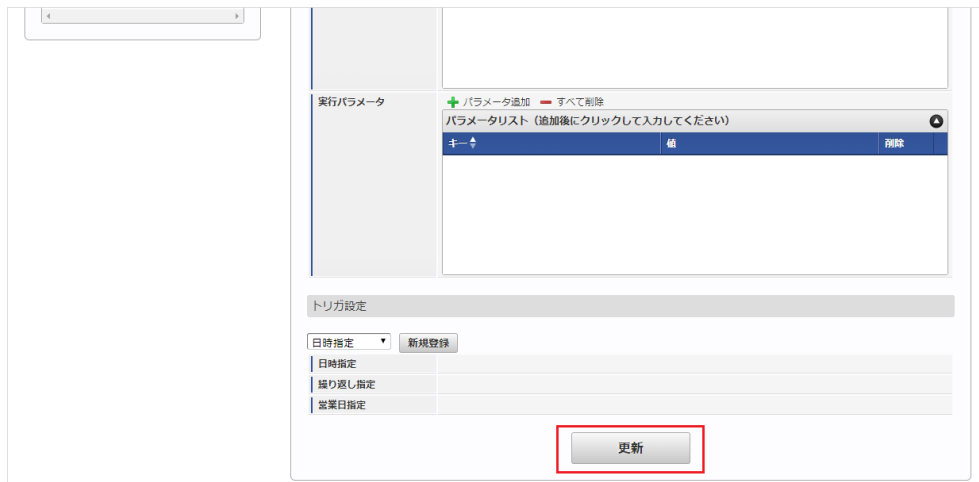
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

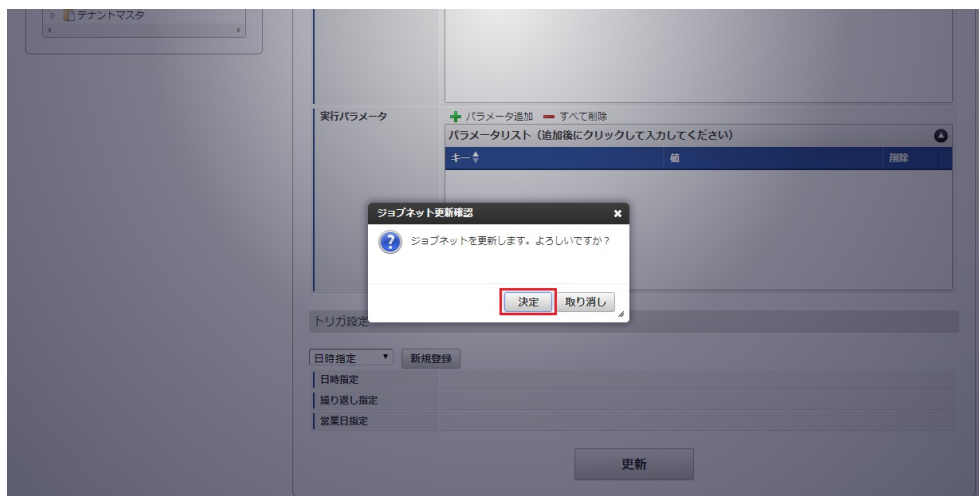
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-03-user	Kaiden! / Racco / エクスポート / 楽天会員マッピング

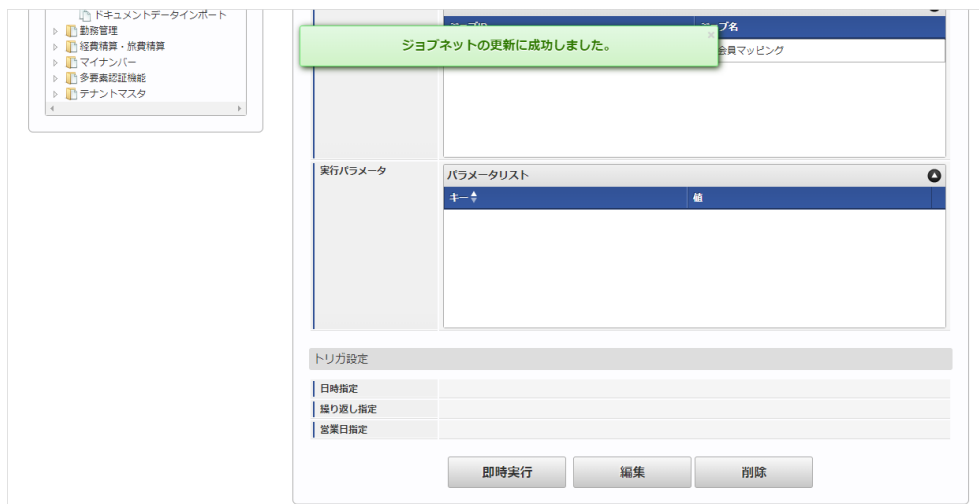
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rakuten_user/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	契約企業コード	
accommodationAmount	宿泊規定金額	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

Raccoへのシングルサインオン

本項では、Raccoへのシングルサインオン方法を説明します。

- 概要
- シングルサインオン

概要

RaccoへKaiden!からシングルサインオンする方法は以下2種類あります。

- Raccoシングルサインオン機能からアクセス
- 宿泊手配(Racco連携)ガジェットを含む申請書からアクセス

本項では、Raccoシングルサインオン機能からアクセスする方法について説明します。

Raccoシングルサインオン機能を使用する場合、Kaiden!の事前申請と紐づけることはできません。

宿泊手配(Racco連携)ガジェットについては、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照ください。

シングルサインオン

Raccoシングルサインオン機能の使用方法を説明します。

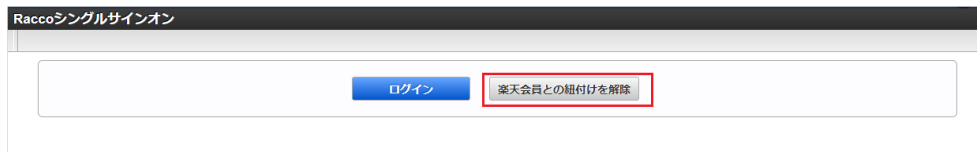
- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Raccoシングルサインオン」をクリックします。



- 「ログイン」ボタンをクリックすると、「Racco」にシングルサインオンします。



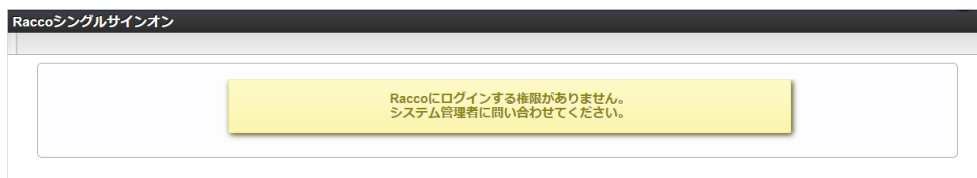
3. 「楽天会員との紐付けを解除」ボタンをクリックすると、ログインユーザと楽天会員の紐付けを解除します。



注意

従業員が退職する際は、ユーザと楽天会員の紐付けを解除してください。
紐付けを解除せずに、同じユーザコードの別のユーザがKaiden!からRaccoにシングルサインオンすると、退職済みのユーザとしてRaccoにログインします。

4. 楽天会員マッピングマスタに登録がないユーザでRaccoシングルサインオン機能にアクセスすると、以下のメッセージが表示され、ログインボタンは表示されません。



5. 以下メッセージが表示される場合、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』を参照して設定ファイルを変更してください。



6. 初期設定の場合、「楽天会員との紐付けを解除」ボタンのみ表示され、出張手配はできません。
Raccoシングルサインオン機能を使用して出張手配する場合、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』を参照して設定ファイルを変更してください。



Racco宿泊実績データ取得

本項では、「Racco」から宿泊実績データを取得／登録する方法を説明します。

- [概要](#)
- [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [取得データ](#)

概要

Racco宿泊実績データ取得は、指定された[Racco契約マスタ](#)の情報に基づき「Racco」に接続し、宿泊実績データを取得します。

[Racco契約マスタ](#)の「実績CSV取得URL」を使用して「Racco」と通信します。

ジョブ実行日時点で有効なユーザが[楽天会員マッピングマスタ](#)に登録されていない場合、[Racco契約マスタ](#)の「担当者所属会社」、「担当者」を利用会社、利用者に設定します。

Racco宿泊実績データ取得後、Racco宿泊実績データ登録ジョブを実行して取得したデータを登録します。

登録したデータは[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で参照可能です。

i コラム

実績取得モードを「corp-daily」に設定し、データ取得開始日・データ取得終了日のパラメータを未指定にして毎日実行すると、前日に連携された宿泊実績を日々取得できます。

また、毎月特定の日にRaccoから月次の宿泊実績が出力されます。

日次と月次の実績に差分が発生する可能性があり、月次のデータが最新となるため、日次と月次両方のデータの取得が必要です。

i コラム

宿泊予約を変更並びにキャンセルした場合、日次のデータを取り込み後、月次のデータを取り込む際に変更が反映される場合があります。変更前のデータが精算済になってから変更後のデータを取り込むと、金額がマイナスのデータが発生する場合があります。

金額がマイナスのデータを精算することはできませんので、ご注意ください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco宿泊実績データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

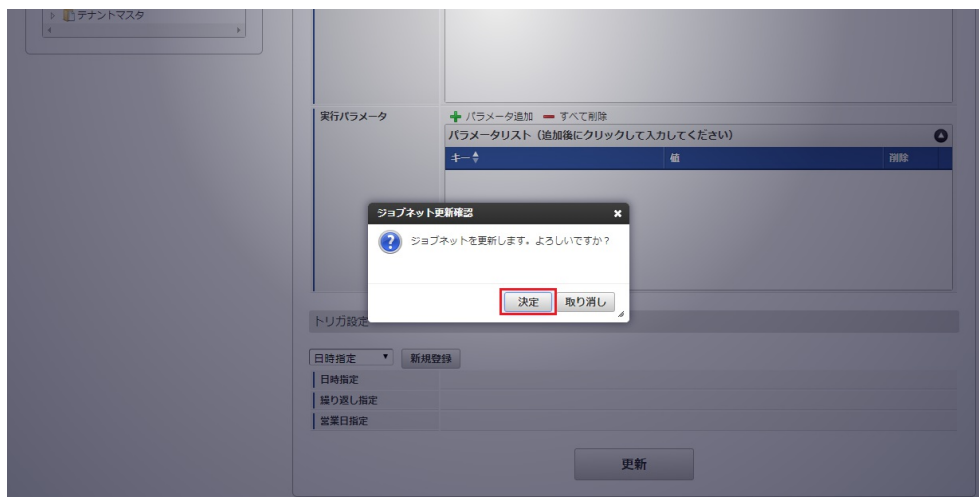
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-external-lodge-data-import	Kaiden! / Racco/ 外部 / Racco宿泊実績データ取得
kaiden-job-base-racco-external-lodge-data-entry	Kaiden! / Racco/ 外部 / Racco宿泊実績データ登録

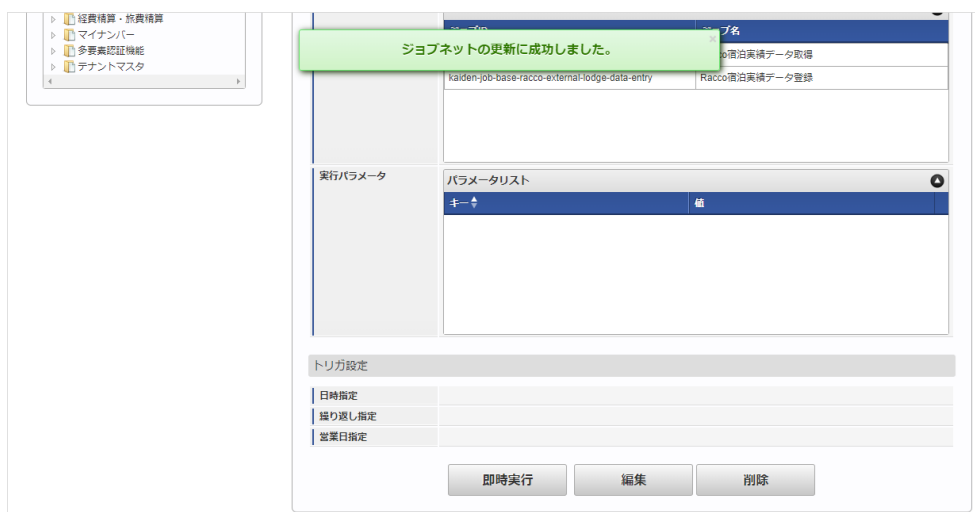
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、*BTMサービス利用実績データメンテナンス*でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
契約システムID	contract_system_id	宿泊実績取得元の <i>Racco契約マスタ</i> で設定した「契約システムID」を設定します。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
会社コード	company_cd	宿泊実績取得元の <i>Racco契約・会社マッピングマスタ</i> で設定した「会社コード」を設定します。 (省略時：契約システムIDに紐づく全会社を対象とします。)
実績取得モード	import_mode	実績の取得モードを設定します。 設定は必須です。 <ul style="list-style-type: none"> ■ corp-daily : 日ごとに出力されたデータを取得します。 ■ corp-monthly : 月ごとに出力されたデータを取得します。

名称	キー	説明 / 設定値
データ取得開始日	import_date_from	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「Racco」から連携されたデータを取得します。 実績取得モードが「corp-daily」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
データ取得終了日	import_date_to	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「Racco」から連携されたデータを取得します。 実績取得モードが「corp-daily」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
データ取得月	import_date_month	取得するデータの月 (yyyyMM) を設定します。 実績取得モードが「corp-monthly」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前月)

取得データ

- 取得データ

取得データが登録される形式です。

「k10t_btm_use_data」に登録されます。

項目名	値	備考
relation_service_id	RAKUTEN(固定値)	
result_id	予約番号	
company_cd	会社コード	IM-共通マスタ(会社)
user_cd	宿泊者ユーザID	IM-共通マスタ(ユーザ)
relation_no	Options 1	予約の連携番号
contract_system_id	契約システムID	
corporate_cd	企業コード	
relation_auth_user_id	宿泊者ユーザID	
relation_exe_user_id	予約者ユーザID	
date1	チェックイン日	
date2	チェックアウト日	
date3	予約日	
date4	キャンセル日	
summary1	宿泊先名称	
summary2	宿泊先住所	
summary3	宿泊先電話番号	
summary4	客室タイプ名称	
summary5	プラン名	
amount1	宿泊金額+キャンセル・不泊料金	精算に使用する金額
amount2	宿泊金額	
amount3	キャンセル・不泊料金	
status1	ステータス	
quantity1	泊数	
quantity2	宿泊人数	
note1	備考1	予約時に入力した値

note2	備考2	予約時に入力した値
note3	備考3	予約時に入力した値

リファレンス

Kaiden!から「Racco」を使用して宿泊手配する方法

本項では、Kaiden!から「Racco」にログインして宿泊手配する方法を説明します。

「Racco」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- Racco関連マスタの設定
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「Racco」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! Racco連携モジュール」 - 「Racco設定」を参照して設定してください。

Racco関連マスタの設定

「Racco」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
Racco契約マスタ	「Racco」との契約情報を管理します。
Racco契約・会社マッピングマスタ	「Racco」との契約と会社を紐付けます。
楽天会員マッピングマスタ	「Racco」との契約とユーザを紐付けます。

ガジェットのエクスポート

「Racco」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのエクスポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義エクスポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v02.xml	宿泊手配 (Racco連携)	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	

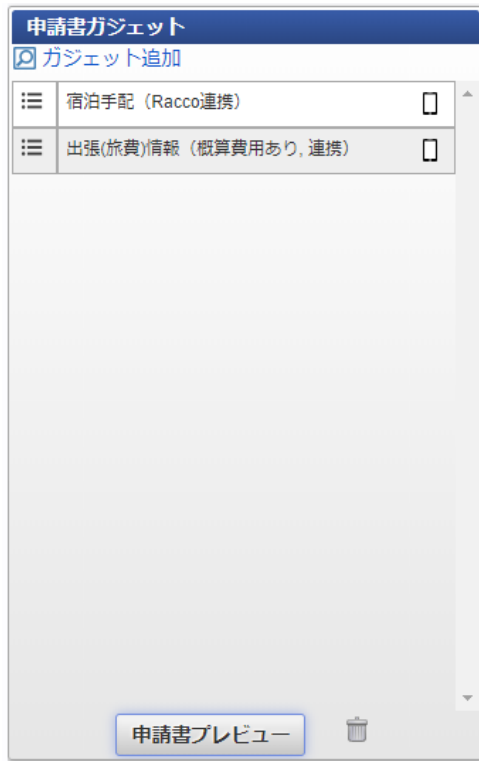
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、エクスポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「宿泊手配 (Racco連携)」を選択してください。



コラム

「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」を選択した場合、出張期間の初期値が「Racco」の検索条件の初期値として渡されます。

宿泊実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「Racco」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「Racco」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- Racco関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「Racco」から宿泊実績データを取得

「Racco」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! Racco連携モジュール」 - 「Racco設定」を参照して設定してください。

Racco関連マスタの設定

「Racco」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
Racco契約マスタ	「Racco」との契約情報を管理します。
Racco契約・会社マッピングマスタ	「Racco」との契約と会社を紐付けます。
楽天会員マッピングマスタ	「Racco」との契約とユーザを紐付けます。

ガジェットのインポート

「Racco」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	

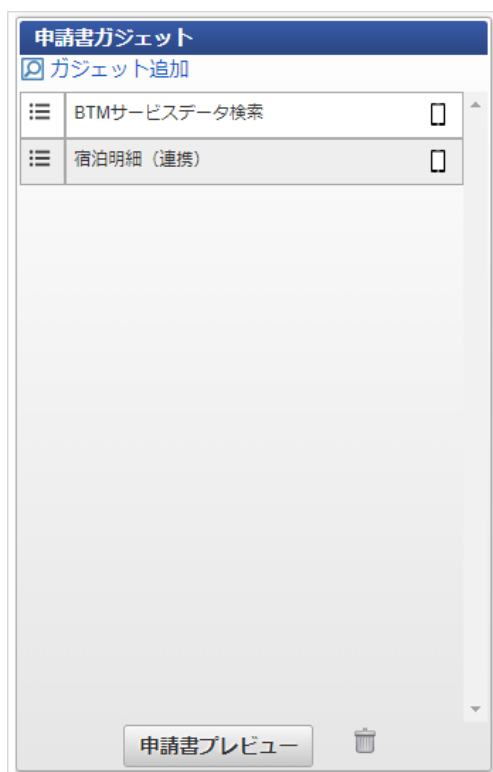
コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。
 検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると
 支払分類を指定した値で反映可能です。
 詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』-「リファレンス」-「インクルードJSP」を参照ください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
 コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
 コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「Racco」から宿泊実績データを取得

「Racco」から出張手配の実績データを取得する場合、[Racco宿泊実績データ取得](#)を実施してください。

「Racco」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「Racco」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「Racco」から取得した宿泊実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。
 該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#) を参照してください。

- BTMサービス利用実績データメンテナンス で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

出張なび連携モジュールの操作

概要

本項では、出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際の概要を説明します。
出張なび連携モジュールを使用すると、出張情報の実績データでKaiden!の精算を実施できます。
「出張なび」と連携するためには、「出張なび」の利用契約が必要です。
「出張なび」は、出張手配・管理サービスです。
詳細は「出張なび」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 出張なび連携モジュール
「出張なび」との連携機能を提供します。
- 出張なび
出張手配・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

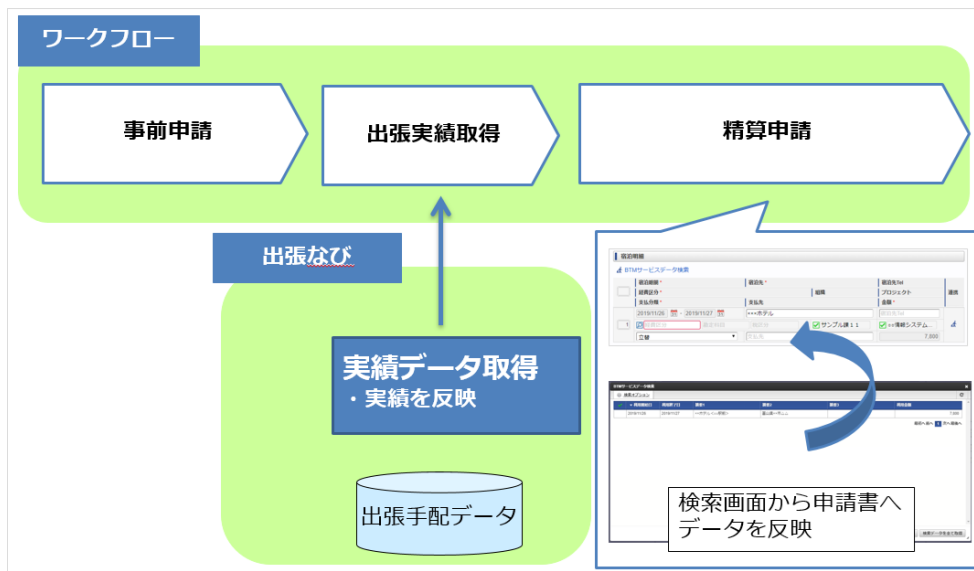
モジュールの選択

出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。
「出張なび」から出張手配の実績データを取得する機能は出張なび連携モジュールに含まれています。
ワークフローを使用して、精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	出張なび連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「出張なび」の出張手配サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

出張なび契約マスタ

本項では、出張なび契約マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

出張なび契約マスタは、連携する「出張なび」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なび契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- **契約企業コード**
「出張なび」に登録している企業コードを入力します。
- **契約企業名**
契約企業名をロケール別に入力します。
- **実績データ連携URL**

「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」からデータを取得するURLを入力します。

- 管理者ユーザID
「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」へ接続する際の管理者権限を持つユーザのユーザIDを入力します。
- 管理者ユーザパスワード
「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」へ接続する際の管理者権限を持つユーザのパスワードを入力します。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。



コラム

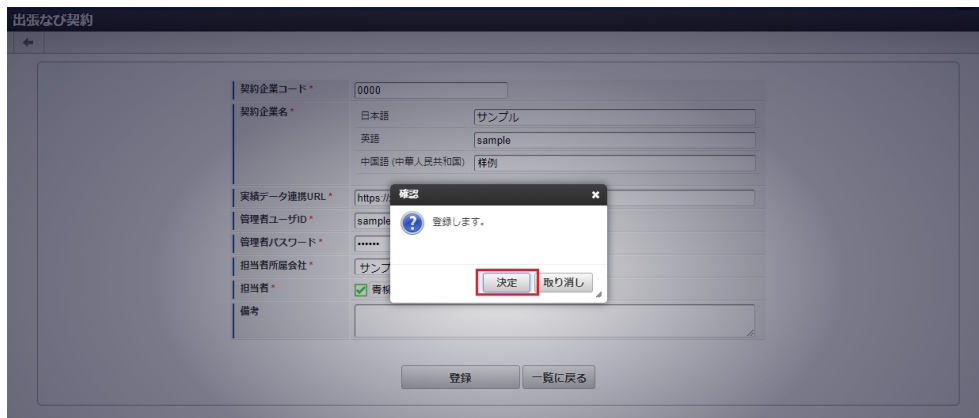
「出張なび実績データインポート」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。



コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なび契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい出張なび契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約企業コード
- 契約企業名
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

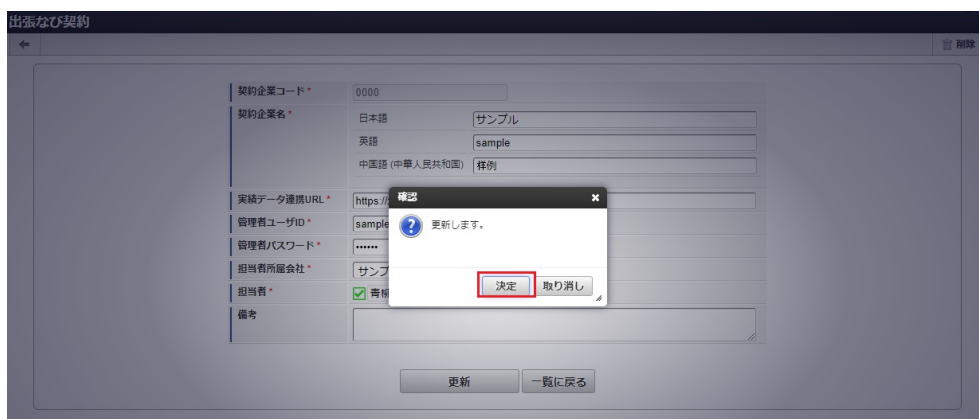
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 契約企業コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	4	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	契約企業名	○	250	
4	実績データ連携URL	○	1000	
5	管理者ユーザID	○	100	
6	管理者パスワード	○	100	
7	担当者所属会社コード	○	100	
8	担当者	○	100	
9	備考		250	

データサンプル

```
"sample","en","sample","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","ja","サンプル","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","zh_CN","品","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
```

 コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

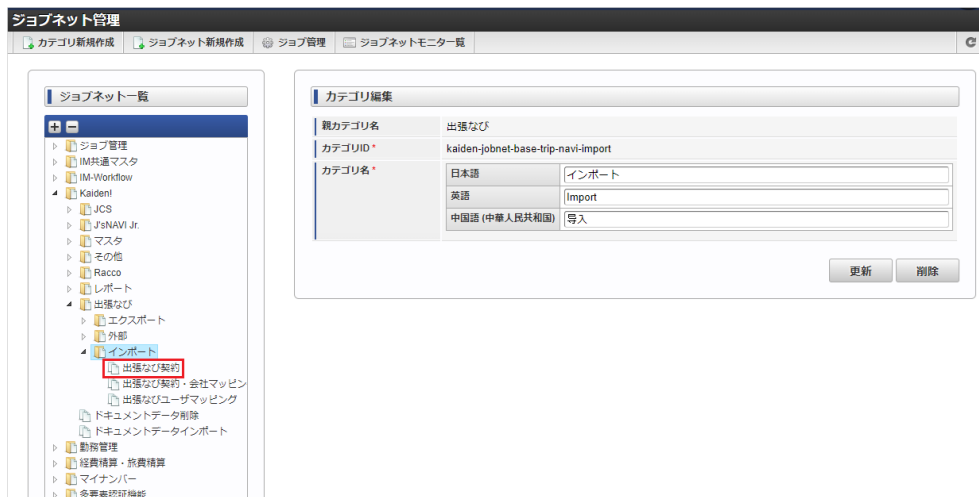
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-import-01- contract	Kaiden! / 出張なび / インポート / 出張なび契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows a web application interface for job settings. At the top, there is a section for '実行パラメータ' (Execution Parameters) with a table for 'パラメータリスト' (Parameter List). Below this is the 'トリガ設定' (Trigger Settings) section, which includes a dropdown for '日時指定' (Date/Time Specification) and a '新規登録' (New Registration) button. At the bottom right of the form, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

This screenshot shows the same interface as the previous one, but with a confirmation dialog box overlaid in the center. The dialog box is titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) and contains the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). At the bottom of the dialog, the '決定' (Confirm) button is highlighted with a red rectangular box, and the '取り消し' (Cancel) button is also visible.

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

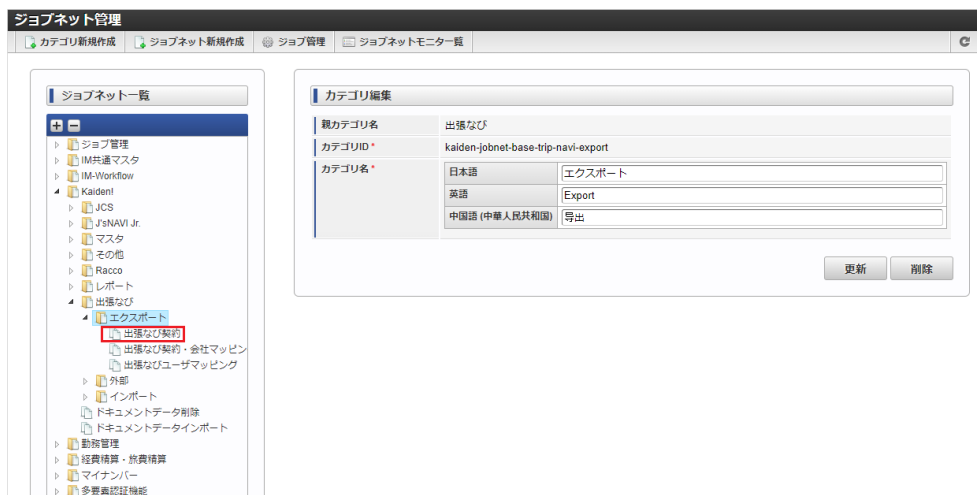
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

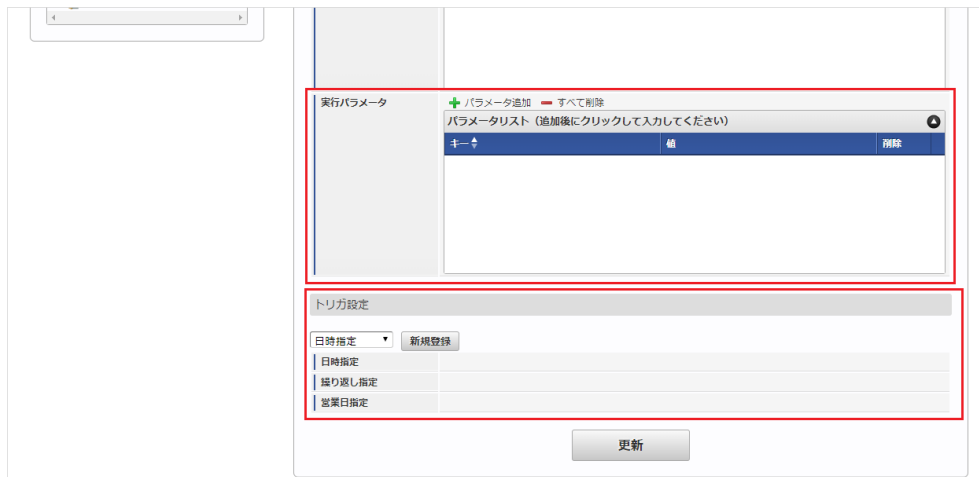
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

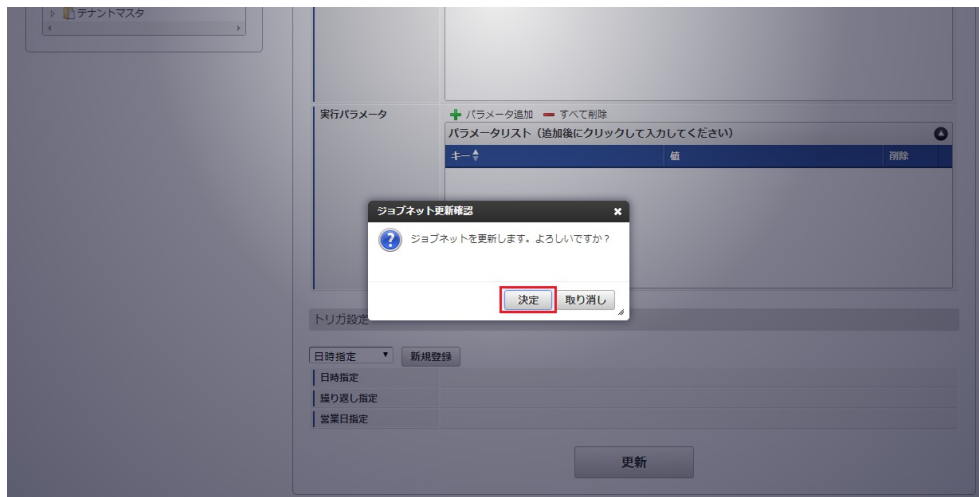
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-export-01-	Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なび契約
contract	

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/trip_navi_contract
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
entpCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名	
resultsGetUrl	実績データ連携URL	

adminUserId	管理者ユーザID
adminUserPassword	管理者パスワード
chargeCompanyCd	担当者所属会社
chargeUserCd	担当者
note	備考

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 全件出力モード ■ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 既存ファイルに追記 ■ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ": ダブルクォーテーション none: 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true: ヘッダー出力有 false: ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張なび契約・会社マッピングマスタ

本項では、出張なび契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張なび契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

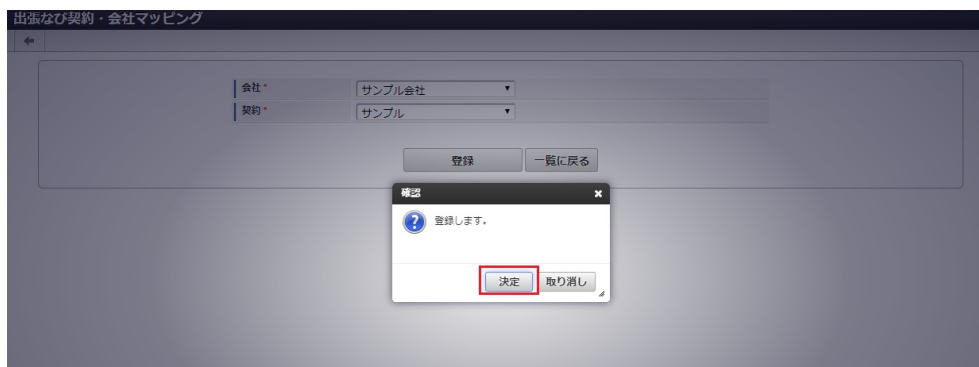
- 会社
「出張なび」の契約と紐付ける会社を選択します。

- 契約
「出張なび」に登録済みの契約を選択します。

コラム

「会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

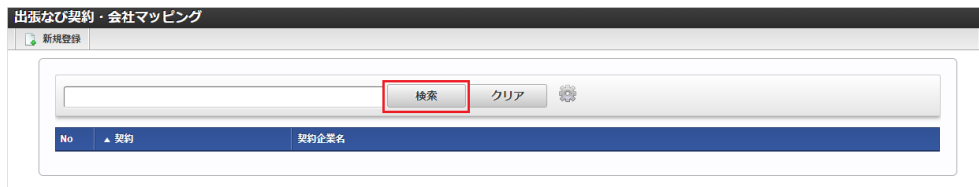


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「出張なび」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい出張なび契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

2. 更新することができました。

No	契約	契約企業名
1	0000	サンプル

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	契約企業コード	○	4	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_company

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。

3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

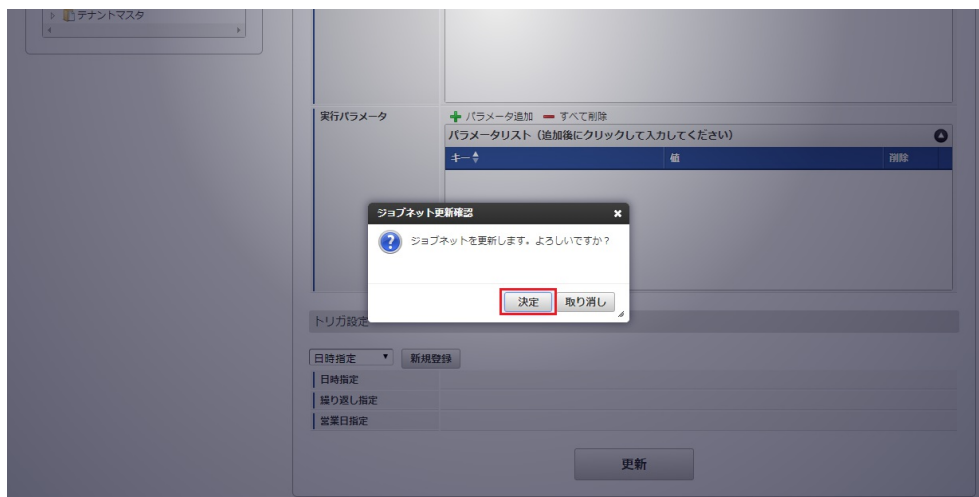
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

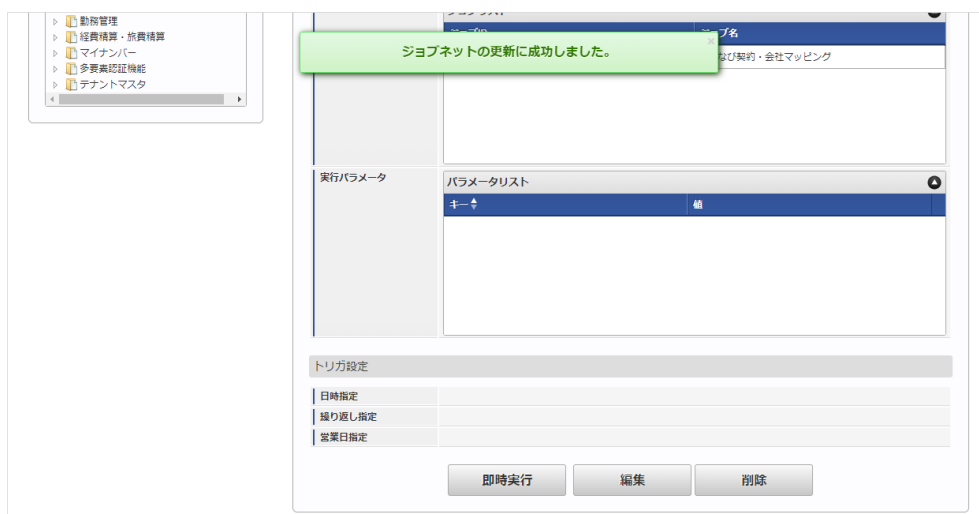
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-02-company	Kaiden! / 出張なび / インポート / 出張なび契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/trip_navi_company/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

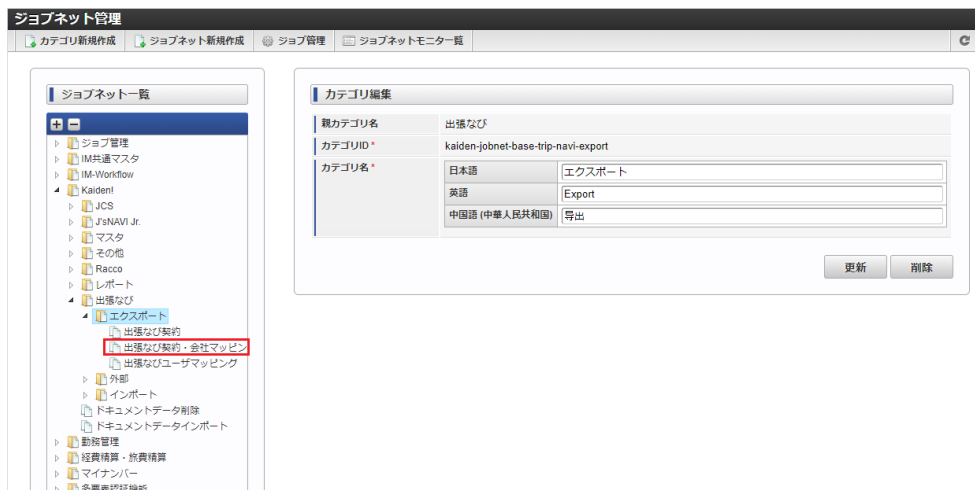
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

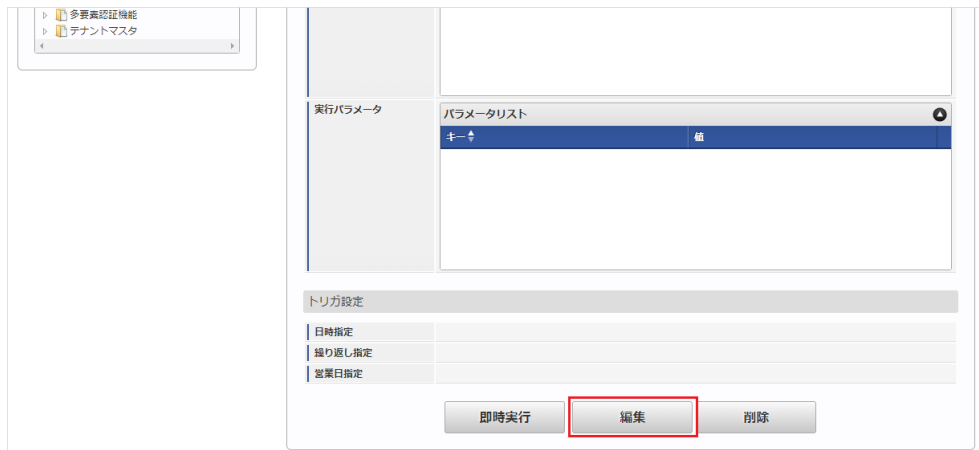
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

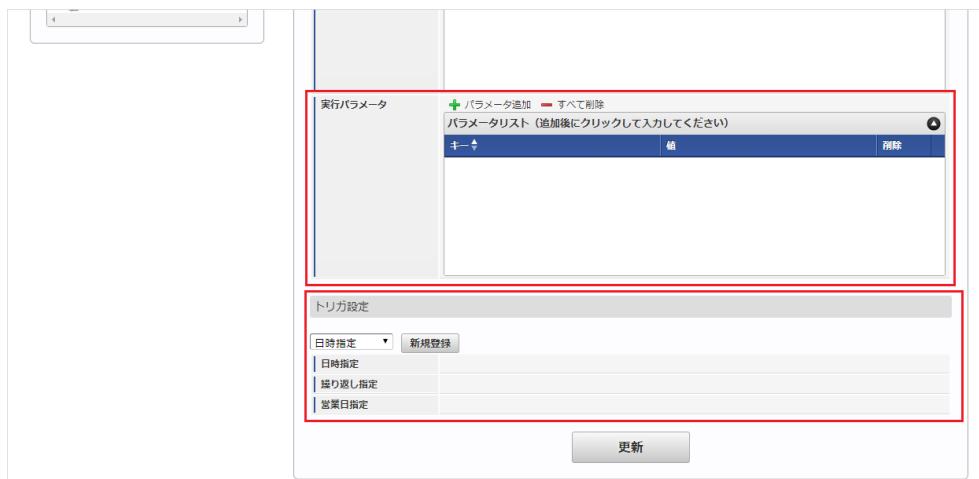
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

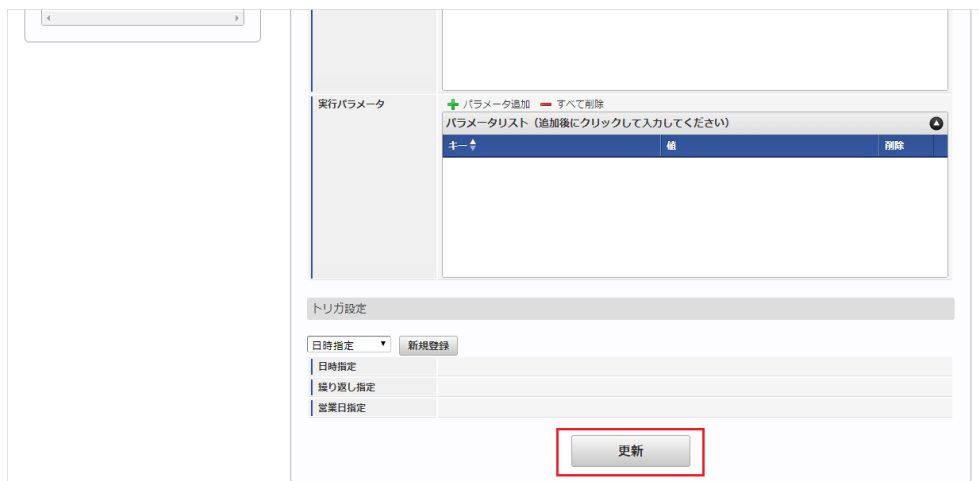
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

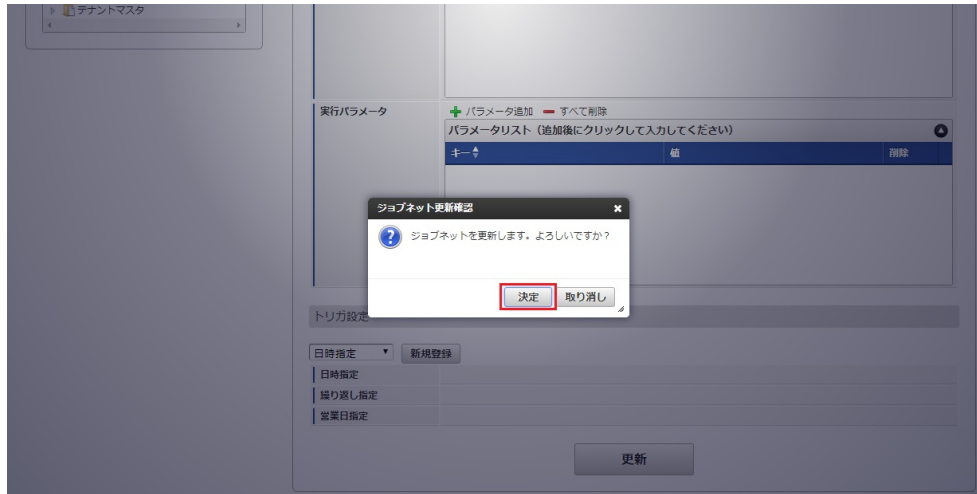
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-02-	Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なび契約・会社マッピング company

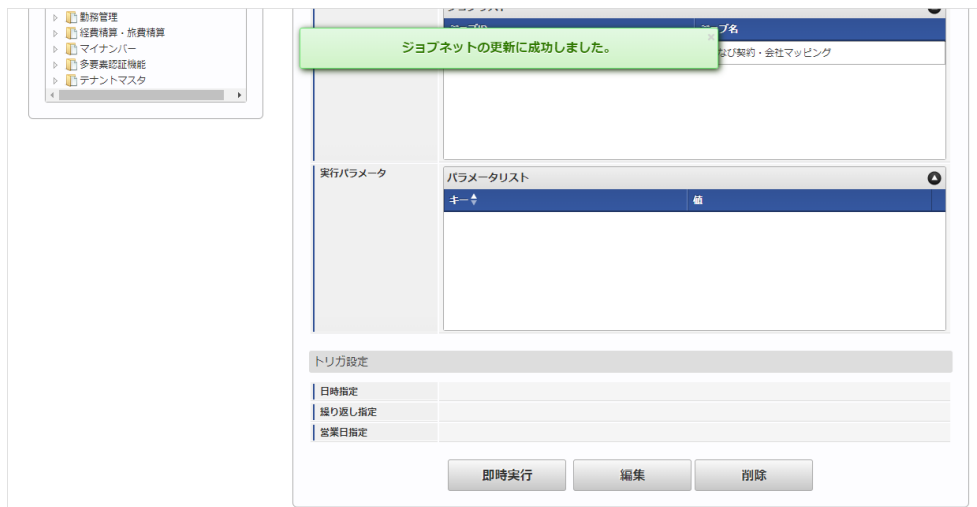
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/trip_navi_company/
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
entpCd	契約企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張なびユーザマッピングマスタ

本項では、出張なびユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張なびユーザマッピングマスタは、「出張なび」から取得する実績データに紐づくユーザと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なびユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

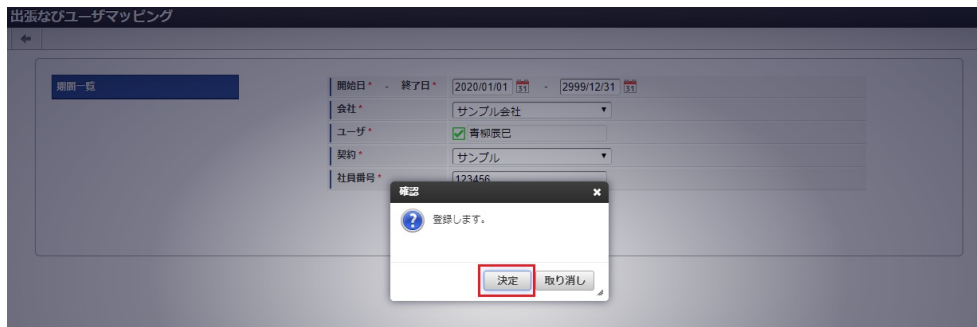
- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「出張なび」との契約を選択します。
- 社員番号
「出張なび」の社員番号を入力します。



コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なびユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい出張なびユーザマッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	ユーザ	ユーザ名	開始日	終了日	契約企業名
1	ayagi	青柳辰巳	2020/01/01	2999/12/31	サンプル

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード

2	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
6	企業コード	○	100	
7	社員番号	○	9	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","sample","123456"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_user

ファイル名 import.csv

コラム

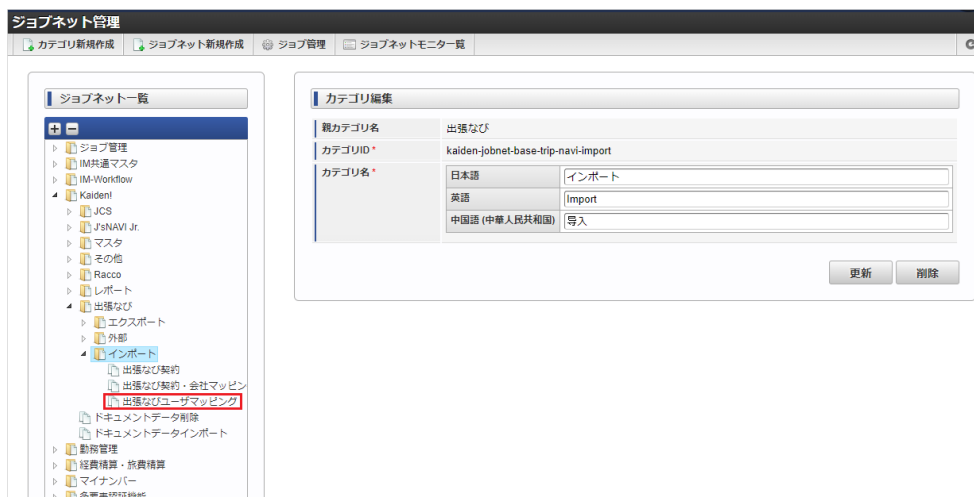
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

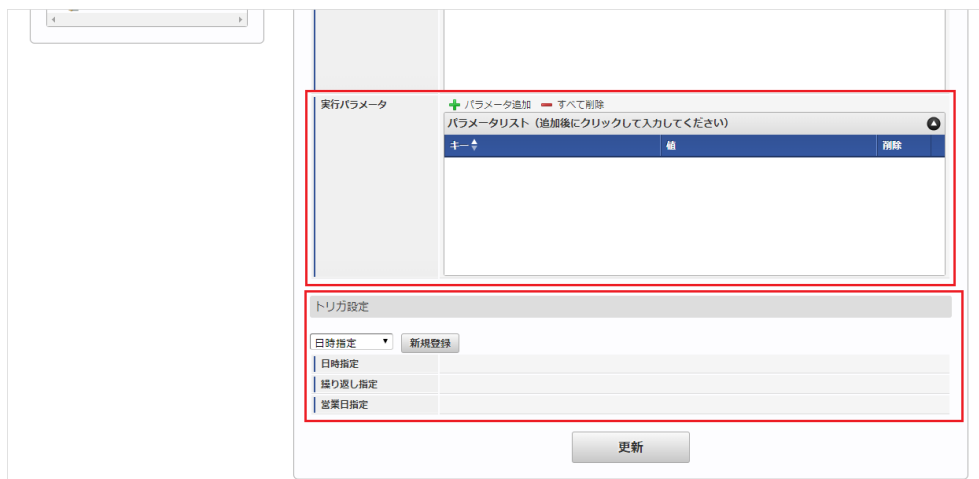
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なびユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

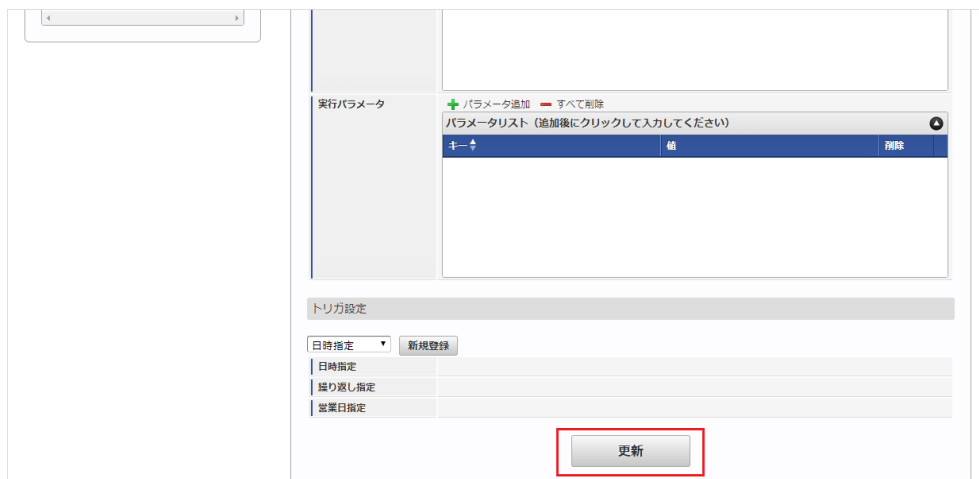
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

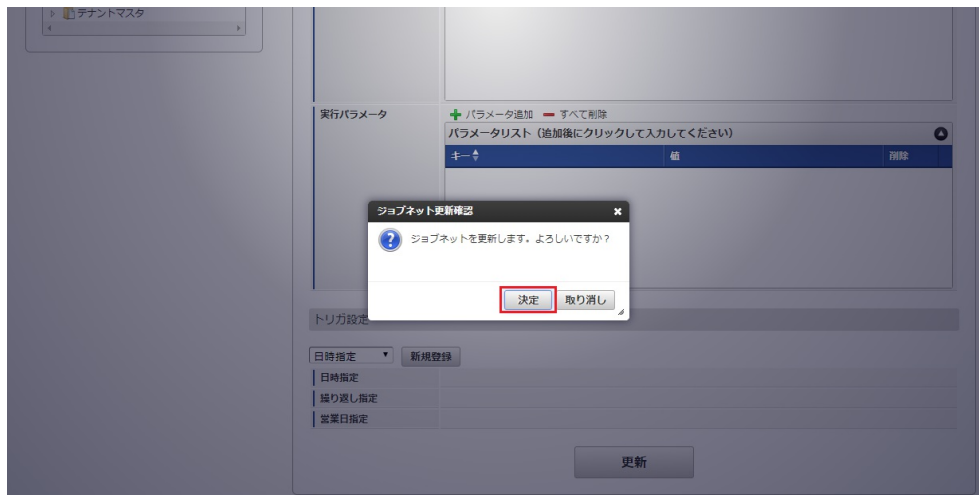
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-import-03-user	Kaiden! / 出張ナビ / インポート / 出張ナビユーザマッピング

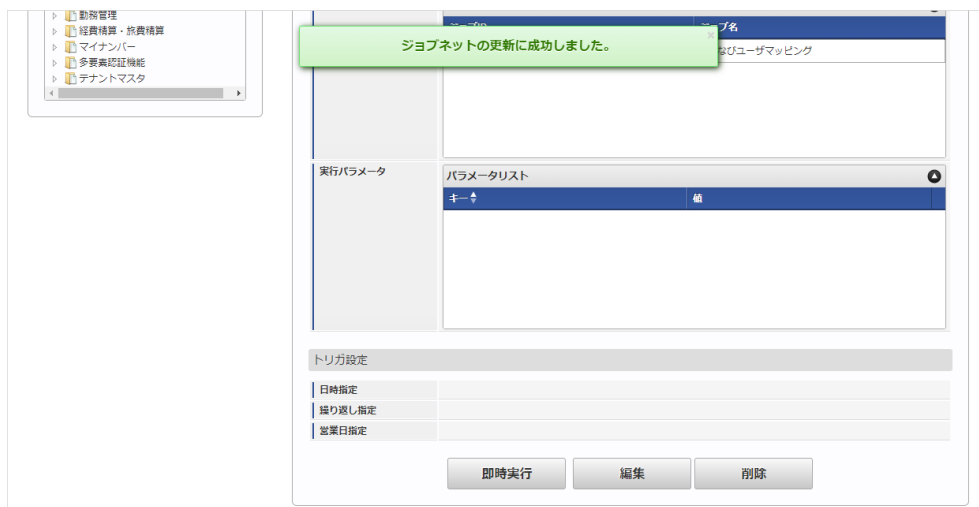
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

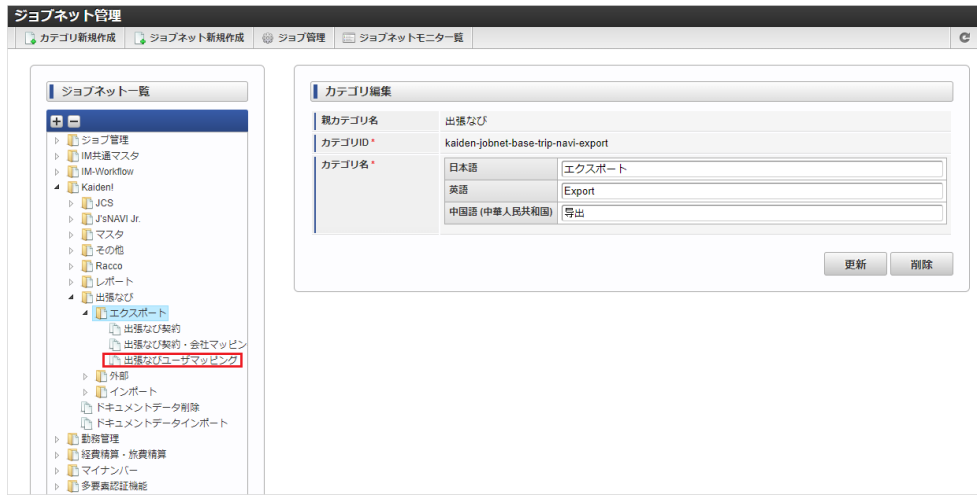
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「出張なびユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-base-trip-navi-export-03-user Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なびユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_user/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
entpCd	企業コード	
empCd	社員番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

出張なび実績データインポート

本項では、「出張なび」から宿泊実績データを取得／登録する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- 取得データ

概要

出張なび実績データインポートは、指定された [出張なび契約マスタ](#) の情報に基づき「出張なび」に接続し、実績データを取得します。

[出張なび契約マスタ](#) の「実績データ連携URL」を使用して「出張なび」と通信します。

ジョブ実行日時時点で有効なユーザが [出張なびユーザマッピングマスタ](#) に登録されていない場合、[出張なび契約マスタ](#) の「担当者所属会社」、「担当者」を利用会社、利用者に設定します。

登録したデータは [BTM サービス利用実績データメンテナンス](#) で参照可能です。



コラム

データ取得開始日・データ取得終了日のパラメータを未指定にして毎日実行すると、前日に「出張なび」から連携された実績を日々取得できます。



コラム

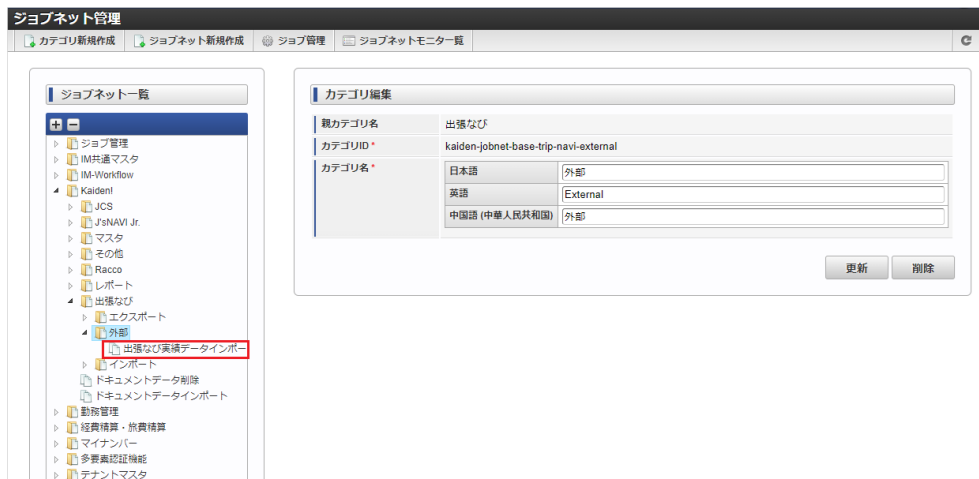
実績データに変更が発生した場合、金額がマイナスのデータが発生します。金額がマイナスのデータを精算することはできませんので、ご注意ください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。

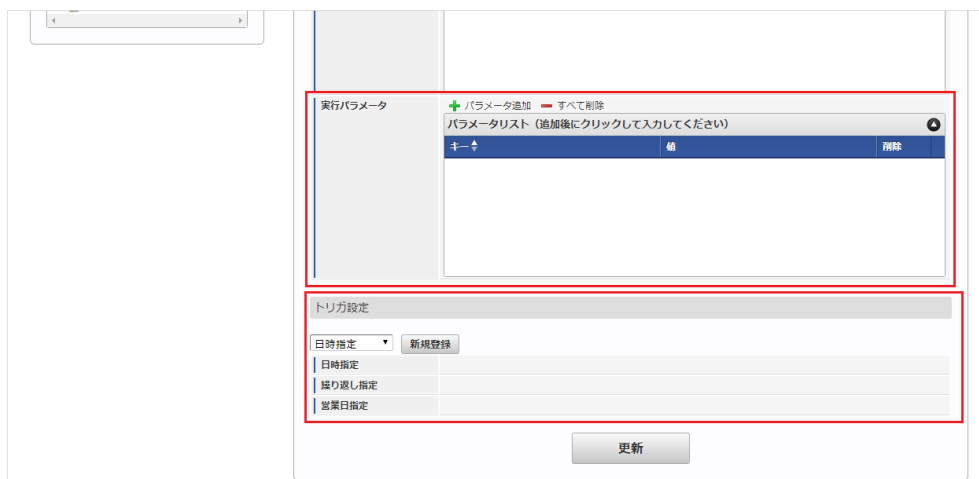
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび実績データインポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

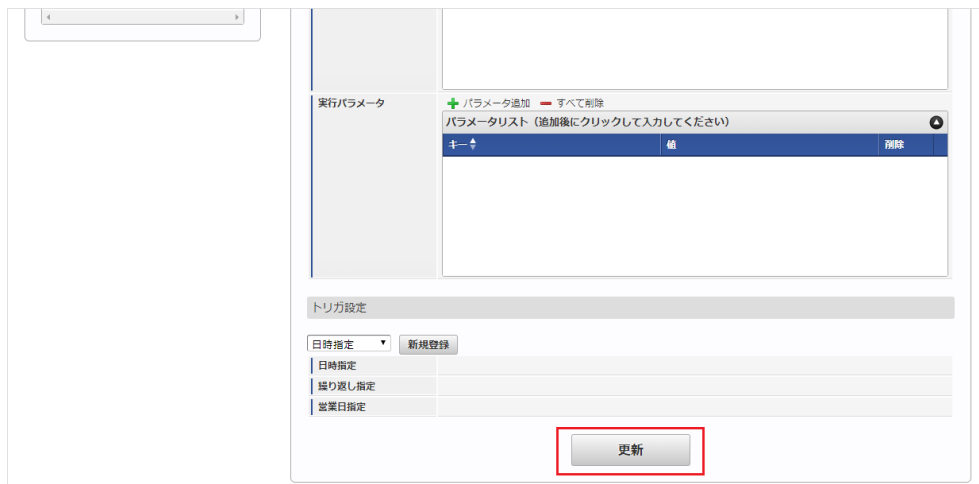
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

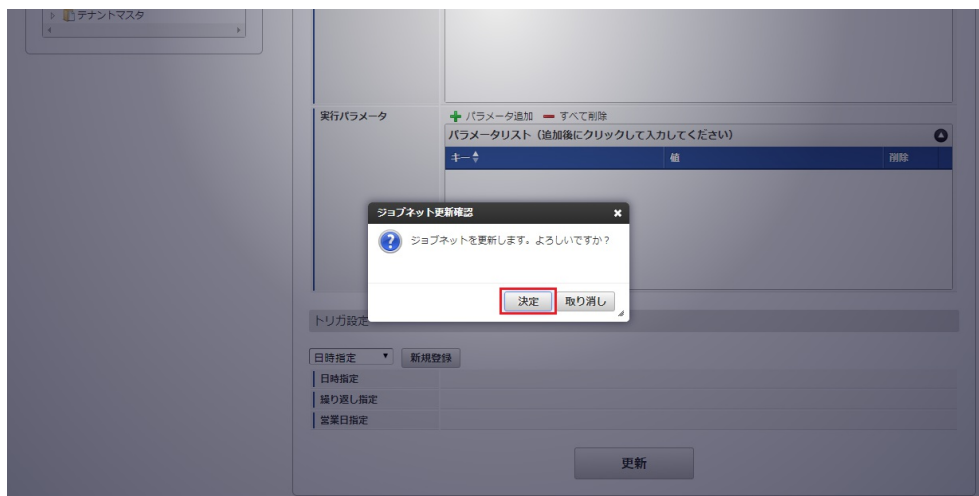
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-external-import	Kaiden! / 出張なび/ 外部 / 出張なび実績データインポート

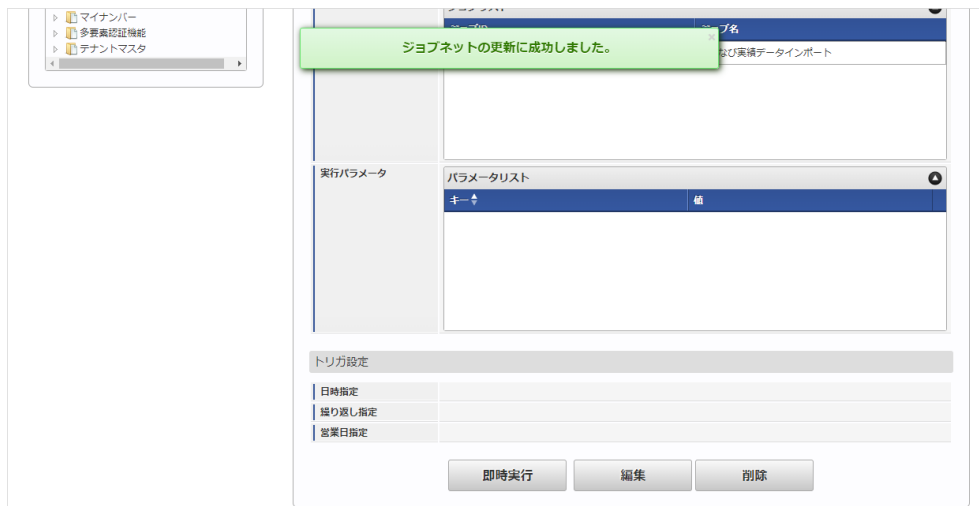
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、*BTMサービス利用実績データメンテナンス*でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
契約企業ID	entp_cd	実績取得元の <i>出張なび契約マスタ</i> で設定した「契約企業ID」を設定します。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
データ取得開始日	import_date_from	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「出張なび」から連携されたデータを取得します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
データ取得終了日	import_date_to	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「出張なび」から連携されたデータを取得します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)

取得データ

■ 取得データ

取得データが登録される形式です。

「k10t_btm_use_data」に登録されます。

項目名	値	備考
relation_service_id	TRIP_NAVI(固定値)	
result_id	SEQ	
company_cd	会社コード	IM-共通マスタ(会社)
user_cd	ユーザコード	IM-共通マスタ(ユーザ)
contract_system_id	契約企業コード	
corporate_cd	企業コード	
relation_auth_user_id	社員番号	
relation_exe_user_id	社員番号	
date1	利用日	
date2	利用日	
date3	納品データ作成日	
date4	納品日	
summary1	摘要	
summary2	出発地または都道府県	
summary3	到着地	
summary4	利用会社	
summary5	商品区分	
amount1	請求額	精算に使用する金額

quantity1	税区分	消費税率
-----------	-----	------

リファレンス

実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「出張なび」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「出張なび」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張なび関連マスタの設定
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「出張なび」から実績データを取得

「出張なび」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! 出張なび連携モジュール」 - 「出張なび設定」を参照して設定してください。

出張なび関連マスタの設定

「出張なび」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
出張なび契約マスタ	「出張なび」との契約情報を管理します。
出張なび契約・会社マッピングマスタ	「出張なび」との契約と会社を紐付けます。
出張なびユーザマッピングマスタ	「出張なび」のユーザとユーザを紐付けます。

ガジェットのエクスポート

「出張なび」から実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのエクスポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	

コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。

検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると

支払分類を指定した値で反映可能です。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「インクルードJSP」を参照ください。

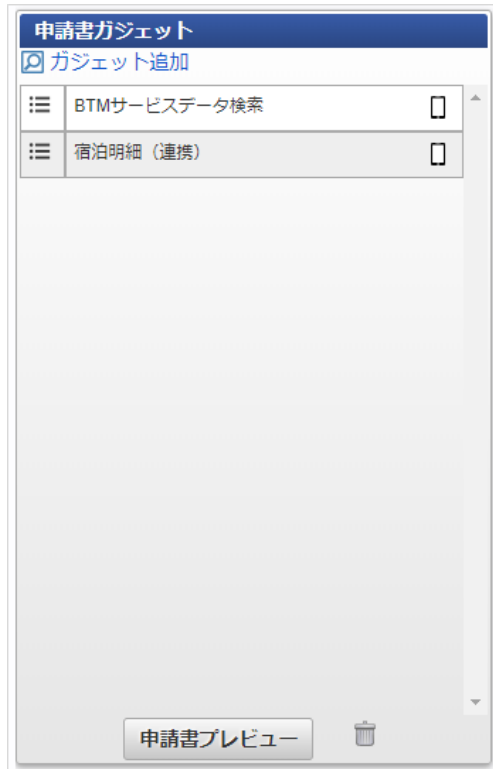
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「出張なび」から実績データを取得

「出張なび」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張なび実績データインポート](#)を実施してください。

「出張なび」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「出張なび」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「出張なび」から取得した実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

- [BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

JCS連携モジュールの操作

概要

本項では、JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際の概要を説明します。

JCS連携モジュールを使用すると、Kaiden!事前申請時に「JCS」で宿泊手配を実施し、

取得した宿泊データでKaiden!の精算を実施できます。

「JCS」と連携するためには、「JCS」の利用契約が必要です。

「JCS」は、宿泊予約・管理サービスです。

詳細は「JCS」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- JCS連携モジュール
「JCS」との連携機能を提供します。

- JCS
宿泊予約・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

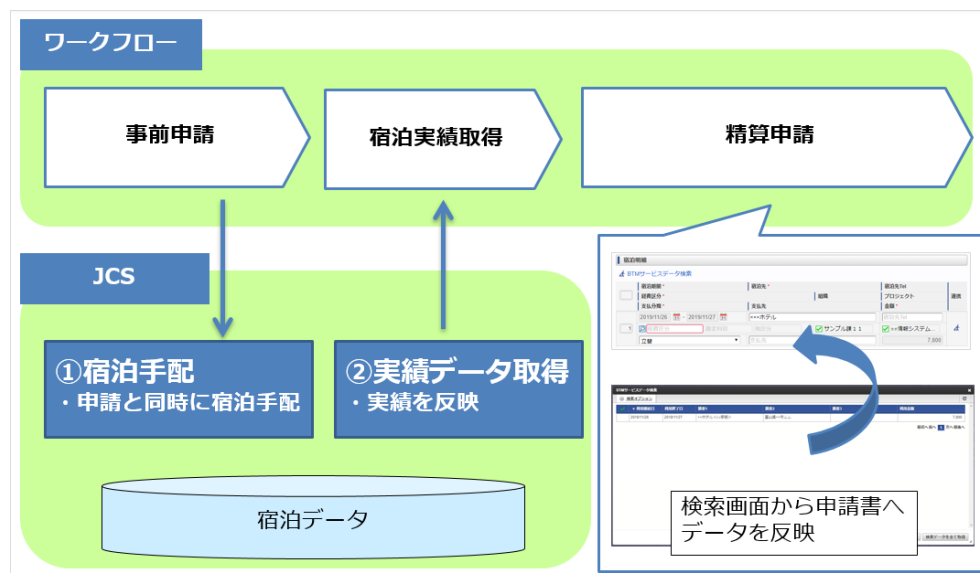
「JCS」から宿泊データを取得する機能はJCS連携モジュールに含まれています。

ワークフローを使用して、事前申請・精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	JCS連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「JCS」の宿泊予約サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

JCS契約マスタ

本項では、JCS契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCS契約マスタは、連携する「JCS」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 提携先識別CD
「JCS」に登録している提携先識別CDを入力します。
- エージェントCD
「JCS」に登録しているエージェントCDを入力します。
- 企業CD
「JCS」に登録している企業CDを入力します。
- 企業名
企業名をロケール別に入力します。
- シームレスログインURL
「JCS」にシングルサインオンする際のURLを入力します。

「シームレスログインURL」は、「JCS宿泊実績データ取得」でデータを取得する際にも使用します。

- シームレスログイン共通鍵
「JCS」にシングルサインオンする際の共通鍵を入力します。
符号付十進数表記で、指定された値をカンマ区切りで入力してください。
「シームレスログイン共通鍵」は、「JCS宿泊実績データ取得」でデータを取得する際にも使用します。
- 追加送付先メールアドレス
「JCS」にシングルサインオンして予約するときに、予約会員以外に予約通知メールの送信を強制する場合、送信先のメールアドレスを入力してください。
「追加送付先メールアドレス」を指定した場合、予約時にユーザが予約通知メールの送信先を変更することはできません。
- 上限金額超過時共有メールアドレス
「JCS」にシングルサインオンして予約するときに、予約会員以外に上限金額超過時共有メールの送信を強制する場合、送信先のメールアドレスを入力してください。
「上限金額超過時共有メールアドレス」を指定した場合、予約時にユーザが上限金額超過時共有メールの送信先を変更することはできません。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。

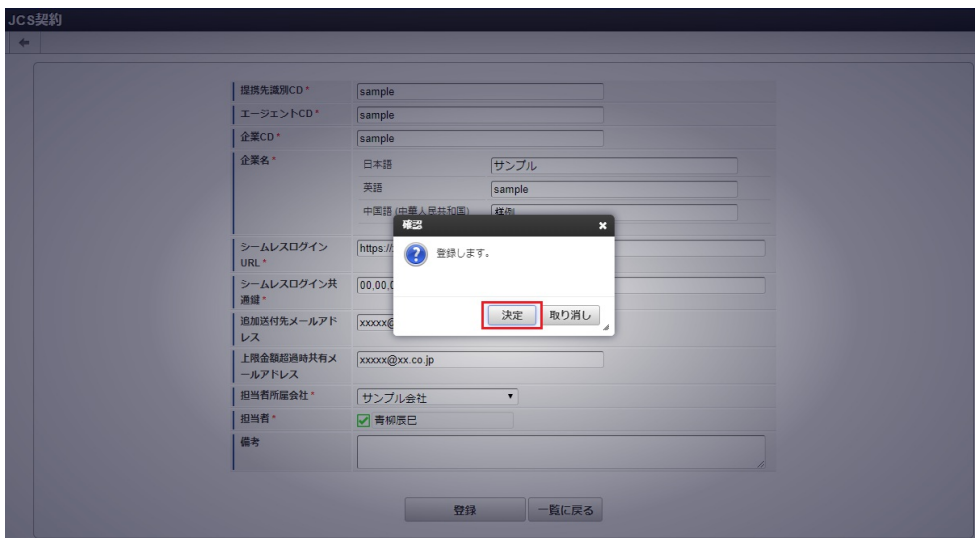
i コラム

「JCS宿泊実績データ取得」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

i コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD
- 企業名

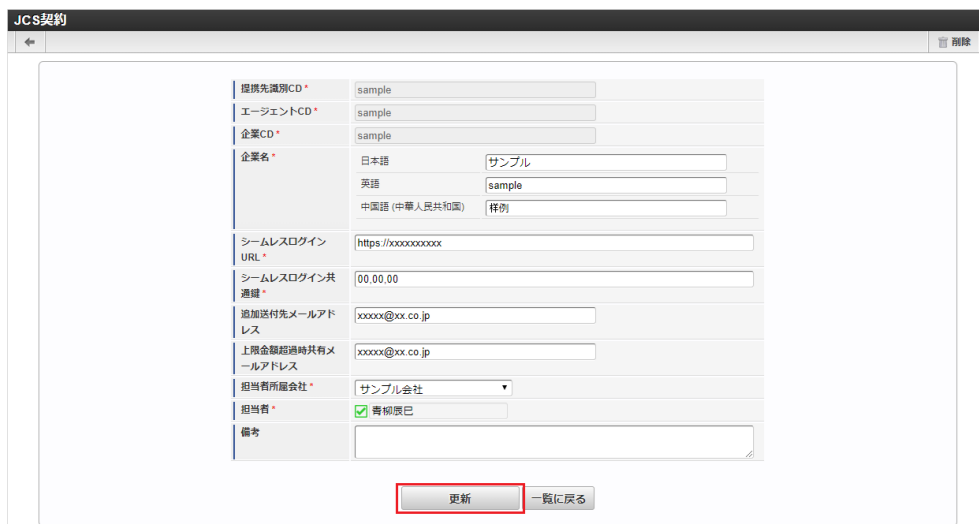
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

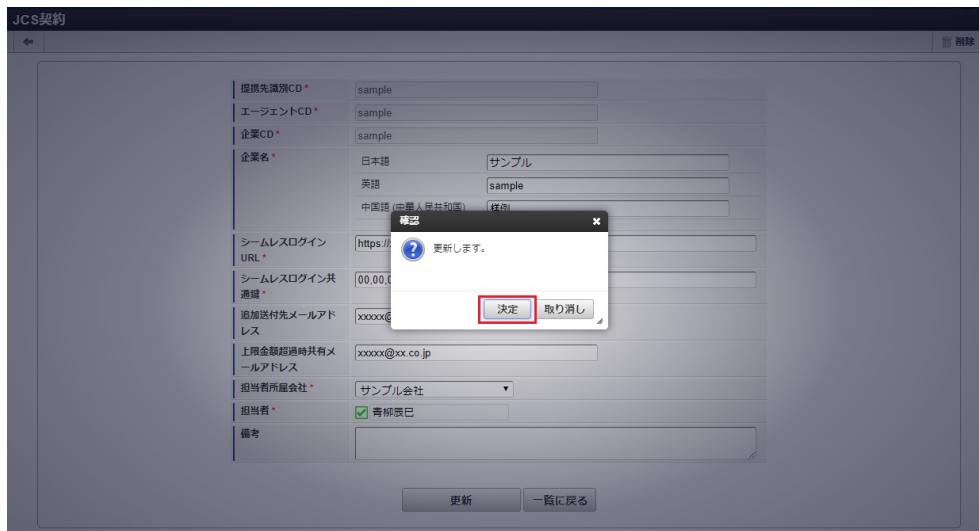
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	提携先識別CD	○	20	
2	エージェントCD	○	20	
3	企業CD	○	20	
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
5	企業名	○	250	
6	シームレスログインURL	○	1000	
7	シームレスログイン共通鍵	○	100	

8	追加送付先メールアドレス		100
9	上限金額超過時共有メールアドレス		100
10	担当者所属会社コード	○	100
11	担当者	○	100
12	備考		250

データサンプル

```
"sample","sample","sample","en","sample","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_s
"sample","sample","sample","ja","サンプル
ル","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","sample","sample","zh_CN","□
品","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

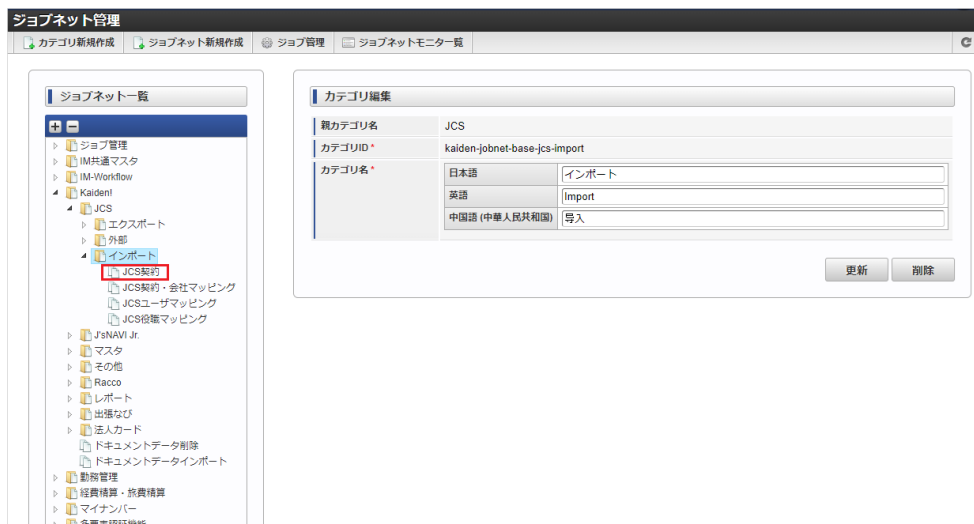
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

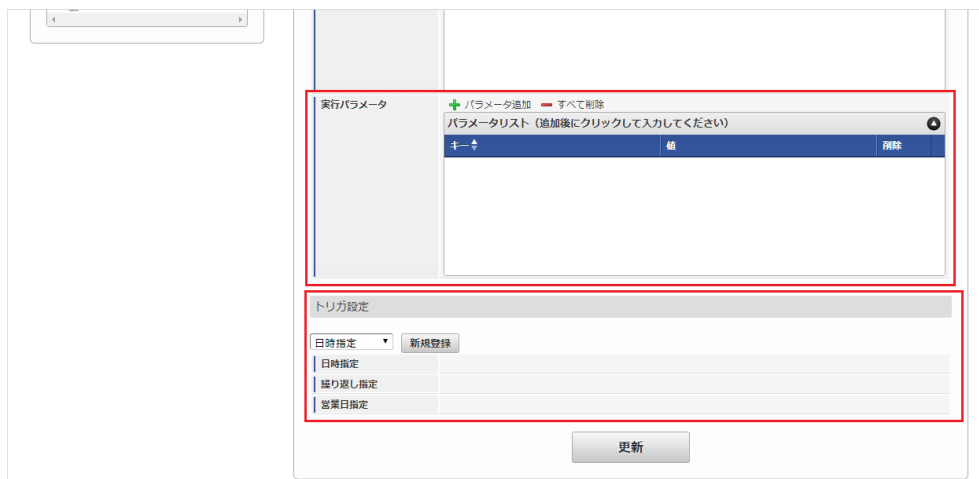
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

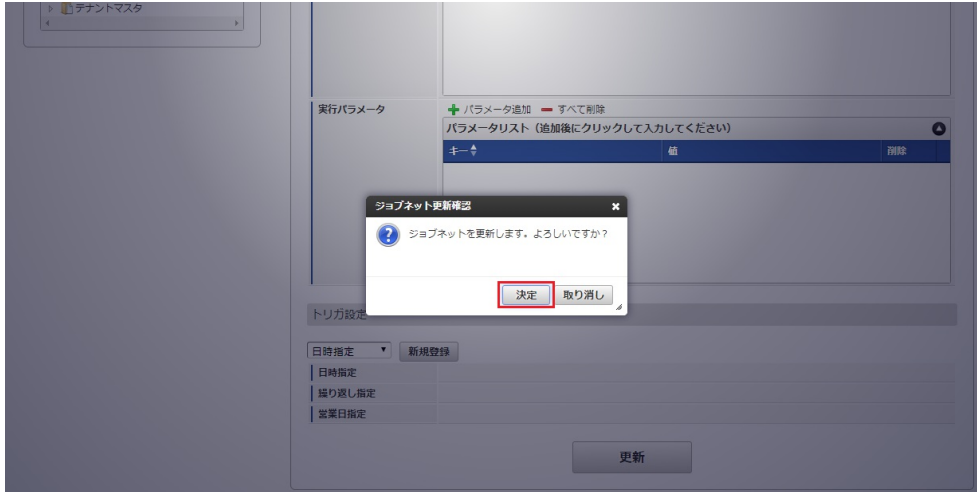
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-01-contract	Kaiden! / JCS / インポート / JCS契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_contract/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

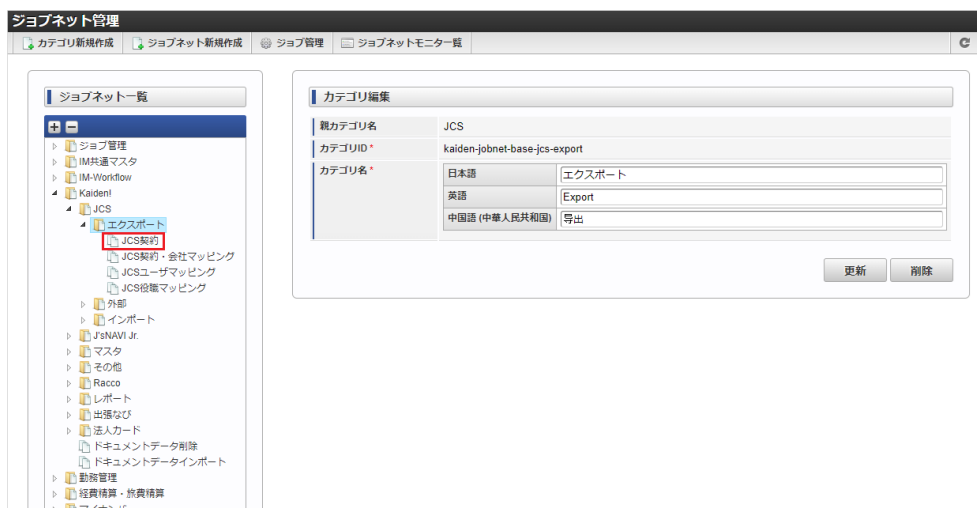
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「JCS契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

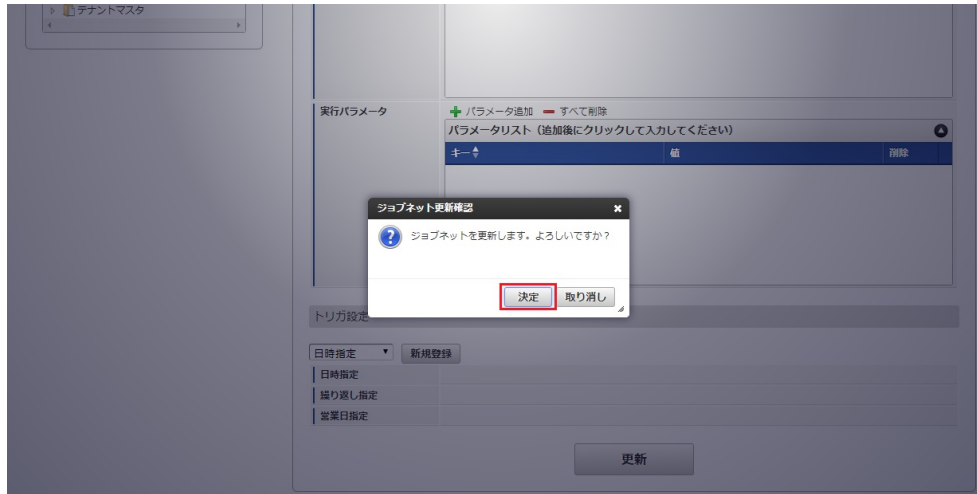
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

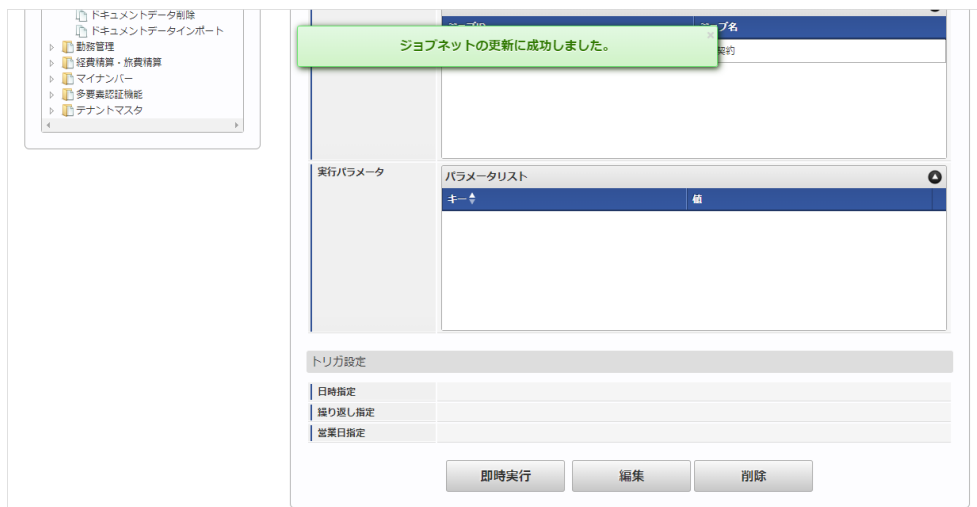
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-01-contract	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jcs_contract
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
jcsCd	提携先識別CD	
agentCd	エージェントCD	
corporateCd	企業CD	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

corporateName	企業名
ssoUrl	シームレスログインURL
ssoPublicKey	シームレスログイン共通鍵
addMailAddress	追加送付先メールアドレス
exceededMailAddress	上限金額超過時共有メールアドレス
chargeCompanyCd	担当者所属会社
chargeUserCd	担当者
note	備考

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ": ダブルクォーテーション none: 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true: ヘッダー出力有 false: ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

JCS契約・会社マッピングマスタ

本項では、JCS契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCS契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社

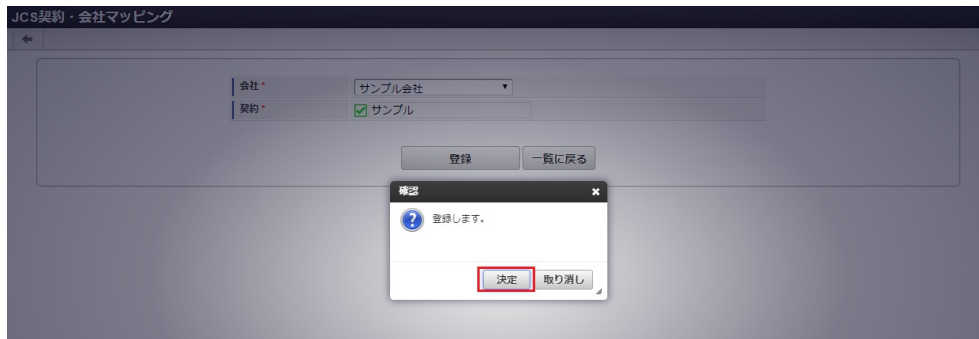
「JCS」の契約と紐付ける会社を選択します。

- 契約
「JCS」に登録済みの契約を選択します。

i コラム

「会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「JCS」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

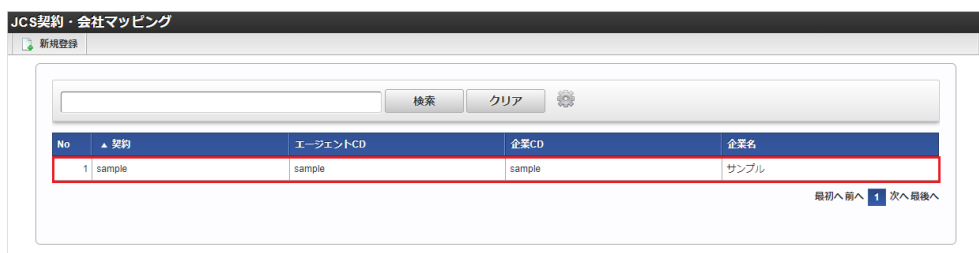


i コラム

検索欄に検索したい契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD
- 企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。





コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

2. 更新することができました。

No	契約	エージェントCD	企業CD	企業名
1	sample	sample	sample	サンプル

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	提携先識別CD	○	20	
3	エージェントCD	○	20	
4	企業CD	○	20	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","sample","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_company

ファイル名 import.csv



コラム

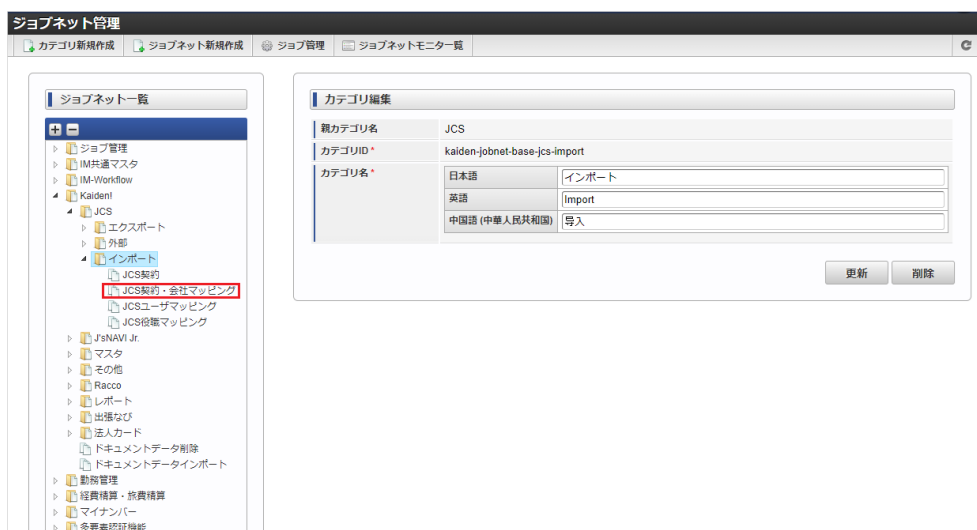
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

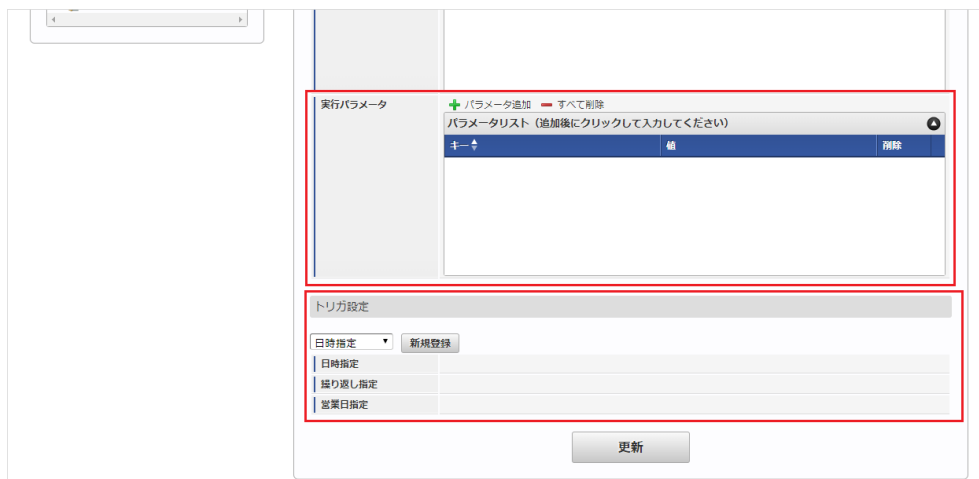
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

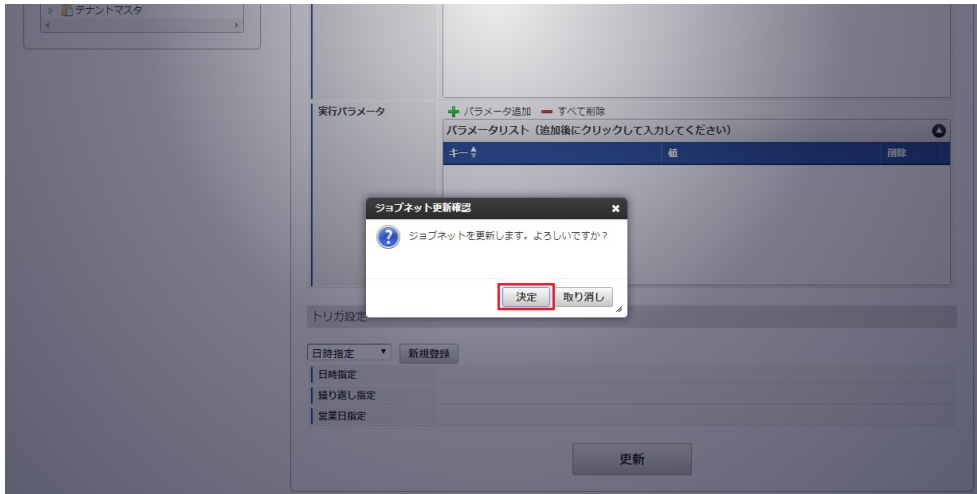
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-02-company	Kaiden! / JCS / インポート / JCS契約・会社マッピング

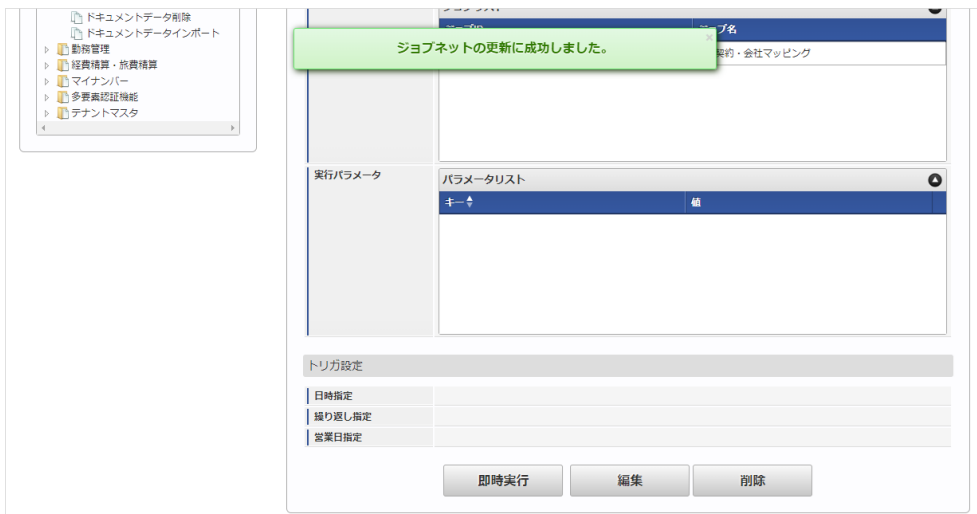
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_company/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

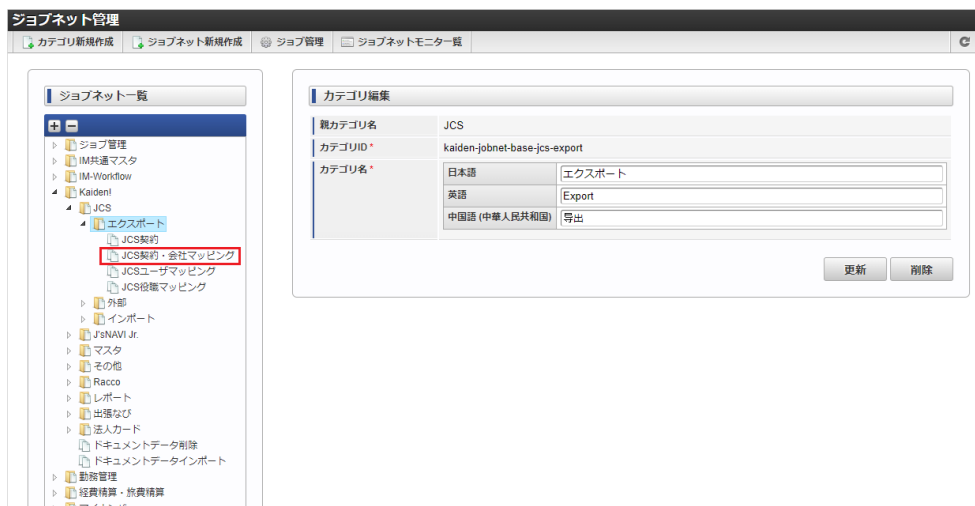
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

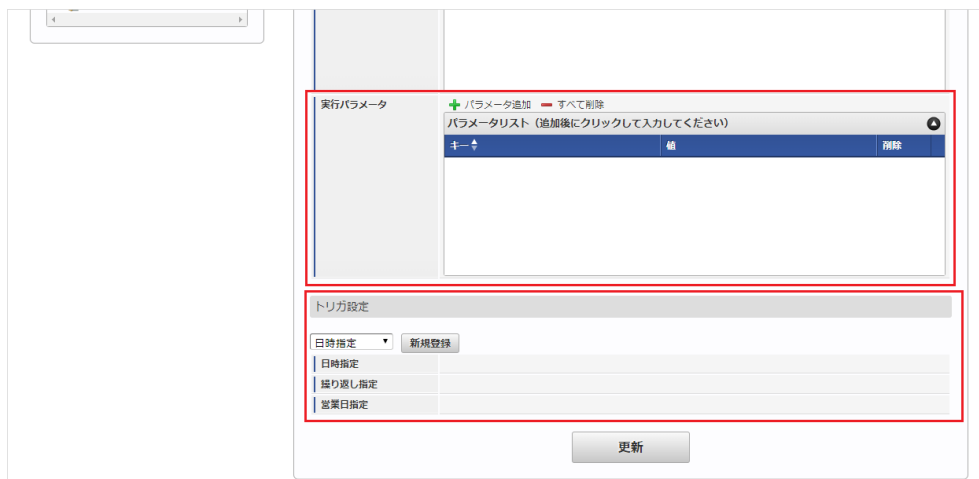
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

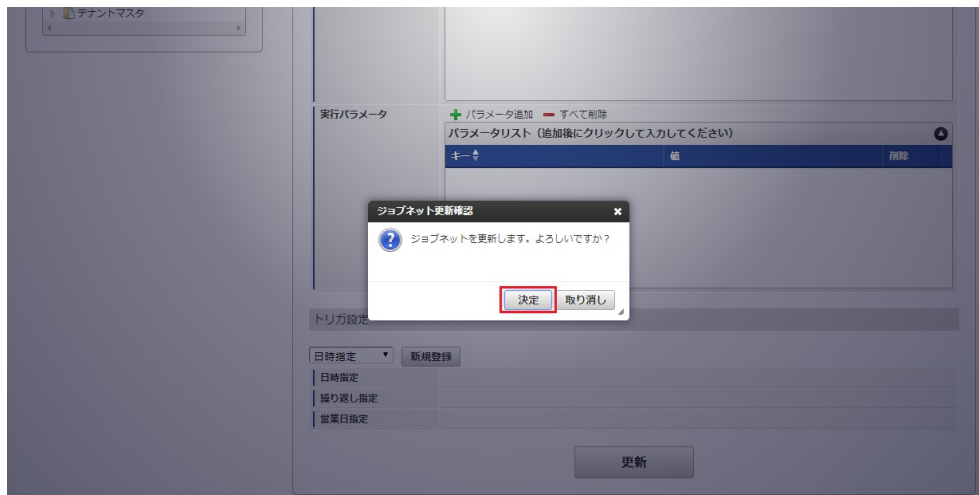
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-02-	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS契約・会社マッピング company

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_company/
 ファイル名 export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsCd	提携先識別CD	
agentCd	エージェントCD	
corporateCd	企業CD	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、JCSユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCSユーザマッピングマスタは、「JCS」から取得する宿泊データに紐づくユーザと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'JCSユーザマッピング' (JCS User Mapping) page. At the top left, there is a '新規登録' (New Registration) button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table header is visible with columns: No, ユーザ (User), ユーザ名 (User Name), 開始日 (Start Date), 終了日 (End Date), and 契約企業名 (Contract Company Name).

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

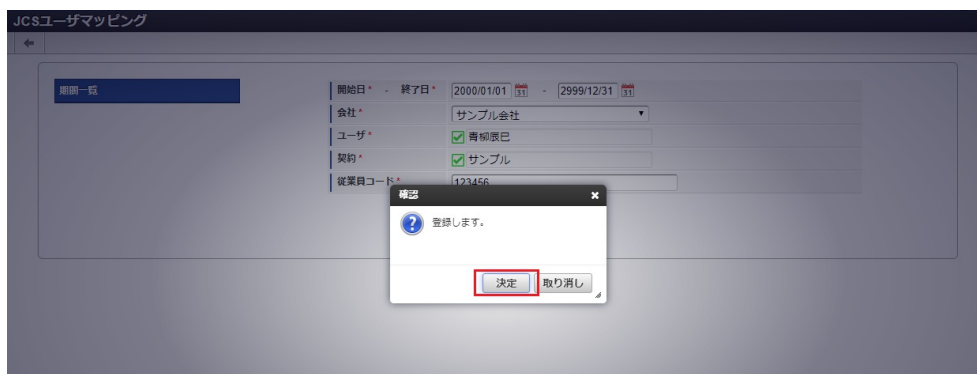
The screenshot shows the registration/edit form for a user. Fields include: 開始日 (Start Date) set to 2000/01/01, 終了日 (End Date) set to 2999/12/31, 会社 (Company) set to サンプル会社 (Sample Company), ユーザ (User) with a checked checkbox for 青柳景巳 (Aoyagi Keiichi), 契約 (Contract) with a checked checkbox for サンプル (Sample), and 従業員コード (Employee Code) set to 123456. The '登録' (Register) button at the bottom is highlighted with a red box.

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「JCS」との契約を選択します。
- 従業員コード
JCS」の従業員コードを入力します。

コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSユーザマッピング」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したいJCSユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
2	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード

3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
1	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
6	提携先識別CD	○	20	
6	エージェントCD	○	20	
6	企業CD	○	20	
7	従業員コード	○	20	

データサンプル

```
"aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","sample","sample","sample","123456"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_user

ファイル名 import.csv

コラム

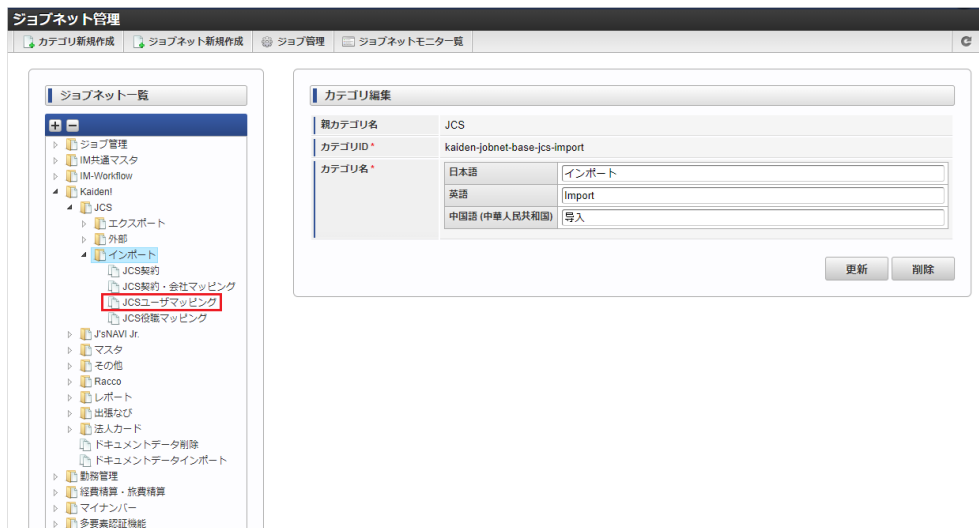
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

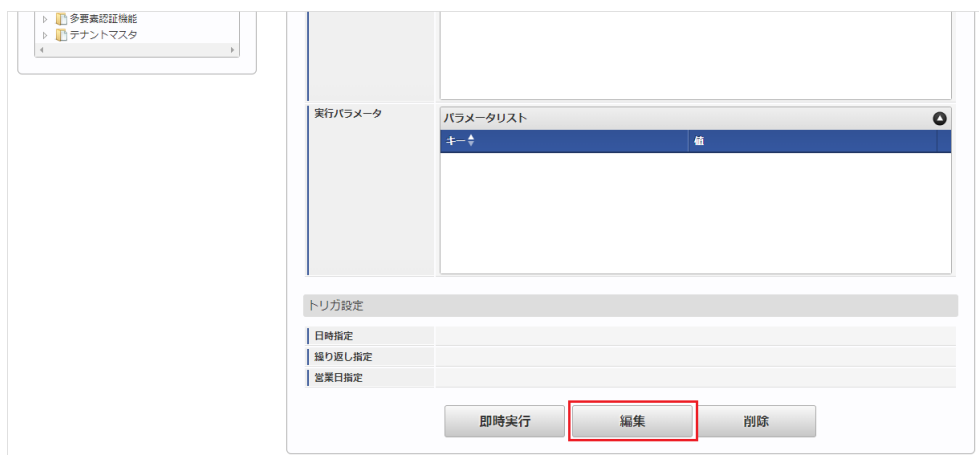
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

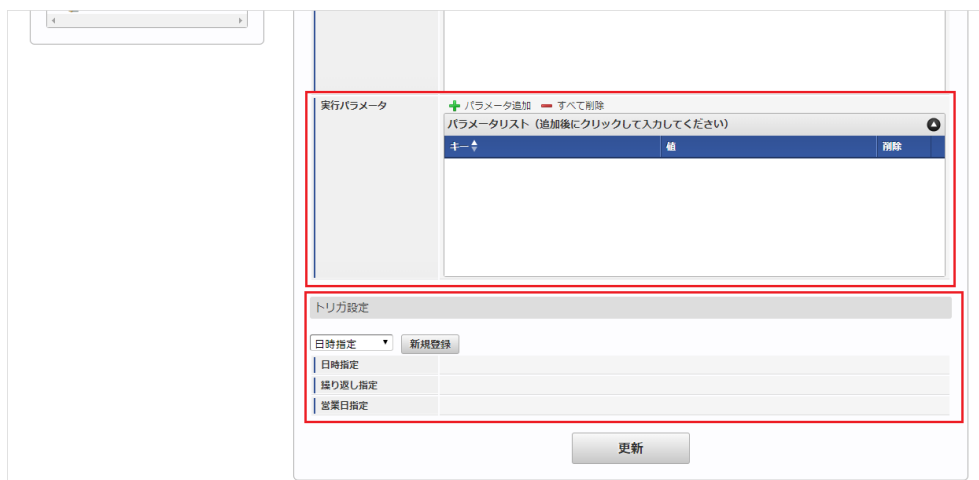
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCSユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

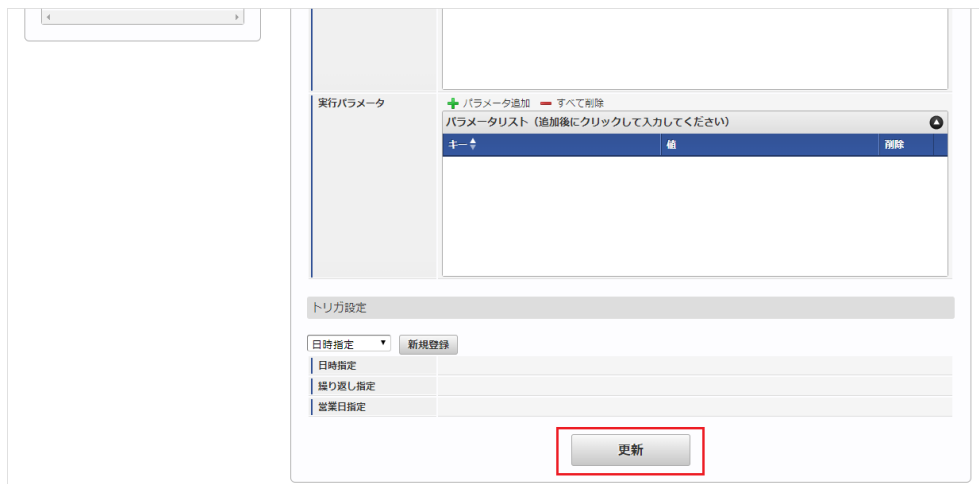
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

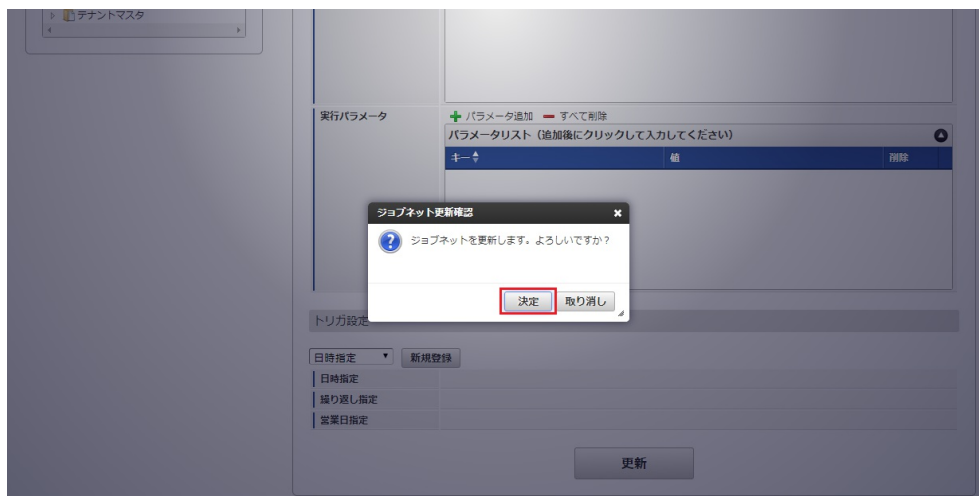
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-03-user	Kaiden! / JCS / インポート / JCSユーザマッピング

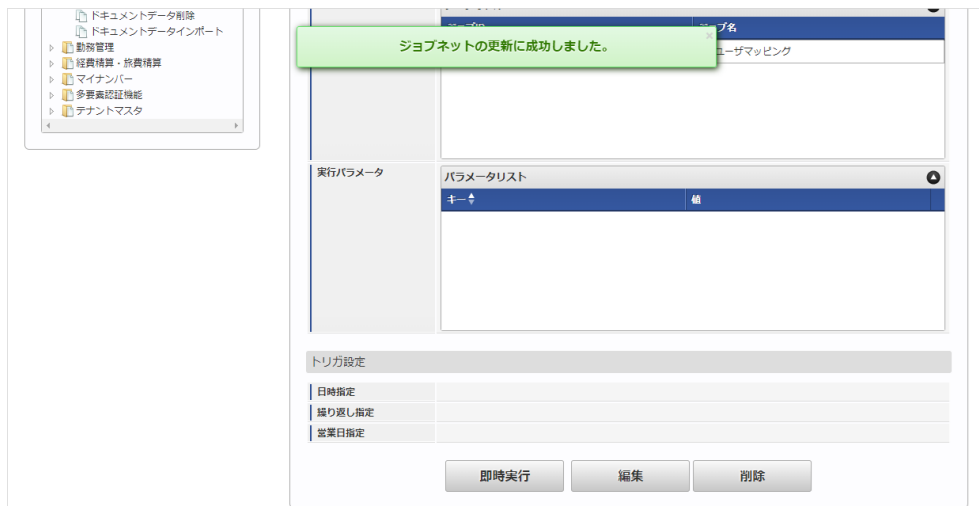
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

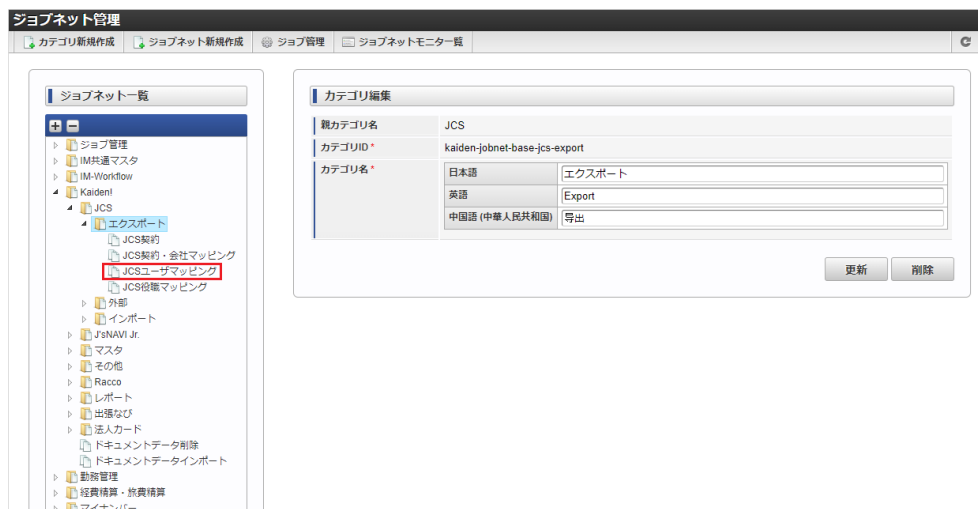
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

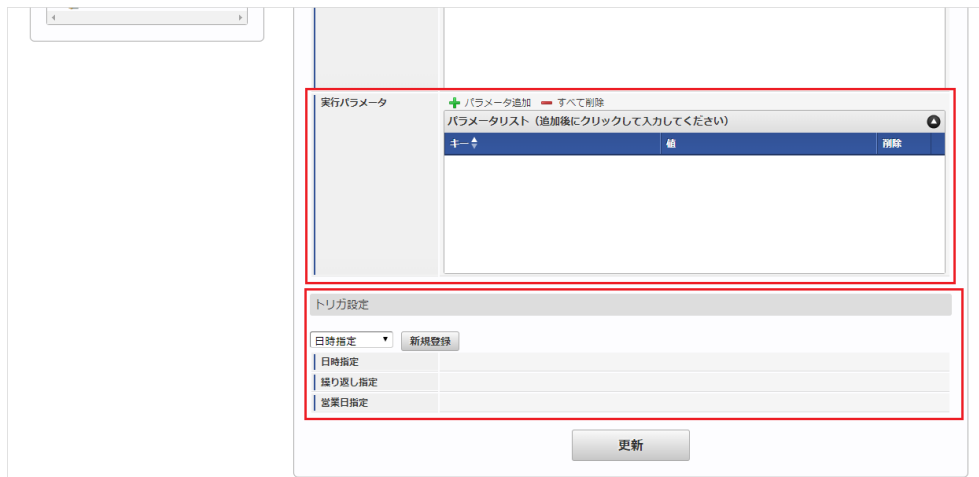
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCSユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

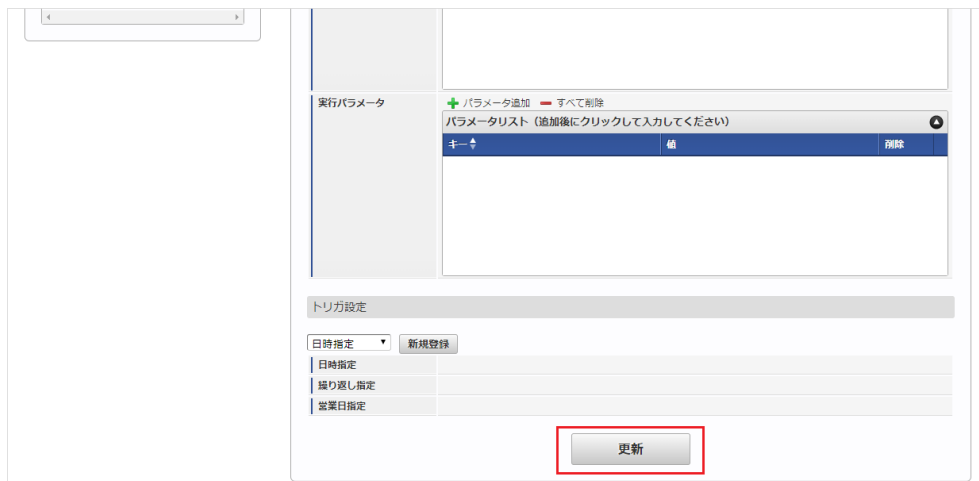
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

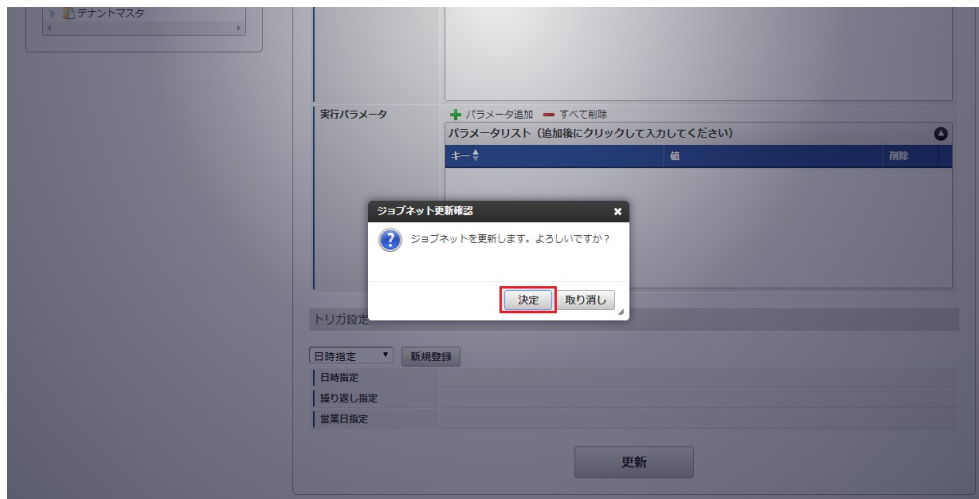
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-03-user	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCSユーザマッピング

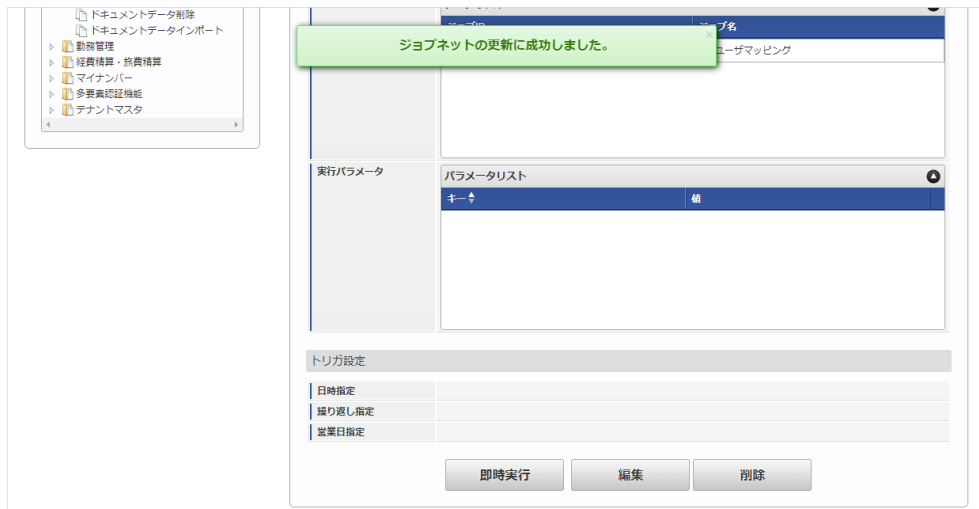
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/generic/master/jcs_user/`

ファイル名 `export.csv`

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード

jcsCd	提携先識別CD
agentCd	エージェントCD
corporateCd	企業CD
empCd	社員番号

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 全件出力モード ■ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 既存ファイルに追記 ■ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション ■ none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

JCS役職マッピングマスタ

本項では、JCS役職マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCS役職マッピングマスタは、「JCS」の役職と「Kaiden!」の役職を紐付けます。

「JCS」で宿泊手配する際、役職別の上限金額を設定できます。

「JCS」にシングルサインオンする際、「Kaiden!」の役職に紐づく「JCS」の役職を算出し、宿泊の上限金額が設定されます。

役職別の上限金額については、「JCS」の設定が必要です。

詳細は「JCS」のマニュアルを参照ください。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

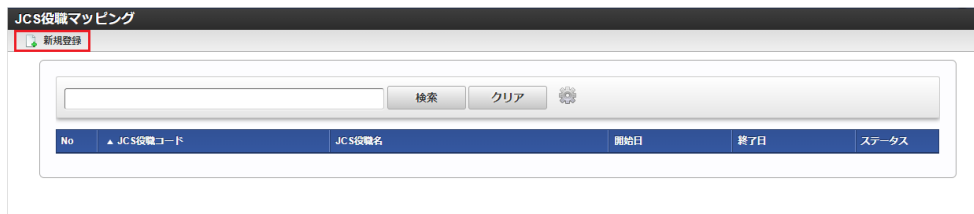
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS役職マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
会社を選択します。
- JCS 役職コード
「JCS」で設定した役職コードを入力します。
- JCS 役職名
役職名を入力します。
- 優先度
優先度を入力します。
役職が複数の「JCS」の役職に紐づけられている場合、数字が小さいほど優先度が高く設定されます。
- 役職
役職を選択します。

i コラム

「会社」、「役職」は、開始日を検索基準日としています。

i コラム

明細機能の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	JCS 役職コード	JCS 役職名	開始日	終了日	ステータス
1	1234	サンプル	1900/01/01	2999/12/31	●

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS 役職マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

No	JCS 役職コード	JCS 役職名	開始日	終了日	ステータス
1	1234	サンプル	1900/01/01	2999/12/31	●

コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- JCS役職コード
- JCS役職名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	JCS 役職コード	JCS 役職名	開始日	終了日	ステータス
1	1234	サンプル	1900/01/01	2999/12/31	●

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

有効期間 * 1900/01/01 [31] - 2999/12/31 [31]

会社 * サンプル会社

JCS 役職コード * 1234

JCS 役職名 * サンプル

優先度 * 1

役職 * 1 部長

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- JCS役職コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	JCS役職コード	○	20	
3	期間コード	○	50	
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
5	開始日	○	10	yyyy/MM/dd形式
6	終了日	○	10	yyyy/MM/dd形式
7	JCS役職名	○	250	
8	優先度	○	15	
9	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","8eprgmbmh7t5ycu","ja","2018/03/08","2018/03/23","サンプル","1","0"
"comp_sample_01","sample","8eprgmbmh7t5ycu","en","2018/03/08","2018/03/23","Sample","1","0"
"comp_sample_01","sample","8eprgmbmh7t5ycu","zh_CN","2018/03/08","2018/03/23","样品","1","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- データ形式

import_dtl.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	JCS役職コード	○	100	
3	期間コード	○	50	
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	役職コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","8eprgmbmh7t5zcu","0","1","sample"
```

 コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/data/master/jcsPostMapping

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

 コラム

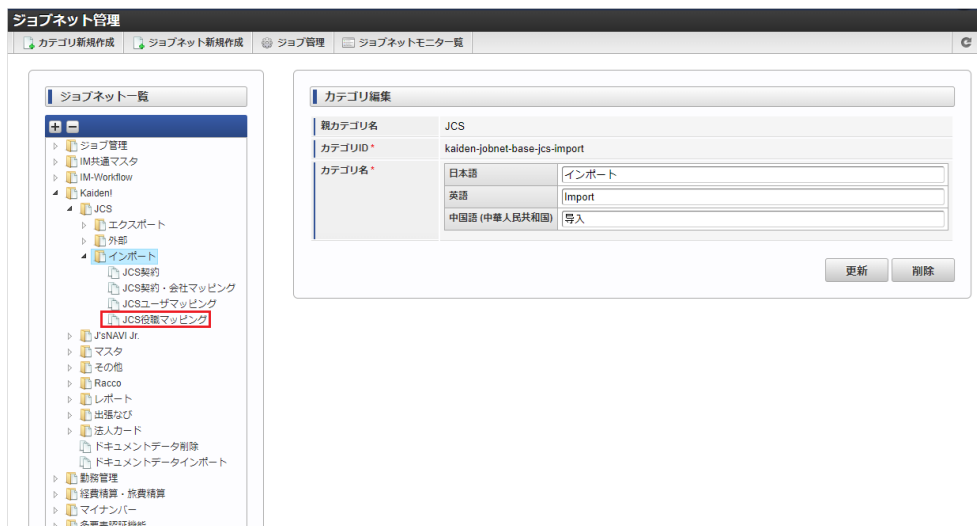
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS役職マッピング」をクリックします。



ジョブネット管理

カテゴリ編集

親カテゴリ名 JCS

カテゴリID* kaiden-jobnet-base-jcs-import

カテゴリ名*

日本語 インポート

英語 Import

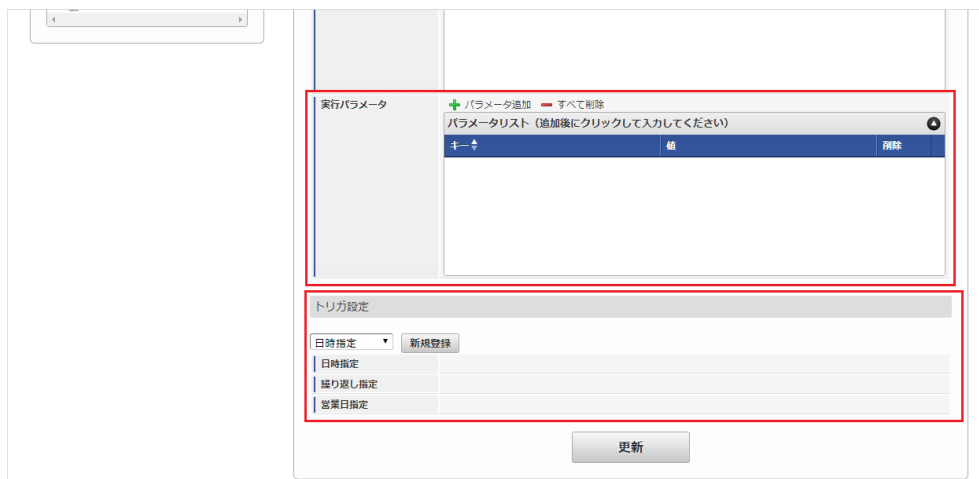
中国語 (中華人民共和国) 导入

更新 削除

- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

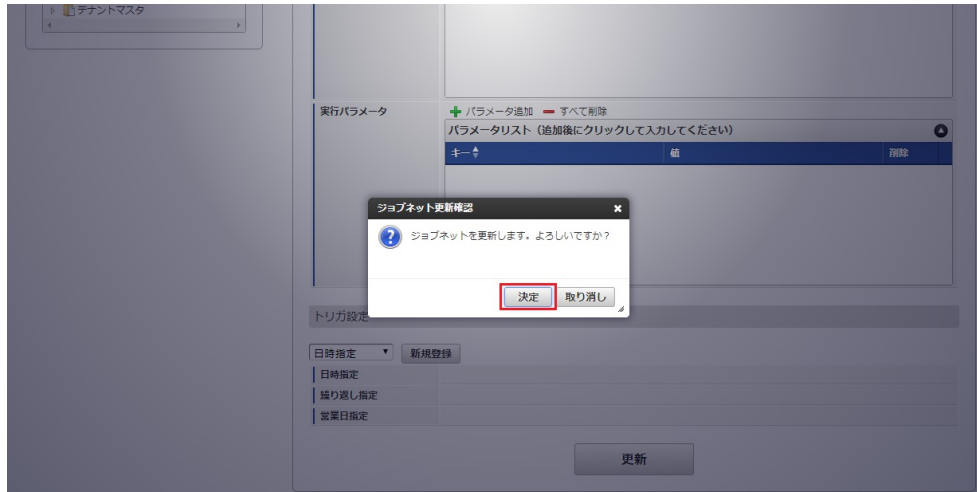
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-04-post	Kaiden! / JCS / インポート / JCS役職マッピング

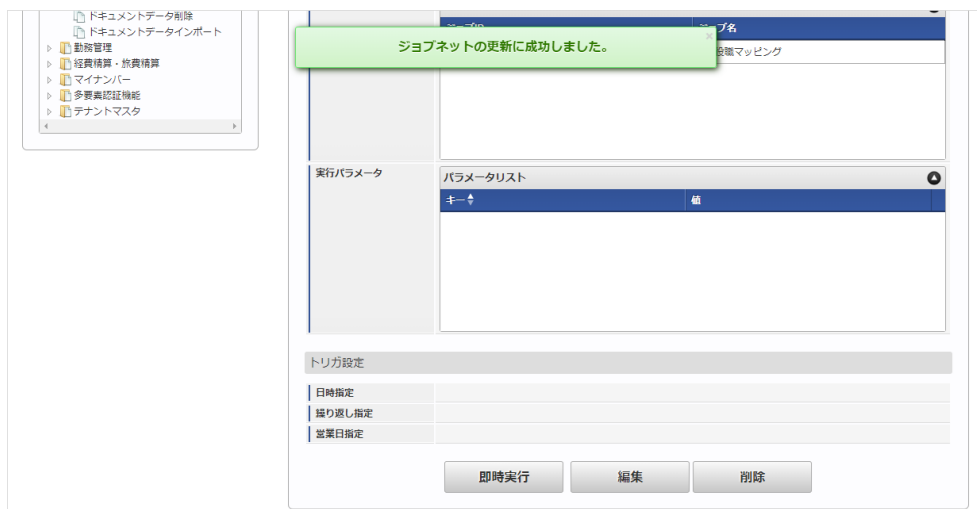
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/data/master/jcsPostMapping/import_header.csv import_dtl.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcsPostMapping/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , :カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

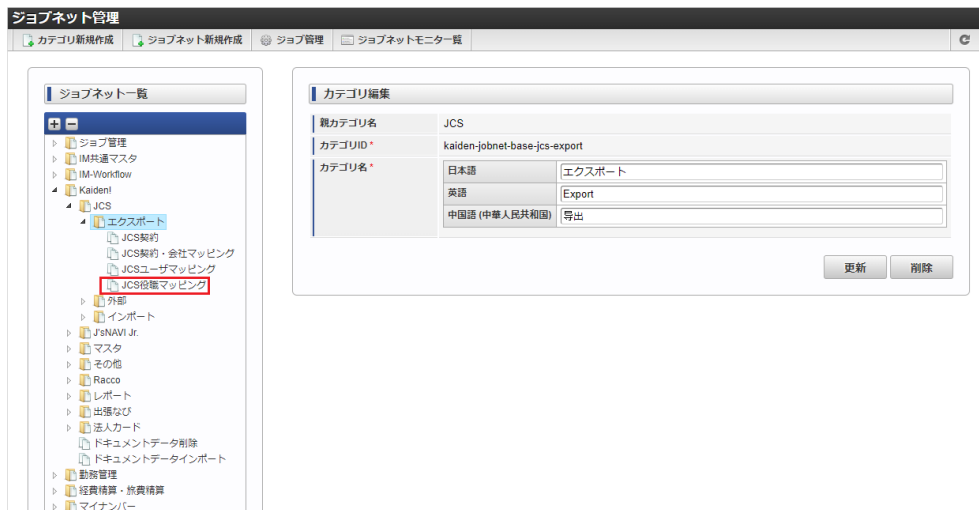
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「JCS役職マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

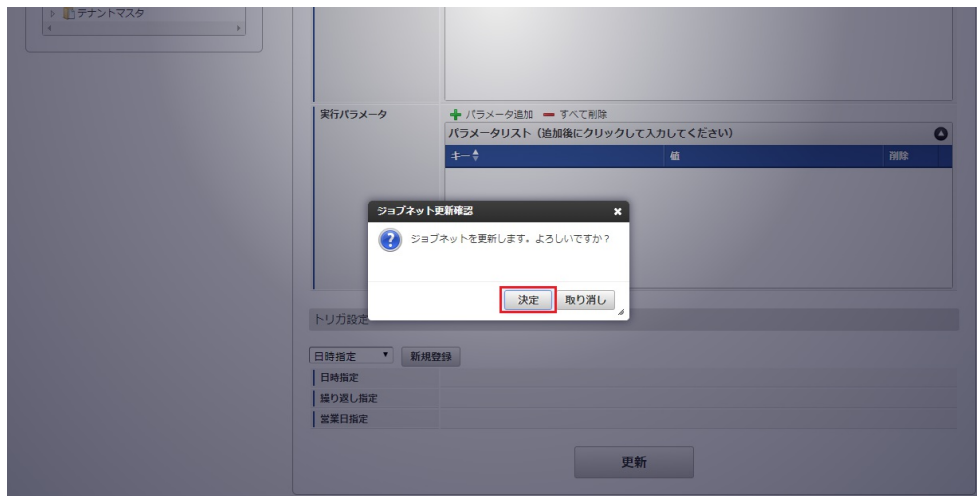
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-04-post	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS役職マッピング

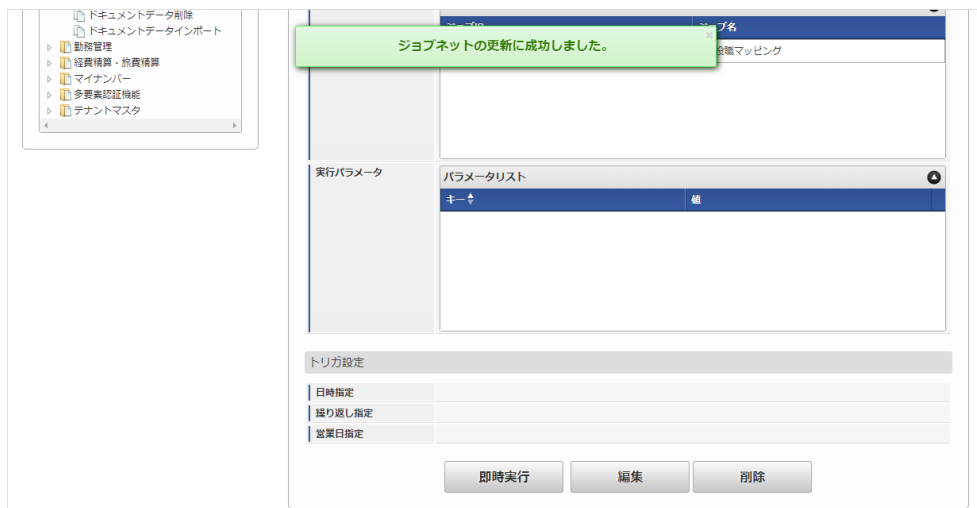
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/data/%会社コード%/master/jcsPostMapping/
ファイル名	export_header.csv export_dtl.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsPostCd	JCS役職コード	
termCd	期間コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式(画面の日付+1日)
jcsPostName	JCS役職名	
priority	優先度	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsPostCd	JCS役職コード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
postCd	役職コード	



注意

当マスタをエクスポートすると、終了日が画面の日付+1日で出力されます。

エクスポートしたファイルを使用してインポートモード「4」、「5」でインポートする場合、終了日を「終了日-1日」に変更してインポートしてください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/data/%会社コード%/master/jcsPostMapping/export_header.csv export_dtl.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcsPostMapping/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

JCSへのシングルサインオン

本項では、JCSへのシングルサインオン方法を説明します。

- 概要
- 認可設定
- シングルサインオン

概要

JCSへKaiden!からシングルサインオンする方法は以下2種類あります。

- JCSシングルサインオン機能からアクセス
- 宿泊手配(JCS連携)ガジェットを含む申請書からアクセス

本項では、JCSシングルサインオン機能からアクセスする方法について説明します。

JCSシングルサインオン機能を使用する場合、Kaiden!の事前申請と紐づけることはできません。

宿泊手配(JCS連携)ガジェットについては、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』を参照ください。

認可設定

JCSシングルサインオン機能をする場合、認可設定を変更してください。

初期状態では、認可が禁止の状態に登録されています。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「認可」→をクリックします。
2. 「Kaiden!」→「JCS」→「JCSシングルサインオン」の認可を許可設定します。

認可設定 (画面・処理) - part-id: im_authz_impl_router

エクスポート キャッシュクリア

リソースの種類: 画面・処理 アクションの種類: 全てのアクション 権限設定を終了する

全て許可 全て禁止 全て未設定 条件の新規作成 条件の編集 条件の削除 条件の並び替え

リソース	アクション	承認	ゲストユーザ	認証済みユーザ	サンプル会社	その他会社	テナント管理者	認可管理者	メニュー管理者	メニュー適用管理者	アカウント管理者	ロール管理者	カレンダー管理者	ジョブスケジューラ管理者	協賛マスタ管理者	共通マスタ適用管理者	ポータル管理者	Kaiden!管理者	
JCS																			
JCS契約・会社マッピング	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
JCS契約	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
JCS店舗マッピング	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
じゃらんコーポレートサービス	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止
JCSユーザマッピング	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
JSENAVI Jr.																			
出張手配	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
ユーザマッピング	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
出張手配集積データ	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
出張手配代理	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
契約・会社マッピング	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可
契約	実行	許可	許可	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	禁止	許可

シングルサインオン

JCSシングルサインオン機能の使用方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSシングルサインオン」をクリックします。



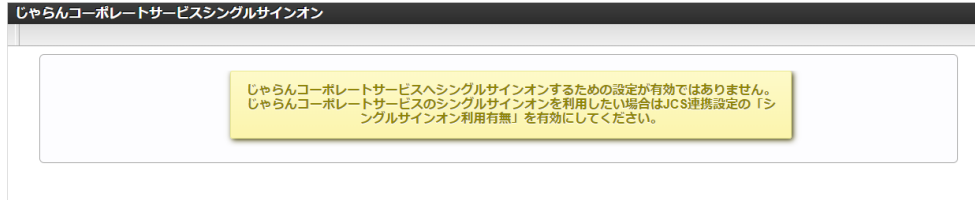
2. 「ログイン」ボタンをクリックすると、「JCS」にシングルサインオンします。



3. JCSユーザマッピングマスタに登録がないユーザでJCSシングルサインオン機能にアクセスすると、ログインボタンは表示されません。



4. 以下メッセージが表示される場合、『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』を参照して設定ファイルを変更してください。



JCS宿泊実績データ取得

本項では、「JCS」から宿泊実績データを取得／登録する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- 取得データ

概要

JCS宿泊実績データ取得は、指定された[JCS契約マスタ](#)の情報に基づき「JCS」に接続し、宿泊実績データを取得します。

[JCS契約マスタ](#)の「シームレスログインURL」を使用して「JCS」と通信します。

ジョブ実行日時点で有効なユーザが[JCSユーザマッピングマスタ](#)に登録されていない場合、[JCS契約マスタ](#)の「担当者所属会社」、「担当者」を利用会社、利用者に設定します。

JCS宿泊実績データ取得後、JCS宿泊実績データ登録ジョブを実行して取得したデータを登録します。

登録したデータは[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で参照可能です。

コラム

チェックアウト済のデータと、チェックアウト後に変更が発生したデータを日々取得してください。

変更データ取得フラグ、チェックアウト開始日、チェックアウト終了日を未設定にして毎日実行すると、前日にチェックアウトした宿泊実績を日々取得できます。

また、変更データ取得フラグを「true」に設定し、予約ステータス更新日時開始日、予約ステータス更新日時終了日を未設定にして毎日実行すると、前日に予約ステータスを変更し、システム日付時点でチェックアウト済の宿泊実績データを取得します。

コラム

宿泊予約を変更した場合、金額が同じデータが複数取り込まれる場合があります。

精算が必要なデータのみ精算申請し、精算が不要なデータは[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で精算不要にメンテナンスしてください。

注意

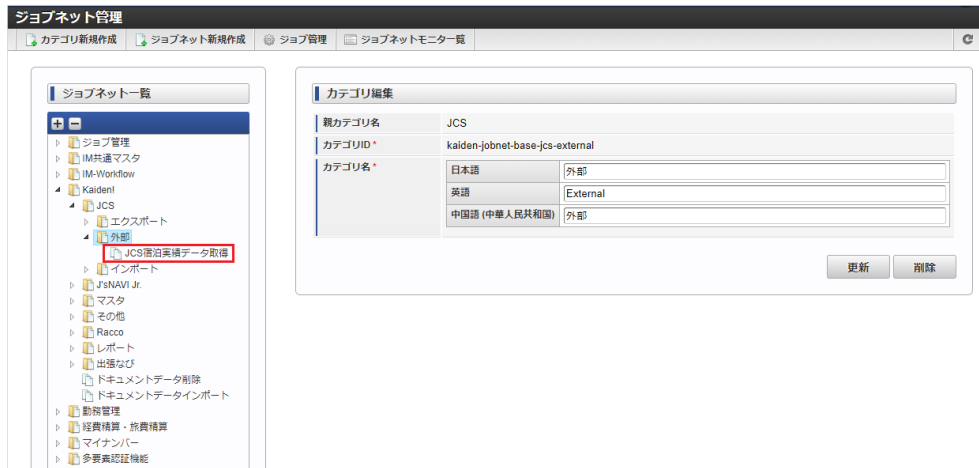
JCS宿泊実績データ取得を、日に3回以上実施しないでください。

詳細はJCSにお問い合わせください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS宿泊実績データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

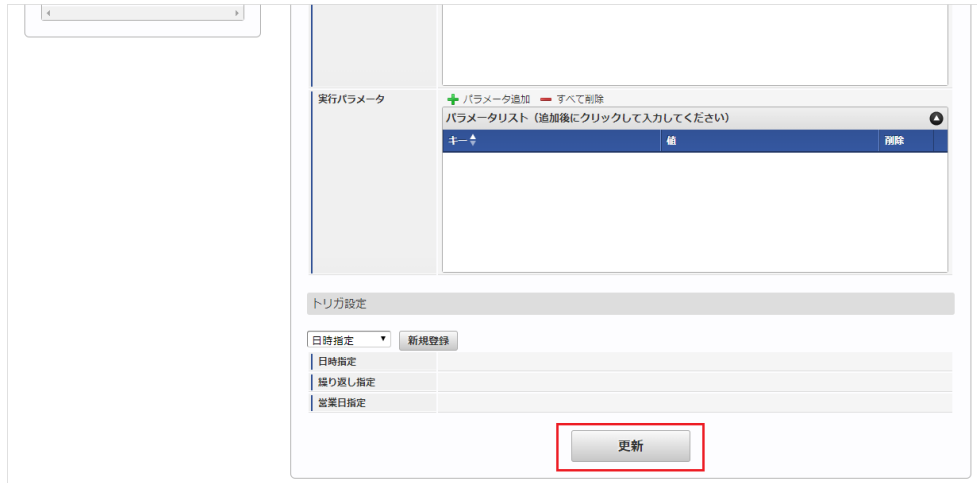
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

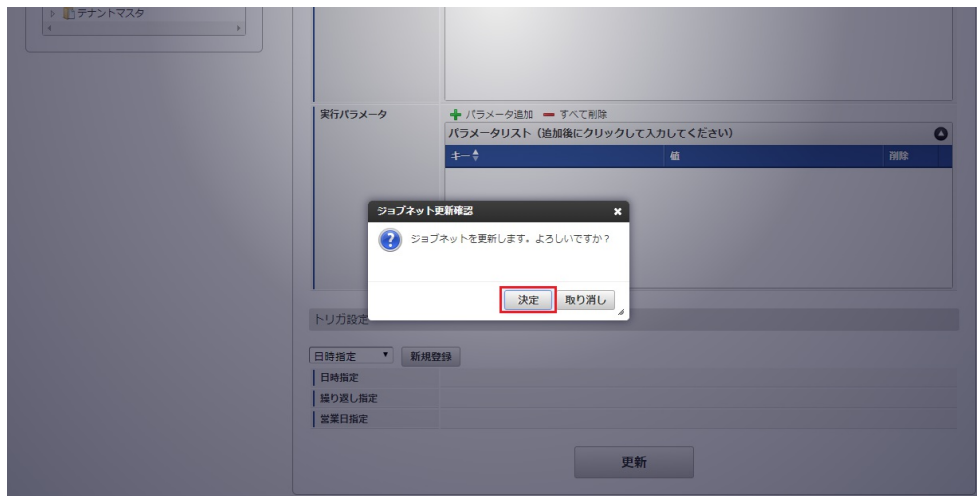
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-external-import	Kaiden! / JCS/ 外部 / JCS宿泊実績データ取得
kaiden-job-base-jcs-external-entry	Kaiden! / JCS/ 外部 / JCS宿泊実績データ登録

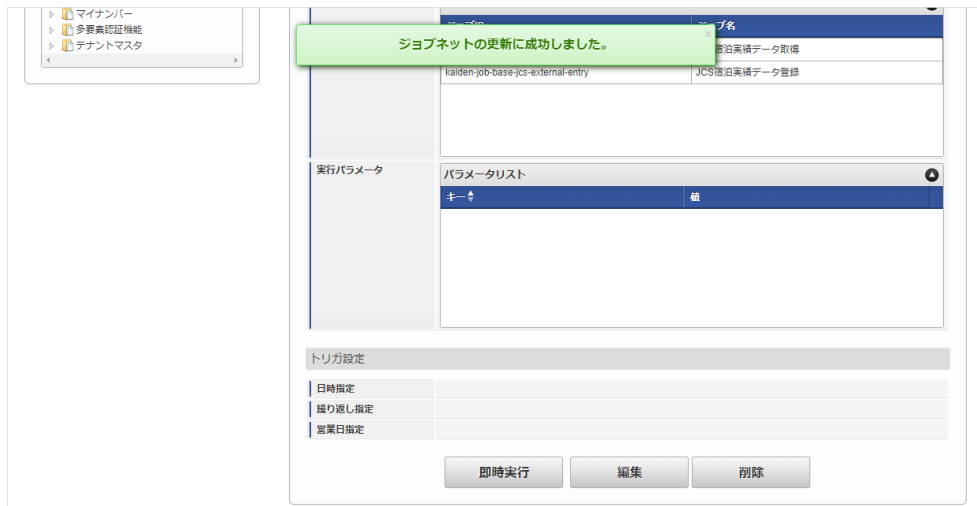
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、*BTMサービス利用実績データメンテナンス*でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
提携先識別CD	jcs_cd	宿泊実績取得元のJCS契約マスタで設定した「提携先識別CD」を設定します。 「提携先識別CD」を設定する場合、「エージェントCD」、「企業CD」が必須です。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
エージェントCD	agent_cd	宿泊実績取得元のJCS契約マスタで設定した「エージェントCD」を設定します。 「エージェントCD」を設定する場合、「提携先識別CD」、「企業CD」が必須です。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
企業CD	agent_cd	宿泊実績取得元のJCS契約マスタで設定した「企業CD」を設定します。 「企業CD」を設定する場合、「提携先識別CD」、「エージェントCD」が必須です。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
チェックアウト日開始日	update_from	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「チェックアウト日開始日」から「チェックアウト日終了日」の期間内にチェックアウトしたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「false」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
チェックアウト日終了日	update_to	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「チェックアウト日開始日」から「チェックアウト日終了日」の期間内にチェックアウトしたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「false」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
予約ステータス更新日時開始日	update_from	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「予約ステータス更新日時開始日」から「予約ステータス更新日時終了日」の期間内に「JCS」で予約ステータスが更新されたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「true」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
予約ステータス更新日時終了日	update_to	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「予約ステータス更新日時開始日」から「予約ステータス更新日時終了日」の期間内に「JCS」で予約ステータスが更新されたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「true」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
変更データ取得フラグ	is_change	変更データの取得有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ■ true : システム日付時点でチェックアウト済で、「予約ステータス更新日時開始日/終了日」で指定した期間に変更が発生したデータを取得します。 ■ false : 「チェックアウト日開始日/終了日」で指定した期間にチェックアウトしたデータを取得します。

取得データ

■ 取得データ

取得データが登録される形式です。

「k10t_btm_use_data」に登録されます。

項目名	値	備考
relation_service_id	JCS(固定値)	
result_id	予約番号	
company_cd	会社コード	IM-共通マスタ(会社)
user_cd	ユーザコード	IM-共通マスタ(ユーザ)

relation_no	連携パラメータ2	予約の連携番号
contract_system_id	提携先識別CD	
corporate_cd	エージェントCD	
relation_auth_user_id	連携パラメータその他	JCS」の従業員コード
relation_exe_user_id	連携パラメータその他	JCS」の従業員コード
date1	宿泊日	チェックイン日
date2	チェックアウト日	
date3	履歴作成日時	
date4	キャンセル日時	
summary1	宿名	
summary2	プラン名	
summary3	部屋タイプ名	
summary4	都道府県名	
summary5	エリア名	
amount1	金額	精算に使用する金額
amount2	支払い金額	予約ステータスが「予約」、「変更」の場合、「支払い金額」-「使用クーポン額」、「キャンセル」の場合、「精算料金」が設定されます。
amount3	精算料金	予約ステータスが「予約」、「変更」の場合、支払い金額(現ポイント差引額)と同様、「キャンセル」の場合、キャンセル料が設定されます。
amount4	支払い金額(現ポイント差引額)	「支払い金額」-「使用ポイント額」-「使用クーポン額」が設定されま
amount5	使用クーポン額	
status1	予約ステータス	0：予約 1：変更 2：キャンセル
status2	決済種別	0：現地払 1：カード決済 2：法人一括決済
quantity1	宿泊日数	
quantity2	部屋数	
quantity3	大人人数(男性)	
quantity4	大人人数(女性)	

リファレンス

Kaiden!から「JCS」を使用して宿泊手配する方法

本項では、Kaiden!から「JCS」にログインして宿泊手配する方法を説明します。
「JCS」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- JCS関連マスタの設定
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「JCS」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「オプションモジュール

ル」 -

「intra-mart Accel Kaiden! JCS連携モジュール」 - 「JCS設定」を参照して設定してください。

JCS関連マスタの設定

「JCS」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

JCS役職マッピングマスタの設定は任意です。

マスタ	概要
JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報を管理します。
JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社を紐付けます。
JCSユーザマッピングマスタ	「JCS」のユーザとユーザを紐付けます。
JCS役職マッピングマスタ	「JCS」の役職と役職を紐付けます。

ガジェットのインポート

「JCS」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v03.xml	宿泊手配 (JCS連携)	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	

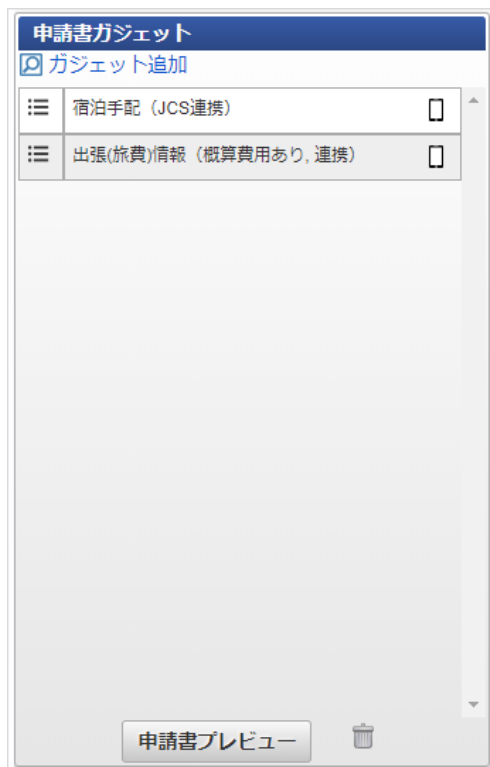
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「宿泊手配 (JCS連携)」を選択してください。



コラム

「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」を選択した場合、出張期間から外れた期間の予約ができません。

宿泊実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「JCS」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「JCS」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- JCS関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「JCS」から宿泊実績データを取得

「JCS」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! JCS連携モジュール」 - 「JCS設定」を参照して設定してください。

JCS関連マスタの設定

「JCS」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報を管理します。
JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社を紐付けます。
JCSユーザマッピングマスタ	「JCS」のユーザとユーザを紐付けます。

ガジェットのインポート

「JCS」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨、連携）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨、連携）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）	

コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。

検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると

支払分類を指定した値で反映可能です。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「インクルードJSP」を参照ください。

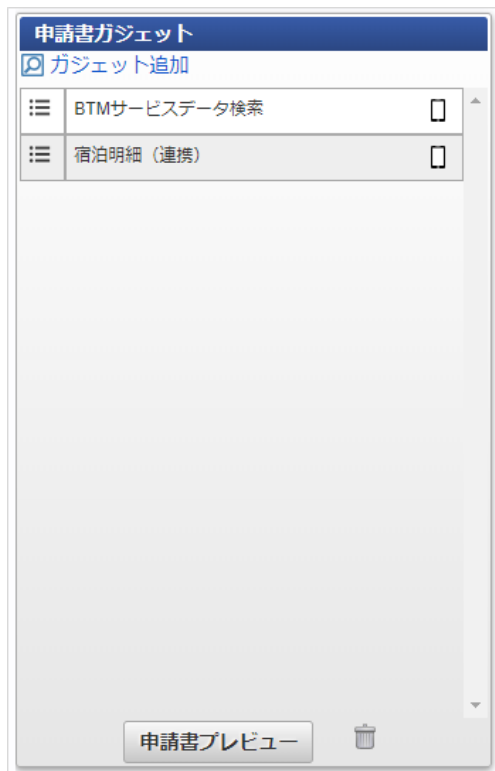
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「JCS」から宿泊実績データを取得

「JCS」から出張手配の実績データを取得する場合、[Racco 宿泊実績データ取得](#)を実施してください。

「JCS」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「JCS」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「JCS」から取得した宿泊実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

- [BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

ファイル連携モジュールの操作

概要

本項では、ファイル連携モジュールを使用して、外部から取得したファイルを取り込み、電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理に対応したシステム(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携する際の概要を説明します。

ファイル連携モジュールを使用すると、外部から取得したファイルをKaiden!の申請で確認・精算できます。

また、Kaiden! で取り込んだファイルと取引日、取引先、金額などの申請内容を電子証憑管理システムに連携することが可能です。

スキャンされた証憑 (PDF) へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、

保管期限経過後の削除などは、連携先の電子証憑管理システムにて対応している前提です。

各システムの役割

ファイル連携モジュールを使用する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- ファイル連携モジュール
外部から取得したファイルを取り込み、電子証憑管理システムへ連携する機能を提供します。

- スキャナ
スキャナ等からファイルをKaiden!に連携します。
- 電子証憑管理に対応したシステム
サーバ上で文書を管理します。

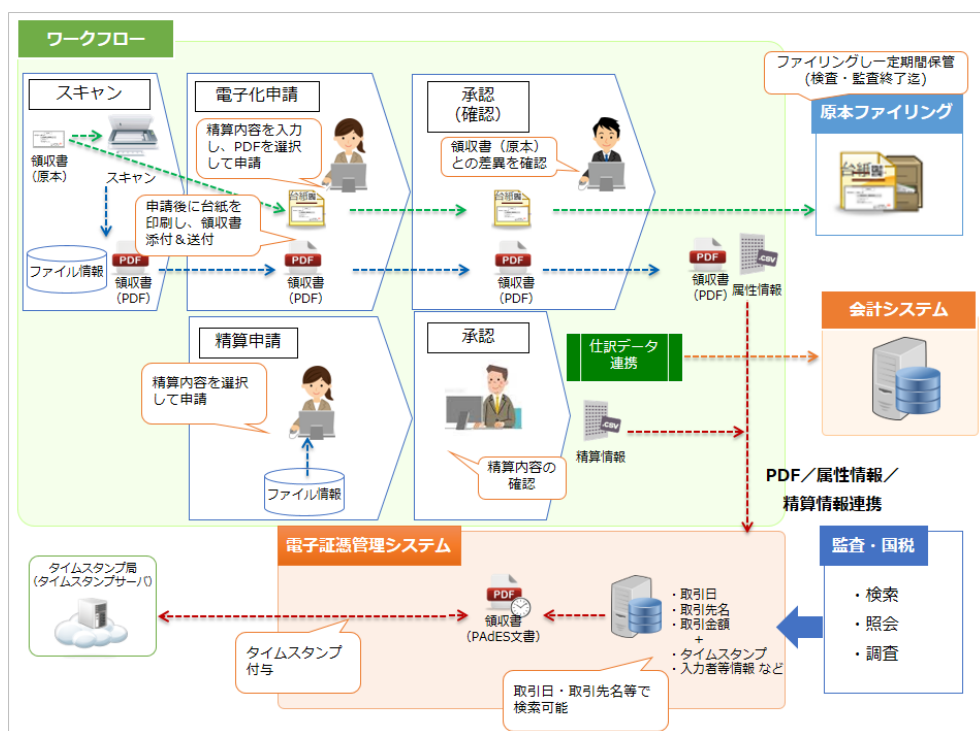
モジュールの選択

ファイル連携モジュールを使用する際、以下のモジュールを選択してください。
外部から取得したファイルを登録する機能はファイル連携モジュールに含まれています。
ワークフローを使用して、申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	ファイル連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、外部から取得したファイルを確認・精算し、電子証憑管理システムに連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、概要を参照してください。

ファイル分類

本項では、ファイル分類マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

ファイル分類マスタは、外部から取得するファイルの分類を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル分類」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
会社を選択します。
- ファイル分類コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- ファイル分類名
ファイル分類の名称を入力します。
- 書類データ
必要にチェックすると、連携ファイル検索(電子化申請用)で検索時に検索対象になります。
- 精算データ
必要にチェックすると、連携ファイル検索(精算申請用)で検索時に検索対象になります。
- 保管期限(年)

ファイルを保管する期限の「年」を入力します。

- 保管期限(月)
ファイルを保管する期限の「月」を入力します。

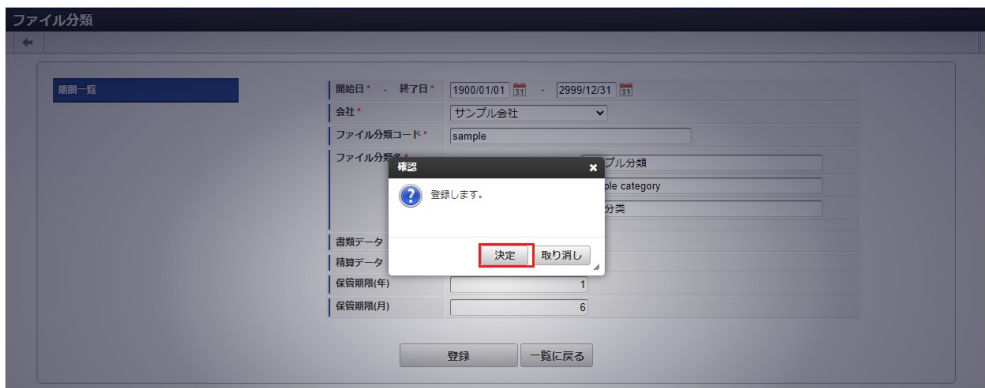
i コラム

「会社」は開始日を検索基準日としています。

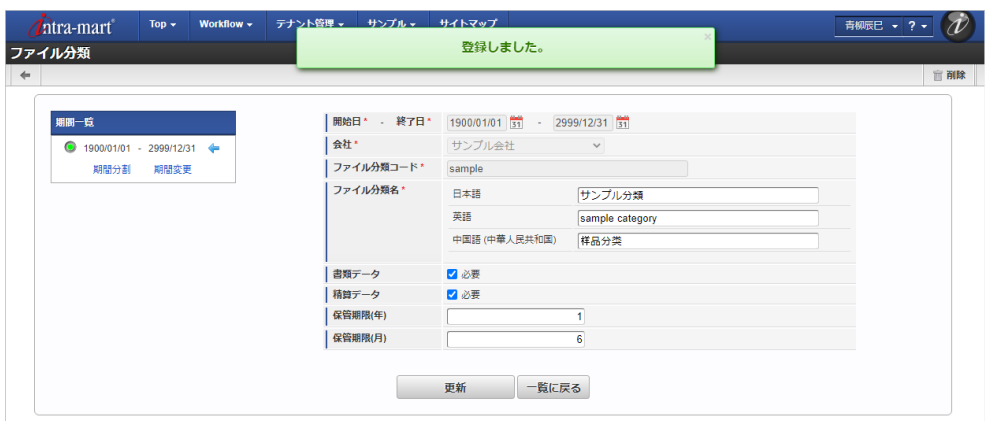
i コラム

「保管期限(年)」または「保管期限(月)」を設定すると、電子化申請または精算申請済みのファイルを保管期限が過ぎるまでファイル設定画面で削除できません。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル分類」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいファイル分類マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイル分類コード
- ファイル分類名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

新規登録

検索 クリア

No	ファイル分類コード	ファイル分類名	書類データ	精詳データ
1	1000	帳簿簿	必要	必要
2	2000	請求書	必要	必要
3	9000	その他	不要	不要
4	sample	サンプル分類	必要	必要

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

更新一括

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

ファイル分類コード * sample

ファイル分類名 *

日本語 サンプル分類

英語 sample category

中国語(中華人民共和国) 样品分类

書類データ 必要

精詳データ 必要

保管期限(年) 1

保管期限(月) 6

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- ファイル分類コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

更新 一覧に戻る

6. 更新することができました。

更新しました。

更新 一覧に戻る

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ファイル分類コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	ファイル分類名	○	250	
7	書類データ必要フラグ	○	1	0 : 不要 1 : 必要
8	精算データ必要フラグ	○	1	0 : 不要 1 : 必要
9	保管期限(年)		2	0から99の整数を設定可能です。
10	保管期限(月)		2	0から12の整数を設定可能です。
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプルファイル分類","1","1","2","6","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","sample category","1","1","2","6","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","品分","1","1","2","6","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

i コラム

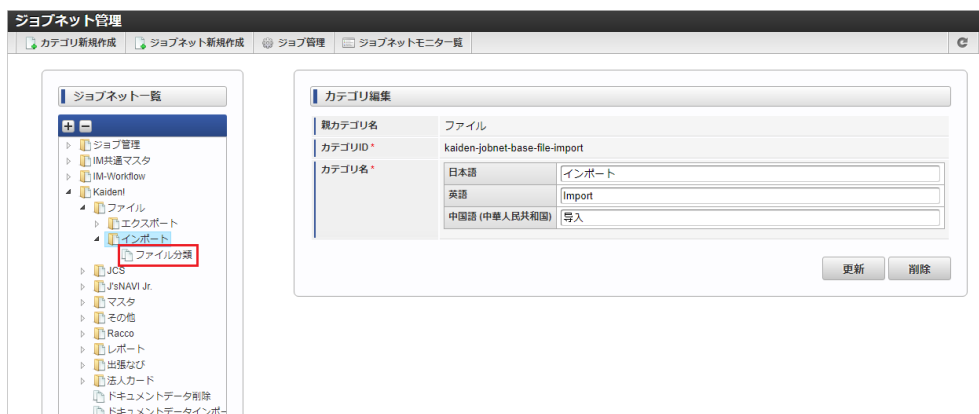
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

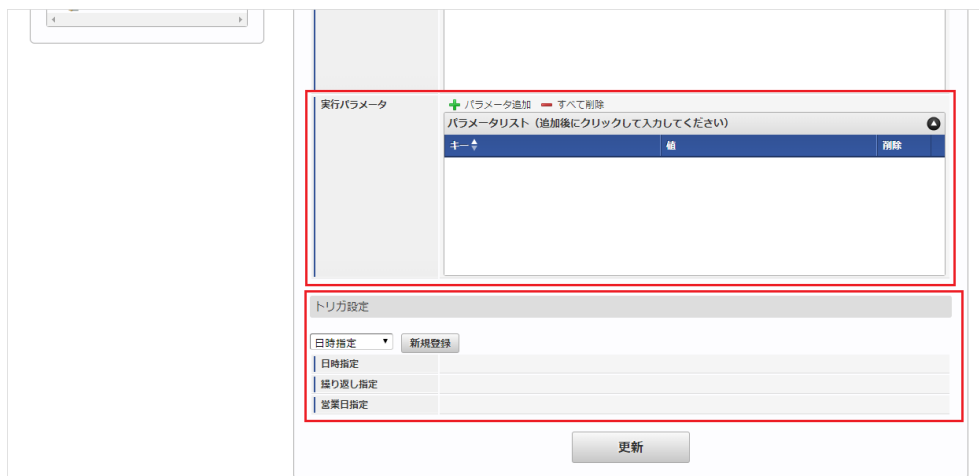
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイル分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

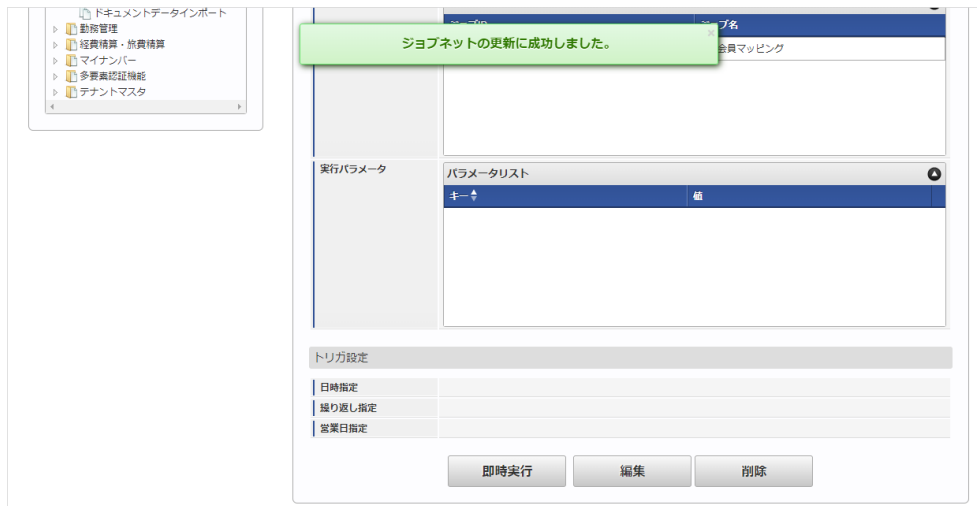
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-file-import-01- fileCategory	Kaiden! / ファイル / インポート / ファイル分類

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/file_category/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

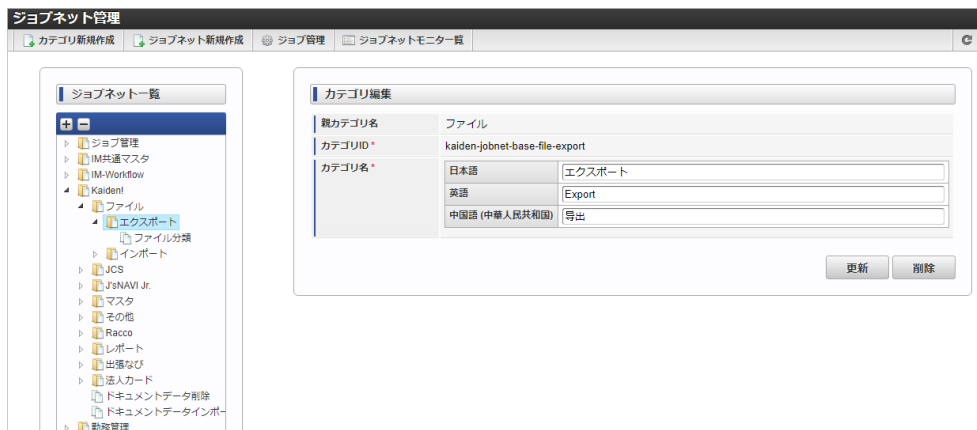
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

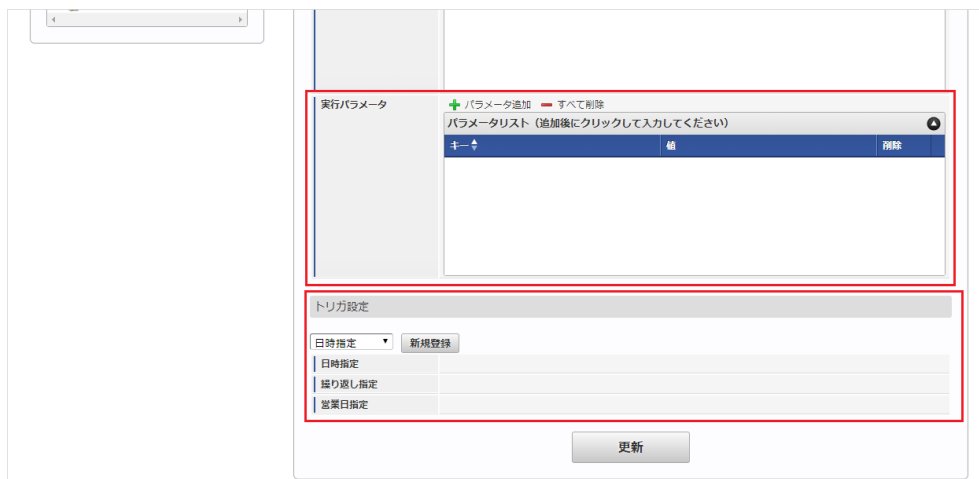
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「ファイル分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

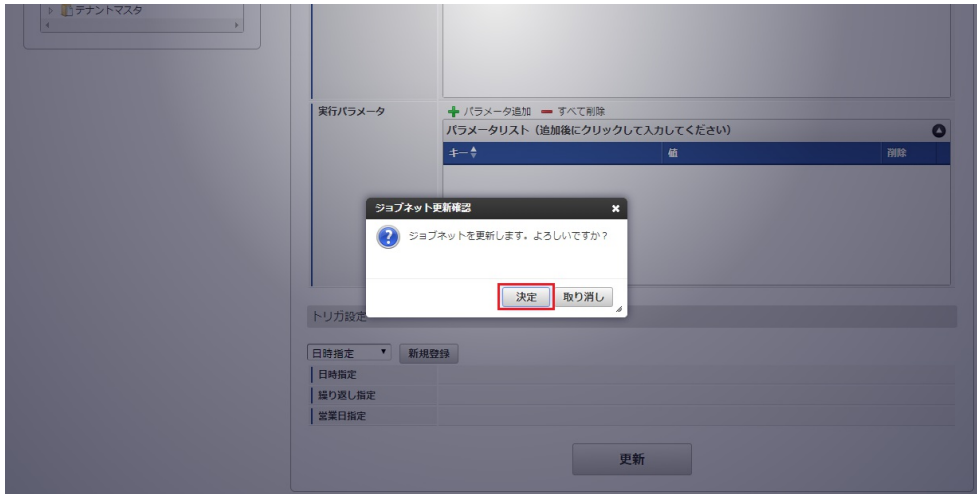
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-file-export-01-fileCategory	Kaiden! / ファイル / エクスポート / ファイル連携

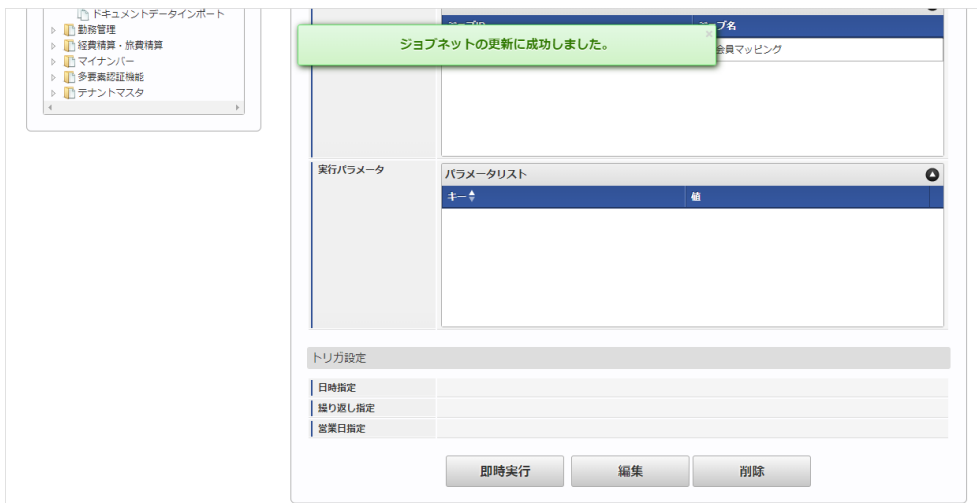
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/file_category/
 ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
fileCategoryCd	ファイル分類コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
fileCategoryName	ファイル分類名	
docUseFlag	書類データ必要フラグ	
settleUseFlag	精算データ必要フラグ	
retentionYear	保管期限(年)	
retentionMonth	保管期限(月)	
deleteFlag	削除フラグ	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 全件出力モード ■ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 既存ファイルに追記 ■ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,)</p> <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

ファイル設定

本項では、ファイル設定からファイルをアップロード、改版、削除する方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [改版 / 利用ユーザ編集](#)
 - [削除](#)

概要

ファイル設定は、アップロードしたファイルの登録、改版、削除を行います。
登録したファイルは電子化申請、精算申請を実施して電子証憑管理システムへ連携可能です。



コラム

画像ファイル、PDFファイルを登録できます。
画像ファイルを登録すると、PDFファイルに変換して登録されます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したファイルのメンテナンス方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録 / 更新画面で必要な情報を入力し、「アップロード」をクリックします。



- 会社
会社を選択します。
- ファイル分類
ファイル分類を選択します。
- ファイル
「ファイル選択」アイコンをクリックしてファイルをアップロードします。
アップロード可能なファイルは画像ファイル、PDFファイルです。
ファイルアップロード後はファイル名が表示され、クリックするとファイルのアップロードを解除します。
- ファイルドロップ
ファイルをドラッグアンドドロップしてファイルをアップロードします。
複数のファイルをまとめてアップロード可能です。
ファイルアップロード後はファイルのプレビュー画面が表示されます。

コラム

「会社」、「ファイル分類」は一覧画面の検索オプションで選択中の検索基準日を検索基準日としています。

4. 新規登録することができました。



改版 / 利用ユーザ編集

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したいファイル分類マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイルID
- ファイル分類コード
- ファイル分類名
- ファイル名01

i コラム

ファイルの利用ユーザにログインユーザが含まれている場合、一覧画面で検索可能です。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録したファイル情報が表示されます。

- 会社
会社が表示されます。
- ファイルID
登録したファイルを一意に特定するIDです。
新規登録時に採番されます。
- ファイル分類
ファイル分類が表示されます。
- 処理番号(最新)
最新の処理番号が表示されます。
改版時にカウントアップします。
- 利用ユーザ
ファイルを利用可能なユーザが表示されます。
ファイルの新規登録時は、登録を実施したユーザが登録されます。
「ユーザ追加」から利用ユーザの追加・削除ができます。
- 処理者
ファイルをアップロードしたユーザが表示されます。
- 処理日時
ファイルをアップロードした日時が表示されます。
- ステータス

ファイルのステータスが表示されます。

- 書類
書類の確認ステータスが表示されます。
- 精算
書類の精算ステータスが表示されます。
- ファイル
ファイル名、ファイルのページ数、ファイルのバイト数が表示されます。
- プレビューアイコン
クリックすると、ファイルのプレビューがポップアップ表示されます。
- ダウンロードアイコン
クリックすると、ファイルをダウンロードします。

5. 「改版」ボタンをクリックします。

ファイル設定

← 改版 ユーザ追加 削除

会社	サンプル会社	利用ユーザ	青柳 辰巳
ファイルID	20201009-00001		
ファイル分類	領収書		
処理順号 (最新)	1		

1

処理者	処理日時	ステータス	書類	精算
青柳 辰巳	2020/10/09 11:20:32	未確認	未登録	未精算

ファイル

領収書(サンプル).pdf 1 page 317,887 byte

6. 改版するファイルをアップロードして、「アップロード」をクリックします。

改版

会社 * サンプル会社

ファイル分類 * 領収書

ファイル * 領収書(サンプル).pdf

領 収 書

株式会社xxxxxxxxx 御中 No.001

発行日 2020/12/01

金額 ¥11,000 (税込)

但 備品代

上記正に領収いたしました。

アップロード

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ファイル分類

7. 改版することができました。



8. 「ユーザ追加」をクリックします。



9. ユーザを選択し「右」、または「左」アイコンをクリックすると、ファイルの利用ユーザか対象外かを変更できます。「登録」をクリックします。



10. 利用ユーザの更新ができました。



コラム

ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理中の場合、改版、利用ユーザの更新はできません。

削除

ファイル設定からアップロード済みのファイルを削除できます。

ただし、次の条件に合致する場合削除できません。

- ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理中の場合
- ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理済で、ファイル分類で設定された保管期限が経過していない場合

ファイル連携

本項では、ファイル連携を用いてファイルを登録、改版する方法を説明します。

- 概要
- ロジックフローの作成
- ファイル連携の引数

概要

ファイル設定は、外部から連携されたファイルの登録、改版を行います。

ファイル連携機能はIM-LogicDesignerのタスクとして提供しているため、ロジックフローを作成する必要があります。

登録したファイルはファイル設定で確認してください。

また、電子化申請、精算申請を実施して電子証憑管理システムへ連携可能です。



コラム

画像ファイル、PDFファイルを登録できます。

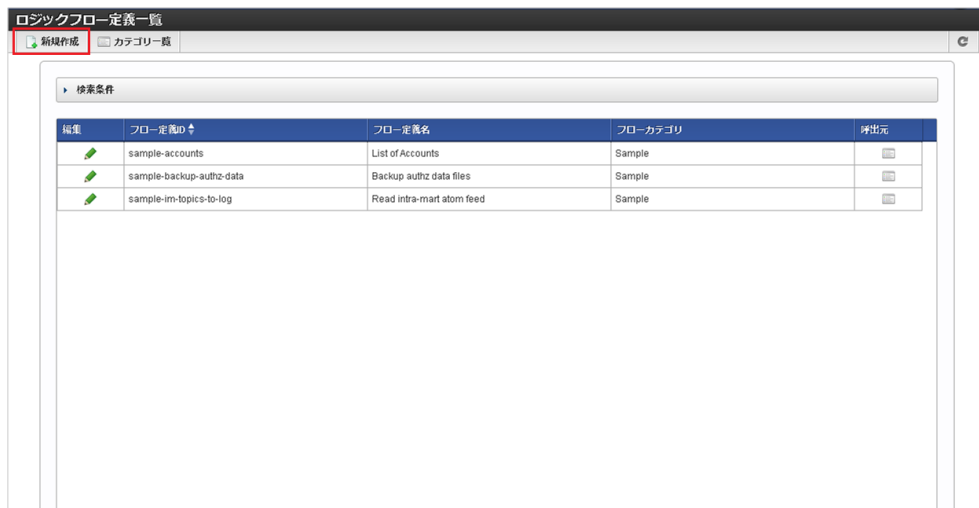
画像ファイルを登録すると、PDFファイルに変換して登録されます。

ロジックフローの作成

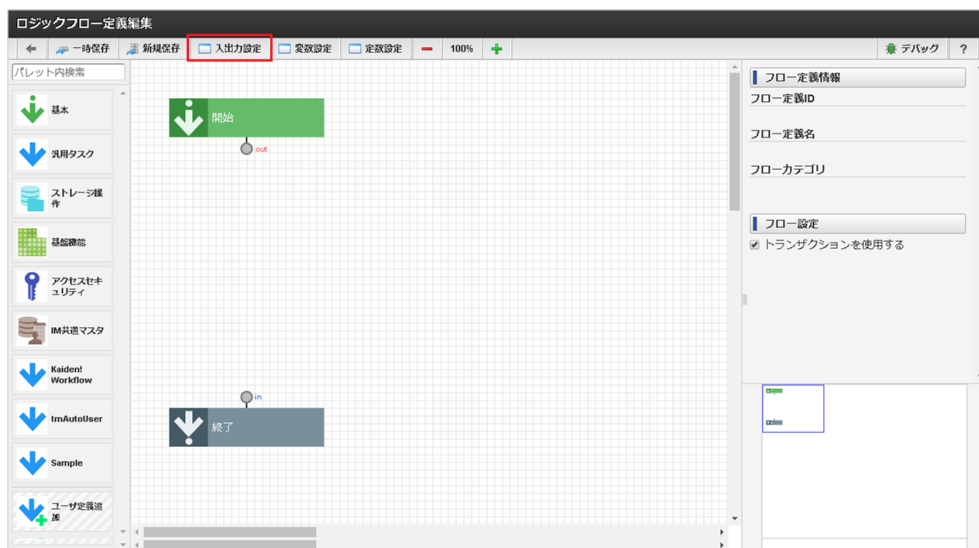
本項では、IM-LogicDesignerでロジックフローの作成を行います。

IM-LogicDesignerの詳細は『[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)』を参照してください。

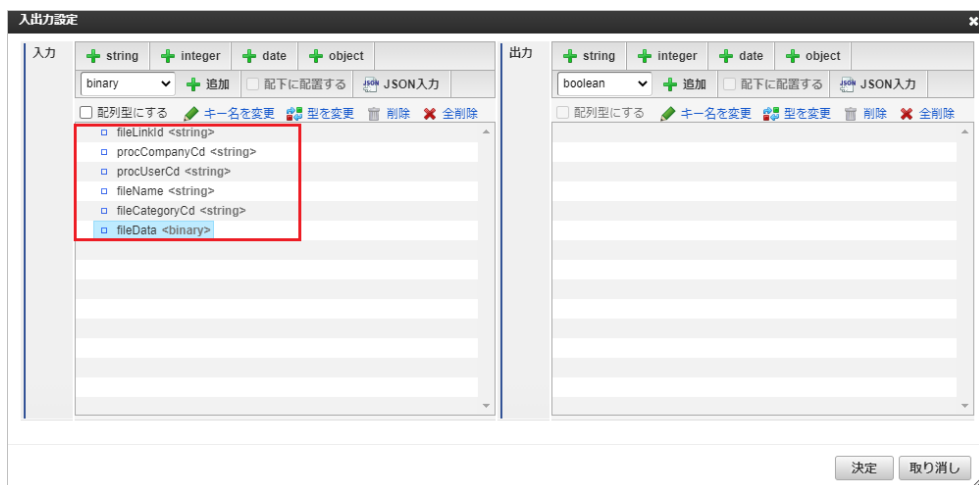
1. 「サイトマップ」→「LogicDesigner」→「フロー定義一覧」をクリックします。
2. 「新規作成」をクリックします。



3. 「入出力設定」をクリックします。

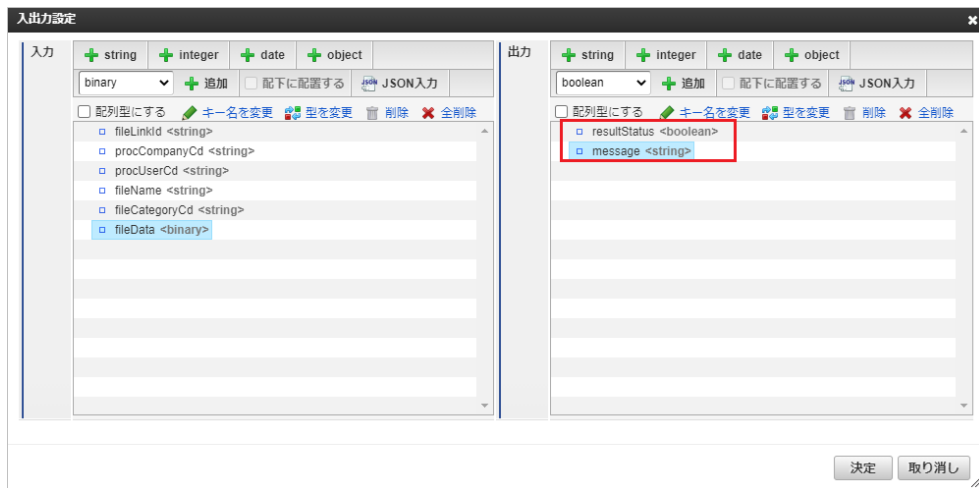


4. 入力を設定します。



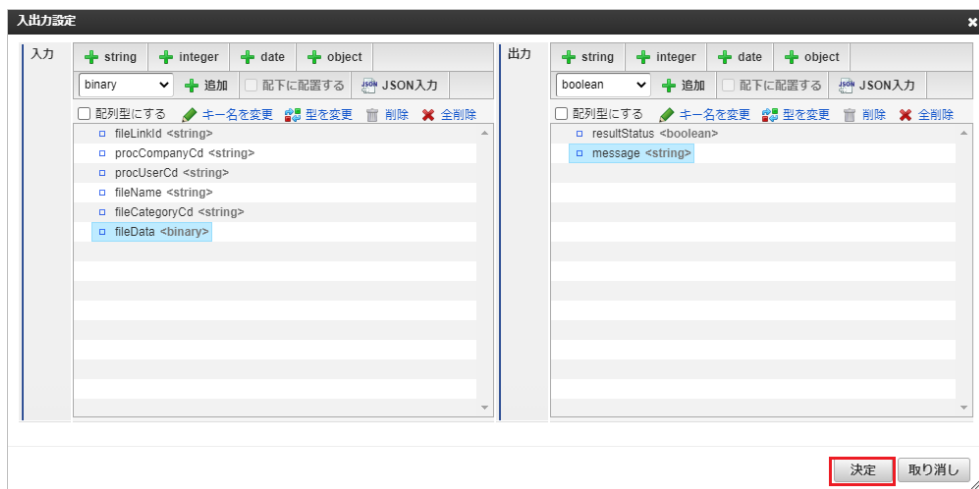
- キー名 : fileLinkId
型 : string型
- キー名 : procCompanyCd
型 : string型
- キー名 : procUserCd
型 : string型
- キー名 : fileName
型 : string型
- キー名 : fileCategoryCd
型 : string型
- キー名 : fileData
型 : binary型

5. 出力を設定します。

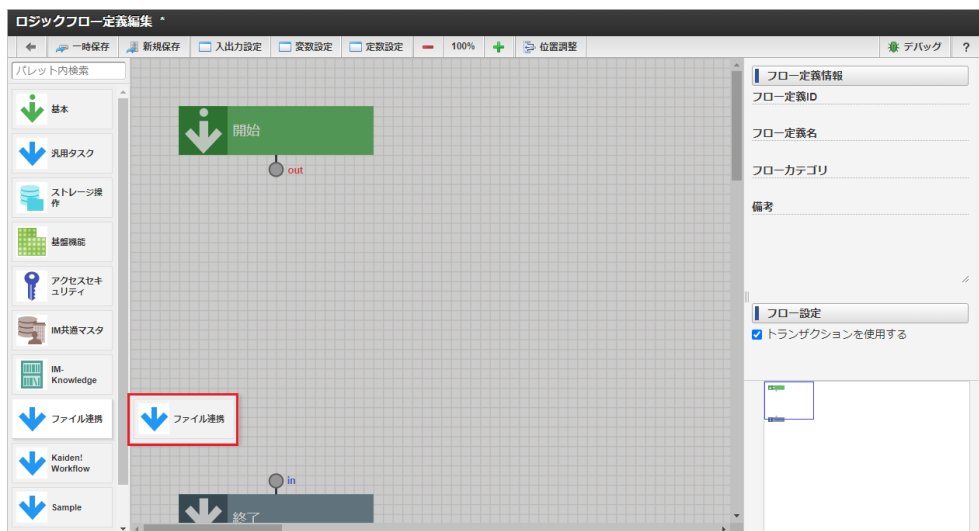


- キー名 : resultStatus
型 : boolean型
- キー名 : message
型 : string型

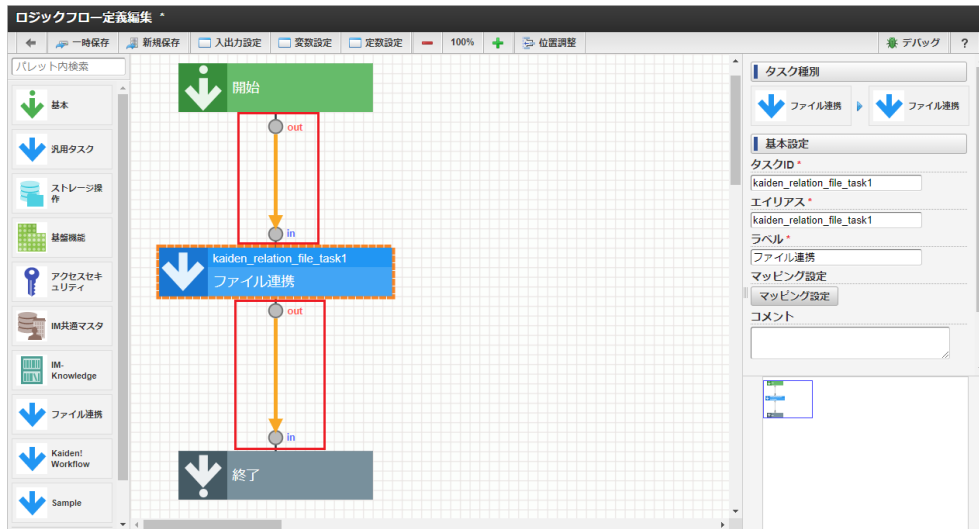
6. 「決定」をクリックします。



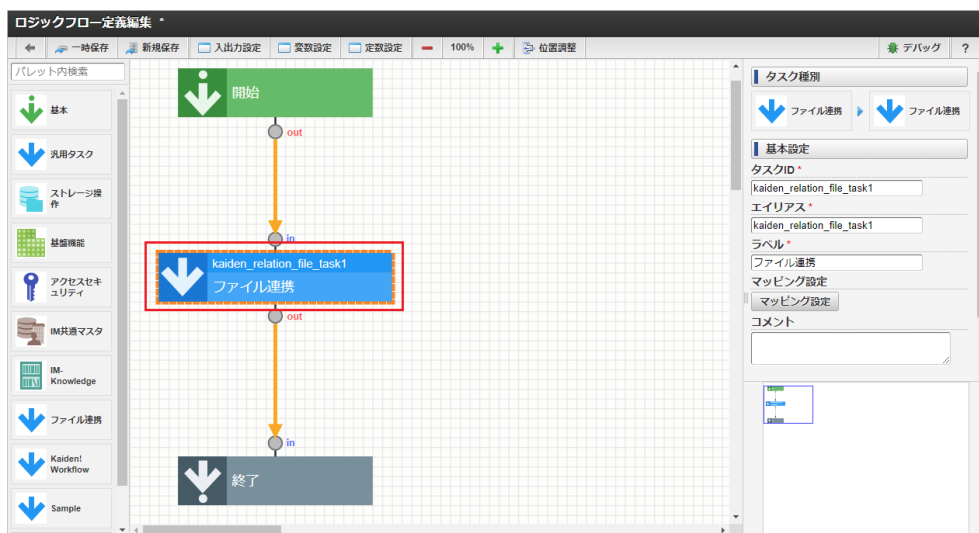
7. タスクの「ファイル連携(kaiden_relation_file_task)」を選択します。



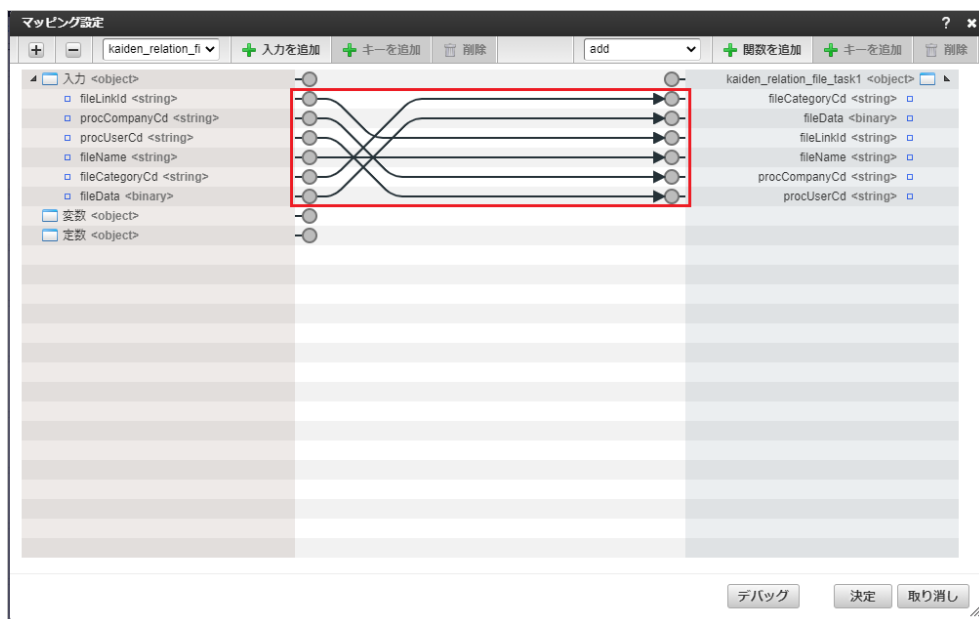
8. 開始タスク、「ファイル連携」タスク、終了タスクを繋ぎます。



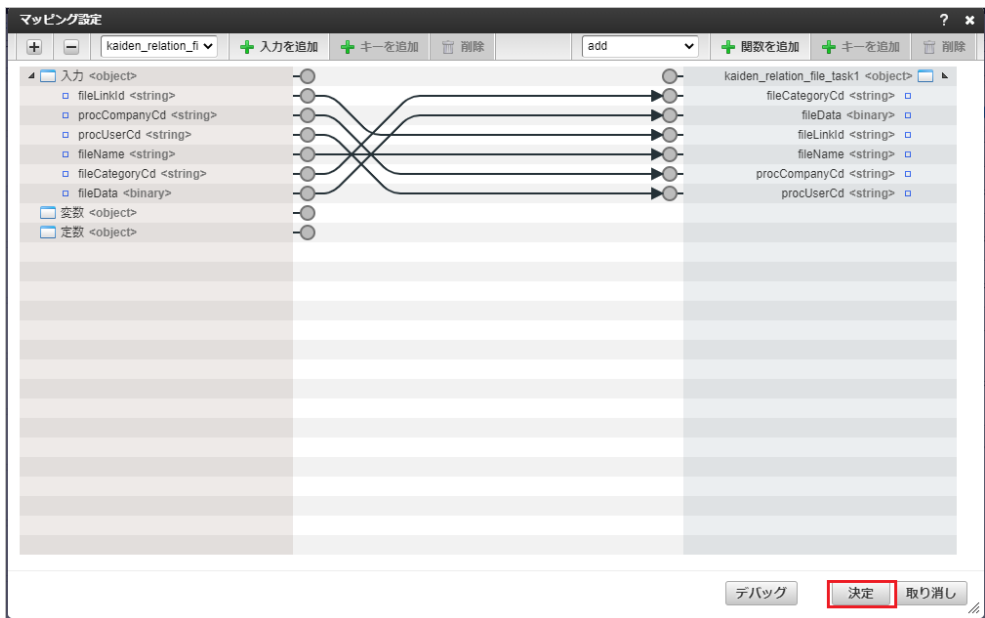
9. 「ファイル連携」タスクをダブルクリックします。



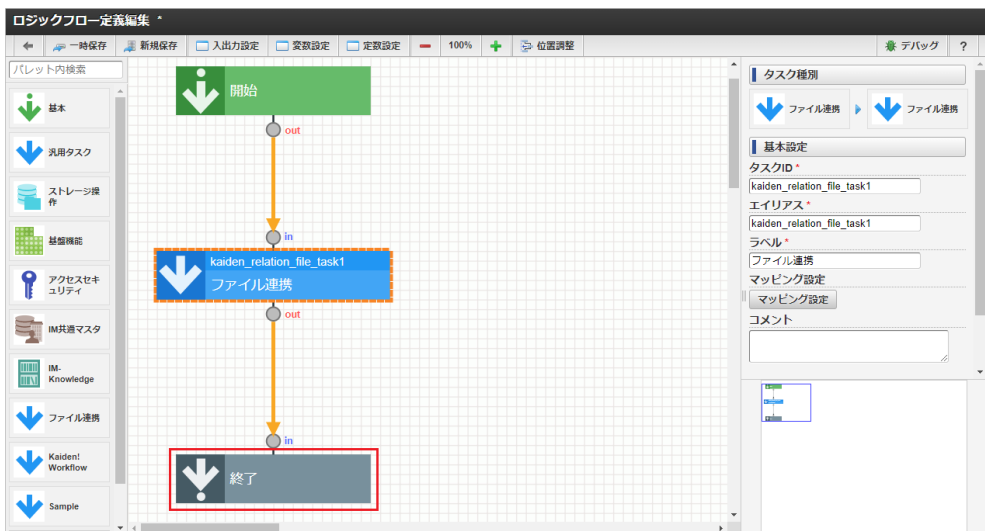
10. 入力から「ファイル連携」タスクに値を渡す設定をします。



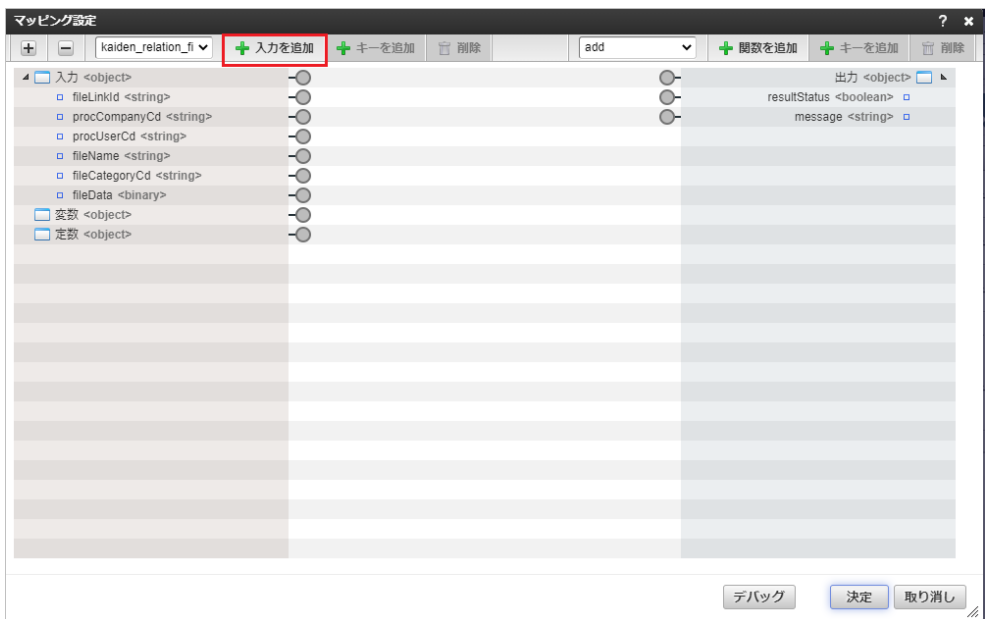
11. 「決定」をクリックします。



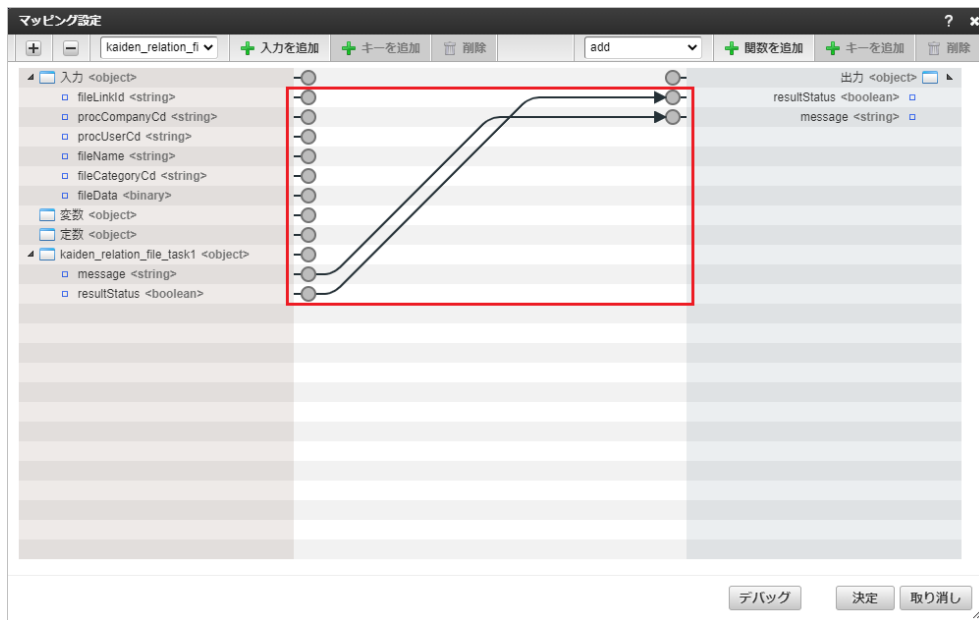
12. 終了タスクをダブルクリックします。



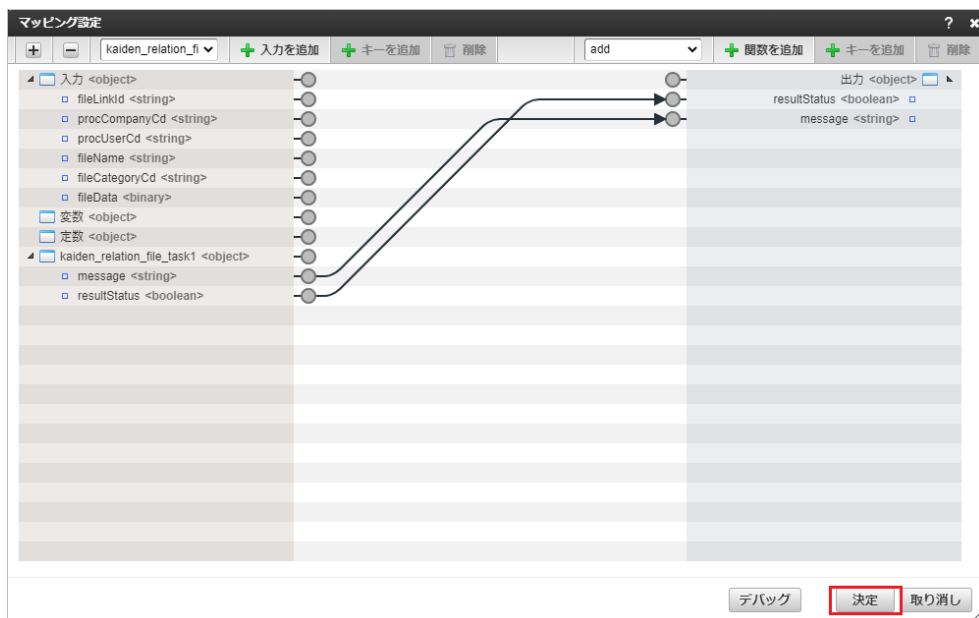
13. 「入力を追加」をクリックします。



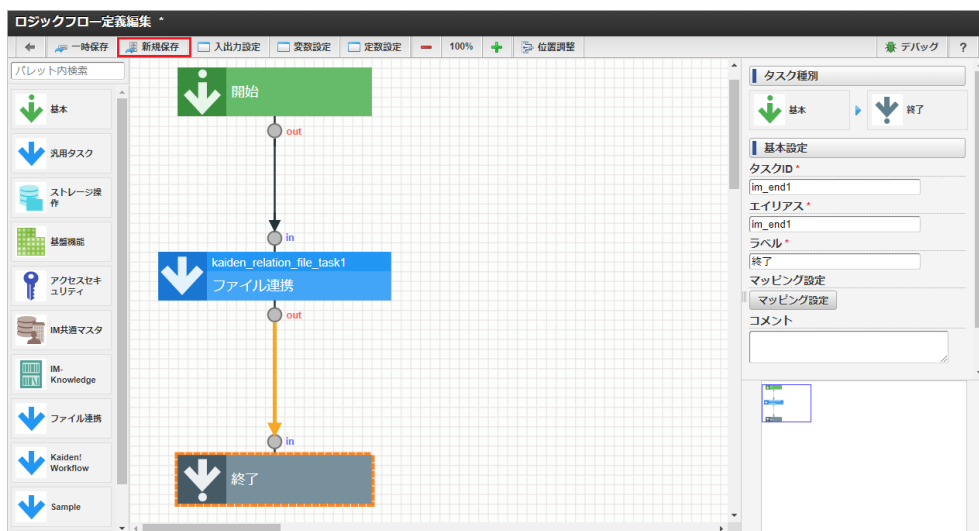
14. 「ファイル連携」タスクから出力に値を渡す設定をします。



15. 「決定」をクリックします。



16. 「新規保存」をクリックします。



17. 必要な項目を設定して「決定」をクリックします。

新規保存

フロー定義ID * kaiden_relation_file

フロー定義名 *

標準 * ファイル連携

日本語

英語

中国語 (中華人民共和国)

フローカテゴリ *

検索 新規作成

ID * sample

名称 Sample

備考

決定 取り消し

18. 「決定」をクリックします。

新規保存

フロー定義ID * kaiden_relation_file

フロー定義名 *

標準 * ファイル連携

日本語

英語

フローカテゴリ *

備考

確認

? フロー定義を登録しますか?

決定 取り消し

決定 取り消し

19. フロー定義を作成することができました。

intra-mart

Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ

ロジックフロー定義一覧

フロー定義を登録しました。

検索条件

編集	フロー定義ID ↑	フロー定義名	フローカテゴリ	呼出元
	kaiden_relation_file	ファイル連携	Sample	
	sample-accounts	List of Accounts	Sample	
	sample-backup-authz-data	Backup authz data files	Sample	
	sample-im-topics-to-log	Read intra-mart atom feed	Sample	

ファイル連携の引数

ファイル連携機能の入力値は次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
ファイルID	fileLinkId	ファイルIDを指定します。 設定した場合、指定したファイルの改版を行います。 未設定の場合、ファイルを新規登録します。
処理会社コード	procCompanyCd	登録するファイルの会社コードを設定します。 (必須)

名称	キー	説明／設定値
処理ユーザコード	procUserCd	登録するファイルの処理者を設定します。 (必須)
ファイル名	fileName	登録するファイルのファイル名を設定します。 (必須)
ファイル分類コード	fileCategoryCd	登録するファイルのファイル分類コードを設定します。 (必須)
ファイルデータ	fileData	登録するファイルをバイナリ形式で設定します。 (必須)

ファイル連携機能の出力値は次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
処理結果	resultStatus	ファイルIDの処理結果を返却します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ true : 処理成功 ■ false : 処理失敗
メッセージ	message	処理結果のメッセージを返却します。

リファレンス

ファイルの電子化申請を実施する方法

本項では、外部から取得したファイルの電子化申請をする方法を説明します。
電子化申請を実施すると、ファイルとファイルに紐づく情報を電子証憑管理システム向けに出力します。
また、電子化申請時に入力した内容を精算申請時に使用できます。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

電子化申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの電子化申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
ファイル分類	ファイルの分類情報を管理します。 電子化申請の対象にする場合、「書類データ」の「必要」にチェックしてください。

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。

機能	概要
ファイル設定	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。
ファイル連携	連携されたファイル情報を元にファイルを登録する機能です。 IM-LogicDesignerのタスクとして提供しています。

ガジェットのエクスポート

電子化申請を実施する場合、以下のガジェットのエクスポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
-------	--------	----

electronizationDetail_v01.xml	電子化ファイル登録	<input type="radio"/>
searchRelationFile_v01.xml	連携ファイル検索（電子化申請用）	<input type="radio"/>

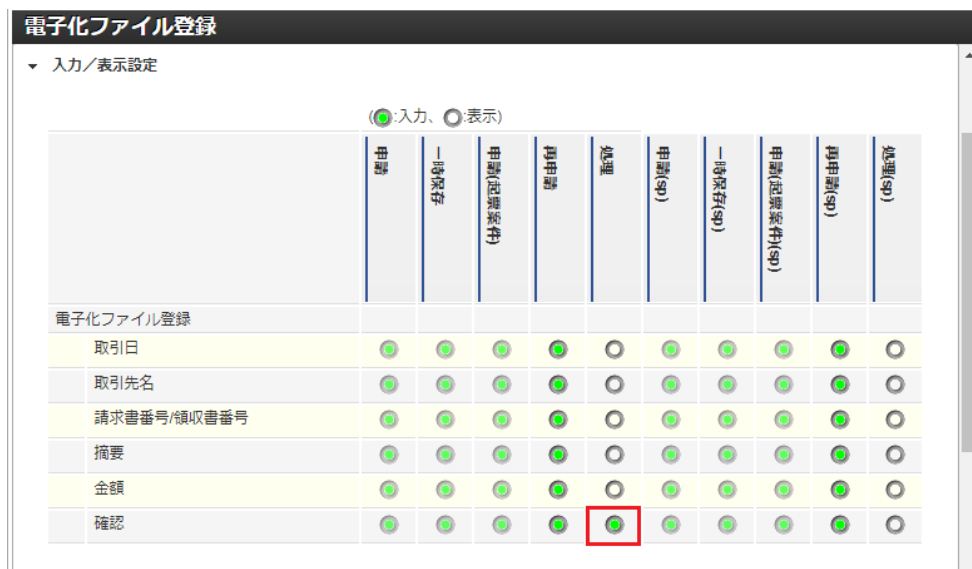
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。
 コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
 コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「電子化ファイル登録」、「連携ファイル検索（電子化申請用）」を選択してください。



2. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。



i コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力設定されていても入力できない項目です。

i コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

3. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。

電子化ファイル登録										
▼ 入力/表示設定										
▼ 必須/任意設定										
●:必須、○:任意										
	申請	一時保存	申請(起票案件)	再申請	処理	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(起票案件)(sp)	再申請(sp)	処理(sp)
電子化ファイル登録										
取引日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引先名	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
摘要	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金額	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
確認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

電子化申請入力情報を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、外部から取得したファイルの電子化申請後、Kaiden!の精算を実施する際の方法を説明します。精算申請を実施すると、精算情報を電子証憑管理システム向けに出力します。精算申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得/電子化申請
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

精算申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの精算申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
ファイル分類	ファイルの分類情報を管理します。精算申請の対象にする場合、「精算データ」の「必要」にチェックしてください。

ファイルの取得/電子化申請

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。また、精算申請は電子化申請が完了したファイルに対して行います。

機能	概要
ファイル設定	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。
ファイル連携	連携されたファイル情報を元にファイルを登録する機能です。IM-LogicDesignerのタスクとして提供しています。

ガジェットのインポート

精算申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchRelationFile_v02.xml	連携ファイル検索（精算申請用）	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	

expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）

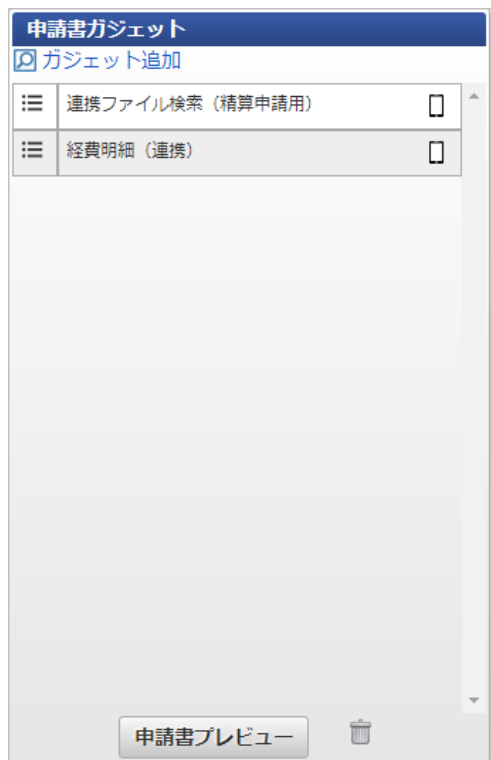
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「連携ファイル検索（精算申請用）」と連携用ガジェットを選択してください。



電子化申請時の出力ファイルの定義

本項では、電子証憑管理システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。

電子化申請の案件が承認で終了した場合、CSVファイルとPDFファイルが出力されます。

コラム

一括承認などで承認され確認欄にチェックされない場合も、CSVファイル、PDFファイルが出力され、精算申請の対象となります。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

CSV出力ディレクトリ	kaiden/{COMPANY_CD}/relation_electronic_file/
CSVファイル名	{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv
PDFファイル出力ディレクトリ	kaiden/{COMPANY_CD}/relation_electronic_file/{MATTER_NUMBER}/{FILE_ID}/



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式
6	取引先	customerName	
7	請求書番号/領収書番号	slipNum	
8	摘要	summary	
9	取引通貨額	transAmount	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	
11	会社通貨額	companyAmount	
12	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
13	案件番号	matterNumber	
14	案件名	matterName	
15	申請権限者コード	authUserCd	
16	申請権限者名称	authUserName	
17	申請実行者コード	executeUserCd	
18	申請実行者名称	executeUserName	
19	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
20	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
21	受領者コード	receivedUserCd	
22	受領者名称	receivedUserName	
23	受領日時	receivedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
24	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
25	確認権限者名称	checkedAuthUserName	
26	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
27	確認実行者名称	checkedExecuteUserName	
28	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
29	ファイルID	fileLinkId	
30	処理番号	procNo	

精算申請時の出力ファイルの定義

本項では、電子証憑管理システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。
精算申請の案件が承認で終了した場合、CSVファイルが出力されます。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。

以下は初期値の出力先です。

出力ディレクトリ kaiden/{COMPANY_CD}/relation_settle_file/

ファイル名 {MATTER_NUMBER}_{YMD}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	案件日付01	matterDate01	yyyy/MM/dd形式
6	案件日付02	matterDate02	yyyy/MM/dd形式
7	案件摘要01	matterNote01	
8	案件摘要02	matterNote02	
9	案件摘要03	matterNote03	
10	案件摘要04	matterNote04	
11	案件摘要05	matterNote05	
12	経費区分コード	expTypeCd	
13	勘定科目コード	accountCd	
14	税区分コード	taxTypeCd	
15	税率	taxRate	
16	数量	quantity	
17	取引通貨額	transAmount	
18	取引通貨コード	transCurrencyCd	
19	会社通貨額	companyAmount	
20	会社通貨換算レート	companyRate	
21	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
22	会社通貨税抜額	companyAmountExcTax	
23	会社通貨税額	companyAmountTax	
24	会社通貨額合計	companyAmountSum	
25	支払分類コード	payTypeCd	
26	支払先コード	payMethodCd	
27	支払先名	payeeName	
28	組織セットコード	departmentSetCd	
29	組織コード	departmentCd	
30	プロジェクトコード	projectCd	
31	案件番号	matterNumber	
32	案件名	matterName	
33	申請権限者コード	authUserCd	

34	申請権限者名称	authUserName	
35	申請実行者コード	executeUserCd	
36	申請実行者名称	executeUserName	
37	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
38	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
39	ファイルID	fileLinkId	
40	処理番号	procNo	

文書管理 (iAD) 連携モジュールの操作

概要

本項では、intra-mart Accel Documents と連携して電子化した文書を申請に使用する際の概要を説明します。

文書登録ガジェットを使用すると、intra-mart Accel Documents に文書を登録できます。

文書連携ガジェットを使用すると、intra-mart Accel Documents の文書を選択して申請書を作成できます。

コラム

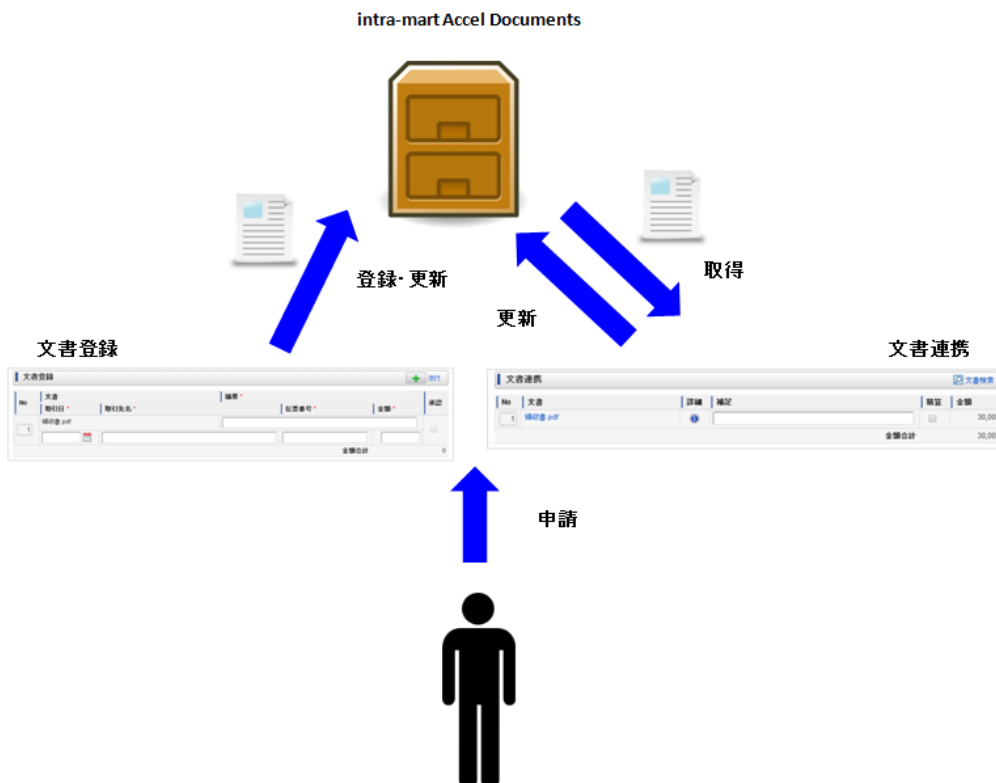
文書登録ガジェット、文書連携ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。

詳細は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

各システムの役割

intra-mart Accel Documents と連携して電子化した文書を申請に使用する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- intra-mart Accel Documents
サーバ上で文書を管理します。



文書登録

電子化した請求書や領収書を、intra-mart Accel Documents に登録する場合に使用するガジェットです。

文書登録ガジェットで承認された文書は、intra-mart Accel Documents に承認済みとして登録されます。

精算申請か請求書払申請のタイプの申請書の文書登録ガジェットで登録された文書は、intra-mart Accel Documents に精算済みとして登録されます。

文書連携

intra-mart Accel Documents に登録している請求書や領収書を選択して申請する場合に使用するガジェットです。文書連携ガジェットに添付できる文書は、intra-mart Accel Documents で承認済み、未精算の文書のみです。

intra-mart Accel Documents と Kaiden! の紐付け

本項では、intra-mart Accel Documents の属性情報と Kaiden! の項目の紐付けを説明します。

intra-mart Accel Documents の属性情報と Kaiden! の項目は intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール のモジュール設定により次のように紐付けています。

属性情報	モジュール設定のタグ名	項目	備考
キャビネット	cabinetId		
名前	なし	文書	
クラス	classId		文書登録ガジェットで申請時、モジュール設定で設定したクラスの文書として登録される。
作成者	なし	作成者	文書登録ガジェットで申請時、申請ユーザ（代理の場合は代理先ユーザ）が作成者として登録される。
作成日時	なし	作成日	文書登録ガジェットで申請時、申請日時が作成日時として登録される。
更新者	なし		文書登録ガジェット、文書連携ガジェットで申請、最終承認時、ワークフロー実行ユーザが更新者として登録される。
更新日時	なし		文書登録ガジェット、文書連携ガジェットで申請、最終承認時、ワークフロー実行日時が更新者として登録される。
ワークフロー案件	なし		文書登録ガジェットで申請時、申請した案件が登録される。
文書利用案件	なし	文書利用案件	
伝票番号	attributeldSlipNum	伝票番号	
取引先名	attributeldClient	取引先名	
取引日	attributeldTradeDate	取引日	
承認済みフラグ	attributeldApprovedFlg	承認	文書登録ガジェットで申請時、「false」が登録される。 文書登録ガジェットで承認時に「承認」にチェックした場合、「true」に更新される。 文書登録ガジェットで承認時に「承認」のチェックを外した場合、「false」に更新される。 文書検索で「true」の文書が検索対象となる。
摘要	attributeldSummary	摘要	
文書管理番号	attributeldManageld		文書登録ガジェットで申請時、システムで付与したランダムな値が登録される。
精算済みフラグ	attributeldSettledFlg	精算	文書登録ガジェットで申請時、「false」が登録される。 文書登録ガジェットで、申請書のタイプが精算申請と請求書払申請の場合、最終承認時、「true」に更新される。 文書連携ガジェットで処理時に「精算」にチェックした場合、最終承認時、「true」に更新される。 文書検索で「false」の文書が検索対象となる。
金額	attributeldAmount	金額	

コラム

intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール のモジュール設定の詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール」-「モジュール設定」を参照してください。

本項では、intra-mart Accel Documents と連携した際のデータの更新のタイミングを説明します。

- [文書登録](#)
- [文書連携](#)

文書登録

文書登録ガジェットを使用した場合、申請、再申請時に intra-mart Accel Documents に次のデータが登録されます。

- 添付文書
- 添付文書の以下の属性情報
 - クラス
 - 作成者
 - 作成日時
 - 更新者
 - 更新日時
 - ワークフロー案件
 - 文書利用案件
 - 伝票番号
 - 取引先名
 - 取引日
 - 承認済みフラグ
 - 摘要
 - 文書管理番号
 - 精算済みフラグ
 - 金額

文書登録ガジェットを使用した場合、承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 承認済みフラグ

文書登録ガジェットを、精算申請か請求書払申請のタイプの申請書で使用した場合、最終承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 精算済みフラグ

文書連携

文書登録ガジェットを使用した場合、申請、再申請時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 文書利用案件

文書登録ガジェットを使用した場合、最終承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 精算済みフラグ

DataDelivery連携モジュールの操作

概要

本項では、Kaiden! の申請情報を「DataDelivery」に連携する際の概要を説明します。

Kaiden! で添付された画像ファイルに「DataDelivery」でタイムスタンプを付与し、

取引日、取引先、金額などの申請内容を連携することが可能です。

証憑（PDF）へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、保管期限経過後の削除などは、

「DataDelivery」にて対応している前提です。

「DataDelivery」の利用には、「DataDelivery」の利用契約が必要です。

また、「DataDelivery」のサービスを動作環境にインストールする必要があります。

詳細は「DataDelivery」のサービス内容をご確認ください。

Kaiden! では、ファイル添付明細（DataDelivery連携）ガジェットの申請情報を出力して、

「DataDelivery」に連携することができます。

出力する情報の詳細は [出力ファイルの定義](#) を参照してください。

主な出力情報

- 添付された請求書／領収書
- 取引日
- 取引先名
- 伝票番号
- 摘要
- 金額



コラム

ファイル添付明細（DataDelivery連携）ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。

詳細は [ファイル添付明細ガジェット](#) を参照してください。

各システムの役割

DataDeliveryと連携して、電子化した文書を申請に添付する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- DataDelivery連携モジュール
「dd_environment」との連携機能を提供します。
- DataDelivery
サーバ上で文書を管理します。
Kaiden!に添付した申請書にタイムスタンプを付与します。

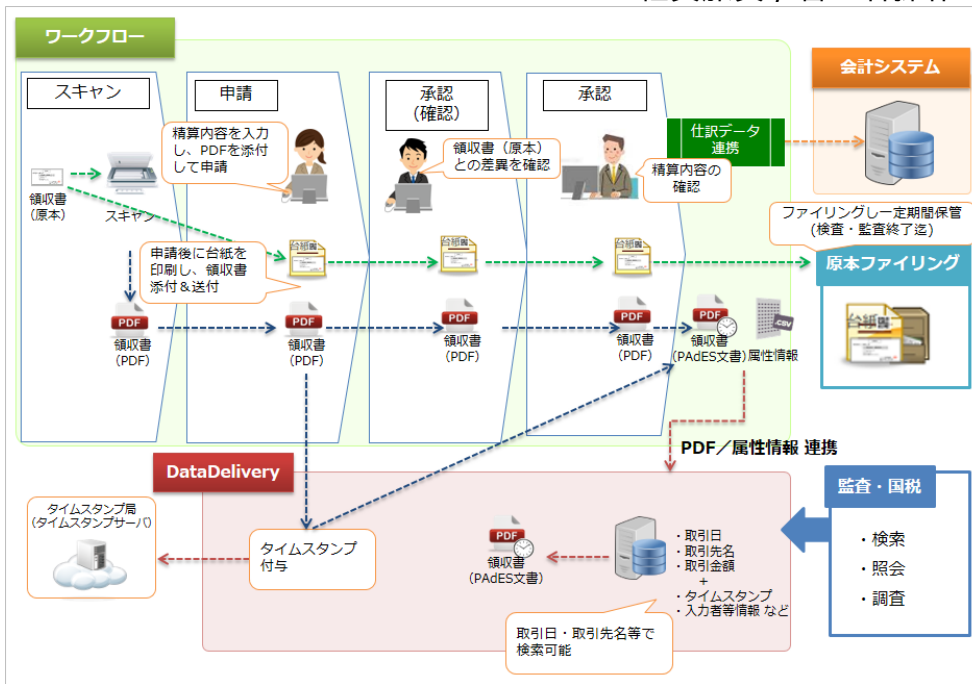
モジュールの選択

DataDelivery連携モジュールを使用して、「DataDelivery」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	DataDelivery連携モジュール

業務フロー

本項では、Kaiden! の申請情報をDataDeliveryに連携する際のイメージを紹介します。



DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施する

本項では、「DataDelivery」を使用してKaiden!で精算を実施する際の方法を説明します。「DataDelivery」と連携することで、Kaiden!に添付したファイルにタイムスタンプを付与できます。「DataDelivery」と連携するには、以下の手順が必要です。

- jarファイル・クラスファイルの適用
- 設定ファイルの作成
- ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成
- ユーザプログラムの設定
- 出力ファイルの定義

「DataDelivery」との連携手順

jarファイル・クラスファイルの適用

1. 「%warファイルの展開先%WEB-INF\lib」フォルダに、「DataDelivery」のjarファイル・設定ファイルを格納してください。
2. 「%warファイルの展開先%WEB-INF\classes\jpos\cskaiden2\base\foundation\helper」フォルダに「TimestampHelper.class」を格納してください。
「TimestampHelper.class」が必要な場合、弊社までお問い合わせください。

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 - 「DataDelivery連携モジュール」 - 「DataDelivery連携モジュール設定」を参照して設定してください。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成

[ファイル添付明細ガジェット](#)を参照ください。

ユーザプログラムの設定

[ユーザプログラムの設定](#)を参照ください。

出力ファイルの定義

[出力ファイルの定義](#)を参照ください。

活文連携モジュールの操作

概要

本項では、活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際の概要を説明します。

活文連携モジュールを使用すると、「活文IDE」にアップロードした請求書のデータでKaiden!の精算を実施できます。

「活文IDE」と連携するためには、「活文IDE」の利用契約が必要です。

「活文IDE」は、帳票のテキスト解析およびデータ抽出を行うサービスです。

詳細は「活文IDE」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 活文連携モジュール
「活文IDE」との連携機能を提供します。
- 活文IDE
帳票のテキスト解析およびデータ抽出を行い、請求書のデータをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

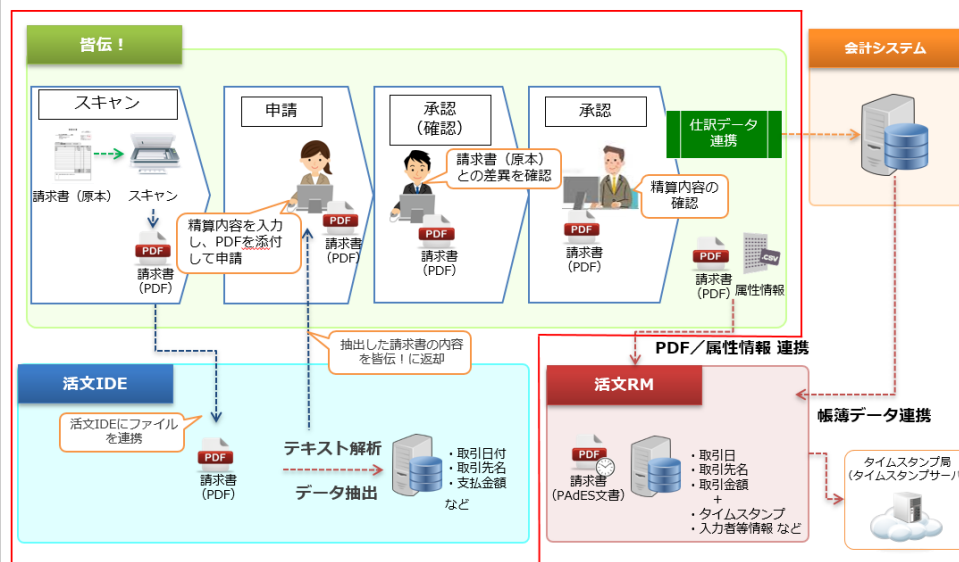
活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	活文連携モジュール

連携イメージ

本項では、「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得しKaiden!の精算に使用するイメージを紹介します。

赤枠で囲んだ箇所が、本ガイドで説明している連携部分です。



運用時の操作

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

本項では、「活文IDE」に文書をアップロードする方法及び、ステータスのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- 活文IDE文書アップロード
- 処理ステータス変更

概要

活文IDE文書アップロード/メンテナンス画面から、「活文IDE」に文書をアップロードできます。

また、「活文IDE」にアップロードした文書の利用データステータスを変更できます。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)を使用する場合、アップロード時に文書の作成者を選択できます。

また、認可を持つ会社にアップロードされた全ての文書を参照・メンテナンスすることが可能です。

活文IDE文書アップロード/メンテナンスを使用する場合、作成者がログインユーザと一致する文書を参照・メンテナンスすることが可能です。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、選択した文書を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

活文IDE文書アップロード

「活文IDE」に文書をアップロードできます。

アップロードした文書は、申請書で精算可能です。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「活文」→「活文IDE文書アップロード/メンテナンス」をクリックします。

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社

作成者* 青柳 辰巳

文書種別

添付*

アップロード

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社

作成日 -

文書

利用データステータス

作成者 青柳 辰巳

文書種別

検索 クリア

No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス	
<input checked="" type="checkbox"/>	No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス

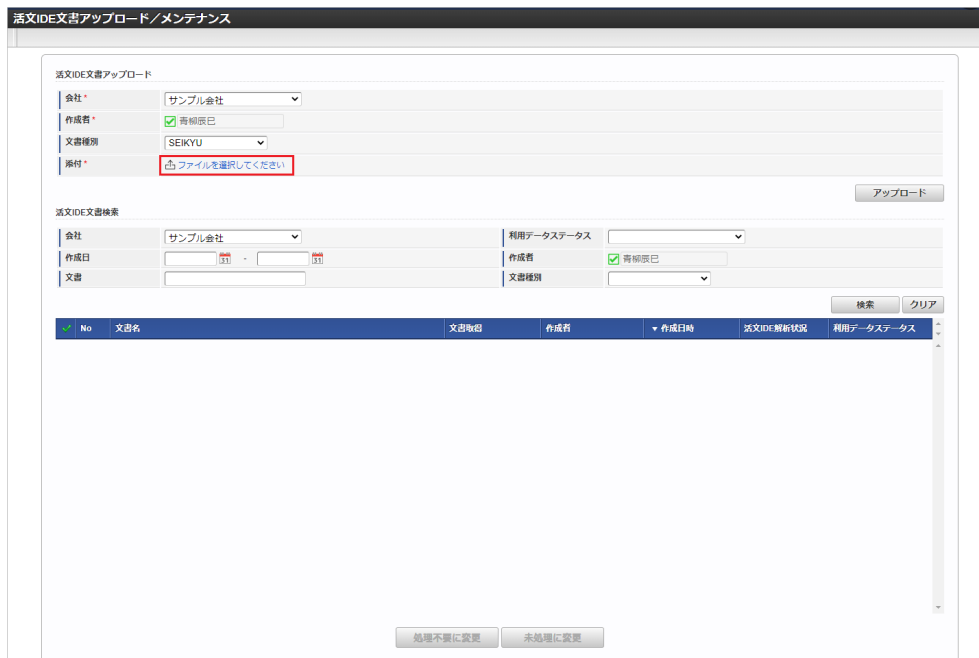
処理不要に変更 未処理に変更



コラム

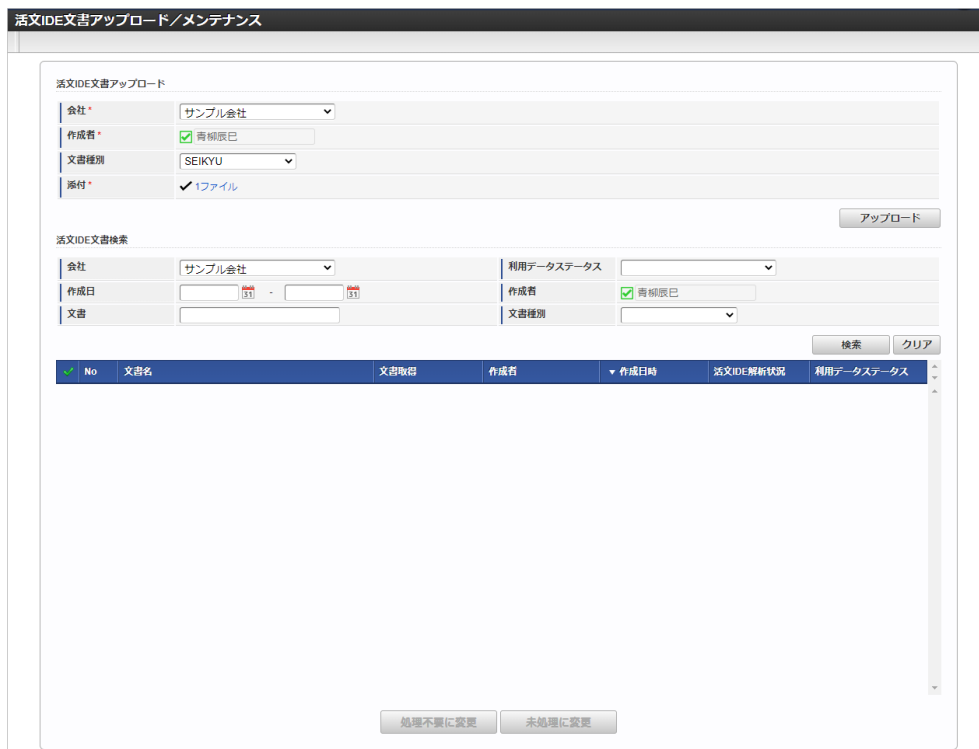
管理者として利用する場合、「活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。アップロード、検索の「作成者」が選択できます。

2. 「会社」、「文書種別」を選択したら、アップロードアイコンをクリックしてください。



- **会社**
選択した会社の文書としてアップロードします。
- **作成者**
選択したユーザの文書としてアップロードします。（管理者のみ変更可能）
- **文書種別**
アップロードする文書の種別を選択します。
- **添付**
クリックすると文書のアップロードが可能です。
PDFか画像ファイルをアップロードしてください。

3. ファイルをアップロードすると、「添付」にチェックアイコンが表示されます。

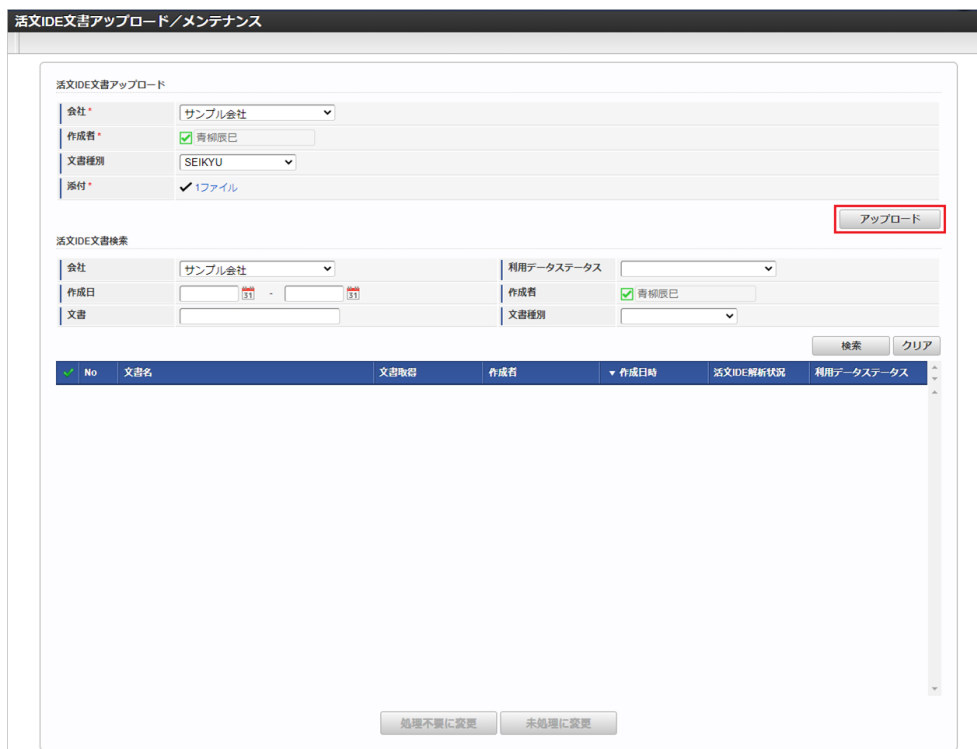


4. 「チェックアイコン」をクリックすると、ファイルのダウンロード・参照・追加・削除等が実施できます。

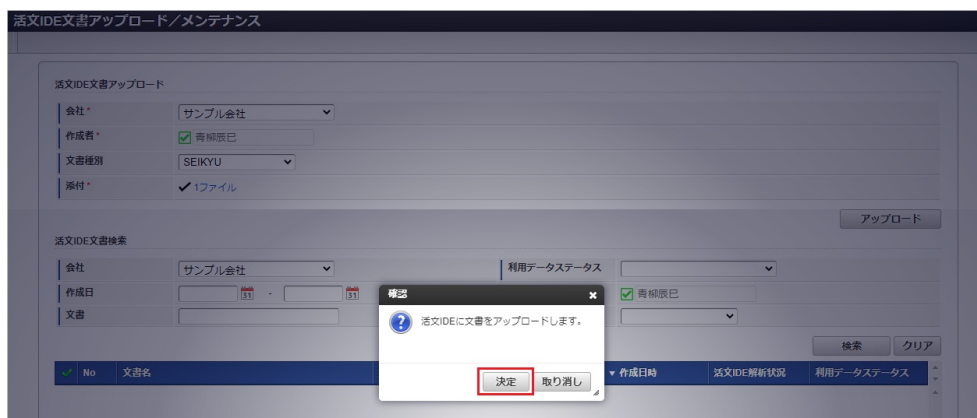


- 表示アイコン
ファイルの内容を表示します。
- ダウンロードアイコン
ファイルをダウンロードします。
- ゴミ箱アイコン
ファイルを削除します。
- ファイル追加
ファイルを追加します。
- 全削除
ファイルを全て削除します。
- 閉じる
ポップアップを閉じます。

5. 「アップロード」をクリックします。



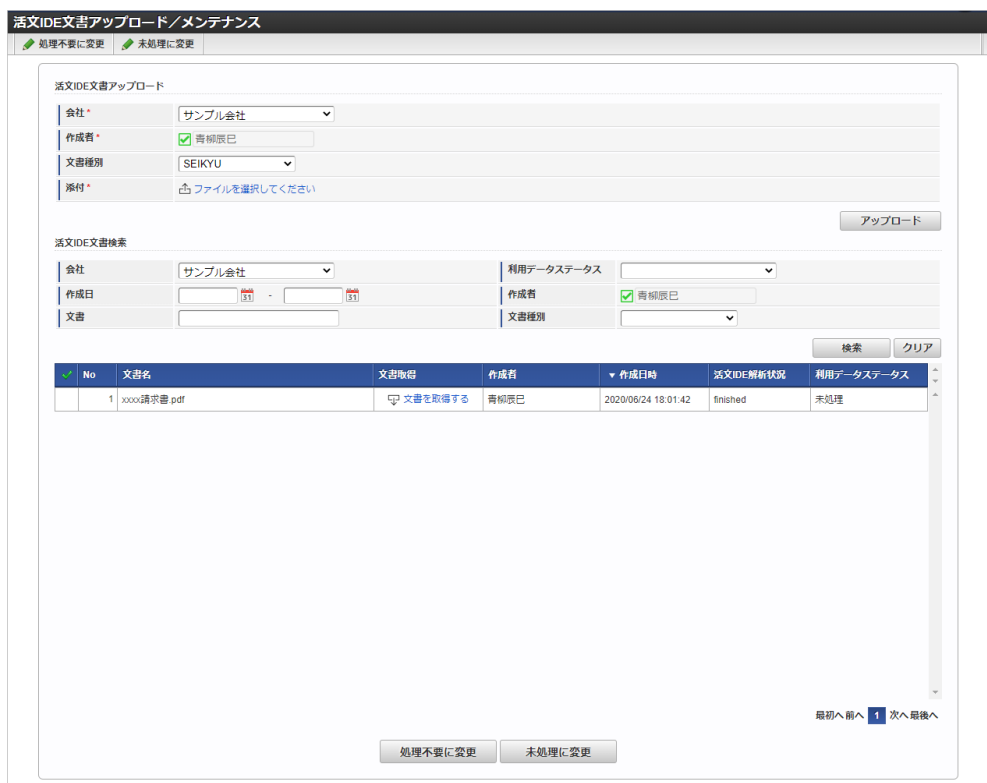
6. 「決定」をクリックします。



7. 「活文IDE」に文書をアップロードできました。



8. 「検索」をクリックするとアップロードした文書が一覧に表示されます。
「活文IDE解析状況」が「finished」の状態になると、申請書で精算可能になります。



処理ステータス変更

処理ステータスを未処理から処理不要にする

未精算の事前申請書が、何らかの理由により精算する必要がなくなった場合、当該申請書を精算不要にできます。精算不要にした事前申請書に対する精算申請書は、作成できません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「活文」→「活文IDE文書アップロード／メンテナンス」をクリックします。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社

作成者* 青柳辰巳

文書種別

添付* ファイルを選択してください

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス

作成日 [31] - [31] 作成者 青柳辰巳

文書 文書種別

<input checked="" type="checkbox"/>	No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
-------------------------------------	----	-----	------	-----	------	-----------	------------

i コラム

管理者として利用する場合、「活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。アップロード、検索の「作成者」が選択できます。

2. 活文IDE文書検索欄の利用データステータスに **未処理** を設定し「検索」をクリックすると、未処理のデータが一覧表示されます。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

処理不要に変更 未処理に変更

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社

作成者* 青柳辰巳

文書種別

添付* ファイルを選択してください

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス **未処理**

作成日 [31] - [31] 作成者 青柳辰巳

文書 文書種別

<input checked="" type="checkbox"/>	No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	1	xxxx請求書.pdf	<input type="button" value="📄"/> 文書を取得する	青柳辰巳	2020/06/24 18:01:42	finished	未処理

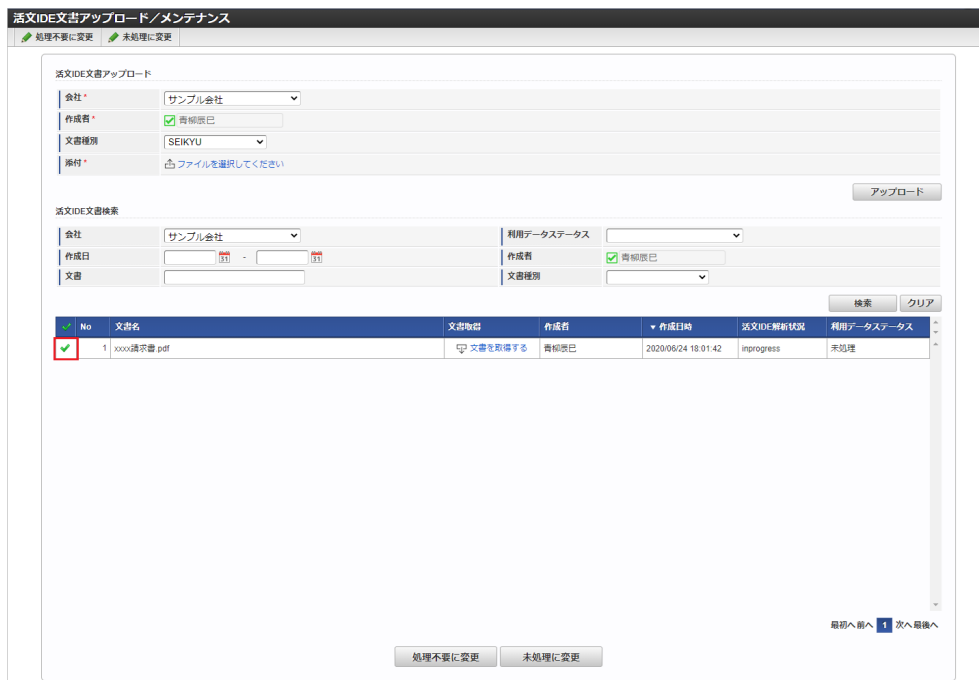
最初へ前へ **1** 次へ最後へ

- **文書**
アップロードされている文書名を表示します。
- **ダウンロード**
クリックするとアップロードされた文書をダウンロードします。
- **作成者**
アップロードを実施したユーザ名を表示します。
- **作成日**
アップロードを実施した日を表示します。
- **解析状況**
文書の解析状況を表示します。

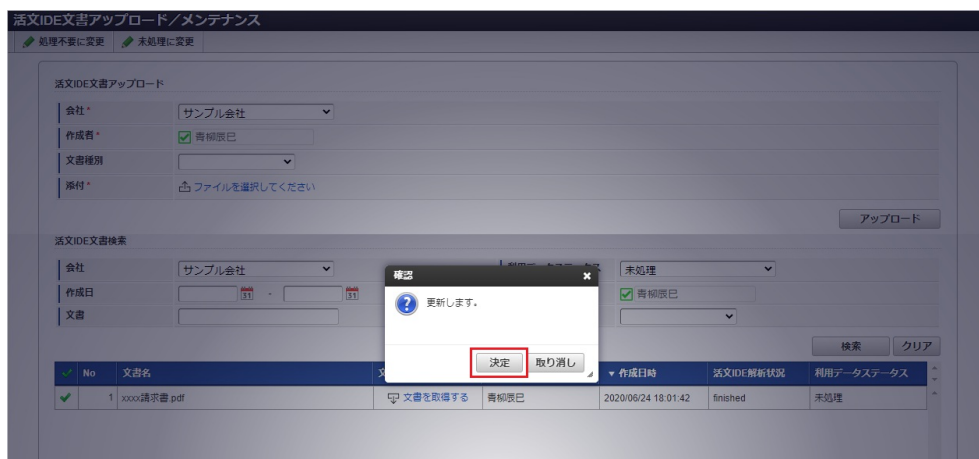
解析が完了すると、「finished」と表示されます。

- 利用データステータス
文書の精算状況を表示します。

3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックがつきます。



4. 「処理不要に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。
確認ポップアップの「決定」をクリックします。



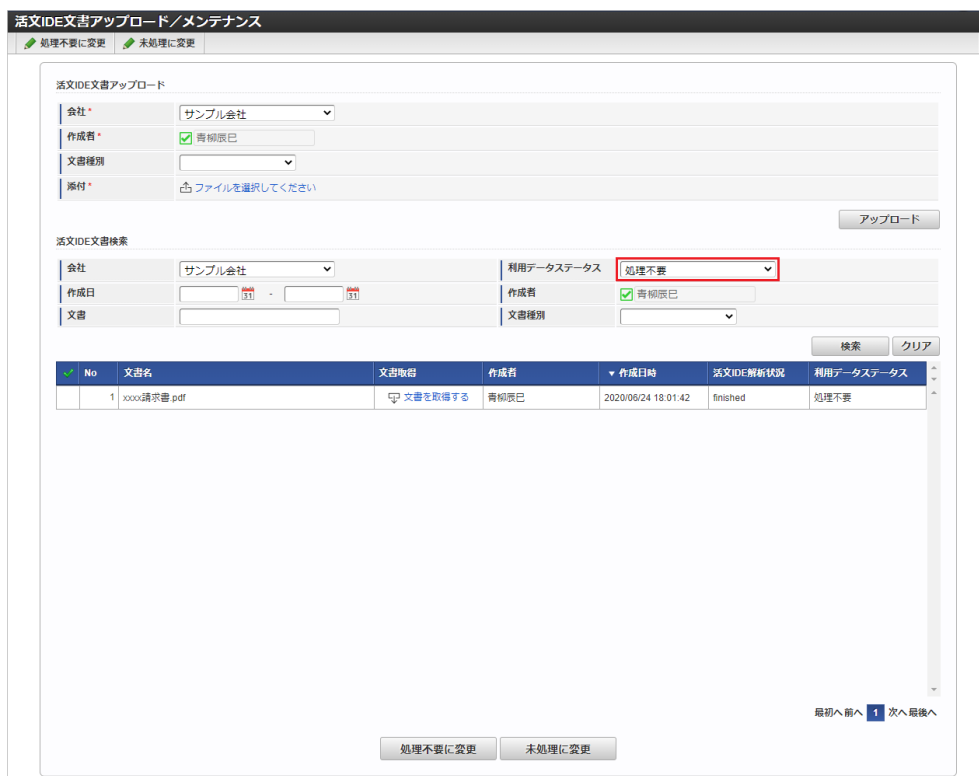
5. 利用データステータスが処理不要に変更されました。



処理ステータスを処理不要から未処理にする

当機能で処理不要にした文書を、未処理に切り替えます。

1. 検索欄の活用データステータスに **処理不要** を設定し「検索」をクリックすると、処理不要データが一覧表示されます。



2. 切り替え対象のデータ行を選択し「未処理に変更」をクリックすると、活用データステータスが未処理に変更されます。

リファレンス

「活文IDE」にアップロードした文書を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得しKaiden!の精算を実施する際の方法を説明します。「活文IDE」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのエクスポート

- コンテンツ定義の作成
- ユーザプログラムの設定
- 出力ファイルの定義
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「活文IDE」に文書をアップロード

「活文IDE」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「活文連携モジュール」 - 「活文IDE設定」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得してKaiden!の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
katsubunIdeDetail_v01.xml	活文IDE連携（文書検索）	○
searchKatsubunIdeLink_v01.xml	活文IDE文書検索	○

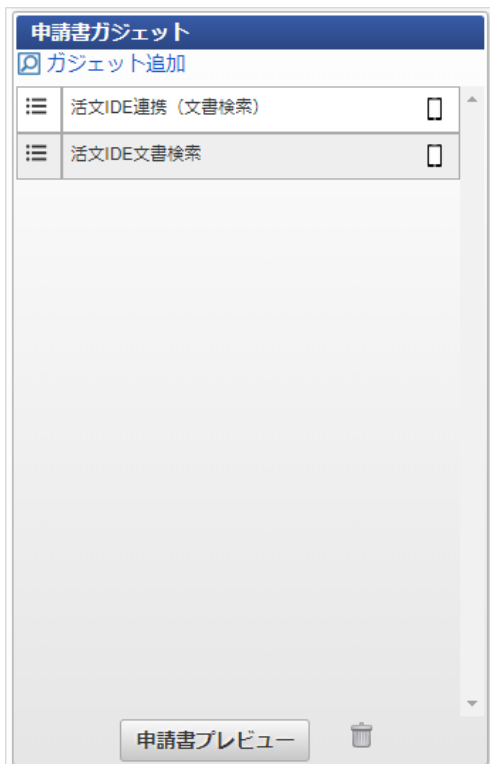
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「活文IDE連携（文書検索）」と「活文IDE文書検索」を選択してください。



ユーザプログラムの設定

[ユーザプログラムの設定](#)を参照ください。

出力ファイルの定義

[出力ファイルの定義](#)を参照ください。

「活文IDE」に文書をアップロード

活文IDE文書アップロード/メンテナンスを参照ください。

活文IDE文書検索で検索対象外となる文書データ

以下の条件に一致する「活文IDE」のデータ活文IDE文書検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「活文IDE」から取得した文書データを申請・一時保存すると、活文IDE文書検索機能で検索対象外となります。
該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度活文IDE文書検索機能で検索対象となります。
- 取消明細（活文IDE連携）ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細（活文IDE連携）を使用する](#)を参照してください。
- [活文IDE文書アップロード/メンテナンス](#)で「処理ステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細（活文IDE連携）を使用する

本項では、取消明細（活文IDE連携）を使用する際の方法を説明します。
活文IDEにアップロードした文書データを取消明細（活文IDE連携）で選択して申請した場合、活文IDE文書検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。
既に精算申請されているデータを取消明細（活文IDE連携）で選択して申請することはできません。
取消明細（活文IDE連携）で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。
取消明細（活文IDE連携）を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「活文IDE」に文書をアップロード

「活文IDE」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「活文連携モジュール」 - 「活文IDE設定」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

活文IDEにアップロードした文書データを取消明細（活文IDE連携）を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

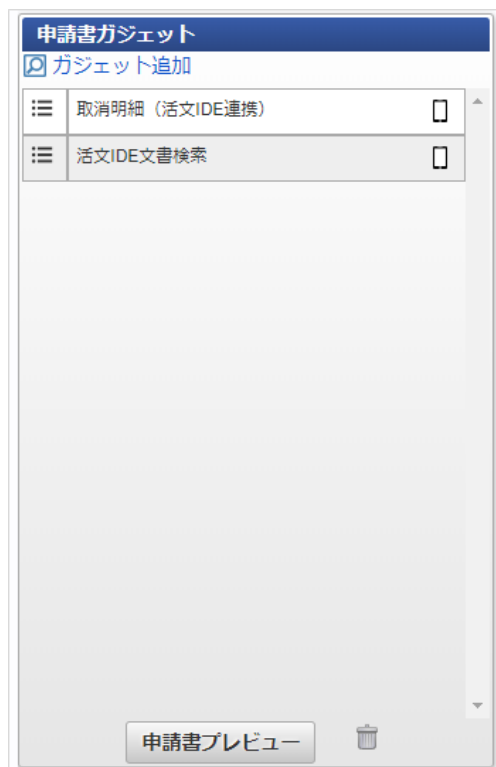
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
katsubunIdeDetail_v01.xml	取消明細（活文IDE連携）	○
searchKatsubunIdeLink_v01.xml	活文IDE文書検索	○

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「取消明細（活文IDE連携）」と「活文IDE文書検索」を選択してください。



「活文IDE」に文書をアップロード

[活文IDE文書アップロード/メンテナンス](#)を参照ください。